行政評価結果
（実施計画事業評価）

実施計画事業評価シート
（評価対象：令和７年度）

横　手　市

目　　次

政策１　伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
施策 1-1　子育て支援の充実 …… 4
施策 1-2　健康な心と体づくりの推進 …… 148
施策 1-3　健康でいきいきとした高齢社会の推進 …… 252
施策 1-4　障がい者（児）福祉の充実 …… 344
施策 1-5　低所得者福祉の充実 …… 396
施策 1-6　福祉を支える人材の確保と育成 …… 424

政策２　学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
施策 2-1　横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 …… 458
施策 2-2　安全で安心して学べる教育環境の整備 …… 542
施策 2-3　元気なまちを築く生涯スポーツの促進 …… 610
施策 2-4　心を豊かにする生涯学習の推進 …… 638
施策 2-5　よこての伝統文化の継承と再発見 …… 686

政策３　豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
施策 3-1　安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 …… 716
施策 3-2　美しい自然環境と快適な生活環境の保全 …… 744
施策 3-3　災害に強いまちづくりの推進 …… 808
施策 3-4　循環型社会の一層の推進 …… 876
施策 3-5　地球温暖化対策の推進 …… 904

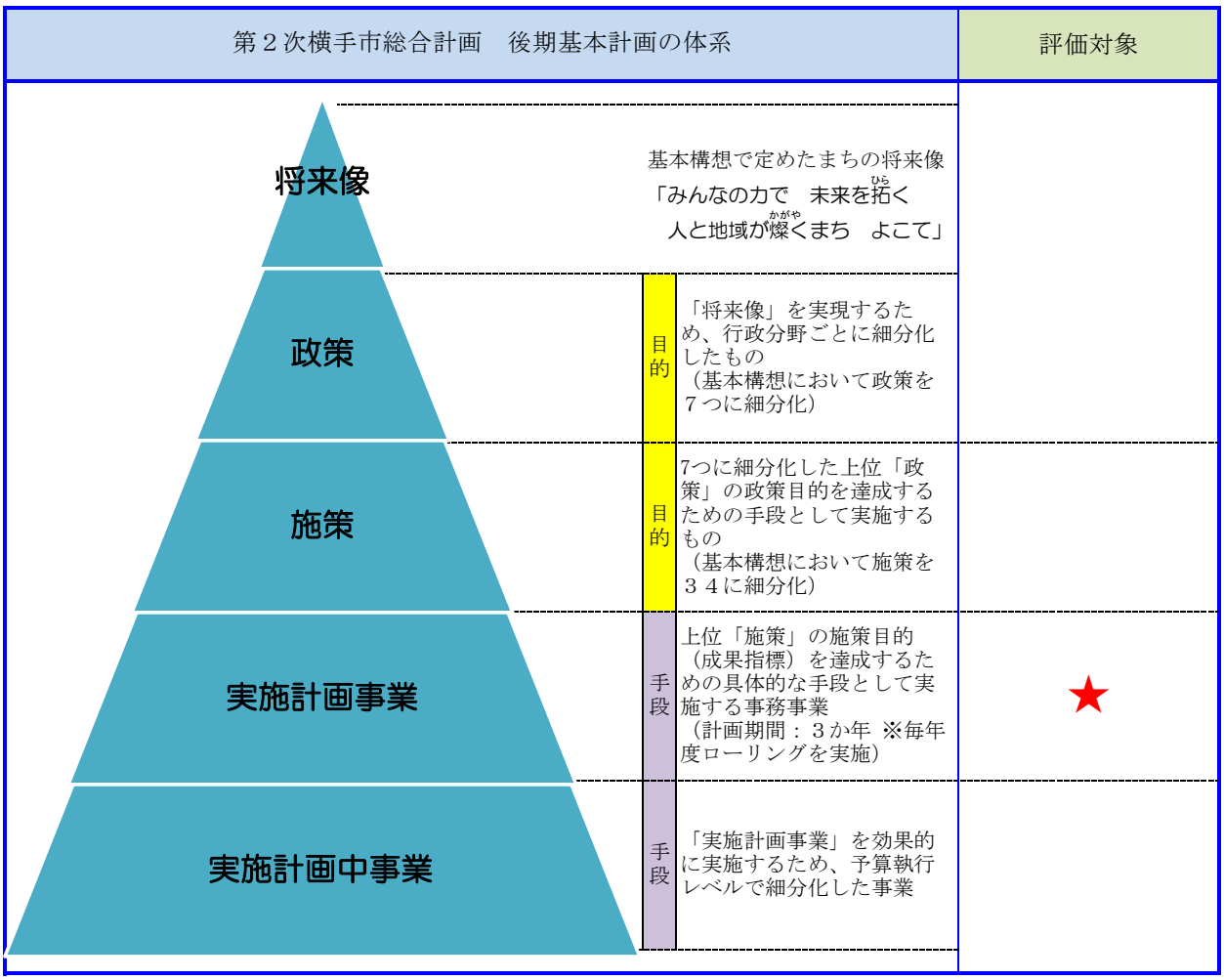
政策４　魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
施策 4-1　魅力ある農林業の振興 …… 914
施策 4-2　活気ある商業の振興 …… 1142
施策 4-3　活力ある工業の振興 …… 1186
施策 4-4　観光・物産資源の発掘と発信 …… 1210
施策 4-5　企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 …… 1286

政策５　暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
施策 5-1　雪国の快適な暮らしの実現 …… 1320
施策 5-2　快適な移動空間の実現 …… 1344
施策 5-3　市民が利用しやすい公共交通の充実 …… 1388
施策 5-4　地域拠点整備による市街地の活性化 …… 1396
施策 5-5　安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 …… 1436
施策 5-6　市民がくつろげる公共空間の整備 …… 1460

政策６　やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
施策 6-1　市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 …… 1478
施策 6-2　男女が尊重し合う社会づくり …… 1566
施策 6-3　情報を共有する環境の整備 …… 1574
施策 6-4　市内外との交流連携の推進 …… 1598

政策７　横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
施策 7-1　市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進 …… 1636
施策 7-2　財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 …… 1844
施策 7-3　戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 …… 1952

評価対象



７つの政策

政策１　伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
政策２　学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
政策３　豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
政策４　魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
政策５　暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
政策６　やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
政策７　横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策１】

基本目標

みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり

【政策１】

伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます《健康福祉》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策1-1】子育て支援の充実		【施策1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進	
福祉医療費	4	地域福祉総務費	252
国民健康保険出産貸付事業	8	高齢者福祉施設入所措置費	256
児童福祉総務費	12	日常生活支援事業	260
子ども・子育て会議費	16	老人クラブ支援事業	264
児童虐待防止ネットワーク事業	20	はり・きゅう・マッサージ助成事業	268
出産祝金支給事業	24	市民後見推進事業	272
ひとり親家庭支援事業	28	高齢者生活支援ハウス費	276
児童扶養手当給付費	32	老人憩の家費	280
特別児童扶養手当事務費	36	生きがい交流広場費	284
ファミリー・サポート・センター事業	40	生きがい創作館費	288
家庭児童相談事業	44	健康福祉センター費	292
利用者支援事業	48	地域福祉センター費	296
地域子育て支援拠点事業	52	老人福祉センターゆうらく館費	300
放課後児童健全育成事業	56	軽費老人ホーム費	304
保育所等支援事業	60	介護保険特別会計繰出金	308
児童福祉施設整備資金償還支援事業	64	利用者負担額減免措置事業	312
保育所整備助成事業	68	国民年金事務費	316
保育所整備貸付事業	72	農家高齢者創作館費	320
児童手当給付費	76	市営介護サービス事業特別会計繰出金	324
子どものための教育・保育給付費	80	地方創生臨時交付金事業	328
助産施設入所措置費	84	高齢者等在宅介護・介護サービス提供体制整備事業	332
母子生活支援施設サンハイム費	88	【施策1-4】障がい者（児）福祉の充実	
児童館費	92	障がい者自立支援給付総務費	336
学童保育施設整備事業	96	自立支援協議会費	340
保育所費	100	自立支援給付費	344
不妊治療費助成事業	104	地域生活支援事業	348
歯科保健事業	108	補装具費支給事業	352
妊産婦保健総務費	112	自立支援医療費給付事業	356
乳幼児保健総務費	116	すこやか療育支援事業	360
母子生活支援施設措置費（他市分）	120	障がい者福祉総務費	364
保育対策総合支援事業	124	特別障がい者手当等給付事業	368
地方創生臨時交付金事業	128	難聴児補聴器購入費助成事業	372
妊婦のための支援給付交付金事業	132	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	376
母子保健事業	136	地域活動支援センター事業	380
児童遊園維持管理費	140	障がい者計画等策定事業	384
物価高騰対応子育て応援手当給付費	144	障害者支援施設管理費	388
【施策1-2】健康な心と体づくりの推進		地方創生臨時交付金事業	392
高額介護合算療養費	148	【施策1-5】低所得者福祉の充実	
国民健康保険特別会計繰出金	152	行旅病者扶助費	396
国民健康保険高額療養費貸付事業	156	生活保護総務費	400
保健衛生事業	160	生活困窮者自立促進支援事業	404
医療体制整備事業	164	一般扶助費	408
予防接種事業	168	施設事務費	412
結核予防事業	172	公営住宅管理費	416
生活習慣病予防健診事業	176	低所得者生活支援事業	420
健康の駅推進事業	180	【施策1-6】福祉を支える人材の確保と育成	
栄養改善事業	184	社会福祉総務費	424
献血推進費	188	民生委員児童委員事業	428
心の健康づくり事業	192	戦没者追悼式関係費	432
健康教育費	196	敬老事業	436
健康相談費	200	長寿祝金支給事業	440
健康診査費	204	特別弔慰金支給費	444
訪問指導事業	208	地域福祉推進事業	448
がん検診事業	212	重層的支援体制整備事業	452
後期高齢者医療制度費	216		
特定健康診査事業	220		
保健指導事業	224		
後期高齢者健診事業	228		
診療所費	232		
保健センター費	236		
病院事業繰出金	240		
地方創生臨時交付金事業	244		
任意予防接種助成事業	248		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 福祉医療事業

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－030106－010100　　民生費・社会福祉費・医療給付費 福祉医療事業・福祉医療事務費		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

高校生等以下の子ども、ひとり親家庭の児童及びその親並びに一部の障がい者。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

一定の必要な医療を適切に受けることができるようにし安心して子育てや生活ができ、かつ地域全体で子育てを支える。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

原則として医療機関等における一部負担金の負担を不要とするため、福祉医療費受給者証の交付等を行う。
【福祉医療事務費】　受給者証の交付・更新等の実施及び審査支払手数料の支払い等の事業実施に必要な支出。
【福祉医療給付費】　給付対象の一部負担金等の支出。

④ 根 拠 法 令	横手市福祉医療費支給要綱	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①受給者証の交付・更新等の実施。 ②事業実施に必要な事務費及び給付費を支出した。 ・給付実績額 749,999千円 ・対象者（年度末）13,914人、給付件数 262,065件
令和 7年度（決算）	①受給者証の交付・更新等の実施。 ②事業実施に必要な事務費及び給付費を支出した。 ・事務費及び給付実績額 766,178千円 ・対象者（年度末）13,243人、給付件数 270,207件
令和 8年度（計画）	・受給者証の交付・更新等の実施 ・事業実施に必要な事務費及び給付費の支出
令和 9年度（計画）	・受給者証の交付・更新等の実施 ・事業実施に必要な事務費及び給付費の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	受給者数				
		単位	人	目標値	16,000	16,100	16,050	16,000	15,950
				実績値	14,344	13,914	13,243		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	292,990	293,975	314,986	312,233	269,036
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	9,251	8,239	9,391	8,201	7,701
	(f) 一般財源	457,545	447,784	441,801	436,705	461,787
事業費の小計		759,786	749,998	766,178	757,139	738,524

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	横手市福祉医療費支給要綱に基づいて実施している事業
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　10×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

医療に関して、一般的に現行の医療保険のみでは心身の健康維持と生活の安定を図ることが困難な者を対象に、擁護するための事業として不可欠である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030106	01	国保年金課	福祉医療事務費	15,676	14,444	2,929	11,515	19,035	18,985
2	030106	01	国保年金課	福祉医療給付事業	734,322	751,734	321,448	430,286	738,104	719,539

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 国民健康保険出産貸付事業

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－030107－030100　民生費・社会福祉費・国民健康保険費　国民健康保険出産貸付事業・国民健康		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

出産を予定する国保被保険者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

貸付事業の実施により、被保険者の出産による一時的な経済負担を支援し福祉の向上に寄与する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【国民健康保険出産貸付事業】
出産育児一時金の支給を受けるまでの間、出産費用の支払いのために資金を貸付する制度
出産育児一時金の直接支払制度の普及により貸付実績は殆ど無いと想定されるが、国保の制度上必要な予算措置を行う。

④根拠法令	横手市出産費支払資金貸付規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市のホームページ等で被保険者へお知らせしている。 これまでの実績等により事業費を見込んでおり、当該年度の実績は無いが、制度上は必要である。
令和 7年度（決算）	市のホームページ等で被保険者へお知らせしている。 これまでの実績等により事業費を見込んでおり、当該年度の実績は無いが、制度上は必要である。
令和 8年度（計画）	・市のホームページ等で被保険者へ周知 ・出産育児一時金の8割を限度として貸付 ・実績は殆ど無いと想定されるが、制度上必要な予算措置を図る
令和 9年度（計画）	・市のホームページ等で被保険者へ周知 ・出産育児一時金の8割を限度として貸付 ・実績は殆ど無いと想定されるが、制度上必要な予算措置を図る

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	規則に基づいた貸付の実施				
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	400	400
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	0	400	400

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030107	03 国保年金課	0	0	0	0	400	400
	国民健康保険出産貸付事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 児童福祉総務費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友 幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030203－010100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 児童福祉総務費・児童福祉総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
児童福祉に関わる全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
児童福祉全般に係る業務が円滑に推進されている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【児童福祉総務費】児童福祉全般に係る業務に必要な経費を執行する 【産後ファミリー応援事業】出産後から子が２歳に達する日までに家事代行を利用した費用を助成する

④ 根拠法令	児童福祉法	⑤ 関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画、教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	児童福祉全般に係る業務に必要な経費の執行【子育て支援課分】 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）委託 さんない保育園民営化に伴う引継保育負担金　システム導入改修費 産後ファミリー応援事業委託
令和 7年度（決算）	・児童福祉全般に係る業務に必要な経費の執行【子育て支援課分】 ・子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）委託 ・三重保育所、ますだ保育園民営化に伴う引継保育負担金 ・産後ファミリー応援事業委託 出産後から子が2歳に達するまでの乳幼児を養育する世帯を対象に、家事代行サービス料を助成 利用件数（2,562件×4,500円）11,529,000円
令和 8年度（計画）	児童福祉全般に係る業務に必要な経費の執行【子育て支援課分】 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）委託
令和 9年度（計画）	児童福祉全般に係る業務に必要な経費の執行【子育て支援課分】 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	児童福祉全般に係る業務に必要な経費の執行				
		単位		目標値			―	―	―
				実績値	－	－	－		
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	203	13,347	554	226	207
	(b) 県支出金	203	154	67	226	207
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	6	0	11	0	0
	(e) その他特定財源	10	10	38	1	1
	(f) 一般財源	34,400	51,394	88,344	40,244	38,030
事業費の小計		34,822	64,905	89,014	40,697	38,445

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：0×4　＋　0×3　＋　0×3　　総合評価点　0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030201 | 01 | 子育て支援課 児童福祉総務費		55,066	74,343	670	73,673	19,374	12,863
2	030201 | 01 | 子育て支援課 産後ファミリー応援事業		9,839	14,671	0	14,671	21,323	25,582
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0006 子ども・子育て会議費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－020100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 子ども・子育て会議費・子ども・子育		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市子ども・子育て会議を経て、児童福祉に関わる全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

すべての子どもの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するとともに、次世代を担う人材の育成が実現できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【子ども・子育て会議費】
横手市子ども・子育て会議において、横手市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種施策を計画的に実施するために、計画の進捗を把握、点検及び評価をし、必要に応じて計画の見直しを実施する。
横手市子ども・子育て会議委員報酬の支払い

④根拠法令	子ども・子育て支援法	⑤関連計画	第3次横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	子ども・子育て会議開催経費（4回） 横手市子ども・子育て会議委員（17名）報酬 第２期子ども・子育て支援事業計画の執行 第３期子ども・子育て支援事業計画の策定
令和 7年度（決算）	・子ども・子育て会議開催経費（4回） ・横手市子ども・子育て会議委員（15名）報酬 ・第３期子ども・子育て支援事業計画の執行 ・こども計画策定支援業務委託　　8,250,000円
令和 8年度（計画）	子ども・子育て会議開催経費（4回予定） 第３期子ども・子育て支援事業計画、こども計画の執行
令和 9年度（計画）	子ども・子育て会議開催経費（4回予定） 第３期子ども・子育て支援事業計画、こども計画の執行

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	計画の施策・事業の評価の実施回数				
		単位		目標値	年３回以上	年３回以上	年３回以上	年３回以上	年３回以上
				実績値	２回	４回	4回		
	2	区分	活動	指標	子ども・子育て会議委員との計画の進捗状況の情報共有実施回数				
		単位		目標値	年３回以上	年３回以上	年３回以上		
				実績値	２回	４回	４回		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,991	4,822	8,576	521	528
事業費の小計		3,991	4,822	8,576	521	528

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030201 02	子育て支援課						
	子ども・子育て会議費		4, 822	8, 576	0	8, 576	521	528

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0007 児童虐待防止ネットワーク事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－030100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 児童虐待防止ネットワーク事業・児童		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

子育て世帯を中心とした全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

虐待の未然防止・早期発見・早期対応により、要保護児童の適切な保護又は要支援児童もしくは特定妊婦への適切な支援等を実施することにより児童虐待防止が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【児童虐待防止ネットワーク事業】
虐待の未然防止・早期発見・早期対応により、要保護児童の適切な保護又は要支援児童もしくは特定妊婦への適切な支援等を実施することにより児童虐待防止を図る。

④根拠法令	児童福祉法 子ども・子育て支援法	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・要保護児童対策地域協議会の開催 ・関係する各機関と情報共有し役割分担をしながら要保護児童の支援を実施 ・児童虐待防止に関する理解を深めるため、要保護児童対策地域協議会の実務者を対象とした研修会を開催
令和 7年度（決算）	・要保護児童対策地域協議会の開催 ・児童虐待の事前防止・早期発見のための啓発活動の実施 ・小学5年生から高校生世代を対象にヤングケアラー実態調査を実施（927,509円）
令和 8年度（計画）	要保護児童対策地域協議会の開催 児童虐待の事前防止・早期発見のための啓発活動の実施 ヤングケアラー実態調査に要する経費
令和 9年度（計画）	要保護児童対策地域協議会の開催 児童虐待の事前防止・早期発見のための啓発活動の実施 ヤングケアラー実態調査に要する経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	虐待相談への適切な対応支援の実施				
		単位	件	目標値	33	35	35	35	40
				実績値	73	50	61		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	160	66	584	648	626
	(b) 県支出金	86	66	78	207	183
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	66	104	266	627	611
事業費の小計		312	236	928	1,482	1,420

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	児童福祉法第25条の２、市要保護児童対策地域協議会設置要綱、法令で実施が定められている事業である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	虐待発生時の対応には緊急性が求められ、未然防止も重要な役割となる事業であることから、ニーズに見合った事業である
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	虐待未然防止、早期発見、早期対応として、当事者のみならず近隣住民や学校等、発生の可能性のあるすべての環境に属する市民が対象である
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	虐待相談件数を目標値とすることには違和感があるが、この事業において発生時に迅速な対応ができる体制を構築している
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	伸び伸び子育てができる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めるための施策として、子育ての充実を図るためには不可欠な事業である
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	要保護児童対策地域協議会は児童福祉法により市が実施することになっている
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	虐待の内容や対応の仕方、その背景については年々変化が生じていることから、ケースに応じた対応及び未然に防止する体制の整備等については、常に見直し・改善を行っていく必要がある
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担というよりは不利益が生じた場合あるいは生じる可能性があると想定される場合に、それ以上深刻な状況になることを防ぐ対応が求められる事業であることから、市が主体的に取り組み、生じる負担については市が負担すべき事業である
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
法令に基づく事業であり、今後も上位施策達成のため必要な事業である

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030201	03	子育て支援課 児童虐待防止ネットワーク事業	236	928	662	266	1, 482	1, 420

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0008 出産祝金支給事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－040100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　出産祝金支給事業・出産祝金支給事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

出生により横手市に住民登録をした子の父または母

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市に生まれた子どもの誕生を祝福し、子育てを支援するため、横手市出産祝金を支給することにより、子どもたちが、将来、市を担う人材となるよう健やかに成長し、活力ある市の発展が実現されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【出産祝金支給事業】
出生により横手市に住民登録をした子について、１歳の誕生日を迎える前までに、出産祝金支給申請書を提出した対象者へ祝金（３万円）を支給する。
平成29年度より横手市共通商品券による支給とする。

④根拠法令	横手市出産祝金支給条例	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	出産祝金の支給 ・288人　8,640千円 ※平成29年度より横手市共通商品券（30千円）による支給
令和 7年度（決算）	出産祝金の支給 ・240人　7,200千円 ※平成29年度より横手市共通商品券（30千円）による支給
令和 8年度（計画）	出産祝金の支給（平成２９年度より横手市共通商品券による支給）
令和 9年度（計画）	出産祝金の支給（平成２９年度より横手市共通商品券による支給）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	出産祝金支給者数				
		単位	件	目標値	450	450	400	350	330
				実績値	274	288	240		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,220	8,640	7,200	9,000	9,900
事業費の小計		8,220	8,640	7,200	9,000	9,900

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市出産祝金支給条例に基づき支給する事業である
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	子育て世帯への出産祝金の支給は、出産を奨励するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減の一助となるため、そのニーズは高い
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	出生により本市の住民基本台帳に登録された子の父または母が対象である
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	全対象者へ漏れなく支給され、出産が奨励されているとともに、子育て世帯の経済的負担軽減の一助となっている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めるための施策として、子育て支援の充実を達成するためには必要な事業である
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	出産を奨励し、子どもたちが健やかに成長し将来市を担う人材となるよう、活力ある市の発展に寄与するため、市が主体的に取り組む必要がある
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	過去に事業案内を見直し、給付金額の変更を検討した経緯があるが、今後も事業効果発現のため、事業内容を定期的に見直す必要がある
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	受益者負担は必要としないが、社会情勢や他市の状況を総合的に勘案し、事業継続を実施する
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　7×3　＋　7×3
総合評価点		７０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
出産祝金支給事業においては、毎年の出生数の低下により、件数自体が少なくなっている。一方で、他市町村で行っている同様の事業の状況を鑑み、今後も事業効果発現のため、事業内容を定期的に見直す必要がある

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	030201	04	子育て支援課						
	出産祝金支給事業			8,640	7,200	0	7,200	9,000	9,900

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0009 ひとり親家庭支援事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－050100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 ひとり親家庭支援事業・ひとり親家庭		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

ひとり親及び寡婦家庭の自立に必要な相談や指導を希望する方、就業に結びつきやすい資格取得を目的とした養成機関で就業希望をもつひとり親、住宅整備を必要とし、自力で整備を行うことが困難な方

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ひとり親や寡婦家庭の自立を促進し、福祉の増進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ひとり親家庭支援事業】… 母子・父子自立支援員を通じて自立に必要な相談・就業・自立支援等を実施する。
【高等職業訓練促進費等給付金支給事業】… 市要綱に基づき、該当者に給付金を支給する。
【母子寡婦家庭住宅整備資金貸付金事業】… 審査により1,500千円を上限として住宅整備資金の貸付を実施する。
【自立支援教育訓練給付金】…母子家庭の母、父子家庭の父の主体的な能力開発の取組を支援する。

④ 根 拠 法 令	母子及び父子並びに寡婦福祉法	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①母子・父子自立支援員の相談技術の向上、各種相談への対応　6,400千円 ②ひとり親家庭高等職業訓練促進費等給付金　申請なし ③ひとり親家庭等住宅整備資金事業　　申請なし ④ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金（受講講座指定申請書受理１件）
令和 7年度（決算）	・母子・父子自立支援員の相談技術の向上、各種相談への対応　8,462千円 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進費等給付金　申請なし ・ひとり親家庭等住宅整備資金事業　　申請なし ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の支給　申請実績１件　10千円
令和 8年度（計画）	①母子・父子自立支援員の相談技術の向上、各種相談への対応 ②ひとり親家庭高等職業訓練促進費等給付金の支給（新規該当見込１名） ③ひとり親家庭等住宅整備資金事業審査、貸付④ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業（新規該当見込１件）
令和 9年度（計画）	①母子・父子自立支援員の相談技術の向上、各種相談への対応 ②ひとり親家庭高等職業訓練促進費等給付金の支給（新規該当見込１名） ③ひとり親家庭等住宅整備資金事業審査、貸付④ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業（新規該当見込１件）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	ひとり親相談指導件数				
		単位	件	目標値	580	580	580	580	500
				実績値	355	266	265		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	36	38	48	1,096	1,095
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	1,500	1,500
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,450	6,362	8,424	10,223	9,390
事業費の小計		6,486	6,400	8,472	12,819	11,985

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	母子及び父子並びに寡婦福祉法第8条に基づき、母子・父子自立支援員3人を配置し、母子家庭等の実情把握に努めるとともに、相談指導を実施している。また、ひとり親の就労支援や住宅に関する整備のため、法令等に基づき給付等を行っている
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	相談件数は減少しているが、相談のニーズが高いことは明確である。また、貸付事業については、制度利用を促進するとともに、ニーズに対する速やかな対応が必要である
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	対象者はひとり親と制度利用者に限られるが、対象者を含めた生活環境全般に関することなど、相談内容は多岐にわた
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	相談支援件数や制度利用件数を目標値とすることには疑問があるが、ニーズに対応できていることから、目標達成に向けて着実に進歩している
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	母子・父子自立支援員による相談支援業務は本事業のみである
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めるためには、必要な事業である
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	法令等による支援員の設置及び給付・貸付であるため、市以外が取り組むことができない事業であるとともに、市が主体的に取り組む必要がある
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	ひとり親家庭に対する自立へ向かって給付金の支給制度を整えるなど、その都度事業内容の見直しを図っている。また、税制改正に伴う対応については随時実施している
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	相談業務に要する経費については、市が負担するべきものである。また、制度利用者の受益者負担及び市の負担については適正である
項目点合計	２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3	総合評価点　８４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
法令等に基づく業務であり、今後も上位施策達成のため必要な事業である 母子・父子自立支援員による対応は今後も必要である

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	030201 05 子育て支援課 ひとり親家庭支援事業	6,400	8,462	41	8,421	9,919	9,085
2	030201 05 子育て支援課 高等職業訓練促進費等給付金支給事業	0	0	0	0	1,200	1,200
3	030201 05 子育て支援課 ひとり親家庭等住宅整備資金貸付金事業	0	0	0	0	1,500	1,500
4	030201 05 子育て支援課 自立支援教育訓練給付金事業	0	10	7	3	200	200

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 児童扶養手当給付費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－060100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　児童扶養手当給付費・児童扶養手当給		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
18歳未満の児童の監護をするひとり親や、父または母に一定の障害のある家庭等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
ひとり親家庭等の経済的安定と自立の促進を図り、児童の福祉の増進が図られている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【児童扶養手当給付費】 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、児童扶養手当を支給する

④ 根 拠 法 令	児童扶養手当法 横手市児童扶養手当事務取扱要綱	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	児童扶養手当を支給した ・R6年度末受給者　542人　289,925千円
令和 7年度（決算）	児童扶養手当の支給 ・令和7年度末受給者 500人　285,657千円
令和 8年度（計画）	児童扶養手当の支給 支給対象者（見込）６４０名
令和 9年度（計画）	児童扶養手当の支給 支給対象者（見込）６４０名

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	児童扶養手当支給者数				
		単位	人	目標値	740	740	740	700	700
				実績値	562	542	500		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	101,301	96,597	95,219	109,103	107,560
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	202,518	193,328	190,465	218,207	215,120
事業費の小計		303,819	289,925	285,684	327,310	322,680

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030201	06	子育て支援課	289,925	285,684	95,219	190,465	327,310	322,680
	児童扶養手当給付費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度 (決算)	令和 7年度 (決算)			令和 8年度 (計画)	令和 9年度 (計画)
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 特別児童扶養手当事務費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－070100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　特別児童扶養手当事務費・特別児童扶		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

20歳未満で精神または身体に障害を有する児童を家庭で監護・養育している父母または養育者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

20歳未満で精神または身体に障害を有する児童を家庭で監護・養育している父母または養育者に特別児童扶養手当を支給するための事務を遂行することにより、対象児童の福祉の増進が図られている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【特別児童扶養手当事務費】
対象者に特別児童扶養手当を支給するための事務を遂行する

④根拠法令	特別児童扶養手当等の支給に関する法律 横手市特別児童扶養手当事務取扱要綱	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	特別児童扶養手当支給事務の実施 支給資格者数２７２名
令和 7年度（決算）	・特別児童扶養手当支給事務の実施 ・支給資格者数２９１名
令和 8年度（計画）	特別児童扶養手当支給事務の実施 支給見込み対象者２６０名
令和 9年度（計画）	特別児童扶養手当支給事務の実施 支給見込み対象者２６０名

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	特別児童扶養手当支給者数				
		単位	人	目標値	200	200	260	260	260
				実績値	237	272	291		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	350	317	400	400	400
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		350	317	400	400	400

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030201 07 特別児童扶養手当事務費	子育て支援課	317	400	400	0	400	400

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 ファミリー・サポート・センター事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－080100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　ファミリー・サポート・センター事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

仕事と家庭の両立支援・児童の福祉の向上。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ファミリー・サポート・センター事業】
・子育ての援助を受けたい人と行いたい人の引き合わせ。
・活動に必要な知識を提供する講習会の開催。

④根拠法令	児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条の3第14項の規定に基づく。	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・ファミリー会員（依頼会員）、サポート会員（提供会員）の募集　登録 依頼会員：485人　提供会員：108人　両方会員：7人　（計600人） ・相互援助活動の調整　活動件数：315件（内訳:未就学児206件、就学児109件） ・会員向けの講習会の開催：年11回 ・交流会の開催：1回
令和 7年度（決算）	・ファミリー会員（依頼会員）、サポート会員（提供会員）の募集　登録 依頼会員：471人　提供会員：106人　両方会員：5人　（計582人） ・相互援助活動の調整　活動件数：337件（内訳:未就学児245件、就学児92件） ・会員向けの講習会の開催：年11回 ・交流会の開催：1回
令和 8年度（計画）	・ファミリー会員、サポート会員の募集　登録。 ・相互援助活動の調整。 ・会員向けの講習会（年11回程度）、交流会（年1回）の開催
令和 9年度（計画）	・ファミリー会員、サポート会員の募集　登録。 ・相互援助活動の調整。 ・会員向けの講習会（年11回程度）、交流会（年1回）の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	述べ活動件数（小学生まで）				
		単位	件	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	339	315	337		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,465	1,765	1,898	1,958	1,895
	(b) 県支出金	1,465	1,765	1,898	1,958	1,895
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,466	1,765	1,929	2,419	1,995
事業費の小計		4,396	5,295	5,725	6,335	5,785

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	児童福祉法に努力義務あり。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市民ニーズのあるサービス事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	ファミリー・サポート・センターへの会員登録者。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	市民ニーズに見合ったサービスができている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	託児業務では「一時預かり事業」が実施されているほか、R8からは「こども誰でも通園制度」で託児業務、「産前・産後ファミリー応援事業」で託児と送迎業務が始まる。しかし、それぞれ事業創設の視点が違うため類似事業とは言えない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	子育て環境の充実のため、地域で「相互援助活動」を形成するための必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間事業者へ委託し事業展開している事例もある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	オンラインでの申し込みや電子マネーによる利用料の支払にいなど、サービス拡充の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は適正である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　7×3　＋　8×3
総合評価点		７７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
子育て施策の充実のために、サポート会員の充実など、今後も体制を強化していくべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　**（単位：千円）**

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	030201 08	子育て支援課	ファミリー・サポート・センター事業	5,295	5,725	3,796	1,929	6,335	5,785

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 家庭児童相談事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－090100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　家庭児童相談事業・家庭児童相談事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

子どもや家庭に関する相談希望者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

子どもに関する様々な問題について、家庭その他からの相談に応じ、家庭に効果的な援助を行い、子どもの福祉を図り、その権利が擁護されている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

家庭児童に対する様々な相談や児童虐待防止等の緊急事案に対応するため、児童福祉に関する専門的な相談業務にあたる。令和２年度から、横手市子ども家庭総合支援拠点事業として、家庭児童相談室及び要保護児童対策地域協議会調整機関の機能を包含し、各関係機関とより緊密な連携に努めながら支援に努める。

④ 根 拠 法 令	児童福祉法 横手市子ども家庭総合支援拠点設置運営要綱	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・子ども家庭総合支援拠点において、こどもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関する支援を実施 ・Ｙ² ぷらざ内の児童センターで土日祝日に相談員を配置し、各種相談業務を実施 ・ヤングケアラー実態調査を実施 ・家庭児童相談員、子ども家庭支援員、虐待対応専門員　計５名を配置
令和 7年度（決算）	・こども家庭センターを新設し、こどもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関する支援業務を実施 ・Ｙ² ぷらざ内の児童センターで土日祝日に相談員を配置し、各種相談業務を実施 ・家庭児童相談員、子ども家庭支援員、虐待対応専門員　計５名を配置 ・家庭児童相談システム導入委託料　9,824千円
令和 8年度（計画）	子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関する支援業務。 5歳児相談後の発達相談支援、家庭訪問用軽自動車車検年度 家庭児童相談システム保守委託料
令和 9年度（計画）	子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関する支援業務。 5歳児相談後の発達相談支援 家庭児童相談システム保守委託料

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	家庭相談への円滑な対応支援の実施件数				
		単位	件	目標値	170	170	170	170	180
				実績値	196	181	202		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	4,811	304	16,685	14,407	12,145
	(b) 県支出金	0	0	2,943	3,601	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	9,390	16,851	8,778	3,593	7,972
事業費の小計		14,201	17,155	28,406	21,601	20,117

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	児童福祉法第１０条に基づく業務を行うための事業である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	相談指導件数は増加傾向にあり、相談内容も個別化複雑化しておりニーズが高い
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	児童を取り巻く生活環境全般に関係する市民が対象となり、相談内容等は多岐にわたっている
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	家庭児童相談員を５名配置しスキルアップしながら、多岐にわたる相談に対応を実施。目標達成に向けて着実に進捗している
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	子ども家庭総合支援拠点を設置し、家庭児童相談員による相談支援業務を実施しているのは、本事業のみである
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めるためには、不可欠な事業である
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	子ども家庭総合支援拠点、家庭児童相談員の配置による相談支援業務は法令に基づくものであり、市が主体的に取り組む必要がある
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	家庭児童相談員の区分設定見直しの実施、要保護児童対策地域協議会の運営等の見直し、改善を実施しながら取り組んでいる
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は生じないが、児童虐待防止等の児童福祉の増進に資する本サービスは市が１００％負担すべきものである
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　９１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
虐待防止等の児童福祉の増進に資する業務であり、今後も上位施策達成のため必要な事業である

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030201	09	子育て支援課 家庭児童相談事業	17,155	28,406	19,628	8,778	21,601	20,117

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 利用者支援事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－100100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 利用者支援事業・利用者支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

子育て中の親子（妊婦を含む）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

利用者が必要としている子育て支援を受けられるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【利用者支援事業】

横手市児童センターにて、子育てコーディネーター（利用者支援専門員）が子育てに関する支援の窓口として、情報の提供や相談・援助をおこなう。相談者の立場に立って一緒に考え、必要な子育て支援に繋げる。また、状況に応じて不足している社会資源を開発していく。

④根拠法令	子ども子育て支援法（平成24年法律第64号）第59条第1号	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市児童センターにおいて、子育てコーディネーター（利用者支援専門員2名）が子育てに関する支援の窓口として、必要な子育て支援に繋げるため、情報提供や相談、援助を実施 R6相談援助件数：1,219件
令和 7年度（決算）	・子育て支援コーディネーター（利用者支援専門員）による子育てに関する支援の窓口の設置 ・子育て情報の提供、相談・援助を実施 ・Ｒ７相談援助件数：1,684件 ・Ｒ７子育て情報サイト「はぐはぐ」閲覧者数：47,712人
令和 8年度（計画）	・子育て支援コーディネーター（利用者支援専門員）による子育てに関する支援の窓口の設置 ・子育て情報の提供、相談・援助を実施
令和 9年度（計画）	・子育て支援コーディネーター（利用者支援専門員）による子育てに関する支援の窓口の設置 ・子育て情報の提供、相談・援助を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	設置数				
		単位	か所	目標値	市内に１か所	市内に１か所	市内に１か所	市内に１か所	市内に１か所
				実績値	市内に１か所	市内に１か所	市内に１か所		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,551	3,422	3,520	3,653	3,710
	(b) 県支出金	887	870	880	913	927
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	889	871	1,112	1,149	928
事業費の小計		5,327	5,163	5,512	5,715	5,565

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に定める地域子ども・子育て支援事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	子育てに関する相談窓口としてニーズがある。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民が対象であるが、主に、子育て中の親子（妊婦を含む）からの子育て等に関する相談がある。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	情報の提供や相談・援助活動の件数が増えており、関係機関との連絡調整が取れている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	子育て施策の充実のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	民間事業者へ委託し事業展開している事例もある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	横手市こども家庭センター、横手市児童センター、各地域局、保健センターに子育て応援窓口が設置され、必要に応じて連絡調整等を実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担はない。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

子育て施策の充実のために、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援体制の確立を更に目指し、関係機関と連携しながら事業を継続していく必要性がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030201	10	子育て支援課	5, 163	5, 512	4, 400	1, 112	5, 715	5, 565
	利用者支援事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 地域子育て支援拠点事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－110100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　地域子育て支援拠点事業・地域子育て		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

乳幼児およびその保護者（妊婦含）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

子育ての不安感等を緩和し、子どもが健やかに育てるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域子育て支援センター事業総務費】
・全市版育児講座等の開催や、育児サークルが主体となって行う「ちびっこわくわくフェスティバル」開催など。
【東部子育て支援センター事業】
・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。

④根拠法令	児童福祉法（昭和22年法律第164号）	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・親子の交流の場の提供　利用者数：27,554人 ・子育てに関する相談の実施　相談件数：199件 ・子育講座の実施417件、合同実施３回 ・ちびっこわくわくフェスティバルの実施　7/6（土）
令和 7年度（決算）	・８カ所あった地域子育て支援センターを、３カ所へ再編 ・親子の交流の場の提供　利用者数：28,484人 ・子育てに関する相談の実施　相談件数：96件 ・子育講座等の実施　387件、合同実施２回 ・ちびっこわくわくフェスティバルの実施　7/5（土）
令和 8年度（計画）	・親子の交流の場の提供 ・子育て講座の実施 ・子育て等に関する相談の実施　・ちびっこわくわくフェスティバルの実施
令和 9年度（計画）	・親子の交流の場の提供 ・子育て講座の実施 ・子育て等に関する相談の実施　・ちびっこわくわくフェスティバルの実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	利用対象年齢児童一人当たりの年間利用回数（令和3年度から）				
		単位	回	目標値	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
				実績値	5.3	6.4	7.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	6,312	8,645	10,085	10,127	10,890
	(b) 県支出金	6,312	7,418	10,085	10,077	10,890
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,345	5,958	14,168	17,259	12,608
事業費の小計		18,969	22,021	34,338	37,463	34,388

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	子ども子育て支援法（平成24年法律第64号）に定める地域子ども子育て支援事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	地域的な差はあるが、市民のニーズに見合ったサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	未就園児親子（妊婦含む）
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	Ｒ７年度から８支援センターから３支援センターへ再編し実施した。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	未就園児親子（妊婦含む）の相互交流の場として、子育て施策の充実のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	民間事業者へ委託し事業展開している事例もある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年度、利用者ニーズに合った事業の見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担はない。
項目点合計	２３	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　7×3	総合評価点　７６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

子育て施策の充実のため、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場の提供と利用者ニーズに合った事業展開を継続していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030201	11	子育て支援課	地域子育て支援センター事業総務費	11,901	1,090	464	626	632	300
2	030201	11	子育て支援課	東部子育て支援センター事業	0	16,419	9,718	6,701	17,645	15,823
3	030201	11	子育て支援課	南部子育て支援センター事業	5,237	8,573	5,084	3,489	9,601	8,680
4	030201	11	大森市民サービス課	西部子育て支援センター事業	4,883	8,256	4,904	3,352	9,585	9,585

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 放課後児童健全育成事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－120100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　放課後児童健全育成事業・放課後児童		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

保護者が昼間家庭にいない小学生

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

保護者の就労支援による仕事と子育ての両立及び児童の健全育成を図る。授業終了後及び土曜日並びに長期休暇等の学校の休業日に、家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【放課後児童健全育成事業】（学童保育「みなみ」ほか43事業）
・事業の適切な運営
・指導員に対して継続した研修の実施
・全学年の受入施設の拡充

④根拠法令	児童福祉法	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	（対象年齢：全学年、一部1～4年生） ・横手14施設（旧横手図書館に3施設を集約）、増田2施設、平鹿3施設、雄物川3施設、大森2施設、十文字2施設、山内1施設、大雄1施設　合計.28施設
令和 7年度（決算）	（対象年齢：全学年、一部1～4年生） ・横手13施設（19支援単位）、増田2施設（2支援単位）、平鹿4施設（7支援単位）、雄物川3施設（4支援単位）、大森2施設（2支援単位）、十文字3施設（6支援単位）、山内1施設（1支援単位）、大雄1施設（2支援単位）、合計29施設（43支援単位）
令和 8年度（計画）	（対象年齢：全学年、一部1～4年生）　横手13施設（20支援単位）　増田2施設（2支援単位）　平鹿4施設（7支援単位）　雄物川3施設（4支援単位）　大森2施設（2支援単位）　十文字3施設（6支援単位）　山内1施設（1支援単位）　大雄1施設（2支援単位）　合計29施設（44支援単位）
令和 9年度（計画）	（対象年齢：全学年、一部1～4年生）　横手13施設（20支援単位）　増田2施設（2支援単位）　平鹿4施設（7支援単位）　雄物川3施設（4支援単位）　大森2施設（2支援単位）　十文字3施設（6支援単位）　山内1施設（1支援単位）　大雄1施設（2支援単位）　合計29施設（44支援単位）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	放課後児童クラブ利用定員（令和3年度から）				
		単位	人	目標値	1,429	1,429	1,559	1,639	1,639
				実績値	1,412	1,444	1,559		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	74,373	111,636	126,745	135,027	135,729
	(b) 県支出金	74,373	105,721	126,744	135,027	135,727
	(c) 地方債	0	0	0	1,400	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	51,585	57,075	60,802	62,489	62,828
	(f) 一般財源	123,024	126,539	147,620	294,188	283,912
事業費の小計		323,355	400,971	461,911	628,131	618,196

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	子育て支援策は市の重点施策であり、働きながら子育てをする保護者をサポートする重要な施策である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	将来の横手市の土台を支えるこどもたちへの投資であり、市全体に交易をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	小学１～６年生及びその保護者を対象とする事業である。少子化とは言え、夫婦共働きの家庭が増えている中で利用希望の需要は多い。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	需要に対する供給体制を計画的に整備している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	将来の横手市の土台を支えるこどもたちの成長過程において、こどもたち及び保護者を支える事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	市内学童保育は業務の一部を委託している学童と直営の学童が混在。R8年度からは利用者へのサービス提供を平等に実施する観点から、全ての学童保育を委託する。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年事業の見直しを行っているものの、直営運営には限界があり、更に利用者へのサービス向上を目指しR8年度からアウトソーシングを実施予定。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	利用者には、受益者負担を求めているものであり、その負担額は他自治体と比べてサービス水準に適した内容である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手市学童保育施設整備計画に基づき、出生数や保護者のニーズを把握するなど地域の実情に合わせながら、持続可能な運営方法を見出しながら事業を展開する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	030201 12 子育て支援課 放課後児童健全育成事業総務費	7,778	1,225	0	1,225	2,489	5,000
2	030201 12 子育て支援課 放課後児童健全育成事業（横手地域）	187,403	203,022	140,639	62,383	301,735	292,356
3	030201 12 増田市民サービス課 放課後児童健全育成事業（増田地域）	15,038	18,232	13,360	4,872	29,704	29,704
4	030201 12 平鹿市民サービス課 放課後児童健全育成事業（平鹿地域）	52,290	65,151	44,909	20,242	72,030	71,694
5	030201 12 雄物川市民サービス課 放課後児童健全育成事業（雄物川地域）	41,638	40,200	27,740	12,460	49,174	44,288
6	030201 12 大森市民サービス課 放課後児童健全育成事業（大森地域）	25,568	25,982	16,884	9,098	39,509	39,509
7	030201 12 十文字市民サービス課 放課後児童健全育成事業（十文字地域）	46,391	82,439	52,758	29,681	86,710	91,810
8	030201 12 十文字市民サービス課 放課後児童健全育成事業（十文字地域）（建設）	0	0	0	0	899	0
9	030201 12 山内市民サービス課 放課後児童健全育成事業（山内地域）	7,953	8,102	5,936	2,166	15,309	16,042
10	030201 12 山内市民サービス課 放課後児童健全育成事業（山内地域）（建設）	0	0	0	0	458	0
11	030201 12 大雄市民サービス課 放課後児童健全育成事業（大雄地域）	16,912	17,558	12,065	5,493	28,966	27,793
12	030201 12 大雄市民サービス課 放課後児童健全育成事業（大雄地域）（建設）	0	0	0	0	1,148	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 保育所等支援事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友 幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－140100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 保育支援事業・延長保育事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
保護者が就労等の理由で、主に日中の家庭保育が困難になった乳幼児（未就学児）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、延長保育や病児保育、一時預かりなどの実施により、多様な保育ニーズに対応した子育てしやすい環境が整備されている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【障がい児/重度障がい児保育支援事業】障がい児を受け入れている保育所等に対し、その経費を助成する。 【延長保育事業】延長保育事業を実施している保育所等に対し、その経費を助成する。 【病児保育事業】病児保育事業を実施している保育所等に対し、その経費を助成する。 【一時預かり事業】一時預かり事業を実施している保育所等に対し、その経費を助成する。 【保育士等確保対策事業】基準を超えて保育士等を配置する保育所等に対し、人件費の一部を助成する。

④ 根拠法令	児童福祉法	⑤ 関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	保育支援事業を実施する施設へ補助金を交付し、又は委託により実施する。 ・延長保育　24施設 ・病児保育　13施設 ・障がい児保育　12施設 ・一時預かり　17施設
令和 7年度（決算）	保育支援事業を実施する施設へ補助金を交付又は委託により実施 ・延長保育　24施設 ・病児保育　15施設 ・障がい児保育　7施設 ・一時預かり　18施設 ・保育士等確保対策　16施設
令和 8年度（計画）	【障がい時保育事業】障がい児の受け入れに対応する保育所等に対し、その経費を助成する。 【保育士等確保対策事業】基準を超えて保育士等を配置する保育所等に対し、その経費を助成する。 【保育所等社会的インフラ施設維持事業】地域単位で保育所を維持するため、固定費に対する助成を行う。
令和 9年度（計画）	【障がい時保育事業】障がい児の受け入れに対応する保育所等に対し、その経費を助成する。 【保育士等確保対策事業】基準を超えて保育士等を配置する保育所等に対し、その経費を助成する。 【保育所等社会的インフラ施設維持事業】地域単位で保育所を維持するため、固定費に対する助成を行う。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	重度障がい児・中軽度障がい児の受入				
		単位	人	目標値	21	21	21	21	
				実績値	52	45	30		
	2	区分	成果	指標	保育所等における一時預かり				
		単位	人	目標値	1,364	1,364	1,364	1,364	
				実績値	445	390	542		
	3	区分	成果	指標	認定こども園における一時預かり				
		単位	人	目標値	278	278	278	278	
				実績値	465	649	275		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	39,336	41,443	41,072	47,623	47,623
	(b) 県支出金	33,716	40,120	35,304	47,623	47,623
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,225	817	662	1,800	1,800
	(f) 一般財源	35,898	42,747	49,625	86,530	90,180
事業費の小計		110,175	125,127	126,663	183,576	187,226

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	８	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	国県の要綱に基づく事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		２	事業を実施する団体への助成事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	事業を実施する施設等の利用者がサービスの対象となる事業である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	ニーズに合わせ柔軟に対応している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	子育て支援課の本来業務である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	多様なニーズに対応し、子育てしやすい環境づくりに不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	補助事業であり、行政の役目である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		３	要件を満たす施設に対し、柔軟に対応している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	国の要綱等に基づくものであり、適切な受益者負担である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：8×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		８９	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
ニーズに合わせて柔軟に対応していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 ／ 担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030203	14	子育て支援課 障がい児保育事業	8,620	6,780	0	6,780	10,000	10,000
2	030203	14	子育て支援課 一時預かり事業	38,161	28,629	20,130	8,499	41,600	41,600
3	030203	14	子育て支援課 延長保育事業	17,808	16,332	12,373	3,959	22,400	22,400
4	030203	14	子育て支援課 病児保育事業	60,538	61,422	44,535	16,887	80,676	80,676
5	030203	14	子育て支援課 保育士等確保対策事業	0	13,500	0	13,500	24,000	24,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 児童福祉施設整備資金償還支援事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－150100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　児童福祉施設整備資金償還支援事業・		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

保育所を運営する社会福祉法人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

施設整備の促進と法人財政の健全化を図るもの。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【児童福祉施設整備資金償還支援事業(債務負担)】・・法人が施設整備時に借入した資金の償還金について「横手市社会福祉法人の助成に関する条例」及び「助成基準」に基づき補助。

④根拠法令	横手市社会福祉法人の助成に関する条例	⑤関連計画	横手市教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画、子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	5法人（6施設）の元利償還金に対し、計5,920千円の償還補助を行った。
令和 7年度（決算）	5法人（6施設）の元利償還金に対し、計5,877千円の償還補助を行った。
令和 8年度（計画）	5法人（7施設）の元利償還金に対する償還補助
令和 9年度（計画）	5法人（7施設）の元利償還金に対する償還補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設整備事業費の償還を行う法人数				
		単位	法人	目標値	5	5	5	5	
				実績値	5	6	6		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,325	5,920	5,877	9,021	7,877
事業費の小計		4,325	5,920	5,877	9,021	7,877

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	保育所は公定価格制度により収支計画の制限があり、建設費用を独自で全額確保することができない制度設計になっており、その負担軽減として国庫補助金や自治体の補助金がある。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	保育所は、第二種社会福祉事業であり、公益的業務である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	子どもや保護者に限らず、地域交流拠点として地域の多くの方が関わっている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	収支計画に基づき、負担軽減につながっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	社会福祉法人に対する独自助成である。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	保育所の経営安定につながっている。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	市が主体である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	過去に見直しを行い、市の負担が軽減となるよう運用を変更し、現行制度になっている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	利子補給に留まっており、元本は法人の負担であることから、過度な補助ではないと考える。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

建設費借入の返済の負担軽減を図ることにより施設整備の円滑な実施に効果的である。安全安心な施設環境の構築は、保育の質の確保にもつながっている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030201	15	子育て支援課						
	児童福祉施設整備資金償還支援事業（債務負担）			5,920	5,877	0	5,877	9,021	7,877

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 保育所整備助成事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－170100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　保育所整備助成事業・吉田保育所整備		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
保育所を運営する社会福祉法人 認定こども園を運営する学校法人等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
施設整備の促進と法人財政の健全化を図るもの。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
私立保育所等の整備費の一部を補助。

④ 根 拠 法 令	就学前教育・保育施設整備交付金交付要綱	⑤ 関 連 計 画	横手市教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画、子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・（福）育童会が実施する「樽見内保育園」の大規模改修に係る経費の一部を補助　46,118千円
令和 7年度（決算）	・（福）相和会が実施した「三重保育所」の園舎改築に係る経費の一部を補助　353,612千円（R8.4.1～民営化）
令和 8年度（計画）	・（福）吉田愛児会が実施する「吉田保育所」の大規模改修に係る経費の一部を補助
令和 9年度（計画）	・（福）よこて愛燦会が実施する「旭保育園」の大規模改修に係る経費の一部を補助 ・（福）下鍋倉保育所が実施する「下鍋倉保育所」の大規模改修に係る経費の一部を補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	施設整備を行う保育所数				
		単位	箇所	目標値	2	1	1	2	2
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	152,440	35,707	71,650
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	199,600	26,700	57,000
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	1,572	80	37
事業費の小計		0	0	353,612	62,487	128,687

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	子どもが安心して暮らすことのできる環境づくりのため必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	特定法人への助成ではあるが、ひいては地域の子育て支援につながる事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	特定法人への助成ではあるが、ひいては地域の子育て支援につながる事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	計画的に実行しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	保育所等への助成のため、子育て支援課の業務である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	子育て環境の維持、改善のため必要である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	経済的支援のため、行政が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	年次計画を策定し、見直しを行いながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	補助対象施設の自己資金も必要である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　８１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
地域の子育て環境の維持、改善のため適宜計画を見直しながら実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030201	17 子育て支援課						
	吉田保育所整備助成事業（建設）		0	0	0	0	62,487	0
2	030201	17 子育て支援課						
	三重保育所整備助成事業（建設）		0	353,612	352,040	1,572	0	0
3	030201	17 子育て支援課						
	旭保育園整備助成事業（建設）		0	0	0	0	0	128,687
4	030201	17 子育て支援課						
	アソカ保育園整備助成事業（建設）		0	0	0	0	0	0
5	030201	17 子育て支援課						
	沼館保育園整備助成事業（建設）		0	0	0	0	0	0
6	030201	17 子育て支援課						
	ますだ保育園整備助成事業（建設）		0	0	0	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0022 保育所整備貸付事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－959800　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　保育所整備貸付事業・三重保育所整備		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
保育所を運営する社会福祉法人
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
施設整備の促進と法人財政の健全化を図るもの。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
社会福祉法人が実施する保育所整備に係る経費の一部を貸付する。 【中事業名】三重保育所整備貸付事業

④ 根 拠 法 令	横手市社会福祉法人に対する貸付金に関する条例	⑤ 関 連 計 画	横手市教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画、子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	実施なし
令和 7年度（決算）	・三重保育所の民営化法人が実施する保育所整備事業に対する20,000千円の貸付けの実施
令和 8年度（計画）	社会福祉法人に対する保育所整備に係る資金貸付　2件　40,000千円 （アソカ福祉会：アソカ保育園）、（よこて愛燦会：旭保育園）
令和 9年度（計画）	社会福祉法人に対する保育所整備に係る資金貸付　1件　20,000千円（一真会：ますだ保育園）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	資金貸付を行う保育所数				
		単位	箇所	目標値	1	1	1	2	1
				実績値	0	0	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	20,000	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	20,000	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	子どもが安心して暮らすことのできる環境づくりのため必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	特定法人への助成ではあるが、ひいては地域の子育て支援につながる事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	特定法人への助成ではあるが、ひいては地域の子育て支援につながる事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	計画的に実行しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	保育所等への助成のため、子育て支援課の業務である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	子育て環境の維持、改善のため必要である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	経済的支援のため、行政が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	年次計画を策定し、見直しを行いながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	補助対象施設の自己資金も必要である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　８１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
地域の子育て環境の維持、改善のため適宜計画を見直しながら実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030201	95	子育て支援課						
	三重保育所整備貸付事業			0	20,000	20,000	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0024 児童手当給付費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030202－010100　民生費・児童福祉費・児童手当費 児童手当給付費・児童手当給付費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

高校生年代までの児童の養育者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長が実現されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【児童手当給付】児童手当法に基づき、高校生年代終了前の児童の養育者に対し、児童手当を支給する。
支給額（児童一人当たりの月額）・３歳未満：第１子、第2子 15,000円、第3子以降　30,000円　・３歳～高校生年代：第1子、第2子　10,000円、第3子以降 30,000円

④根拠法令	児童手当法	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	児童手当の支給 延べ児童数　83,644人　975,915千円
令和 7年度（決算）	・児童手当の支給 ・延べ児童数　93,544人　1,206,935千円
令和 8年度（計画）	児童手当の支給 延見込み児童数　93,381人
令和 9年度（計画）	児童手当の支給 延見込み児童数　93,381人

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	児童手当支給延児童数				
		単位	人	目標値	87,356	84,735	79,730	94,788	
				実績値	80,295	83,644	93,544		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	604,949	722,504	969,341	995,542	967,990
	(b) 県支出金	136,646	127,858	118,797	122,048	118,282
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	136,645	125,553	118,797	122,060	118,293
事業費の小計		878,240	975,915	1,206,935	1,239,650	1,204,565

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030202	01	子育て支援課	975,915	1,206,935	1,088,138	118,797	1,239,650	1,204,565
	児童手当給付費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 子どものための教育・保育給付費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友 幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030203－010100　民生費・児童福祉費・児童措置費 子どものための教育・保育給付事業・子ど		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
教育・保育を必要とする子ども
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
保育所：日々保護者の委託を受けて、保育を必要とする乳幼児を保育。幼稚園：幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長。認定こども園：小学校就学前の子どもに対し、教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を総合的に提
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【子どものための教育・保育給付費（すこやか子育て支援事業含む）】〔負担金〕教育・保育を提供する事業所に対し、給付費を支弁する。〔扶助費〕市が保育料を徴収しない施設を利用する子どもの保護者に対し、保育料減免分を支給する。幼保無償化により保護者負担となった副食費を助成する。【子育てファミリー支援事業】〔扶助費〕平成30年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯に対して、未就学期間に一時預かり等の利用料を年額15,000円を上限に助成する。【多子世帯応援事業】〔補助金〕第3子以降の子がいる世帯の第2子以降、または多胎児に係る保育料を補助する。

④ 根拠法令	子ども・子育て支援法第27条から第30条まで	⑤ 関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	〔負担金〕教育・保育を提供する事業所へ、給付費を支弁。〔扶助費〕市が保育料を徴収しない施設を利用する子どもの保護者に対し、保育料減免分を支給。保護者が負担する副食費を、県の制度に上乗せ助成。平成30年4月2日 以降に第3子以降が生まれた世帯に対し、一時預かり利用料等を助成。〔補助金〕多子世帯へ、保育料を補助。
令和 7年度（決算）	・子どものための教育・保育給付費 施設型給付費等：市内 33施設 市外 16施設 すこやか子育て支援事業：保育料 延べ2,225人 副食費 延べ10,498人 ・子育てファミリー支援事業：延べ23人 ・多子世帯応援事業：延べ31人
令和 8年度（計画）	施設型給付費 保育所、認定こども園に対し給付費を支給する。 地域型給付費 事業所内保育事業所に対し給付費を支給する。
令和 9年度（計画）	施設型給付費 保育所、認定こども園に対し給付費を支給する。 地域型給付費 事業所内保育事業所に対し給付費を支給する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	入所児童数（市内公立保育所を除く）				
		単位	人	目標値	2,340	2,340	2,340	2,340	
				実績値	2,101	1,958	1,731		
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,386,905	1,481,752	1,573,793	1,757,415	1,747,000
	(b) 県支出金	663,096	701,980	744,510	803,892	807,522
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	54,877	50,912	418	0	0
	(f) 一般財源	776,948	723,720	753,756	965,639	948,281
事業費の小計		2,881,826	2,958,364	3,072,477	3,526,946	3,502,803

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	国の制度に基づき実施している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	就学前の乳幼児に対する給付であり、ひいては市全体に公益をもたらす。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	給付対象は特定の個人または団体である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	児童数は減少しており、適宜見直しは必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	子育て支援課で行うべき事業である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	こどものすこやかな成長に不可欠である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	行政が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国の給付費制度に基づくものである。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国の制度に基づき定められている水準である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：9×4 ＋ 8×3 ＋ 10×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
国の制度に則り実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	030203 01 子育て支援課 子どものための教育・保育給付費（すこやか子育て支援事業含む）	2,950,778	3,071,712	2,318,631	753,081	3,526,721	3,502,578
2	030203 01 子育て支援課 子育てファミリー支援事業	134	188	90	98	225	225
3	030203 01 子育て支援課 多子世帯応援事業	7,452	577	0	577	0	0
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0026 助産施設入所措置費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030203－020100　民生費・児童福祉費・児童措置費 助産施設入所措置費・助産施設入所措置費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

経済的に入院助産を受けることができない妊産婦（生活保護世帯など）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

衛生的な分娩ができ、母子ともに健康に過ごすことができている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【助産施設入所措置費】
経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦を希望により、児童福祉法第36条に定める施設（助産施設）に入所させて、助産を受けることができるようにする

④根拠法令	児童福祉法第36条	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	助産施設入所にかかる費用の助成　利用実績なし
令和 7年度（決算）	・助産施設入所にかかる費用の助成　利用実績1件 （325,330円）
令和 8年度（計画）	助産施設入所にかかる費用の助成 （２人分予算措置）
令和 9年度（計画）	助産施設入所にかかる費用の助成 （２人分予算措置）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	助産施設入所措置者数				
		単位	人	目標値	1	1	1	1	
				実績値	0	0	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	162	533	533
	(b) 県支出金	0	0	81	266	266
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	1	0
	(f) 一般財源	0	0	82	266	267
事業費の小計		0	0	325	1,066	1,066

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030203	02	子育て支援課						
	助産施設入所措置費			0	325	243	82	1,066	1,066

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0027 母子生活支援施設サンハイム費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030204－989800　民生費・児童福祉費・母子福祉費 母子生活支援施設サンハイム費・サンハイ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

配偶者のない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

配偶者のない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童が自立した生活が実現できている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【サンハイム費（債務負担）】

配偶者のない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童を入所させて保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援する

④ 根 拠 法 令	児童福祉法	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	入居者の保護及び自立促進・支援（管理費　46,062,568円） 措置世帯数見込み　6世帯
令和 7年度（決算）	・入居者の保護及び自立促進・支援（管理費　41,602,000円） ・R7年度末措置世帯数　0世帯 ・R8.3.31を以て施設廃止
令和 8年度（計画）	施設廃止のため計上しない
令和 9年度（計画）	施設廃止のため計上しない

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	施設入所世帯数				
		単位	世帯	目標値	16	16	16	15	
				実績値	7	6	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	13,129	7,310	5,375	0	0
	(b) 県支出金	6,564	5,243	2,687	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	19,804	17,610	10,388	0	0
	(f) 一般財源	6,566	11,439	23,152	0	0
事業費の小計		46,063	41,602	41,602	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030204	98	子育て支援課	41,602	41,602	18,450	23,152	0	0
	サンハイム費（債務負担）								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 児童館費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030205－010100　民生費・児童福祉費・児童福祉施設費 児童館費・児童センター費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

18歳未満のすべての子ども（その親、地域の子育て支援を支える人々も含む）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

子ども達の心身の健やかな育成（親が子育てに喜びを感じ、地域の子育て支援を支える人々も生きがいを感じる）

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手市児童センター・朝日が丘児童センター・大森子どもと老人のふれあいセンター】児童館の運営により次を実施する。
①遊びによる子どもの育成　②子どもの居場所の提供　③保護者の子育ての支援　④地域の健全育成の環境づくり
【町内会館として使用されている児童館】廃止までの維持管理。払下げに向けての建物修繕。

④根拠法令	児童福祉法（昭和22年法律第164号）	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	遊びを通した児童の健全育成を目的とし、遊びの場所や道具を提供するとともに、児童厚生員によるサポートの実施【来館者数：横手市児童センター37,301人、朝日が丘児童センター1,400人、大森子どもと老人のふれあいセンター7,662人】
令和 7年度（決算）	・児童の健全育成を目的とし、遊びの場所や道具を提供するとともに児童厚生員によるサポートを実施 【来館者数】 ・横手市児童センター35,995人 ・朝日が丘児童センター1,719人 ・大森子どもと老人のふれあいセンター8,456人
令和 8年度（計画）	遊びを通した児童の健全育成を目的とし、遊びの場所や道具を提供するとともに、児童厚生員によるサポートをおこなう。【横手市児童センター、朝日が丘児童センター、大森子どもと老人のふれあいセンター】
令和 9年度（計画）	遊びを通した児童の健全育成を目的とし、遊びの場所や道具を提供するとともに、児童厚生員によるサポートをおこなう。【横手市児童センター、朝日が丘児童センター、大森子どもと老人のふれあいセンター】

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	利用者数				
		単位	人	目標値	年間66,000人	年間66,000人	年間50,000人	年間50,000	年間50,000
				実績値	42,843	46,363	46,170		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	8,100	2,700	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	24,329	31,850	37,556	33,545	31,536
事業費の小計		24,329	31,850	45,656	36,245	31,536

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030205	01 子育て支援課	30,860	31,113	0	31,113	33,200	31,536
	児童センター費							
2	030205	01 子育て支援課	990	14,543	8,100	6,443	3,045	0
	児童センター費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0030 学童保育施設整備事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030206－010100　民生費・児童福祉費・児童福祉施設整備費 学童保育施設整備事業・学童保育		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

保護者が昼間家庭にいない小学生（当面は1～4年生とするが、需要動向を踏まえて全学年を対象とする。）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

保護者の就労支援による仕事と子育ての両立及び児童の健全育成を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学童保育施設整備事業】
事業を実施するために必要な、クラブ室等の改修や備品の購入を行う。

④ 根 拠 法 令	児童福祉法第6条の3第2項	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・学童保育施設「みなみ・みなみⅡ・みなみⅣ」を旧横手図書館へ移設し、令和7年度から開所するための工事を実施 ・十文字小学校区の待機児童解消のため、学童保育施設新設工事補助金の支出
令和 7年度（決算）	・横手北小学区学童保育施設新設工事補助金の支出
令和 8年度（計画）	・学童保育施設「よこてみなみ」の空調設備改修工事
令和 9年度（計画）	・学童保育施設「よこてみなみ」の空調設備改修工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	放課後児童クラブ利用定員（令和3年度から）				
		単位		目標値	1,429	1,429	1,559	1,639	1,639
				実績値	1,412	1,444	1,559		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	31,316	48,706	12,468	0
	(b) 県支出金	0	7,829	4,870	12,468	0
	(c) 地方債	0	16,400	91,100	13,200	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,525	27,555	5,804	39	0
事業費の小計		2,525	83,100	150,480	38,175	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	児童福祉法第6条の3第2項に定められている事業の整備事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	学童保育の利用ニーズは非常に高い。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	小学校に通学する児童。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	待機児童解消、5～6年生への利用拡大に向けて事業を進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	通年開所する事業は、本事業のみである。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	ニーズも非常に高く、子育て施策のためには不可欠である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	市内の全小学校区に展開するためには、市が設置し業務の一部をアウトソーシングすることができる。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	5～6年生への利用拡大のため支援の単位や場所の検討が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は適当である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　7×3　　総合評価点　８４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
出生数の動向や子育て世代のニーズの把握しながら、計画に基づき環境整備を進めていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030206 01 学童保育施設環境整備事業（建設）	子育て支援課	83,100	150,480	144,676	5,804	38,175	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0031 保育所費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030298－989700　民生費・児童福祉費・公立保育所費 保育所費・ますだ保育園費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
保育が必要な未就学児
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
保育が必要な児童の保育を行い、その健全な心身の発達を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【保育所費】（公立保育所3施設） 公立保育所の運営と施設の維持管理を実施する。（設備運営基準の遵守、施設の適切な環境整備、保育所保育指針による保育の提供）

④ 根 拠 法 令	児童福祉法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画、子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・保育が必要な児童の保育を行いその健全な心身の発達を図るため、公立保育所（3施設）の運営と施設の維持管理を実施 ・さんない保育園の民営化に伴う引継保育を実施
令和 7年度（決算）	・保育が必要な児童の保育を行いその健全な心身の発達を図るため、公立保育所（2施設）の運営と施設の維持管理を実施 ・三重保育所及びますだ保育園の民営化に伴う引継保育を実施
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	利用者数				
		単位	人	目標値	270	270	210	0	
				実績値	184	192	109		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	917	944	491	0	0
	(b) 県支出金	5,653	5,061	3,774	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	4,981	6,923	758	0	0
	(f) 一般財源	104,991	116,576	131,780	0	0
事業費の小計		116,542	129,504	136,803	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030298	98 増田市民サービス課	93,608	98,803	3,975	94,828	0	0
	ますだ保育園費							
2	030298	98 十文字市民サービス課	35,896	38,000	1,048	36,952	0	0
	三重保育所費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0033 不妊治療費助成事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040101－050100　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　不妊治療費助成事業・不妊治療費助成		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

不妊治療・不育症治療を行う夫婦

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

不妊治療・不育症治療を受ける夫婦の経済的・精神的負担の軽減が図られ、妊娠・出産を支援されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

一般不妊治療：不妊検査や人工授精などの一般不妊治療で医師が必要と認めた検査・治療に対し、費用の一部を助成する
特定不妊治療：体外受精や顕微鏡受精などの特定不妊治療に対し、県が実施する事業に上乗せし費用の一部を助成する
不育症治療　：染色体異常や子宮形態異常などの不育症治療で医師が必要と認めた検査・治療に対し、費用の一部を助成する

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	不妊治療費（一般・特定・不育症治療費）助成事業を実施 ・一般不妊治療費助成　49件　3,452,153円 ・特定不妊治療費助成　42件　2,439,451円 ・不育症治療費助成　1件　112,508円
令和 7年度（決算）	・不妊治療費(一般・特定・不育症治療費)助成事業 一般不妊治療費助成　59件　3,608,230円 特定不妊治療費助成　39件　1,702,920円 不育症治療費助成　1件　169,073円
令和 8年度（計画）	・一般不妊治療費助成、不育症治療費助成（年度内に支払った自己負担額上限30万円）を助成 ・特定不妊治療費助成（支払った自己負担額から県助成金を差し引いた額上限1回30万円）を助成 ・横手市隣接市町村以外で受診した際の交通費（旅費規定に準じて算出した交通費の額の8割）を助成
令和 9年度（計画）	・一般不妊治療費助成、不育症治療費助成（年度内に支払った自己負担額上限30万円）を助成 ・特定不妊治療費助成（支払った自己負担額から県助成金を差し引いた額上限1回30万円）を助成 ・横手市隣接市町村以外で受診した際の交通費（旅費規定に準じて算出した交通費の額の8割）を助成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	不妊治療費助成事業の周知回数の増加				
		単位	回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	5	3	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	2,080	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,013	6,003	5,575	8,620	14,447
事業費の小計		5,013	6,003	5,575	10,700	14,447

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	基本構想の重点目標「安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」及び「よこての未来創生事業」に関わる施策でありニーズが高い。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	人口減少・少子化対策に有効な事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	事業の性質上、対象者は限定される。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	事業目的は「不妊治療を受ける夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図り、妊娠・出産を支える」ものであり、目的達成に向け着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の重点目標「安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」に必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	事業の性質上、市が取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	「よこての未来創生事業」として助成内容を拡充したが、県事業の動向を踏まえて見直ししていく余地はあると考える。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

晩婚化の傾向が続いている現状から、ニーズの高い状況が続くと予想される。人口減少・少子化対策として有効であり、継続して実施していくことが必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	040101　05	健康推進課 不妊治療費助成事業	6,003	5,575	0	5,575	10,700	14,447

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0034 歯科保健事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040102－040100　　衛生費・保健衛生費・予防費 歯科保健事業・歯科保健事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

保育所（園）・認定こども園児、小学生、中学生の希望者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

フッ化物洗口の継続実施により永久歯のう歯り患率が低下している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【歯科保健事業】・保育所（園）・認定こども園、小学校、中学校におけるフッ化物洗口事業を実施する。
・全実施施設に巡回指導する。また、希望する施設には歯科医師または歯科衛生士による講話を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・フッ化物洗口事業 実施施設：49施設　実施者：5,250人
令和 7年度（決算）	・フッ化物洗口事業 実施施設：50施設　実施者：5,050人
令和 8年度（計画）	・歯科医師、歯科衛生士による巡回指導の実施 ・フッ化物洗口洗口液の作成 ・フッ化物洗口液を用いたフッ化物洗口の実施
令和 9年度（計画）	・歯科医師、歯科衛生士による巡回指導の実施 ・フッ化物洗口洗口液の作成 ・フッ化物洗口液を用いたフッ化物洗口の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	12歳（中学1年生）における一人平均のむし歯本数の減少				
		単位	本	目標値	0.4	0.4	0.4	0.4	0.37
				実績値	0.29	0.29	0.39		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,210	1,210	1,122	1,210	1,210
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,399	1,368	1,457	3,134	3,213
事業費の小計		2,609	2,578	2,579	4,344	4,423

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	全市の幼稚園、保育園、小中学校での実施を目指し、平成19年度に事業を開始した。現在、全保育園と認定こども園の一部の年長児、小中学校で実施している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	毎年度保護者へ希望調査を行った上で事業を実施している。令和7年度の実施率は95.7%となっており、12歳児の平均むし歯本数も着実に減少している。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	厚生労働省の見解では、フッ化物洗口は4歳から14歳までの期間に実施することで最も大きな効果があるとされており、対象者については妥当と考える。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	12歳児の1人当たりのむし歯本数は、平成30年度の0.5本から令和7年度には0.39本と年々減少しており、効果は実証されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の重点目標「安心して子どもを産みそだてられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」に必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	平成16年度から県事業で実施。平成19年度から市事業として実施している。フッ化物洗口を普及させるために、市が主体的に取り組むことが必要がある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担があれば、実施率は今よりも低いものと予想される。他の自治体でも受益者負担は求めていない。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　9×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

フッ化物洗口を実施してから12歳児の一人当たりのむし歯本数は、事業を開始した平成19年度2.5本から令和7年度0.39本に減少しており効果は実証されている。長期間実施することで高い効果が得られるとされており、継続していくことが妥当と考える。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040102	04	健康推進課	2,578	2,579	1,122	1,457	4,344	4,423
	歯科保健事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0036 妊産婦保健総務費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040104－010100　　衛生費・保健衛生費・母子保健費 妊産婦保健総務費・妊産婦保健総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

妊娠届出者（妊婦健康診査受診券発行者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

妊娠週数に応じた健康診査を確実に受診し、母子共に健康な状態で出産に臨んでいる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【妊産婦保健事業（横手・平鹿・雄物川・十文字・山内】

・妊娠届出時もしくは妊婦転入時に妊婦健康診査受診票を配布し、妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査の受診勧奨及びに妊娠、出産、育児に対し必要な保健指導をする。

・安心して妊娠、出産、育児に望めるようマタニティクラス等を実施し妊婦とその家族を支援する。

④根拠法令	母子保健法	⑤関連計画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・母子健康手帳交付　262人 ・妊産婦健康診査事業　対象者273人 ・妊婦歯科健康診査事業　受診者193人 ・マタニティクラス　8回、参加延人数174人 ・沐浴教室の実施　4回、参加延人数22人
令和 7年度（決算）	・母子健康手帳交付　248人 ・妊産婦健康診査事業　対象者268人 ・妊婦歯科健康診査事業　受診者173人 ・マタニティクラス　8回、参加延人数167人 ・沐浴教室の実施　4回、参加延人数29人
令和 8年度（計画）	・母子健康手帳の交付 ・妊産婦健康診事業、妊婦歯科健康診査事業の実施、産後ケア事業 ・マタニティクラス、沐浴教室の実施
令和 9年度（計画）	・母子健康手帳の交付 ・妊産婦健康診事業、妊婦歯科健康診査事業の実施、産後ケア事業 ・マタニティクラス、沐浴教室の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	妊婦健康診査受診率の向上				
		単位	%	目標値	98	98.5	99	99	99
				実績値	86.6	97	90.9		
	2	区分	成果	指標	妊婦歯科健診受診率の向上				
		単位	%	目標値	62	62.5	63	63	63
				実績値	57.8		64.6		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,323	1,434	1,027	3,044	4,810
	(b) 県支出金	372	386	458	1,531	1,420
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	24	165	144
	(f) 一般財源	31,404	33,571	32,814	45,943	43,986
事業費の小計		33,099	35,391	34,323	50,683	50,360

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040104	01	健康推進課	35,391	34,323	1,509	32,814	50,683	50,360
	妊産婦保健総務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0037 乳幼児保健総務費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040104－020100　衛生費・保健衛生費・母子保健費 乳幼児保健総務費・乳幼児保健総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

新生児から幼児

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

各年齢に応じた健康診査を確実に受診し、健やかな成長をしている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【乳幼児保健事業（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）】

・赤ちゃん訪問時に健康診査・健康相談アンケート綴りを配布しながら説明するとともに、対象年齢児に年間計画表を送付し周知、受診勧奨する。

・精神・運動発達を確認し、心身ともに健やかな発育・発達が遂げられるよう適切な支援を行う。

④根拠法令	母子保健法	⑤関連計画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・各種健康診査事業・健康相談事業 受診者数　4か月児：302人　7か月児：287人　10か月児：274人　12か月児：275人 1歳6か月児：302人　2歳児：339人　3歳児：349人　5歳児：419人 ・新生児聴覚検査　278人
令和 7年度（決算）	・各種健康診査事業・健康相談事業 受診者数　4か月児：241人　7か月児：255人　10か月児：254人　12か月児：292人 1歳6か月児：301人　2歳児：294人　3歳児：335人　5歳児：387人 ・新生児聴覚検査　241人
令和 8年度（計画）	各種健康診査事業（4,7,10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）の実施 ・各種健康相談事業（12か月児健康相談、5歳児健康相談）の実施 ・訪問指導、面接や電話による育児指導の実施　・新生児聴覚検査の実施
令和 9年度（計画）	各種健康診査事業（4,7,10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）の実施 ・各種健康相談事業（12か月児健康相談、5歳児健康相談）の実施 ・訪問指導、面接や電話による育児指導の実施　・新生児聴覚検査の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	乳幼児健康診査受診率の向上				
		単位	%	目標値	99	99	99	99	99
				実績値	97.8	97.3	96.4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,362	1,656	1,932	3,835	4,345
	(b) 県支出金	528	614	377	1,405	1,405
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	434	378	267	1,151	1,151
	(f) 一般財源	9,878	10,321	9,341	14,158	14,126
事業費の小計		12,202	12,969	11,917	20,549	21,027

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040104	02	健康推進課 乳幼児保健総務費	12,969	11,917	2,576	9,341	20,549	21,027

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0040 母子生活支援施設措置費（他市分）

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030204－010100　民生費・児童福祉費・母子福祉費 母子生活支援施設措置費（他市分）・母子		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
ＤＶ等の理由で、他市の母子生活支援施設に横手市措置として入所した世帯の配偶者のない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
ＤＶ等の理由で、他市の母子生活支援施設に横手市措置として入所した世帯に対し、その費用を負担することにより、配偶者のない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童が自立した生活が実現できている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
ＤＶ等の理由で、他市の母子生活支援施設に横手市措置世帯が入所した場合の費用を負担する

④ 根 拠 法 令	児童福祉法	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・入居者の保護及び自立促進・支援の実施 ・他市施設への横手市措置世帯（実績0世帯）
令和 7年度（決算）	・入居者の保護及び自立促進・支援の実施 ・他市施設への横手市措置世帯（実績1世帯）
令和 8年度（計画）	入居者の保護及び自立促進・支援の実施 他市施設への横手市措置世帯数2世帯分
令和 9年度（計画）	入居者の保護及び自立促進・支援の実施 他市施設への横手市措置世帯数2世帯分

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	他市への措置者数				
		単位	世帯	目標値	1	1	1		
				実績値	1	0	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,005	0	2,151	8,685	3,058
	(b) 県支出金	1,502	0	1,075	4,342	1,529
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	1	0
	(f) 一般財源	1,503	0	1,076	4,343	1,529
事業費の小計		6,010	0	4,302	17,371	6,116

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030204	01 子育て支援課						
	母子生活支援施設措置費（他市分）		0	4,302	3,226	1,076	17,371	6,116

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0044 保育対策総合支援事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－160100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　保育対策総合支援事業・保育補助者雇		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

事業を実施する私立の教育・保育施設及びその保育士等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

事業を実施する保育所等における保育士の業務負担が軽減され、保育業務に集中できる体制が整えられており、引いては保育士の離職防止につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【保育補助者雇上強化事業】・保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育所等に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用を補助。【保育環境改善等事業】・児童の睡眠中の事故防止対策に必要な備品等の購入費用やリース費用の一部を補助。【医療的ケア児保育支援事業】・私立保育所等における医療的ケア児の受け入れ体制整備に係る費用の一部を補助。

④根拠法令	国の要綱	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・保育補助者雇上強化事業　3施設 ・保育環境改善等事業　2施設 ・医療的ケア児保育支援事業　2施設
令和 7年度（決算）	・保育補助者雇上強化事業　4施設 ・保育環境改善等事業　実績なし ・医療的ケア児保育支援事業　1施設 ・保育所等業務効率化推進事業　2施設 ・過疎地域における保育機能確保・強化のためのモデル事業　2施設
令和 8年度（計画）	・保育補助者雇上強化事業　6施設 ・保育環境改善等事業　1施設 ・医療的ケア児保育支援事業　1施設
令和 9年度（計画）	・保育補助者雇上強化事業　6施設 ・保育環境改善等事業　1施設 ・医療的ケア児保育支援事業　1施設

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	保育補助者雇上強化事業による補助金の交付				
		単位	施設	目標値	11	11	12	12	
				実績値	4	3	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	10,623	10,863	15,529	14,864	16,114
	(b) 県支出金	564	1,225	1,237	1,768	1,768
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,831	1,743	2,363	5,544	6,169
事業費の小計		13,018	13,831	19,129	22,176	24,051

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	国県の要綱に基づく事業である。
		目的の妥当性	1点：個人又は団体等、特定範囲に公益をもたらす事業である。
		1	事業実施施設に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	事業実施施設が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	補助金の交付を希望する施設に交付している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	子育て支援課が行うべき事業である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	保育環境の改善のため必要である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	行政が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国県の要綱に基づく事業である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっている。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		８１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
国県の制度に則り実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030201	16 子育て支援課						
	保育補助者雇上強化事業		5,508	9,816	8,798	1,018	15,104	15,104
2	030201	16 子育て支援課						
	医療的ケア児保育支援事業		7,350	4,947	3,710	1,237	7,072	7,072
3	030201	16 子育て支援課						
	保育所等業務効率化推進事業		973	973	865	108	0	1,500
4	030201	16 子育て支援課						
	保育環境改善等事業		0	0	0	0	0	375
5	030201	16 子育て支援課						
	過疎地域における保育機能確保・強化のためのモデル事業		0	3,393	3,393	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0049 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友 幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－220100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費 地方創生臨時交付金事業・保育施設等		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
①施設型給付等を受けている私立の保育所、認定こども園及び地域型保育事業者 ②私立保育所、認定こども園及び施設型給付を受けていない認可外保育施設
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
①私立保育所等へ支援し、事業者の経営安定を図る。 ②私立保育所等へ支援し、従来どおりの栄養バランスや量を保った給食の実施の確保と給食費の保護者負担の軽減を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【保育所等光熱費価格高騰対策事業】①物価高騰に伴う保育施設等の光熱費の負担軽減を図るため、光熱費の助成。 【保育所等給食費価格高騰対策事業】②従来どおりの栄養バランスや量を保った給食の実施の確保と給食費の保護者負担の軽減を図るため、給食費（副食費）の価格高騰分の助成。 【子どもの成長応援給付金給付事業】コロナ禍において物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対する経済的支援を実施。

④ 根拠法令	県の要綱	⑤ 関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・保育所等給食費価格高騰対策事業　29施設 ・令和５年度の「子どもの成長応援給付金給付事業」の繰越事業分 支給件数　支給対象児童数21人 ※R6は保育所等光熱費価格高騰対策事業はなし
令和 7年度（決算）	・保育所等給食費価格高騰対策事業　32施設
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	保育所等給食費価格高騰対策事業による補助金の交付				
		単位	施設	目標値	31	31	32		
				実績値	29	29	32		
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	8,176	0	4,698	0	0
	(b) 県支出金	8,176	3,916	4,698	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	3,916	0	0	0
事業費の小計		16,352	7,832	9,396	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：0×4　＋　0×3　＋　0×3　　総合評価点　0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030201	22 子育て支援課	7,832	9,396	9,396	0	0	0
	保育施設等物価高騰対策事業							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0054 妊婦のための支援給付交付金事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040104－030100　　衛生費・保健衛生費・母子保健費 妊婦のための支援給付交付金事業・妊婦の		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

妊娠届出を行った妊婦及び低年齢期の子育て家庭

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【妊婦のための支援給付交付金事業】
出産・育児等の見通しを立てるための面談など、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる妊婦等包括相談支援を実施する。併せて出産育児関連用品の購入や子育て支援サービス利用の負担軽減を図る経済的支援（妊娠届出時５万円、出生届出時や妊娠している子どもの人数等の届出時（流産・死産を含む）５万円）を一体として実施する。

④根拠法令	子ども・子育て支援法	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・出産応援給付金(妊娠届出時5万円)　：265名　13,250,000円 ・子育て応援給付金(出生届出時7万円)：290名　20,300,000円
令和 7年度（決算）	・子育て応援給付金(出生届出時7万円)※経過措置分 18名　1,260千円 ・妊婦支援給付金(1回目)（妊婦給付認定を受けた妊婦1人につき5万円） 269名　13,450千円 ・妊婦支援給付金(2回目)（妊婦給付認定を受けた方が届け出たお子さん(胎児)1人につき7万円） 254名　17,780千円
令和 8年度（計画）	・妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる妊婦等包括相談支援と出産育児関連用品の購入や子育て支援サービス利用の負担軽減を図る経済的支援（妊娠届出時５万円、出生届出時や妊娠している子どもの人数等の届出時（流産・死産を含む）７万円）を一体として実施
令和 9年度（計画）	・妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる妊婦等包括相談支援と出産育児関連用品の購入や子育て支援サービス利用の負担軽減を図る経済的支援（妊娠届出時５万円、出生届出時や妊娠している子どもの人数等の届出時（流産・死産を含む）７万円）を一体として実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	出生数				
		単位		目標値	340	350	360	370	370
				実績値	293	283	244		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	49,584	19,713	27,538	35,115	36,147
	(b) 県支出金	22,958	10,409	5,631	7,057	7,273
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	7,237	7,817	194	61	76
事業費の小計		79,779	37,939	33,363	42,233	43,496

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	子ども・子育て支援法第１０条の２で法定事業として全国一律に実施されるものである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	少子化対策として国を挙げて取り組む事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	事業の性質上、対象は妥当である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗しているが、出生数の推移について複数年で検証する必要がある。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	類似する事業はあるが、国で創設した事業であるため、現段階での市独自の統廃合の余地はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の重点目標「安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」実現に貢献する事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	子ども・子育て支援法第１０条の２で法定事業として全国一律に実施されるものである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国で創設した事業であるため、現段階での市独自の見直し・改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は妥当である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　10×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

国で創設した事業であり、基本構想の基本目標「ともに支え合い生き生きと暮らせるまちづくり」実現に貢献する事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	040104 03	健康推進課 妊婦のための支援給付交付金事業	37,939	32,659	32,465	194	42,233	43,496
2	040104 98	健康推進課 出産・子育て応援交付金事業	0	704	704	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0055 母子保健事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040104－040100　衛生費・保健衛生費・母子保健費 母子保健事業・小児予防接種電子化事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

保護者、医療機関

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

簡単・安全な小児予防接種体制の構築

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小児予防接種電子化事業】電子母子健康手帳及び小児予防接種電子化サービスの提供

④根拠法令		⑤関連計画	
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	電子母子健康手帳および小児予防接種電子化サービスの運用管理 保護者利用率　34.6% 医療機関利用率　24.3% 接種率に占める割合　42.7%
令和 7年度（決算）	母子手帳アプリおよび小児予防接種電子化サービスの運用管理 保護者利用率　37.7% 医療機関導入率　34.2% 接種数に占める割合　85.0%
令和 8年度（計画）	電子母子健康手帳および小児予防接種電子化サービスの運用管理 ・協力医療機関の拡大に向けた協力要請および医療機関における電子予診票、電子請求の利用 ・保護者への利用勧奨および保護者における母子健康手帳アプリ、電子予診票の利用
令和 9年度（計画）	電子母子健康手帳および小児予防接種電子化サービスの運用管理 ・協力医療機関の拡大に向けた協力要請および医療機関における電子予診票、電子請求の利用 ・保護者への利用勧奨および保護者における母子健康手帳アプリ、電子予診票の利用

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	保護者利用率				
		単位	%	目標値	30	40	50	50	50
				実績値	25.3	34.6	37.7		
	2	区分	成果	指標	医療機関導入率				
		単位	%	目標値	30	40	50	50	50
				実績値	23.8		34.2		
	3	区分	成果	指標	接種数に占める割合				
		単位	%	目標値		40	50	50	50
				実績値			85		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	7,190	1,284	1,475	1,308	1,311
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	1,276	2,094	1,311	1,312
事業費の小計		7,190	2,560	3,569	2,619	2,623

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	子育て支援策の一事業として優先的に実施すべきである。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	子育て世帯および市内医療機関に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	１６歳までの子をもつ利用登録を完了した市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	小児予防接種実施数の多い医療機関でのサービス導入が、利用者の利便性向上につながることから、接種数に占める割合を新たに目標値として設定する必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間が提供するサービスを利用し、市が主体的に取り組む必要性が高い事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	事業内容を随時見直し・改善しており、都度、最適な対応を実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

サービス導入医療機関の拡大による利便性向上と利用者拡大を図る。また、国で推進している予防接種事務デジタル化に伴い、子どものみならず大人にも拡大していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040104	04 健康推進課	2,560	3,569	1,475	2,094	2,619	2,623
	小児予防接種電子化事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0064 児童遊園維持管理費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－130100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　児童遊園維持管理費・児童遊園維持管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	－	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

児童遊園等を利用する市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

遊具の安全性が確保・維持され、安全に多くの市民（児童）が遊具を利用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【児童遊園地維持管理事業】
・定期点検の実施と破損、劣化遊具の修繕または撤去を実施する。

④根拠法令	標準的児童遊園設置運営要綱	⑤関連計画	横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	定期点検（横手・大森・山内地域）及び修繕・撤去の実施
令和 7年度（決算）	・定期点検（平鹿・雄物川・十文字地域）の実施　495千円 ・遊具点検から危険性が高く使用不可となった遊具の撤去等を実施　548千円
令和 8年度（計画）	・定期点検（横手、大森、山内地域）及び修繕・撤去の実施 ・前年度の点検結果を元に地域団体と調整を行った箇所の修繕・撤去の実施
令和 9年度（計画）	・定期点検（平鹿、雄物川、十文字地域）及び修繕・撤去の実施 ・前年度の点検結果を元に地域団体と調整を行った箇所の修繕・撤去の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	定期点検に基づき適切に修繕・撤去がされている（点検地区箇所）				
		単位	箇所	目標値	59	58	59	58	59
				実績値	58	54	53		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,566	3,103	1,043	2,491	2,000
事業費の小計		1,566	3,103	1,043	2,491	2,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030201 13 子育て支援課 児童遊園維持管理費	1,398	1,043	0	1,043	1,000	2,000
2	030201 13 子育て支援課 児童遊園維持管理費（建設）	1,705	0	0	0	1,491	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0067 物価高対応子育て応援手当給付費

部・担当課	健康福祉部・子育て支援課	担当課長氏名	大友　幸憲
予算科目事業	1 一般会計－030201－210100　民生費・児童福祉費・児童福祉総務費　物価高対応子育て応援手当給付費・物		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	―	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
児童手当受給者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
長期化する物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援し、こどもたちの健やかな成長を応援する。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
児童手当受給者に対して、物価高対応子育て応援手当として、児童手当の支給対象児童一人あたり2万円を支給する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	・物価高対応子育て応援手当の支給 （扶助費）児童数　9,159人×20千円　183,180千円 （事務費）1,557千円
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	対象者への給付				
		単位	%	目標値			100		
				実績値			9,159		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	184,674	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	63	0	0
事業費の小計		0	0	184,737	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030201	21 子育て支援課						
	物価高対応子育て応援手当給付費		0	184,737	184,674	63	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 高額介護合算療養費

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－030106－020100　民生費・社会福祉費・医療給付費 高額介護合算療養費・高額介護合算療養費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

高額介護合算療養費の中で、受給者が支払った自己負担金がある障がい者。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

必要な医療を適切に受けることができるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【高額介護合算療養給付金】
市が受領した高額介護合算療養費の中で、受給者が受給すべき金額を受給者に返還する。

④根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市が受領した高額介護合算療養費の中で、受給者が受給すべき金額を受給者に返還する。 ・返還額　24件　320,689円
令和 7年度（決算）	市が受領した高額介護合算療養費の中で、受給者が受給すべき金額を受給者に返還する。 ・返還額　17件　442,537円
令和 8年度（計画）	市が受領した高額介護合算療養費の中で、受給者が受給すべき金額を受給者に返還
令和 9年度（計画）	市が受領した高額介護合算療養費の中で、受給者が受給すべき金額を受給者に返還

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	437	321	443	800	800
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		437	321	443	800	800

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030106	02 国保年金課	321	443	443	0	800	800
	高額介護合算療養費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0002 国民健康保険特別会計繰出金

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－030107－010100　民生費・社会福祉費・国民健康保険費　国民健康保険特別会計繰出金・国民健		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

国保被保険者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

国保財政の安定化と健全な事業運営を維持しつつ、被保険者の負担を軽減した国民健康保険制度を運用する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【国民健康保険特別会計繰出金】
法令に定められた繰出金と市の政策判断での繰出金を実施する。

④根拠法令	国民健康保険法（72条の3、72条の4　他）	⑤関連計画	国民健康保険事業運営方針、持続可能な医療保険制度への保健医療2035提言書
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	一般会計から国保特別会計への繰出 ・保険基盤安定制度:保険税軽減分291,698千円 ・保険者支援分166,607千円　・未就学児均等割軽減分1,910千円 ・産前産後保険税免除分578千円　・出産育児一時金3,472千円 ・国保財政安定化支援事業分151,543千円　・事務費145,442千円
令和 7年度（決算）	一般会計から国保特別会計への繰出 ・保険基盤安定制度:保険税軽減分255,231千円 ・保険者支援分173,509千円　・未就学児均等割軽減分1,709千円 ・産前産後保険税免除分263千円　・出産育児一時金3,391千円 ・国保財政安定化支援事業分95,343千円　・事務費147,739千円
令和 8年度（計画）	一般会計から国保特別会計への繰出金 ①保険基盤安定繰出金（保険税軽減分、保険者支援分、未就学児均等割保険税軽減分、産前産後保険税免除分）、 ②財政安定化支援事業繰出金、③事務費繰出金
令和 9年度（計画）	一般会計から国保特別会計への繰出金 ①保険基盤安定繰出金（保険税軽減分、保険者支援分、未就学児均等割保険税軽減分、産前産後保険税免除分）、 ②財政安定化支援事業繰出金、③事務費繰出金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	－	指標	国保制度改正や市の政策等を踏まえ、国保財政健全化計画に基づいた繰出しとする。				
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	87,946	84,547	87,741	86,284	86,284
	(b) 県支出金	283,784	261,048	235,293	231,783	231,783
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	429,028	415,655	354,151	366,498	366,498
事業費の小計		800,758	761,250	677,185	684,565	684,565

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030107 / 01 / 国保年金課 国民健康保険特別会計繰出金	761,250	677,185	323,034	354,151	684,565	684,565

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 国民健康保険高額療養費貸付事業

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－030107－020100　民生費・社会福祉費・国民健康保険費　国民健康保険高額療養費貸付事業・国		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

医療費の自己負担分の一時的な立替を申請する国保被保険者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

被保険者の一時的な経済的負担を軽減し、被保険者世帯の生活安定を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【国民健康保険高額療養費貸付事業】
高額療養費の支給を受けるまでの間、医療機関への支払いのために資金を貸付する制度
高額療養費の限度額適用認定証の普及により貸付実績は殆どないと想定されるが、国保の制度上必要な予算措置を行う。

④根拠法令	横手市高額医療費支払資金貸付規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市のホームページ等で被保険者へお知らせしている。 これまでの実績等により事業費を見込んでおり、当該年度の実績は無いが、制度上は必要である。
令和 7年度（決算）	市のホームページ等で被保険者へお知らせしている。 これまでの実績等により事業費を見込んでおり、当該年度の実績は無いが、制度上は必要である。
令和 8年度（計画）	・市のホームページ等で被保険者へ周知 ・高額療養費の9割を限度として貸付 ・実績は殆ど無いと想定されるが、制度上必要な予算措置を図る
令和 9年度（計画）	・市のホームページ等で被保険者へ周知 ・高額療養費の9割を限度として貸付 ・実績は殆ど無いと想定されるが、制度上必要な予算措置を図る

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	規則に基づいた貸付の実施				
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	125	125
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	0	125	125

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030107	02 国保年金課						
	国民健康保険高額療養費貸付事業		0	0	0	0	125	125

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 保健衛生事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040101－020100　　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　保健衛生事業・保健衛生事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・市民の健康増進を図るための施策が企画調整されている
・狂犬病の発生が防止されている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【保健衛生管理費（横手・増田・平鹿・雄物川・大森）】
・所管事業の推進、調整・関係機関との連絡、調整
・職員研修の推進　・犬の全頭登録および狂犬病予防接種の推進
・がん患者医療用補正具購入にかかる費用の一部助成　・軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成

④根拠法令	狂犬病予防法第４条、第５条、第６条	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・会計年度任用職員報酬、勤勉手当3人分　7,662千円 ・各研修会参加旅費7人分　437千円 ・犬登録事務獣医師会交付事務代行委託料：登録事務52件、注射済票交付事務1,568件　374千円 ・がん患者医療用補正具購入費助成32件　914千円 ・軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成161件　8,050千円
令和 7年度（決算）	・会計年度任用職員報酬、勤勉手当3人分　8,266千円 ・各研修会参加旅費5人分　298千円 ・犬登録事務獣医師会交付事務代行委託料：登録事務41件、注射済票交付事務1,507件　460千円 ・がん患者医療用補正具購入費助成 41件　1,168千円 ・軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成156件　7,800千円
令和 8年度（計画）	・所管事業推進のための人件費・職員研修の推進・公用車維持管理・関係機関との連絡、調整 ・犬の全頭登録および狂犬病予防接種の推進・がん患者医療用補正具購入費用費助成 ・軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成
令和 9年度（計画）	・所管事業推進のための人件費・職員研修の推進・公用車維持管理・関係機関との連絡、調整 ・犬の全頭登録および狂犬病予防接種の推進・がん患者医療用補正具購入費用費助成 ・軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	保健師等資質向上研修の増加				
		単位	人	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	4	7	12		
	2	区分	成果	指標	狂犬病予防注射実施率の向上				
		単位	%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	77.4	72.6	74.5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	143	0	150	102
	(b) 県支出金	427	537	658	725	721
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	891	1,399	823	1,119	975
	(e) その他特定財源	252	182	239	219	219
	(f) 一般財源	91,679	24,562	27,130	81,669	28,017
事業費の小計		93,249	26,823	28,850	83,882	30,034

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	犬の原簿登録、鑑札交付、注射済票交付などは狂犬病予防法に定められた業務である。 がん患者医療用補正具購入に対する助成は、県要綱で定められ市も同額助成している事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	狂犬病予防は市民の健康を確保する上で必要な事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	狂犬病予防やがん患者医療用補正具助成の他、健康増進の企画調整に係る経費であり全市民が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	各種職員研修については、大きく目標を上回ることができた。狂犬病予防注射実施率は僅かに向上した。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	狂犬病の発生や蔓延の防止など、市民の健康確保に必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	狂犬病予防法に定められており、市が実施するべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	狂犬病予防注射実施率については、目標達成に向けて改善の余地はあると考える。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	狂犬病予防のため、当面は現在の自己負担を続ける予定である。 がん患者医療用補正具助成及び軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成については、適切な助成額であり自己負担も適切と考える。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

犬の原簿登録、鑑札交付、注射済票交付などは狂犬病予防法に定められた業務であり継続実施する必要がある。
がん患者医療用補正具助成は、がん患者の経済的・精神的負担を軽減に向けて継続実施するべき事業と考える。また軽度・中等程度難聴者補聴器購入費助成についても、コミュニケーション能力の向上や積極的な社会参加を支援し、うつ病や認知症リスクの低減に向けて継続実施するべき事業と考える。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040101 02 保健衛生事業	健康推進課	18,944	21,180	1,720	19,460	75,702	21,786
2	040101 02 保健衛生事業（増田地域）	増田市民サービス課	2,667	2,822	0	2,822	2,952	2,952
3	040101 02 保健衛生事業（平鹿地域）	平鹿市民サービス課	3,920	4,239	0	4,239	4,234	4,147
4	040101 02 保健衛生事業（雄物川地域）	雄物川市民サービス課	55	90	0	90	94	249
5	040101 02 保健衛生事業（大森地域）	大森市民サービス課	1,237	519	0	519	900	900

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 医療体制整備事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040101－979600　　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　医療体制整備事業・救急告示病院救急		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内医療機関、救急医療対策協議会

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民に対する、休日診療、救急医療が充実向上し、救急医療知識を普及啓発している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・休日当番医の実施事業及び地域住民に対する救急医療知識の普及啓蒙事業に係る経費の一部補助。
・救急告示病院の機能を有効活用し、その運営を効率的に進めるための経費を一部補助する。

④根拠法令	救急医療対策事業実施要綱（昭和52年7月6日厚生省発医第692号）	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・救急告示病院救急医療運営費補助金交付　22,000,000円 ・在宅当番医制運営事業補助金交付 横手市救急医療対策協議会　3,440,644円 ・病院群輪番制病院運営事業費補助金交付 平鹿総合病院：20,217,750円　市立横手病院：5,733,900円　市立大森病院：1,753,950円
令和 7年度（決算）	・救急告示病院救急医療運営費交付　22,000,000円 ・在宅当番医制運営事業補助金交付　3,455,000円 ・病院群輪番制病院運営事業費補助金交付 平鹿総合病院：20,281,350円　市立横手病院：5,733,900円　市立大森病院：1,817,550円
令和 8年度（計画）	・救急告示病院救急医療運営費交付 ・在宅当番医制運営事業補助金交付 ・病院群輪番制病院運営事業費補助金交付
令和 9年度（計画）	・救急告示病院救急医療運営費交付 ・在宅当番医制運営事業補助金交付 ・病院群輪番制病院運営事業費補助金交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	休日又は夜間における二次医療の受入実施率の向上				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	92.8	94.7	97.7		
	2	区分	成果	指標	救急搬送件数時に医療機関受入紹介が1件で終了した割合				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	88.5	90.7	97.7		
	3	区分	成果	指標	1日あたりの従事医師率の向上				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100		100		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	53,246	53,147	53,288	0	53,438
事業費の小計		53,246	53,147	53,288	0	53,438

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	休日診療や救急医療に係る経費への補助金であり、市民の健康保持のため重要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	休日診療や救急医療を維持するためには必要であり、市全体の健康の維持に貢献する事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	休日や夜間の2次医療の確保に有効であり、医療機関や消防と連携して目標達成に向け取り組んでいく。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市民の健康保持のため、市が取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	医師会や市内3病院の協力により、効果的に実施している事業である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
休日診療や救急医療は、市民の生命を守るため継続していくべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040101	97 健康推進課	22,000	22,000	0	22,000	0	22,000
	救急告示病院救急医療事業							
2	040101	97 健康推進課	3,441	3,455	0	3,455	0	3,605
	在宅当番医制事業							
3	040101	97 健康推進課	27,706	27,833	0	27,833	0	27,833
	病院群輪番制事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0006 予防接種事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課			担当課長氏名	小國　晶		
予算科目事業	1 一般会計－040102－010100　　衛生費・保健衛生費・予防費 予防接種事業・予防接種事業						
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

定期予防接種対象者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

感染の予防、発病の予防、重症化の予防、感染症蔓延の予防ができる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【予防接種事業（横手・増田・大森・十文字）】
・予防接種法に基づく定期接種を実施する。
・予防接種制度の概要、予防接種の有効性、安全性及び副反応その他の接種に関する注意事項については、十分な周知を図る。
・予防接種実施状況を把握し、標準的な時期に接種できるよう接種勧奨を実施する。

④根拠法令	予防接種法	⑤関連計画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	各種定期予防接種事業実施 ・A類疾患：接種延べ人数9,996人（うち子宮頸がんワクチン接種キャッチアップ事業629人） ・B類疾患：接種延べ人数20,174人 ・風しん抗体検査　226人
令和 7年度（決算）	・各種定期予防接種事業実施 ①A類疾患：接種延べ人数 7,307人（うち子宮頸がんワクチン接種キャッチアップ事業275人） ②B類疾患：接種延べ人数21,648人 ③風しん抗体検査：実施なし（令和７年３月で終了）
令和 8年度（計画）	各種定期予防接種事業実施①A類疾患（B型肝炎、Hib感染症、小児肺炎球菌、五種混合、四種混合、二種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症、ロタウィルス）②B類疾患（高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、新型コロナウイルス、帯状疱疹）
令和 9年度（計画）	各種定期予防接種事業実施①A類疾患（B型肝炎、Hib感染症、小児肺炎球菌、五種混合、四種混合、二種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症、ロタウィルス）②B類疾患（高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、新型コロナウイルス、帯状疱疹）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	定期予防接種接種率の向上				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	60	58	72.4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	11,713	74,956	46,007	3,600	3,000
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	4,140	4,186	5,000	0
	(f) 一般財源	133,775	214,103	175,876	248,828	332,627
事業費の小計		145,488	293,199	226,069	257,428	335,627

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	予防接種法に基づく、定期予防接種に係る経費である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	予防接種法に基づき実施する事業であり、市民の健康保持のため必要な事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	予防接種は接種対象者、接種時期が定められており、事業の性質上妥当である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	接種対象者へ繰り返し周知・啓発を行うなど、接種率向上に向け取り組んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の基本目票「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	予防接種法により市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国の見直しに対応して実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	予防接種法により市が行うべき事業であり、経費についても市が負担するべき事業である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　９３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

予防接種法に基づく定期予防接種に係る経費であり、感染、発症、重症化、蔓延の予防を目的としている。新型コロナウイルス感染症の発生、流行もあるため、感染症予防の重要性を市民の皆様に再認識していただき、定期予防接種の接種率向上につなげていきたい。また、予防接種事務デジタル化を控え、今後も接種率の向上を図っていきたい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040102	01	健康推進課 予防接種事業	293, 199	226, 069	50, 193	175, 876	257, 428	335, 627

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0007 結核予防事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040102－030100　　衛生費・保健衛生費・予防費 結核予防事業・結核予防事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

65歳以上の市民及び寝たきり者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

結核発症予防、結核の早期発見・早期治療が行われ、結核患者数が減少している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【結核予防事業（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）】
・健（検）診調査に基づき個別に受診勧奨をする。寝たきり者ショートステイ利用者については施設と連携し胸部X線撮影を実施。
・胸部X線撮影が不可能な方には喀痰検査を行う。
・結核検診の受診勧奨の役目を「結核予防婦人会」の組織が担っている。

④ 根 拠 法 令	感染症法第53条の2	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・結核検診の実施 結核検診（65歳以上）対象者：27,126人　受診者：8887人　受診率：32.8% ・横手市結核予防婦人会　横手支部補助金 40,000円（複十字募金活動等）
令和 7年度（決算）	・結核検診の実施 結核検診（65歳以上）対象者：26,369人　受診者：8715人　受診率：33.1% ・横手市結核予防婦人会　横手支部補助金 70,000円（複十字募金活動等）
令和 8年度（計画）	・結核検診の実施 ・横手市結核予防婦人会　各支部補助金
令和 9年度（計画）	・結核検診の実施 ・横手市結核予防婦人会　各支部補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	結核検診受診率の向上				
		単位	%	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	32.9	32.8	33.1		
	2	区分	活動	指標					
		単位	%	目標値					
				実績値					
	3	区分	活動	指標	結核予防婦人会会員数の維持				
		単位	人	目標値	2,800	2,800	2,500	2,500	2,200
				実績値	1,444	1,369	1,302		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	11,290	12,429	12,298	14,212	13,061
事業費の小計		11,290	12,429	12,298	14,212	13,061

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により市が行うべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	感染症予防は市民の健康保持のために必要な事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	結核検診対象者は65歳以上と定められていることから妥当である。
②事業の有効性	6	目標の達成度	1点：目標の達成が困難であり、目標値の修正が必要である。
		1	結核検診受診率は横ばい傾向にあるが、今後も目標達成に向け勧奨していく。 結核予防婦人会の会員数は、会員の高齢化による退会により減少がみられるが、新規会員の拡大を図る。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国の見直しに合わせて、見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	法律に基づく事業であり、市が経費を負担するべきである。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　6×3　＋　10×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
感染症予防の重要性を市民に再認識してもらい、検診受診率の向上を推進する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040102	03 健康推進課	11,937	11,823	0	11,823	13,739	12,569
	結核予防事業							
2	040102	03 増田市民サービス課	100	100	0	100	100	100
	結核予防事業（増田地域）							
3	040102	03 平鹿市民サービス課	130	113	0	113	118	130
	結核予防事業（平鹿地域）							
4	040102	03 雄物川市民サービス課	95	95	0	95	95	95
	結核予防事業（雄物川地域）							
5	040102	03 大森市民サービス課	30	30	0	30	30	30
	結核予防事業（大森地域）							
6	040102	03 山内市民サービス課	82	82	0	82	75	82
	結核予防事業（山内地域）							
7	040102	03 大雄市民サービス課	55	55	0	55	55	55
	結核予防事業（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 生活習慣病予防健診事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040102－050100　衛生費・保健衛生費・予防費 生活習慣病予防健診事業・生活習慣病予防健診		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

１９歳～３９歳の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活習慣病の早期発見、早期治療が行われ、生活指導を受けて重症化を防いでいる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生活習慣病予防健診事業】
・問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査の実施。健診委託機関は平鹿総合病院および秋田県総合保健事業で、集団健診で行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活習慣病健診の実施 ・受診者　552人
令和 7年度（決算）	生活習慣病健診の実施 ・受診者　528人
令和 8年度（計画）	生活習慣病予防健診の実施
令和 9年度（計画）	生活習慣病予防健診の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	検診申込者の受診率向上				
		単位	%	目標値	48	49	50	51	52
				実績値	64.1	67	70.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,230	1,159	1,109	1,070	1,256
	(f) 一般財源	913	867	893	1,257	1,116
事業費の小計		2,143	2,026	2,002	2,327	2,372

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	８	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		３	19歳から39歳までの若い世代の生活習慣病予防のための事業であり、基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	若い世代からの健（検）診受診は市民の健康保持のために重要であり、ひいては市全体に公益をもたらすものと考える。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	19歳から39歳までが対象であるが、若い世代の生活習慣病の早期発見・早期治療の観点から妥当と考える。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	健診申込者の受診率は向上しており目標値を上回った。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	８	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		３	市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	健診内容については、継続して検討していくものとする。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	受益者負担については、近隣や県内市町村の動向を踏まえながら見直し・検討していくものとする。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　8×3	総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

少子高齢化が加速度的に進行する中においては、若い世代からの生活習慣病の早期発見・早期治療が重要であり、今後も継続して実施していくべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040102 05 生活習慣病予防健診事業	健康推進課	2,026	2,002	1,109	893	2,327	2,372

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 健康の駅推進事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－030100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 健康の駅推進事業・健康の駅推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

子どもから高齢者まで全ての市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

健康寿命の延伸を目指し、心身ともに健康な市民が増えていくことを目的に、生活習慣病（メタボリックシンドローム）予防及び加齢と廃用の悪循環（ロコモティブシンドローム）予防を重点策として市民相互の親睦を図りながら健康づくりを支援されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【健康の駅推進事業（建設含む）】

・市内に展開する健康の駅において、安心安全な子育て環境づくりから高齢期における生涯現役で活力あふれる第二の人生までそれぞれのライフステージにおける「健康」を追求し、活気ある健康交流拠点を目指す。

・独自体操「健康の駅よこてらくらく体操」の普及に努め、安心で効果的な健康づくりが実践できるための支援を行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども子育て支援事業計画 第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活習慣病予防及び介護予防に有効な運動、こころの健康維持等市民の健康を総合的に継続支援する事業を実施 ・大規模3ヶ所延べ人数19,719人・中規模23ヶ所延べ人数2,862人・小規模67ヶ所延べ人数18,475人・プロジェクト延べ人数 計1,330人（内訳：高血圧対策事業2人、特定保健指導89人、地域巡回型健康の駅事業360人、若者支援事業44人、いきいきサロン支援事業49ヶ所539人、子どもの健康づくり事業134人、企業型健康づくり事業137人、子育て支援事業25人）・単発的支援実利用者数108人・学生実習、講義12回・筋トレマシン保守管理・南部トレーニングセンター移転（三重地区交流センター）・健康の駅利用者等表彰事業（対象19人、48団体）
令和 7年度（決算）	生活習慣病予防及び介護予防に有効な運動、こころの健康維持等市民の健康を総合的に継続支援する事業を実施 ・大規模3ヶ所延べ人数22,877人・中規模24ヶ所延べ人数3,064人・小規模64ヶ所延べ人数33,872人・プロジェクト延べ人数 計1,402人（内訳：特定保健指導10人、出前講座16ヶ所249人、若者支援事業26人、いきいきサロン支援事業36ヶ所403人、子どもの健康づくり事業3ヶ所117人、働く世代の健康づくり事業163人、ワンコイン教室347人・筋トレマシン保守管理・健康の駅利用者等表彰事業（ﾄﾚｾﾝ千回以上利用者4人、中小規模駅5ヶ所）
令和 8年度（計画）	・大規模健康の駅、中規模・小規模健康の駅における健康づくり指導 ・プロジェクト①高血圧対策事業 ②地域巡回型事業 ③いきいきサロン支援事業 ④子どもの健康づくり事業 ⑤働き盛り世代の健康づくり事業 ⑥SNSを活用した健康づくり事業　・健康の駅利用者システム更新
令和 9年度（計画）	・大規模健康の駅、中規模・小規模健康の駅における健康づくり指導 ・プロジェクト①高血圧対策事業 ②地域巡回型事業 ③いきいきサロン支援事業 ④子どもの健康づくり事業 ⑤働き盛り世代の健康づくり事業 ⑥SNSを活用した健康づくり事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	健康の駅利用者数（実人数）の増加				
		単位	人	目標値	8,350	8,800	9,250	9,700	
				実績値	3,796	4,148	4,279		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	6,031	6,965	6,033	5,690
	(e) その他特定財源	5,045	2	1	1,005	5
	(f) 一般財源	15,628	22,168	17,362	24,196	17,205
事業費の小計		20,673	28,201	24,328	31,234	22,900

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市民の健康づくりのため、運動に特化した市独自の事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	運動を中心とした市民の健康寿命の延伸を目的とした事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	健康を望むすべての市民に対応することができる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	健康の駅利用者数はここ数年増加傾向にあり、健康増進計画に掲げる目標を達成できる見込みである。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	横手市総合計画の達成に貢献する事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	民間との共存を視野に入れながら今後もより良い方向性を模索したい。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業内容の見直しは毎年度行っており、市民がより利用しやすいものを追求している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	妥当な受益者負担であると考える。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		８１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	040103	03	健康推進課	21,978	24,328	6,966	17,362	29,048	22,900
	健康の駅推進事業								
2	040103	03	健康推進課	6,223	0	0	0	2,186	0
	健康の駅推進事業（建設）								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 栄養改善事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－070100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 栄養改善事業・栄養改善事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活習慣病の発症予防と重症化予防のため、栄養・食習慣の改善に向けた事業が実施され、医療費の抑制につなげる

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・食習慣調査などを活用した個別栄養指導の実施
・地区組織活動を活用した講習会の開催
・食の情報発信とボランティアの育成

④ 根 拠 法 令	健康増進法・食育基本法	⑤ 関 連 計 画	第2期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・食習慣調査結果票を活用した個別栄養指導の実施　985件 ・地区組織活動と連携した栄養講習会の開催　参加人数1,037人
令和 7年度（決算）	・食習慣調査結果票などを活用した個別栄養指導の実施　832件 ・地区組織活動と連携した栄養講習会の開催　参加人数　884人 ・食の情報発信とボランティアの育成
令和 8年度（計画）	・食習慣調査結果票などを活用した個別栄養指導の実施 ・地区組織活動と連携した栄養講習会の開催 ・食の情報発信とボランティアの育成
令和 9年度（計画）	・食習慣調査結果票などを活用した個別栄養指導の実施 ・地区組織活動と連携した栄養講習会の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	食習慣調査実施者数の増加				
		単位	人	目標値	1,500	1,500	1,500		
				実績値	1,232	985	832		
	2	区分	活動	指標	栄養講習会・食育教室参加者数の増加				
		単位	人	目標値	4,500	4,500	4,500		
				実績値	1,371	1,037	884		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,615	3,204	4,160	4,276	3,557
事業費の小計		3,615	3,204	4,160	4,276	3,557

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	市町村は健康増進法により、住民の健康増進を図るため栄養改善その他の生活習慣病改善に関する事項について住民への栄養指導や相談を行うこととなっている
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	正しい食に関する知識、それに関わる調理法などを学ぶことは、市民の健康寿命延伸につながり、市全体に公益をもたらす
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民が対象である
②事業の有効性	８	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	すべてのライフステージで講座を開催したり、ニーズは高まっている 生活習慣病の一次予防として重要な役割を果たす事業である
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局において、類似事業は存在しない
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	基本目標である「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」を実現するために必要な事業である
③事業の効率性	８	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市民の健康増進のために市民が主体的に取り組むべき事業である
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	生活習慣病予防に関わる事業であり、近年の物価高騰による食生活への影響も大きくなると考える 食習慣調査のデータを活用しライフステージごとの栄養課題解決に向けた取り組みを企画する
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	栄養改善事業については、健康増進法により市町村が行うこととなっている
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　8×3	総合評価点　８８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

栄養改善事業については、健康増進法により市町村が行うこととなっている。
生活習慣病の発症と重症化を予防するためには、適切な栄養摂取と食習慣の改善に向けた取り組みが有効であり、市民への啓発についても継続して取り組んでいく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040103	07 健康推進課	3,204	4,160	0	4,160	4,276	3,557
	栄養改善事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 献血推進費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－080100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 献血推進費・献血推進総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

安全な血液製剤の安定供給を確保するため、横手保健所とともに献血推進を行っている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【献血推進事業（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）】
・秋田県献血推進計画により、保健所と市が協議し、献血目標・日程等を決める。
・献血日程等について、市民に周知し、献血活動及び、街頭献血キャンペーンを実施する。
・献血者に記念品を贈り、献血を促進する。

④根拠法令	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	献血協力依頼広報活動、協力事業所斡旋、献血車処遇品贈呈 ・年間実施人数：400ml 2,008人（年間目標人数2,075人） 達成率96.8% 200ml　35人（年間目標設定なし）
令和 7年度（決算）	献血協力依頼広報活動、協力事業所斡旋、献血車処遇品贈呈 ・年間実施人数：400ml 1,951人（年間目標人数2,069人） 達成率94.3% 200ml　37人（年間目標設定なし）
令和 8年度（計画）	・献血協力依頼広報活動 ・協力事業所斡旋 ・献血協力者記念品贈呈
令和 9年度（計画）	・献血協力依頼広報活動 ・協力事業所斡旋 ・献血協力者記念品贈呈

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	献血者数目標達成率の向上				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	109.1	96.8	94.3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	225	201	199	245	245
	(f) 一般財源	590	779	582	735	735
事業費の小計		815	980	781	980	980

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040103	08 健康推進課	980	781	199	582	980	980
	献血推進総務費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 心の健康づくり費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－090100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 心の健康づくり費・心の健康づくり総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

個人のいのちの尊さを認識し、自らのいのちを失う人がいなくなるよう、明るく過ごせる地域づくりが図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【心の健康づくり事業（横手・平鹿）】・普及啓発事業、街頭キャンペーン等実施　・講演会、健康相談、健康教育、家庭訪問の実施・人材養成研修会の開催（メンタルヘルスサポーター養成講座・フォローアップ研修会等）、自主活動への支援・自殺予防対策庁内連絡会・学校との連携を図り児童・生徒の心の健康づくりの支援・心の健康づくり、多重債務者等個別相談会の開催

④ 根 拠 法 令	自殺対策基本法	⑤ 関 連 計 画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	自殺予防対策として、心の健康づくり事業を実施　・横手市自殺対策計画および次期計画を策定 ・対面相談事業（無料法律相談）44件、高齢者うつ訪問：延べ275人） ・人材養成事業（メンタルヘルスサポーター養成講座4回開催、修了者12人、 フォローアップ研修会2回開催　参加者延べ6人、スキルアップ研修1回　参加者21人） ・普及啓発事業（強化月間、いのちの日に幟旗の掲示、イベントでのポケットティッシュの配布） ・若年層対策事業：児童生徒のＳＯＳを受け止める側研修会：1回　参加者16人、ＳＯＳの出し方講座：355人
令和 7年度（決算）	・自殺予防対策として、心の健康づくり事業を実施 ①対面相談事業（無料法律相談48件、高齢者うつ訪問延べ58人） ②人材養成事業（メンタルヘルスサポーター養成講座4回開催・修了者18人、 フォローアップ研修2回開催・参加者延べ16人、スキルアップ研修2回・参加者69人） ③普及啓発事業(強化月間、いのちの日に幟旗の掲示、イベントでのポケットティッシュの配布) ④若年層対策事業：SOSの出し方講座422人
令和 8年度（計画）	・自殺予防対策として、心の健康づくり事業を実施 ①対面相談事業（無料法律相談、高齢者うつ訪問、サロン開催支援）②人材養成事業（メンタルヘルスサポーター養成講座、フォローアップ研修、スキルアップ研修）③普及啓発事業④若者支援事業
令和 9年度（計画）	・自殺予防対策として、心の健康づくり事業を実施 ①対面相談事業（無料法律相談、高齢者うつ訪問、サロン開催支援）②人材養成事業（メンタルヘルスサポーター養成講座、フォローアップ研修、スキルアップ研修）③普及啓発事業④若者支援事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	自殺者数の減少				
		単位	人	目標値	16	16	16	16	15
				実績値	20	21	13		
	2	区分	活動	指標	メンタルヘルスサポーター養成講座修了者数の増加				
		単位	人	目標値	430	455	480	490	490
				実績値	396	408	427		
	3	区分	活動	指標	サロン（寄り合い場）の設置数の増加				
		単位	箇所	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	3	3	3		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	528	789	405	630	633
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	568	1,757	649	1,000	1,005
事業費の小計		1,096	2,546	1,054	1,630	1,638

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040103	09	健康推進課	2,546	1,054	405	649	1,630	1,638
	心の健康づくり総務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 健康教育費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－040100　衛生費・保健衛生費・健康増進費 健康教育費・健康教育総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

40歳以上から64歳の市民(65歳以上の市民は、地域支援事業)

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活習慣病の予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及が図られ、適切な助言や指導を行われて、壮年期からの健康の保持・増進を支援されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【健康教育総務費】・健診結果説明会の実施
・集団健康教育の実施（歯周疾患、ロコモティブシンドローム、慢性閉塞性肺疾患、病態別、薬、一般健康教育（心の健康・認知症など）
・町内会、各会合からの要請を受け健康学習や講話の実施

④根拠法令	健康増進法17条	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	関係機関と連携し健康教育の実施 ・脳卒中予防研修会　・介護セミナーにおける歯科保健指導　・横手市高血圧対策検討会 延べ3,620人
令和 7年度（決算）	関係機関と連携し健康教育の実施 ・脳卒中予防研修会　・介護セミナーにおける歯科保健指導　・横手市高血圧対策検討会 延べ2，928人
令和 8年度（計画）	関係機関と連携し健康教育の実施 ・脳卒中予防研修会　・介護セミナーにおける歯科保健指導　・横手市高血圧対策検討会
令和 9年度（計画）	関係機関と連携し健康教育の実施 ・脳卒中予防研修会　・介護セミナーにおける歯科保健指導　・横手市高血圧対策検討会

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	健康教育参加延人数の増加				
		単位	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績値	3,196	3,620	2,928		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	263	260	245	454	260
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,056	1,152	933	901	1,357
事業費の小計		1,319	1,412	1,178	1,355	1,617

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040103	04 健康推進課	1,412	1,178	245	933	1,355	1,617
	健康教育総務費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 健康相談費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－050100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 健康相談費・健康相談総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

40歳以上の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

心身の健康に関し、個別の相談に応じ必要な助言や指導を受け、家庭における健康管理を支援されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【健康相談総務費】
・重点健康相談（高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗鬆症、女性の健康病態別）等幅広い相談の実施。
・総合健康相談を実施し、心身の健康に関する一般的事項について総合的な指導、助言を行う。

④ 根 拠 法 令	健康増進法第17条	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・健康相談（面接・電話）の実施 総合健康相談等：220回　延べ1,587人　電話相談：2,223人　面接相談：2,235人
令和 7年度（決算）	・健康相談（面接・電話）の実施 総合健康相談等：193回　延べ1,595人　電話相談：2，181人　面接相談：1，944人
令和 8年度（計画）	・健康相談（面接・電話）の実施
令和 9年度（計画）	・健康相談（面接・電話）の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	町内会館等での健康相談参加延数の増加				
		単位	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績値	1,678	1,587	1,595		
	2	区分	成果	指標	電話相談回数の増加				
		単位	回	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
				実績値	2,111	2,223	2,181		
	3	区分	成果	指標	面接相談回数の増加				
		単位	回	目標値	850	850	850	850	850
				実績値	1,206	2,235	1,944		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	89	88	42	78	88
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,286	1,722	111	53	93
事業費の小計		1,375	1,810	153	131	181

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040103 05 健康推進課 健康相談総務費	1,810	153	42	111	131	181

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 健康診査費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－010100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 健康診査費・健康診査総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

肝炎ウイルス検診：40歳になる市民、歯周疾患検診：40.・50・60・70歳になる市民、骨粗鬆症検診；40・45・50・55・60・70歳の女性　健康診査：40歳以上の生活保護受給者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

肝炎ウイルスや歯周疾患に関する正しい知識の普及と検診による早期発見・治療と、生活保護受給者等の生活習慣病予防・早期発見・治療が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【健康診査事業（横手・増田・平鹿・雄物川・十文字・山内・大雄）】
・対象者に個別通知し、歯周疾患健診、肝炎ウイルス検診（Ｂ型・Ｃ型）、骨粗鬆検診を実施する。

④ 根 拠 法 令	健康増進法19条の2	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・各種検診の実施（肝炎ウィルス、骨粗鬆症、歯周疾患、健康診査） 受診者数　肝炎ウイルス：114人　骨粗鬆症：829人　歯周疾患：929人
令和 7年度（決算）	・各種検診の実施（肝炎ウィルス・骨粗鬆症・歯周疾患・健康診査） 受診者数　肝炎ウイルス：88人　骨粗鬆症：740人　歯周疾患：880人
令和 8年度（計画）	・各種検診の実施（肝炎ウィルス・骨粗鬆症・歯周疾患・健康診査）
令和 9年度（計画）	・各種検診の実施（肝炎ウィルス・骨粗鬆症・歯周疾患・健康診査）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	肝炎ウィルス検診受診者数の増加				
		単位	人	目標値	120	120	120	120	120
				実績値	82	114	88		
	2	区分	成果	指標	歯周疾患検診受診率の向上				
		単位	%	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	18.5	16.3	16.5		
	3	区分	成果	指標	骨粗鬆症検診受診率の向上				
		単位	%	目標値	19	20	21	22	23
				実績値	21	20.9	18.7		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	2,432	2,063	2,299	4,249	2,797
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	717	754	652	635	844
	(f) 一般財源	3,174	4,229	3,671	3,133	4,068
事業費の小計		6,323	7,046	6,622	8,017	7,709

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040103 01	健康推進課	健康診査総務費	7,046	6,622	2,951	3,671	8,017	7,709

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 訪問指導事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－060100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 訪問指導事業・訪問指導事業		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

健診要指導者、閉じこもり予防、介護家族、寝たきり、認知症高齢者、重複・頻回受診者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活環境をふまえた助言・指導が行われ、心身機能の低下予防と健康の保持増進を図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【訪問指導事業】

・疾病予防・重症化予防のため、正しい知識の普及、保健指導や社会資源の活用、関係機関との連絡調整を行う。

④ 根 拠 法 令	健康増進法第17条	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	家庭訪問の実施 ・健（検）診の要指導者、閉じこもり、介護家族者、寝たきり、認知症の者への生活習慣病予防 ・療養指導 ・介護予防指導などの訪問指導の実施 延べ1,572人
令和 7年度（決算）	家庭訪問の実施 ・健（検）診の要指導者、閉じこもり、介護家族者、寝たきり、認知症の者への生活習慣病予防 ・療養指導 ・介護予防指導などの訪問指導の実施 延べ1,585人
令和 8年度（計画）	・家庭訪問の実施
令和 9年度（計画）	・家庭訪問の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	訪問延人員者数の増加				
		単位	人	目標値	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績値	1,753	1,572	1,585		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	14	14	14	26	14
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	59	26	16	64	80
事業費の小計		73	40	30	90	94

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	「健康増進法」に基づき、生活習慣病や介護、重複・頻回受診等の相談に対応するため訪問する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市民の健康増進に関わる事業であり、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	保健師業務として着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	「健康増進法」に基づき市が実施する事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		３	生活習慣病予防、家庭における療養指導、家族介護者の健康相談・指導を行っており、毎年度見直し・改善を図っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	「健康増進法」に基づく事業であり、経費は市が負担するべきものである。
項目点合計		２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　９７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

「健康増進法」に基づき、市民の心身の健康に関する相談等に対応するため、訪問し指導等に当たっている。ニーズや業務増に対応した保健師の確保が課題となっており、保健師増員について継続して働きかけていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040103	06 健康推進課	40	30	14	16	90	94
	訪問指導事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0022 がん検診事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040103－020100　　衛生費・保健衛生費・健康増進費 がん検診事業・がん検診事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

子宮頸がん・婦人科超音波検診20歳以上、　前立腺がん検診50歳以上　、胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん検診40歳以上の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がんの早期発見・早期治療に結びつけ疾病の予防が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【がん検診事業（横手・増田・平鹿・大森・山内）】
・検診申込者に個別に通知。胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん・肺がん検診を実施する。
【がん検診クーポン推進事業】… 無料クーポン券を配布して、受診を促進する。

④根拠法令	健康増進法	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	がん検診の実施 ・受診者数　胃がん：5,846人　肺がん：11,243人　大腸がん：11,615人　前立腺がん検診：4,379人 乳がん：3,249人　子宮頸がん：3,238人　婦人科超音波：3,238人　合計：42,808人 がん検診クーポン推進事業の実施 ・乳がん：対象者426人　受診者111人　26.1%　子宮頸がん：対象者270人　受診者27人　10.0%
令和 7年度（決算）	がん検診の実施 ・受診者数　胃がん：5,485人　肺がん：10,955人　大腸がん：11,249人　前立腺がん検診：4,264人 乳がん：3,107人　子宮頸がん：3,103人　婦人科超音波：3,103人　合計：41,266人 がん検診クーポン推進事業の実施 ・乳がん：対象者421人　受診者102人　24.2%　子宮頸がん：対象者246人　受診者27人　11.0%
令和 8年度（計画）	・がん検診の実施 ・がん検診クーポン推進事業の実施
令和 9年度（計画）	・がん検診の実施 ・がん検診クーポン推進事業の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	各種がん検診率の向上				
		単位	%	目標値	36.5	37	37.5	38	38.5
				実績値	16.7	17.3	17.5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	627	474	280	280	429
	(b) 県支出金	1,582	1,580	1,607	1,712	2,193
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	30,780	30,668	19,041	20,177	23,460
	(f) 一般財源	94,252	104,162	111,754	131,407	125,403
事業費の小計		127,241	136,884	132,682	153,576	151,485

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	「健康増進法」に基づき市が実施する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	がんの早期発見、早期治療は全市民に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	国、県の指針に基づき対象年齢を設定している。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	がん検診受診率は新型コロナウイルス感染症流行前までの水準に回復しておらず、目標値については据え置きが妥当と考える。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現に不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	「健康増進法」に基づき市が実施する事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	国、県の指針や、活用する補助事業の改正内容と併せ見直しを行っていく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は近隣市町村と比較しても適切である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
がんは死亡原因の上位を占める病気である。がんの早期発見、早期治療のために受診率向上に取り組んでいく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040103	02 健康推進課	135,235	131,013	20,745	110,268	153,576	149,236
	がん検診事業							
2	040103	02 健康推進課	1,649	1,669	183	1,486	0	2,249
	がん検診クーポン推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0024 後期高齢者医療制度費

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－040105－010100　衛生費・保健衛生費・後期高齢者医療制度費 後期高齢者医療制度費・後期高		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

秋田県後期高齢者医療広域連合・後期高齢者医療被保険者(市民)

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

後期高齢者医療制度の円滑な運営

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【後期高齢者医療広域連合負担金】医療給付に要する経費（負担対象額の1/12に相当する額）と共通経費負担金（当該年度の共通経費を県内市町村で按分（均等割・高齢者人口割・人口割）して得た額）を秋田県後期高齢者医療広域連合に納付する。
【後期高齢者医療特別会計繰出金】後期高齢者医療制度に要する費用（基盤安定負担金分及び事務費分）を一般会計から後期高齢者医療特別会計へ繰出しする。

④根拠法令	・高齢者の医療の確保に関する法律 ・秋田県後期高齢者医療広域連合規約	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①秋田県後期高齢者医療広域連合負担金 共通経費負担金　64,462,679円　療養給付費負担金　1,029,043,630円 ②後期高齢者医療特別会計繰出金 保険基盤安定負担金 358,553千円　事務費 21,095千円
令和 7年度（決算）	①秋田県後期高齢者医療広域連合負担金 共通経費負担金　53,952,205円　療養給付費負担金　1,025,405,455円 ②後期高齢者医療特別会計繰出金 保険基盤安定負担金 353,349千円　事務費 13,000千円
令和 8年度（計画）	・秋田県後期高齢者医療広域連合負担金(共通経費負担金及び療養給付費負担金の支出) ・後期高齢者医療特別会計繰出金（保険基盤安定負担金分及び事務費分の繰出し、繰出金の事務費分を除き広域連合で額を算定）
令和 9年度（計画）	・秋田県後期高齢者医療広域連合負担金(共通経費負担金及び療養給付費負担金の支出) ・後期高齢者医療特別会計繰出金（保険基盤安定負担金分及び事務費分の繰出し、繰出金の事務費分を除き広域連合で額を算定）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	―				
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	270,419	268,720	265,011	350,252	350,252
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	6,642	5,554	5,086	3,165	3,165
	(f) 一般財源	1,160,121	1,198,880	1,175,609	1,326,814	1,326,814
事業費の小計		1,437,182	1,473,154	1,445,706	1,680,231	1,680,231

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040105	01 国保年金課	1,093,506	1,079,358	0	1,079,358	1,187,219	1,187,219
	後期高齢者医療広域連合負担金							
2	040105	01 国保年金課	379,648	366,348	270,097	96,251	493,012	493,012
	後期高齢者医療特別会計繰出金							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 特定健康診査事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040106－010100　衛生費・保健衛生費・特定健康診査費　特定健康診査事業・特定健康診査事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

40～74歳国保被保険者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活習慣病の早期発見・早期治療が図られ、生活指導に結びつけ疾病の予防が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【特定健康診査事業】・健康診査申込者に個別通知し、身体計測・腹囲・検尿・血圧測定・問診・理学的検査・血液検査、血清クレアチニン、尿酸を実施する。
・選択項目として40.45.50.55.60.65.70歳に心電図・眼底検査を行う。

④根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律 国民健康保険法	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・集団健診による特定健診の実施 ・医療機関方式による特定健診及び診療情報提供の実施 ・ＪＡ健診分の特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）の実施 健診対象者14,234人　受診者6,148人　受診率43.2%
令和 7年度（決算）	・集団健診による特定健診の実施 ・医療機関方式による特定健診及び診療情報提供の実施 ・ＪＡ健診分の特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）の実施 健診対象者13,412人　受診者5,794人　受診率43.2%
令和 8年度（計画）	・集団健診による特定健診を実施 ・医療機関方式による特定健診を実施 ・ＪＡ健診分の特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）を実施
令和 9年度（計画）	・集団健診による特定健診を実施 ・医療機関方式による特定健診を実施 ・ＪＡ健診分の特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	特定健康診査受診率の向上				
		単位	%	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	42.9	43.2	43.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	66,162	66,992	68,240	78,239	82,887
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		66,162	66,992	68,240	78,239	82,887

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	「国民健康保険法」「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	疾病の早期発見、早期治療は市民の健康寿命延伸につながり、市全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	対象年齢は40歳以上75歳未満と定められている。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	受診率は微増しており、着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	「国民健康保険法」に基づき保険者である市が実施するべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	検診項目について随時見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	「国民健康保険法」に基づき市が経費を負担するべき事業である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
感染症対策を講じながら事業を実施しており、受診率向上や効率的な事業運営について、健診機関や医師会とともに検討していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040106	01 健康推進課						
	特定健康診査事業		66,992	68,240	68,240	0	78,239	82,887

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0026 保健指導事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040106－020100　衛生費・保健衛生費・特定健康診査費　保健指導事業・保健指導事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

健診後特定保健指導の必要な者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣が改善されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【保健指導事業】

・定健診結果や質問票等により生活習慣病のリスク要因に応じて動機づけ支援・積極的支援に階層化し、食習慣調査や保健指導、運動指導を行う。

④ 根 拠 法 令	高齢者の医療の確保に関する法律 国民健康保険法第８２条	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）の実施 積極的支援：対象者152人　初回面接者73人　　動機付け支援：対象者445人　初回面接者235人
令和 7年度（決算）	特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）の実施 積極的支援：対象者116人　初回面接者59人　　動機付け支援：対象者331人　初回面接者180人
令和 8年度（計画）	・特定保健指導（積極的支援、動機づけ支援）の実施
令和 9年度（計画）	・特定保健指導（積極的支援、動機づけ支援）の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	積極的支援の初回面接者割合の増加				
		単位	%	目標値	45	45	45	45	45
				実績値	52	48	51		
	2	区分	成果	指標	動機づけ支援の初回面接者割合の増加				
		単位	%	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	55.1	52.8	54.4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2,472	3,087	3,175	3,596	3,381
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		2,472	3,087	3,175	3,596	3,381

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	９	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	「国民健康保険法」「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市民の健康増進、健康寿命延伸は市全体に公益をもたらす。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	健診後に特定保健指導が必要な方に実施する事業であり対象者は限定される。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	健診会場で保健指導に該当しそうな方へ積極的に声掛けするなど、目標達成に向け取り組んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	「国民健康保険法」に基づき、市が行う事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	特定保健指導の終了率向上のため、アプローチ方法の見直しなど今後も見直し・改善を図っていく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	「国民健康保険法」に基づき、保険者である市が行う事業であり、市が100%負担する事業である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　10×3　＋　9×3
総合評価点		９３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

「国民健康保険法」「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施する事業であり、継続して実施していくべき事業である。
令和6年度より開始された第4期特定健康診査等実施計画と「標準的な健診・保健指導プログラム」により、特定保健指導の支援期間が3か月以上とされたことから、脱落者を減らし（次回面接につなげる）終了率を高めて生活習慣病予防につなげていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040106	02 健康推進課	3,087	3,175	3,175	0	3,596	3,381
	保健指導事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0027 後期高齢者健診事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040106－030100　衛生費・保健衛生費・特定健康診査費 後期高齢者健診事業・後期高齢者健診		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

後期高齢者医療被保険者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活習慣病の早期発見・早期治療が図られ、生活指導に結びつけ疾病の予防が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【後期高齢者健診事業】・健康診査申込者に個別通知し、身体計測・検尿・血圧測定、問診・理学的検査・血液検査を実施する。
【後期高齢者歯科健診事業】・年度年齢76.79歳の対象者に歯科健診受診券を送付し、口腔機能低下の予防と誤嚥性肺炎等の疾病予防に繋げるため歯・歯肉の状態や口腔清掃状態等の歯科健康診査を実施する。

④根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・集団健診及び医療機関方式による後期高齢者健康診査を実施 健診対象者18,218人　受診者4,794人　受診率26.3% ・後期高齢者歯科健診の実施 歯科健診対象者2,297人　受診者369人　受診率16.1%
令和 7年度（決算）	・集団健診及び医療機関方式による後期高齢者健康診査を実施 健診対象者18,449人　受診者4,933人　受診率26.7% ・後期高齢者歯科健診の実施 歯科健診対象者2,794人　受診者428人　受診率15.3%
令和 8年度（計画）	・後期高齢者健診の実施 ・医療機関方式の後期高齢者健康診査を実施 ・後期高齢者歯科健診の実施
令和 9年度（計画）	・後期高齢者健診の実施 ・医療機関方式の後期高齢者健康診査を実施 ・後期高齢者歯科健診の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	後期高齢者歯科健診受診率の向上				
		単位	%	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	16.8	16.1	15.5		
	3	区分	－	指標	後期高齢者健診受診率の向上（受診率算定方法の変更に伴いR5年度以降の目標値変更）				
		単位		目標値	30	30	30	30	30
				実績値	25	26.3	26.2		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	39,502	43,693	45,584	47,833	48,504
	(f) 一般財源	789	49	287	0	2,485
事業費の小計		40,291	43,742	45,871	47,833	50,989

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	「高齢者の医療の確保に関する法律」により保険者（後期高齢者医療連合）が行う事業を市が代わりに実施しているものである。費用については全額保険者負担である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民の健康保持は市全体に公益をもたらす。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、75歳以上の市民が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	後期高齢者健診は感染症対策を講じながら着実に実施している。後期高齢者歯科健診も目標達成に向けて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり」実現のため不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	「高齢者の医療の確保に関する法律」により保険者（後期高齢者医療連合）が行う事業を市が代わりに実施しているものである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	感染症対策と事業の効率化を引き続き検討していく必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	費用については保険者が負担するべきものとされており、後期高齢者医療連合からの補助金で実施している。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

「高齢者の医療の確保に関する法律」により保険者（後期高齢者医療連合）が行う事業を市が代わりに実施しているものである。費用については全額保険者負担である。後期高齢者健診は新型コロナウイルス対策を講じながら、受診率の向上を目指して見直し・改善を進めていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040106	03 健康推進課	41,458	43,177	42,890	287	44,690	47,408
	後期高齢者健診事業							
2	040106	03 健康推進課	2,284	2,694	2,694	0	3,143	3,581
	後期高齢者歯科健診事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 診療所費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040109－010100　　衛生費・保健衛生費・診療所費 診療所費・山内診療所費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

住民の疾病予防及び治療が行われ、その健康保持増進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【大沢診療所運営経費】【山内診療所運営事業】【三又へき地診療所運営事業】【上平野沢へき地診療所運営事業】
【診療所費】診療所施設維持管理・医療行為の委託
　委託先　山内診療所（内科）・三又へき地診療所（内科）⇒　下田輝一
　　雄物川大沢診療所（内科）⇒　雄物川クリニック

④ 根 拠 法 令	医療法	⑤ 関 連 計 画	第２期健康よこて２１
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	山内診療所：受診者数3,594人　雄物川町大沢診療所：受診者数80人　山内三又診療所（へき地）：受診者数155人
令和 7年度（決算）	山内診療所：受診者数3,019人　雄物川町大沢診療所：受診者数81人　山内三又診療所（へき地）：受診者数144人
令和 8年度（計画）	・診療所施設維持管理及び医療行為の委託
令和 9年度（計画）	・診療所施設維持管理及び医療行為の委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	受診者数の増加（R3年度増田診療所閉所に伴いR4年度以降の目標値変更）				
		単位	人	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
				実績値	4,358	3,829	3,019		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	294	714	2,150	875	1,071
事業費の小計		294	714	2,150	875	1,071

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040109	01 山内市民サービス課	398	1,889	0	1,889	412	546
	山内診療所費							
2	040109	01 山内市民サービス課	210	170	0	170	322	406
	三又へき地診療所費							
3	040109	01 山内市民サービス課	106	91	0	91	141	119
	上平野沢へき地診療所費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 保健センター費

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040110－010100　衛生費・保健衛生費・保健衛生施設費　保健センター費・横手保健センター費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

保健センター利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

保健センターの来客者及び職員が用務を支障なく効率的に行えるよう施設が維持整備されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手保健センター費】【平鹿保健センター費】【雄物川保健センター費】【大森保健センター費】
・合同施設の場合は、全体建物の維持管理を主たる事業者（大森病院、すこやか横手）が行い、保健センターではその経費を分担する。・浴場を併設した施設では、快適な浴場施設の整備と来客者が利用しやすく、福祉・保健用務を支障なく実施できる施設環境を維持する。

④根拠法令	地域保健に関する部分は地域保健法	⑤関連計画	第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・施設維持管理	横手保健センター分	9,065千円
		平鹿保健センター分	33,421千円
		雄物川保健センター分	5,210千円
		大森保健センター分	1,500千円
令和 7年度（決算）	・施設維持管理	横手保健センター分	7,424千円
		横手保健センター分（建設）	4,775千円【変圧器交換・受水槽更新】
		平鹿保健センター分	35,070千円
		雄物川保健センター分	1,221千円
		大森保健センター分	5,693千円
令和 8年度（計画）	・施設維持管理 ・【建設枠】平鹿町ゆとり館気中開閉器交換工事1,070千円		
令和 9年度（計画）	・施設維持管理		

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	平鹿町ゆとり館利用者数の増加				
		単位	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
				実績値	33,874	35,235	36,442		
	2	区分	成果	指標	横手保健センター利用者数の増加				
		単位	人	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
				実績値	6,528	6,782	6,867		
	3	区分	成果	指標	大森町高齢者等保健福祉センター利用者数の増加				
		単位	人	目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
				実績値	1,204	1,323	1,295		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	9,446	9,812	10,035	10,107	11,440
	(e) その他特定財源	506	732	53	738	81
	(f) 一般財源	37,508	38,652	44,095	48,273	41,402
事業費の小計		47,460	49,196	54,183	59,118	52,923

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040110	01	健康推進課						
	横手保健センター費			9,065	7,424	28	7,396	9,792	9,259
2	040110	01	健康推進課						
	横手保健センター費（建設）			0	4,775	0	4,775	1,119	0
3	040110	01	平鹿市民サービス課						
	平鹿保健センター費			33,421	35,070	10,059	25,011	39,000	35,016
4	040110	01	平鹿市民サービス課						
	平鹿保健センター費（建設）			0	0	0	0	1,070	0
5	040110	01	雄物川市民サービス課						
	雄物川保健センター費			1,500	1,221	1	1,220	1,393	1,904
6	040110	01	大森市民サービス課						
	大森保健センター費			5,210	5,693	0	5,693	6,744	6,744

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0030 病院事業繰出金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－040401－010100　　衛生費・病院費・病院事業費 病院事業繰出金・病院事業繰出金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市立横手病院、市立大森病院

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市立横手病院、市立大森病院の経営の健全化と安定化を図り、地域住民のニーズに対応した質の高い医療を提供する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【病院事業費】

・公立病院事業の経営の健全化を促進し、経営基盤の強化を図るため、病院事業に対する一般会計からの繰出し（繰出し基準）の対象となる経費について、交付税算入額を基本とした繰り出しを行う。

④ 根 拠 法 令	地方公営企業法	⑤ 関 連 計 画	横手市財政計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手市病院事業（市立横手病院、市立大森病院）の経営基盤の強化を図ることを目的に、地方交付税算入及び地方公営企業繰出基準（総務省通知）を基本とし、横手市病院事業会計へ繰り出しを行った。 ・横手病院　負担金（収益的収入）312,024千円、出資金（資本的収入）164,605千円　計 476,629千円 ・大森病院　負担金（収益的収入）205,117千円、出資金（資本的収入）204,412千円　計 409,529千円 合計 886,158千円
令和 7年度（決算）	横手市病院事業（市立横手病院、市立大森病院）の経営基盤の強化を図ることを目的に、地方交付税算入及び地方公営企業繰出基準（総務省通知）を基本とし、横手市病院事業会計へ繰り出しを行った。 ・横手病院　負担金（収益的収入）339,078千円、出資金（資本的収入）147,279千円　計 486,357千円 ・大森病院　負担金（収益的収入）215,086千円、出資金（資本的収入）203,813千円　計 413,899千円 合計 905,256千円
令和 8年度（計画）	横手市病院事業（市立横手病院、市立大森病院）の経営基盤の強化を図ることを目的に、地方交付税算入及び地方公営企業繰出基準（総務省通知）を基本とし、横手市病院事業会計へ繰り出しを行う。
令和 9年度（計画）	横手市病院事業（市立横手病院、市立大森病院）の経営基盤の強化を図ることを目的に、地方交付税算入及び地方公営企業繰出基準（総務省通知）を基本とし、横手市病院事業会計へ繰り出しを行う。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	市立横手病院、市立大森病院への繰出金				
		単位	千円	目標値	802,939	828,348	877,225	877,225	877,225
				実績値	813,891	886,158	905,256		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	813,891	886,158	905,256	889,796	889,796
事業費の小計		813,891	886,158	905,256	889,796	889,796

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040401	01 財政課						
	病院事業繰出金		886,158	905,256	0	905,256	889,796	889,796

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0033 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040101－070100　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　地方創生臨時交付金事業・二次救急医		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内の公立病院

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

物価高騰の影響を受けている病院経営を支援し、安定した救急医療体制を確保する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【公立病院物価高騰対策事業】
施設維持に要する燃料費等について、過年度同期との差額を補助（助成）金として交付する。

④根拠法令		⑤関連計画	
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 7年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	休日夜間の救急医療を担っている二次救急医療機関に対し、物価高騰等の影響を受けている燃料費等の光熱水費及び食材料費、各種委託料への支援を行うことにより、病院経営を安定させ、救急医療体制の維持を図る。 令和7年度は各種委託料を前年度と比較し、その差額の1/2を補助する。 ・平鹿総合病院　12,987,345円 ・市立病院（横手病院　14,731,846円　大森病院　13,382,780円）
令和 8年度（計画）	・燃料費等の光熱費及び食材料費に対し過年度同期との差額を補助金として交付・ただし、県の医療施設物価高騰対策事業補助金額を除く・以前同様に病床数による・各種委託料の高騰が著しく、過年度の差額を補助金として交付
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	休日夜間における二次医療の受入実施率				
		単位	%	目標値					
				実績値			98.2		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	44,875	0	65,477	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1	0	4,581	0	0
事業費の小計		44,876	0	70,058	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	物価高騰が続いており、病院経営の安定のためには継続した支援が必要と考える。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	救急医療体制の維持は市全体に公益をもたらす
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	救急医療は、すべての市民がサービス対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	管外にかかりつけ医がおり、管外病院に搬送せざるを得ない救急患者が一定数いるため100%受け入れとはならないのが実情である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	基本構想の基本目標「みんな元気でいきいきと暮らせる」まちづくり実現のため必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国の交付金を受けて実施する事業であり、市が主体的に取り組むものである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	補助対象経費、補助単価など、現段階では改善の余地はないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切であると考える。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　9×3
総合評価点		８３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

物価高騰が続いており、継続した支援が必要である。
また、病院経営の安定化や救急医療の受け入れ体制の安定化に向けては、長期的な支援が必要と考える。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040101	07	健康推進課						
	二次救急医療機関物価高騰対策事業			0	41,102	41,102	0	0	0
2	040101	98	健康推進課						
	公立病院物価高騰対策事業			0	28,956	24,375	4,581	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0034 任意予防接種助成事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040102－020100　衛生費・保健衛生費・予防費 任意予防接種助成事業・任意予防接種助成事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

乳幼児、妊婦及びその健全な生育に影響のある者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

流行性耳下腺炎、季節性インフルエンザの流行の蔓延を未然に防ぐとともに、重症化を予防している。
風しんの妊婦への感染が防止されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【任意予防接種助成事業】・市報及び機関紙「まめまめ情報」にて周知。
・予診票は医療機関に備え付け医療機関方式にで実施する。
・流行性耳下腺炎は乳幼児健康診査や健康相談で接種勧奨、季節性インフルエンザは乳幼児健康診査や健康相談、妊娠届出時に接種勧奨、風しんは妊娠届出時に夫またはパートナーに接種を勧奨。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市子ども子育て支援事業計画、第２期健康よこて２１計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	任意予防接種（流行性耳下腺炎、季節性インフルエンザ、成人風しん、帯状疱疹、ヒトパピローマウイルス感染症【男子】）費用助成事業 ・流行性耳下腺炎268人　・季節性インフルエンザ延べ7,391人　・成人風しん21人 ・帯状疱疹（生ワクチン）275人、（組み換えワクチン）570人 ・ヒトパピローマウイルス感染症（男子）145人
令和 7年度（決算）	・任意予防接種（流行性耳下腺炎、季節性インフルエンザ、成人風しん、帯状疱疹、ヒトパピローマウイルス感染症【男子】）費用助成事業 流行性耳下腺炎277人　季節性インフルエンザ延べ6,758人　成人風しん20人 帯状疱疹（生ワクチン）124人、（組み換えワクチン）639件 ヒトパピローマウイルス感染症（男子）280人
令和 8年度（計画）	・任意予防接種のうち、流行性耳下腺炎ワクチン・成人風しんワクチン・季節性インフルエンザワクチン・帯状疱疹ワクチン・ヒトパピローマウイルス感染症ワクチン（男子）の予防接種費用の助成を実施
令和 9年度（計画）	・任意予防接種のうち、流行性耳下腺炎ワクチン・成人風しんワクチン・季節性インフルエンザワクチン・帯状疱疹ワクチン・ヒトパピローマウイルス感染症ワクチン（男子）の予防接種費用の助成を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	流行性耳下腺炎予防接種の接種率の向上				
		単位	人	目標値	60	60.5	61	61.5	62
				実績値	81.5	73	91.3		
	2	区分	成果	指標	季節性インフルエンザ任意予防接種の接種率の向上（1回目接種平均）				
		単位	人	目標値	58	58.5	59	59.5	60
				実績値	57.3	57.2	57.3		
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	15,367	31,288	29,657	59,855	55,645
事業費の小計		15,367	31,288	29,657	59,855	55,645

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	基本構想の重点目標「安心して子どもを産みそだてられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」実現のため優先して実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	任意事業ではあるが、流行性耳下腺炎や季節性インフルエンザの流行蔓延と予防、風しん妊婦への感染予防のための事業であり、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	予防接種は種類により対象者と接種方法が定められているが、基本的にはすべての市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	流行性耳下腺炎は接種率の目標値は上回っている。季節性インフルエンザは接種率の目標値に僅かに届かなかった。成人風しんは、国で推奨している風しん抗体検査受診へ移行していると推定され、罹患者は減少傾向にあると推測される。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	流行の蔓延防止と個人の予防という観点から、事業は有効に実施されている。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	任意事業ではあるが、流行の蔓延防止と個人の予防、風しんの妊婦への感染防止の目的から、市で取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現在接種しているもの以外の予防接種もあるが、現段階では現在の対応で妥当と考える。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　9×3	総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

任意接種ではあるが、感染の可能性や危険性が低いわけではない。流行性耳下腺炎、季節性インフルエンザ、妊婦への風しん感染予防の目的から継続して実施するべきである。
また、予防接種事務デジタル化が始まることからさらなる接種率の向上を図っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　(単位：千円)

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	040102	02	健康推進課	31,288	29,657	0	29,657	59,855	55,645
	任意予防接種助成事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0001 地域福祉総務費

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－020100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 地域福祉総務費・地域福祉総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

高齢者やその養護者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者が生きがいを持って健全で安らかな生活を維持できることを目指す。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

①総務業務
・諸経費等の管理と事務補助員の雇用
②養護老人ホームへの措置業務
③高齢者福祉台帳システムの運用、保守

④根拠法令	老人福祉法等	⑤関連計画	介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・会計年度任用職員を４名雇用 ・高齢者福祉事業に係る諸経費管理 ・高齢者福祉台帳システムの運用 ・重層的支援体制整備事業庁内連絡協議会の開催 ・本庁舎福祉総合窓口の運営
令和 7年度（決算）	・会計年度任用職員を４名雇用 ・高齢者福祉事業に係る諸経費管理 ・高齢者福祉台帳システムの運用 ・重層的支援体制整備事業庁内連絡協議会の開催 ・本庁舎福祉総合窓口の運営
令和 8年度（計画）	・会計年度任用職員を４名雇用、高齢者福祉事業に係る諸経費管理、社会福祉団体に対する助成費補助金 ・高齢者福祉台帳システムの運用
令和 9年度（計画）	・会計年度任用職員を４名雇用、高齢者福祉事業に係る諸経費管理、社会福祉団体に対する助成費補助金 ・高齢者福祉台帳システムの運用

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	システム導入数				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	2	区分	活動	指標	臨時職員雇用数				
		単位	人	目標値	1	4	4	4	4
				実績値	4	4	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	7,880	16,328	19,717	18,075	19,956
事業費の小計		7,880	16,328	19,717	18,075	19,956

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030104	02 まるごと福祉課	14,348	17,737	0	17,737	16,095	17,976
	地域福祉総務費							
2	030104	02 まるごと福祉課	1,980	1,980	0	1,980	1,980	1,980
	地域福祉総務費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 高齢者福祉施設入所措置事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－030100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 高齢者福祉施設入所措置事業・高齢者福祉		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

生活環境及び経済的な理由などによって在宅生活が困難となった高齢者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者を保護・養護し、自立した日常生活を目指す

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・養護老人ホームへ入所措置を行い、養護を委託
・緊急的な対応を要する場合、施設へ一時保護を委託

④ 根拠法令	老人福祉法、横手市老人福祉法施行細則、横手市老人福祉法による費用の徴収に関する規則	⑤ 関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・入所希望者に対し、市内外の養護老人ホームへの入所措置を実施する。 令和7年3月31日現在、110名の入所措置を実施中。（市内2施設に96名、市外4施設に14名） ・緊急一時保護措置は本年度の実績はなし。
令和 7年度（決算）	・入所希望者に対し、市内外の養護老人ホームへの入所措置を実施。 令和8年3月31日現在、112名の入所措置を実施中。（市内1施設に76名、市外4施設に36名） ・緊急一時保護措置は本年度の実績はなし。
令和 8年度（計画）	・養護老人ホーム等に入所措置を実施 ・やむを得ない事情による緊急一時保護措置を実施
令和 9年度（計画）	・養護老人ホーム等に入所措置を実施 ・やむを得ない事情による緊急一時保護措置を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	入所者数（入所枠が決まっており単純増加・減少はできない）				
		単位	人	目標値	135	135	135	135	135
				実績値	108	110	112		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	31,379	31,798	36,048	36,991	33,361
	(f) 一般財源	202,255	208,414	190,881	217,652	238,981
事業費の小計		233,634	240,212	226,929	254,643	272,342

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	養護老人ホームへの入所措置の実施は法令（老人福祉法）にて、市町村に義務付けられている。
		目的の妥当性	1点：個人又は団体等、特定範囲に公益をもたらす事業である。
		1	一定の要件を満たした者が事業の対象となる。要件は法令にて以下のとおり定められている。 要件：環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受ける事が困難な65才以上の者。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	要件は法令にて以下のとおり定められている。 要件：環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受ける事が困難な65才以上の者。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	入所措置が必要と判断される者は全て措置しているが、減少傾向にあるため、目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	高齢福祉施設への入所措置は本課でのみ実施している。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送るために必要な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	入所措置は市（福祉事務所）以外は実施できない。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	基本的に事業内容は法令にて定められている。法令を遵守した内容で事業は進められている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は法令で定められている。（老人福祉法）
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　7×3　＋　10×3　　総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

施設への入所が必要と考えられる高齢者は一定数存在し、今後もその傾向は続くと考えられる。入所を必要とする理由は多種多様であり養護老人ホームの必要性も継続されると考えられる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030104	03 まるごと福祉課	240,212	226,929	36,048	190,881	254,643	272,342
	高齢者福祉施設入所措置事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 日常生活支援事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－040100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 日常生活支援事業・雪下ろし雪寄せ支援事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

おおむね６５歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯及びこれに準ずる世帯並びに身体障害者であって日常生活に困難を抱えている者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれが抱える困難事情に対応した支援を提供し、日常生活の安定及び家族負担の軽減を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・雪下ろし雪寄せ支援事業：自力での雪下ろしや除排雪が困難な世帯に対して、作業料金の一部を助成
・移送サービス事業：座位の保持が困難な寝たきり高齢者等にストレッチャーによる専用車で送迎し、利用料金の一部を助成
・交通助成券交付事業：75歳以上の交通弱者に市内公共交通機関で使用出来る助成券を交付
・見守り安心事業：通信機能付き電球により高齢者の見守りを実施

④根拠法令	高齢者等除排雪、雪下ろし費用助成実施要綱 移送サービス事業実施要綱など	⑤関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・雪下ろし費用助成事業及び除排雪事業を実施 雪下ろし　利用登録世帯数　1,094世帯　助成額　8,435,000円 除排雪　利用世帯数　378世帯　助成額　6,760,536円 ・移送サービス事業　年間実利用者50名、延べ利用回数389回 ・交通助成券交付事業　交付2,190名　利用46,121枚　4,612,100円 ・見守り安心事業　設置172件
令和 7年度（決算）	・雪下ろし雪寄せ支援事業を実施 雪下ろし　利用登録世帯数　1,170世帯　助成額　10,038,000円 雪寄せ　利用登録世帯数　648世帯　助成額　6,697,000円 ・移送サービス事業　年間実利用者42名、延べ利用回数320回 ・交通助成券交付事業　交付1,692名　利用38,881枚　3,888,100円 ・見守り安心事業　設置189件
令和 8年度（計画）	・雪下ろし・雪寄せ支援事業、移送サービス事業、交通助成券交付事業、見守り安心事業について、より高齢者のニーズに即した内容への見直しを検討しながら実施
令和 9年度（計画）	・雪下ろし・雪寄せ支援事業、移送サービス事業、交通助成券交付事業、見守り安心事業について、より高齢者のニーズに即した内容への見直しを検討しながら実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	雪下し・雪寄せ利用件数				
		単位	件	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
				実績値	406	1,472	1,818		
	3	区分	成果	指標	移送利用者数				
		単位	人	目標値	78	78	78	78	50
				実績値	44	50	42		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	7,621	7,931	15,399	13,862
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	10,265	11,728	852	960	10,599
	(f) 一般財源	12,737	17,675	18,131	31,158	30,435
事業費の小計		23,002	37,024	26,914	47,517	54,896

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	雪・移動手段・見守りに対する支援事業は、高齢者の暮らしを支えるために必要不可欠な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	生活基盤の根源に係る問題に対応する事業であり、かかわる事業者にも利益をもたらす。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	対象者が高齢者世帯等に限定される。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	見守り安心事業は、着実に設置件数を増やしている。交通助成券は申請が容易であり、更なる周知を図れば交付件数の増加が見込まれる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	高齢者の暮らしを支えるために、実施することが望ましい。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	サービス自体は民間で提供されているが、事業内容は利用料への経済的支援であることから、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	今後も社会情勢に合わせて不断の見直しを要する。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	今後も社会情勢に合わせて不断の見直しを要する。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
雪・移動手段・見守りに対する支援事業は、高齢者の暮らしを支えるために実施が望ましい事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030104	04	まるごと福祉課	26,084	16,965	7,931	9,034	30,798	37,363
	雪下ろし雪寄せ支援事業								
2	030104	04	まるごと福祉課	3,271	2,788	852	1,936	3,003	3,003
	移送サービス事業								
3	030104	04	まるごと福祉課	5,428	4,628	0	4,628	9,228	10,174
	交通助成券交付事業								
4	030104	04	まるごと福祉課	2,241	2,533	0	2,533	4,488	4,356
	見守り安心事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 老人クラブ支援事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－050100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 老人クラブ支援事業・老人クラブ支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
各地区の単位老人クラブと横手市老人クラブ連合会
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
老人クラブの活動を支援することで高齢者の老後の生活の充実を図る
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
老人クラブ支援事業：老人クラブ活動費に対して補助金を交付

④ 根 拠 法 令	老人クラブ等事業運営要綱	⑤ 関 連 計 画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画 横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	単位老人クラブ、市老人クラブ連合会及びひの事業費に補助金を交付し活発な活動を促した ・単位老人クラブ活動費　87クラブ　3,502,620円 ・社会貢献活動支援事業費　66クラブ　415,800円 ・市老人クラブ連合会活動費　353,120円 ・健康づくり事業　900,053円
令和 7年度（決算）	単位老人クラブ及び市老人クラブ連合会に補助金を交付し活発な活動を促した ・単位老人クラブ活動費　76クラブ　3,059,760円 ・社会貢献活動支援事業費　56クラブ　352,800円 ・市老人クラブ連合会活動費　324,608円 ・健康づくり事業　1,040,408円
令和 8年度（計画）	・各地区単位老人クラブ及び横手市老人クラブ連合会に対し補助金を交付し、活発な活動を促す
令和 9年度（計画）	・各地区単位老人クラブ及び横手市老人クラブ連合会に対し補助金を交付し、活発な活動を促す

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	単位老人クラブ数				
		単位		目標値	130	130	130	130	70
				実績値	96	87	78		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,963	1,830	1,713	1,721	1,830
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,314	3,084	2,945	3,783	3,674
事業費の小計		5,277	4,914	4,658	5,504	5,504

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	地域において高齢者がいきいきと暮らすために有効な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	社会貢献活動を行う団体もあるため、地域において一定の公益性がある。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	対象が老人クラブに限定されるが、老人クラブには概ね60歳以上の市民であれば誰でも加入できる。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	老人クラブの団体数、加入者数ともに年々減少している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	国の方針に沿った実施内容であり、他の部局に類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	地域において高齢者がいきいきと暮らすために有効な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	老人クラブ活動への活動費助成事業であり、民間では実施されていない。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	対象が高齢化しており、大きな変化が見込めない現状である。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	国の方針に沿った実施内容である。
項目点合計		２０	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　7×3　＋　7×3　　総合評価点　６６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
対象が高齢化しており、大きな変化が見込めない現状であるが、地域において高齢者がいきいきと暮らすために有効な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030104	05	まるごと福祉課	4,914	4,658	1,713	2,945	5,504	5,504
	老人クラブ支援事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 はり・きゅう・マッサージ助成事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－060100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 はり・きゅう・マッサージ助成事業・はり		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
横手市に住所を有し、当該年度の４月１日において75歳以上の者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
高齢者の健康の保持及び増進を図る
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
はり、きゅう、マッサージ助成事業：市指定の施術所を割引料金で利用できる施術券を年12枚交付

④ 根拠法令	横手市はり・きゅう・マッサージ施術費助成要綱	⑤ 関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	高齢者の健康の保持及び増進を図るため、対象者へはり・きゅうマッサージ券を12枚交付 ・令和5年度より対象者を75歳以上に引き上げ ・対象者18,169人のうち998人にはり・きゅうマッサージ券11,976枚を交付（交付率5.5%） ・利用があったのは5,407枚（交付枚数に対する利用率は45.1%）
令和 7年度（決算）	高齢者の健康の保持及び増進を図るため、対象者へはり・きゅうマッサージ券を12枚交付 ・対象者18,501人のうち1,022人にはり・きゅうマッサージ券12,264枚を交付（交付率5.5%） ・利用があったのは4,892枚（交付枚数に対する利用率は39.9%）
令和 8年度（計画）	・高齢者の健康の保持及び増進を図るため、75歳以上の対象者へはり・きゅうマッサージ券を12枚交付
令和 9年度（計画）	・高齢者の健康の保持及び増進を図るため、75歳以上の対象者へはり・きゅうマッサージ券を12枚交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	はり・きゅう・マッサージ施術利用率				
		単位	%	目標値	7.5	7.5	7.5	7.5	5
				実績値	3.6	5.5	5.5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	4,950	4,374	4,691	5,407	5,473
	(f) 一般財源	684	1,141	472	1,289	669
事業費の小計		5,634	5,515	5,163	6,696	6,142

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	高齢者の健康増進を目的としており、一定の利用者で推移している。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	利用者だけでなく障がい者が多く従事する施術業者にも利益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	後期高齢者（75歳以上）が対象である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	交付率は横ばい状態となっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局で類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	後期高齢者の健康増進のため、実施が望ましい事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	健康増進を意識した利用者の満足度は高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	令和５年度に対象年齢を引き上げる見直しを行い、利用率が向上したが、今後も社会情勢に合わせた不断の見直しを要する。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	対象者数に対する利用率が低く受益者が限定的だが、後期高齢者医療広域連合から交付される補助金を活用し実施している県内他自治体と足並みを揃えている。
項目点合計		２０	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　7×3　＋　7×3
総合評価点		６６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
他自治体と比較してもサービス水準は適切である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	030104	06	まるごと福祉課	5,515	5,163	4,691	472	6,696	6,142
	はり・きゅう・マッサージ助成事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 市民後見推進事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－090100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 市民後見推進事業・市民後見推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び市民後見人。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

成年後見制度及び後見人活動に対する知識と技術を習得し市民後見人候補者名簿への登録の促進を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・市民を対象に市民後見人養成講座を開催、市民後見人又は候補者名簿に既に登録されている方については、フォローアップ研修を開催し、後見人としての質と意欲の向上を図る
・成年後見支援センターを設置し、市民後見人の活動を支援、市民への成年後見制度の周知・啓発活動を実施し、制度の活用が望ましいと考えられる方の利用促進を図る
・Ｒ６年度より社会福祉協議会が設置する「成年後見・権利擁護センター」への業務委託を実施

④根拠法令	介護保険法・老人福祉法	⑤関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画 横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	Ｒ 6年度　～　Ｒ 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・成年後見推進事業を横手市成年後見支援センターを運営する横手市社会福祉協議会へ委託
令和 7年度（決算）	・成年後見推進事業を横手市成年後見支援センターを運営する横手市社会福祉協議会へ委託
令和 8年度（計画）	・市民が必要な権利擁護支援を受けられる体制づくりを行う ・横手市社会福祉協議会が設置している「成年後見支援センター」へ業務委託を行う
令和 9年度（計画）	・市民が必要な権利擁護支援を受けられる体制づくりを行う ・横手市社会福祉協議会が設置している「成年後見支援センター」へ業務委託を行う

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	市民後見人の活動人数				
		単位	人	目標値	13	13	13	13	13
				実績値	6	4	6		
	2	区分	活動	指標	市民後見人名簿登録者数				
		単位	人	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	39	24	27		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,348	1,500	1,500	1,500	1,500
	(b) 県支出金	330	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	729	1,696	2,208	2,776	2,209
事業費の小計		2,407	3,196	3,708	4,276	3,709

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	老人福祉法32条の2において市町村の努力義務事業となっている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、本人に寄り添った支援を実施するため市民後見の推進を図ることは市全体の公益性につながる事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	対象は認知症や障がい等により判断能力が不十分となった高齢者等である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	市民後見人の活動機会が少ないため、目標値の下方修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要な事業ある。
③事業の効率性	6	事業実施主体の適正性	1点：民間等が同種サービスを十分に提供しており、事業の全部のアウトソーシングが可能である。
		1	横手市社会福祉協議会へ業務委託している。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	令和６年度から外部委託とし業務を効率化したが、今後も社会情勢に合わせて事業内容の見直しが必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担を求めるべきものではない。
項目点合計	２２	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　6×3	総合評価点　７４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

成年後見制度利用者の環境は煩雑化しており高い専門性が求められることから、養成講座やフォローアップ研修の開催、制度の利用促進を図っていくための活動支援等の実施が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030104	09 まるごと福祉課	3,196	3,708	1,500	2,208	4,276	3,709
	市民後見推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 高齢者生活支援ハウス費

部・担当課	健康福祉部・健康の丘居宅支援センター森の家	担当課長氏名	佐々木　恵
予算科目事業	1 一般会計－030105－010100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費　高齢者生活支援ハウス費・高齢者生		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

１人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

安心して生活できるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【高齢者生活支援ハウス費】

・居住の提供　・給食の提供　・各種行事の提供　・交流場所の提供

④根拠法令	高齢者生活福祉センター運営事業実施要綱 市大森町高齢者生活支援ハウス設置条例	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	施設定員15名　目標平均利用人数　14人（月） 実績　延べ利用人数　（4月から3月）　3,570人/年 平均利用人数　9.8人/日 平均実利用者数　10.6人/月 決算額　10,838,521円
令和 7年度（決算）	施設定員15名　目標平均利用人数　14人（月） 在宅生活に不安を抱えている高齢の一人暮らしや夫婦世帯の方々を対象に安全に安心して生活が送れるように支援を提供
令和 8年度（計画）	施設定員15名　目標平均利用人数　14人（月） 在宅生活に不安を抱えている高齢の一人暮らしや夫婦世帯の方々を対象に安全に安心して生活が送れるように支援する。
令和 9年度（計画）	施設定員15名　目標平均利用人数　14人（月） 在宅生活に不安を抱えている高齢の一人暮らしや夫婦世帯の方々を対象に安全に安心して生活が送れるように支援する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	平均利用人数				
		単位	人	目標値	14	14	14	14	
				実績値	10.4	9.8	8.5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	6,100	4,000	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	3,601	4,004	4,271	3,618	4,412
	(f) 一般財源	4,831	6,835	7,316	9,333	6,740
事業費の小計		8,432	10,839	17,687	16,951	11,152

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030105	01	健康の丘居宅支援センター森の家						
	高齢者生活支援ハウス費			10,839	11,544	4,271	7,273	12,436	11,152
2	030105	01	健康の丘居宅支援センター森の家						
	高齢者生活支援ハウス費（建設）			0	6,143	6,100	43	4,515	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 老人憩の家費

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030105－989700　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 老人憩の家費・増田町老人憩の家費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

原則６０歳以上の市民を対象とする

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者がいつまでも元気で生活できるようにする

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

①増田町老人憩の家費②大森町老人憩の家等費
・高齢者の生きがい活動及び健康づくりのための居室貸出し
・町内会等地域活動のための居室貸出し

④根拠法令	老人福祉法	⑤関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画 横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・高齢者の生きがい活動及び健康づくり、並びに町内会等地域活動のための居室貸出 ・２地域（増田、大森）において設置　（増田利用者数831人、大森利用者数1,028人） 大森について令和７年度改修、令和８年度譲渡予定
令和 7年度（決算）	・高齢者の生きがい活動及び健康づくり、並びに町内会等地域活動のための居室貸出 ・２地域（増田、大森）において設置　（増田利用者数831人、大森利用者数893人） 大森について令和７年度改修、令和８年度譲渡
令和 8年度（計画）	令和７年度で終了
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	2,800	2,800	2,800	1,000	1,000
				実績値	1,931	1,859	1,509		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,631	1,755	3,806	0	0
事業費の小計		1,631	1,755	3,806	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030105	98 増田市民サービス課	1,755	1,827	0	1,827	0	0
	増田町老人憩の家費							
2	030105	98 大森市民サービス課	0	1,979	0	1,979	0	0
	大森町老人憩の家費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 生きがい交流広場費

部・担当課	まちづくり推進部・大森市民サービス課	担当課長氏名	佐藤　大
予算科目事業	1 一般会計－030105－020100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 生きがい交流広場費・生きがい交流		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
広場を利用して遊びやスポーツを通した子育てと高齢者の健康増進の場としたい。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
施設をいつでもだれでも気軽に利用できるよう、良好な状態に保つための維持管理を行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市財産経営推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・大会やイベントでの利用実績なし。地域住民が時々使用。良好な状態で使用できるよう適切な管理を実施 ・委託内容：管理棟清掃、芝生管理、樹木管理、除草作業、冬囲い設置・取外し
令和 7年度（決算）	・大会やイベントでの利用実績なし。地域住民が時々使用。良好な状態で使用できるよう適切な管理を実施 ・委託内容：管理棟清掃、芝生管理、樹木管理、除草作業、冬囲い設置・取外し
令和 8年度（計画）	良好な状態で使用できるよう適切な管理に努める。 委託内容：芝生管理、樹木管理、冬囲い、取り外し、クレイ補装整備、除草作業
令和 9年度（計画）	良好な状態で使用できるよう適切な管理に努める。 委託内容：芝生管理、樹木管理、冬囲い、取り外し、クレイ補装整備、除草作業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	利用者数				
		単位	人	目標値	600	100	100	100	100
				実績値	300	80	80		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	571	585	617	669	669
事業費の小計		571	585	617	669	669

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030105	02 大森市民サービス課						
	生きがい交流広場費		585	617	0	617	669	669

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 生きがい創作館費

部・担当課	まちづくり推進部・大森市民サービス課	担当課長氏名	佐藤　大
予算科目事業	1 一般会計－030105－030100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 生きがい創作館費・生きがい創作館		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

各種の創作活動を行いながら、知識、技能及び文化の伝承の場として老若男女の交流を図り、人間的ふれあいを大切にしたコミュニティづくりの推進を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

指定管理者（社会福祉法人秋田県社会福祉事業団）と指定管理のための協定（令和6年4月１日～令和11年3月31日）を締結し、施設を良好な状態に保つための維持管理と各種創作教室を行う。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市財産経営推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・指定管理者　社会福祉法人　秋田県社会福祉事業団 ・指定管理期間　R6.4.1～R11.3.31 ・指定管理料　2,745千円 ・場所　秋田県南部老人福祉総合エリア内 ・良好な状態で使用できるよう管理を行い、指定管理者による生きがい創作館活動を実施 ・教室開催数385回（延べ参加者1,875人）
令和 7年度（決算）	・指定管理者　社会福祉法人　秋田県社会福祉事業団 ・指定管理期間　R6.4.1～R11.3.31 ・指定管理料　2,745千円 ・場所　秋田県南部老人福祉総合エリア内 ・良好な状態で使用できるよう管理を行い、指定管理者による生きがい創作館活動を実施 ・教室開催数377回（延べ参加者1,612人）
令和 8年度（計画）	良好な状態で使用できるよう管理に努める 指定管理者による活き活き学園講座の充実、アンケートを実施するなどして利用者拡大を図る
令和 9年度（計画）	良好な状態で使用できるよう管理に努める 指定管理者による活き活き学園講座の充実、アンケートを実施するなどして利用者拡大を図る

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	利用者数				
		単位	人	目標値	1,200	1,600	1,600	1,600	1,600
				実績値	1,711	1,875	1,612		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,944	2,745	2,745	2,745	2,745
事業費の小計		2,944	2,745	2,745	2,745	2,745

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030105	03	大森市民サービス課						
	生きがい創作館費（債務負担）			2,745	2,745	0	2,745	2,745	2,745

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 健康福祉センター費

部・担当課	まちづくり推進部・十文字市民サービス課	担当課長氏名	野村　禎介
予算科目事業	1 一般会計－030105－040100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 健康福祉センター費・健康福祉セン		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域福祉活動の拠点として、その向上を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【健康福祉センター費（債務負担）】
指定管理による施設運営を行い、地域福祉活動の推進を図る。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	指定管理による施設運営を行い、地域福祉の増進を図る。令和11年度以降の施設運営及び管理について協議を実施。
令和 7年度（決算）	指定管理による施設運営を行い、地域福祉の増進を図る。令和11年度以降の施設運営及び管理について協議を実施。
令和 8年度（計画）	指定管理による施設の適正な維持管理と地域福祉の推進を図る。FM計画の方針により、令和6年度からの5年間の指定管理期間内に施設のあり方を検討、協議する。
令和 9年度（計画）	指定管理による施設の適正な維持管理と地域福祉の推進を図る。FM計画の方針により、令和6年度からの5年間の指定管理期間内に施設のあり方を検討、協議する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用人数				
		単位	人	目標値	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100
				実績値		9,128	8,377		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,572	1,700	1,579	1,579	1,670
事業費の小計		2,572	1,700	1,579	1,579	1,670

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030105 04 健康福祉センター費（債務負担）	十文字市民サービス課	1,700	1,579	0	1,579	1,579	1,670

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 地域福祉センター費

部・担当課	まちづくり推進部・大雄市民サービス課	担当課長氏名	高橋　誠耕
予算科目事業	1 一般会計－030105－050100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 地域福祉センター費・地域福祉セン		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域福祉活動の拠点として、地域福祉の向上を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・指定管理による施設運営を行い、地域福祉活動の推進を図る。
【地域福祉センター】施設の維持管理
【地域福祉センター（債務負担）】横手市社会福祉協議会への指定管理料

④ 根拠法令	社会福祉法	⑤ 関連計画	第２次横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・指定管理による施設運営、地域福祉活動の推進 社会福祉協議会への指定管理料　2,952,400円 ・施設の維持管理 地域福祉センター土地賃借料（4月～7月分）　300,717円 キュービクル塗装　103,356円　天窓オペレーター修繕　357,500円　ボイラー補給水ポンプ交換　141,130円 ・用地購入（地権者2名、7筆）　14,390,891円
令和 7年度（決算）	・指定管理による施設運営、地域福祉活動の推進 社会福祉協議会への指定管理料　2,952,400円 ・施設の維持管理 多機能室天井クロス補修　316,800円　非常用予備発電装置蓄電池交換業務委託　303,644円 自転車置場屋根解体工事　91,300円　自転車置場梁柱解体工事　95,700円
令和 8年度（計画）	・横手市社会福祉協議会への指定管理料 ・施設の小破修繕料、特殊建築物設備点検・定期点検
令和 9年度（計画）	・横手市社会福祉協議会への指定管理料 ・施設の小破修繕料、特殊建築物設備点検

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	一般利用者数				
		単位	人	目標値	2,130	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	1,412	1,651	843		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,675	3,954	3,858	3,863	3,863
事業費の小計		5,675	3,954	3,858	3,863	3,863

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030105	05	大雄市民サービス課						
	地域福祉センター費			1,002	906	0	906	910	910
2	030105	05	大雄市民サービス課						
	地域福祉センター費（債務負担）			2,952	2,952	0	2,952	2,953	2,953

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0022 老人福祉センターゆうらく館費

部・担当課	まちづくり推進部・山内市民サービス課	担当課長氏名	大極　和世
予算科目事業	1 一般会計－030105－060100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 老人福祉センターゆうらく館費・老		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

60歳以上の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

「ゆうらく館」を利用しての健康管理・集いの場づくり

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【老人福祉センターゆうらく館費】「ゆうらく館」の維持管理（修繕）
【老人福祉センターゆうらく館費（債務負担）】「ゆうらく館」の維持管理を横手市社会福祉協議会を指定管理者に指定
温泉入浴やつどいの場を提供し、地域住民やボランティアを含めたネットワーク活動を推進強化しながら、高齢者福祉の拠点として各種の活動を展開する。

④根拠法令	老人福祉法	⑤関連計画	
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・ゆうらく館費(修繕費384千円、手数料143千円、その他委託料372千円) ・ゆうらく館費(債務負担:義務的経費)(指定管理料5,790千円/横手市社会福祉協議会) ・ゆうらく館費(建設)(工事請負費1,298千円)
令和 7年度（決算）	・ゆうらく館費(修繕費2,352千円、消耗品費21千円、手数料154千円、指定管理以外の委託料428千円) ・ゆうらく館費(債務負担:義務的経費)(指定管理料6,292千円/横手市社会福祉協議会) ・ゆうらく館費(建設)(備品購入費36千円)
令和 8年度（計画）	「ゆうらく館」指定管理料（横手市社会福祉協議会へ） 施設修繕の実施、機器点検計画及び修繕計画の作成
令和 9年度（計画）	「ゆうらく館」指定管理料（横手市社会福祉協議会へ） 施設修繕の実施、機器点検計画及び修繕計画の作成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	入浴者数				
		単位	人	目標値	7,500	9,000	9,000	9,000	9,000
				実績値	15,202	13,095	11,662		
	2	区分	活動	指標	ミニデイサービス利用者数(H30年度で終了)				
		単位	人	目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,340	6,689	9,283	7,528	7,576
事業費の小計		6,340	6,689	9,283	7,528	7,576

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030105 06 山内市民サービス課 老人福祉センターゆうらく館費	899	2,991	0	2,991	1,236	1,284
2	030105 06 山内市民サービス課 老人福祉センターゆうらく館費（債務負担）	5,790	6,292	0	6,292	6,292	6,292

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0024 軽費老人ホーム費

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030105－070100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 軽費老人ホーム費・軽費老人ホーム		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

社会福祉法人　横手市社会福祉協議会　ケアハウスいずみの里

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

家庭での生活が困難な高齢者が、日常生活のサポートを受けることで安心した生活を継続できる

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・軽費老人ホームへの運営費補助金を交付

④根拠法令	老人福祉法	⑤関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	家庭での生活が困難な高齢者の施設入所に係る、軽費老人ホームの施設運営費を補助 補助金交付額　7,944,000円
令和 7年度（決算）	家庭での生活が困難な高齢者の施設入所に係る、軽費老人ホームの施設運営費を補助 補助金交付額　8,739,000円
令和 8年度（計画）	・家庭での生活が困難な高齢者の施設入所に係る、軽費老人ホームの施設運営費を補助 補助金交付予定額　9,237,000円
令和 9年度（計画）	・家庭での生活が困難な高齢者の施設入所に係る、軽費老人ホームの施設運営費を補助 補助金交付予定額　9,237,000円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	入居者数				
		単位	人	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	13	14	14		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,780	7,944	8,739	9,237	9,237
事業費の小計		8,780	7,944	8,739	9,237	9,237

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030105	07 まるごと福祉課	7,944	8,739	0	8,739	9,237	9,237
	軽費老人ホーム費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 介護保険特別会計繰出金

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030108－010100　民生費・社会福祉費・介護保険対策費　介護保険特別会計繰出金・介護保険特		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

介護保険特別会計

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

介護保険財政の適切な運営を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【介護保険特別会計繰出金事業】・・・介護給付費や地域支援事業に係る市の法定負担分、事務費等に係る経費を繰り出す。
【低所得者保険料軽減繰出金事業】・・・介護保険料第１段階から第3段階の軽減分を介護保険特別会計に繰入する。財源は国1/2、県1/4、残りを市が負担する。

④根拠法令	介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則	⑤関連計画	介護保険事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	【介護保険特別会計繰出金】当該年度の介護・予防給付や事業の費用に対し法定負担分（保険者分）を適正に繰出 ・予防及び介護給付費（12.5%） ・地域支援事業総合事業（12.5%）・その他地域支援事業（19.25%）・その他対象外経費 ・総務費用 【低所得者保険料軽減繰出金】消費税増税に伴い保険料軽減対象拡大（1～3段階へ）減額賦課費用分を繰出 ・令和5年度対象者：10,979人
令和 7年度（決算）	【介護保険特別会計繰出金】当該年度の介護・予防給付や事業の費用に対し法定負担分（保険者分）を適正に繰出 ・予防及び介護給付費（12.5%） ・地域支援事業総合事業（12.5%）・その他地域支援事業（19.25%）・その他対象外経費 ・総務費用 【低所得者保険料軽減繰出金】消費税増税に伴い保険料軽減対象拡大（1～3段階へ）減額賦課費用分を繰出 ・令和7年度対象者：10,228人
令和 8年度（計画）	【介護保険特別会計繰出金】当該年度の給付や事業の実績に基づいて、法令に従い、適正な繰り出しを行う。 【低所得者保険料軽減繰出金】当該年度の軽減実績に応じて、法令に従い、適正な繰り出しを行う。
令和 9年度（計画）	【介護保険特別会計繰出金】当該年度の給付や事業の実績に基づいて、法令に従い、適正な繰り出しを行う。 【低所得者保険料軽減繰出金】当該年度の軽減実績に応じて、法令に従い、適正な繰り出しを行う。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	介護保険特別会計繰出金事業：当該年度の介護給付費、地域支援事業、事務費の実績額				
		単位	千円	目標値	1,844,858	1,878,520	1,874,060	1,874,060	1,874,060
				実績値	1,758,471	1,743,412	1,721,876		
	2	区分	活動	指標	低所得者保険料軽減繰出金事業：当該年度の軽減実績に応じた繰出し				
		単位	千円	目標値	150,303	154,700	119,451	119,451	119,451
				実績値	154,866	126,216	116,864		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	78,702	57,956	58,324	58,397	58,397
	(b) 県支出金	38,082	30,571	28,387	29,198	29,198
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	5,477	0	0
	(f) 一般財源	1,796,552	1,781,101	1,746,552	1,857,763	1,857,763
事業費の小計		1,913,336	1,869,628	1,838,740	1,945,358	1,945,358

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030108	01 まるごと福祉課	1,743,412	1,721,876	3,712	1,718,164	1,828,563	1,828,563
	介護保険特別会計繰出金							
2	030108	01 まるごと福祉課	126,216	116,864	88,476	28,388	116,795	116,795
	低所得者保険料軽減繰出金							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 利用者負担額減免措置事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030108－020100　民生費・社会福祉費・介護保険対策費 利用者負担額減免措置事業・利用者負		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

低所得の利用者、社会福祉法人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

対象者の利用者負担を、施設等を運営する社会福祉法人が軽減し、その軽減費用の一部を国・県・市が補助。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【利用者負担額減免措置事業】

低所得で、特に生計の維持が困難な方が、社会福祉法人から介護保険サービスを受けるときに対象者の利用者負担額を当該法人が４分の１軽減した場合、各法人の軽減実績に応じ、その一部を補助するもの。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	介護保険事業計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	◇利用者負担額減免措置事業 社会福祉法人の介護サービスを利用した際、対象者の利用者負担額を当該法人が4分の1軽減した場合、各法人の軽減実績に応じ、その一部を補助する。 ・軽減額に応じてその一部を市が補助し、補助額に対して県が市に対し3/4補助を実施。 ・対象人数：19人（確認証交付者20人）　・施設サービス分　337,056円※施設利用者のみ
令和 7年度（決算）	◇利用者負担額減免措置事業 社会福祉法人の介護サービスを利用した際、対象者の利用者負担額を当該法人が4分の1軽減した場合、各法人の軽減実績に応じ、その一部を補助する。 ・軽減額に応じてその一部を市が補助し、補助額に対して県が市に対し3/4補助を実施。 ・対象人数：22人（確認証交付者28人） ・居宅サービス分　1,700円、 施設サービス分 598,300円、合計600,000円
令和 8年度（計画）	◇利用者負担額減免措置事業 社会福祉法人の介護サービスを利用した際、対象者の利用者負担額を当該法人が4分の1軽減した場合、各法人の軽減実績に応じ、その一部を補助する。
令和 9年度（計画）	◇利用者負担額減免措置事業 社会福祉法人の介護サービスを利用した際、対象者の利用者負担額を当該法人が4分の1軽減した場合、各法人の軽減実績に応じ、その一部を補助する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	当該年度の軽減実績に応じた補助金の額				
		単位	千円	目標値	800	800	800	800	800
				実績値	375	337	600		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	281	252	387	450	450
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	94	85	213	150	150
事業費の小計		375	337	600	600	600

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	８	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	国で定める制度に準じて実施している事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		２	事業の対象となる市民が安心して施設を利用できるための事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	国で定める制度に準じて実施している事業であり、適切・公平に事業を行っている。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	目標値を修正したことにより、目標を達成している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	国で定める制度に準じて実施している事業であり、事業の継続が必要である。
③事業の効率性	８	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		３	国で定める制度に準じて実施している事業であり、事業の継続が必要である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	事務作業などの業務の効率化について検討する。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	国で定める制度に準じて実施している事業であり、事業の継続が必要である。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　8×3	総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

国で定める制度に準じて実施している事業であり、事業の継続が必要である。事業の対象となる利用者は年度により増減があるが、令和6年度からは増加傾向にあるため今後の動向を注視していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030108	02	まるごと福祉課						
	利用者負担額減免措置事業			337	600	387	213	600	600

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0030 国民年金事務費

部・担当課	市民生活部・国保年金課	担当課長氏名	藤井　みゆき
予算科目事業	1 一般会計－030401－010100　民生費・国民年金費・国民年金事務費　国民年金事務費・国民年金事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内に住所を有する国民年金被保険者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

被保険者の年金受給権を確保するための事務を実施する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【国民年金事務費】・国民年金法で定められた法定受託事務の範囲内で年金制度の周知をするとともに、国民年金の資格取得、喪失、諸変更等の届出、20歳到達者の適用（加入）勧奨、老齢基礎年金、障害基礎年金の受給手続き相談及び年金全般の相談実施。

④根拠法令	国民年金法第3条第3項	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	法定受託事務を的確に遂行し、年金事務所との連携をとりながら市民サービスの充実を図った。
令和 7年度（決算）	法定受託事務を的確に遂行し、年金事務所との連携をとりながら市民サービスの充実を図った。
令和 8年度（計画）	法定受託事務を的確に遂行し、年金事務所との連携をとりながら市民サービスの充実を図る。
令和 9年度（計画）	法定受託事務を的確に遂行し、年金事務所との連携をとりながら市民サービスの充実を図る。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	－	指標	国民年金保険料納付率				
		単位	%	目標値	78.5	78.6	79	80	81
				実績値	87.3	87.5	87.6		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,836	5,530	6,010	10,685	4,106
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	690	365
事業費の小計		3,836	5,530	6,010	11,375	4,471

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030401	01 国保年金課	5,530	6,010	6,010	0	11,375	4,471
	国民年金事務費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0031 農家高齢者創作館費

部・担当課	まちづくり推進部・平鹿地域課	担当課長氏名	佐藤　明子
予算科目事業	1 一般会計－060109－989800　農林水産業費・農業費・農業施設費 農家高齢者創作館費・農家高齢者創作館		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	―	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民（特に農家高齢者）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
農業に従事する高齢者が、体験し習得した知識及び技術を共同で地域社会の発展に役立てている。また、個々の生活活動の領域を広げ、生きがい及びうるおいのある生活を営んでいる。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
地域市民の交流の場、活動の場として利用していただくため、施設の維持管理を行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	平鹿農家高齢者創作館の施設維持管理
令和 7年度（決算）	平鹿農家高齢者創作館の施設維持管理
令和 8年度（計画）	令和７年度で廃止
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	平鹿農家高齢者創作館年間利用人数				
		単位	人	目標値	400	400	400	400	400
				実績値	444	431	303		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	8	8	10	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	877	895	846	0	0
事業費の小計		885	903	856	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060109	98	平鹿地域課						
	農家高齢者創作館費（平鹿地域）			903	856	10	846	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0034 市営介護サービス事業特別会計繰出金

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030105－080100　民生費・社会福祉費・高齢者福祉施設費 市営介護サービス事業特別会計繰出		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

施設利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

施設サービス計画等に基づき各種サービスを提供し、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市営介護サービス事業特別会計繰出金】

・特別養護老人ホーム白寿苑の運営費　・介護老人保健施設老健おおもりの運営費　・森の家で行われる通所介護事業の運営費を支出する。

④根拠法令	地方公営企業法第17条の２（経費の負担の原則）	⑤関連計画	介護保険事業計画・高齢者福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	【市営介護サービス事業特別会計繰出金】 下記施設に係る職員の児童手当分・公債費分・その他利用者負担分を繰り出した。 ・特別養護老人ホーム白寿園 ・老人保健施設老健おおもり ・指定通所介護事業所 ・地域包括支援センター
令和 7年度（決算）	【市営介護サービス事業特別会計繰出金】 下記施設に係る職員の児童手当分・公債費分・その他利用者負担分を繰り出した。 ・特別養護老人ホーム白寿園 ・老人保健施設老健おおもり ・指定通所介護事業所 ・地域包括支援センター
令和 8年度（計画）	以下の介護施設に対し運営に要する経費を支出する。 ①特別養護老人ホーム白寿園　②老人保健施設老健おおもり　③指定通所介護事業所、 ④地域包括支援センター
令和 9年度（計画）	以下の介護施設に対し運営に要する経費を支出する。 ①特別養護老人ホーム白寿園　②老人保健施設老健おおもり　③指定通所介護事業所、 ④地域包括支援センター

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設サービス延利用者数（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の合計数）				
		単位	人	目標値	75,800	77,133			
				実績値	72,411	70,997	71,920		
	2	区分	成果	指標	居宅サービス延利用者数（短期入所生活介護、通所リハビリテーション、通所介護の合計数）				
		単位	人	目標値	11,400	12,484			
				実績値	9,388	9,275	9,724		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	320,212	362,447	405,151	460,153	460,153
事業費の小計		320,212	362,447	405,151	460,153	460,153

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030105	08 まるごと福祉課	362,447	405,151	0	405,151	460,153	460,153
	市営介護サービス事業特別会計繰出金							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0040 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－979800　民生費・社会福祉費・地域福祉費 地方創生臨時交付金事業・介護保険施設等		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

介護保険施設等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

原油価格高騰に伴う介護保険施設等の光熱費の負担軽減を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【介護保険施設等物価高騰対策事業】物価高騰に伴う介護保険施設等に対する緊急的な支援として、食材料費の上昇分について6ヵ月分を助成する。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 2年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	【介護保険施設等物価高騰対策事業】 ・介護保険施設等への原油価格高騰による光熱費・食材費を助成し、施設等の運営健全化を図ることができた ・入所13,000円×定員2,073人=26,949,000円、通所 9,000円×定員919人=8,271,000円　訪問 100,000円×73事業者=7,066,666円（期間による調整あり） ・食材料費：入所 10,000円×定員2,073人=20,730,000円、通所 3,300円×定員747人=2,465,100円 施設補助　入所2,073人、通所919人、食材料費　入所2,073人　通所747人、訪問系　73事業所(1事業所申請なし)
令和 7年度（決算）	物価高騰に伴う介護保険施設等の光熱水費・食材料費を助成（県介護保険施設等物価高騰対策事業） ・食材料費：計22,922,800円　上期計11,515,800円（入所5,000円×定員2,055人＝10,275,000円、通所1,650円×752人＝1,240,800円）下期計11,407,000円（入所5,100円×定員1,990人＝10,149,000円　通所1,700円×定員740人＝1,258,000円）・光熱水費：計41,867,073円（入所13,400円×定員1,990人＝26,666,000円　通所9,300円×899人＝8,325,825円（期間による調整あり）　訪問103,000円×64事業所＝6,592,000円・94,416円×1事業所＝94,416円・85,833円×2事業所＝171,666円・17,166円×1事業所＝17,166円　計6,875,248円（期間による調整あり）））
令和 8年度（計画）	現段階において実施予定は無いが、国県等の動向や事業者からの意向・協議により実施を検討する
令和 9年度（計画）	現段階において実施予定は無いが、国県等の動向や事業者からの意向・協議により実施を検討する

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	介護保険施設等物価高騰対策（光熱費）事業対象事務所に対する申請事業所割合				
		単位	%	目標値	90				
				実績値	98	100	99		
	2	区分	成果	指標	介護保険施設等物価高騰対策（食材料費）事業対象事業所に対する申請事業所割合				
		単位	%	目標値	90		90		
				実績値	100	99	99		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	27,299	32,740	26,637	0	0
	(b) 県支出金	27,300	32,741	32,395	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	1	5,758	0	0
事業費の小計		54,599	65,482	64,790	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	5	事業の必要性	1点：目的を達成しており、現状では、他の事業よりも優先度が低い。
		1	物価高騰対策の支援として、県との協調助成を行っている。介護保険施設等の安定運営に向け緊急的に実施した事業であり、目的に対する一定の効果はあった。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	介護保険施設等に対する支援ではあるが、施設の利用者が継続してサービスを利用できることになるため、地域等の一定範囲にメリットがあった。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	介護保険施設等に対する支援ではあるが、施設を利用する多くの住民がサービスを受けている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	介護保険施設等の安定運営に向け緊急的に実施した事業であり、目標は達成した。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	介護保険施設等に対する類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	介護保険サービスの拠点となる施設等への支援であり、介護保険施設等の安定運営に向けた緊急的な支援は望ましい事業であった。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	物価高騰対策の支援として、県との協調助成により介護保険施設等の安定運営に向け緊急的に実施した事業であるため、市が主体となって取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	物価高騰対策の支援として、県との協調助成により介護保険施設等の安定運営に向け緊急的に実施した事業であるため、現段階でこれ以上の改善の余地はないと思われる。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	介護保険施設等に対する支援ではあるが、施設の利用者が継続してサービスを利用できることができ、サービスの水準を維持することができた。
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　5×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　６８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
現段階では事業実施の予定はないが、今後の情勢により事業実施を検討する可能性がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030104	97	まるごと福祉課						
	介護保険施設等物価高騰対策事業			65,482	64,790	59,032	5,758	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0041 高齢者等在宅医療・介護サービス提供体制整備事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－969800　民生費・社会福祉費・地域福祉費 高齢者等在宅医療・介護サービス提供体制		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	－	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
通院が困難な高齢者等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
医療介護関係者の協力連携により、通院が困難な高齢者等に対して安定的な医療の提供が可能となり誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるための「地域包括ケアシステム」の推進が期待できる。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【高齢者等在宅医療・介護サービス提供体制整備事業】医療機器搭載車両購入費等の一部を補助する。

④ 根拠法令		⑤ 関連計画	第9期横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	オンライン在宅診療サービス提供体制整備に係る経費を補助することで、医療・介護サービスの安定継続的な確保につなげ、地域包括ケアシステムの推進を図る 運営主体となる地域医療連携推進法人等に対する補助金（医療機器搭載車両購入費等に対するもの）
令和 8年度（計画）	令和７年度で終了
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	補助金を交付する地域医療連携推進法人等				
		単位	法人	目標値			1		
				実績値			1		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	45,791	0	0
事業費の小計		0	0	45,791	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	1点：目的を達成しており、現状では、他の事業よりも優先度が低い。
		1	医療MaaS車両や設備の整備が完了している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	身体的、環境的な事情があり医療機関を受診できない市民に対して公益をもたらす
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	誰もが事情により医療機関を受診できない可能性が起こりうる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	医療MaaSの整備が完了し、制度やルール等が整えば稼働する状態である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	在宅医療分野で在宅にいながら高度な医療を受けられることを進める特殊な事業となる。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	地域包括ケアシステム推進に寄与する事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	整備費用への経済的支援であり、市以外での実施は難しい。 補助金交付による医療MaaS整備完了後の運用は医療連携推進法人が行う。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	整備費用へ補助金を交付し、運用コストは実施団体が全額負担する公設民営の方式を採用し、最大限の効率化が図られている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	整備費用へ補助金を交付し、運用コストは実施団体が全額負担する公設民営の方式を採用し、最大限の効率化が図られている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　9×3
総合評価点		７９	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
令和７年度で終了。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030104	96 まるごと福祉課						
	高齢者等在宅医療・介護サービス提供体制整備事業		0	45,791	0	45,791	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 障がい者自立支援給付総務費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－010100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 障がい者自立支援給付総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
障がい者（児）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
障がいの種別（身体障がい・知的障がい・精神障がい）に関わらず、障がいのある人が必要とするサービスを提供し、それに係る自立支援給付費と自立支援医療給付費の請求事務を、秋田県国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金に委託する。

④ 根拠法令	障害者総合支援法	⑤ 関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・審査支払委託件数　自立支援給付　障がい児　3,512件　障がい者　15,128件 自立支援医療　更生医療　2,167件　育成医療　68件　療養介護　336件 ・障害者総合支援法給付費適正化総合支援ソフトの利用料　792千円 ・障がい者福祉システム　障がい者福祉システム改修業務（2件）2,722千円
令和 7年度（決算）	・審査支払委託件数　自立支援給付　障がい児　3,904件　障がい者　15,743件 自立支援医療　更生医療　1,931件　育成医療　56件　療養介護　185件 ・障害者総合支援法給付費適正化総合支援ソフトの利用料　792千円 ・障がい者福祉システム　障がい者福祉システム改修業務（2件）4,669千円
令和 8年度（計画）	・審査支払委託件数　自立支援給付　障がい児　3,720件　障がい者　15,120件 自立支援医療　更生医療　1,969件　育成医療　72件　療養介護　186件 ・障害者総合支援法給付費適正化総合支援ソフトの利用料
令和 9年度（計画）	・審査支払委託件数　自立支援給付　障がい児　3,720件　障がい者　15,120件 自立支援医療　更生医療　2,000件　育成医療　80件　療養介護　200件 ・障害者総合支援法給付費適正化総合支援ソフトの利用料

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	請求事務委託件数				
		単位	件	目標値	23,580	23,580	23,580	22,000	22,040
				実績値	17,160	18,640	21,819		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,146	1,380	2,362	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	43,441	36,343	39,762	5,445	5,510
事業費の小計		44,587	37,723	42,124	5,445	5,510

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	030102	01	社会福祉課	37,723	42,124	2,362	39,762	5,445	5,510
	障がい者自立支援給付総務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 自立支援協議会費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－020100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 自立支援協議会費・自立支援		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者（児）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

障がいの種別（身体障がい・知的障がい・精神障がい）に関わらず、障がいのある人が必要とするサービスを利用できるようにするため、自立支援協議会を運営する。

④根拠法令	障害者総合支援法	⑤関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・自立支援協議会及び各部会等の開催 自立支援協議会　2回、実務担当者会議　1回、相談支援連絡会　10回、子ども支援部会　5回 就労支援部会　5回、生活支援部会　5回
令和 7年度（決算）	・自立支援協議会及び各部会等の開催 自立支援協議会　2回、実務担当者会議　2回、相談支援連絡会　9回、こども支援部会　5回 就労支援部会　5回、生活支援部会　5回 ・相談支援従事者の質の向上を図る為の取り組みとして、グループスーパービジョンを実施　10回
令和 8年度（計画）	・自立支援協議会及び各部会等の開催 自立支援協議会　2回、実務担当者会議　2回、相談支援連絡会　10回、こども支援部会　5回 就労支援部会　5回、生活支援部会　5回
令和 9年度（計画）	・自立支援協議会及び各部会等の開催 自立支援協議会　2回、実務担当者会議　2回、相談支援連絡会　10回、こども支援部会　5回 就労支援部会　5回、生活支援部会　5回

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	会議回数				
		単位	回数	目標値	15	20	22	25	29
				実績値	25	28	38		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	51	263	301	322	330
事業費の小計		51	263	301	322	330

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030102	02	社会福祉課						
	自立支援協議会費			263	301	0	301	322	330

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
					財源内訳			
			事業費	事業費	特定財源	一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 自立支援給付費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－030100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 自立支援給付費・自立支援給		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者（児）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい児者の社会参加を促進し、生活の質を向上させる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

身体障がい・知的障がい・精神障がいに関わらず、障がいのある児者が必要とするサービスを利用できるようにする。
障がい福祉サービスの受給決定を行う。

④根拠法令	障害者総合支援法	⑤関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・障がい者（児）の自立支援を目的に自立支援給付（介護給付・訓練等給付・相談支援給付）と障害児通所給付を行う 障がい者延べ利用件数　22,248件　障がい児延べ利用件数　3,565件
令和 7年度（決算）	・障がい者（児）の自立支援を目的に自立支援給付（介護給付・訓練等給付・相談支援給付）と障害児通所給付を実施 障がい者延べ利用件数　21,138件　障がい児延べ利用件数　3,929件
令和 8年度（計画）	・障がい者（児）の自立支援を目的に自立支援給付（介護給付・訓練等給付・相談支援給付）と障害児通所給付を実施 障がい者延べ利用件数　21,200件　障がい児延べ利用件数　3,600件
令和 9年度（計画）	・障がい者（児）の自立支援を目的に自立支援給付（介護給付・訓練等給付・相談支援給付）と障害児通所給付を実施 障がい者延べ利用件数　21,200件　障がい児延べ利用件数　3,600件

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	障がい者延利用件数				
		単位	件	目標値	20,000	20,000	20,000	20,500	21,200
				実績値	21,238	22,248	21,138		
	2	区分	成果	指標	障がい児延利用件数				
		単位	件	目標値	1,500	1,500	2,000	3,000	3,400
				実績値	3,294	3,565	3,929		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,175,395	1,241,804	1,266,451	1,305,455	1,303,724
	(b) 県支出金	573,553	605,633	624,699	652,727	651,862
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	530,461	575,096	592,221	652,730	651,865
事業費の小計		2,279,409	2,422,533	2,483,371	2,610,912	2,607,451

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030102	03	社会福祉課	2,180,460	2,214,014	1,683,804	530,210	2,311,199	2,312,129
	自立支援給付費（障がい者）								
2	030102	03	社会福祉課	242,073	269,357	207,346	62,011	299,713	295,322
	自立支援給付費（障がい児）								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 地域生活支援事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－040100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 地域生活支援事業・自発的活		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
障がい者（児）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【自発的活動支援事業】【基幹相談支援センター等機能強化事業】【地域活動支援センター機能強化事業】【意思疎通支援事業・手話奉仕員養成研修事業】【日常生活用具給付等事業】【移動支援事業】【日常生活支援事業・社会参加支援事業】のサービスの提供 【地域生活拠点整備事業】による地域生活の支援拠点の構築

④ 根 拠 法 令	障害者総合支援法	⑤ 関 連 計 画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・障がい者（児）が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業、意思疎通支援事業等を行った ・障がい者相談件数　1,502件・日常生活用具給付件数　2,113件　・手話通訳者　年間延べ派遣件数　134件 ・手話奉仕員養成講座　入門編修了者　7人／基礎編修了者 5人 ・移動支援事業年間実利用者数　8人　年間実利用時間　349時間 ・地域生活支援拠点の活動支援
令和 7年度（決算）	・障がい者（児）が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業、意思疎通支援事業等を行った ・障がい者相談件数　1,948件・日常生活用具給付件数　2,045件　・手話通訳者　年間延べ派遣件数　122件 ・手話奉仕員養成講座　入門編修了者　18人／基礎編修了者 3人 ・移動支援事業年間実利用者数　9人　年間実利用時間　207時間 ・地域生活支援拠点の活動支援
令和 8年度（計画）	・障がい者相談件数　1,000件　・日常生活用具給付件数　2,400件　・手話通訳者　年間延べ派遣件数　200件 ・手話奉仕員養成講座　・移動支援事業年間実利用者数　10人　年間延べ利用回数　200回 ・地域生活支援拠点の活動支援
令和 9年度（計画）	・障がい者相談件数　1,000件　・日常生活用具給付件数　2,400件　・手話通訳者　年間延べ派遣件数　200件 ・手話奉仕員養成講座　・移動支援事業年間実利用者数　10人　年間延べ利用回数　200回 ・地域生活支援拠点の活動支援

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	精神・知的・身体障がい者相談件数				
		単位	件	目標値	700	700	700	650	650
				実績値	908	1,502	1,948		
	2	区分	成果	指標	日常生活用具給付件数				
		単位	件	目標値	2,400	2,400	2,400	2,350	2,400
				実績値	2,234	2,113	2,045		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	15,245	15,268	15,326	15,071	15,199
	(b) 県支出金	13,567	13,420	13,829	15,647	15,659
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	30	33	77	107	107
	(f) 一般財源	32,963	36,593	39,255	46,592	46,499
事業費の小計		61,805	65,314	68,487	77,417	77,464

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	障害者総合支援法で実施が義務付けられている事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	障がい児・者が利用対象となる事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	市の特性に合わせて事業内容を決定しており、おおむねニーズにあわせて実施されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	障害者総合支援法に基づく事業であり、他部署において類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	障がい児者サービスとともに上位施策達成のためには不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	事業内容の一部は、民間にアウトソーシングしている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	必要とされるサービスは多様化していくことが予想され、事業内容は見直しを行っていく必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

障害者総合支援法で実施が義務付けられている事業であり、利用者の増加とサービスの拡充も考えられることから、今後は事業費の増加が見込まれる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	030102 04 社会福祉課 自発的活動支援事業	300	300	155	145	291	300
2	030102 04 社会福祉課 基幹相談支援センター等機能強化事業	15,094	14,585	5,637	8,948	15,777	15,777
3	030102 04 社会福祉課 成年後見制度利用支援事業	0	0	0	0	363	363
4	030102 04 社会福祉課 意思疎通支援事業	3,099	3,315	1,716	1,599	3,462	3,500
5	030102 04 社会福祉課 日常生活用具給付等事業	19,196	21,366	11,058	10,308	24,010	24,010
6	030102 04 社会福祉課 手話奉仕員養成研修事業	484	563	369	194	796	796
7	030102 04 社会福祉課 移動支援事業	1,526	1,597	826	771	2,076	2,076
8	030102 04 社会福祉課 地域活動支援センター機能強化事業	5,000	5,000	2,761	2,239	5,325	5,325
9	030102 04 社会福祉課 日常生活支援事業（訪問入浴サービス）	6,799	7,291	3,773	3,518	7,915	7,915
10	030102 04 社会福祉課 日常生活支援事業（日中一時支援）	5,271	5,128	2,654	2,474	6,500	6,500
11	030102 04 社会福祉課 社会参加支援事業（レクリエーション活動等支援）	110	110	56	54	220	220
12	030102 04 社会福祉課 社会参加支援事業（点字・声の広報等発行）	242	242	125	117	310	310
13	030102 04 社会福祉課 社会参加支援事業（自動車運転免許取得・改造助成）	210	100	0	100	1,000	1,000
14	030102 04 社会福祉課 障がい支援区分認定事業	7,983	8,627	0	8,627	9,092	9,092
15	030102 04 社会福祉課 地域生活支援拠点整備事業	0	263	102	161	280	280

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 補装具費支給事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－050100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 補装具費支給事業・補装具費		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
障がい者（児）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【補装具費支給事業（障がい者）】 【補装具費支給事業（障がい児）】 上記サービスの実施。

④ 根 拠 法 令	障害者総合支援法	⑤ 関 連 計 画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・障害者総合支援法第７６条第１項に基づく補装具購入に対する支給 障がい者　170件　13,706千円 障がい児　20件　3,139千円
令和 7年度（決算）	・障害者総合支援法第７６条第１項に基づく補装具購入に対する支給 障がい者　135件　11,575千円 障がい児　16件　2,936千円
令和 8年度（計画）	・障害者総合支援法第７６条第１項に基づく補装具購入に対する支給 障がい者　200件 障がい児　20件
令和 9年度（計画）	・障害者総合支援法第７６条第１項に基づく補装具購入に対する支給 障がい者　200件 障がい児　20件

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	障がい者支給件数				
		単位	件	目標値	180	180	180	180	200
				実績値	155	170	135		
	2	区分	成果	指標	障がい児支給件数				
		単位	件	目標値	15	15	15	15	20
				実績値	19	20	16		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	7,674	8,423	7,255	10,250	10,250
	(b) 県支出金	3,836	4,210	3,627	5,125	5,125
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,838	4,212	3,629	5,125	5,125
事業費の小計		15,348	16,845	14,511	20,500	20,500

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	法令等で実施が義務付けられている事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	障がい児・者を対象とした事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	利用ニーズに合わせて実施されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	障がい児者サービスとともに上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		９３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
障害者総合支援法で実施が義務づけられており、申請（利用ニーズ）に基づき事業を実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目	大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030102	05	社会福祉課	補装具費支給事業（障がい者）	13,706	11,575	8,680	2,895	17,500	17,500
2	030102	05	社会福祉課	補装具費支給事業（障がい児）	3,139	2,936	2,202	734	3,000	3,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 自立支援医療費給付事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－060100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 自立支援医療費給付事業・自		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者（児）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【自立支援医療費給付事業】

・障がいの種別（身体障がい・知的障がい・精神障がい）に関わらず、障がいのある人が必要とするサービスを利用できるようにする。

④根拠法令	障害者総合支援法	⑤関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・自立支援医療（更生）申請件数　123件　71,658千円 ・自立支援医療（育成）申請件数　14件　405千円 ・療養介護医療等給付　申請件数　336件　14,885千円
令和 7年度（決算）	・自立支援医療（更生）申請件数　108件　57,342千円 ・自立支援医療（育成）申請件数　10件　205千円 ・療養介護医療等給付　申請件数　345件　15,428千円
令和 8年度（計画）	・自立支援医療（更生）申請件数　150件　61,051千円 ・自立支援医療（育成）申請件数　15件　636千円 ・療養介護医療等給付　申請件数　220件　12,372千円
令和 9年度（計画）	・自立支援医療（更生）申請件数　150件　61,051千円 ・自立支援医療（育成）申請件数　15件　636千円 ・療養介護医療等給付　申請件数　220件　12,372千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	更生医療年間延件数				
		単位	件	目標値	155	155	155	155	165
				実績値	139	123	108		
	2	区分	成果	指標	育成医療年間延件数				
		単位	件	目標値	8	8	8	8	15
				実績値	11	14	10		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	37,083	38,360	46,560	39,540	39,540
	(b) 県支出金	13,997	21,736	14,387	19,770	19,770
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	19,716	26,849	12,029	19,772	19,772
事業費の小計		70,796	86,945	72,976	79,082	79,082

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	法令等で実施が義務付けられている事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	障がい児・者を対象とする事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		９３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
障害者総合支援法で実施が義務付けられており、申請（利用ニーズ）に基づき事業を実施している。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030102 06 社会福祉課 自立支援医療費給付事業	86,945	72,976	60,947	12,029	79,082	79,082

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 すこやか療育支援事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－070100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 すこやか療育支援事業・すこ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者（児）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい児の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【すこやか療育支援事業】
・障がいの種別（身体障がい・知的障がい・精神障がい）に関わらず、障がいのある児が必要とするサービスを利用できるようにする。
・児童発達支援事業「モモの家」を利用した児童の保護者の自己負担及び食費負担について、その費用の一部を補助する。

④ 根 拠 法 令	障害者総合支援法 児童福祉法	⑤ 関 連 計 画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・児童発達支援事業委託料　168千円 ・年間延べ利用者数　387件
令和 7年度（決算）	・児童発達支援事業委託料　120千円 ・年間延べ利用者数　354件
令和 8年度（計画）	・年間延利用べ利用者数　350件　487千円
令和 9年度（計画）	・年間延利用べ利用者数　350件　487千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	年間延利用件数				
		単位	件	目標値	588	550	550	500	300
				実績値	400	387	354		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	167	186	159	243	243
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	94	103	76	0	0
	(f) 一般財源	175	188	154	244	244
事業費の小計		436	477	389	487	487

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	秋田県健康福祉部関係補助金等交付要綱に定める補助事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	児童発達支援を利用している家庭が対象である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	児童発達支援を利用している家庭が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	申請（利用ニーズ）に基づき実施している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	児童発達支援を利用している家庭の負担軽減となる事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

県の補助事業のもと実施されており、今後も申請（利用ニーズ）に基づき、事業を実施していく。
モモの家運営にかかる委託契約は令和７年度を以って終了するため、コストは縮小する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030102	07	社会福祉課						
	すこやか療育支援事業			477	389	235	154	487	487

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0009 障がい者福祉総務費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－010100　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 障がい者福祉総務費・障がい者福祉費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者（児）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・自立支援給付以外の障がい福祉サービスを行う。
　重度心身障がい児療育手当・身体障がい者移送費給付・人工透析患者の通院交通費補助
・社会福祉法人が障害者総合支援法に基づく事業を実施するために施設整備に係る経費の一部を補助する。
　障害者福祉整備事業費補助金

④ 根 拠 法 令	障害者総合支援法	⑤ 関 連 計 画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・心身障がい児療育手当　74件（2,110千円） ・身体障がい者移送費給付　4,403件（3,097千円） ・人工透析患者の通院交通費　実利用者　71人（1,315千円） ・障害者福祉施設整備事業費補助金（6年度は該当法人なし）
令和 7年度（決算）	・心身障がい児療育手当　36件（2,045千円） ・身体障がい者移送費給付　4,065件（2,857千円） ・人工透析患者の通院交通費　実利用者65人（1,189千円） ・障害者福祉施設整備事業費補助金（1法人　2,000千円）
令和 8年度（計画）	心身障がい児療育手当　90件、身体障がい者移送費給付　3,600件、人工透析患者の通院交通費　400件 旧ひまわり社管理経費、その他諸経費　障害者福祉施設整備事業費補助金（該当ありの場合：2,000千円×1事業所）
令和 9年度（計画）	心身障がい児療育手当　90件、身体障がい者移送費給付　3,600件、人工透析患者の通院交通費　400件 旧ひまわり社管理経費、その他諸経費　障害者福祉施設整備事業費補助金（該当ありの場合：2,000千円×1事業所）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間延受給者数				
		単位	件数	目標値	7,800	7,800	7,800	7,500	7,500
				実績値	4,826	4,548	4,166		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	7,600	6,803	8,671	7,193	10,024
事業費の小計		7,600	6,803	8,671	7,193	10,024

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030103	01	社会福祉課	6,803	8,671	0	8,671	7,193	10,024
	障がい者福祉費総務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 特別障がい者手当等給付事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－020100　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 特別障がい者手当等給付事業・特別障		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者（児）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【特別障がい者手当等給付事業】

障がいの種別（身体障がい・知的障がい・精神障がい）に関わらず、障がいのある人が必要なサービスを利用できるようにする。

・常時介護を必要とする在宅の重度障がい児者に対して、特別障害者手当・障害児福祉手当・経過的福祉手当を支給する。

④根拠法令	障害者総合支援法	⑤関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・常時介護を必要とする在宅の重度障がい者に対し、精神的、物質的な負担軽減の一助として手当を支給 特別障害者手当　給付延べ人数　1,575人 障害児福祉手当　給付延べ人数　499人 経過的福祉手当　給付延べ人数　12人
令和 7年度（決算）	・常時介護を必要とする在宅の重度障がい者に対し、精神的、物質的な負担軽減の一助として手当を支給 特別障害者手当　給付延べ人数　1,449人 障害児福祉手当　給付延べ人数　504人 経過的福祉手当　給付延べ人数　5人
令和 8年度（計画）	・特別障害者手当　1,580人、障害児福祉手当　600人、経過的福祉手当は該当者なし
令和 9年度（計画）	・特別障害者手当　1,580人、障害児福祉手当　600人、経過的福祉手当は該当者なし

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	受給者延人数				
		単位	人	目標値	2,800	2,700	2,690	2,600	2,470
				実績値	2,100	2,086	1,958		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	39,202	39,912	38,136	43,036	43,036
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,971	13,275	12,713	14,347	14,347
事業費の小計		52,173	53,187	50,849	57,383	57,383

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	障害者総合支援法で実施が義務付けられている事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	障がい児・者を対象としている。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	障害者総合支援法で実施が義務付けられている事業であり、おおむねニーズに合わせて実施されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	障害者総合支援法で実施が義務付けられている事業であり、障がい児・者の経済支援策の一助として、不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　９３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
障害者総合支援法で実施が義務付けられている事業であり、申請（ニーズ）に基づき実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030103 02 社会福祉課 特別障がい者手当等給付事業	53,187	50,849	38,136	12,713	57,383	57,383

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 難聴児補聴器購入費助成事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－030100　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 難聴児補聴器購入費助成事業・難聴児		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	―	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい児

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい児の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【難聴児補聴器購入費助成事業】
・聴覚に障がいのある児が必要とするサービスを利用できるようにする。
・身体障害者手帳の交付対象とならない程度の難聴児に対し、補聴器の装用による言語の習得やコミュニケーション力の向上を促進するため、補聴器の購入費用の一部を助成する。

④ 根 拠 法 令	障害者総合支援法	⑤ 関 連 計 画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	難聴児補聴器購入費助成（交付）1個　36千円
令和 7年度（決算）	難聴児補聴器購入費助成（交付）2個　62千円
令和 8年度（計画）	難聴児補聴器購入費助成　4個　398千円
令和 9年度（計画）	難聴児補聴器購入費助成　4個　398千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	助成件数				
		単位	件	目標値	5	5	5	5	7
				実績値	2	1	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	62	18	31	202	202
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	62	18	31	196	196
事業費の小計		124	36	62	398	398

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	９	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	秋田県健康福祉部関係補助金等交付要綱に定める補助事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	耳の聞こえが不安な児童が住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	身体障害者手帳をもたない、耳の聞こえが不安な児童を対象としたものである。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	身体障害者手帳をもたない、耳の聞こえが不安な児童を対象としており、申請に基づき実施している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	耳の聞こえが不安な児童が地域で安心して生活するための不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		３	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　９３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

申請件数は少ないものの、耳の聞こえが不安な児童が地域で安心して生活するための不可欠な事業であり、今後も申請（ニーズ）に基づき実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030103	03 社会福祉課	36	62	31	31	398	398
	難聴児補聴器購入費助成事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－040100　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい児

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい児の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業】
・身体障がいのある児が必要とするサービスを利用できるようにしたい。
・国が指定する疾病にかかる小児慢性特定症病児（身体障害者手帳未所持）に対して、日常生活用具を給付する。

④根拠法令	小児慢性特定疾病対策等総合支援事業実施要綱	⑤関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業の実施　実績なし
令和 7年度（決算）	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業の実施　1件　44千円
令和 8年度（計画）	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業の実施　1件
令和 9年度（計画）	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業の実施　1件

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	給付件数				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	0	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	18	0	22	86	86
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	19	0	22	88	88
事業費の小計		37	0	44	174	174

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	秋田県健康福祉部関係補助金等交付要綱に定める補助事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	小児慢性特定症病児が住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	小児慢性特定症病児を対象とした事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	県との協同事業で実施しており、申請（利用ニーズ）に基づき実施している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	小児慢性特定症病児が地域で安心して生活するための事業であり、不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		９３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

申請件数は少ないものの小児慢性特定症病児が地域で安心して生活するための事業であり、今後も申請（利用ニーズ）に基づき実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030103 04 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	社会福祉課	0	44	22	22	174	174

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0017 地域活動支援センター事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030102－080100　民生費・社会福祉費・障がい者自立支援給付費 地域活動支援センター事業・		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
障がい者（児）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【地域活動支援センター事業】 地域活動支援センター機能強化事業を実施するうえでの基礎的事業分を業務委託する。

④ 根 拠 法 令	障害者総合支援法	⑤ 関 連 計 画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	地域活動支援センター基礎的事業の業務委託　年間延べ参加者2,188人（他市利用者含む） （精神保健福祉士２名の配置、創作的活動・生産活動・社会との交流の促進、障がい者の社会的活動に必要な場の提供、スポーツ・レクリエーション教室開催等事業、精神保健福祉啓発事業の開催）の業務委託
令和 7年度（決算）	地域活動支援センター基礎的事業の業務委託　年間延べ参加者1,690人（他市利用者含む） （精神保健福祉士２名の配置、創作的活動・生産活動・社会との交流の促進、障がい者の社会的活動に必要な場の提供、スポーツ・レクリエーション教室開催等事業、精神保健福祉啓発事業の開催）の業務委託
令和 8年度（計画）	・地域活動支援センター基礎的事業（精神保健福祉士２名の配置、創作的活動・生産活動・社会との交流の促進、障がい者の社会的活動に必要な場の提供、スポーツ・レクリエーション教室開催等事業、精神保健福祉啓発事業の開催）の業務委託
令和 9年度（計画）	・地域活動支援センター基礎的事業（精神保健福祉士２名の配置、創作的活動・生産活動・社会との交流の促進、障がい者の社会的活動に必要な場の提供、スポーツ・レクリエーション教室開催等事業、精神保健福祉啓発事業の開催）の業務委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	指導員数				
		単位	人	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,630	5,630	5,630	6,501	6,501
事業費の小計		5,630	5,630	5,630	6,501	6,501

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	障害者総合支援法に基づき、国が定めた地域生活支援事業実施要綱において、市町村の実施が義務づけられている事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全域の障がい児・者及びその家族を対象とする事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	障がい児・者及びその家族を対象とする事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	精神保健福祉士２名の配置により、活動が実施されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域生活支援拠点整備を進めるにあたり、重要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により事業の実施主体は市となる。業務については市内社会医療法人へ委託している。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	地域の実情に合わせながら、改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担によるサービス提供事業ではないため、市が負担すべき経費である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

地域における障がい者の生活支援を推進するため、現行事業の拡大も視野に入れて検討していきたい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030102	08 社会福祉課	5,630	5,630	0	5,630	6,501	6,501
	地域活動支援センター事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 障がい者計画等策定事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－050100　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 障がい者計画等策定事業・障がい者計		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障がい者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者の社会参加を促進し、生活の質を向上させたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【障がい者計画等策定事業】
- 第３次横手市障がい者計画、第７期横手市障がい福祉計画、第３期障がい児福祉計画の進捗管理。
- 第３次横手市障がい者計画、第８期横手市障がい福祉計画、第４期障がい児福祉計画を策定する。

④根拠法令	障害者総合支援法	⑤関連計画	第３次障がい者計画・第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	第3次障がい者計画 第7期障がい福祉計画 第3期障がい児福祉計画進捗管理(計画期間　令和6～令和8年度)
令和 7年度（決算）	・第3次障がい者計画 第7期障がい福祉計画 第3期障がい児福祉計画進捗管理(計画期間　令和6～令和8年度) ・第3次障がい者計画 第8期障がい福祉計画 第4期障がい児福祉計画策定のための市民アンケート実施 計画期間　令和9～令和11年度
令和 8年度（計画）	・第3次障がい者計画 第7期障がい福祉計画 第3期障がい児福祉計画進捗管理(計画期間　令和6～令和8年度) ・第3次障がい者計画 第8期障がい福祉計画 第4期障がい児福祉計画策定 計画期間　令和9～令和11年度
令和 9年度（計画）	・第3次障がい者計画 第8期障がい福祉計画 第4期障がい児福祉計画進捗管理(計画期間　令和9～令和11年度)

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	アンケートの回収率				
		単位	%	目標値			40%		48%
				実績値	－	－	52%		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,290	0	2,750	4,400	0
事業費の小計		4,290	0	2,750	4,400	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	障害者基本法に基づき義務付けられている計画を策定する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全域の保健・福祉・医療・教育・就労・まちづくり・防災等の多岐にわたる障がい者福祉施策をまとめる計画である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	障がい児・者を対象とした計画である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	障害者基本法に基づき着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	障害者基本法に基づき義務付けられている計画であり、施策実施のため不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	障害者基本法に基づき義務付けられている計画であり、アンケート調査及び策定についてはアウトソーシングしている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	策定方法については、策定年度に改善しているが、まだ改善の余地はある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市が負担すべき経費であり、受益者負担には馴染まない経費である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

３年に一度の改訂を行う経費であり、令和７年度はアンケート調査を実施した。
次期アンケート調査は、令和１１年度を予定している。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030103	05 社会福祉課	0	2,750	0	2,750	4,400	0
	障がい者計画等策定事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 障害者支援施設管理費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－979800　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 障害者支援施設管理費・障害者支援施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市障害者支援施設（ひまわり社）の利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

施設の利用を通じて、利用者が、可能な限りその身近な場所において必要な日常生活又は社会生活（就労含む）を営むことができるようになっています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【障害者支援施設管理費】

障害者支援施設ひまわり社の運営に住民サービスの向上と経費削減を図るため、指定管理者制度を導入し社会福祉法人により管理運営を行います。また、指定管理期間中の施設改修や修繕等を行う場合は、指定管理者と協議の上、双方により安全で安心な施設環境を整えます。

④根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律	⑤関連計画	第３次横手市障がい者計画・第７期横手市障がい者福祉計画・第３期横手市障がい児福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・指定管理者との協定に基づき、指定管理期間中の市が行うべき施設の維持管理経費を支出 特定建築物定期点検　194千円
令和 7年度（決算）	・指定管理者との協定に基づき、指定管理期間中の市が行うべき施設の維持管理を行いその経費を支出する。 施設修繕費の支出はなし ・令和7年度末をもって当該施設を廃止した。
令和 8年度（計画）	・令和7年度で終了
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	施設入所支援利用率（指定管理申請に伴う収支計画書から）				
		単位	%	目標値	97	97	97		
				実績値	96	－	－		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	活動	指標	就労継続支援B型利用率（指定管理申請に伴う収支計画書から）				
		単位	%	目標値	86	86	86		
				実績値	87	80	76		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,240	194	0	0	0
事業費の小計		2,240	194	0	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	030103	97	社会福祉課						
	障害者支援施設管理費			194	0	0	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030103－989800　民生費・社会福祉費・障がい者福祉費 地方創生臨時交付金事業・障害者支援		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

障害者支援施設等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

障害者支援施設等の光熱費負担を軽減する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

入所系事業所に対し、定員1名当たり9,000円を支給する
通所系事業所に対し、定員1名当たり4,500円を支給する

④根拠法令	なし	⑤関連計画	
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・物価高騰に伴う障害者支援施設等の光熱水費等の負担軽減を図るための助成 光熱水費　57施設　10,249千円（入所系17施設　293人　通所系35施設　675人、訪問系5施設） 食材料費　31施設　3,040千円（入所系①1施設　5人　入所系②16施設　288人　通所系14施設　355人）
令和 7年度（決算）	・物価高騰に伴う障害者支援施設等の光熱水費等の負担軽減を図るための助成 1回目：食材料費　32施設　1,548千円（入所系①1施設 5人　入所系②17施設　289人　通所系14施設　345人） 2回目：食材料費　35施設　1,603千円（入所系①1施設 5人　入所系②17施設　274人　通所系17施設　380人） 光熱水費　62施設　10,702千円（入所系18施設　279人　通所系39施設　705人　訪問系5施設）
令和 8年度（計画）	・現段階において実施予定なし（今後の国・県等の動向により実施の可能性有り）
令和 9年度（計画）	・現段階において実施予定なし（今後の国・県等の動向により実施の可能性有り）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	支給施設数				
		単位	施設	目標値	47	57	62		
				実績値	49	57	62		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,824	0	6,152	0	0
	(b) 県支出金	3,824	6,644	6,926	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	6,645	775	0	0
事業費の小計		7,648	13,289	13,853	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	秋田県健康福祉部関係補助金等交付要綱に定める補助事業である。
		目的の妥当性	1点：個人又は団体等、特定範囲に公益をもたらす事業である。
		1	障がい福祉事業所（入所系・通所系・訪問系）を運営している施設が対象の事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	障がい福祉事業所（入所系・通所系・訪問系）を運営している施設が対象の事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	申請のあった対象施設へ支給している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	物価高騰対策として施設の負担軽減となる事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法令等により市以外が実施することができない事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	物価高騰が続く中で、内容の見直し等が必要と思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担にそぐわない事業であり、国・県の動向を見極める必要がある。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　７８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
物価高騰対策として、施設の負担軽減となる事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030103	98	社会福祉課						
	障害者支援施設等物価高騰対策事業			13,289	13,853	13,078	775	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 行旅病者扶助費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030101－050100　民生費・社会福祉費・社会福祉総務費 行旅病者扶助費・行旅病者扶助総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	―	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

行旅死亡人、行旅病人及び行旅困窮者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

行旅死亡人に係る葬祭経費、行旅病人に対する医療費扶助並びに行旅中金銭に窮したものへの旅費の支給

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

行旅病者扶助総務費
・行旅死亡人に係る葬祭経費等の支出　・行旅病人に係る医療費の支出
・行旅困窮者への旅費（旅客運賃相当額）の支給

④根拠法令	行旅病人及行旅死亡人取扱法	⑤関連計画	地域福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・行旅死亡人に係る葬祭経費等一式　5件支出 ・行旅病人に対する医療扶助及び行旅困窮者に対する旅行経費等扶助　16件支出
令和 7年度（決算）	・行旅死亡人に係る葬祭経費等一式　4件支出 ・行旅病人に対する医療扶助及び行旅困窮者に対する旅行経費等扶助　3件支出
令和 8年度（計画）	・　行旅死亡人に係る葬祭経費等一式 ・　行旅病人に対する医療扶助及び行旅困窮者に対する旅行経費等扶助
令和 9年度（計画）	・　行旅死亡人に係る葬祭経費等一式 ・　行旅病人に対する医療扶助及び行旅困窮者に対する旅行経費等扶助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	538	493	644	300	216
	(f) 一般財源	544	345	0	262	435
事業費の小計		1,082	838	644	562	651

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 財源内訳 特定財源	令和 7年度(決算) 財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	030101 05 社会福祉課 行旅病者扶助総務費	838	644	644	0	562	651

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 生活保護総務費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030301－010100　民生費・生活保護費・生活保護総務費 生活保護総務費・生活保護総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

生活困窮者（要保護者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活困窮者に対し、その困窮の程度に応じて社会的・経済的自立のための支援がなされ、健康で文化的な最低限度の生活が保障されています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生活保護総務費】
・生活保護法の適用・活用のための総務的な事務遂行のための経費であり、収入照会・扶養義務者実態把握・職員の資質向上のための研修・先進地視察等経費

④根拠法令	生活保護法 困窮者自立支援法（H27.4～）	⑤関連計画	横手市地域福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活保護法の適用・活用のための総務的な事務遂行のための経費 ①保護申請等における生活保護法第29条調査等に要する費用 ②被保護者や長期入院患者等の生活実態調査や健康管理支援事業に要する費用 ③現業員（ケースワーカー）等の資質向上のための研修費用 ④医療及び介護事務専門員、面接相談員、就労支援専門員、特別相談指導員、嘱託医への報酬 ⑤生活保護システム運用支援委託料・レセプト管理システムクラウドサービス利用料
令和 7年度（決算）	生活保護法の適用・活用のための総務的な事務遂行のための経費 ①保護申請等における生活保護法第29条調査等に要する費用 ②被保護者や長期入院患者等の生活実態調査や健康管理支援事業に要する費用 ③現業員（ケースワーカー）等の資質向上のための研修費用 ④医療及び介護事務専門員、面接相談員、就労支援専門員、特別相談指導員、嘱託医への報酬 ⑤生活保護システム運用支援委託料・レセプト管理システムクラウドサービス利用料
令和 8年度（計画）	生活保護法に基づいた事務遂行のための総務的経費　生活保護受給者の自立支援のため就労支援専門員等を配置
令和 9年度（計画）	生活保護法に基づいた事務遂行のための総務的経費　生活保護受給者の自立支援のため就労支援専門員等を配置

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	生活保護から就労により自立した世帯数				
		単位	世帯	目標値	15	15	10	10	10
				実績値	2	13	16		
	2	区分	成果	指標	就労相談・援助による就労達成数				
		単位	人	目標値	25	25	15	15	15
				実績値	21	25	21		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	16,479	13,147	16,352	16,170	15,520
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	105,692	53,416	47,775	18,379	17,032
事業費の小計		122,171	66,563	64,127	34,549	32,552

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030301 01 生活保護総務費	社会福祉課	66,563	64,127	16,352	47,775	34,549	32,552

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 生活困窮者自立促進支援事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030301－020100　民生費・生活保護費・生活保護総務費　生活困窮者自立促進支援事業・生活困		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

生活困窮者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活困窮者に対し、その困窮の程度に応じて社会的・経済的自立のための支援がなされ、健康で文化的な最低限度の生活が保障されています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

生活困窮者に対して、自立や就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより自立を支援する。

④ 根 拠 法 令	生活困窮者自立支援法	⑤ 関 連 計 画	横手市地域福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活困窮者に対して、自立や就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより自立を支援 ・生活困窮者自立相談支援事業　相談件数　252件　プラン作成　13件 ・就労準備支援事業　4件 ・家計改善支援事業　7件 ・支援調整会議開催　6回
令和 7年度（決算）	生活困窮者に対して、自立や就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより自立を支援 ・生活困窮者自立相談支援事業　相談件数　252件　プラン作成　13件 ・就労準備支援事業　2件 ・家計改善支援事業　8件 ・支援調整会議開催　6回
令和 8年度（計画）	生活困窮者に対して、自立や就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより自立を促進 ・生活困窮者自立相談支援事業　・就労準備支援事業　・家計改善支援事業　・住居確保給付金
令和 9年度（計画）	生活困窮者に対して、自立や就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより自立を促進 ・生活困窮者自立相談支援事業　・就労準備支援事業　・家計改善支援事業　・住居確保給付金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	新規相談者数の増加				
		単位	件	目標値	200	200	200	200	200
				実績値	204	252	244		
	3	区分	成果	指標	一般就労開始・増収件数の増加				
		単位	件	目標値	10	11	12	13	13
				実績値	9	17	15		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	15,164	20,212	21,573	23,712	21,491
	(b) 県支出金	0	0	0	553	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,500	5,667	5,725	9,564	13,053
事業費の小計		21,664	25,879	27,298	33,829	34,544

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	生活困窮者自立支援法に基づき、福祉事務所を設置する自治体に義務付けられた事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	生活に困窮している者を対象とする事業であり、市全域が対象である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	生活に困窮している者を対象とする事業であり、市全域が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	平成27年度に開始した事業であり、利用実績を評価しながら目標値を修正していく必要がある。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	50歳未満の就労未経験者に対しては、若者サポートステーション事業による研修等の支援があり、連携し対応しているが、就労支援事業という類似性がある中で、それぞれの役割を果たしていく必要がある。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	生活保護を受けなくても自立した生活ができるように支援する「第二のセーフティネット」として不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	生活困窮者自立支援法に基づき、福祉事務所を設置する自治体に義務付けられた事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	本制度における任意事業（子供の学習支援、就労支援事業等）のニーズを把握し、検討していく必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	相談支援、セーフティネット等の制度の性格上、受益者負担には馴染まない経費である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

本制度における任意事業（就労準備支援・学習支援事業）等について、関係機関・関係部署と連携しながら、必要とされる事業を導入していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	030301	02	社会福祉課	25,879	27,298	21,573	5,725	33,829	34,544
	生活困窮者自立促進支援事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 一般扶助費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030302－010100　民生費・生活保護費・扶助費 一般扶助費・一般扶助費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

生活困窮者（要保護者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活困窮者に対し、その困窮の程度に応じて社会的・経済的自立のための支援がなされ、健康で文化的な最低限度の生活が保障されています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【一般扶助費】
・生活保護法に基づいた生活保護費の支給と自立に向けた支援を実施する。
　（生活扶助・医療扶助・教育扶助・介護扶助・生業扶助等）

④根拠法令	生活保護法 困窮者自立支援法（H27.4～）	⑤関連計画	横手市地域福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活困窮者の社会的・経済的自立のため生活保護法に基づいた支援を実施 ①自立相談支援相談窓口や各地域局と連携し生活困窮者からの相談対応 ②保護申請書の受理により保護の要否を調査 ③保護費の支給と生活状況の把握とその改善への支援 ④自立更生に向けた就労活動や他制度活用への支援
令和 7年度（決算）	生活困窮者の社会的・経済的自立のため生活保護法に基づいた支援を実施 ①自立相談支援相談窓口や各地域局と連携し生活困窮者からの相談対応 ②保護申請書の受理により保護の要否を調査 ③保護費の支給と生活状況の把握とその改善への支援 ④自立更生に向けた就労活動や他制度活用への支援
令和 8年度（計画）	生活困窮者の社会的・経済的自立のため生活保護法に基づいた支援を実施
令和 9年度（計画）	生活困窮者の社会的・経済的自立のため生活保護法に基づいた支援を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	生活保護から就労により自立した世帯				
		単位	世帯	目標値	15	15	10	10	10
				実績値	2	13	16		
	2	区分	成果	指標	就労相談・援助による就労達成率				
		単位	人	目標値	25	25	15	15	15
				実績値	21	25	21		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	805,542	753,476	761,721	774,150	773,000
	(b) 県支出金	10,894	9,908	5,655	6,500	6,400
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	182,148	238,435	231,636	245,850	264,600
事業費の小計		998,584	1,001,819	999,012	1,026,500	1,044,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	030302 01	社会福祉課	一般扶助費	1,001,819	999,012	767,376	231,636	1,026,500	1,044,000
		社会福祉課	一般扶助費	1,001,819	999,012	767,376	231,636	1,026,500	1,044,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 施設事務費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030302－020100　　民生費・生活保護費・扶助費 施設事務費・施設事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

生活困窮者（要保護者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活困窮者に対し、その困窮の程度に応じて社会的・経済的自立のための支援がなされ、健康で文化的な最低限度の生活が保障されています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【施設事務費】
・生活保護法に基づき救護施設・授産施設等に入所している生活保護者のための施設事務費を支出する。

④根拠法令	生活保護法 困窮者自立支援法（H27.4～）	⑤関連計画	横手市地域福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活保護法に基づき救護施設・授産施設等に入所している被保護者への支援を実施 ①施設事務費の支給 ②各施設を訪問し、被保護者との面談にて心身状態を把握 ③施設と連携し施設での生活継続を支援 ④被保護者の状態変化に応じた対応
令和 7年度（決算）	生活保護法に基づき救護施設・授産施設等に入所している被保護者への支援を実施 ①施設事務費の支給 ②各施設を訪問し、被保護者との面談にて心身状態を把握 ③施設と連携し施設での生活継続を支援 ④被保護者の状態変化に応じた対応
令和 8年度（計画）	生活保護法に基づき救護施設・授産施設等に入所している生活保護者のための施設事務費を支出
令和 9年度（計画）	生活保護法に基づき救護施設・授産施設等に入所している生活保護者のための施設事務費を支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市民1,000人当たりの生活保護受給率（千分率）				
		単位	‰	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	9	9	8.9		
	2	区分	成果	指標	生活保護から就労により自立した世帯数				
		単位	世帯	目標値	15	15	10	10	10
				実績値	2	13	16		
	3	区分	成果	指標	就労相談・援助による就労達成数				
		単位	人	目標値	25	25	15	15	15
				実績値	21	38	21		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	30,749	31,610	29,972	33,115	32,920
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	10,249	10,537	9,991	11,039	10,609
事業費の小計		40,998	42,147	39,963	44,154	43,529

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030302 02	社会福祉課	施設事務費	42,147	39,963	29,972	9,991	44,154	43,529

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 公営住宅管理費

部・担当課	建設部・建築住宅課	担当課長氏名	佐藤　守
予算科目事業	1 一般会計－080502－010100　　土木費・住宅費・住宅管理費 公営住宅管理費・公営住宅管理総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市営住宅等入居者及び高齢者や障がい者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

公平、公正で透明性をもった適切な業務を通じて、誰もが良好な居住水準の住環境で安全・安心に暮らせる市営住宅等の管理運営が行われる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【公営住宅管理総務費】・・・市営住宅等の管理（指定管理者の指導等）、住宅使用料の徴収、滞納整理等
【公営住宅維持費】・・・市営住宅等の管理（災害等による緊急修繕等）
【公営住宅維持費（建設）】・・・市営住宅の維持修繕工事等
【公営住宅管理費（債務負担）】・・・市営住宅等の指定管理者への委託料
【公営住宅管理費（平鹿地域）】・・・五十田地区合併処理浄化槽維持管理

④根拠法令	公営住宅法、特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律ほか	⑤関連計画	横手市住生活基本計画、横手市営住宅等長寿命化計画、地域住宅計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①公営住宅管理総務費…市営住宅等の管理、指定管理者の指導（運営協議会12回）、市営住宅使用料の徴収、督促・催告書等を毎月送付、公用車リース ②公営住宅維持費…市営住宅山道住宅4棟解体工事及び設計監理業務委託4棟、市営住宅南朝日が丘住宅セカンド給水ポンプ交換工事実施設計業務委託2棟 ③公営住宅管理費（債務負担）…市営住宅等を指定管理者へ業務委託（43団地1,029戸・共同施設等）
令和 7年度（決算）	①公営住宅管理総務費…市営住宅等の管理、指定管理者の指導（運営協議会12回）、市営住宅使用料の徴収、督促・催告書等を毎月送付、公用車リース ②公営住宅維持費…市営住宅山道住宅解体工事及び設計監理業務委託、市営住宅南朝日が丘住宅セカンド給水ポンプ交換工事及び設計監理業務委託、市営住宅南朝日が丘住宅セカンド受水槽室鋼製建具交換工事、醍醐団地給湯器更新工事 ③公営住宅管理費（債務負担）…市営住宅等を指定管理者へ業務委託（43団地1,029戸・共同施設等）
令和 8年度（計画）	①公営住宅管理総務費…市営住宅等の管理（指定管理者の指導等）、住宅使用料の徴収、滞納整理等 ②公営住宅維持費（建設）…市営住宅等の維持修繕工事等 ③公営住宅管理費（債務負担）…市営住宅等の指定管理者への委託料（委託期間:R6.4.1～R11.3.31）
令和 9年度（計画）	①公営住宅管理総務費…市営住宅等の管理（指定管理者の指導等）、住宅使用料の徴収、滞納整理等 ②公営住宅維持費（建設）…市営住宅等の維持修繕工事等 ③公営住宅管理費（債務負担）…市営住宅等の指定管理者への委託料（委託期間:R6.4.1～R11.3.31）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	老朽化した市営住宅の用途廃止戸数				
		単位	戸	目標値	0	0	4	5	5
				実績値	0	9	0		
	2	区分	活動	指標	市営住宅使用料の収納率				
		単位	%	目標値	97	97	97	97	97
				実績値	99.6	98.5	99.1		
	3	区分	活動	指標	市営住宅への年間新規入居世帯数				
		単位	世帯	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	19	18	23		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	86,790	90,266	92,937	90,323	92,182
	(e) その他特定財源	4,225	1,647	1,980	4,449	2,993
	(f) 一般財源	15,974	6,126	13,462	0	0
事業費の小計		106,989	98,039	108,379	94,772	95,175

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	080502 01 建築住宅課 公営住宅管理総務費	2,739	2,923	2,923	0	3,882	3,131
2	080502 01 建築住宅課 公営住宅維持費	0	2,803	2,803	0	2,000	2,000
3	080502 01 建築住宅課 公営住宅管理費（債務負担）	84,898	84,898	84,898	0	84,898	84,898
4	080502 01 平鹿地域課 公営住宅管理費（平鹿地域）	4,276	4,293	4,293	0	3,992	5,146
5	080502 01 建築住宅課 公営住宅維持費（建設）	6,126	13,462	0	13,462	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				財源内訳			
		事業費	事業費	特定財源	一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 低所得者生活支援事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030101－979800　民生費・社会福祉費・社会福祉総務費　低所得者生活支援事業・住民税非課税		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

低所得者（住民税非課税）世帯

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

低所得者世帯の生活費負担を軽減する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【中事業名：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業】
住民税非課税世帯に対し1世帯あたり10万円を給付する
住民税均等割りのみ課税となる世帯へ1世帯あたり10万円を給付する
【中事業名：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業（こども加算分）】

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	臨時特別給付金給付事業 ・新たな住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円（8～11月） ・住民税非課税世帯に対し1世帯あたり3万円を給付（2～3月） あったか灯油助成事業 ・住民税非課税の高齢者世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯・準要保護世帯に対し、灯油購入費の一部助成として1世帯あたり6,000円を支給
令和 7年度（決算）	臨時特別給付金給付事業（繰越） ・住民税非課税世帯に対し1世帯あたり3万円を給付 あったか灯油助成事業 ・住民税非課税世帯に対し、灯油購入費の一部助成として1世帯あたり6,100円を支給
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	対象世帯への配布				
		単位		目標値					
				実績値		－	－		
	2	区分	活動	指標	臨時特別給付金給付世帯数				
		単位	世帯	目標値	11,000	1,550			
				実績値	9,888	1,131	371		
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	23,697	277,670	42,822	0	0
	(b) 県支出金	24,782	18,143	28,868	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,384	29,343	2,413	0	0
事業費の小計		50,863	325,156	74,103	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	物価高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯に対して負担軽減を支援する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	低所得世帯に対する事業であり、市全域が対象となる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	低所得世帯（住民税非課税世帯）に対する事業である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	・令和6年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金（繰越分） 対象9,548件　支給9,466件（うち繰越分371件） ・あったか灯油助成事業　　対象8,990件　支給8,862件
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	国及び県による臨時的な給付事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	本事業は市以外実施できない事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国及び県による臨時的な給付事業であり、他自治体においても同様の事務取扱となっている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国及び県による臨時的な給付事業であり、受益者負担には馴染まない。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

いずれの給付金事業も国や県予算による臨時的な事業であり、令和７年度のみの事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030101	97 社会福祉課	275,200	15,796	13,435	2,361	0	0
	住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業（令和6年度国補正分）							
2	030101	98 社会福祉課	38,996	57,789	57,737	52	0	0
	あったか灯油助成事業							
3	030201	96 子育て支援課	10,960	518	518	0	0	0
	住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業（令和6年度国補正こども加算分）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 社会福祉総務費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030101－020100　民生費・社会福祉費・社会福祉総務費 社会福祉総務費・社会福祉総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

社会福祉に関わる全市民及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

社会福祉に係る業務を円滑に遂行する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【総務関係費】【総務関係費（増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）】
【地域福祉推進事業委託経費】【非常勤職員人件費】
・一般的な管理費や事務経費　・社会福祉法人の会計監査の委託
・福祉関係団体活動支援補助　・会計年度任用職員報酬の支払い

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	地域福祉計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	社会福祉に係る関係団体への業務委託料、社会福祉課における一般事務管理費 ・県南若者サポートステーションよこて事業委託料 7,623千円 ・会計年度任用職員報酬 2,499千円
令和 7年度（決算）	社会福祉に係る関係団体への業務委託料、社会福祉課における一般事務管理費 ・県南若者就労支援事業委託料 7,623千円 ・会計年度任用職員報酬等 2,740千円
令和 8年度（計画）	一般的な管理費や事務経費・社会福祉法人の会計監査の委託・福祉関係団体業務委託・会計年度任用職員報酬
令和 9年度（計画）	一般的な管理費や事務経費・社会福祉法人の会計監査の委託・福祉関係団体業務委託・会計年度任用職員報酬

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	社会福祉法人の会計監査件数				
		単位	件	目標値	13	13	13	13	13
				実績値	6	7	6		
	2	区分	活動	指標	県南若者サポートステーション新規登録者数				
		単位	人	目標値	25	25	25	25	25
				実績値	25	34	38		
	3	区分	成果	指標	県南若者サポートステーション就職者数				
		単位	人	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	19	28	19		

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	15	15	483	121	15
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	430	420	420	420	420
	(f) 一般財源	25,968	27,269	31,611	35,417	28,109
事業費の小計		26,413	27,704	32,514	35,958	28,544

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030101 02 社会福祉課 社会福祉総務費		26,840	25,202	903	24,299	28,124	26,090
2	030101 02 社会福祉課 社会福祉総務費（建設）		0	6,366	0	6,366	1,490	0
3	030101 02 増田市民サービス課 社会福祉総務費（増田地域）		160	161	0	161	2,291	1,400
4	030101 02 平鹿市民サービス課 社会福祉総務費（平鹿地域）		211	210	0	210	211	211
5	030101 02 雄物川市民サービス課 社会福祉総務費（雄物川地域）		135	70	0	70	189	226
6	030101 02 大森市民サービス課 社会福祉総務費（大森地域）		43	178	0	178	33	33
7	030101 02 十文字市民サービス課 社会福祉総務費（十文字地域）		197	205	0	205	3,496	460
8	030101 02 山内市民サービス課 社会福祉総務費（山内地域）		54	58	0	58	60	60
9	030101 02 大雄市民サービス課 社会福祉総務費（大雄地域）		64	64	0	64	64	64

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0002 民生委員児童委員事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030101－030100　民生費・社会福祉費・社会福祉総務費　民生委員児童委員事業・民生委員児童		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

民生委員児童委員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

民生委員児童委員による活動が活発になっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【民生委員児童委員費】
・民生児童委員協議会への補助金を支出する。

④ 根拠法令	民生委員法・児童福祉法	⑤ 関連計画	地域福祉計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	民生児童委員活動の支援及び民生委員推薦会開催に係る経費 【令和7年3月末現在 民生児童委員定数 282名　主任児童委員定数 32名】 ・県負担金（民生委員及び地区協議会活動）　20,315千円 ・市補助金　13,502千円 ・推薦会出席委員報酬等　42千円
令和 7年度（決算）	民生児童委員活動の支援及び民生委員推薦会開催に係る経費 【令和8年3月末現在 民生児童委員定数 282名　主任児童委員定数 32名】 ・県負担金（民生委員及び地区協議会活動）　20,315千円 ・市補助金　13,502千円 ・推薦会出席委員報酬等　210千円
令和 8年度（計画）	・ 社会福祉全般に携わる民生児童委員協議会（15地区314人）に係る経費 ・ 民生委員推薦会開催経費
令和 9年度（計画）	・ 社会福祉全般に携わる民生児童委員協議会（15地区314人）に係る経費 ・ 民生委員推薦会開催経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	定数充足率の増加				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	3	区分	成果	指標	相談・支援件数の増加				
		単位	件	目標値	5,500	5,600	5,600	5,600	5,600
				実績値	6,086	6,112	6,303		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	20,314	20,314	20,421	20,381	20,315
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	13,591	13,548	13,847	13,602	13,630
事業費の小計		33,905	33,862	34,268	33,983	33,945

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱されている委員の活動及び推薦会開催に係る経費である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市内１５地区に配属された民生児童委員に、相談や見守り等の支援を実施していただき、市民の安全安心に資する事業であり、市全域に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	心配や困りごとなどの生活に関する相談支援や見守り活動等を実施するもので、すべての市民が対象である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	横手市民生児童委員協議会を柱として、各民生児童委員が活動を行っている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	他部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	民生児童委員の活動は、民生委員法及び児童福祉法によりその根拠と役割が担保されており、地域福祉推進の担い手として、施策達成のための基幹となる事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	法令等により定められた事業であるが、各地区民生委員協議会の運営については、自立していただく方向としている。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		３	一斉改選時に担当地区の再編成等を検討する余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	受益者負担には馴染まない経費である。
項目点合計	２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　９７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

少子高齢化が進む中、地域における相談、見守り活動を継続実施していかなければならない。単身高齢者や身寄りのない世帯が増加傾向にあり、８０５０問題やダブルケア問題など相談内容も複雑化している中で、民生児童委員に期待する役割はますます高まっている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030101	03	社会福祉課						
	民生委員児童委員事業			33,862	34,268	20,421	13,847	33,983	33,945

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0003 戦没者追悼式関係費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030101－040100　民生費・社会福祉費・社会福祉総務費 戦没者追悼式関係費・戦没者追悼式関		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

先の大戦の戦没者に対し追悼の誠を捧げ、再び戦争による犠牲者が生じることのない平和な社会を築くための意識の醸成が図られている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

戦没者追悼式関係費
・戦没者追悼式典の企画・開催

④根拠法令	なし	⑤関連計画	地域福祉計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手市戦没者追悼式に係る事業費 【10/24開催 会場 横手市民会館 参列者数 約170人】 ・参列者報償品　15千円 ・献花委託料　176千円 ・その他消耗品など 94千円
令和 7年度（決算）	横手市戦没者追悼式に係る事業費 【11/11開催 会場 横手市民会館 参列者数 約160人】 ・報償費　15千円 ・献花委託料　207千円 ・その他消耗品等　105千円
令和 8年度（計画）	・ 横手市戦没者追悼式に係る事業費 （報償費・消耗品費・手数料・祭壇装花委託）
令和 9年度（計画）	・ 横手市戦没者追悼式に係る事業費 （報償費・消耗品費・手数料・祭壇装花委託）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	参列者数				
		単位	人	目標値	270	250	250	250	220
				実績値	190	170	160		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	284	285	342	344	344
事業費の小計		284	285	342	344	344

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030101	04 社会福祉課	285	342	0	342	344	344
	戦没者追悼式関係費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 敬老事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－070100　　民生費・社会福祉費・地域福祉費 敬老事業・敬老事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

地域において敬老事業を実施する任意団体

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域における敬老意識の醸成

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

地域において敬老事業を実施する任意団体へ補助金を交付

④根拠法令	横手市敬老事業費補助金交付要綱	⑤関連計画	横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	敬老意識の醸成に係る事業を実施する町内会等の地域団体に対して、補助金を交付 活用83団体
令和 7年度（決算）	敬老意識の醸成に係る事業を実施する町内会等の地域団体に対して、補助金を交付 活用81団体
令和 8年度（計画）	・敬老意識の醸成を図る事業を実施する町内会等の任意団体に対しての事業経費補助
令和 9年度（計画）	・敬老意識の醸成を図る事業を実施する町内会等の任意団体に対しての事業経費補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	－	指標	敬老意識の醸成に係る事業を実施する団体数				
		単位		目標値	100	100	100	100	100
				実績値	47	83	81		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	556	947	969	3,300	3,300
事業費の小計		556	947	969	3,300	3,300

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	目標達成に向けて順調に推移している。今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	敬老事業を実施した地域への公益性はある。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	75歳以上の高齢者に対する敬老事業を実施した団体等への補助である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	事業内容変更３年目であったが目標達成には至らなかった。今後も周知を強化することで目標達成は可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局において、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	地域での敬老意識醸成のために実施が望ましい事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	今後も社会情勢に合わせた不断の見直しを要する。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	受益者が限定的だが、高齢者が住みやすい地域づくりのため有効な事業と考え、水準を維持する。
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　7×3　　総合評価点　６９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
敬老意識醸成を目的にしているが地域の団体等の活動補助であるため、地域力維持のためにも必要な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030104	07 まるごと福祉課	947	969	0	969	3,300	3,300
	敬老事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 長寿祝金支給事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－080100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 長寿祝金支給事業・長寿祝金支給事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

当該年度中に満88歳、満100歳となる方

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

多年にわたり社会の発展に寄与した高齢者の長寿を祝い、高齢福祉思想の普及と啓発、及び高齢者の福祉の増進を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・当該年度中に満88歳となる方へ、敬老月間である９月中に賀詞を贈呈
・満100歳に達した時に賀詞と100,000円相当の商品券を贈呈

④ 根拠法令	横手市長寿祝金条例	⑤ 関連計画	介護保険事業計画・高齢者福祉計画、横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・満100歳に達した時に賀詞と100,000円相当の商品券を贈呈　40人 ・満88歳となる方へ賀詞を贈呈　846人
令和 7年度（決算）	・満100歳に達した時に賀詞と100,000円相当の商品券を贈呈　46人 ・満88歳となる方へ賀詞を贈呈　799人
令和 8年度（計画）	・当該年度中に満88歳となる方へ敬老月間である９月中に賀詞を贈呈 ・満100歳に達した時に賀詞と100,000円相当の商品券を贈呈
令和 9年度（計画）	・当該年度中に満88歳となる方へ敬老月間である９月中に賀詞を贈呈 ・満100歳に達した時に賀詞と100,000円相当の商品券を贈呈

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	100歳長寿贈呈者				
		単位	人	目標値	61	60	60	60	60
				実績値	45	40	46		
	2	区分	成果	指標	88歳長寿贈呈者				
		単位	人	目標値	940	900	900	900	900
				実績値	895	846	799		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,291	4,757	5,483	7,522	7,076
事業費の小計		5,291	4,757	5,483	7,522	7,076

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	5	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	敬老意識醸成に一定の効果はあるが、社会情勢に合わせた見直しが必要である。
		目的の妥当性	1点：個人又は団体等、特定範囲に公益をもたらす事業である。
		1	受益者は特定の対象者のみである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	88歳と100歳が対象である。
②事業の有効性	6	目標の達成度	1点：目標の達成が困難であり、目標値の修正が必要である。
		1	人口動態に合わせた修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	敬老意識醸成に一定の効果はあるが、社会情勢に合わせた見直しが必要である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	令和５年度に事業内容を変更したが、まだ改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		１９	総合評価点の算出方法　：　5×4　＋　6×3　＋　8×3　　総合評価点　６２

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和５年度に変更した事業内容で継しているが、社会情勢に合わせた不断の見直しが必要である。

5．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030104	08	まるごと福祉課						
	長寿祝金支給事業			4,757	5,483	0	5,483	7,522	7,076

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 特別弔慰金支給費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030101－060100　民生費・社会福祉費・社会福祉総務費　特別弔慰金支給費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
戦没者の遺族
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
国として改めて弔意の意を表すために特別弔慰金を支給する
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
自治体が特別弔慰金の裁定請求事務を行う

④ 根拠法令	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法	⑤ 関連計画	
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R12年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金裁定請求事務に係る経費 【請求受付：762件、交付通知発送：654件、交付済：609件】 ・会計年度任用職員報酬　3,933千円 ・消耗品費及び印刷製本費　447千円 ・通信運搬費　203千円
令和 8年度（計画）	・戦没者等の遺族に対する特別弔慰金裁定請求事務に係る経費
令和 9年度（計画）	・戦没者等の遺族に対する特別弔慰金裁定請求事務に係る経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	137	137	120
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	5,726	3,059	280
事業費の小計		0	0	5,863	3,196	400

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030101 06	社会福祉課						
	特別弔慰金支給費		0	5,863	137	5,726	3,196	400

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 地域福祉推進事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－100100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 地域福祉推進事業・地域福祉推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	―	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

地域における福祉事業の推進

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域における日常生活課題に対し、すべての市民が手を取り合って解決に取り組むことにより、福祉力向上を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域福祉推進事業】地域福祉の担い手である社会福祉協議会へ、地域福祉事業を推進するための補助金を交付する。
【ひきこもり地域支援対策事業】ひきこもり地域支援センターの運営及び社会参加支援事業を実施し、社会的に孤立している要援護者の支援活動を実施する。

④ 根拠法令		⑤ 関連計画	横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	社会福祉関連15事業を地域福祉活動として実施する横手市社会福祉協議会への委託料
令和 7年度（決算）	社会福祉関連15事業を地域福祉活動として実施する横手市社会福祉協議会への委託料
令和 8年度（計画）	・横手市地域福祉計画に基づく地域福祉事業の横手市社会福祉協議会への委託実施
令和 9年度（計画）	・横手市地域福祉計画に基づく地域福祉事業の横手市社会福祉協議会への委託実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	ひきこもり地域支援センターの相談支援対応のべ件数				
		単位		目標値			1,500	1,500	1,500
				実績値			3,881		
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	2,250	9,288	10,250	10,250
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	6	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	10	10	0	0	0
	(f) 一般財源	90,000	89,532	86,288	91,111	87,999
事業費の小計		90,016	91,792	95,576	101,361	98,249

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地域福祉推進に係る委託料であり、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	地域福祉活動を継続して行うことにより、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	地域福祉推進事業として、すべての市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	地域福祉計画・地域福祉活動計画の目標に向かって、市民・地域・社会福祉協議会・行政が連携して取り組んでいる。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	地域福祉活動の推進については、地域づくり活動と重なる部分もあり、関係部署と連携した効率的かつ効果的な実施の検証が必要である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進するための起点となる社会福祉協議会への支援であり、市の福祉施策展開のための重要な事業となっている。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	地域福祉活動を推進していくためには、市の積極的な関与が必要であり、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業を委託している社会福祉協議会とは、毎年事業内容や事業費について協議し見直しを行っており、今後も改善していく余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担には馴染まない経費である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：9×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
地域福祉計画・地域福祉活動計画を着実に実行していくため、適正な事業費（コスト）を検討していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	030104 | 10 | まるごと福祉課 地域福祉推進事業	91,782	77,000	0	77,000	77,000	77,000
2	030104 | 10 | まるごと福祉課 ひきこもり地域支援対策事業	0	18,576	9,288	9,288	24,361	21,249
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 重層的支援体制整備事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－120100　民生費・社会福祉費・地域福祉費 重層的支援体制整備事業・参加支援・アウ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	－	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する。
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
誰もがその人らしい生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らす。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【参加支援・アウトリーチ・多機関協働事業】支援を必要とする人を発見しニーズや課題を把握する。また、複雑化・複合化した事例等を多様な主体の協働により支援する。【総合相談支援事業】高齢者の総合相談【権利擁護事業】高齢者の権利擁護支援【包括的・継続的ケアマネジメント支援事業】介護支援専門員等の研修会開催等【生活支援体制整備事業】生活支援コーディネーターを配置し地域の多様な主体による多様なサービス提供体制を構築する。

④ 根拠法令	社会福祉法 介護保険法	⑤ 関連計画	横手市重層的支援体制整備事業実施計画 横手市介護保険事業計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	重層的支援体制整備事業実施に係る委託経費（多機関協働事業・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業を実施する横手市社会福祉協議会への委託料）
令和 8年度（計画）	①重層的支援体制整備事業実施に係る業務委託経費等　②総合相談支援事業実施に係るブランチ業務委託経費等 ③権利擁護事業実施に係る消耗品費　④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に係るシステム保守経費等 ⑤生活支援体制整備事に係る業務委託経費
令和 9年度（計画）	①重層的支援体制整備事業実施に係る業務委託経費等　②総合相談支援事業実施に係るブランチ業務委託経費等 ③権利擁護事業実施に係る消耗品費　④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に係るシステム保守経費等 ⑤生活支援体制整備事に係る業務委託経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	支援会議及び重層的支援会議の実施				
		単位		目標値					
				実績値			29		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	21,072	23,318	22,439
	(b) 県支出金	0	0	9,609	11,658	11,218
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	5,160	7,059	7,059
	(f) 一般財源	0	0	11,783	11,661	11,222
事業費の小計		0	0	47,624	53,696	51,938

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地域住民が抱える複雑化・高度化した福祉課題に対し重層的な支援を行う体制整備事業の委託料であり、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	事業を継続して行うことにより、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	重層的支援体制整備事業実施計画に基づき、市民・地域・社会福祉協議会・行政が連携して取り組んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部署に類似事業は無いが、関係部署と連携した効率的かつ効果的に実施する必要がある。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	市の福祉施策展開のための重要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	社会福祉法により、市町村による実施が努力義務とされている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業を委託している社会福祉協議会とは、毎年事業内容や事業費について協議し見直しを行っており、今後も改善していく余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担には馴染まない経費である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制整備が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030104	12 まるごと福祉課	0	21,500	15,828	5,672	23,000	21,242
	参加支援・アウトリーチ・多機関協働事業							
2	030104	12 地域包括支援センター	0	919	741	178	7,543	7,543
	総合相談支援事業							
3	030104	12 地域包括支援センター	0	44	34	10	44	44
	権利擁護事業							
4	030104	12 地域包括支援センター	0	2,631	1,191	1,440	3,109	3,109
	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業							
5	030104	12 まるごと福祉課	0	20,000	16,150	3,850	20,000	20,000
	生活支援体制整備事業							
6	030104	12 まるごと福祉課	0	2,530	1,897	633	0	0
	孤独・孤立対策推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策２】

基本目標

楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり

【政策２】

学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます《教育文化》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実		【施策2-5】よこての伝統文化の継承と再発見	
食育・地産地消推進事業	458	重要伝統的建造物群保存事業	686
教育委員会費	462	歴史まちづくり事業	690
事務局総務費	466	伝統文化総務費	694
外国語教育・国際理解教育推進事業	470	文化財調査保存事業	698
奨学金貸付事業	474	埋蔵文化財発掘調査事業	702
学校保健事業	478	伝統文化普及事業	706
教育指導支援事業	482	資料館費	710
教育相談・教育支援センター事業	486		
就学前言語障害児指導事業	490		
学校生活サポート事業	494		
いじめ防止等対策事業	498		
次世代ものづくり人材育成事業	502		
教育研究推進事業	506		
スクールガード・リーダー配置事業	510		
小学校通学補助事業	514		
小学校要保護及び準要保護就学援助費	518		
小学校特別支援教育就学奨励費	522		
中学校要保護及び準要保護就学援助費	526		
中学校特別支援教育就学奨励費	530		
中学校指導要領改訂費	534		
幼児教育推進事業	538		
【施策2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備			
スクールバス運行事業	542		
小中学校ＩＴ環境管理経費	546		
学校給食センター運営委員会費	550		
学校給食事業	554		
学校給食調理等業務委託費	558		
学校給食センター維持補修費	562		
小学校管理費	566		
小学校教育振興総務費	570		
小学校各種大会派遣事業	574		
小学校教育振興費	578		
中学校各種大会派遣事業	582		
学校施設災害復旧事業	586		
中学校管理費	590		
中学校教育振興費	594		
小学校長寿命化対策事業	598		
小中学校環境整備事業	602		
水と緑の森づくり税関係補助事業	606		
【施策2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進			
スポーツ振興総務費	610		
市民スポーツ振興事業	614		
スポーツのまちづくり事業	618		
体育施設総務費	622		
屋内体育施設費	626		
屋外体育施設費	630		
競技スポーツパワーアップ事業	634		
【施策2-4】心を豊かにする生涯学習の推進			
社会教育総務費	638		
生涯学習推進事業	642		
二十歳のつどい開催事業	646		
学校・家庭・地域連携総合推進事業	650		
秋田大学横手サテライト事業	654		
芸術文化推進事業	658		
芸術文化施設費	662		
図書館総務費	666		
読書活動促進事業	670		
図書館費	674		
増田まんが美術館事業	678		
生涯学習館費	682		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 食育・地産地消推進事業

部・担当課	農林部・食農推進課	担当課長氏名	松井　尊臣
予算科目事業	1 一般会計－060103－090100　　農林水産業費・農業費・農業振興費 食育・地産地消推進事業・食育推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市民
（特に市内小・中学校児童生徒を中心とした若い世代）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・「横手市食育推進計画」の計画的、効率的な推進を目指し、評価や情報の共有が図られている。
・横手市の豊富な食材を給食として提供する取組などを通じ、食育の推進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【食育推進事業】横手市食育推進協議会の開催及び研修会の実施　（協議会年２回開催／委員１０名程）
【学校、保育所連携食育事業】栄養教諭による食の指導と合わせて横手市産の食材を材料とした調理などについて学びながら食す体験を行う。生産者との関係性を深める場を提供する。市内の保育所や園芸振興拠点センターを会場に食育事業を行う。
【稲作体験交流事業】増田小5年生・増田高校・地域団体で行う稲作体験交流事業

④根拠法令	食育基本法	⑤関連計画	第３次横手市食育推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・「横手市食育推進協議会」を開催（2/20）、「第４次食育推進計画」策定委員会の開催 ・市内小学校調理実習への地場産食材の提供（米、味噌、野菜等） ・「冬野菜を食べる会」を開催（市内保育施設14施設） ・「食農体験プログラム」を17回実施（市内小学校6校、中学校1校） ・学校給食用野菜の地場産利用に向けた冷蔵保存試験（じゃがいも、タマネギ 各50kg） ・【増田地域課】農業体験交流学習の開催（4/22～11/25、6回）
令和 7年度（決算）	・「横手市食育推進協議会」を開催（2/18） ・市内小学校調理実習への地場産食材の提供（米、味噌、野菜等）（市内小学校12校） ・「冬野菜を食べる会」を開催（市内保育施設16施設） ・「食農体験プログラム」を16回実施（市内小学校5校） ・「オープンスクール」の実施（市内中学校3校から8名参加） ・【増田地域課】農業体験交流学習の開催（4/21～12/2、6回）
令和 8年度（計画）	①食育推進事業の実施：横手市食育推進協議会の開催 ②学校、保育所連携食育事業：学校連携食育事業、冬野菜を食べる会、食農体験プログラム ③稲作体験交流事業の実施（増田地域課）
令和 9年度（計画）	①食育推進事業の実施：横手市食育推進協議会の開催 ②学校、保育所連携食育事業：学校連携食育事業、冬野菜を食べる会、食農体験プログラム ③稲作体験交流事業の実施（増田地域課）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	学校給食における地場産野菜15品目使用割合				
		単位	%	目標値	45	45	45	45	45
				実績値	25.2	32.1	33.7		
	2	区分	成果	指標	学校給食用地場産物資使用量【野菜・果実・米】（地場産使用重量/総使用重量）※R4年度～				
		単位	%	目標値	50	50	58	59	60
				実績値	54.5	58.4	60.5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,755	1,210	1,109	1,622	2,068
事業費の小計		1,755	1,210	1,109	1,622	2,068

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市町村に策定を義務付けられている食育推進計画に基づく事業である。基幹産業である農業を消費の面、農業理解の面から下支えする事業であり、食と農の体験により担い手確保にもつなげる事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	食生活と健康、食の安全安心、食文化の継承、地産地消の４つを柱とした食育推進計画に基づき、市民一人ひとりが健康で幸せな生活を送ることを具現化する事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	主に就学前の児童や小学生を対象とした事業であるが、子供を通して親や地域への波及効果を見込んでいる。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	地場産使用率は天候の影響が大きく、目標値が低下する年もあり、多機能型低温倉庫の活用も含めて長期的・計画的に取り組むことが必要となる。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	多機能型低温倉庫での保存については学校給食課とも連携しながら、何れ事業統合の検討が必要である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域の食と農を学び、体験することは郷土愛の醸成にもつながり、農業の担い手育成をはじめとして市の課題解決の基盤となる人づくりに資する。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	食育推進計画は、市町村での策定が義務付けられている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	経費を精査して削減に努めているが、更なる費用対効果の追及が必要である。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	食と農を通じた子供たちの教育が主な目的であり、適正である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　7×3　＋　8×3　　総合評価点　７７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

経費削減に努めながら事業を展開しており、維持が適当である。引き続き目的達成のために子供たちが郷土愛を育み、地元への関心を高め、ふるさとに定着するような展開が望ましいと考えており、費用対効果を見極めながら事業を進めていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060103 09	食農推進課	食育推進事業	1,111	1,007	0	1,007	1,474	1,920
2	060103 09	増田地域課	地産地消生産拠点づくり事業	99	102	0	102	148	148

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 教育委員会費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100101－010100　　教育費・教育総務費・教育委員会費 教育委員会費・教育委員会費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

教育委員（教育長含む）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

教育委員（教育長含む）が、委員としての職責を的確に果たせるようにします。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【教育委員会費】教育長及び教育委員が活動する上で必要となる旅費（開催地により変動あり）、交際費、負担金等
【非常勤特別職報酬（教育委員）】教育委員4名の教育委員報酬を支出します。

④根拠法令	教育委員報酬：横手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・委員報酬並びに教育長及び教育委員の活動に必要な経費の支出 委員5名分報酬　2,928千円　【内訳】@61,000円*12ケ月*3名 (@61,000円*7ケ月+54,900円*1ケ月）*1名 (@61,000円*4ケ月+6,100円*1ケ月）*1名 教育長交際費　40千円
令和 7年度（決算）	・委員報酬並びに教育長及び教育委員の活動に必要な経費の支出 委員4名分報酬　2,928千円　【内訳】@61,000円*12ケ月*4名 教育長交際費　62千円
令和 8年度（計画）	委員活動に必要な報酬、旅費、交際費、負担金の支出
令和 9年度（計画）	委員活動に必要な報酬、旅費、交際費、負担金の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	教育委員会（定例・臨時）の開催回数				
		単位	回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	14	14	13		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,954	2,968	2,990	3,223	3,245
事業費の小計		2,954	2,968	2,990	3,223	3,245

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	100101 01	教育総務課	教育委員会費	40	62	0	62	295	317
2	100101 01	教育総務課	非常勤特別職報酬（教育委員）	2,928	2,928	0	2,928	2,928	2,928

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 事務局総務費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100102－030100　　教育費・教育総務費・事務局費 事務局総務費・教育委員会事務局総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

教育総務課の職員が円滑に業務を遂行できるようにします。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【事務局総務費】教育委員会事務局経常経費

④ 根拠法令	非常勤職員：横手市非常勤職員の任用、勤務条件等に関する規則	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・事務局業務に必要な需用費、使用料、委託料、会計年度任用職員報酬等の支出 報償費　12千円、旅費　8千円、需用費　2,375千円、役務費　579千円、委託料　339千円、 使用料　224千円、負担金　1,222千円
令和 7年度（決算）	・事務局業務に必要な需用費、役務費の支出 報償費　16千円、旅費　58千円、需用費　2,589千円、役務費　581千円、委託料　339千円、 使用料　224千円、負担金　1,261千円、公課費　7千円
令和 8年度（計画）	事務局業務に必要な需用費、使用料、委託料等の支出
令和 9年度（計画）	事務局業務に必要な需用費、使用料、委託料等の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	横手かまくらFMを活用した教育委員会や学校活動に関する情報発信(再放送含む) 回数				
		単位	回	目標値	48	48	48	48	48
				実績値	49	50	49		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,157	4,759	5,075	5,010	5,325
事業費の小計		6,157	4,759	5,075	5,010	5,325

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	100102	03	教育総務課	4,759	5,075	0	5,075	5,010	5,325
	教育委員会事務局総務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 外国語教育・国際理解教育推進事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100102－040100　　教育費・教育総務費・事務局費 外国語教育・国際理解教育推進事業・外国語		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校の児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

他国での生活の様子や諸問題について学ぶ機会を持ち、日本との違いに気づき、異文化理解・多民族共生などの視点を持って、主体的に社会とかかわる生き方の素地を養う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【外国語指導助手招へい事業】・各小・中学校に外国語指導助手（以下ＡＬＴ）を配置し、授業等を通して児童生徒が英語に触れる機会を設定する。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・ALT11名を小・中学校に派遣し、外国語教育の推進に努めた ・中学校では、英語指導及び「英語暗唱弁論大会」や「英語検定」に向けての指導補助をした ・小学校では、学級担任とのティーム・ティーチングによる小学校外国語・外国語活動の授業を実施 (ALT報酬38,300千円、ALT住宅料(敷金礼金含)6,584千円、自治体国際化協会負担金(保険含)・渡航費負担金4,048千円)
令和 7年度（決算）	・ALT11名を小・中学校に派遣し、外国語教育の推進に努めた ・中学校では、英語指導及び「英語暗唱弁論大会」や「英語検定」に向けての指導補助を実施 ・小学校では、学級担任とのティーム・ティーチングによる小学校外国語・外国語活動の授業を実施 (ALT報酬44,102千円、ALT住宅料(敷金礼金含)6,576千円、自治体国際化協会負担金(保険含)・渡航費負担金4,107千円)
令和 8年度（計画）	【外国語指導助手招へい事業】・ALT11名を活用した、外国語・外国語活動の授業を実施
令和 9年度（計画）	【外国語指導助手招へい事業】・ALT11名を活用した、外国語・外国語活動の授業を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	小学校5・6年 外国語の授業への年間派遣時数(各クラス)				
		単位	時間	目標値	70	70	70	70	70
				実績値	70	70	70		
	2	区分	活動	指標	小学校3・4年 外国語活動の授業への年間派遣時数(各クラス)				
		単位	時間	目標値	35	35	35	35	35
				実績値	35	35	35		
	3	区分	活動	指標	横手ＡＬＴ通信の発行回数				
		単位	回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	6,336	6,532	6,576	6,576	6,576
	(f) 一般財源	43,055	44,770	48,736	51,910	53,093
事業費の小計		49,391	51,302	55,312	58,486	59,669

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解の充実を図るためにALTを小・中学校に派遣し、外国語活動や外国語の授業補助を行うことが必要である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	各小・中学校において、英語によるコミュニケーション能力の基礎を培ったり国際理解を推進するために、ALTには欠かせない存在となっている
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	全小・中学校の児童生徒と教職員が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	ALTの活用により、児童生徒の外国語活動・国際理解への関心が高まり、日常レベルでの交流が図られている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	学校教育が中心となっており、担当部局は限定される
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	ALTの派遣は、児童生徒や教職員のグローバル化、国際交流の充実を図るためにも不可欠である
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	すべての小・中学校における外国語活動、外国語学習を充実させるための事業であり、一定の質や量を維持するためにも、市として取り組む必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	学校の統廃合を考慮しながら、ALTの総数や配置の見直しを毎年行ってきている
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の充実を図ることは、市の将来像に関わる事業である
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
小・中学校の外国語教育の充実を図るためには、現在のネイティブスピーカーを維持することが必要である。また、児童生徒が外国と日本の文化の違い、双方のよさや価値に気付くことなどを通して、異文化理解・多文化共生等の視点をもって社会や他者と関わる生き方の素地を養う事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	100102 04	教育指導課 外国語指導助手招へい事業	51,302	55,312	6,576	48,736	58,486	59,669

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 奨学金貸付事業

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100102－060100　教育費・教育総務費・事務局費 奨学金貸付事業・奨学金貸付事業（債務負担		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

修学の意欲があるにもかかわらず経済的理由により修学が困難な学生

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

修学意欲を高め、目標実現に向かって学業に励む
心豊かで、社会に貢献する人材となる

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【奨学資金貸付事業（債務負担）】
・横手市奨学金の貸付による学生支援
・貸付金の確実な償還をめざし、滞納者及び未納者に対する償還計画の見直し

④ 根 拠 法 令	横手市奨学金貸付条例	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・奨学生34人（新規11人、継続23人）、奨学金合計 18,160千円 ・償還対象者への定期的な納付書送付等の実施 ・償還金滞納者への納付相談の実施及び分割納付等の対応
令和 7年度（決算）	・奨学生37人（新規13人、継続24人）、奨学金合計 21,180千円 ・償還対象者への定期的な納付書送付等の実施 ・償還金滞納者への納付相談の実施及び分割納付等の対応
令和 8年度（計画）	新規貸付者　予算の範囲内で貸付 （貸付月額）大学等　50,000円以内/月、高校　20,000円以内/月
令和 9年度（計画）	新規貸付者　予算の範囲内で貸付 （貸付月額）大学等　50,000円以内/月、高校　20,000円以内/月

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	現年分の奨学金貸付金元金収入の収納率を目標以上にする				
		単位	%	目標値	97	97	97	97	97
				実績値	95.1	96.1	96.5		
	2	区分	成果	指標	滞納繰越分の奨学金元金収入の収納率を目標以上にする				
		単位	%	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	9.8	6.7	14.1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	16,080	18,160	17,867	17,354	13,895
	(f) 一般財源	117	154	3,411	11,294	14,183
事業費の小計		16,197	18,314	21,278	28,648	28,078

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市奨学金貸付条例及び横手市奨学金貸付条例施行規則で定められている。
		目的の妥当性	1点：個人又は団体等、特定範囲に公益をもたらす事業である。
		1	修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により就学が困難な学生の支援となる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	横手市に住所を有する又は有していた、学業が優秀で学費の支出が困難な学生への支援となる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	経済的な理由により修学が困難な学生に対して、その機会を広げ社会の有用な人材を育成することに寄与している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	学生が安心して学べる環境を提供するため事業の実施が望ましい。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	公益財団法人秋田県育英会や独立行政法人日本学生支援機構等の類似サービスがあるが、併給を可とするなどほかの制度を補う役割も担っている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	債権管理目標設定に基づき、償還金滞納額の縮減に向けた取組みを着実に実施していく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	経済的な理由により修学が困難な学生本人への貸付金であり、卒業１年後から１０年以内に償還することを条例で定めている。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　7×3　　総合評価点　７３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
経済的な理由により修学が困難な学生に対して、その機会を広げ社会の有用な人材を育成することに寄与していることから学生にとって必要な事業である。また、償還金滞納者については、きめ細かい納付勧奨を実施する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100102 06 奨学金貸付事業（債務負担）	学校教育課	18,314	21,278	17,867	3,411	28,648	28,078

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 学校保健事業

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100102－080100　　教育費・教育総務費・事務局費 学校保健事業・学校保健事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小中学校の児童生徒及び教職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒及び教職員の健康の維持増進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校保健管理事業】・・児童生徒及び教職員の健康保持増進のため健康診断や小児生活習慣病予防対策を実施する。
①学校医の委嘱及び報酬の支払い　②児童生徒及び教職員の健康診断（応援医、モアレ検査・小児生活習慣病予防対策費、食物アレルギー診断委託、教職員ストレスチェック含む）の実施　③健診機器滅菌業務委託　④スポーツ振興センター共済掛金負担金　⑤就学時健診

④ 根 拠 法 令	学校保健安全法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・学校医の委嘱及び報酬支払い　14,493千円 ・児童生徒及び教職員の健康診断等の実施　17,354千円 ・検診機器滅菌業務委託　1,041千円 ・スポーツ振興センター共済掛金負担金　4,590千円 ・就学時健康診断　133千円
令和 7年度（決算）	・学校医の委嘱及び報酬支払い　14,487千円 ・児童生徒及び教職員の健康診断等の実施　16,985千円 ・検診機器滅菌業務委託　1,225千円 ・スポーツ振興センター共済掛金負担金　4,404千円 ・就学時健康診断　125千円
令和 8年度（計画）	①学校医の委嘱及び報酬支払い　②児童生徒及び教職員の健康診断（応援医・モアレ検査・小児生活習慣病予防対策費・食物アレルギー診断委託・教職員ストレスチェック含む）の実施　③検診機器滅菌業務委託　④スポーツ振興センター共済掛金負担金　⑤就学時健康診断
令和 9年度（計画）	①学校医の委嘱及び報酬支払い　②児童生徒及び教職員の健康診断（応援医・モアレ検査・小児生活習慣病予防対策費・食物アレルギー診断委託・教職員ストレスチェック含む）の実施　③検診機器滅菌業務委託　④スポーツ振興センター共済掛金負担金　⑤就学時健康診断

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	児童生徒健康診断受診率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	99.19	99.2	99.4		
	2	区分	活動	指標	教職員健康診断受診率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	98.72	98.49	99.55		
	3	区分	活動	指標	肥満度30%以上の児童生徒に対する個別指導率を目標以上にする				
		単位	%	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	22.26	22.9	16.42		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2,253	2,169	2,086	1,995	1,993
	(f) 一般財源	34,794	35,442	35,140	37,383	37,676
事業費の小計		37,047	37,611	37,226	39,378	39,669

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	学校保健安全法、学校保健安全法施行規則、横手市学校保健結核対策委員会設置規則、横手市小児生活習慣病予防対策委員会設置要綱で定められている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	横手市立小中学校における児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進を図るもの。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	横手市立小中学校における児童生徒及び教職員を対象としている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	各種健診の受診率は、100%に近い。児童生徒の肥満傾向出現率は県の出現率を上回る状態が続いており、各小中学校では、肥満傾向解消に向けて継続した取組みを実施してはいるものの、学校のみでの改善は困難な状況であり、家庭の理解と協力が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	法令等に基づく事業であるため、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	学校における児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進のために、不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	法令等による健診であることや児童生徒及び教職員の健康管理に向けた観点から、全てのアウトソーシングにはそぐわないが、民間専門機関での健診やその分析等、一部アウトソーシングが可能である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	関係部署や専門機関と協議のうえ、より安全性の確保に向けた事業の進め方の改善を図ってきた。法的健診以外の市独自の健診項目についても検討し実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	学校での児童生徒及び教職員の健診については、設置者の責任で実施すべき事業である。 他自治体と比較しても市単独の検査項目は多く、サービスは充実している。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		８１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

児童生徒及び教職員の健康の保持・増進には欠かせない事業である。また、小児生活習慣病予防対策等の法定健診以外の事業についても、近年、児童生徒の肥満傾向出現率が県の出現率を上回る状態が続いており、肥満傾向解消に向け継続して事業に取組む必要がある。学校のみでの改善は困難な状況であり、取組内容等の改善を図りながら、家庭の理解と協力を得て、今後も長期視点で継続して取り組むことが必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100102	08	学校教育課 学校保健事業	37,611	37,226	2,086	35,140	39,378	39,669

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 教育指導支援事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－010100　　教育費・教育総務費・教育指導費 教育指導支援事業・教育指導支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校児童生徒及び教職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

管理職や指導主事が学校を訪問し授業改善や生徒指導上の課題について指導助言することで、教職員の資質や指導力が向上する。
就学指導委員会により、児童生徒の適切な就学や教育相談の審査を行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【教育指導総務費】・各種委員会が円滑に運営されるよう、関係費用（報酬等）を予算化する。・学校教育指導員を配置し、きめ細かな指導・支援を可能にする。また、事務補助員を配置し、当課所管の教育施設や市内小・中学校との連絡調整により円滑に業務を遂行する。・部活動地域移行コーディネーターを配置し、学校や関連団体等との連絡調整を行う。・教職員の資質向上のため、研修会を実施する。・各種協議会等への負担金を予算化し、関係各所との連携を深める。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・就学支援委員会(10/18、11/5)、いじめ対策委員会(7/30、2/20)を開催 ・教育専門監2名、英語専科指導教員2名により、充実した指導に結びつけた ・各委員会報酬や教育専門監等活動費、各種協議会等負担金により、円滑な運営を行い連携を図った （各委員報酬42千円　会計年度任用職員報酬6,329千円　専門監専科教員消耗品費10千円　負担金594千円） ・授業でのタブレット端末使用のため、授業目的公衆送信補償金381千円
令和 7年度（決算）	・就学支援委員会(10/17、11/5)、いじめ対策委員会(7/25、3/13)を開催 ・教育専門監1名、英語専科指導教員3名により、充実した指導に結びつけた ・各委員会報酬や教育専門監等活動費、各種協議会等負担金により、円滑な運営を行い連携を図った （各委員報酬48千円　会計年度任用職員報酬6,568千円　専門監専科教員消耗品費25千円　負担金412千円） ・授業でのタブレット端末使用のため、授業目的公衆送信補償金356千円
令和 8年度（計画）	・就学支援委員会、いじめ対策委員会等の円滑な運営と連携 ・学校教育指導員、事務補助員、部活動地域展開コーディネーターの配置
令和 9年度（計画）	・就学支援委員会、いじめ対策委員会等の円滑な運営と連携 ・学校教育指導員、事務補助員、部活動地域展開コーディネーターの配置

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	関係する協議会との連携が図られている割合				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	2	区分	活動	指標	教職員の資質向上のための研修会の開催数				
		単位	回	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	15	15	15		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	7,546	11,134	12,424	11,315	11,315
事業費の小計		7,546	11,134	12,424	11,315	11,315

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	学校教育法、いじめ防止法対策推進法に関わる委員会の開催が含まれている
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市の小・中学校全てに関わることであり、地域や保護者にもその範囲は及ぶ
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市の小・中学校に在籍する児童生徒、教職員が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	学校教育指導員の配置により、きめ細やかな指導・支援が行われるなど、着実に進捗している
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	学校関係が主であるので、他の部局では実施しない
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	各種委員会の開催や関係各所との連携など、学校教育の充実のために不可欠である
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間での同種サービス提供はない
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	教職員の資質・能力の向上のための研修会の在り方など、改善の余地がある
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	現状で、適切である
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

就学支援委員会やいじめ対策委員会の開催、学校教育指導員等非常勤職員の雇用、関係各所等との連携の維持が、学校教育に関わる多方面からの取組の充実のために不可欠な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100103 01 教育指導支援事業	教育指導課	11,134	12,424	0	12,424	11,315	11,315

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 教育相談・教育支援センター事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－020100　　教育費・教育総務費・教育指導費 教育相談・教育支援センター事業・教育相		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校の児童生徒及び保護者、教職員
かがやき教室(教育支援センター)に通う児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

教育相談を通して心の悩みが解消し前向きな生活を送る児童生徒が多くなり、かがやき教室通級児童生徒は、心の居場所を得て学校復帰や高校進学などに前向きになる。また学校や保護者は、専門的な指導・助言等により、対象児童生徒への理解と協力を示す。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【教育相談・教育指導センター事業】
・かがやき教室(教育支援センター)内に専任指導員と教育相談員を配置し、児童生徒や保護者の相談に応じる。
・かがやき教室(教育支援センター)通級児童生徒の学習指導に当たる。

④根拠法令	学校教育法	⑤関連計画	横手市教育ビジョン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・悩みを抱える児童生徒の相談や、保護者・教職員の相談にも対応 （教育相談員2名、専任指導員2名、報酬8,2852千円、手当1,582千円、勤勉手当1,327千円、通勤手当328千円） ・在籍校との連絡・情報交換を密にし、児童生徒の学びを支援 ・学習面の個別指導も実施 （R7.3月末在籍者数：南かがやき11名、西かがやき12名）
令和 7年度（決算）	・悩みを抱える児童生徒の相談や、保護者・教職員の相談にも対応 （専任指導員6名、報酬11,404千円、期末手当1,707千円、勤勉手当1,438千円、通勤手当278千円） ・在籍校及びこども若者相談窓口との連絡・情報交換を密にし、児童生徒の学びを支援 ・学習面の個別指導も実施 （R8.3月末在籍者数：南かがやき4名、西かがやき10名、東かがやき8名）
令和 8年度（計画）	・児童生徒や保護者、教職員の相談に対応 ・かがやき教室(教育支援センター)通級児童生徒について、在籍校と連絡・情報交換 ・かがやき教室(教育支援センター)通級児童生徒の学習指導
令和 9年度（計画）	・児童生徒や保護者、教職員の相談に対応 ・かがやき教室(教育支援センター)通級児童生徒について、在籍校と連絡・情報交換 ・かがやき教室(教育支援センター)通級児童生徒の学習指導

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	在籍校との連絡・情報交換の割合				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	2	区分	成果	指標	不登校児童生徒の出現率				
		単位	%	目標値	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63
				実績値	3.3	3.5	3.25		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	9,837	12,102	15,300	16,961	16,961
事業費の小計		9,837	12,102	15,300	16,961	16,961

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	学校や家庭における人間関係の希薄化、価値観の多様化及びコミュニケーションの不足等に伴って、悩みや不安を抱える児童生徒が増えており、専任指導員を配置した教育支援センターを設置して支援することが必要である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	児童生徒と保護者、学校に広く浸透しており、教育相談の件数や入級者からも公益性がある
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	小・中学校に在籍する全ての児童生徒とその保護者、教職員が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	教育相談や適応指導教室での指導助言を機に、学校復帰や高校進学を果たしたりする児童生徒が増えている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	児童生徒、保護者に寄り添う事業であり、他の部局には存在しない
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	児童生徒の心の居場所づくりの実現を通して、児童生徒の生きる力を育んでいる
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	組織として児童生徒の成長を支援するための体制の確立が求められており、市として取り組む必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	市の現状を把握した上で、専任指導員を配置している
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	不登校は、市が取り組むべき喫緊の課題の一つであり、児童生徒とその保護者、教職員に対する支援を充実させることは大切である
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

不登校の要因が多岐にわたり、複雑化する今日、児童生徒の社会的自立を目指すためには、教育支援センターの役割が重要度を増している。個に応じた支援の充実に向けて、3カ所に設置している教育支援センター維持のほか、福祉部、医師やカウンセラー等専門関等との連携体制を、一層強化していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100103	02	教育指導課	12,102	15,300	0	15,300	16,961	16,961
	教育相談・教育支援センター事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 就学前言語障害児指導事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－040100　　教育費・教育総務費・教育指導費 就学前言語障害児指導事業・就学前言語障		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

ことばの発達に心配や遅れが見られる就学前の幼児

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

早期から相談・指導をすることで就学への不安を軽減し、スムーズな就学に結びつく。
保健、医療、福祉、幼稚園、保育所との連携による支援体制が確立される。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【就学前言語障害児指導事業】
・「幼児ことばの教室」に言語指導員・言語聴覚士を配置し、相談・指導業務を行う。・リーフレットを作成し、対象幼児保護者及び関係機関に配付する。・５歳児健康相談事業との連携を図り、本事業に係る理解啓発を図る。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・言語聴覚士1名、言語指導員2名を配置 ・就学につながる早期の言語指導 【通所対象25名（内指導終了15名、指導継続10名）、面談人数13名】 （言語聴覚士報償金456千円、言語指導員報酬2,447千円、言語指導員期末手当512千円、言語指導員勤勉手当429千円）
令和 7年度（決算）	・言語聴覚士1名、言語指導員2名を配置 ・就学につながる早期の言語指導 【通所対象25名（内指導終了15名、指導継続12名）、面談人数8名】 （言語聴覚士報償金468千円、言語指導員報酬2,553千円、言語指導員期末手当450千円、言語指導員勤勉手当379千円）
令和 8年度（計画）	・就学前の幼児を対象にした言語等の発達に関する指導支援
令和 9年度（計画）	・就学前の幼児を対象にした言語等の発達に関する指導支援

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	幼児ことばの教室における教育相談者数				
		単位	人	目標値	30	60	60	60	60
				実績値	51	38	33		
	2	区分	活動	指標	幼児ことばの教室における通所対象者の人数				
		単位	人	目標値	25	30	30	30	30
				実績値	36	25	25		
	3	区分	活動	指標	退所した幼児の割合				
		単位	%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	78	60	60		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,359	3,992	4,029	4,685	4,685
事業費の小計		3,359	3,992	4,029	4,685	4,685

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	関係機関との協力や連携を図りながら、主に言葉の発達に関して、子どもの発育・成長及び保護者の子育てを支援することが必要である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	子どもの発する言葉に不安を抱えている保護者にとって、相談機関としての「幼児ことばの教室」の役割は大きい
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	就学前の言語発達障がい幼児とその保護者が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	通級指導をしたり、経過を観察したりすることで、言葉の発達に関して適切な支援が行われている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局では実施していない事業である
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	子どもの発育・成長及び保護者の子育てを支援することは、就学前の幼児の健やかな成長につながるとともに、学校教育の充実にもつながる
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	関係機関との連携を図りながら、就学前の言語発達障がい幼児の教育・成長を支援する必要があり、一定の質や量を維持するためには、市として取り組む必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	関係機関との連携により情報の共有化を図るなどしており、事業内容について今後も見直し・改善を行う必要がある
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	就学前の幼児を対象に、子どもの発育・成長を支援することは、発達障がい等が疑われる幼児の早期支援等につながる大切な事業である
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

３～４歳児に対する効果的な指導の在り方、発達障がいの可能性がある幼児への指導・支援の在り方等に難しさがある。相談窓口としての機能をもたせながら、研修会等を活用し、言語指導員の専門性を高めていきたい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100103 04 教育指導課 就学前言語障害児指導事業	3,992	4,029	0	4,029	4,685	4,685

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 学校生活サポート事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－030100　　教育費・教育総務費・教育指導費 学校生活サポート事業・学校生活サポート		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	―	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

特別な教育的支援、在籍学年に応じた学習を必要とする児童生徒及び横手市立小中学校

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

特別支援教育支援員が支援に当たることにより、要支援児童生徒の自立が促され、学校運営が円滑に行われる。
外国籍児童生徒においては、早い時期に日本の習慣に慣れさせ、本人や周囲の不安を取り除き、安定した学校生活が送れる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校生活サポート事業】
・特別支援教育支援員、日本語指導支援員、非常勤看護師、複式学級指導支援員を配置し、対象児童生徒への支援を行う。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・特別支援教育支援員49名（全支援員報酬82,728千円、全支援員期末･勤勉手当31,488千円） ・日本語指導支援員4名（横手南小、朝倉小、栄小、雄物川小）・非常勤看護師1名（吉田小）・複式学級指導支援員1名（栄小） ・特別支援学級在籍児童生徒数（小学校164名、中学校76名）R7.3.31現在 ・特別支援教育支援員が担当している特別支援学級在籍児童生徒数（小学校148名、中学校51名）R7.3.31現在 ・特別支援教育支援員が担当している通常学級在籍児童生徒数　（小学校144名、中学校15名）R7.3.31現在
令和 7年度（決算）	・特別支援教育支援員49名（全支援員報酬90,278千円、全支援員期末･勤勉手当35,107千円） ・日本語指導支援員5名（朝倉小、栄小、吉田小、雄物川小、平鹿中）・非常勤看護師2名（吉田小、醍醐小）・複式学級指導支援員1名（栄小） ・特別支援学級在籍児童生徒数（小学校153名、中学校81名）R8.3.31現在 ・特別支援教育支援員が担当している特別支援学級在籍児童生徒数（小学校148名、中学校51名）R8.3.31現在 ・特別支援教育支援員が担当している通常学級在籍児童生徒数　（小学校144名、中学校15名）R8.3.31現在
令和 8年度（計画）	・特別支援教育支援員、日本語指導支援員、非常勤看護師、複式学級指導支援員を配置
令和 9年度（計画）	・特別支援教育支援員、日本語指導支援員、非常勤看護師、複式学級指導支援員を配置

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	支援を要する児童生徒に対して、支援員の支援を受けている児童生徒の割合				
		単位	%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	78	69	69		
	2	区分	活動	指標	支援員対象児童生徒の個別の指導計画提出の割合				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	487	755	1,365	1,870	1,870
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	93,723	116,617	127,458	126,035	126,035
事業費の小計		94,210	117,372	128,823	127,905	127,905

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	特別な支援を必要とする児童生徒、日本語指導支援を必要とする児童生徒が安定した学校生活を送るためには、支援員を配置し、支援を行う必要がある
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒は増加傾向にある
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	特別な支援を必要とする児童生徒及び日本語指導支援等を必要とする児童生徒が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	校内の支援体制を整備するとともに、学級担任と支援員との連携により、実態に応じた適切な支援を行うことができる
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局では実施していない事業である
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	支援員を配置し、実態に応じた支援を行うことで、安定した学校運営に寄与している
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	障がいのある児童生徒の支援を行うことは必要不可欠であり、市が主体的に取り組んでいかなければならない事業である
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	毎年度、各校児童生徒の実態に応じた支援員の適性配置を行っているが、支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあり、今後も見直し・改善は必要である
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	支援員を配置して、支援を要する児童生徒に対しての支援を行うことは、児童生徒の自立を促すとともに、円滑な学校運営の実現にもつながる
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		８９	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

特別な支援を要する児童生徒は増加傾向にあり、保護者からのニーズも高まっている。今後、支援員の人材確保及び支援を要する児童生徒在籍校への適切な配置により、さらに支援の充実を図る必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	100103	03	教育指導課						
	学校生活サポート事業			117,372	128,823	1,365	127,458	127,905	127,905

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 いじめ防止等対策事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－070100　　教育費・教育総務費・教育指導費 いじめ防止等対策事業・いじめ防止等対策		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内小・中学校の児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒一人一人が望ましい規範意識やコミュニケーション能力を身につけ、将来直面するであろう様々な課題に主体的に柔軟に、かつたくましく対応できることを目指す。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手市いじめ防止等対策事業】生徒会と児童会の連携による交流を推進し、モデル地区による事業を行う。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手北中学校区をモデル推進地区とし事業を実施した ・横手北学校１年生と朝倉小･横手北小6年生で集会を開催した(11/20) 中学校進学への不安を取り除く取り組みを行い、啓発活動として集会の内容をまとめ、パンフレットを作成し配付した ・Ｙ８サミット開催(11/11) ・Ｙ８サミットポスター【Ａ３サイズ135枚】（31千円）
令和 7年度（決算）	・十文字中学校区をモデル推進地区とし事業を実施 ・いじめのない学校づくりを目指し、小・中で交流会を開催(10/29) 啓発活動としてマグネットシートを作成し、中学校区内を走るスクールバスに貼付 ・Ｙ８として市制施行20周年イベント「全力！よこて祭り」および地域行事の企画・運営に参加
令和 8年度（計画）	・横手市内中学校区（横手明峰中学校区）をモデル推進地区とし、その地区の特色を生かした事業を実施 ・Ｙ８サミットの開催、Ｙ８サミットのチラシ作成
令和 9年度（計画）	・横手市内中学校区（増田中学校区）をモデル推進地区とし、その地区の特色を生かした事業を実施 ・Ｙ８サミットの開催、Ｙ８サミットのチラシ作成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	認知したいじめの解消率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	94.2	95	86.4		
	2	区分	活動	指標	いじめの状況等調査の実施回数				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	3	3	2		
	3	区分	活動	指標	いじめ対策委員会の開催				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	109	106	69	126	126
事業費の小計		109	106	69	126	126

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	将来直面するであろう様々な課題に主体的に柔軟に、かつたくましく対応していくためには、「児童会、生徒会の主体的な取り組み」等の活動を通して実効性のあるいじめ防止対策を推進していく必要がある
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	いじめなどの問題行動や情報モラルの欠如等、憂慮すべき状況において、いじめ防止対策の推進は公益性がある
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	全ての小・中学校に在籍する児童生徒が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	同じ学区内の生徒会と児童会が連携していじめ根絶に向けた活動を行うことで、自分たちの学校をよくしていこうという機運が高まっている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	小中連携、小学校間や中学校間の連携等、学校を核とした事業であり、他の部局にはない事業である
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	児童生徒一人ひとりが社会的資質・能力を身につけ、規範意識やコミュニケーション能力を身に付けることは、豊かな心を育む上で不可欠である
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	いじめ防止対策推進法の内容に基づき作成された「横手市いじめ防止のための基本方針（改訂版）」に則り、市として取り組む必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	各中学校区が実施主体となり本事業を推進することで、毎年度事業内容の見直しと改善が図られている
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	小・中学校において、実効性のあるいじめ防止対策が推進されることは、今後ますます大切になる
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　８５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

小・中連携を核とした取り組みにより、いじめ防止につながる成果を上げており、継続的な実施が必要である。小・中学生及び教職員が中学校区としてのつながりを深めながら、共通課題を認識し、いじめの起こりにくい学校づくりを進める必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100103	07 教育指導課	106	69	0	69	126	126
	いじめ防止等対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 次世代ものづくり人材育成事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－050100　　教育費・教育総務費・教育指導費 次世代ものづくり人材育成事業・次世代も		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校の児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習をとおして、児童生徒の望ましい勤労観・職業観が育成される。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【次世代ものづくり人材育成事業】・「プログラミング教室」「小学生職場見学ツアー」「ものづくり交流会(中学生)」を開催する。

・各中学校が活用できるよう職場体験受入登録事業所リストを整備し、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。

④根拠法令	学校教育法	⑤関連計画	横手市教育ビジョン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・「ものづくり交流会」8/6横手北中学校で実施　技術分野13名・家庭分野15名　合計28名 「小学生職場見学ツアー」10/15開催　株式会社高英・プレステージ20名 「ICT・プログラミング体験教室」1/9 Ao-naで開催　トイドローン等を使用したプログラミング体験16名 ・「職場体験受入事業所（“未来体験”応援団）」の整備
令和 7年度（決算）	・「ものづくり交流会」8/5十文字地区交流センターで実施　技術分野11名・家庭分野16名　合計27名 「小学生職場見学ツアー」10/14開催　東海理化トウホク・Orbrey株式会社横手工場　20名 「ICT・プログラミング体験教室」1/9 Ao-naで開催　トイドローン等を使用したプログラミング体験15名 ・「職場体験受入事業所（“未来体験”応援団）」の整備
令和 8年度（計画）	・「ものづくり交流会」「小学生職場見学ツアー」「プログラミング教室」の実施
令和 9年度（計画）	・「ものづくり交流会」「小学生職場見学ツアー」「プログラミング教室」の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	「ICT教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教員の割合				
		単位	%	目標値	65	65	65	65	65
				実績値	65	65	92		
	2	区分	活動	指標	プログラミング教室に対する「とても楽しかった」と回答する児童生徒の割合				
		単位	%	目標値	65	65	65	65	65
				実績値	100	92	93		
	3	区分	活動	指標	小学生職場見学ツアーに対する「とても楽しかった」と回答する児童の割合				
		単位	%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	100	100	91		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	145	150	66	154	156
事業費の小計		145	150	66	154	156

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	児童生徒の望ましい職業観や勤労観の育成のために、これまでの日本の産業を支えてきたものづくりを中心とした理科的学習、職業に関する学習を行う必要がある
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	理科離れや若年層の離職率が危惧される中、ものづくりの技術とその土台となる科学に対する児童生徒の興味・関心を高めることが強く求められている
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	小・中学校に在籍するすべての児童生徒と教職員が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習の充実を図ることで、児童生徒の知的好奇心が高まったり、自分の生き方について考えるきっかけとなったりしている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	児童生徒を対象として、ものづくりを通して職業観や勤労観を育む事業は他にはないと考える
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	望ましい職業観や勤労観を育むことは、児童生徒の生きる力の育成につながる
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習の充実は、各関係機関との総合的な連携が必要であり、市として取り組む必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	実施後のアンケート調査を行うなどして事業内容の見直しを図りながら取り組んでいる
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	児童生徒に望ましい職業観や勤労観を育むことは、横手市の将来像に関わる大切な事業である
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3
総合評価点		７９	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習の充実を図るためには、地域人材の支援が不可欠であり、地域との連携が重要である。地元企業の協力も得ながら、学習の機会の充実に取り組んでいく。また、教職員のキャリア教育の重要性に対する意識向上も図っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100103	05	教育指導課						
	次世代ものづくり人材育成事業			150	66	0	66	154	156

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 教育研究推進事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－080100　　教育費・教育総務費・教育指導費 教育研究推進事業・教育研究推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校の児童生徒及び教職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒が主体的に、試行錯誤しながら課題の解決を目指し、達成感や満足感等とともに自らの変容や確かな力の獲得を実感できる。また、児童生徒の協働の学びを実現し、一人一人に確かな学力を身に付けさせることのできる指導力をもっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【言語活動充実推進事業】・「“自ら学ぶ子ども”の育成」を主題とした研究を推進し、指定校による公開研究会を開催する。・新聞を活用した学習活動と読書活動を推進する。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公開研究会の実施（平鹿中学校区・十文字中学校区の中学校）11/8実施(研究紀要 550冊発行) ・公開研究会に向けた事前研修の実施　Ⅰ区(横手南中学校区・増田中学校区) ・新中学１年生へおすすめの本100選を配付 ・学校図書館を活用し、読書活動、NIEの推進を強化 ・第７回横手市「みんなｄｅ読もう！新聞コンクール」小・中応募総数4,265点　4部門最優秀賞4名優秀賞20名 ・おすすめの本100選作成
令和 7年度（決算）	・公開研究会の実施（横手南中学校区・増田中学校区の小学校）11/7実施(研究紀要 550冊発行) ・公開研究会に向けた事前研修の実施　Ⅰ区(横手南中学校区・増田中学校区) ・生徒用タブレットにおすすめの本100選のデータを格納 ・学校図書館を活用し、読書活動、NIEの推進を強化 ・第９回横手市「みんなｄｅ読もう！新聞コンクール」小・中応募総数4,431点　4部門最優秀賞4名優秀賞20名
令和 8年度（計画）	・公開研究会の実施(研究指定校Ⅰ区中学校) ・学校図書館を有効に利活用し、読書活動、NIEの推進を図る　・新聞コンクールの開催
令和 9年度（計画）	・公開研究会の実施(研究指定校Ⅱ区小学校) ・学校図書館を有効に利活用し、読書活動、NIEの推進を図る　・新聞コンクールの開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	主体的で協働的な学びを目指し、授業改善・学びの質の向上に努めている授業(学校訪問時)の割合				
		単位	%	目標値	80	82	82	82	82
				実績値	74	84	71		
	2	区分	活動	指標	市教育推進委員会研究紀要における「学校図書館利活用」と「NIE推進に関する授業」の実践数				
		単位	数	目標値	60	62	62	62	62
				実績値	63	67	72		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,999	1,999	2,181	2,020	2,491
事業費の小計		1,999	1,999	2,181	2,020	2,491

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市内小・中学校間で研究指定校の成果を共有するためにも、市教育委員会として必要な支援や環境整備を行う必要がある
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	児童生徒の学習の基盤となる言葉の力や、自ら主体的に問題解決を図る力の育成を目指している
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	全ての小・中学校の児童生徒と教職員が対象である
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	研究推進の方向性を確認し、全ての小・中学校において読書活動の推進やNIEの推進をはじめとする共通実践が行われている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局では実施していない事業である
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	学習の基礎となる言葉の力や、自ら主体的に問題解決を図る力の育成は、学校教育の充実のために不可欠である
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	児童生徒が将来にわたって学び続ける力を育てることは必要不可欠であり、市が取り組んでいかなければならない事業である
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	全ての小・中学校の実践報告を分析し、事業内容の見直し・改善がされており、今後も継続していきたい
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	研究指定校を設定し、研究推進の具現化を図り、小・中学校間で研究成果を共有することは、学校教育の充実のために必要である
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

研究指定校における公開研究会等で発信した成果と課題を全ての小・中学校で共有し、自校の研究推進に反映させることにより、各校における教育活動の充実を図ることができる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100103	08 教育指導課	1,999	2,181	0	2,181	2,020	2,491
	教育研究推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 スクールガード・リーダー配置事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－060100　　教育費・教育総務費・教育指導費 スクールガード・リーダー配置事業・スク		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市内小学校の児童

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

スクールガード・リーダーの活動が、事故や事件の未然防止につながり、児童が安全に学校生活を送ることができる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【スクールガード・リーダー配置事業】・スクールガードリーダーを３名配置し、学校の安全体制に対する指導・助言や学校安全ボランティアの見守り活動を支援する。

④ 根拠法令	地域ぐるみの学校安全対策整備推進事業費補助金（秋田県教育委員会）	⑤ 関連計画	横手市教育ビジョン
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・スクールガード・リーダー３名により、市内小学校を訪問し、登下校時における児童への安全指導を実施した（３名で10ヵ月・市内14校で活動：年間回実施した） ・スクールガード・リーダー情報交換会を実施した（8/8、2/7） （スクールガード・リーダー報償金　462千円、傷害保険　20千円）
令和 7年度（決算）	・スクールガード・リーダー３名により、市内小学校を訪問し、登下校時における児童への安全指導を実施（３名で10ヵ月・市内14校で活動：年間153回実施） ・スクールガード養成講習会(8/5)・リーダー情報交換会(2/7) を開催 （スクールガード・リーダー報償金　459千円、傷害保険　19千円）
令和 8年度（計画）	・市内の各小学校を訪問し、登下校時における児童への指導 ・スクールガードリーダー情報交換会とスクールガード養成講習会の開催
令和 9年度（計画）	・市内の各小学校を訪問し、登下校時における児童への指導 ・スクールガードリーダー情報交換会とスクールガード養成講習会の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	年間延べ訪問回数				
		単位	回	目標値	154	154	154	154	154
				実績値	139	154	153		
	2	区分	活動	指標	スクールガードリーダー情報交換会の開催				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	2	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	96	94	158	96	96
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	395	388	421	389	386
事業費の小計		491	482	579	485	482

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	地域社会全体で学校安全に取り組むためには、スクールガード・リーダーを市内に配置し、学校の安全体制に対する指導・助言や各校のスクールガードの活動への支援が必要である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	学校の求めに応じた期日や時間で活動を進めている
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	全ての小学校に在籍する児童と教職員が対象である
②事業の有効性	7	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	学校と連携して事業を推進することで、事件・事故の未然防止につながっている
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	地域ぐるみで子どもたちの安全安心をめざした取り組みであり、このことは本事業以外にも存在していることから、事業統合等検討の余地はある
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	児童が安全安心な学校生活を送ることは、学校教育の充実の大前提である
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	全ての小学校において安全を支援する事業であり、一定の質や量を維持するには、市が取り組む必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	通学区の広域化が進む中、事業の見直しを図りながら学校安全のための支援を行っている
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	地域ぐるみで児童の安全安心をめざした取り組みを推進していくことは大切である
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　7×3　＋　8×3
総合評価点		７３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
通学区の広域化や各校のスクールガードの減少、高齢化が懸念されており、地域の安全体制の確認や見直しを行っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100103	06	教育指導課						
	スクールガード・リーダー配置事業			482	579	158	421	485	482

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 小学校通学補助事業

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100202－020100　　教育費・小学校費・教育振興費 小学校通学補助事業・小学校通学補助事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

スクールバスを運行していない地域の遠距離通学の児童の保護者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

スクールバスを運行していない地域の児童の通学に要する経費を補助し、通学上の安全確保及び義務教育の円滑化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小学校通学援助費】・・対象となる通学区域を定め、通学に係る経費の補助をする。
　路線バスの定期購入額について補助
　対象学校：朝倉小

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	路線バスの定期購入額について補助 対象学校：朝倉小　16人　413千円
令和 7年度（決算）	路線バスの定期購入額について補助 対象学校：朝倉小　15人　400千円
令和 8年度（計画）	・小学校通学補助事業 路線バスの定期購入額について補助 対象学校：朝倉小
令和 9年度（計画）	・小学校通学補助事業 路線バスの定期購入額について補助 対象学校：朝倉小

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	通学時の事故等件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	429	413	400	660	720
事業費の小計		429	413	400	660	720

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市児童生徒に対する通学費補助金交付要綱に制定している。 スクールバスが運行されていない地域の児童の通学の安全とその手段確保のため必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	遠距離から通学する児童のスクールバスでの登下校にかわる通学手段として交通機関の利用料金を補助する事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	スクールバスが運行されていない地域で、遠距離のため交通機関を利用して登下校をしている児童が対象である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	スクールバスが運行されていない地域の児童の通学手段が確保されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	児童の通学に要する経費への補助は、他の部局には存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	児童の通学手段確保のため、不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間の交通機関を活用しているが、本来、市が実施すべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	児童の登下校の通学手段確保のため、当事業を継続していく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	遠距離登下校における児童の通学手段について、本来、スクールバスを活用すべきところを民間交通機関を活用しているものであり、市の負担は適切である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　9×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
児童の登下校の通学手段確保において、事業効果は高い。 スクールバスが運行されていない地域の児童の安全な通学手段確保のため、今後も維持していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100202 02 学校教育課 小学校通学補助事業	413	400	0	400	660	720

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 小学校要保護及び準要保護就学援助費

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100202－040100　　教育費・小学校費・教育振興費 小学校要保護及び準要保護就学援助費・小学		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	―	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
家庭の経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者。
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
援助により教育の機会均等、義務教育の円滑な実施を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【小学校要保護及準要保護就学援助】・・学用品費、修学旅行費、給食費、医療費等、就学に要する費用を援助する。

④ 根 拠 法 令	学校教育法、学校給食法及び学校保健安全法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・要保護及び準要保護児童 173人（要保護 3人、準要保護 170人）　14,742千円 ・新入学学用品入学前支給児童 24人　1,369千円
令和 7年度（決算）	・要保護及び準要保護児童 153人（要保護 4人、準要保護 149人）　12,031千円 ・新入学学用品入学前支給児童 12人　685千円
令和 8年度（計画）	・経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費などの就学費用の一部を援助
令和 9年度（計画）	・経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費などの就学費用の一部を援助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	就学援助認定者数				
		単位	人	目標値	200	200	200	200	200
				実績値	199	197	165		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	43	18	15	48	48
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	15,645	16,093	12,701	9,592	9,592
事業費の小計		15,688	16,111	12,716	9,640	9,640

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100202	04	学校教育課						
	小学校要保護及び準要保護就学援助費			16,111	12,716	15	12,701	9,640	9,640

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 小学校特別支援教育就学奨励費

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100202－030100　　教育費・小学校費・教育振興費 小学校特別支援教育就学奨励費・小学校特別		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

特別支援学級に在籍する児童の保護者。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的な負担を軽減する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小学校特別支援教育就学奨励費】・・学用品費、校外活動費、給食費等、就学に要する費用を支援する。

④根拠法令	学校教育法、学校給食法	⑤関連計画	横手市教育ビジョン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・対象児童数 121人　　計 4,560千円
令和 7年度（決算）	・対象児童数 119人　　計 4,204千円
令和 8年度（計画）	・特別支援学級に在籍する児童の保護者で、希望する方に対し、学用品費などの就学費用の一部を支援
令和 9年度（計画）	・特別支援学級に在籍する児童の保護者で、希望する方に対し、学用品費などの就学費用の一部を支援

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	就学奨励費支給者数				
		単位	人	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	115	121	119		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,210	2,231	2,024	1,146	1,146
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,302	2,329	2,180	1,148	1,148
事業費の小計		4,512	4,560	4,204	2,294	2,294

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100202 03 学校教育課 小学校特別支援教育就学奨励費	4, 560	4, 204	2, 024	2, 180	2, 294	2, 294

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 中学校要保護及び準要保護就学援助費

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100302－030100　　教育費・中学校費・教育振興費 中学校要保護及び準要保護就学援助費・中学		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	―	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
家庭の経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者。
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
援助により教育の機会均等、義務教育の円滑な実施を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【中学校要保護及準要保護就学援助】・・学用品費、修学旅行費、給食費、医療費等、就学に要する費用を援助する。

④ 根拠法令	学校教育法、学校給食法及び学校保健安全法	⑤ 関連計画	横手市教育ビジョン
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・要保護及び準要保護生徒　114人（要保護 3人、準要保護 111人）　12,119千円 ・新入学学用品入学前支給生徒　31人　1,953千円
令和 7年度（決算）	・要保護及び準要保護生徒　109人（要保護 2人、準要保護 107人）　13,096千円 ・新入学学用品入学前支給生徒　35人　2,205千円
令和 8年度（計画）	・経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費などの就学費用の一部を援助
令和 9年度（計画）	・経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費などの就学費用の一部を援助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	就学援助認定者数				
		単位	人	目標値	120	120	120	120	120
				実績値	142	145	144		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	113	40	15	103	103
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,734	14,032	15,419	12,782	12,782
事業費の小計		12,847	14,072	15,434	12,885	12,885

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100302 03	学校教育課						
	中学校要保護及び準要保護就学援助費		14,072	15,434	15	15,419	12,885	12,885

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0026 中学校特別支援教育就学奨励費

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100302－020100　　教育費・中学校費・教育振興費 中学校特別支援教育就学奨励費・中学校特別		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

特別支援学級に在籍する生徒の保護者。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的な負担を軽減する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【 中学校特別支援教育就学奨励費】・・学用品費、校外活動費、給食費等、就学に要する費用を支援する。

④ 根 拠 法 令	学校教育法、学校給食法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・対象生徒数 66人　　計 3,585千円
令和 7年度（決算）	・対象生徒数 51人　　計 2,793千円
令和 8年度（計画）	・特別支援学級に在籍する生徒の保護者で、希望する方に対し、学用品費などの就学費用の一部を支援
令和 9年度（計画）	・特別支援学級に在籍する生徒の保護者で、希望する方に対し、学用品費などの就学費用の一部を支援

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	就学奨励費支給者数				
		単位	人	目標値	60	60	60	60	60
				実績値	49	66	51		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,166	1,661	1,291	1,409	1,409
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,446	2,147	1,573	1,506	1,506
事業費の小計		2,612	3,808	2,864	2,915	2,915

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100302	02	学校教育課 中学校特別支援教育就学奨励費	3,808	2,864	1,291	1,573	2,915	2,915

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0027 中学校指導要領改訂費

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100302－989800　　教育費・中学校費・教育振興費 中学校指導要領改訂費・中学校指導要領改訂		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
横手市立中学校の生徒、教諭
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
4年に一度の教科書改訂に伴い発行される教科書・指導書を使用し、実態に即したきめ細やかな指導を行う。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【中学校指導要領改訂経費】・４年に一度の教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導書等を購入し全校に整備する。・学校現場におけるデジタル教科書の活用度が高いため、主要５教科（国語・社会・数学・理科・英語）を整備し、学力向上に結び付ける。・特別支援学級については、個々の状況が違うことから、各中学校において対象生徒に適した教材を購入することにより指導を行う。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・「令和７年度使用　中学校教科用図書」採択事業実施予定
令和 7年度（決算）	・令和７年度（中学校）使用教科書教師用購入【全６校　各教科担当教諭分購入】 ・令和７年度（中学校）使用教科書指導書購入【朱書編、研究編、デジタル編（各校１セット）】 ・令和７年度（中学校）使用教科書指導者用デジタル教科書購入【R7国語（各校１セット）】
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	指導書の活用度				
		単位	%	目標値	－	－			
				実績値					
	2	区分	活動	指標	デジタル教科書の活用度				
		単位	%	目標値	－	－			
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	15,382	0	0
事業費の小計		0	0	15,382	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100302	98 教育指導課						
	中学校指導要領改訂費		0	15,382	0	15,382	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0032 幼児教育推進事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100102－110100　　教育費・教育総務費・事務局費 幼児教育推進事業・幼児教育推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	－	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内全保育所等就学前施設及び小学校

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

就学前施設における保育の質の向上及び幼児教育と学校教育の円滑な接続

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・幼児教育担当指導主事と教育・保育アドバイザーによる幼児教育施設訪問や研究会の開催を通して、指導・助言を実施する。

④根拠法令	教育基本法	⑤関連計画	・横手市子ども・子育て支援計画 ・横手市教育ビジョン
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・県補助事業「わか杉っ子！育ちと学び支援事業補助金」対象事業　2,523千円（事業費及び人件費含み1/2） ・教育・保育アドバイザーの配置、就学前施設と小学校との連携の充実と保育の質の向上に取り組んだ （教育保育ＡＤ２名　報酬3,518千円、期末手当719千円、勤勉手当603千円、通勤手当105千円） ・①研修会の開催（保育実践力向上研修会5/22,6/14,9/27,1/17 計115名参加、幼小合同研修会8/19 44名参加） ②幼小相互理解の取組を実施（横手市幼小接続推進協議会） ・「えのめんこ」600冊印刷　各幼児教育施設への配布、就学時健診時保護者への配付を実施
令和 7年度（決算）	・交付金「幼児教育推進体制等を活用した幼保小の架け橋プログラム促進事業」2,940千円（事業費・人件費対象1/2） ・教育・保育アドバイザー２名配置　報酬3,732千円、期末手当773千円、勤勉手当650千円、通勤手当105千円） ・①研修会の開催（保育実践力向上研修会5/26,7/11,1/16 計96名参加、幼小合同研修会8/19 48名参加） ②幼小相互理解の取組を実施（横手市幼小接続推進協議会） ・「えのめんこ」600部印刷　各幼児教育施設への配布、就学時健診時保護者への配付を実施
令和 8年度（計画）	・教育・保育アドバイザーの配置、幼児教育施設と小学校との連携の充実と保育の質の向上に向けた取組 ・①指導・助言体制の充実　②課題に応じた研修会の開催　③幼小相互理解の取組の実施 ・「えのめんこ」を印刷し、新小学一年生の保護者を中心に配付
令和 9年度（計画）	・教育・保育アドバイザーの配置、幼児教育施設と小学校との連携の充実と保育の質の向上に向けた取組 ・①指導・助言体制の充実　②課題に応じた研修会の開催　③幼小相互理解の取組の実施 ・「えのめんこ」を印刷し、新小学一年生の保護者を中心に配付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	教育・保育アドバイザー就学前施設園内研修支援				
		単位	回	目標値	45	45	45	45	45
				実績値	53	64	67		
	2	区分	活動	指標	保育実践力向上のための研修会				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	3	4	3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	2,940	3,089	3,089
	(b) 県支出金	2,019	2,523	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,992	2,514	2,436	2,294	2,294
事業費の小計		4,011	5,037	5,376	5,383	5,383

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	平成30年度で県委託事業は終了し、国補助を受け事業継続実施している
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市内すべての幼児教育施設と小学校が事業に取り組んでいる
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	幼児教育施設の職員と小学校の教職員を対象に事業を実施しており、小学校に入学するすべての子どもとその保護者に影響のある事業である
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	幼児教育施設と小学校双方での子どもの育ちと学びの理解が進んでいる
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	子育て支援課と連携しながら進める事業であり、協力しながらそれぞれの課が担っている業務を進めていく必要がある
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	幼児教育施設と小学校との連携強化と教育・保育の質の向上に貢献している
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	幼児教育と小学校教育との円滑な接続のため、市が実施すべき事業である
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業の進め方については関係機関と協議しながら改善していく必要がある
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	幼児教育の推進は他自治体に先駆けた取り組みである
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　9×3
総合評価点		８３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

幼児教育施設や小学校への訪問、研修の機会の充実、各小学校区連携委員会の開催等により、幼小連携の体制づくりが進んできた。
今後、架け橋期のプログラムの活用と改善により、さらなる幼小の円滑な接続に向けた取り組みを行っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	100102	11	教育指導課	幼児教育推進事業	5, 037	5, 376	2, 940	2, 436	5, 383	5, 383

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 スクールバス運行管理費

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100102－050100　教育費・教育総務費・事務局費 スクールバス運行管理費・小学校バス運行管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

児童生徒及び遠距離通学児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

登下校、各種大会参加等における児童生徒の安全対策を徹底する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小学校スクールバス運行管理費・中学校スクールバス運行管理費】
・原則小学校4キロ、中学校6キロ以上の遠距離通学児童生徒の通学手段の確保及び安全確保、さらに、市や体育連盟等主催大会への選手輸送。学校教育活動としての社会科見学等の特別活動に有効に活用する。
【スクールバス購入事業（建設）】・老朽化に伴うスクールバスの更新。

④根拠法令	へき地教育振興法	⑤関連計画	横手市教育ビジョン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①児童生徒の通学や横手市・教育委員会が主催する行事、社会科見学等の校外学習について、効率的な運行管理を行った ・小学校10校（通年運行9校、冬季運行1校）にて、スクールバス28台を運行 ・中学校 6校（通年運行5校、冬季運行1校）にて、スクールバス25台を運行（内2台レンタル） ②更新計画に基づきスクールバス2台を更新（大森小 中型バス）
令和 7年度（決算）	①児童生徒の通学や横手市・教育委員会が主催する行事、社会科見学等の校外学習について、効率的な運行管理を行った ・小学校10校（通年運行9校、冬季運行1校）にて、スクールバス28台を運行 ・中学校 6校（通年運行5校、冬季運行1校）にて、スクールバス24台を運行 ②更新計画に基づきスクールバス3台を更新 （十文字中　中型バス1台、マイクロバス（29人乗）1台、マイクロバス（25人乗）1台）
令和 8年度（計画）	・【小学校】通年運行９校、冬季運行１校、スクールバス２８台を運行 【中学校】通年運行５校、冬季運行１校、スクールバス２４台を運行 ・更新計画に基づくスクールバスの更新（中型バス１台、マイクロバス２台、ワンボックスカー１台）
令和 9年度（計画）	・【小学校】通年運行／９校、冬季運行／１校、スクールバス２８台を運行 【中学校】通年運行／５校、冬季運行／１校、スクールバス２４台を運行

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	安全運転による無事故・無違反				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	9	6	8		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	15,200	33,200	33,000	47,400	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	162,316	183,364	190,863	219,179	227,973
事業費の小計		177,516	216,564	223,863	266,579	227,973

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100102 05 学校教育課 小学校バス運行管理費	92,246	98,917	0	98,917	110,218	117,353
2	100102 05 学校教育課 中学校バス運行管理費	89,656	89,490	0	89,490	105,502	110,620
3	100102 05 学校教育課 スクールバス購入事業（建設）	34,662	35,456	33,000	2,456	50,859	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 小中学校ＩＴ環境管理経費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100102－090100　　教育費・教育総務費・事務局費 小中学校ＩＴ環境管理経費・小中学校ＩＴ環		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

学校職員及び児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

校務の情報化を推進することで、校務処理が効率化され、きめ細やかな指導が可能となり教育の質が向上される。
児童生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用できる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小中学校ＩＴ環境管理経費】学校教ネットワーク、公衆無線ＬＡＮ環境、職員用端末、ＰＣ教室、ＧＩＧＡ端末、統合型校務支援システム等の保守管理
【小中学校ＩＴ環境管理経費（債務負担）】教職員端末及び管理システムリース、ＳＩＮＥＴ接続運用経費

④ 根拠法令	教育基本法 学校教育法	⑤ 関連計画	教育ビジョン
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	学校ネットワーク及び教職員校務用ＰＣ、プリンター等の保守管理費用等 ・プリンター用保守・消耗品費　10,450千円 ・システム保守委託料等　　67,289千円 ・教職員・児童生徒用端末等リース料　32,310千円
令和 7年度（決算）	学校ネットワーク及び教職員校務用ＰＣ、プリンター等の保守管理費用等 ・プリンター用保守・消耗品費　11,010千円 ・システム保守委託料等　　67,142千円 ・教職員・児童生徒用端末等リース料　17,391千円 ・SINET接続負担金　2,869千円
令和 8年度（計画）	①小中学校ＩＴ環境管理事業（教職員用端末及びシステム、1人1台端末等の保守運用支援） ②公衆無線ＬＡＮ環境運用支援事業（校内無線LANの保守運用支援）
令和 9年度（計画）	①小中学校ＩＴ環境管理事業（教職員用端末及びシステム、1人1台端末等の保守運用支援） ②公衆無線ＬＡＮ環境運用支援事業（校内無線LANの保守運用支援）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	教職員校務用パソコンの設置台数				
		単位	台	目標値	575	575	575	575	575
				実績値	575	575	575		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	2,773	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	130,661	110,268	103,449	204,922	223,156
事業費の小計		130,661	113,041	103,449	204,922	223,156

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100102	09 教育総務課	79,058	83,190	0	83,190	101,109	103,071
	小中学校ＩＴ環境管理経費							
2	100102	09 教育総務課	33,983	20,259	0	20,259	103,813	120,085
	小中学校ＩＴ環境管理経費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 学校給食センター運営委員会費

部・担当課	教育指導部・学校給食課	担当課長氏名	高橋　秀明
予算科目事業	1 一般会計－100502－989800　　教育費・保健体育費・学校給食費 学校給食センター運営委員会費・学校給食		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	―	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

給食業務に関わる職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

給食業務が適切かつ円滑に、また安定的に運営、提供される体制が整えられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校給食センター運営委員会費】
・規則に基づいて運営委員会委員を委嘱。
・運営委員会を招集し、給食センターの運営について審議。

④ 根 拠 法 令	横手市学校給食センター設置条例	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・学校給食センター運営委員会費 運営委員９人、運営委員会２回開催（R6.8.20、R7.3.25）
令和 7年度（決算）	・学校給食センター運営委員会費 運営委員９人、運営委員会２回開催（R7.8.19、R8.3.18）
令和 8年度（計画）	学校給食事業－学校給食総務費へ統合
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	運営委員会の招集				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	36	48	36	0	0
事業費の小計		36	48	36	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100502	98 学校給食課						
	学校給食センター運営委員会費		48	36	0	36	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 学校給食事業

部・担当課	教育指導部・学校給食課	担当課長氏名	高橋　秀明
予算科目事業	1 一般会計－100502－020100　　教育費・保健体育費・学校給食費 学校給食事業・学校給食総務費		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校児童生徒及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供できるように衛生管理を徹底する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校給食総務費】徴収専門員による納付相談、家庭訪問徴収

【学校給食事業（給食センター３施設）】・横手市産を積極的に取り入れた給食提供に必要な食材購入、調理に係る経費の支出

・学校給食衛生管理基準による衛生管理の徹底及び秋田県版ＨＡＣＣＰの運用

【多子世帯学校給食費支援事業】一定の条件を満たした第３子以降の児童生徒の学校給食費の無償化及び横手市学校給食センターの給食を受けることができない一定の条件を満たした第３子以降の児童生徒へ給食費相当額の全額又は一部を補助金として支出

④ 根 拠 法 令	学校給食法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・学校給食総務費…滞納者自宅訪問・納付相談、督促状発送、栄養管理システム保守委託、腸内細菌等検査等実施 ・学校給食事業…児童生徒・教職員等へ給食を提供（小学校14校、中学校6校、給食センター 年間1,022,990食） ・多子世帯学校給食費支援事業…第3子以降の児童生徒の学校給食93食目以降の給食費無償化を実施（対象児童503名、対象生徒260名）、食物アレルギー等の理由により弁当を持参している第３子以降の児童生徒や、県立もしくは市外の小中学校へ就学している第３子以降の児童生徒へ学校給食93食目以降の給食費相当額の一部又は全部補助を実施（対象児童生徒16名（アレルギー等3名、区域外就学13名））
令和 7年度（決算）	①学校給食総務費…滞納者督促通知、自宅訪問等実施②学校給食事業…児童生徒・教職員等へ給食を提供（年間982,390食）、物価高騰に伴う給食費増額分に重点支援地方交付金を活用、平鹿・雄物川学校給食センター備品購入（真空冷却機、シューズ殺菌庫等）③多子世帯学校給食費支援事業…第3子以降の児童生徒の学校給食費を無償化（対象児童513名、生徒239名）、食物アレルギー等の理由により弁当を持参している第3子以降の児童生徒や、県立もしくは市外の小中学校へ就学している第3子以降の児童生徒へ給食費相当額の一部又は全部補助を実施（対象児童生徒19名（アレルギー等3名、区域外就学16名））
令和 8年度（計画）	①学校給食総務費（収納管理、納付相談等実施）②学校給食事業（徹底した衛生管理のもと横手市産食材を積極的に取入れ安全安心な給食を提供、調理機器修繕等実施、センター管理運営費）③学校給食費支援事業（一定の条件を満たした市立小中学校児童生徒の給食費無償化及び弁当持参者等への給食費相当額の一部又は全部補助を実施）
令和 9年度（計画）	①学校給食総務費（収納管理、納付相談等実施）②学校給食事業（徹底した衛生管理のもと横手市産食材を積極的に取入れ安全安心な給食を提供、調理機器修繕等実施、センター管理運営費）③学校給食費支援事業（一定の条件を満たした市立小中学校児童生徒の給食費無償化及び弁当持参者等への給食費相当額の一部又は全部補助を実施）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	学校給食費（現年分）収納率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	99.8	99.9	99.9		
	2	区分	活動	指標	学校給食費（滞納繰越分）収納率				
		単位	%	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	22.2	17.5	14.7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	20,062	0	28,910	120,000	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	55,800	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	314,041	304,503	271,908	51,833	51,772
	(f) 一般財源	100,728	131,181	169,500	332,471	443,735
事業費の小計		490,631	435,684	470,318	504,304	495,507

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	学校給食法に基づき実施している。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市内全域の市立小中学校へ給食を提供している。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市立小中学校の児童生徒の保護者及び職員が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	保護者の負担軽減とともに学校給食衛生管理基準及び秋田県版HACCPに基づき衛生管理を徹底し、学校給食摂取基準に沿った栄養バランス等が考慮された学校給食を提供している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	学校給食のように大量調理している類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手市教育ビジョンを推進するために必要な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	学校給食法に基づき実施しており、一部業務（調理及び配送）を民間委託している。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	調理業務や収納業務について現状把握と業務改善に努めている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	保護者負担としている学校給食費は食材料費のみであり、その他の経費は市が負担している。
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3	総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

学校給食摂取基準に沿った栄養バランス等が考慮された学校給食の提供、地場農産物活用による食育の推進及び保護者の負担軽減のため必要な事業であり、徹底した衛生管理のもと施設や調理器具等のメンテナンスを行いながら維持していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	100502 02 学校給食課 学校給食総務費	7,988	8,117	0	8,117	9,045	9,045
2	100502 02 横手学校給食センター 学校給食事業（横手学校給食センター）	272,125	288,829	200,890	87,939	313,961	324,628
3	100502 02 横手学校給食センター 学校給食事業（横手学校給食センター）（建設）	0	0	0	0	913	0
4	100502 02 平鹿学校給食センター 学校給食事業（平鹿学校給食センター）	78,988	79,485	51,802	27,683	89,240	82,421
5	100502 02 雄物川学校給食センター 学校給食事業（雄物川学校給食センター）	74,448	77,591	48,126	29,465	82,994	76,215
6	100502 02 雄物川学校給食センター 学校給食事業（雄物川学校給食センター）（建設）	0	3,090	0	3,090	4,953	0
7	100502 02 学校給食課 学校給食費支援事業	0	0	0	0	3,198	3,198
8	100502 02 平鹿学校給食センター 学校給食事業（平鹿学校給食センター）（建設）	0	12,000	0	12,000	0	0
9	100502 02 学校給食課 多子世帯学校給食費支援事業	2,135	1,206	0	1,206	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 学校給食調理等業務委託費

部・担当課	教育指導部・学校給食課	担当課長氏名	高橋　秀明
予算科目事業	1 一般会計－100502－030100　教育費・保健体育費・学校給食費 学校給食調理等業務委託費・学校給食調理		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校児童生徒及び教職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

民間のノウハウを活かした安全・安心な学校給食が児童生徒に安定的に提供されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【給食調理等業務委託】・・学校給食センター３施設の給食調理及び運搬業務を委託
・・一部の学校へ米飯を提供するため炊飯業務を委託（横手・平鹿学校給食センター）

④根拠法令	学校給食法	⑤関連計画	横手市教育ビジョン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手学校給食センターの調理業務、平鹿・雄物川学校給食センターの調理及び運搬業務委託 ・横手学校給食センターの運搬業務委託 ・横手及び平鹿学校給食センターから一部の学校（小学校５校、中学校３校）へ米飯を提供するための炊飯委託、弁当箱洗浄委託
令和 7年度（決算）	・横手学校給食センターの調理業務、平鹿・雄物川学校給食センターの調理及び運搬業務委託 ・横手学校給食センターの運搬業務委託 ・横手及び平鹿学校給食センターから一部の学校（小学校５校、中学校３校）へ米飯を提供するための炊飯委託、弁当箱洗浄委託
令和 8年度（計画）	・横手学校給食センターの調理業務、平鹿・雄物川学校給食センターの調理及び運搬業務の委託 ・横手学校給食センターの運搬業務の委託 ・一部の学校へ米飯を提供するための炊飯委託（横手・平鹿学校給食センター）
令和 9年度（計画）	・横手学校給食センターの調理業務、平鹿・雄物川学校給食センターの調理及び運搬業務の委託 ・横手学校給食センターの運搬業務の委託 ・一部の学校へ米飯を提供するための炊飯委託（横手・平鹿学校給食センター）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	委託業者による事故件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	230,654	234,289	237,940	288,029	310,932
事業費の小計		230,654	234,289	237,940	288,029	310,932

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　**（単位：千円）**

No	予算科目・大事業		担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100502	03	学校給食課 学校給食調理等業務委託（債務負担）	217,990	222,344	0	222,344	269,280	294,676
2	100502	03	横手学校給食センター 学校給食調理等業務委託費（横手学校給食センター）	7,632	6,546	0	6,546	8,882	7,822
3	100502	03	平鹿学校給食センター 学校給食調理等業務委託費（平鹿学校給食センター）	8,667	9,050	0	9,050	9,867	8,434

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0007 学校給食センター維持補修費

部・担当課	教育指導部・学校給食課			担当課長氏名	高橋　秀明		
予算科目事業	1 一般会計－100502－040100　教育費・保健体育費・学校給食費 学校給食センター維持補修費・学校給食セ						
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	―	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小・中学校児童生徒及び教職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

給食センターの施設及び設備について、維持及び衛生管理が適正に行われ、児童生徒に安全・安心な学校給食が安定的に提供されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【施設維持補修事業（給食センター３施設）】・・給食センター施設の点検・整備の実施。
学校給食衛生管理基準による衛生管理の徹底。
秋田県ＨＡＣＣＰ認証制度の運用。

④ 根 拠 法 令	学校給食法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・施設維持補修事業（横手・平鹿・雄物川学校給食センター） 各給食センターの施設・設備の維持管理に必要な点検整備及び保守委託等実施
令和 7年度（決算）	・施設維持補修費（横手・平鹿・雄物川学校給食センター） 各学校給食センターの施設・設備の維持管理に必要な点検整備及び保守委託等実施
令和 8年度（計画）	学校給食センター３施設の施設維持管理に必要な点検、清掃等の実施
令和 9年度（計画）	学校給食センター３施設の施設維持管理に必要な点検、清掃等の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	施設の不具合による給食停止日数				
		単位	日	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	10,333	10,752	13,109	17,358	12,656
事業費の小計		10,333	10,752	13,109	17,358	12,656

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100502	04 横手学校給食センター	4,633	5,680	0	5,680	10,705	6,200
	学校給食センター維持補修費（横手学校給食センター）							
2	100502	04 平鹿学校給食センター	3,608	5,033	0	5,033	4,309	4,126
	学校給食センター維持補修費（平鹿学校給食センター）							
3	100502	04 雄物川学校給食センター	2,511	2,396	0	2,396	2,344	2,330
	学校給食センター維持補修費（雄物川学校給食センター）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 小学校管理費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100201－020100　　教育費・小学校費・学校管理費 小学校管理費・学校管理費（小学校）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

小学校の児童

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

学校施設を適正に維持管理することで、児童が安全・安心な環境で充実した学校生活が送れている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校管理費】（市立小学校：14校）
・会計年度任用職員の雇用・配置に必要な報酬等の支出。
・学校施設の維持管理に必要な改修工事、小規模修繕、各種点検委託等の支出。

④ 根拠法令	教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、建築基準法、消防法、電気事業法	⑤ 関連計画	教育ビジョン
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出（37人）） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事、小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③各小学校（14校）の施設維持管理等に係る経費
令和 7年度（決算）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出（４０人）） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事、小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③各小学校（１４校）の維持管理等に係る経費、除雪機購入経費
令和 8年度（計画）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事、小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③各小学校（１４校）の施設維持管理等に係る経費
令和 9年度（計画）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事、小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③各小学校（１４校）の施設維持管理等に係る経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	洋式トイレ数割合50%以上の学校数				
		単位	校	目標値	14	14	14	14	14
				実績値	14	14	14		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	500	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	38,741	0
	(f) 一般財源	265,547	315,432	344,544	339,185	269,099
事業費の小計		265,547	315,932	344,544	377,926	269,099

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100201	02 教育総務課	255,494	271,452	0	271,452	283,223	232,626
	学校管理費（小学校）							
2	100201	02 教育総務課	26,326	38,316	0	38,316	58,212	0
	学校管理費（小学校）（建設）							
3	100201	02 横手南小学校	3,775	3,838	0	3,838	4,104	4,104
	学校管理費（横手南小学校）							
4	100201	02 朝倉小学校	3,559	3,160	0	3,160	3,617	3,645
	学校管理費（朝倉小学校）							
5	100201	02 旭小学校	2,522	2,654	0	2,654	2,701	2,701
	学校管理費（旭小学校）							
6	100201	02 栄小学校	2,192	2,206	0	2,206	2,268	2,268
	学校管理費（栄小学校）							
7	100201	02 横手北小学校	2,627	2,741	0	2,741	2,701	2,701
	学校管理費（横手北小学校）							
8	100201	02 増田小学校	2,477	2,574	0	2,574	2,801	2,801
	学校管理費（増田小学校）							
9	100201	02 浅舞小学校	1,426	1,414	0	1,414	1,485	1,485
	学校管理費（浅舞小学校）							
10	100201	02 吉田小学校	1,931	2,128	0	2,128	2,149	2,151
	学校管理費（吉田小学校）							
11	100201	02 醍醐小学校	1,977	2,096	0	2,096	2,130	2,130
	学校管理費（醍醐小学校）							
12	100201	02 雄物川小学校	2,212	2,310	0	2,310	2,341	2,341
	学校管理費（雄物川小学校）							
13	100201	02 大森小学校	2,024	1,935	0	1,935	2,213	2,213
	学校管理費（大森小学校）							
14	100201	02 十文字小学校	3,449	3,535	0	3,535	3,642	3,642
	学校管理費（十文字小学校）							
15	100201	02 山内小学校	2,179	2,203	0	2,203	2,177	2,177
	学校管理費（山内小学校）							
16	100201	02 大雄小学校	1,762	1,982	0	1,982	2,162	2,114
	学校管理費（大雄小学校）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 小学校教育振興総務費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100202－011500　　教育費・小学校費・教育振興費 小学校教育振興費・教育振興総務費（小学校		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

小学生

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

学校の理科算数教材備品を整備し、教育環境を整えます。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【教育振興総務費】児童の意欲・関心を高める授業を行うための理科算数教材備品を、補助金を活用して購入します。

④ 根 拠 法 令	理科教育振興法	⑤ 関 連 計 画	教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・備品購入費（理科算数教材費補助対象　1,699千円、大判プリンター　223千円、スピーカーフォン190千円）
令和 7年度（決算）	・備品購入費　2,125千円（理科算数教材費補助対象1,908千円、大判プリンター217千円）
令和 8年度（計画）	理科算数教材の備品購入費
令和 9年度（計画）	理科算数教材の備品購入費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	理科教材保有総数の基準数量を満たす学校数				
		単位	校	目標値	14	14	14	14	14
				実績値	9	9	10		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	784	799	817	875	875
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,348	1,313	1,308	1,295	1,327
事業費の小計		2,132	2,112	2,125	2,170	2,202

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	100202 01 教育総務課 教育振興総務費（小学校）	2,112	2,125	817	1,308	2,170	2,202

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 小学校各種大会派遣事業

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100202－050100　教育費・小学校費・教育振興費 小学校各種大会派遣事業・小学校各種大会派		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

児童及び保護者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

児童の心身の成長と保護者の経費負担の軽減を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小学校各種大会派遣事業】
・教育の一環として児童を各種大会に参加させ、交通費や宿泊費などの経費を補助金交付要綱により補助する。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市教育ビジョン
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・小学校各種大会派遣事業 小学校の体育連盟や吹奏楽連盟が主催する大会への出場児童に要する参加料等について補助 補助実績　４１件　９６７千円（うち上位大会(東北大会以上)補助実績　４件　５１５千円）
令和 7年度（決算）	・小学校各種大会派遣事業 小学校の体育連盟や吹奏楽連盟が主催する大会への出場児童に要する参加料等について補助 補助実績　４４件　９８８千円（うち上位大会(東北大会以上)補助実績　８件　５７３千円）
令和 8年度（計画）	・小学校各種大会派遣事業 小学校の体育連盟等が主催する大会や発表会等への出場児童に要する交通費、宿泊料及び参加料について補助
令和 9年度（計画）	・小学校各種大会派遣事業 小学校の体育連盟等が主催する大会や発表会等への出場児童に要する交通費、宿泊料及び参加料について補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	多くの大会へ派遣できるよう保護者の費用負担軽減を図る。				
		単位	件	目標値	62	62	62	62	62
				実績値	46	41	44		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,915	1,029	1,091	1,660	1,995
事業費の小計		1,915	1,029	1,091	1,660	1,995

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	横手市補助金交付要綱に基づき実施している。児童を対外的な大会等に参加させる教育課外活動の一環として、保護者の負担軽減の点からも必要な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	大会派遣経費の一部補助により、各種大会への円滑な参加が可能になる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	学校教育の一環として大会に参加する児童及び引率教員を対象として、横手市補助金交付要綱に基づきその派遣経費を学校へ補助するもの。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	保護者の負担軽減が図られるとともに、義務教育の円滑な推進が図られている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	学校教育の一環とした大会への派遣費補助は、他の部局に存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	学校教育を円滑に実施するうえで、不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	学校教育充実のために、市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	最も経済的な経路や方法による大会参加となるよう、経費削減を図りながら事業を継続する。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	児童が各種大会へ参加しやすい体制を維持するための派遣費等参加経費の一部補助であり、サービス水準は適切である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　8×3
総合評価点		７５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

各種大会において、参加経費を補助することにより、保護者負担の軽減と学校教育の円滑な実施に貢献することができる。
最も経済的な経路や方法による大会参加となるように、経費削減を図りながら事業を継続して実施することが望ましい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 財源内訳 特定財源	令和 7年度(決算) 財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	100202 05 小学校各種大会派遣事業	学校教育課	1,029	1,091	0	1,091	1,660	1,995

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 小学校教育振興費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100202－010100　　教育費・小学校費・教育振興費 小学校教育振興費・教育振興費（横手南小学		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立小学校児童

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

知識・技能の確実な習得及び思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、自ら学び続ける人材になる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【教育振興費】（市立小学校：14校）

・学校現場において、授業や学校行事などの授業以外で行われる様々な活動を行う際に必要な教材や備品を購入することにより、充実した学校教育を推進する。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等　16,107千円（14校分）
令和 7年度（決算）	・学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等　14,750千円（14校分）
令和 8年度（計画）	学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等
令和 9年度（計画）	学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	県学習状況調査（横手市）において、小学校6年の「勉強が好きだ」の平均通過率				
		単位	%	目標値	78	78	78	78	78
				実績値	63.2	67	不実施		
	2	区分	成果	指標	県学習状況調査（横手市）において、小学校6年の「学校が楽しい」の平均通過率				
		単位	%	目標値	96	96	96	96	96
				実績値	93	92.6	不実施		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	16,165	16,107	14,750	14,946	14,992
事業費の小計		16,165	16,107	14,750	14,946	14,992

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100202 01 横手南小学校 教育振興費（横手南小学校）		1,848	1,743	0	1,743	1,746	1,746
2	100202 01 朝倉小学校 教育振興費（朝倉小学校）		844	851	0	851	853	853
3	100202 01 旭小学校 教育振興費（旭小学校）		1,270	1,275	0	1,275	1,287	1,287
4	100202 01 栄小学校 教育振興費（栄小学校）		561	569	0	569	600	600
5	100202 01 横手北小学校 教育振興費（横手北小学校）		1,483	1,498	0	1,498	1,440	1,440
6	100202 01 増田小学校 教育振興費（増田小学校）		1,103	1,098	0	1,098	1,153	1,153
7	100202 01 浅舞小学校 教育振興費（浅舞小学校）		1,344	1,052	0	1,052	1,058	1,058
8	100202 01 吉田小学校 教育振興費（吉田小学校）		646	619	0	619	659	657
9	100202 01 醍醐小学校 教育振興費（醍醐小学校）		788	788	0	788	799	799
10	100202 01 雄物川小学校 教育振興費（雄物川小学校）		991	1,024	0	1,024	1,046	1,046
11	100202 01 大森小学校 教育振興費（大森小学校）		1,926	890	0	890	931	931
12	100202 01 十文字小学校 教育振興費（十文字小学校）		1,808	1,836	0	1,836	1,837	1,837
13	100202 01 山内小学校 教育振興費（山内小学校）		737	742	0	742	763	763
14	100202 01 大雄小学校 教育振興費（大雄小学校）		758	765	0	765	774	822

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 中学校各種大会派遣事業

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100302－040100　教育費・中学校費・教育振興費 中学校各種大会派遣事業・中学校各種大会派		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
生徒及び保護者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
生徒の心身の成長と保護者の経費負担の軽減を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【中学校各種大会派遣事業】 ・教育の一環として生徒を各種大会に参加させ、交通費や宿泊費などの経費を補助金交付要綱により補助する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・中学校各種大会派遣事業 中学校の体育連盟等が主催する大会や発表会等への出場生徒に要する交通費、宿泊費及び参加料について補助 補助実績　２５０件　１１，３２３千円（うち東北・全国等上位大会補助実績　２２件　４，２６２千円）
令和 7年度（決算）	・中学校各種大会派遣事業 中学校の体育連盟等が主催する大会や発表会等への出場生徒に要する交通費、宿泊費及び参加料について補助 補助実績　２５６件　１５，４２１千円（うち東北・全国等上位大会補助実績　２１件　９，７０８千円）
令和 8年度（計画）	・中学校各種大会派遣事業 中学校の体育連盟等が主催する大会や発表会等への出場生徒に要する交通費、宿泊費及び参加料について補助
令和 9年度（計画）	・中学校各種大会派遣事業 中学校の体育連盟等が主催する大会や発表会等への出場生徒に要する交通費、宿泊費及び参加料について補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	多くの大会へ派遣できるよう保護者の費用負担軽減を図る。				
		単位	件	目標値	270	270	270	270	270
				実績値	253	248	256		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,609	12,162	16,141	17,110	17,280
事業費の小計		12,609	12,162	16,141	17,110	17,280

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	横手市補助金交付要綱に基づき実施している。生徒を対外的な大会等に参加させる教育課外活動の一環として、また、そのための保護者の負担軽減の点からも必要な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	派遣経費の一部補助により、各種大会への円滑な参加が可能になる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	学校教育の一環として大会に参加する生徒及び引率指導者を対象として、横手市補助金交付要綱に基づきその派遣経費を学校へ補助するもの。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	保護者の負担軽減が図られるとともに、義務教育の円滑な推進が図られている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	学校教育を一環とした大会への派遣費補助は、他の部局に存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	学校教育を円滑に実施するうえで、不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	学校教育の充実のために、市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	最も経済的な経路や方法による大会参加となるよう、経費削減を図りながら事業を継続する。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	生徒が各種大会へ参加しやすい体制を維持するための派遣費等参加経費であり、水準は適切である。
項目点合計	２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

各種大会において、参加経費を補助することにより、保護者負担の軽減と学校教育の円滑な実施に貢献することができる。
最も経済的な経路や方法による大会参加となるように、経費削減を図りながら事業を継続して実施することが望ましい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100302	04	学校教育課 中学校各種大会派遣事業	12,162	16,141	0	16,141	17,110	17,280

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0016 学校施設災害復旧事業

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－110301－010100　　災害復旧費・文教施設災害復旧費・学校施設災害復旧費 学校施設災害復旧事		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

小中学校の児童生徒、教職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

安全・安心な環境で児童生徒が教育を受けられ、教職員も校務や指導ができています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校施設災害復旧事業】・・・災害による学校施設破損時等の建物修繕等に係る費用の支出。

④ 根 拠 法 令	公立学校施設災害復旧費国庫負担法	⑤ 関 連 計 画	防災計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・予算執行無し
令和 7年度（決算）	・予算執行無し
令和 8年度（計画）	学校施設災害復旧事業（災害による学校施設破損時等の建物修繕等に係る費用の支出）が発生した場合、必要経費（国庫負担対応経費）を計上する。
令和 9年度（計画）	学校施設災害復旧事業（災害による学校施設破損時等の建物修繕等に係る費用の支出）が発生した場合、必要経費（国庫負担対応経費）を計上する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	－	指標	—（存置科目のため）				
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	1	1
事業費の小計		0	0	0	1	1

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	110301 01 教育総務課 現年発生学校施設災害復旧事業	0	0	0	0	1	1

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 中学校管理費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100301－020100　　教育費・中学校費・学校管理費 中学校管理費・学校管理費（中学校）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

中学校の生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

学校施設を適正に維持管理することで、生徒が安全・安心な環境で充実した学校生活が送れている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校管理費】【学校管理費（普通建設）】【学校管理費（債務負担）】（市立中学校：6校）
・会計年度任用職員の雇用・配置に必要な報酬等の支出。
・学校施設の維持管理に必要な改修工事や小規模修繕、各種点検委託等の支出。

④根拠法令	教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、建築基準法、消防法	⑤関連計画	教育ビジョン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出(18人)） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事や小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③各中学校（6校）の施設維持管理等に係る経費
令和 7年度（決算）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出（１５人）） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事や小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③各中学校（６校）の施設維持管理等に係る経費
令和 8年度（計画）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事や小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③市立中学校（６校）の施設維持管理等に係る経費
令和 9年度（計画）	①会計年度任用職員配置事業（雇用・配置に必要な報酬等の支出） ②学校施設維持管理事業（学校施設の維持管理に必要な改修工事や小規模修繕、各種点検委託等の支出） ③市立中学校（６校）の施設維持管理等に係る経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	洋式トイレ数割合５０％以上の学校数				
		単位	校	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	6	6	6		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	34,800	28,200	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	315	290	243	360	300
	(f) 一般財源	170,636	184,322	166,751	185,713	170,680
事業費の小計		205,751	212,812	166,994	186,073	170,980

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100301	02 教育総務課	145,987	141,390	243	141,147	152,282	149,303
	学校管理費（中学校）							
2	100301	02 教育総務課	47,033	4,852	0	4,852	12,114	0
	学校管理費（中学校）（建設）							
3	100301	02 横手南中学校	4,292	4,743	0	4,743	4,648	4,648
	学校管理費（横手南中学校）							
4	100301	02 横手北中学校	2,987	2,962	0	2,962	3,129	3,129
	学校管理費（横手北中学校）							
5	100301	02 増田中学校	2,396	2,705	0	2,705	2,767	2,767
	学校管理費（増田中学校）							
6	100301	02 平鹿中学校	3,299	3,314	0	3,314	3,454	3,454
	学校管理費（平鹿中学校）							
7	100301	02 横手明峰中学校	3,744	3,860	0	3,860	4,036	4,036
	学校管理費（横手明峰中学校）							
8	100301	02 十文字中学校	3,074	3,168	0	3,168	3,643	3,643
	学校管理費（十文字中学校）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 中学校教育振興費

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100302－010100　　教育費・中学校費・教育振興費 中学校教育振興費・教育振興費（横手南中学		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立中学校生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

知識・技能の確実な習得及び思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、自ら学び続ける人材になる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【教育振興費】（市立中学校：6校）

・学校現場において、授業や学校行事などの授業以外で行われる様々な活動を行う際に必要な教材や備品を購入することにより、充実した学校教育を推進する。

④ 根 拠 法 令	学校教育法	⑤ 関 連 計 画	教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等 10,388千円（6校分）
令和 7年度（決算）	・学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等 10,118千円（6校分）
令和 8年度（計画）	・学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等
令和 9年度（計画）	・学校教育及び学校行事に必要となる教材備品の調達等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	県学習状況調査（横手市）において、中学校2年の「勉強が好きだ」の平均通過率				
		単位	%	目標値	56	56	56	56	56
				実績値	54	47.5	43.4		
	2	区分	成果	指標	県学習状況調査（横手市）において、中学校2年の「学校が楽しい」の平均通過率				
		単位	%	目標値	95	95	95	95	95
				実績値	95	95.8	92.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	543	518	495	570	570
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,132	11,167	10,778	11,115	11,132
事業費の小計		12,675	11,685	11,273	11,685	11,702

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100302	01 横手南中学校	2,173	2,330	0	2,330	2,242	2,242
	教育振興費（横手南中学校）							
2	100302	01 横手北中学校	1,766	1,729	0	1,729	1,785	1,785
	教育振興費（横手北中学校）							
3	100302	01 増田中学校	1,530	1,540	0	1,540	1,607	1,607
	教育振興費（増田中学校）							
4	100302	01 平鹿中学校	1,801	1,521	0	1,521	1,478	1,478
	教育振興費（平鹿中学校）							
5	100302	01 横手明峰中学校	1,728	1,568	0	1,568	1,755	1,755
	教育振興費（横手明峰中学校）							
6	100302	01 十文字中学校	1,390	1,430	0	1,430	1,468	1,468
	教育振興費（十文字中学校）							
7	100302	01 教育総務課	1,297	1,155	495	660	1,350	1,367
	教育振興総務費（中学校）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0023 小学校長寿命化対策事業

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100201－040100　　教育費・小学校費・学校管理費 小学校長寿命化対策事業・小学校長寿命化対		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

小学校の生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

学校施設の維持補修や設備等を計画的に整備することで施設環境の充実が図られ、生徒が安全・安心な環境で教育を受けられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小学校長寿命化対策（大規模改修）事業】
小学校施設における不具合箇所の改善や教育環境の質的向上を図り、施設を長く使い続けるための長寿命化改修工事及び大規模改修工事に係る費用の支出。

④ 根拠法令	教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、建築基準法、消防法、電気事業法	⑤ 関連計画	教育ビジョン、学校施設長寿命化改善計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 8年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	朝倉小学校大規模改修工事（Ⅱ期工事）（設計監理） 醍醐小学校大規模改修工事（Ⅰ期工事）（設計監理） 吉田小学校大規模改修工事（実施設計）
令和 7年度（決算）	醍醐小学校大規模改修工事（Ⅱ期工事）（設計監理） 吉田小学校大規模改修工事（設計監理）
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	長寿命化改修（大規模改修）実施予定学校数				
		単位		目標値	1	2	2	1	
				実績値	1	2	2		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	9,800	21,200	300,300	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,178	1,343	23,008	0	0
事業費の小計		10,978	22,543	323,308	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	醍醐小学校長寿命化対策事業は学校施設の長寿命化に向けた工事であり、安全で安心して学べる教育環境整備のため、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	学校の長寿命化を図ることで学校の児童生徒やその地域住民に対し、将来にわたり公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	学校の児童生徒やその地域住民が、将来にわたりサービスの対象となるものです。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	醍醐小学校長寿命化対策事業は、令和6年度からの2ヶ年工事で目標を達成している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	教育委員会で行う事業であり、他の部局において類似の事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	長寿命化の達成に向けての大規模改修工事であり、安全で安心して学べる教育環境の整備のため、必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	教育委員会が行うべき事業であり、民間に事業委託することができない業務である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	学校の老朽化に対応して、補助金や有意な起債を活用して実施するもので、現状での改善の必要はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	学校の老朽化に対応して行う事業であり、一定の基準のもとに行うため、適切な執行と考えられる。
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　７８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

現在進行中の吉田小学校長寿命化対策事業もって、一旦、事業は終了となる。
今後は、各校の老朽化具合を観察し、通常の修繕では維持管理できない状況になる前に、再事業化を進める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	100201 04	教育総務課	小学校長寿命化対策事業（吉田小学校）（建設）	10,670	0	0	0	0	0
2	100201 98	教育総務課	小学校長寿命化対策事業（醍醐小学校）（建設）	11,873	323,308	300,300	23,008	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0031 小中学校環境整備事業

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100102－100100　　教育費・教育総務費・事務局費 小中学校環境整備事業・小中学校照明ＬＥＤ		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

小中学校の児童生徒

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

学校施設の設備等を計画的に整備し学校環境の質的向上を図ることで、児童生徒が安全・安心な環境で教育を受けられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【小中学校ＩＣＴ環境整備事業（建設）】…大型提示装置・授業用マイクスピーカーフォン・GIGAスクール学習用端末整備
【小中学校照明ＬＥＤ化事業（建設）】…小中学校体育館照明LED化工事（5校）

④根拠法令	教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、建築基準法、消防法、電気事業法	⑤関連計画	教育ビジョン
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・小中学校体育館照明LED化工事 ・大型提示装置購入、ＳＩＮＥＴ接続（個別調達分）、学校プリンター更新
令和 7年度（決算）	・小中学校体育館照明LED化工事（栄小、山内小、大雄小、横手北中、横手明峰中） ・大型提示装置・授業用マイクスピーカーフォン・GIGAスクール学習用端末整備
令和 8年度（計画）	・小中学校校舎照明LED化工事
令和 9年度（計画）	・小中学校校舎照明LED化工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	－	指標	LED化実施予定学校数				
		単位	校	目標値	4	2	5		
				実績値	4	2	5		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	9,741	0	0	93,320
	(b) 県支出金	0	5,000	182,026	0	0
	(c) 地方債	54,100	23,600	106,800	253,300	293,400
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	28,147	0
	(f) 一般財源	6,072	8,587	116,962	0	32,635
事業費の小計		60,172	46,928	405,788	281,447	419,355

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	小中学校の照明LED化に向けた工事及びICT環境整備の事業であり、安全で安心して学べる教育環境の整備のため、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	学校の教育環境を整備することで学校の児童生徒やその地域住民に対して、将来にわたり公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	学校の児童生徒やその地域住民が、将来にわたりサービスの対象となるものである。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	小中学校の体育館照明をLED化する工事及びICT環境整備であり、目標達成に向けて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	教育委員会で行う事業であり、他の部局において類似の事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	小中学校の照明LED化の達成に向けて行う工事及びICT環境整備であり、安全で安心して学べる教育環境の整備のため、必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	教育委員会が主体的に取り組む必要性が高い事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	学校の環境整備に対応して事業内容を改善しながら実施しており、現状でこれ以上の改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	学校の環境整備に対応して行う事業であり、サービス水準は適切である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　７８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

安全で安心して学べる教育環境の整備のため、今後も継続した実施が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100102	10 教育総務課	24,774	89,583	85,100	4,483	281,447	419,355
	小中学校照明ＬＥＤ化事業（建設）							
2	100102	10 教育総務課	22,154	316,205	203,726	112,479	0	0
	小中学校ＩＣＴ環境整備事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0032 水と緑の森づくり税関係補助事業

部・担当課	教育総務部・教育総務課	担当課長氏名	木村　智子
予算科目事業	1 一般会計－100201－030100　　教育費・小学校費・学校管理費 水と緑の森づくり税関係補助事業・水と緑の		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内の児童

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

裏山の森林整備を行うことで、児童が安全・安心な環境で自然を活用した授業・自然体験を行えている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・低木類の伐採及び刈り払い作業にかかる費用の支出。
・自然体験に必要な軍手等消耗部材の調達。

④ 根 拠 法 令	秋田県水と緑の森づくり税条例	⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	旭小学校裏山整備事業（低木伐採業務委託）
令和 8年度（計画）	旭小学校裏山整備事業
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	森林整備の実施件数				
		単位	件	目標値			1	1	
				実績値			1		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	500	500	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	5	0
事業費の小計		0	0	500	505	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	学校の裏山の森林整備を行うことで、児童生徒が安全・安心な教育環境のもと、自然を活用した授業や自然体験ができることから、今後も継続して実施していく必要がある。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	学校の児童生徒やその地域住民に対して、将来にわたり公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	学校の児童生徒やその地域住民に対して、将来にわたりサービスの対象となるものである。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	森林環境学習活動や木育活動を通して、自然と関わりながら生きることの意味を学びながら、目標達成に向けて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	教育委員会で行う事業であり、他の部局において類似の事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	森林環境学習活動や木育活動をより効果的に遂行するために、実施を継続することが望ましい。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	教育委員会が主体的に取り組む必要性が高い事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	毎年、事業内容を改善しながら実施しており、現状でこれ以上の改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	事業内容は必要かつ妥当なものであり、適切なサービス水準を保っている。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

森林環境学習活動や木育活動を通して森林のもつ様々な公益的機能や森林環境に関する正しい知識の理解のために、今後も継続する必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100201	03 教育総務課						
	水と緑の森づくり税関係補助事業（建設）		0	500	500	0	505	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 スポーツ振興総務費

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－020100　　教育費・保健体育費・スポーツ振興費　スポーツ振興総務費・スポーツ振興総		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市の体育・スポーツの振興に著しく貢献した市民、団体を表彰する。
スポーツ基本法第31条及び第32条に基づき、横手市スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会を設置する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【スポーツ振興総務費】一般事務費、横手市スポーツ賞表彰【スポーツ振興総務費（雄物川・十文字・山内・大雄）】スポーツ奨励員に関する経費【スポーツ推進審議会】スポーツの推進に関する計画、その他重要事項を調査、審議、建議する【スポーツ普及事業】スポーツ推進委員及びスポーツ奨励員と連携したスポーツの普及

④根拠法令	スポーツ基本法	⑤関連計画	横手市スポーツ推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市スポーツ賞表彰授与式　84名受賞(功労賞2名、競技優秀者賞22名、栄光賞57名、奨励賞3名) ・スポーツ競技大会出場補助金　80件　4,321千円 ・一般財団法人横手市スポーツ協会事業補助金　2,716千円（スポーツ少年団、競技団体への活動支援等） ・スポーツ推進審議会（3/10開催） ・スポーツ推進委員及びスポーツ奨励員と連携したスポーツの普及
令和 7年度（決算）	・横手市スポーツ賞表彰授与式　132名受賞(2/23開催　特別表彰1名、功労賞3名、優秀指導者賞3名、競技優秀者賞52名、栄光賞69名、奨励賞4名) ・スポーツ推進審議会の開催（10/20、3/23開催、第８次スポーツ推進計画の策定と第７次計画の進行管理） ・スポーツ推進委員の活動や人材育成及びスポーツ奨励員と連携したスポーツの普及 ※令和７年度から「スポーツ競技大会出場補助金」と「横手市スポーツ協会事業補助金」は競技スポーツパワーアップ事業に統合
令和 8年度（計画）	・スポーツ推進委員の活動や人材育成及びスポーツ奨励員と連携した地域スポーツの普及 ・スポーツ推進審議会の開催 ※令和８年度から「横手市スポーツ賞表彰授与式」は競技スポーツパワーアップ事業に統合
令和 9年度（計画）	・スポーツ推進委員の活動や人材育成及びスポーツ奨励員と連携した地域スポーツの普及 ・スポーツ推進審議会の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手市スポーツ賞受賞者数				
		単位	人	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	86	84	132		
	2	区分	活動	指標	横手市スポーツ推進審議会開催回数				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	2		
	3	区分	活動	指標	横手市スポーツ交流大会開催回数				
		単位	回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	3	4	4		

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,941	10,955	5,018	4,307	4,307
事業費の小計		12,941	10,955	5,018	4,307	4,307

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	100501 02 スポーツ振興課 スポーツ振興総務費	7,835	1,804	0	1,804	3,929	3,929
2	100501 02 雄物川地域課 スポーツ振興総務費（雄物川地域）	42	42	0	42	42	42
3	100501 02 十文字地域課 スポーツ振興総務費（十文字地域）	84	84	0	84	84	84
4	100501 02 山内地域課 スポーツ振興総務費（山内地域）	42	42	0	42	48	48
5	100501 02 大雄地域課 スポーツ振興総務費（大雄地域）	144	144	0	144	144	144
6	100501 02 スポーツ振興課 スポーツ推進審議会費	18	36	0	36	60	60
7	100501 02 スポーツ振興課 スポーツ普及事業	2,790	2,866	0	2,866	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 市民スポーツ振興事業

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－030100　教育費・保健体育費・スポーツ振興費　市民スポーツ振興事業・市民スポーツ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツの活性化を目的としたイベント支援、市民の健康づくりや地域の活性化を目指す

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市民スポーツ振興事業（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・山内・大雄）】
・生涯スポーツの振興や地域活性化を目的としたスポーツイベント等の開催

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市スポーツ推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市民スポーツフェスティバル（委託料574千円、参加者延べ1,679名） ・第9回よこてシティハーフマラソン（補助金5,418千円、9/29開催、エントリー1,650名、完走者1,477名） ・市民スポーツ振興事業（各地域 32事業）
令和 7年度（決算）	・第10回よこてシティハーフマラソン（9/28開催 補助金5,455千円 エントリー1,660名 完走者1,477名） ・市民を対象とした各地域のスポーツイベント等の開催（計49事業） ①横手市スポーツ協会と連携した市民スポーツフェスティバルの開催（委託料475千円 14事業 1,674名参加） ②大森スポーツクラブさくらと連携したスポーツフェスティバルの開催（委託料578千円 6事業 3,212名参加） ③その他各地域のスポーツイベント等の開催（29事業）
令和 8年度（計画）	・よこてシティハーフマラソンの開催 ・横手市スポーツ協会と連携した市民スポーツフェスティバル等の開催 ・市民を対象とした各地域のスポーツイベント等の開催
令和 9年度（計画）	・よこてシティハーフマラソンの開催 ・横手市スポーツ協会と連携した市民スポーツフェスティバル等の開催 ・市民を対象とした各地域のスポーツイベント等の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	市民スポーツ大会開催件数				
		単位	件	目標値	35	35	35	35	35
				実績値	43	47	49		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,220	7,583	7,621	8,315	8,411
事業費の小計		8,220	7,583	7,621	8,315	8,411

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地域におけるスポーツイベントは目標値を上回って開催されている。市民参加型の取り組みは、スポーツ振興にとって柱となる施策であり、今後も継続した実施が必要である。よこてシティハーフマラソンは市の重要イベントであり、3点の評価とした。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	市民参加型のスポーツイベントについて、目標を上回る成果が上がっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	元気なまちを築く生涯スポーツ推進のため、不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	横手市立体育館におけるサービスが展開されることとなるが、市民全体を対象としたサービスについては、市が中心となって取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年度、事業内容を見直し・改善しているが、効果的な予算執行にあたりまだ改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市が進めるスポーツ振興事業であることを鑑み、現在のサービス水準としては適正の範囲であるが、物価高騰や高まる安全対策の対応を含め、参加費の見直しなどを行う。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　10×3　＋　8×3	総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市民のスポーツ活動の振興は、健康づくりや生きがいづくりなどにつながることから継続した取り組みが必要である。運営や受益者負担の見直しも進め、コスト投入の方向性を維持しつつ活動の拡大を目指すが、多様な実施主体による事業展開が必要であり、高い成果を上げている現状を考慮して、活動の方向性も「維持」とした。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100501	03 スポーツ振興課	6,052	6,089	0	6,089	6,448	6,448
	市民スポーツ振興事業							
2	100501	03 増田地域課	98	115	0	115	100	155
	市民スポーツ振興事業（増田地域）							
3	100501	03 平鹿地域課	124	82	0	82	125	125
	市民スポーツ振興事業（平鹿地域）							
4	100501	03 雄物川地域課	219	238	0	238	247	239
	市民スポーツ振興事業（雄物川地域）							
5	100501	03 大森地域課	655	684	0	684	919	919
	市民スポーツ振興事業（大森地域）							
6	100501	03 山内地域課	9	10	0	10	34	34
	市民スポーツ振興事業（山内地域）							
7	100501	03 大雄地域課	426	403	0	403	442	491
	市民スポーツ振興事業（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 スポーツのまちづくり事業

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－040100　　教育費・保健体育費・スポーツ振興費　スポーツのまちづくり事業・スポーツ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・競技者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民の健康づくり、大会の誘致を通じて、交流機会の提供や交流人口の拡大を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

関係機関との連携や競技団体の協力により事業の運営を行う。地域のニーズや事業の検証を行いながら効果的にスポーツに親しむ機会の提供を目指している。【スポーツのまちづくり事業】市民参加型のスポーツ事業の実施。スポーツ大会等の誘致、開催支援。【スポーツ合宿誘致事業】大学、高校等の合宿事業を支援する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市スポーツ推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・ラジオ体操deチャレンジデー（11/1開催、参加者7,868人（107件）、最多人数賞など3部門で表彰） ・楽天野球塾（10/14開催、小学生92名参加、楽天球団より2名の講師を招いた野球教室） ・バドミントンクリニック（2/24開催、参加者71人、NTT東日本バドミントン部8名の講師を招いて開催） ・スポーツ合宿の受入（8/1～5 玉川大学女子バスケ部29名、8/1～11 神奈川大学硬式野球部40名、8/11～22 日本体育大学硬式野球部99名）
令和 7年度（決算）	・プロ野球イースタンリーグ（7/26開催　来場者2,077名）　・天皇賜全国軟式野球大会（9/5～10開催　55チーム参加）　・Wリーグ2025-26横手大会（11/22,23開催　来場者約1,200名）　・スカイロケッツ秋田エキシビジョンマッチ（①6/28開催　来場者約600名、②9/23開催　来場者約550名）　・スポーツ合宿受入れ（6/7・8開催　①デフバスケットボール男子日本代表 22名、②7/31～8/4開催　玉川大学女子バスケットボール部 27名、③8/1～11開催　神奈川大学硬式野球部 43名、④1団8/12～17開催　2団8/17～22開催　日本体育大学硬式野球部 87名） ・チャレンジデイズ（11/13～15開催　参加人数10,162名）
令和 8年度（計画）	・スポーツイベントの開催や誘致、プロスポーツ等の観戦機会の創出 ・スポーツ合宿の受け入れ ・友好都市等とのスポーツ交流事業、奥羽横断駅伝競走大会の開催運営（令和８年度から本事業に統合）
令和 9年度（計画）	・スポーツイベントの開催や誘致、プロスポーツ等の観戦機会の創出 ・スポーツ合宿の受け入れ ・友好都市等とのスポーツ交流事業、奥羽横断駅伝競走大会の開催運営

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	スポーツ合宿参加人数				
		単位	人	目標値	350	350	350	350	350
				実績値	173	168	179		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,735	5,281	8,224	6,200	9,275
事業費の小計		3,735	5,281	8,224	6,200	9,275

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	スポーツ立市条例に基づく重点事業である。する・観る・支えるスポーツを通して、市民のスポーツへの関心を高めると同時に地域の活性化を図る。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民のスポーツ振興に加え、交流人口の拡大による地域経済の活性化にもつながっていることから市全体に公益をもたらす市事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標値としているスポーツ合宿の参加人数は実人数である。評価として適しているのは延べ滞在者数または延べ宿泊者数であり、令和８年度から目標値の設定を変更している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	総合計画における「【重点施策２】横手に多くの人が集い、行き交い、賑わいが生み出されるまち」につながる事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	スポーツを核とした地域活性化という観点から、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	地域活性化にもつながるスポーツ合宿の受入れや、宿泊を伴う大会の誘致などについて、横手市立体育館の完成を契機に増加が見込まれる。新規受け入れを視野に、支援内容の平準化を含めた見直しを行う。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市に対する直接的な受益者負担はないが、スポーツ合宿や大会等の開催により地域への高い経済効果が得られている。受け入れや誘致に関して、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手市立体育館の完成により、様々な大会やイベント等の利用が予定されている。主要なスポーツ施設の機能向上を契機に、コストを維持しつつ活動の幅を広げていきたい。特に、横手市立体育館については季節を問わず年間を通した需要が見込まれることから、スポーツを核としたまちづくりの重要な拠点となると考えている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100501	04	スポーツ振興課						
	スポーツのまちづくり事業			3,169	6,072	0	6,072	2,665	5,832
2	100501	04	スポーツ振興課						
	スポーツ合宿誘致事業			1,155	822	0	822	1,752	1,853
3	100501	04	スポーツ振興課						
	友好都市スポーツ交流事業			193	586	0	586	811	618
4	100501	04	スポーツ振興課						
	奥羽横断駅伝競走大会事業			764	744	0	744	972	972

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 体育施設総務費

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－060100　教育費・保健体育費・スポーツ振興費　体育施設総務費・体育施設総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内体育施設の適正な維持管理を行い、市民へスポーツの場を提供し生涯スポーツの振興や健康づくりに活用していただく。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【体育施設総務費】

・体育施設の適切な維持管理と修繕、施設維持管理委託や指定管理者制度導入などの維持管理方策の検討も行っていく。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市スポーツ推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市内体育施設維持管理に伴う各種業務委託等 十文字陸上競技場芝生管理業務、赤坂総合公園野球場電気保安管理業務等、グラウンド維持（土・芝用種他） ・会計年度任用職員報酬（運動施設管理人） ・グリーンスタジアムよこて（会議室等窓周り修繕484千円、フェンスカバー購入792千円）、スタジアム大雄フェンスカバー購入594千円、横手武道館弓道場床張替1,296千円、大鳥公園テニスコート人工芝部分張替1,265千円
令和 7年度（決算）	・会計年度任用職員報酬及び職員手当等　①横手・平鹿 34,129千円（12名）、②雄物川 2,850千円（1名） ・施設の維持管理にかかる委託料　①横手・十文字 3,924千円（芝生管理・清掃）、②雄物川 690千円（シルバー人材）、③大森 5,022千円（運営業務）、④山内 829千円（清掃・草刈り等） ・修繕および工事　①横手 763千円（エアコン設置483千円、その他修繕280千円）、②雄物川 1,567千円（支柱基礎補強、ボイラー軟水器、屋根補修他）、③大森 143千円（草刈機等）、④山内 461千円（野球場ガラス他） ・その他、施設の維持管理にかかる需用費、手数料ほか
令和 8年度（計画）	・市内体育施設維持管理、補修修繕　・会計年度任用職員報酬 ※各野球場芝生管理業務委託、陸上競技場芝生管理業務委託、赤坂総合公園野球場電気保安管理業務委託など ・指定管理施設にかかる修繕
令和 9年度（計画）	・市内体育施設維持管理、補修修繕　・会計年度任用職員報酬 ※各野球場芝生管理業務委託、陸上競技場芝生管理業務委託、赤坂総合公園野球場電気保安管理業務委託など ・指定管理施設にかかる修繕

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市内体育施設利用者数				
		単位	人	目標値	458,000	458,000	458,000	458,000	458,000
				実績値	369,012	374,041	369,327		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	305	356	394	301	301
	(e) その他特定財源	396	396	418	933	396
	(f) 一般財源	53,103	56,797	56,245	89,743	87,745
事業費の小計		53,804	57,549	57,057	90,977	88,442

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100501	06 スポーツ振興課	43,902	43,506	0	43,506	47,055	45,712
	体育施設総務費							
2	100501	06 スポーツ振興課	0	0	0	0	10,000	10,000
	体育施設総務費（共通分）							
3	100501	06 雄物川地域課	5,464	5,951	0	5,951	6,440	5,248
	体育施設総務費（雄物川地域）							
4	100501	06 大森地域課	6,316	6,037	418	5,619	1,434	1,434
	体育施設総務費（大森地域）							
5	100501	06 大森地域課	0	0	0	0	24,420	24,420
	体育施設総務費（大森地域）（債務負担）							
6	100501	06 十文字地域課	136	119	119	0	353	353
	体育施設総務費（十文字地域）							
7	100501	06 山内地域課	1,731	1,444	275	1,169	1,275	1,275
	体育施設総務費（山内地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 屋内体育施設費

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－070100　教育費・保健体育費・スポーツ振興費 屋内体育施設費・横手市立体育館管理		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

屋内体育施設が適正に維持管理され、市民が安全に安心して運動施設を利用し、スポーツを楽しんでいます。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

市内にある屋内体育施設の管理運営費（※横手地域…スポーツ振興課、その他地域…各地域課）
【体育館管理費】【スポーツセンター管理費（平鹿地域）】【大雄農業者トレーニングセンター管理費】【横手体育館・横手武道館管理費】※十文字卓球場は令和６年度に廃止済
【横手体育館開館準備事業】新体育館の開館準備及び備品購入

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市スポーツ推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・屋内体育施設の管理運営（横手体育館、横手武道館、増田体育館、平鹿体育館、平鹿スポーツセンター、雄物川体育館、大森体育館、山内体育館、大雄農業者トレーニングセンター） ・横手体育館、横手武道館の指定管理委託44,000千円（期間：2024年4月～2027年3月） ・横手武道館弓道場床張替工事1,296千円
令和 7年度（決算）	・横手市立体育館の開館準備 3,106千円※横手市立体育館の備品購入はR8へ繰り越し ・横手体育館・横手武道館の指定管理委託 45,595千円（指定期間：令和6～8年度） ・屋内体育施設の管理運営（増田体育館、平鹿体育館、平鹿スポーツセンター、浅舞スポーツセンター、雄物川体育館、大森体育館、白山体育館、十文字西スポーツセンター、山内体育館、大雄農業者トレーニングセンター） ・増田体育館　駐車場外灯改修工事1,298千円 ・雄物川体育館　消火配管復旧工事　設計監理198千円、工事請負費1,980千円
令和 8年度（計画）	・屋内体育施設の管理運営（※横手地域…スポーツ振興課が管理、その他地域…各地域課が管理） ・屋内体育施設の指定管理（横手市立体育館、横手体育館・横手武道館、大森地域５施設） ・横手市立体育館の開館準備
令和 9年度（計画）	・屋内体育施設の管理運営（※横手地域…スポーツ振興課が管理、その他地域…各地域課が管理） ・屋内体育施設の指定管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設利用者数				
		単位	人	目標値	271,000	271,000	271,000	271,000	271,000
				実績値	233,774	225,959	221,402		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	33,000	0
	(d) 使用料・手数料	2,673	2,647	3,385	1,838	1,760
	(e) その他特定財源	393	417	419	4,762	4,769
	(f) 一般財源	121,143	88,757	99,704	221,760	226,439
事業費の小計		124,209	91,821	103,508	261,360	232,968

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	100501 07 スポーツ振興課 横手市立体育館管理費（債務負担）	0	0	0	0	120,351	120,351
2	100501 07 スポーツ振興課 横手市立体育館管理運営事業	0	3,106	0	3,106	18,224	10,000
3	100501 07 スポーツ振興課 横手体育館開館準備事業（債務負担）	0	0	0	0	5,182	0
4	100501 07 スポーツ振興課 横手体育館・横手武道館管理費（横手地域）（債務負担）	44,000	45,595	0	45,595	45,595	45,595
5	100501 07 スポーツ振興課 横手体育館・横手武道館管理費（横手地域）（建設）	0	0	0	0	1,076	22,579
6	100501 07 増田地域課 体育館管理費（増田地域）	16,999	18,877	1,118	17,759	17,699	17,778
7	100501 07 平鹿地域課 体育館管理費（平鹿地域）	3,787	2,580	336	2,244	3,488	3,336
8	100501 07 雄物川地域課 体育館管理費（雄物川地域）	4,940	5,378	327	5,051	6,486	5,751
9	100501 07 大森地域課 体育館管理費（大森地域）	8,846	10,281	616	9,665	1,951	1,951
10	100501 07 大森地域課 体育館管理費（大森地域）（建設）	0	0	0	0	36,680	0
11	100501 07 十文字地域課 十文字西スポーツセンター管理費	0	639	126	513	2,001	3,000
12	100501 07 山内地域課 体育館管理費（山内地域）	2,251	2,102	275	1,827	2,627	2,627
13	100501 07 スポーツ振興課 横手体育館開館準備事業（建設）	0	0	0	0	0	0
14	100501 07 増田地域課 体育館管理費（増田地域）（建設）	603	1,298	0	1,298	0	0
15	100501 07 雄物川地域課 体育館管理費（雄物川地域）（建設）	0	2,178	0	2,178	0	0
16	100501 07 平鹿地域課 スポーツセンター管理費（平鹿地域）	3,269	3,530	787	2,743	0	0
17	100501 07 大雄地域課 大雄農業者トレーニングセンター管理費（大雄地域）	7,126	7,944	219	7,725	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 屋外体育施設費

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－080100　教育費・保健体育費・スポーツ振興費　屋外体育施設費・赤坂総合公園運動施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
屋外体育施設が適正に維持管理され、市民が安全に安心して施設を利用し、スポーツを楽しんでいます。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【赤坂総合運動公園施設管理費】【野球場管理費（４地域）】【テニスコート管理費(大森)】【スキー場管理費(増田)】【横手公園運動場管理費】【記念グラウンド管理費】【大鳥公園運動施設管理費】【ニュースポーツ広場管理費(増田)】【十五野公園運動施設管理費】【相撲場管理費(平鹿)】【総合運動公園管理費(雄物川)】【グラウンド管理費(雄物川)】【大森多目的運動広場等管理費】【グラウンドゴルフ場管理費(大森)】【陸上競技場管理費(十文字)】【十文字B&G海洋センター管理費】【大雄運動公園管理費】

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市スポーツ推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・屋外体育施設の管理運営費（※横手地域…スポーツ振興課、その他地域…各地域課） ・赤坂総合公園野球場スコアボード改修工事（令和６～７年継続費で支出は令和７年度） ・十文字陸上競技場第３種公認更新改修工事200,200千円、第３種公認更新に伴う備品補充購入12,953千円 ・天下森スキー場夏虫沢ヒュッテ解体14,981千円（設計監理99千円、解体工事14,882千円） ・天下森スキー場夏虫沢ヒュッテ新築564,952千円（工事監理6,380千円、設計監理4,620千円、本体工事387,090千円、電気設備工事81,678千円、機械設備工事85,184千円）
令和 7年度（決算）	・屋外体育施設の管理運営費、指定管理料 ・屋外体育施設の主な改修等 ①赤坂総合公園野球場スコアボード改修 256,663千円、貴賓席設置工事 1,496千円 ②天下森スキー場第１ペアリフト整備工事 21,340千円、第１ペアリフト支えい索切詰工事 1,793千円、Ｔバーリフト等解体 8,296千円、備品購入（圧雪車 64,427千円、スノーモービル 2,255千円） ③スタジアム大雄掲揚塔増設 891千円
令和 8年度（計画）	・屋外体育施設の維持管理費及び管理運営費（※横手地域…スポーツ振興課、その他地域…各地域課） ・天下森スキー場整備事業 ・大森公園テニスコート観覧席設計委託
令和 9年度（計画）	・屋外体育施設の維持管理費及び管理運営費（※横手地域…スポーツ振興課、その他地域…各地域課） ・天下森スキー場整備事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設利用者数				
		単位	人	目標値	186,000	186,000	186,000	186,000	186,000
				実績値	135,238	148,082	147,925		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	11,600	571,100	309,000	53,000	257,000
	(d) 使用料・手数料	6,689	6,658	6,017	5,348	5,261
	(e) その他特定財源	1,477	1,276	17,388	3,469	3,453
	(f) 一般財源	79,933	154,618	107,994	71,546	86,210
事業費の小計		99,699	733,652	440,399	133,363	351,924

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100501	08 スポーツ振興課						
	赤坂総合公園運動施設管理費（横手地域）		18,182	19,805	4,151	15,654	21,509	21,509
2	100501	08 増田地域課						
	野球場管理費（増田地域）		803	402	21	381	433	454
3	100501	08 十文字地域課						
	野球場管理費（十文字地域）		556	1,219	13	1,206	467	467
4	100501	08 山内地域課						
	野球場管理費（山内地域）		375	37	10	27	64	64
5	100501	08 大森地域課						
	テニスコート管理費（大森地域）（建設）		2,531	0	0	0	2,887	0
6	100501	08 増田地域課						
	天下森スキー場管理費（増田地域）		38,107	10,292	0	10,292	6,003	6,500
7	100501	08 増田地域課						
	天下森スキー場管理費（増田地域）（債務負担）		12,540	16,553	0	16,553	20,573	20,573
8	100501	08 増田地域課						
	天下森スキー場管理費（増田地域）（建設）		37,596	23,133	0	23,133	31,144	12,442
9	100501	08 増田地域課						
	天下森スキー場整備事業（建設）		582,069	76,363	76,300	63	22,430	257,040
10	100501	08 スポーツ振興課						
	屋外体育施設管理費（横手地域）		2,008	731	175	556	2,360	2,360
11	100501	08 増田地域課						
	ニュースポーツ広場管理費（増田地域）		116	306	0	306	167	250
12	100501	08 平鹿地域課						
	十五野公園運動施設管理費（平鹿地域）		5,470	6,072	750	5,322	5,040	4,762
13	100501	08 平鹿地域課						
	相撲場管理費（平鹿地域）		38	38	0	38	40	40
14	100501	08 雄物川地域課						
	総合運動公園管理費（雄物川地域）		2,546	1,785	32	1,753	1,820	1,850
15	100501	08 雄物川地域課						
	グラウンド管理費（雄物川地域）		71	161	3	158	184	184
16	100501	08 十文字地域課						
	陸上競技場管理費（十文字地域）		4,759	5,891	406	5,485	4,732	4,732
17	100501	08 十文字地域課						
	十文字Ｂ＆Ｇ海洋センター管理費（十文字地域）		6,349	6,554	268	6,286	7,178	7,178
18	100501	08 大雄地域課						
	大雄運動公園管理費（大雄地域）		6,142	6,471	263	6,208	6,332	6,052
19	100501	08 スポーツ振興課						
	赤坂総合公園運動施設管理費（横手地域）（建設）		0	256,663	248,700	7,963	0	0
20	100501	08 大森地域課						
	野球場管理費（大森地域）		511	1,073	184	889	0	0
21	100501	08 大森地域課						
	テニスコート管理費（大森地域）		1,903	1,769	683	1,086	0	1,473
22	100501	08 大森地域課						
	大森多目的運動広場等管理費（大森地域）		163	140	9	131	0	0
23	100501	08 大森地域課						
	グラウンドゴルフ場管理費（大森地域）		3,744	4,050	437	3,613	0	3,994
24	100501	08 大雄地域課						
	大雄運動公園管理費（大雄地域）（建設）		7,073	891	0	891	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 競技スポーツパワーアップ事業

部・担当課	教育総務部・スポーツ振興課	担当課長氏名	進藤　倫啓
予算科目事業	1 一般会計－100501－050100　教育費・保健体育費・スポーツ振興費 競技スポーツパワーアップ事業・競技		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、競技者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

競技力の向上を目的に合宿、各競技大会の開催、スポーツクリニックを開催することにより、地元競技者の競技力の向上や交流人口の拡大と経済の活性化を目指す。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【スポーツパワーアップ事業】[ハイレベルな大会の開催による競技力の向上と地域活性化]横手わか杉カップ全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会、横手わか杉カップ東日本中学バレーボール大会、チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会　[スポーツクリニックの開催]各競技団体と連携した教室を開催し効果的な競技力向上図る　[スポーツ競技大会出場補助金][横手市スポーツ協会事業補助金]事業を通じた各競技団体への支援等

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市スポーツ推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手わか杉カップ全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会　補助金1,256千円（7/13～15、７チーム出場） ・横手わか杉カップ東日本中学バレーボール大会　補助金2,860千円（11/30～12/1、男女各８チーム出場） ・チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会　補助金2,050千円（1/11～12、男女各８チーム出場） ・陸上クリニック　講師謝礼等230千円（12/15、市内小・中学校約60名参加）
令和 7年度（決算）	・わか杉カップバレーボール大会（① 7/11～13開催　高校男子　②11/29～30開催　中学男女） ・チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会（1/10～11開催） ・スポーツ教室等の開催（①2/14～15開催　ソフトテニス技術講習会　②3/28開催　横手市バレーボール教室） ・指導者向け講習会の開催（3/22開催） ・横手市スポーツ協会事業への補助 2,716千円 ・全国大会等に出場した個人や団体への補助（77件、5,021千円）
令和 8年度（計画）	・わか杉カップ（高校男子バレー、東日本中学バレー）、チャンピオンズカップ（東北中学バスケ）の開催補助 ・市スポーツ協会事業への補助（競技団体の支援、スポーツ賞授与）、スポーツ教室や指導者向け講習会の開催 ・全国大会等に出場する個人や団体への補助
令和 9年度（計画）	・わか杉カップ（高校男子バレー、東日本中学バレー）、チャンピオンズカップ（東北中学バスケ）の開催補助 ・市スポーツ協会事業への補助（競技団体の支援、スポーツ賞授与）、スポーツ教室や指導者向け講習会の開催 ・全国大会等に出場する個人や団体への補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	スポーツイベント集客数				
		単位	人	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
				実績値	4,640	4,310	4,821		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	7,375	6,517	15,016	14,390	14,390
事業費の小計		7,375	6,517	15,016	14,390	14,390

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	目標達成に向けて順調に推移している事業であるが、横手市立体育館の開館等を契機に、さらに活動を拡大していくべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	「観るスポーツ」「支えるスポーツ」の観点から、アスリートだけでなく市民全体のスポーツ振興に資する事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	競技スポーツに取り組む市民又は団体が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標を上回る成果が上がっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	スポーツ立市条例の基本目標の１つである「スポーツで誇れる文化立市」の達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	事業の取り組み全般にわたり民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	大会は毎年度の見直し・改善をしており、現段階でこれ以上の改善の余地はないと思われる。スポーツ大会出場補助金についても現段階でこれ以上の改善の余地は少ないが、多くのアスリートに対する効果的な支援という観点から見直しを継続する。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	アスリートの競技力向上や活動支援が目的であり、適切な受益者負担という視点の事業とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
項目点合計	２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和７年度からスポーツ大会出場補助金と横手市スポーツ協会補助金を当該事業に再編している。競技力向上の取り組みの成果は、出場成績として着実に上がっており、今後も活動の方向性を拡大する。一方で、各種大会の運営や補助金の制度設計、運用の見直しを図り、持続可能な取り組みとすべく、コスト投入の方向性は維持とした。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	100501 05 競技スポーツパワーアップ事業	スポーツ振興課	6,517	15,016	0	15,016	14,390	14,390

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 社会教育総務費

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100401－020100　教育費・社会教育費・社会教育総務費 社会教育総務費・社会教育総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民・生涯学習関係団体・生涯学習に携わる職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生涯学習課、生涯学習関係機関の職員のレベルアップ及び各種団体との連携強化と自立促進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

①社会教育・生涯学習関係会議・・・社会教育、生涯学習に関わる各種会議の開催
②社会教育・生涯学習関係研修会・・・社会教育、生涯学習に関わる各種研修会等への参加
③生涯学習推進計画・・・生涯学習推進計画に基づく評価・検証
④各種団体補助金・・・子ども、青少年、婦人、ＰＴＡ、芸術文化団体等への補助金による事業支援

④根拠法令	社会教育法	⑤関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・社会教育委員会議2回開催（委員21名、報酬192千円支出→社会教育事業等への指導及び助言） ・生涯学習推進計画評価委員会2回開催（委員5名、報償金27千円支出→事業評価実施） ・青少年問題協議会1回開催（委員3名、報酬18千円支出→青少年の指導育成等について協議） ・社会教育関係団体へ補助金交付（4団体、補助金1,816千円支出） ・第46回全国公民館研究集会旅費（社会教育委員1名、34千円支出）
令和 7年度（決算）	・社会教育委員会議3回開催（委員21名、報酬282千円支出→社会教育事業等への指導及び助言） ・生涯学習推進計画評価委員会2回開催（委員5名、報償金30千円支出→事業評価実施） ・青少年問題協議会1回開催（委員12名、報酬24千円支出→青少年の指導育成等について協議） ・社会教育関係団体へ補助金交付（4団体、補助金1,769千円支出）
令和 8年度（計画）	・社会教育委員報酬、青少年問題協議会委員報酬　・生涯学習推進計画評価委員謝礼 ・各種大会参加旅費　・保呂羽山周辺借地草刈等委託　・県立少年自然の家活動用地等借上げ ・負担金及び補助金　・生涯学習推進計画策定に係る経費
令和 9年度（計画）	・社会教育委員報酬、青少年問題協議会委員報酬　・生涯学習推進計画評価委員謝礼 ・各種大会参加旅費　・保呂羽山周辺借地草刈等委託　・県立少年自然の家活動用地等借上げ ・負担金及び補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	生涯学習推進計画評価委員会				
		単位	回	目標値	4	4	2	2	2
				実績値	2	2	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,830	2,939	3,318	4,892	3,547
事業費の小計		3,830	2,939	3,318	4,892	3,547

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100401	02 生涯学習課	0	0	0	0	4,892	3,547
	社会教育総務費							
2	100402	98 生涯学習課	2,939	3,318	0	3,318	0	0
	社会教育総務費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 生涯学習推進事業

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100402－010100　　教育費・社会教育費・生涯学習費 生涯学習推進事業・生涯学習推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・ジュニアリーダーの人格形成や自主的活動を支援し、会員数を増やす。・情報誌の効果的な利用を促進し、多くの市民の生涯学習支援のツールとしてもらう。・個人のレベルアップと地域の子ども会をリードする人材育成を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

①ジュニアリーダー育成事業：市子連と連携を図りながらイベントや研修を通じ、ジュニアリーダーの資質向上を図る。新規加入促進のため学校への勧誘活動を実施する。
②厚木市横手市小学生交流事業：友好都市との交流・体験事業を実施する。

④根拠法令	社会教育法	⑤関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	学校・家庭・地域連携総合推進事業の実施①子ども教室の実施（長期休業中の子ども達に地域住民の参画による様々な体験活動の機会を提供、市内8地域14教室：夏228名、冬202名参加、事業費2,053千円）②協働活動事業（学校と地域住民をつなぐコーディネーターを市内8地区に配置、学校に派遣した地域ボランティア数462名、事業費734千円）③コミュニティ・スクール事業（学校運営協議会委員を対象に研修会を実施、参加者48名、事業費52千円）④ジュニアリーダー育成事業（定例会5回、事業協力等6回、会員21名、事業費100千円）⑤厚木市・横手市小学生交流事業（厚木市開催、両市小学生43名参加、事業費876千円）
令和 7年度（決算）	①ジュニアリーダー育成事業（定例会9回、事業協力3回、県・東北大会参加、会員29名）事業費48千円 ②厚木市横手市小学生交流事業（横手市開催、両市小学生46名参加）事業費937千円 ③生涯学習奨励事業（生涯学習奨励員55名、6/17研修会33名参加、12/9生涯学習関係者研修会34名参加）事業費625千円 ④市制施行20周年記念事業古代エジプト美術館展負担金　事業費2,000千円
令和 8年度（計画）	①ジュニアリーダー育成事業②厚木市・横手市小学生交流事業③放送大学秋田学習センター横手校④生涯学習奨励事業
令和 9年度（計画）	①ジュニアリーダー育成事業②厚木市・横手市小学生交流事業③放送大学秋田学習センター横手校④生涯学習奨励事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	ジュニアリーダー数				
		単位	人	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	18	21	29		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,724	1,724	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,236	2,727	3,609	2,013	1,679
事業費の小計		3,960	4,451	3,609	2,013	1,679

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	社会教育法第5条で、講座の開設や青少年に対する体験活動、またそれらの奨励等が規定されている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	ジュニアリーダーや生涯学習奨励員による学習支援、情報誌の発行、サークル活動団体の紹介、生涯学習推進団体登録制度による施設使用料の減免など、総合的に生涯学習を推進している事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全ての市民が生涯学習に取り組んでいくことができるように支援している。
②事業の有効性	８	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	ジュニアリーダー数は目標値に届いていないが、コロナ禍以降徐々に回復しており引き続き周知活動に取り組んでいく。ジュニアリーダーとしての資質向上を図るため、会員は各種研修会や子ども会事業への協力など積極的に活動を展開している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	地区交流センター事業など各地域で学習機会が提供されており、実施にあたっては他部局と連携しているため類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民同士が学び合い教え合う相互学習を通して、学びによる「まちづくり・人づくり」の実現を目指す事業である。
③事業の効率性	７	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	多様化する市民の学習ニーズは、カルチャースクールや音楽教室等民間で実施されている講座も多くあり、民間事業の活用を促すなどの対応をしている。子どもたちの体験活動や交流事業など市がかかわる必要性が高いものについては関係団体と連携して取り組んでいる。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年度事業を見直し・改善を図りながら充実を図っている。実施体制や事業手法には改善の余地があり効率化を図る必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	活動内容によっては実費負担として参加費を徴収している。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		８５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

生涯学習は全ての市民にとって、心の豊かさや生活の向上などを図るうえで不可欠であり、学びによる「まちづくり・人づくり」の実現を目指すうえで、継続かつ発展的に行われるべきものである。また、多様化・高度化する学びに対するニーズへの対応は不可欠である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	100402	01	生涯学習課	4,451	3,609	0	3,609	2,013	1,679
	生涯学習推進事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 二十歳のつどい開催事業

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100402－020100　　教育費・社会教育費・生涯学習費 二十歳のつどい開催事業・二十歳のつどい		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

２０歳を迎える市民及び市出身者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

新成人を祝い、社会に対する義務と責任を担うことを自覚し、積極的に地域づくりへ参画してもらうきっかけづくりとする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・毎年８月１５日に市民会館において成人式を開催する。
・各地域選出の新成人による実行委員会を立ち上げ企画運営する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・令和6年度「二十歳のつどい」8/15　横手市民会館　対象者775名、出席者554名 ・24歳のつどい（新型コロナにより中止となった令和2年度「成人式」代替行事） 8/11　横手市民会館　対象者900名、出席者213名 （両事業とも対象者による実行委員会を立ち上げ、式典及びアトラクションの企画運営に携わった。事業費419千円）
令和 7年度（決算）	・令和7年度「二十歳のつどい」 8/15　横手市民会館　R7年度対象者809名、出席者591名、事業費302千円
令和 8年度（計画）	8月15日、市民会館で開催
令和 9年度（計画）	8月15日、市民会館で開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	二十歳のつどい（旧成人式）への出席者率				
		単位	%	目標値	70	75	75	75	75
				実績値	69.2	71.5	73.1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	256	419	302	352	352
事業費の小計		256	419	302	352	352

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	社会の信頼と期待に応えられる社会人としての自覚を促し、ふるさとへの誇りや愛着を深めるきっかけとなる事業として必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民の理解は得られており、市全体でお祝いする式典として定着している。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	事業の性質上、一部の対象者に限定されるが、次の時代を担う若者を応援する事業であることから妥当である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	出席率は目標値を下回ったものの591名の参加をいただき、ふるさとへの誇りや愛着を深めるきっかけとなった。多くの対象者に参加してもらうため実行委員会と連携を図りながら進めていく。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局に類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	社会に対する義務と責任を担う自覚を促し、社会貢献や地域活動へ積極的に参画する機運を高めるとともに郷土愛を醸成するために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市がお祝いをする式典として実施すべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	生涯の思い出となるような式典とするため、実行委員会方式による積極的な企画運営が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	事業の実施内容から適切である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		７６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

社会に対する義務と責任を担う自覚を促し、積極的に地域づくりへ参画する、また故郷に思いを馳せるきっかけとなる事業として継続実施する必要がある。実施にあたっては実行委員会が主体的に計画し積極的な企画運営を促す必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100402	02 生涯学習課	419	302	0	302	352	352
	二十歳のつどい開催事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 学校・家庭・地域連携総合推進事業

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100402－030100　　教育費・社会教育費・生涯学習費 学校・家庭・地域連携総合推進事業・学校		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

「社会に開かれた教育課程」を実現するために地域と学校の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め一体となって子どもたちの成長を支えていく。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・コミュニティ・スクールをはじめとする学校家庭地域連携を総合的に推進する。
・子育てに関わる分野で活躍する専門家を招いて子育て講座を開催する。
・父親と子どもによる自然体験・異文化体験活動等を実施する。
・家庭教育に関する学習機会等の提供や相談活動を行い、地域全体で家庭教育を支える取り組みや体制づくりを支援する。
・子ども教室を開催する。

④ 根 拠 法 令	社会教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市生涯学習推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・子育て講座の実施（小学校14校の就学時健診等で次年度入学予定児童の保護者474名を対象に開催、家庭教育支援チームの活動ＰＲも実施）事業費20千円・父親の家庭教育参加促進事業（6/30「地図を片手にお父さんとＧＯ!!」19組38名参加、12/15「ニュースポーツにちょうせん!」6組12名参加）事業費70千円・家庭教育支援チームによる学びの場の提供と懇談会（7/21「おてがる親子クッキング～『作って食べよう』みそボール～」13家族37名参加、10/20「焼き魚を上手に食べよう！～めざせ！はしづかいの達人～」14家族45名参加、2/9「体験しよう！小正月～親子でもちつき」7家族21名参加）家庭教育支援チーム事業費378千円
令和 7年度（決算）	・コミュニティ・スクール推進事業（1/27コミスク研修会56名参加）事業費50千円・協働活動事業（市内小学校に地域コーディネーターを配置しボランティアを358名派遣）事業費726千円・子ども教室（14教室夏214名、冬185名参加）事業費2,522千円・子育て講座（次年度入学予定児童の保護者415名参加）事業費0千円・父親の家庭教育参加促進事業（8/24「お父さんといっしょにウォーターサバイバル」10組20名参加、11/30「悪ガキ王決定戦」10組20名参加）事業費70千円・家庭教育支援チームによる学びの場の提供と懇談会（7/21「おてがる親子クッキング」7家族21名参加、11/3「焼き魚を上手に食べよう！」10家族26名参加）家庭教育支援チーム事業費148千円
令和 8年度（計画）	・コミュニティ・スクール推進事業・学校支援ボランティア事業・協働活動事業・子育て講座（14校　就学時健診、入学説明会）・父親の家庭教育参加促進事業（父親と子どもによる体験活動等）・家庭教育支援チーム事業（相談対応、体験型学習会の開催）・夏休み・冬休み子ども教室事業
令和 9年度（計画）	・コミュニティ・スクール推進事業・学校支援ボランティア事業・協働活動事業・子育て講座（14校　就学時健診、入学説明会）・父親の家庭教育参加促進事業（父親と子どもによる体験活動等）・家庭教育支援チーム事業（相談対応、体験型学習会の開催）・夏休み・冬休み子ども教室事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	父親の家庭教育参加促進講座参加者を増やす				
		単位	人	目標値	30	40	40	40	40
				実績値	20	50	40		
	2	区分	活動	指標	夏休み・冬休み子ども教室の参加者に対する出席率　※生涯学習推進事業より移動				
		単位	%	目標値			96	97	98
				実績値			91.3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	125	192	2,182	2,299	2,742
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	185	276	1,334	1,576	1,475
事業費の小計		310	468	3,516	3,875	4,217

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	社会教育法第5条に規定される事務（事業）である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	未来を担う子ども成長を支えるために、学校・家庭・地域が連携し「地域とともにある学校づくり」と「持続可能な地域づくり」を一体となって進めていく事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	子どもの成長を支えるために、地域全体でかかわりを持つことができる事業である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	父親の家庭教育参加促進事業は、積極的に家庭教育へ参画する重要性の理解に結び付いている。子ども教室においては、目標値に届かなかったものの各教室とも魅力ある体験活動の提供することで高い出席率を維持できるように努めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	地域全体で子どもを育むため、学校と地域が連携し取り組んでいる事業であり類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	学校・家庭・地域の連携を総合的に推進することで、未来を担う子どもの健全育成を図るものであり貢献度は高い。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	社会教育法に規定される事業であるほか、学校教育と家庭教育を地域が支えることで教育力の向上が期待される。加えて地域づくりにも寄与するため市が積極的に関与すべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	他課との連携や協働など事業実施体制に検討の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	事業の性質上、参加費等は徴収していない。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

学校・家庭・地域の連携を総合的に推進することで、教育力の向上はもとより教育現場や家庭での負担感の減少、地域活性化にもつながっていく。活動を広げていくためには、より多くの方々の理解と賛同を得る必要があることから、引き続き周知活動や研修会等を通じて理解促進に努めていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100402	03	生涯学習課						
	学校・家庭・地域連携総合推進事業			468	3,516	2,182	1,334	3,875	4,217

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 秋田大学横手サテライト事業

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	高田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100402－040100　　教育費・社会教育費・生涯学習費 秋田大学横手サテライト事業・秋田大学横		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

大学が有する様々なシーズが市民に最大限活用されることにより、地域の活性化・教育・文化・芸術の振興が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・秋田大学と連携し各種講座を開催する。
・小中高生を対象とした教育講座を開催する。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・生涯学習事業（①「山と川のあるまち」横手の野鳥を訪ねて初夏編／秋編、延べ44名参加②「腰痛で動けない」を解消！18名参加③ネット社会とメンタルヘルス、3名参加）・小中高大連携事業（①メディカル・サイエンスカフェin横手高校、196名参加②防災サイエンスカフェin横手市夏休み子ども教室、16名参加③教師ミニミニ体験事業、高校生39名参加④小学校高学年向け講座「たのしく学ぼう！算数」、18名参加）・地域交流事業（秋田大学の留学生と交流しよう！in横手、36名）・上記に係る大学連携コーディネーター報酬2,162千円
令和 7年度（決算）	・生涯学習事業（①「山と川のあるまち」横手の野鳥を訪ねて初夏編／秋編、延べ33名参加、②「がんの放射線治療」という選択肢、26名参加、③高血圧と予防のおはなし、116名参加）・小中高大連携（①防災サイエンスカフェin横手市夏・冬休み子ども教室、49名参加、②教師ミニミニ体験事業、高校生36名参加）・その他大学連携コーディネート業務（①Ao-naミニシネマ×あお学、30名参加、②あおーな学びのワークショップ、21名参加）・上記に係る大学連携コーディネーター報酬2,398千円
令和 8年度（計画）	【秋田大学の改組に伴う事業名称の変更】・生涯学習事業　・小中高大連携
令和 9年度（計画）	・生涯学習事業　・小中高大連携

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	共催・連携事業の開催数				
		単位	回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	7	11	6		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,641	3,232	3,459	3,766	3,352
事業費の小計		2,641	3,232	3,459	3,766	3,352

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	秋田大学との包括協定（平成21年2月7日締結）に基づき実施される事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	生涯学習を推進するうえで、大学が有する多様な知見やノウハウを活用して実施できるため、市民の多様なニーズに応えることができる。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	市が実施する様々な事業との連携が可能であり、全ての市民が対象となる。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	秋田大学が提供できる一部の事業が見直されたことから目標達成に至らなかった。しかしながら、目標値以外で、Ao-na事業をコーディネートするなど新たなつながりを生むことができた。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	秋田大学との包括協定に基づき実施される事業であり、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	大学が有する多様な知見やノウハウは、生涯学習の推進に限らず様々な分野で活用できるため、連携強化を図っていきたい。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	秋田大学との包括協定（平成21年2月7日締結）に基づき実施される事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	受講者のニーズを把握しながら、内容の見直しを実施している。受講者の評価が高くリピーターが多い反面、新規の参加者が全体的に少ないため改善の余地がある。各種講座については、対面・オンラインを状況に応じて使い分けて実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	秋田大学が有する知見（技術・ノウハウ・アイデア・人材・設備等）を活用でき、サービス水準は適切であると考える。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　7×3　＋　9×3	総合評価点　８８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
秋田大学が有する知見の有益性に鑑み、地域振興を図るため継続が必要である。庁内関係部署との連携を図りながら事業を推進する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	100402	04	生涯学習課	3, 232	3, 459	0	3, 459	3, 766	3, 352
	秋田大学横手サテライト事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 芸術文化推進事業

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100404－010100　教育費・社会教育費・芸術文化振興費 芸術文化推進事業・芸術文化推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

優れた芸術に触れる機会の提供や発表の機会の確保を図ることにより、市民の芸術文化意識が高まりを見せている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・市内文化芸術団体や各小中学校等との連携を図りながら、芸術文化振興事業を実施する。
・市民ステージ祭や交流美術展を開催する。
・芸術鑑賞事業（青少年劇場等）を実施し、小中学生に本物の芸術にふれる機会を提供する。
・横手市自主文化事業委員会に委託し芸術鑑賞事業を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市生涯学習推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市民ステージ祭、交流美術展の開催（11/16～17、22団体198名出演、出展数79作品、来場者500名）・舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）（8/28朝倉小235名、8/30醍醐小、雄物川小合同450名、10/21吉田小138名、11/20大森小164名）・青少年劇場（7/3小公演：大雄小、増田小、増田中合同404名、9/30演劇公演：旭小、浅舞小、山内小、栄小合同633名）・ユニバーサル公演事業（11/14横手明峰中413名）・公共ホール音楽活性化支援事業おんかつ（11/21～22アクティビティ：増田小、増田中166名、11/23コンサート：かまくら館143名）・美術品収蔵庫の管理
令和 7年度（決算）	・市民ステージ祭、交流美術展の開催（11/8～9、26団体244名出演、出展数110作品、来場者850名）・舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）（7校開催、2,101名鑑賞）・青少年劇場（7/2小公演4校合同、559名鑑賞、9/30演劇公演4校合同、809名鑑賞）・公共ホール音楽活性化支援事業おんかつ（12/18～20アクティビティ：大森小、横手明峰中、浅舞地区交流センター、170名参加、12/21コンサート：かまくら館、来場者142名）・横手市自主文化事業委員会事業（主催3事業、共催2事業、来場者2,464名）・市制施行20周年記念事業（NHK公開放送大好き東北しゃべり亭in横手、来場者557名、宝くじ文化公演松平健マツケンサンバコンサート2026、来場者886名）
令和 8年度（計画）	・市民ステージ祭及び交流美術展・秋田県青少年劇場・学校における文化芸術鑑賞体験推進事業・舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）・公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ支援）・横手市自主文化事業委員会への委託事業・地域連携コンソーシアム（障がい者の芸術文化推進）
令和 9年度（計画）	・市民ステージ祭及び交流美術展・秋田県青少年劇場・学校における文化芸術鑑賞体験推進事業・舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）・公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ支援）・横手市自主文化事業委員会への委託事業・地域連携コンソーシアム（障がい者の芸術文化推進）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市民ステージ祭来場者数				
		単位	人	目標値	500	800	800	800	800
				実績値	752	500	850		
	2	区分	成果	指標	交流美術展来場者数				
		単位	人	目標値	500	800	800	800	800
				実績値	752	500	850		
	3	区分	成果	指標	横手市自主文化事業委員会主催事業の平均来場者数　※自主文化事業委託費より移動				
		単位	人	目標値			400	400	400
				実績値			493		

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	899	969	4,110	1,170	969
	(f) 一般財源	3,385	2,859	980	2,191	4,056
事業費の小計		4,284	3,828	5,090	3,361	5,025

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	優れた芸術に触れる機会の提供とともに、市民の学習成果発表の場として継続が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民を対象としたステージ祭の実施や芸術鑑賞事業等、文化芸術に触れる機会を提供している。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	市民ステージ祭や芸術鑑賞事業など全ての市民が対象となる事業が実施されている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	関係団体と連携しながら、文化芸術に触れる機会や成果を発表する場の提供に努めていく。令和7年度は大筆体験や障がい者の作品展示など新たな取組により、市民ステージ祭・交流美術展の来場者数目標を達成することができた。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	文化芸術に関する類似事業はない。引き続き国や県の事業を活用しながら、特に小中学生の芸術鑑賞事業を支援する。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	生きる力と豊かな心を育むためには優れた芸術に触れることが必要である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	アウトソーシングや民間委託等の事例はあるものの、費用対効果や市民に対する芸術文化活動の支援など総合的に勘案すれば市が関与する度合いが高いため、引き続き主体的な事業実施が必要である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	市民ステージ祭や交流美術展は、出演団体や出展数の減少が来場者の減少につながっていると考えられる。横手市芸術文化協会との更なる協議が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	舞台芸術鑑賞では、参加者が応分の負担をしている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		８１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

優れた芸術に触れる機会を更に提供するとともに、市民が日ごろ学んだ成果を発表する場として継続が必要である。
市民会館の休館を見据えた事業展開と休館における支援策が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100404	01 生涯学習課	3,828	5,090	4,110	980	3,361	5,025
	芸術文化推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 芸術文化施設費

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100404－020100　　教育費・社会教育費・芸術文化振興費　芸術文化施設費・市民会館費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民会館等の芸術文化施設を多くの市民が利用し、市民の芸術文化活動が振興している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・市民会館の運営と維持管理
・石坂洋次郎文学記念館の運営と維持管理、企画展の実施
・美術品収蔵庫の維持管理

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市民会館の管理運営【利用状況等】開館日数319日、稼働日数259日（稼働率81.2%）ホール稼働日数119日（稼働率39.4%）、ホール公演数49公演、年間利用者数延べ36,758名（前年度比2,269名増）、利用団体数延べ368団体 ・石坂洋次郎文学記念館の管理運営【入場者数等】開館日数336日、来館者数1,754名（前年度比219名増）【企画展】①企画展「みる！石坂文学-石坂洋次郎原作映画ポスター展-」、期間：9/7～12/28、来館者数716名、②ミニ企画展「保養地の洋次郎　軽井沢編」6/21～9/3、来館者数379名③ミニ企画展「保養地の洋次郎　伊豆編」1/16～3/30、来館者数183名④出張ミニ企画展　6図書館での展示、期間：1/20～3/9、Ao-naでの常設展示
令和 7年度（決算）	・市民会館の管理運営【利用状況等】開館日数313日、稼働日数239日（稼働率76.4%）ホール稼働日数115日（稼働率36.7%）ホール公演数52公演、年間利用者数延べ42,551名（前年度比5,793人増）、利用団体数延べ337団体 ・石坂洋次郎文学記念館の管理運営【入場者数等】開館日数333日、来館者数1,630名（前年度比124名減）【企画展】①企画展「洋次郎と昭和100年-石坂文学で振り返る昭和-」期間：9/19～1/18、来館者数462名、②ミニ企画展「石坂洋次郎と葛西善蔵」期間：7/4～9/15、来館者数458名、③ミニ企画展「横手ゆかりの作家展」期間：1/21～3/31、来館者数180名、④出張企画展　6図書館での展示、期間：12/2～1/6、1/12～2/22、Ao-naでの常設展示
令和 8年度（計画）	・市民会館の運営と維持管理 ・石坂洋次郎文学記念館の運営と維持管理、企画展の実施
令和 9年度（計画）	・市民会館の運営と維持管理 ・石坂洋次郎文学記念館の運営と維持管理、企画展の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	社会教育施設等の利用者数（市民会館含む）				
		単位	人	目標値	450,000	460,000	470,000	470,000	570,000
				実績値	479,052	776,656	1,052,013		
	2	区分	－	指標	市民会館ホール稼働率				
		単位	%	目標値	40	40	40	40	56
				実績値	39.5	39.4	36.7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	6,979	7,519	6,493	7,547	7,343
	(e) その他特定財源	35	33	33	35	40
	(f) 一般財源	29,438	31,099	43,882	35,619	34,349
事業費の小計		36,452	38,651	50,408	43,201	41,732

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100404 02 生涯学習課 市民会館費		31,924	33,454	6,478	26,976	35,478	34,746
2	100404 02 生涯学習課 石坂洋次郎文学記念館費		6,727	7,099	48	7,051	7,723	6,986
3	100404 02 生涯学習課 市民会館費（建設）		0	8,679	0	8,679	0	0
4	100404 02 生涯学習課 美術品管理費		0	1,176	0	1,176	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 図書館総務費

部・担当課	教育総務部・図書館課	担当課長氏名	佐藤　直志
予算科目事業	1 一般会計－100403－020100　　教育費・社会教育費・図書館費 図書館総務費・図書館総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市立図書館が均衡のとれたサービスと読書活動を行う場を市民に提供し、読書文化の振興に繋げることが出来ている。
図書館運営に関し館長の諮問に応じ、意見を述べ、図書館運営の改善を図ることが出来ている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

①市立図書館全体の方針及び企画立案、運用調整、建物等維持管理を行い、より多くの市民が読書に親しめる環境の整備。
②市民の読書活動推進や文字活字文化の振興に関する施策の推進。
③読書活動の支援を充実させ、市民の活動の証となる資料収集・保存の実施。
④任命委員による年３回程度の図書館協議会を開催し、委員より意見を頂き、図書館運営の改善を実施。

④ 根 拠 法 令	図書館法、社会教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市生涯学習推進計画第4次計画 第１次横手市読書活動推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・図書館情報システム運用管理（委託料2,940千円、使用料900千円）・ＩＣタグ用機器運用管理（2,230千円） ・市立図書館主催事業の企画立案　・全世代を対象とした「第１次横手市読書活動推進計画」の実施　・図書館協議会を開催し、委員より意見を頂き、図書館運営の改善を図る（6/5：6千円×8人、3/7：6千円×9人）
令和 7年度（決算）	・図書館情報システム運用管理（委託料2,940千円、使用料933千円）・ＩＣタグ用機器運用管理（2,891千円）・市立図書館主催事業の企画立案　・全世代を対象とした「第１次横手市読書活動推進計画」の実施　・図書館協議会を開催し、委員より意見を頂き、図書館運営の改善を図る（6/3：6千円×7人、3/12：6千円×7人）
令和 8年度（計画）	①図書館情報システム及びＩＣタグ用機器の運用・保守管理　②「第１次横手市読書活動推進計画」の実施　③図書館協議会の開催　④閉架書庫のＩＣタグ化　⑤デジタル化事業
令和 9年度（計画）	①図書館情報システム及びＩＣタグ用機器の運用・保守管理　②「第１次横手市読書活動推進計画」の実施　③図書館協議会の開催　④閉架書庫のＩＣタグ化　⑤デジタル化事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	能力向上のための研修会等への参加回数の維持				
		単位	回	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	6	3	6		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	41,209	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	15	253	21	78	6
	(f) 一般財源	45,235	8,301	9,244	13,401	10,031
事業費の小計		86,459	8,554	9,265	13,479	10,037

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	100403	02	図書館課	8,554	9,265	21	9,244	13,479	10,037
	図書館総務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 読書活動促進事業

部・担当課	教育総務部・図書館課	担当課長氏名	佐藤　直志
予算科目事業	1 一般会計－100403－030100　教育費・社会教育費・図書館費 読書活動促進事業・読書活動推進コンクール		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
読書の楽しさを伝え、本に親しむきっかけを提供できている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【調べる学習コンクール事業】 ①「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加及び作品募集 ②審査委員による入賞入選作品の選考 ③入賞作品の表彰及び入賞入選作品の展示

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市生涯学習推進計画第4次計画 第１次横手市読書活動推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・図書館を使った調べる学習コンクール（地域コンクール）開催（9月募集、11/7表彰式、全国コンクールへの出品、2/8～3/2作品展） ※応募数3,888点、入賞35点、全国コンクール出品35点 ・読書に関する作品コンクール（絵画部門）開催（7月募集開始、11月〆切・審査、12/23表彰式、12/26～1/13入賞作品展） ※応募数201点、入賞9点（特選1点、優秀賞2点、入選6点）
令和 7年度（決算）	・図書館を使った調べる学習コンクール（地域コンクール）開催（9月募集、11/5表彰式、全国コンクールへの出品） ※応募数3,255点、入賞49点、全国コンクール出品49点 ・読書に関する作品コンクール（絵画部門）開催（7月募集開始、9月〆切・審査、12/22表彰式、12/26～3/7入賞作品展） ※応募数166点、入賞10点（特選1点、優秀賞4点、入選5点）
令和 8年度（計画）	①図書館を使った調べる学習コンクールの開催（地域コンクール11月表彰・全国コンクールへの出品） ②読書に関する作品コンクールの開催（7月募集開始、11月〆切・審査、12月表彰式、1月作品展）
令和 9年度（計画）	①図書館を使った調べる学習コンクールの開催（地域コンクール11月表彰・全国コンクールへの出品） ②読書に関する作品コンクールの開催（7月募集開始、11月〆切・審査、12月表彰式、1月作品展） ③図書館振興財団フェア開催予定

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	文章部門応募数の維持				
		単位	点	目標値	180	－	－		
				実績値	29	－	－		
	2	区分	活動	指標	短文部門応募数の維持				
		単位	点	目標値	2,740	－	－		
				実績値	3,398	－	－		
	3	区分	活動	指標	絵画部門応募数の維持				
		単位	点	目標値	370	370	370	370	370
				実績値	235	201	166		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	422	625	755	850	875
事業費の小計		422	625	755	850	875

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	図書館を使った調べる学習コンクール及び読書に関する作品コンクール（絵画部門）に応募することが本に親しむきっかけの一つとなり、これを通じて調べ学習や読書の楽しさ、大切さを学び、生涯を通じて読書を楽しむ市民を増やすために必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	図書館を使った調べる学習コンクール及び読書に関する作品コンクール（絵画部門）の応募数は一定の応募をいただいており、本事業に対する市民の需要が高いことは明白である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	図書館を使った調べる学習コンクールは全ての市民を対象としている事業である。このコンクールに応募の難しい未就学児対象の事業として、読書に関する作品コンクール（絵画部門）を継続している。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	令和7年度の応募数は図書館を使った調べる学習コンクールが3,255点、読書に関する作品コンクールが166点となり、どちらの事業も前年度に比べ減少しているので、目標達成に向けた具体的な対策の検討が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	本事業の趣旨にあるとおり、読書の楽しさや大切さを学び、生きる力を育む等、生涯学習の推進につながっている。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市内で同種の事業を行っている例はなく、読書活動を推進し、活力ある地域と豊かな人づくりにつながる生涯学習推進のため、市が主体的、積極的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業内容については毎年度見直ししている。今後は目標達成につながる対策が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	本事業の趣旨に鑑み、市が100％負担すべき事業である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　８４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

読書の楽しさ、大切さを伝え、本に親しむきっかけづくりにつながる事業として重要であり、今後も効果的な予算執行に取り組むことが必要である。新たな読書活動推進事業として令和6年度より「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施している。本事業を継続して実施するにあたり、ＰＲ方法など積極的な応募につながる具体的な方策の検討が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100403	03	図書館課 読書活動推進コンクール事業	625	755	0	755	850	875

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 図書館費

部・担当課	教育総務部・図書館課	担当課長氏名	佐藤　直志
予算科目事業	1 一般会計－100403－010100　　教育費・社会教育費・図書館費 図書館費・横手図書館費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市の地域資料の収集・保存を的確に行い、良質な図書等を提供し、市民への問題解決支援ができている。
小中学校図書館支援の充実を図り、「子ども読書活動推進計画」の目標が達成されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

①地域課題や住民ニーズ、社会的関心に配慮した資料、郷土資料の収集・提供・保管の実施。
②子どもの読書推進、子育て支援、職業応援、発酵文化、シニア層向けコーナーの充実、資料配架の刷新により、新規利用を開拓。
③「横手市読書活動推進計画」に基づき、関係各課所との連携強化による基本目標の達成。

④ 根 拠 法 令	図書館法、社会教育法	⑤ 関 連 計 画	横手市生涯学習推進計画第4次計画 横手市読書活動推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・資料収集方針による計画的な蔵書構築（図書購入費：20,157千円、22,157冊）　・魅力的な書架構築、開架展示を工夫した　・閲覧、貸出、複写、レファレンスサービスによる図書館サービスの提供した（貸出：280,613冊、複写：3,019枚、レファレンス：2,489件）　・各種イベントの企画立案及び実施　・施設の維持管理　・6館連携強化による図書館サービスの充実
令和 7年度（決算）	・資料収集方針による計画的な蔵書構築（図書購入費：20,170千円、11,505冊）　・魅力的な書架構築、開架展示を工夫した　・閲覧、貸出、複写、レファレンスサービスによる図書館サービスの提供（貸出：302,025冊、複写：3,766枚、レファレンス：3,463件）　・各種イベントの企画立案及び実施　・施設の維持管理　・6館連携強化による図書館サービスの充実
令和 8年度（計画）	①資料収集方針による計画的な蔵書構築　②魅力的な書架構築、開架展示の工夫　③閲覧、貸出、複写、レファレンスサービスによる図書館サービスの提供　④Ao-naと連携したイベントの企画立案及び実施　⑤施設の維持管理　⑥6館連携強化による図書館サービスの充実
令和 9年度（計画）	①資料収集方針による計画的な蔵書構築　②魅力的な書架構築、開架展示の工夫　③閲覧、貸出、複写、レファレンスサービスによる図書館サービスの提供　④Ao-naと連携したイベントの企画立案及び実施　⑤施設の維持管理　⑥6館連携強化による図書館サービスの充実

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	年間貸出冊数（個人）の増加				
		単位	冊	目標値	290,800	290,800	290,800	290,800	290,800
				実績値	234,628	247,769	268,767		
	2	区分	活動	指標	年間児童書貸出冊数の増加				
		単位	冊	目標値	146,600	146,600	146,600	146,600	146,600
				実績値	125,426	122,762	125,637		
	3	区分	活動	指標	年間新規利用登録者数の維持				
		単位	人	目標値	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650
				実績値	677	1,946	1,256		

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,213	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2	1	12	1	0
	(e) その他特定財源	35	37	47	46	48
	(f) 一般財源	142,280	141,192	160,793	152,254	134,301
事業費の小計		144,530	141,230	160,852	152,301	134,349

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	100403 01 横手図書館 横手図書館費		74,880	82,261	33	82,228	87,328	71,703
2	100403 01 増田図書館 増田図書館費		9,765	7,831	3	7,828	7,919	8,039
3	100403 01 平鹿図書館 平鹿図書館費		9,740	7,822	2	7,820	7,980	7,967
4	100403 01 雄物川図書館 雄物川図書館費		17,277	19,142	6	19,136	18,935	17,790
5	100403 01 大森図書館 大森図書館費		14,155	13,284	10	13,274	12,930	12,353
6	100403 01 十文字図書館 十文字図書館費		14,313	16,384	5	16,379	17,209	16,497
7	100403 01 雄物川図書館 雄物川図書館費（建設）		1,100	14,128	0	14,128	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 増田まんが美術館事業

部・担当課	まちづくり推進部・横手の未来ともにつくる課	担当課長氏名	髙橋　美貴子
予算科目事業	1 一般会計－100404－030100　　教育費・社会教育費・芸術文化振興費 増田まんが美術館事業・増田まんが美		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び観光客等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

豊かな感性と想像力の醸成の場として、さらには日本を代表するマンガ原画収蔵の拠点として、マンガ文化のさらなる発展に大きな役割を果たすとともに、地域活性化に結び付くような施設にする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

マンガ原画を文化財として研究する研究員や学芸員を配置し、まんが美術館がマンガ文化の発展に貢献する施設になるよう運営体制を整える。また、より近くでマンガ原画を鑑賞することができ、「集い」「学び」「体感」できる施設とし、人を育て、人から育てられ、多くの人々に親しまれる美術館運営の為の準備を行う。さらには、市民と協働した情報発信を展開し、地域への愛着や誇りの醸成に活かす。

④ 根 拠 法 令	文化観光推進法	⑤ 関 連 計 画	横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画・横手市マンガ活用後期基本計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・増田まんが美術館指定管理【入館者数67,926人、美術館内及び町並み連動特別企画展(8回)、マンガ原画収蔵事業(収蔵数累計182名、485,017点)】・横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画に基づく事業【まんが美術館案内機能強化事業、マンガバス（まんが美術館PRバス）事業】・まんが美術館の情報発信【マンガ瓦版の発行(4回)、ＰＲサポーター事業(新規登録6件・減1件・計40件)・マンガ活用推進事業【校外学習受入、横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクト(98名掲載、製本数602頁250冊)・マンガ版ビブリオバトル（中学生5名・大人3名）】
令和 7年度（決算）	・増田まんが美術館指定管理【入館者数77,487人、美術館内及び町並み連動特別企画展7回、マンガ原画収蔵事業(収蔵数累計182名、486,992点)】 ・マンガ活用推進事業【校外学習受入、横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクト(小学生68名･中学生30名掲載、マガジン製本数644頁250冊)、マンガ版ビブリオバトル(中学生6人･一般5人、来場者数65名) ・増田まんが美術館のPR及びインバウンド需要調査の実施(アンケート回答数91名) ・開館30周年記念事業(式典･レセプションの実施、マンガ関連表彰者12名、記念企画展･イベントの実施)
令和 8年度（計画）	・マンガ文化の推進に係る経費（システムに関する経費、各種負担金等）・まんが美術館指定管理に係る経費・マンガの教育活用に係る経費
令和 9年度（計画）	・マンガ文化の推進に係る経費（システムに関する経費、各種負担金等）・まんが美術館指定管理に係る経費・マンガの教育活用に係る経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	まんが美術館入込客数				
		単位	人	目標値	155,000	160,000	160,000	160,000	160,000
				実績値	108,053	67,926	77,487		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,787	3,682	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,030	0	0	0	0
	(f) 一般財源	99,572	99,843	111,089	103,762	105,362
事業費の小計		103,389	103,525	111,089	103,762	105,362

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	日本を代表するマンガ原画収蔵の拠点である増田まんが美術館の魅力やマンガ文化について、増田の町並みと連携して市内外に発信することで、横手市の魅力をＰＲする有効な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体でマンガをまちづくりに活用することで、横手市のＰＲにつながりさまざまな経済効果をもたらす有効な事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	増田まんが美術館はすべての市民がマンガ文化に触れ、その魅力を実感することができる施設である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	まんが美術館の入館者増加のためにはより収益性の高い企画展の開催が求められるが、費用や著作権などの制約があり、実施が難しい状況である。また、来館者の満足度向上に向けた取り組みが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	マンガを活用した事業は、市はもとより全国的にも珍しい取り組みである。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	まんが美術館があるという特別な環境を生かし、マンガの魅力を活用した子どもの教育を進めることで豊かな心が育まれるほか、社会教育にも活用することで市民に豊かな学びと文化を提供できる。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	美術館の管理運営は指定管理制度を活用しているが、マンガ文化を教育、郷土愛の醸成、市の魅力発信につなげる業務は市と指定管理者がその方向性を共有し、共創により実施するものである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	美術館の適正な運営管理に必要な人員配置、原画の収蔵スペースの不足、物価高騰による影響など、新たな問題や課題が発生している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	同様の他施設と比較しても適正である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　7×3　＋　7×3
総合評価点		７８	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
当初の入館者数の目標達成に向け、学校教育はもとより生涯学習への美術館活用を進めるため、子どもだけでなく大人も楽しめるワークショップ等のコンテンツを作るとともに、美術館を起点に賑わいを市内全体に波及させるため、地域とさらに連携しながら事業を実施したい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100404	03 横手の未来ともにつくる課	7,067	3,148	0	3,148	5,756	3,165
	増田まんが美術館費							
2	100404	03 横手の未来ともにつくる課	90,508	95,568	0	95,568	95,568	96,711
	増田まんが美術館費（債務負担）							
3	100404	03 横手の未来ともにつくる課	3,550	3,677	0	3,677	1,486	4,399
	マンガ活用推進事業							
4	100404	03 横手の未来ともにつくる課	0	0	0	0	952	0
	増田まんが美術館費（建設）							
5	100404	03 横手の未来ともにつくる課	2,400	1,040	0	1,040	0	1,087
	増田まんが美術館情報発信強化事業							
6	100404	03 横手の未来ともにつくる課	0	7,656	0	7,656	0	0
	増田まんが美術館開館30周年記念事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0024 生涯学習館費

部・担当課	教育総務部・生涯学習課	担当課長氏名	髙田寛久
予算科目事業	1 一般会計－100401－989700　　教育費・社会教育費・社会教育総務費　生涯学習館費・生涯学習館費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	－	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、市内在勤者、市内通学者、観光客

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

施設コンセプト「～人と人とが『つどい、つながる』交流拠点～」を実現し、誰にでも開かれた場所として、幅広い年代の人々がいつでも心地よく集える交流拠点となっている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生涯学習館費】円滑な施設の運営と適正な維持管理の実施
【生涯学習館利用促進事業】市民の豊かな学びを多面的にサポートするソフト事業の企画立案と実施

④根拠法令		⑤関連計画	
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・施設の運営と維持管理【生涯学習館Ao-naの利用状況（R6.9.14開館）】開館日数195日、入館者数252,338名、貸館利用件数181件 ・Ao-naオープニングセレモニー、開館記念イベントの実施（期間中来館者23,217名） ・市民の豊かな学びを多面的にサポートするソフト事業の実施①作家招聘事業（3回実施、323名）②Ao-naミニシネマ（5回実施、252名）③Ao-na保健室（12回実施、52名）④Ao-na　classic（2回実施、224名）⑤雪まつりin Ao-na(8,026名)
令和 7年度（決算）	【生涯学習館Ao-naの利用状況】・開館日数358日、入館者数430,610名、貸館利用件数372件 【ソフト事業の実施】①YOKOTEモーターフェア（8,268名）②Ao-na開館1周年記念イベント（壇蜜氏朗読会ほか）（5,318名）③作家招聘事業（3回実施　260名）④あお学（あおーな学びのワークショップ事業）（6回実施　187名）⑤声優朗読会＆トークイベント（100名）⑥横手の送り盆まつりinAo-na（19,684名）⑦Ao-naかまくらイベント（8,314名）⑧その他Ao-naミニシネマ、Ao-na保健室、Ao-naClassic、レコード鑑賞会等
令和 8年度（計画）	①施設の運営と維持管理　②市民の豊かな学びを多面的にサポートするソフト事業の実施
令和 9年度（計画）	①施設の運営と維持管理　②市民の豊かな学びを多面的にサポートするソフト事業の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間入館者数				
		単位	人	目標値	0	300,000	300,000	300,000	
				実績値	0	252,338	430,610		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	285	876	711	1,904
	(e) その他特定財源	0	545	1,142	1,036	0
	(f) 一般財源	5	47,111	65,536	70,697	81,724
事業費の小計		5	47,941	67,554	72,444	83,628

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100401 98 生涯学習課 生涯学習館費		42,703	60,450	2,018	58,432	0	0
2	100401 98 生涯学習課 生涯学習館利用促進事業		5,238	7,104	0	7,104	0	0
3	100402 05 生涯学習課 生涯学習館費		0	0	0	0	66,718	77,376
4	100402 05 生涯学習課 生涯学習館利用促進事業		0	0	0	0	5,726	6,252

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 重要伝統的建造物群保存事業

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－100404－040100　　教育費・社会教育費・芸術文化振興費　重要伝統的建造物群保存事業・重要伝		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市増田伝統的建造物群保存地区内の住民と建造物

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地区内建造物を往時の状態に復原するなど町並みを整備するとともに、防災計画に基づく災害に強いまちづくりを推進。更にその活用について検討し「住んで良し、訪れて良し」のまちづくりを推進する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【重要伝統的建造物群保存活用事業】地区の維持に関連する保存団体等へ支援、修理修景相談会開催等。
【重要伝統的建造物群保存事業（保存整備事業）（建設）】国庫補助等を活用した修理修景事業を実施。

④ 根 拠 法 令	文化財保護法	⑤ 関 連 計 画	横手市増田伝統的建造物群保存地区保存計画 横手市増田伝統的建造物群保存地区防災計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・修理修景事業1件1棟（千田彦右衛門家付属屋）実施 ・地区内の防災訓練及び救急救命講習を実施 ・保存審議会開催及び保存地区に関する国・県担当者による現地指導を実施
令和 7年度（決算）	・修理修景事業10件9棟1基（【修理】日の丸醸造西蔵、山吉肥料店土蔵・付属屋、旧長江八兵衛商店座敷蔵　【防災設備】旧佐々虎呉服店店蔵・主屋・鞘付土蔵　【直営】下タ堰石積護岸測量設計） ・地区内の防災訓練を実施（易操作性消火栓及び水消火器による消火訓練） ・保存審議会開催及び保存地区に関する国・県担当者による現地指導を実施
令和 8年度（計画）	①修理修景事業を実施。修理相談会を開催。 ②防災計画に基づく防災施設等整備の実施。 ③保存審議会及び保存地区に関する国・県担当者による現地指導の開催。
令和 9年度（計画）	①修理修景事業を実施。修理相談会を開催。 ②防災計画に基づく防災施設等整備の実施。 ③保存審議会及び保存地区に関する国・県担当者による現地指導の開催。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	修理修景事業実施件数				
		単位	棟	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	4	1	10		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	成果	指標	防災に関する関係団体との行事実施件数（R3年度～）				
		単位	件	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	23,761	5,395	15,056	8,519	32,500
	(b) 県支出金	2,746	1,404	1,377	0	8,500
	(c) 地方債	0	0	0	4,500	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	423	0	0	0	0
	(f) 一般財源	15,636	9,120	9,245	3,453	12,380
事業費の小計		42,566	15,919	25,678	16,472	53,380

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市増田伝統的建造物群保存地区保存計画に基づく町並み景観を維持するための保存整備事業と、同地区の防災計画に基づく防災施設等事業を実施している。歴史的町並み景観の向上と防災に強いまちづくりにつながる事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	保存整備事業の実施により景観が向上し、その情報を発信することで重伝建地区への来訪者が増え、町並みに賑わいが創出される。周辺地域への波及効果も見られる。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	保存整備事業は重伝建地区内を対象にしているが、事業実施後の歴史的町並みの景観向上や建造物を活用した地域活性化の効果は、市内全域に影響している。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	保存整備事業は着実に進捗しており、今後も継続していくことが歴史的町並みの魅力向上につながる。防災施設等事業は、防災計画に基づき実施された防災に強いまちづくりのための事業である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	文化財単体での類似事業は存在するが、重伝建地区の町並みとして整備する事業はこの事業のみであり、統合の余地はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	歴史的文化遺産の保存と活用による地域活性化や観光振興に資する事業であり、市の魅力向上が図られる有効性の高い事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	文化財保護法により重伝建地区の保存のために必要な措置を講ずる必要があり、市で取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	保存整備事業については、国や県の補助事業のルールに基づき実施している。今後、所有者の高齢化や後継者問題等の理由により事業実施希望者が減少する恐れがあるため、各地域団体との対話や防災訓練の実施など地区住民との関係性を維持し、事業継続を図っていきたい。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	補助事業により、適切な受益者負担となっている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　７８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
保存整備事業は継続の事業である。防災施設等事業は今後、火災の早期発見早期通報設備の整備を中心とした事業として存続したい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100404	04 増田地域課	2,641	2,514	0	2,514	3,365	3,380
	重要伝統的建造物群保存活用事業							
2	100404	04 増田地域課	13,278	23,164	16,433	6,731	13,107	50,000
	重要伝統的建造物群保存事業（保存整備事業）（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0002 歴史まちづくり事業

部・担当課	教育総務部・伝統文化課	担当課長氏名	石田　正明
予算科目事業	1 一般会計－100404－989600　　教育費・社会教育費・芸術文化振興費 歴史まちづくり事業・地域遺産事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

地域特性を形成する地域遺産に関わる市民及び有形無形の歴史文化遺産とその活動。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域遺産調査等で得られた地域の歴史文化遺産とその特性を活用したまちづくりを推進する。
「歴史的風致維持向上計画」の推進と「歴史文化遺産保存活用地域計画（文化財保存活用地域計画）」を推進する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域遺産事業】令和3年7月に認定された、歴史文化遺産や地域の特性を保存・活用するための方針や行動計画を定めた「横手市歴史文化遺産保存活用地域計画」登載事業を推進し進捗評価を行う。
【歴史的風致維持向上計画推進事業】平成30年7月に認定された「横手市歴史的風致維持向上計画」登載事業を推進し進捗評価を行う。

④根拠法令	文化財保護法 歴史まちづくり法	⑤関連計画	横手市歴史的風致維持向上計画 横手市歴史文化遺産保存活用地域計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・「横手市歴史文化遺産保存活用地域計画」の計画期間4年目、計画に基づく111措置の実施 ・「横手市歴史文化遺産保存活用推進協議会」を2回開催、進行管理、評価と外部有識者による中間評価を実施 ・羽黒町上内町景観重点地区内の土地1筆（旧片野家住宅向い1,060.06㎡）の取得と所有権移転登記の実施 ・「横手市歴史的風致維持向上計画」の計画期間7年目、計画に基づく13事業の実施 ・「横手市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催、進行管理、評価を実施 ・北部重点環境整備方針に基づき旧片野家住宅秋の一般公開を実施（10/26～27延べ1,500人来場）
令和 7年度（決算）	・横手市歴史文化遺産保存活用地域計画（地域計画）の計画期間5年目、計画に基づく106措置の実施 ・横手市歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）の計画期間8年目、計画に基づく13事業の実施 ・両計画の協議会を各2回開催、進行管理と評価を実施 ・地域計画に関する庁内会議を1回、歴まち計画に関する庁内会議を2回開催したほか、関係課調整を適宜実施 ・市民大学講座3回：計65名、地域遺産探訪まちあるき4回：計44名、青山学院大学出前講座等2回：計136名 ・旧片野家住宅の維持管理と公開活用、5/16庭園公開200人、10/25一般公開180人、2/13～14かまくら2,500人来場
令和 8年度（計画）	・伝統文化総務費、伝統文化普及事業に分割統合
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	歴史まちづくりに関する計画に位置付けられた事業の実施件数				
		単位	事業	目標値	14	12	11	12	12
				実績値	15	13	13		
	2	区分	成果	指標	歴史文化遺産の把握や周知に関する取組の実施件数				
		単位	件	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	10	10	9		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,018	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,282	28,381	8,368	0	0
事業費の小計		13,300	28,381	8,368	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	歴史文化遺産保存活用地域計画及び歴史的風致維持向上計画に登載される事業は、歴史文化遺産や地域の特性をまちづくりに活用するために有効な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	地域固有の歴史文化遺産を市内外に広く情報発信したり、伝統文化を保存、継承したりする事業により、その価値付けが地域の活性化につながる有効な事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	市内各地の歴史文化遺産を掘り起こし、地域の活性化につなげることで、広く市民を対象とした事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	歴史文化遺産保存活用地域計画及び歴史的風致維持向上計画に基づく取組が順調に進められている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	歴史文化遺産や地域の特性をまちづくりに活用する事業であり、事業統合の余地はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	歴史文化遺産や地域の特性の保存・継承を図りながら、まちづくりに活用することが求められる有効性の高い事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	文化財保護法や歴史まちづくり法に則る事業であり、市が取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	歴史文化遺産保存活用地域計画と歴史的風致維持向上計画に記載される事業は、毎年度事業実施における進捗評価を実施し、見直しや改善を進めている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	歴史文化遺産は地域固有の資産であり、これを保存および活用する事業は、全ての市民及び団体を対象とするため。適切な受益者負担と考える。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和8年度は中事業の見直しを行い、伝統文化総務費と伝統文化普及事業に統廃合し、実施計画事業「歴史まちづくり事業」は廃止する。歴史文化遺産保存活用計画と歴史的風致維持向上計画に位置付けられた取組を計画的に実施するために、関係部局と連携し、地域の関係者とともに協議を重ねて継続して取り組みを進める。また、計画期間の終期が近づいているため、計画期間を通した成果と課題の把握を進める必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100404	98	伝統文化課						
	地域遺産事業			1,128	1,253	0	1,253	0	0
2	100404	98	伝統文化課						
	地域遺産事業（建設）			18,500	0	0	0	0	0
3	100404	98	伝統文化課						
	歴史的風致維持向上計画推進事業			8,753	7,115	0	7,115	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0003 伝統文化総務費

部・担当課	教育総務部・伝統文化課	担当課長氏名	石田　正明
予算科目事業	1 一般会計－100405－010100　　教育費・社会教育費・文化財保護費 伝統文化総務費・伝統文化総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

審議会等の運営を含む文化財保護事業のスムーズな運営

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・文化財および遺跡の調査ための体制整備
・文化財保護審議会等の運営
・史跡整備協議会等外部団体との連絡調整及び連携

④ 根 拠 法 令	文化財保護法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市文化財保護審議会の開催（R6.7.12）（R6.12.13）（R7.3.28書面開催） ・歴史的建造物調査の実施（5件）西部地区建造物調査の実施（1件） ・横手市資料館施設運営協議会の開催（R6.6.19） ・国及び県指定文化財の維持管理費等補助 （波宇志別神社神楽殿、佐藤家住宅、旧松浦家住宅、旧日新館）
令和 7年度（決算）	・横手市文化財保護審議会の開催（R7.7.17）（R8.2.25） ・歴史的建造物調査の実施（3件） ・横手市資料館施設運営協議会の開催（R7.7.18） ・国及び県指定文化財の維持管理費等補助 （波宇志別神社神楽殿、佐藤家住宅、旧松浦家住宅、旧日新館）
令和 8年度（計画）	・横手市文化財保護審議会、横手市資料館施設運営協議会の開催　・旧片野家と遺跡調査事務所の維持管理 ・横手市歴史文化遺産保存活用地域計画6/8年目、進行管理と協議会の実施　・大鳥井山遺跡管理計画の改訂検討 ・横手市歴史的風致維持向上計画期間9/10年目、進行管理と協議会の実施、最終評価・2期計画策定に向けた準備
令和 9年度（計画）	・横手市文化財保護審議会、横手市資料館施設運営協議会の開催　・旧片野家と遺跡調査事務所の維持管理 ・横手市歴史文化遺産保存活用地域計画7/8年目、進行管理と協議会の実施　・大鳥井山遺跡保存活用計画の策定 ・横手市歴史的風致維持向上計画期間最終年度、進行管理と協議会の実施、最終評価の実施、2期計画策定

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	国・県・市指定、登録文化財の数				
		単位	件	目標値	271	273	273	273	
				実績値	276	277	281		
	2	区分	活動	指標	説明板・標柱の補修設置件数（R4年度～）				
		単位	件	目標値	5	5	5	5	
				実績値	5	10	8		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	2,000	0	0	3,000
	(b) 県支出金	21	21	21	21	21
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	68	0
	(f) 一般財源	13,760	18,249	16,897	25,713	29,089
事業費の小計		13,781	20,270	16,918	25,802	32,110

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100405	01 伝統文化課	20,270	16,918	21	16,897	16,371	16,371
	伝統文化総務費							
2	100405	01 伝統文化課	0	0	0	0	9,431	15,739
	歴史まちづくり費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 文化財調査保存事業

部・担当課	教育総務部・伝統文化課	担当課長氏名	石田　正明
予算科目事業	1 一般会計－100405－020100　　教育費・社会教育費・文化財保護費 文化財調査保存事業・文化財調査保存事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市民が郷土の歴史に愛着を持ち、誇りを持っている。
郷土の歴史の誇りや愛着が定住につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・後三年合戦シンポジウム等を開催し、市民への情報提供及びその意義について講演を行う。
・大鳥井山遺跡の保存活用計画策定にあたり、策定委員会を組織し、大鳥公園の管理運営関係部局と協議を行い、適切な保存管理を前提としての観光資源等の活用方法を模索する。

④根拠法令	文化財保護法	⑤関連計画	横手市歴史文化遺産保存活用地域計画・史跡大鳥井山遺跡保存管理計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H22年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・後三年合戦シンポジウム　令和6年12月14日（日）Ao-na　参加者95人 講師　中央大学教授白根靖大氏他5名 ・普及冊子『横手市の山城×赤色立体地図』7,000部の作成
令和 7年度（決算）	・出羽金沢城跡の国指定に係る文化庁協議の実施（令和7年8月4日） ・出羽金沢城跡の国の史跡指定への申請 ・史跡大鳥井山遺跡の草刈等環境整備の実施 令和8年度から「後三年合戦保存活用整備事業」「文化財保護総務費」「文化財普及活動事業」の各一部を本事業に統合
令和 8年度（計画）	・文化遺産の把握と建造物及び指定候補の詳細調査　・指定等文化財の維持管理支援及び保存や環境整備の実施 ・現況把握のためのパトロールと建造物保存相談会の実施　・大鳥井山遺跡の土地公有化のための不動産鑑定 ・善明庵のマツ既設基礎コンクリート撤去工事
令和 9年度（計画）	・文化遺産の把握と建造物及び指定候補の詳細調査　・指定等文化財の維持管理支援及び保存や環境整備の実施 ・現況把握のためのパトロールと建造物等保存相談会の実施　・大鳥井山遺跡の土地公有化

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	シンポジウム・公開講座等参加者数（単位：人）				
		単位	人	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	290	95	431		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,250	1,179	0	0	6,000
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	32	0	0
	(f) 一般財源	1,294	1,280	266	5,414	5,853
事業費の小計		2,544	2,459	298	5,414	11,853

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	出羽金沢城跡の国史跡指定で価値づけとしては一定の成果が出たが、今後もファンやサポーターを増やすための周知事業は継続していく必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	国史跡指定された文化遺産は市にとってもの貴重な財産であり、それを保存・活用を推進することは市全体の公益性を向上させる。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	国史跡指定された文化遺産は市にとってもの貴重な財産であり、それを保存・活用を推進することは市全体の公益性を向上させる可能性があることからすべての市民がサービス対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	出羽金沢城跡の国史跡指定で価値づけは一定の成果といえる。今後に向けては、それ以外の文化遺産を含めた保存・活用を表す目標値の設定が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	文化遺産の保存や活用、周知に関する事業は、総合計画や歴史文化遺産保存活用地域計画に紐づけられている事業であることから、施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国史跡指定に関する手続きは、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	国指定史跡を含めた今後の文化遺産の活用方針については、検討や庁内調整をしたうえで見直しを行っていく必要がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	指定等文化財のうち個人所有のものについては、所有者が適切な管理を行っている。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		７７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

出羽金沢城跡は、史跡の適切な保存管理を図り、「価値の共有」と「新たな発見」のテーマをもとに、周知と活用を進める。
文化財の調査と保存を包括的に実施するため中事業の見直しを行い、「後三年合戦保存活用整備事業」「文化財保護総務費」「文化財普及活動事業」の各一部を統合し、令和8年度から「文化財調査保存事業」として実施する。本事業では、文化遺産の現状把握及び詳細調査と、指定等文化財の保存に関する事業を実施する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100405	02 伝統文化課	2,459	298	32	266	4,534	11,853
	文化財調査保存事業							
2	100405	02 伝統文化課	0	0	0	0	880	0
	文化財調査保存事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 埋蔵文化財発掘調査事業

部・担当課	教育総務部・伝統文化課	担当課長氏名	石田　正明
予算科目事業	1 一般会計－100405－030100　　教育費・社会教育費・文化財保護費 埋蔵文化財発掘調査事業・埋蔵文化財発		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内遺跡（埋蔵文化財）が、地域開発と調和を図りながら、保存と活用が取り組まれている。
市内遺跡（埋蔵文化財）が、地域活力の一助となっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市内分布調査事業（国庫補助）】・・・県営ほ場整備事業等の開発行為に伴う埋蔵文化財の遺跡分布調査と遺跡確認調査を行う。
【後三年合戦関連遺跡調査費】・・・・・後三年合戦関連遺跡群の遺跡内容確認調査等を行う。
【埋蔵文化財緊急調査事業費】・・・・・公共機関や民間開発行為に伴う埋蔵文化財の詳細分布調査と本発掘調査を行う。
【市内本調査事業（県委託・国補助）】・県営ほ場整備事業に伴う県から受託した記録保存を目的とした発掘調査を行う。

④ 根 拠 法 令	文化財保護法	⑤ 関 連 計 画	・横手市教育ビジョン・風致維持向上計画・歴史文化遺産保存活用地域計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H18年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市内分布調査　①ほ場整備事業に伴う試掘調査(下吉田・みたけ地区) 11/5～21、対象面積479,000㎡ ②開発行為に伴う試掘調査（沼館城跡1件、条里制跡2件、平鹿地域1件）③『分布調査報告書』の刊行 ・後三年合戦関連遺跡調査　①整備指導委員会・史跡検討会の開催　12/13　②『金沢城跡総括報告書』の作成 ・市内本調査　①ほ場整備に伴う下村遺跡の発掘調査及び整理（平鹿町下吉田地内）4/22～3/21、面積2,890㎡ ②『蟹沢遺跡発掘調査報告書』の刊行
令和 7年度（決算）	・「金沢城跡総括報告書」の刊行 ・沼柵推定地及びその関連遺跡の調査に係る後三年合戦関連遺跡調査指導委員会（準備委員会）の開催（10/16） ・市内分布調査　民間開発行為に伴う事前の分布調査3件の実施及び「遺跡詳細分布調査報告書」の刊行 ・八柏村表遺跡の本発掘調査及び整理作業の実施（大雄八柏字村表地内、期間5/1～3/19、面積5,650㎡） ・下村遺跡の報告書作成（期間6/1～3/13） 令和8年度は「後三年合戦関連遺跡調査費」他3事業を本事業に統合
令和 8年度（計画）	・後三年合戦関連遺跡の学術調査　1遺跡（沼館城跡） ・県営ほ場整備事業に伴う緊急発掘調査と報告書刊行　2遺跡（杉沢谷地中C遺跡、八柏村表遺跡） ・開発行為に伴う遺跡分布調査と緊急発掘調査及び報告書刊行
令和 9年度（計画）	・後三年合戦関連遺跡の学術調査（雄物川地域） ・県営ほ場整備事業に伴う緊急発掘調査と報告書刊行 ・開発行為に伴う遺跡分布調査と緊急発掘調査及び報告書刊行

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	遺跡分布調査・遺跡確認調査面積				
		単位	ha	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	28	48	3		
	2	区分	成果	指標	発掘調査				
		単位	㎡	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績値	2,500	2,890	5,650		
	3	区分	成果	指標	国史跡指定件数				
		単位	件	目標値	1	2	2	2	2
				実績値	1	1	2		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,000	456	2,596	3,010	3,010
	(b) 県支出金	30,640	29,320	31,211	13,182	13,922
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,862	3,666	6,158	5,820	4,703
事業費の小計		39,502	33,442	39,965	22,012	21,635

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	文化財保護法により実施される事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	埋蔵文化財は国民の共有財産であるとともに、地域の成り立ちやストーリーを紐解く財産であるともいえるため、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	埋蔵文化財は国民の共有財産であるとともに、地域の成り立ちやストーリーを紐解く財産であるともいえるため、すべての市民がサービス対象である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標達成に向けて着実に進捗しているが、国や県の事業実施に伴い、実績値が変わる事業である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	文化財保護法により実施される事業であることから、他の部局において類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	埋蔵文化財の発見と適切な対処により円滑な開発行為の進捗に寄与するため、実施が望ましい事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間等の同種サービス提供の事例があるもの、市が主体的に取り組む必要性が高い事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	埋蔵文化財緊急発掘調査は、その年の開発面積によって遺跡の調査面積が増減するため業務内容の改善は難しい状況である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国庫補助金、県補助金、県委託金及び一般財源であり、他自治体と同様のサービス水準である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　7×3　＋　8×3
総合評価点		８５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

埋蔵文化財の発掘調査には、県営ほ場整備事業や民間開発に対応した緊急調査と、後三年合戦関連遺跡調査のような学術調査がある。このうち、緊急調査は受託事業の場合が多く、他自治体も調査を民間委託する事例もあるため、今後の事業規模の推移を踏まえて事業手法の見直しも検討する必要がある。
埋蔵文化財調査を包括的に実施するため、令和8年度から「後三年合戦関連遺跡調査費」他3事業を本事業に統合して実施する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100405	03 伝統文化課	1,871	6,975	3,115	3,860	7,364	6,774
	埋蔵文化財発掘調査事業							
2	100405	03 伝統文化課	31,571	32,990	30,692	2,298	14,648	14,861
	埋蔵文化財発掘調査事業（県委託）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 伝統文化普及事業

部・担当課	教育総務部・伝統文化課	担当課長氏名	石田　正明
予算科目事業	1 一般会計－100405－040100　　教育費・社会教育費・文化財保護費 伝統文化普及事業・地域遺産普及活動事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内の文化財について情報発信を行い、地域の歴史文化への関心の向上を図る
身近な地域の歴史・文化を大切にし、次代へ伝えるとともに、まちづくりの資源として活かす

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・文化財一覧作成などを行い文化財の市民への普及啓発を図る
・国、県、市指定文化財等の維持管理及び所有者への支援
・資料館での通常展示や特別展の開催、パンフレットの作成

④ 根 拠 法 令	文化財保護法	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン 横手市歴史的風致維持向上計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・資料館特別展パンフレット、ポスターを作成（雄物川郷土資料館特別展4回分作成） ・郷土文化保存伝承事業について、標柱・説明板等の現況調査（342か所）、文化財探訪（6回）及び講話（2回）等を事業委託し実施
令和 7年度（決算）	・雄物川郷土資料館特別展を4回開催（うち3回は市制施行20周年記念展示）第1回「収蔵品展」、第2回「ここまでわかった!!金沢城跡」、第3回「横手のタカラ」、第4回「＃横手を20年掘ってみた。」のポスター印刷等周知経費 ・民俗行事のデジタル映像撮影実施（1件）　・指定文化財の説明板修理実施（2件） ・標柱・説明板等現況調査（328件）と更新・新設（6件）と市内史跡の草刈り等を実施 ・伝統行事体験教室を実施（1/7大雄地域・鹿島人形作成、1/9増田地域・ミニ梵天作成） ・市内無形民俗行事デジタル映像を市YouTube（22件）及びデジタルサイネージ（12件）で公開
令和 8年度（計画）	・文化遺産や伝統文化を知り、体験し学ぶ機会（資料館特別展、文化財パンフレット作成、民俗芸能発表、伝統行事体験教室）　・見学環境の整備（標柱説明板更新、郷土文化普及啓発事業） ・より深く知り、学ぶ機会（金沢城跡指定報告会、地域遺産まちあるき、青山学院大学出前講座等）
令和 9年度（計画）	・文化遺産や伝統文化を知り、体験し学ぶ機会（資料館特別展、文化財パンフレット作成、民俗芸能発表、伝統行事体験教室）　・見学環境の整備（標柱説明板更新、郷土文化普及啓発事業） ・より深く知り、学ぶ機会（後三年合戦調査説明会、地域遺産まちあるき、市民大学講座等）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	指定文化財維持管理支援件数（R4年度～）				
		単位	件	目標値	4	4	4	4	
				実績値	4	4	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	135	163	136	150	160
	(f) 一般財源	2,805	2,329	2,151	2,862	2,712
事業費の小計		2,940	2,492	2,287	3,012	2,872

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	地域の文化財や伝統文化の周知発信や見学環境の整備、また伝統行事体験教室等教育への活用事業の実施により、市民の関心の喚起を図り、次世代への継承に繋げる事業であるため、今後も継続して実施する必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	文化財や伝統文化の価値や魅力を市内外に広く情報発信したり活用したりすることにより、地域の活性化のみならず、横手市全体の魅力や価値の向上に繋がる有効な事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	文化財や伝統文化の保存・活用及び継承に繋げるための事業であり、当事業の対象は全市民である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	市内史跡等の維持管理による環境整備のほか文化財や伝統文化の周知、活用も着実に進められている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	市内の文化財や伝統文化に関する取組であり、事業統合の余地はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	文化財や伝統文化の価値や魅力を広く周知、活用し、継承に繋げるための事業であることから貢献度は高い。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	指定文化財や伝統文化に関する事業であり、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業を随時見直しし、改善を行いながら事業を進めている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	文化財や伝統文化の保存・活用及び継承に繋げるための事業であり、全市民及び団体を対象とするため、適切な受益者負担となっている。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
文化財や伝統文化の価値や魅力を広く周知し、観光・まちづくりに関する活用事業や、教育に関する活用事業を継続して実施することで、継承するための環境整備と人材育成の機会を創出する必要がある。事業の実施にあたっては、ファンやサポーターの獲得を意識し、地域バランスを考慮するほか、内容に応じて参加者のターゲットを絞り込むなどの工夫を行うことで、より参加者のニーズに応える内容の事業として行く。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	100405 04 伝統文化課 地域遺産普及活動事業	2,492	2,287	136	2,151	2,370	2,010
2	100405 04 伝統文化課 「横手を学ぶ郷土学」推進事業	0	0	0	0	642	862

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 資料館費

部・担当課	教育総務部・伝統文化課	担当課長氏名	石田　正明
予算科目事業	1 一般会計－100406－010100　　教育費・社会教育費・資料館費 資料館費・資料館管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	－	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び観光客

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

郷土の歴史や民俗について、来館者が学びやすい施設、サービスを提供する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【雄物川郷土資料館費】・・施設及び収蔵品の維持管理、特別展の実施
【雄物川民家苑費】・・施設及び収蔵品の維持管理、各種行事への利用促進
【ほろわの里資料館費】【平鹿農村文化伝承館費】・・施設及び収蔵品の維持管理
【金沢資料館費】・・施設及び収蔵品の維持管理、特別展示の実施

④ 根 拠 法 令	横手市郷土資料館施設設置条例 横手市郷土資料館施設管理運営規則	⑤ 関 連 計 画	横手市教育ビジョン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・雄物川郷土資料館、後三年合戦金沢資料館、ほろわの里資料館、平鹿農村文化伝承館の維持管理と運営を実施した ・雄物川郷土資料館（入館者1,807人）・後三年合戦金沢資料館（入館者3,346人）・ほろわの里資料館（入館者118人）・平鹿農村文化伝承館（入館者306人）
令和 7年度（決算）	・4施設の維持管理実施（解説員人件費（6人）光熱水費、委託料ほか） ・雄物川郷土資料館開館　特別展を4回実施①収蔵品展（104人）、②ここまでわかった！！金沢城跡（253人）、③横手のタカラ（825人）、④＃横手を20 年掘ってみた。（233人）、ギャラリートーク5回実施 ・後三年合戦金沢資料館　9/9より企画展示「出羽金沢城跡」コーナーを設置、ギャラリートーク6回 ・ほろわの里資料館（入館者数4月から11月まで104人） ・平鹿農村文化伝承館（入館者数4月から11月まで38人）
令和 8年度（計画）	・資料館施設（雄物川郷土資料館・後三年合戦金沢資料館・ほろわの里資料館・平鹿農村文化伝承館）と旧植田小等の所管施設及び資料の維持管理経費　・会計年度任用職員（解説員）の報酬　・民俗資料等の移転と整理（旧植田小、旧十字館から南庁舎、平鹿農村文化伝承館）　・雄物川民家苑の修繕関係費用と指定管理委託料
令和 9年度（計画）	・資料館施設（雄物川郷土資料館・後三年合戦金沢資料館・ほろわの里資料館・平鹿農村文化伝承館）と旧植田小等の所管施設及び資料の維持管理経費　・会計年度任用職員（解説員）の報酬 ・雄物川民家苑の修繕関係費用と指定管理委託料

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	資料館等（雄物川郷土資料館・後三年合戦金沢資料館）の利用者数				
		単位	人	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	
				実績値	4,928	5,153	4,684		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	296	189	283	305	305
	(e) その他特定財源	11	10	12	10	10
	(f) 一般財源	22,208	26,391	33,435	30,320	30,313
事業費の小計		22,515	26,590	33,730	30,635	30,628

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100406	01 伝統文化課	19,441	20,636	295	20,341	23,567	23,567
	資料館管理費							
2	100406	01 雄物川地域課	772	6,717	0	6,717	691	684
	雄物川民家苑費							
3	100406	01 雄物川地域課	6,377	6,377	0	6,377	6,377	6,377
	雄物川民家苑費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策３】

基本目標

美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり

【政策３】

豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます《生活環境》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進			
交通安全対策事業	716		
防犯対策事業	720		
市民相談事業	724		
空家等対策事業	728		
災害見舞金支給費	732		
交通安全施設整備事業	736		
災害弔慰金支給事業	740		
【施策3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全			
墓園費	744		
環境保全管理費	748		
環境美化推進事業	752		
生活衛生営業等事務費	756		
公害対策総務費	760		
休廃止鉱山坑廃水処理事業	764		
斎場施設費	768		
衛生センター費	772		
自然体験型交流施設費	776		
緑化推進事業	780		
森林病害虫等防除事業	784		
有害鳥獣対策事業	788		
水と緑の森づくり事業	792		
いこいの森費	796		
やまばと山荘費	800		
斎場施設整備事業	804		
【施策3-3】災害に強いまちづくりの推進			
避難行動要支援者名簿整備事業	808		
救急医療機器管理費	812		
河川総務費	816		
急傾斜地崩壊対策費	820		
河川維持管理費	824		
常備消防経費	828		
常備消防施設等整備事業	832		
非常備消防事業	836		
消防施設管理費	840		
消防施設整備事業	844		
水道事業（消防水利施設）費	848		
災害対策費	852		
防災センター管理費	856		
河川災害復旧事業	860		
防災・減災まちづくり学習事業	864		
地域防災緊急整備事業	868		
コミュニティー助成事業（地域防災組織育成）	872		
【施策3-4】循環型社会の一層の推進			
清掃総務管理費	876		
ごみ収集事業	880		
クリーンプラザよこて費	884		
最終処分場管理費	888		
ペットボトル等処理施設費	892		
地域資源循環施設費	896		
ペットボトル等処理施設整備事業	900		
【施策3-5】地球温暖化対策の推進			
気候変動対策事業	904		
カーボンオフセット地球温暖化対策費	908		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0003 交通安全対策事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020113－010100　　総務費・総務管理費・交通防犯対策費　交通安全対策事業・交通安全対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民、交通指導隊

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

交通安全対策を推進し、交通事故の減少を目指す。交通秩序の保持及び交通事故防止のため、交通指導隊の活動を支援する。
ともすけ共済の加入促進による被災者支援を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【交通安全対策事業】…対策会議の開催、交通安全啓発活動、ともすけ共済の加入促進と適正な事務処理
【交通安全対策事業（各地域）】…横手市各地域交通安全関係団体への補助、交通指導員への謝金の支払、交通指導車維持管理
【交通指導隊事業】…基準に基づく貸与制服・装備品の購入、貸与品の劣化交換、業務中の災害・事故に備えた保険加入

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市交通安全計画及び交通安全実施計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・交通安全対策会議の開催（書面開催） ・交通死亡事故ゼロ日達成表彰（9/12雄物川地域1,000日達成） ・新入学児童に対する黄色い帽子の配付　303千円 ・交通指導員の制服購入（新規・貸与品劣化・破損による交換）587千円 ・ともすけ共済の加入促進ＰＲ ・交通安全協会等の各団体へ補助金支出
令和 7年度（決算）	・交通死亡事故ゼロ日達成表彰（12/6山内地域1,000日達成） ・新入学児童へ交通安全用品の配付（187,308円） ・交通安全関係団体への補助金支出 ・ともすけ共済の加入促進ＰＲ ・交通指導員の制服購入（新規・貸与品劣化・破損による交換） ・交通指導員へ謝金支払い（各地域）
令和 8年度（計画）	・交通安全対策会議の開催（計画策定時開催） ・交通安全啓発活動の実施、ともすけ共済の適正な事務処理と加入促進 ・関係団体への補助金支出、交通指導員へ謝金支払い、交通指導隊の貸与制服の購入・劣化交換を実施
令和 9年度（計画）	・交通安全啓発活動の実施、ともすけ共済の適正な事務処理と加入促進 ・関係団体への補助金支出、交通指導員へ謝金支払い、交通指導隊の貸与制服の購入・劣化交換を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	交通安全対策会議の開催回数				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	0		
	2	区分	活動	指標	ともすけ共済加入件数				
		単位	件	目標値	12,000	12,000	7,500	7,500	7,500
				実績値	7,356	6,969	6,545		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	311	298	299	289	280
	(f) 一般財源	17,257	16,687	16,543	19,917	20,369
事業費の小計		17,568	16,985	16,842	20,206	20,649

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	警察署や交通安全県警団体等と連携し、組織的に取り組む事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全域で取り組む事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全ての市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	交通安全啓発は、警察署、交通安全協会等と連携し、継続した取り組みが必要である。 人口減少が進み、かつ民間の手厚い保険制度もあることから、ともすけ共済の加入件数は年々減少傾向にある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	安心して暮らせるまちづくりを目指すために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	警察署や交通安全協会等と連携し、市が主体的に取り組む事業であるが、民間でも交通安全啓発の取組みは広がっている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業を効率的・効果的に進めるには改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	交通安全協会の活動等は市民ボランティアに頼っている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手警察署、交通安全協会、交通指導隊等との連携・協力により、交通事故防止対策等の課題に対応するため、継続して行うべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020113	01 地域づくり支援課	404	359	299	60	298	298
	交通安全対策事業							
2	020113	01 横手地域課	3,097	3,211	0	3,211	3,879	4,082
	交通安全対策事業（横手地域）							
3	020113	01 増田地域課	1,469	1,478	0	1,478	1,858	1,862
	交通安全対策事業（増田地域）							
4	020113	01 平鹿地域課	2,015	2,150	0	2,150	2,275	2,509
	交通安全対策事業（平鹿地域）							
5	020113	01 雄物川地域課	1,860	1,735	0	1,735	2,073	2,073
	交通安全対策事業（雄物川地域）							
6	020113	01 大森地域課	1,900	1,903	0	1,903	2,359	2,359
	交通安全対策事業（大森地域）							
7	020113	01 十文字地域課	2,462	2,154	0	2,154	2,757	2,759
	交通安全対策事業（十文字地域）							
8	020113	01 山内地域課	1,477	1,566	0	1,566	1,846	1,846
	交通安全対策事業（山内地域）							
9	020113	01 大雄地域課	1,715	1,733	0	1,733	1,823	1,823
	交通安全対策事業（大雄地域）							
10	020113	01 地域づくり支援課	586	553	0	553	1,038	1,038
	交通指導隊事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 防犯対策事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020113－020100　　総務費・総務管理費・交通防犯対策費 防犯対策事業・防犯対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
防犯対策事業を通じて、市民が安心して暮らせるまちづくりを進める。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【防犯対策事業】…防犯に係る啓発活動、防犯情報の配信、防犯協会等との連携・防犯パトロールの実施、研修会や大会への参加、防犯関係団体への補助金交付 【防犯指導隊事業】…防犯指導員の貸与制服等の購入と劣化交換、活動謝金の支給 【防犯対策事業（各地域）】…各地区防犯協会の活動補助

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市防犯まちづくり行動計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・よこて安全・安心メールの配信業務委託　160千円※Ｒ６より新システム(危機対策課所管)移行のため委託終了 ・秋田県被害者支援センター負担金 200千円 ・防犯関係団体に対する補助金交付(横手市防犯協会167千円、横手地区少年保護育成委員会50千円、横手地区暴力追放推進委員会100千円 ・防犯指導員報償費　1,351千円 ・防犯指導員の制服購入（新規・貸与品劣化・破損による交換）218千円
令和 7年度（決算）	・防犯関係団体への補助金交付（横手市防犯協会167千円、横手地区少年保護育成委員会50千円、横手地区暴力追放推進委員会100千円） ・防犯指導員報償費1,285千円 ・防犯指導員の制服購入（新規1名75千円）
令和 8年度（計画）	・防犯啓発活動、防犯協会や関係団体との連携による防犯指導の実施 ・防犯指導員への謝金支払い、貸与制服購入・劣化交換を実施 ・防犯関係団体への補助金交付
令和 9年度（計画）	・防犯啓発活動、防犯協会や関係団体との連携による防犯指導の実施 ・防犯指導員への謝金支払い、貸与制服購入・劣化交換を実施 ・防犯関係団体への補助金交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	よこて安全・安心メール登録者数　※令和６年７月で終了				
		単位	人	目標値	7,227	7,527			
				実績値	7,608	7,074			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,637	3,438	2,868	3,493	3,493
事業費の小計		3,637	3,438	2,868	3,493	3,493

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	各地域の防犯関係団体及び防犯指導員は、地域に根差した活動を展開しているため継続して支援する。一方で、市内では見守りボランティアによる活動も展開されており、活動内容の見直しが必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	各地域の防犯関係団体及び防犯指導員が行う防犯活動は、市全域で取り組む事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全市民が対象である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	各地域の防犯活動は、警察署、関係団体等と連携し、継続した取り組みが必要である。 安全・安心メールはＲ６年より他課において新システムが稼働している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	今後も必要な事業である。
③事業の効率性	6	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	防犯指導員の減少や防犯協会の高齢化等により団体の体制維持が難しくなってきており、事業を効率的・効果的に進めるには、改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	防犯協会は地域の自主組織として受益者負担も必要と考えるが、現実的には難しいと考えられる。
項目点合計	２１	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　7×3　＋　6×3	総合評価点　７１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・多様化する犯罪に対し、関係機関と連携・協力しながら犯罪防止に努める必要がある。
・新規の防犯指導員確保が難しいことに加え、防犯協会員の高齢化により活動が難しくなっている一方で、見守りボランティアによる活動も展開されていることから、効率的かつ効果的な防犯対策のため、防犯体制と活動の見直しの検討が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020113	02 地域づくり支援課						
	防犯対策事業		677	317	0	317	422	422
2	020113	02 横手地域課						
	防犯対策事業（横手地域）		544	544	0	544	544	544
3	020113	02 増田地域課						
	防犯対策事業（増田地域）		100	100	0	100	100	100
4	020113	02 平鹿地域課						
	防犯対策事業（平鹿地域）		90	90	0	90	90	90
5	020113	02 雄物川地域課						
	防犯対策事業（雄物川地域）		140	140	0	140	140	140
6	020113	02 大森地域課						
	防犯対策事業（大森地域）		90	90	0	90	90	90
7	020113	02 十文字地域課						
	防犯対策事業（十文字地域）		80	80	0	80	80	80
8	020113	02 山内地域課						
	防犯対策事業（山内地域）		78	78	0	78	78	78
9	020113	02 大雄地域課						
	防犯対策事業（大雄地域）		70	69	0	69	70	70
10	020113	02 地域づくり支援課						
	防犯指導隊事業		1,569	1,360	0	1,360	1,879	1,879

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 市民相談事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－030109－010100　　民生費・社会福祉費・くらしの相談費　市民相談事業・くらしの相談総務費		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

様々なトラブルに遭遇しながら、相談すべき相手や解決の手段が見つからず、悩みを抱えている方々

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

心を痛める原因となっているトラブルや悩みが解消し、互いに尊重し助け合う意識が醸成される社会、
特殊詐欺や悪質商法等の消費者被害に遭うことがない安全な社会を築く

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【人権擁護事業】…人権相談所の開設、小中学生対象の人権の花運動の実施
【無料法律相談事業】…弁護士による無料法律相談日の設置、専門家による各種相談窓口の紹介
【消費者行政対策事業】…消費生活センターの設置及び相談受け付け、出前講座やチラシの配布
【くらしの相談総務費】…市本庁舎への総合案内業務員の配置、よろず相談への対応

④根拠法令	憲法、人権擁護委員法、消費者安全法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①人権擁護に関する活動を実施。毎月2回人権相談所開設、年2回各地域で特設人権相談所開設　花の植栽・人権教室　2校605人（横手南小、吉田小）129千円　人権擁護委員協議会負担金283千円 ②無料法律相談を実施　相談件数58件　弁護士委託料金330千円 ③消費者行政対策を実施　相談件数　新規424件　継続648件　計1,072件　出前講座13回168人 ④くらしの相談総務費 総合案内対応件数33,815件　よろず相談対応件数154件　民事案件6件　事務費3,717千円
令和 7年度（決算）	①人権擁護に関する活動を実施。毎月2回人権相談所開設、年2回各地域で特設人権相談所開設　花の植栽・人権教室　3校695人（横手南小、吉田小、大雄小）167千円　人権擁護委員協議会負担金283千円 ②無料法律相談を実施　相談件数55件　弁護士委託料金330千円 ③消費者行政対策を実施　相談件数　新規548件　継続549件　計1,097件　出前講座22回343人 ④くらしの相談総務費 総合案内対応件数24,612件　よろず相談対応件数142件　民事案件2件　事務費3,951千円
令和 8年度（計画）	①人権擁護事業（花の植栽関連費用、人権擁護協議会負担金） ②無料法律相談事業（弁護士委託料金）　③消費者行政対策事業（相談員報酬＆研修費、消費者団体への助成） ④くらしの相談総務費（総合案内業務員報酬、通信や消耗品等関連費用）
令和 9年度（計画）	①人権擁護事業（花の植栽関連費用、人権擁護協議会負担金） ②無料法律相談事業（弁護士委託料金）　③消費者行政対策事業（相談員報酬＆研修費、消費者団体への助成） ④くらしの相談総務費（総合案内業務員報酬、通信や消耗品等関連費用）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	子どもたちを対象とした人権の花運動への参加小中学校数				
		単位	校	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	2	3		
	2	区分	活動	指標	市民を対象とした無料法律相談の利用人数				
		単位	人	目標値	60	60	60	60	60
				実績値	57	58	55		
	3	区分	活動	指標	主に高齢者を対象とした出前講座参加人数				
		単位	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	361	168	343		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	174	129	192	215	168
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	9,375	11,484	12,081	12,434	11,632
事業費の小計		9,549	11,613	12,273	12,649	11,800

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市民が安心して暮らすことができるよう、必要に応じた相談窓口を整備している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	人権擁護事業、無料法律相談事業、消費者行政対策事業の実施、相談体制の整備により、市民の様々なトラブルや悩みの解消が図られるとともに、事故や犯罪被害防止、問題解決に結びつく等、安心して生活できる社会の構築に寄与している。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	日常生活において様々な悩みやトラブルを抱える全ての市民を対象としている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	高齢者対象の出前講座や啓発活動を積極的に行ったことにより、事業に対する認知度は確実に向上している。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	無料法律相談事業については類似事業（心の健康づくり無料法律相談（健康推進課）月4人12カ月）があるが、市民のニーズが高く他との統合は困難である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	安心して暮らすことのできるまちづくりに必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	消費者安全法により消費生活センターの設置が求められている。 相談員の研修機会の確保、消費生活相談資格がある相談員の安定的な確保が課題である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	日常生活における様々な悩みやトラブル、苦情等の相談は絶えることがなく、常に社会情勢の変化や相談内容の複雑化に対応できる情報を共有していく必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	全市民を対象とした事業であり、受益者負担は求めていない。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　10×3	総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

社会情勢の変化等に対応するため、最新の情報収集や啓発活動を行いながら相談業務を行っていく必要がある。また、消費生活センターに寄せられる相談内容も年々複雑化しており、相談員のスキルアップを図るため、国家資格の取得を後押ししていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	030109 01 生活環境課 くらしの相談総務費		5,480	5,763	0	5,763	5,843	5,504
2	030109 01 生活環境課 人権擁護事業		411	449	167	282	499	451
3	030109 01 生活環境課 無料法律相談事業		330	330	0	330	528	330
4	030109 01 生活環境課 消費者行政対策事業		5,392	5,731	25	5,706	5,779	5,515

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 空家等対策事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－030109－020100　民生費・社会福祉費・くらしの相談費 空家等対策事業・空家等対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

老朽化が進み危険な状態となった空家
市内に空家等を所有している方々

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化が進み危険な状態となった空家等の適切な管理、解体撤去を促進し、地域の人々が安心感を持って安全な生活を享受できる社会を築く

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【空家等解体補助事業】…解体撤去費用の一部助成制度の実施
【跡地活用事業】…市に寄付された空家等を市が解体し、跡地の利活用を図る制度の実施
【緊急措置】…不特定多数の方への被害防止のため、所有者不存在等の特定空家等に対する応急措置を実施
【空き家バンク活用推進事業】･･･空家等の家財片付けや改修等の費用の一部助成を実施

④根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法 横手市空家等の適切な管理に関する条例	⑤関連計画	横手市空家等対策計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①空家等解体補助事業（特定空家等除却費補助事業）1件　150千円 （その他空家等）（横手14件、増田6件、平鹿2件、雄物川2件、大森3件、十文字4件、山内1件、大雄3件）35件　17,201千円 ②特定空家等の認定4件　③特定空家等所有者への行政指導5件 ④緊急措置（建築材飛散防止措置や雪庇除去等に要する費用）19件　2,673千円 ⑤空き家バンク活用推進事業2件（改修1件、片付け1件）1,081千円
令和 7年度（決算）	①空家等解体補助事業（特定空家等除却費補助事業）1件　150千円 （その他空家等）34件　16,458千円 ②特定空家等の認定3件　③特定空家等所有者への行政指導3件 ④緊急措置（建築材飛散防止措置や雪庇除去等に要する費用）20件　3,000千円 ⑤空き家バンク活用推進事業3件（片付け1件）300千円
令和 8年度（計画）	①空家等解体補助事業　②特定空家等の略式代執行（実施設計、解体工事） ③緊急措置（建築材飛散防止措置や雪庇除去等に要する費用）　④空き家バンク活用推進事業 ⑤空家等管理活用支援法人連携事業
令和 9年度（計画）	①空家等解体補助事業　②特定空家等の略式代執行（実施設計、解体工事） ③緊急措置（建築材飛散防止措置や雪庇除去等に要する費用）　④空き家バンク活用推進事業 ⑤空家等管理活用支援法人連携事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	空家等の苦情・相談等に対する対応割合（令和4年度～）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	成果	指標	空き家バンク活用推進事業の利用件数（令和7年度まで）				
		単位	件	目標値	19	19	19		
				実績値	0	2	3		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	78,117	9,174	13,528	21,119	22,971
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	69,800	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	12,710	15,081	17,496	30,733	38,720
事業費の小計		160,627	24,255	31,024	51,852	61,691

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	８	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、空家等に関する必要な措置・対策を講ずる責務が課せられている。また、特定空家等は周辺環境等に悪影響を及ぼすものであり、その対策は重要な政策課題となっている。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		２	市内には多くの空家等が存在しており、法令等に基づき所有者に適切な管理を行うよう促していく必要がある。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	空家等の管理責任は原則、所有者等に帰する。現に周辺環境に悪影響を及ぼしている特定空家等の所有者に対しては、助言・指導・勧告等を行うことにより適正な管理を促していく必要がある。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	必要に応じ空家等対策計画の随時改定を行い、事業を展開していく必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	安心して暮らすことができるまちづくりの推進のためには、周辺環境へ悪影響を及ぼす特定空家等に係る対策は不可欠である。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	法令等により市の責務が規定されている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	空家等の利活用を促進するための施策等、総合的な空き家対策事業を展開していく必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	公益性の観点から特定空家等解体補助事業（補助率30%、上限15万円）としており、他自治体と同程度の補助水準である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　9×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、令和8年4月に改定した第3期横手市空家等対策計画に基づく、空家等の予防・適正管理・利活用等、総合的な対策事業を継続して行っていく。今後の法改正等、国や県の動向を注視するとともに、先進自治体の事例等を調査・研究し、市にとって効果的な施策について検討を進めていく必要がある。令和8年4月に空家等管理活用支援法人として市が指定した団体と連携しながら空家等の問題解決に努める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030109 02	生活環境課	空家等対策事業	5,823	3,666	0	3,666	2,914	2,749
2	030109 02	生活環境課	空家等対策事業（建設）	17,351	27,058	13,528	13,530	27,238	28,442
3	030109 02	生活環境課	空き家バンク活用推進事業	1,081	300	0	300	19,200	28,000
4	030109 02	生活環境課	空家等管理活用支援法人連携事業	0	0	0	0	2,500	2,500

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 災害見舞金支給費

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030501－010100　民生費・災害救助費・災害救助費 災害見舞金支給費・災害見舞金支給費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民（災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他の異常な自然現象又は火事の類焼等）により被害を受けた者）
（犯罪行為により、不慮の死を遂げた者の遺族又は傷害を受けた者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

自らの責めに帰すべき事情がないにもかかわらず、市民の生命又は身体を害する犯罪行為により不慮の死を遂げた者の遺族又は傷害を受けた者、または各種の災害によりり災した者に対して見舞金を支給し、生活の更正を助長し、精神的被害の軽減を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【災害見舞金支給事業（犯罪被害者見舞金）】
・市民で犯罪被害を受けた者があるときは、条例の定めるところにより、その遺族又は被害者に対し、見舞金を支給する。
【災害見舞金支給事業】
・市民で災害被害を受けた者があるときは、条例の定めるところにより、り災者に対し、見舞金を支給する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他の異常な自然現象又は火事の類焼等）により被害を受けた場合、当該り災者に対し、見舞金の支給を行う ・見舞金支給世帯　火災見舞10件（住家10件　非住家0件） 豪雨災害3件（半壊2件　床上浸水1件）
令和 7年度（決算）	・災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他の異常な自然現象又は火事の類焼等）により被害を受けた場合、当該り災者に対し、見舞金の支給を行う ・見舞金支給世帯　火災見舞10件（住家9件　非住家1件）、火災死亡2件
令和 8年度（計画）	・災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他の異常な自然現象又は火事の類焼等）により被害を受けた場合、当該り災者に対し、見舞金の支給を行う
令和 9年度（計画）	・災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他の異常な自然現象又は火事の類焼等）により被害を受けた場合、当該り災者に対し、見舞金の支給を行う

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	780	630	780	1,070	1,070
事業費の小計		780	630	780	1,070	1,070

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030501 01 災害見舞金支給費	社会福祉課	630	580	0	580	570	570
2	030501 01 災害見舞金支給費（犯罪被害者見舞金）	地域づくり支援課	0	200	0	200	500	500

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0009 交通安全施設整備事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080202－020100　土木費・道路橋りょう費・道路維持費　交通安全施設整備事業・交通安全施設		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
交通安全対策を推進し、交通安全の減少を目指す
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
交通安全のため、交通安全施設の維持管理を行う

④ 根拠法令	道路法・道路交通法	⑤ 関連計画	横手市交通安全計画及び交通安全実施計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	交通安全施設整備事業として地域毎に道路危険個所を把握し、安全施設（区画線、カーブミラー）の整備を実施することで交通安全事故撲滅のための活動を行った。
令和 7年度（決算）	・市道における交通安全施設の維持管理費 （道路標識、車道外側線等の区画線、ガードレール･ガードパイプ等の防護柵）
令和 8年度（計画）	・市道における交通安全施設の維持管理費 （道路標識、車道外側線等の区画線、ガードレール･ガードパイプ等の防護柵）
令和 9年度（計画）	・市道における交通安全施設の維持管理費 （道路標識、車道外側線等の区画線、ガードレール･ガードパイプ等の防護柵）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	破損・劣化等により安全機能が損なわれると判断された交通安全施設の修繕率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	17,699	17,256	17,816	18,423	19,246
事業費の小計		17,699	17,256	17,816	18,423	19,246

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	道路の危険個所を把握し、適切な交通安全施設の維持管理を行うことで、交通事故の防止に努める必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、広く市民全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、市民のみならず道路利用者すべてが対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	交通事故の防止を図るため、引き続き交通安全施設の維持管理に努める。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	道路管理者である市が行うべき事業であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民生活の安全・安心の確保に必要不可欠である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	道路管理者である市が実施すべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	見直しを重ね、住民要望に対応した事業となっている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	安全・安心な道路交通維持のため、市が負担すべき事業である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　９３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

安全・安心で快適な市民生活の確保のため、当該事業は必要不可欠である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080202	02 横手地域課	3,693	3,684	0	3,684	3,786	3,826
	交通安全施設整備事業（横手地域）							
2	080202	02 増田地域課	1,052	1,260	0	1,260	1,467	1,900
	交通安全施設整備事業（増田地域）							
3	080202	02 平鹿地域課	2,890	2,964	0	2,964	3,128	3,178
	交通安全施設整備事業（平鹿地域）							
4	080202	02 雄物川地域課	1,621	1,509	0	1,509	1,585	1,644
	交通安全施設整備事業（雄物川地域）							
5	080202	02 大森地域課	1,901	2,199	0	2,199	2,200	2,310
	交通安全施設整備事業（大森地域）							
6	080202	02 十文字地域課	2,034	2,050	0	2,050	2,050	2,100
	交通安全施設整備事業（十文字地域）							
7	080202	02 山内地域課	2,144	2,295	0	2,295	2,299	2,330
	交通安全施設整備事業（山内地域）							
8	080202	02 大雄地域課	1,921	1,855	0	1,855	1,908	1,958
	交通安全施設整備事業（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0013 災害弔慰金支給事業

部・担当課	健康福祉部・社会福祉課	担当課長氏名	小松田　義博
予算科目事業	1 一般会計－030501－020100　民生費・災害救助費・災害救助費 災害弔慰金支給事業・災害弔慰金支給事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

自然災害により死亡した市民の遺族

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

弔慰を表するとともに、市民の福祉が向上され生活の安定が図られます。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【中事業名】災害弔慰金支給事業

自然災害により死亡した市民の遺族に対し、災害弔慰金を支給する。

④根拠法令	災害弔慰金の支給等に関する法律 横手市災害弔慰金の支給等に関する条例	⑤関連計画	
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年7月の大雨災害を原因とする死亡者の遺族に対し、災害弔慰金を支給 死者1名　5,000千円（5,000千円×1名）
令和 7年度（決算）	災害救助法が適用されたR6年度の大雪災害を原因とする死亡者の遺族に対し、災害弔慰金を支給 死者2名　5,000千円（2,500千円×2名）
令和 8年度（計画）	暴風、豪雨等の自然災害による死亡者の遺族に対し、災害弔慰金を支給する。
令和 9年度（計画）	暴風、豪雨等の自然災害による死亡者の遺族に対し、災害弔慰金を支給する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	災害弔慰金支給件数				
		単位	件	目標値	1		1	1	1
				実績値	1	1	2		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	3,750	3,750	3,750	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,250	1,250	1,250	0	0
事業費の小計		5,000	5,000	5,000	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全域における自然災害により死亡した市民の遺族と精神又は身体に著しい障がいを受けた市民を対象に、福祉及び生活の安定に資することを目的としている。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	自然災害被害者が対象となる事業である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	被害者にとっては自立更生の一助となっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	市民福祉の観点から実施が望ましい事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	被害者の生活の安定を図るため、市が取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	被害者の生活の安定を図るため継続実施が必要であるが、社会情勢や気象の変化によっては、被害額や対象者等についての検討は必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担はそぐわない事業であり、他自治体と比較しても適正な水準である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		８１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
自然災害の被害者やその遺族の生活の安定や精神的被害の軽減を図るため、継続実施が必要な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	030501	02	社会福祉課	災害弔慰金支給事業	5,000	5,000	3,750	1,250	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称	事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 墓園費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040101－030100　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　墓園費・墓園総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	―	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

墓地使用者、墓地経営者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市営墓地（前郷墓園）の使用者からの管理手数料を徴収し、適正に墓地経営が行われている。
公衆衛生、公共福祉に支障のないように健全な墓地経営が行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【墓園総務費】…①前郷墓園管理事業・・墓地の使用許可、管理手数料の徴収②墓地、埋葬等に関する法律に基づく事務事業・・共同墓地への指導、改葬等の許可、墓地経営許可事務
【墓園費】…（平鹿・大森・十文字・山内）①各地域局所管の墓園、墓地の管理（使用許可、管理手数料等事務）
【墓園総務費（債務負担）】…令和5年3月に運用開始した墓地管理システムリース料

④根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①市営墓園管理手数料の徴収（調定件数1,994件・調定額4,591,840円） ②市営墓園使用者の募集（新規造成分5区画、返還墓地分9区画） ③改葬許可証の発行（88件）
令和 7年度（決算）	・市営墓園管理手数料の徴収（調定件数1,998件・調定額4,591,400円） ・市営墓園使用者の募集（新規造成分1区画、返還墓地分11区画） ・改葬許可証の発行（100件）
令和 8年度（計画）	①市営墓地管理手数料の徴収　②市営墓地使用者の募集　③改葬許可書等の発行 ※R5.3～運用開始された墓地管理システム（債務負担）により上記①②③を効率的に行う
令和 9年度（計画）	①市営墓地管理手数料の徴収　②市営墓地使用者の募集　③改葬許可書等の発行 ※R5.3～運用開始された墓地管理システム（債務負担）により上記①②③を効率的に行う

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	墓地管理手数料滞納者の整理（令和2年度末現在の滞納者25名）				
		単位	人	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	3	2	10		
	2	区分	活動	指標	墓地使用者が行方不明となった墓地の整理（令和2年度末の行方不明者7名）				
		単位	基	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,907	3,711	4,256	4,546	4,457
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,137	1,869	2,246	2,057	2,638
事業費の小計		6,044	5,580	6,502	6,603	7,095

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040101 03 生活環境課 墓園総務費		2,234	2,719	1,958	761	3,150	3,028
2	040101 03 生活環境課 墓園総務費（債務負担）		1,393	1,393	0	1,393	1,393	1,393
3	040101 03 平鹿市民サービス課 墓園費（平鹿地域）		144	319	319	0	289	418
4	040101 03 大森市民サービス課 墓園費（大森地域）		385	568	514	54	554	554
5	040101 03 十文字市民サービス課 墓園費（十文字地域）		1,387	1,464	1,464	0	1,169	1,657
6	040101 03 山内市民サービス課 墓園費（山内地域）		37	39	1	38	48	45

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 環境保全管理費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040107－010100　　衛生費・保健衛生費・環境衛生費 環境保全管理費・環境保全管理総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民及び事業者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
豊かな自然環境と快適な生活環境の中で生活し、事業活動が行われてます。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【環境保全事業】…環境保全審議会の運営及び環境基本計画の進捗管理 【公害苦情相談】 【ペストコントロール事業】…有害生物駆除

④ 根拠法令	環境基本法	⑤ 関連計画	第２次横手市環境基本計画（改訂版）
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①環境保全事業　（環境保全審議会１回） ②公害苦情相談　（大気汚染15件、水質汚濁15件、騒音0件、悪臭12件、不法投棄62件（廃棄物係受付分62件） ③ペストコントロール事業　有害生物駆除実績なし
令和 7年度（決算）	・第３次環境基本計画の策定　（環境保全審議会委員報酬144千円） ・公害苦情相談（大気汚染22件、水質汚濁27件、土壌汚染1件、騒音5件、振動0件、地盤沈下0件、悪臭8件、不法投棄件数28件（廃棄物係受付分） ・環境教育副読本印刷作成（500部　121千円）
令和 8年度（計画）	①環境保全事業　②公害苦情相談　③有害生物駆除対策
令和 9年度（計画）	①環境保全事業　②公害苦情相談　③有害生物駆除対策

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	横手市環境保全審議会　開催				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	363	256	302	507	1,012
事業費の小計		363	256	302	507	1,012

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040107 01 環境保全管理総務費	生活環境課	256	302	0	302	507	1,012

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 環境美化推進事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040107－030100　衛生費・保健衛生費・環境衛生費 環境美化推進事業・環境美化推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民及び事業者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
生活環境の美化活動により快適な生活と事業活動が行われています。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【環境美化事業】…各種クリーンアップ等を通じ環境美化意識の向上を図る 【花木植栽支援事業】…公共の場の緑化活動を実施する団体等を支援 【ペット対策事業】…ペットのふんの放置を撲滅 【環境美化推進員制度】…統一された新制度の運営

④ 根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤ 関連計画	横手市第２次環境基本計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①環境美化事業　4/21 全市一斉クリーンアップ「横手愛クリーンアップDAY」実施 ②花木植栽支援事業　花株助成事業　10団体 ③ペット対策事業　野良猫等の苦情対応（横手保健所と連携） ④環境美化推進員制度の推進　921人　報奨金：5,603,700円　ボランティア保険料：322,350円
令和 7年度（決算）	・ガーデンシティ事業の推進（花株助成10団体　260千円） ・環境美化推進員報償金（193団体　1,740千円） ・環境美化推進員保険掛金（横手地域）103千円） ・全市一斉クリーンアップ「横手愛クリーンアップDAY」の実施（土のう袋ほか物品249千円） ・秋田県花いっぱい運動の会年会費（特別会員）30,000円
令和 8年度（計画）	①環境美化事業　②花木植栽支援事業　③ペット苦情対策　④環境美化推進員制度
令和 9年度（計画）	①環境美化事業　②花木植栽支援事業　③ペット苦情対策　④環境美化推進員制度

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	市主催一斉クリーンアップへの参加者数				
		単位	人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	
				実績値	14,286	14,062	15,348		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	570	570	570	570	570
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,114	8,028	8,306	8,942	9,142
事業費の小計		8,684	8,598	8,876	9,512	9,712

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	生活環境の美化活動により、快適な生活環境の保全を図る必要がある。 各町内のごみ集積所等に残された分別不良ごみへの対応もお願いしており、地域の衛生環境を保ったためには、今後も必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民や地域との協働により環境美化を推進する必要がある。そのため町内会単位による環境美化推進制度を普及させ、市民や地域が主体的に活動している。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	各町内から推薦により登録された環境美化推進員は、地域のリーダーとして環境美化や環境保全の取り組みや啓発活動を推進している。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	町内会等から継続して推進員の推薦をいただいている。推進員は行政とのパイプ役として活動し、ごみの処理や各種環境施策の周知と啓発活動を行っている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はないが、農政部門の事業で農村環境保全活動を実施している集落もある。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域の美化活動（クリーンアップや花いっぱい運動など）により、環境に対する市民の意識向上を図ることが出来る。全市一斉クリーンアップ開催の連絡役等も含め必要性がさらに増し、不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	地域での取り組みを実施し、環境意識の向上を図っていく必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	地域で主体的な活動が行われるような活動報奨金の使途や金額について状況を把握する必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市民・事業所・行政のそれぞれ責務について意識向上が必要である。その中で地域の環境美化の最終的な担い手として環境美化推進員の活動は不可欠なものとなっている。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

町内等によっては高齢化などの理由で環境美化推進員を推薦してこないところがある。
推進員の推薦を町内会等に呼びかけながら、市の環境美化活動について継続的に推進していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	040107 03 生活環境課 環境美化推進事業	2,352	2,536	0	2,536	2,936	3,171
2	040107 03 増田市民サービス課 環境美化推進事業（増田地域）	495	517	0	517	522	522
3	040107 03 平鹿市民サービス課 環境美化推進事業（平鹿地域）	858	859	65	794	870	871
4	040107 03 雄物川市民サービス課 環境美化推進事業（雄物川地域）	782	792	0	792	827	828
5	040107 03 大森市民サービス課 環境美化推進事業（大森地域）	666	677	0	677	687	687
6	040107 03 十文字市民サービス課 環境美化推進事業（十文字地域）	1,200	1,238	0	1,238	1,344	1,307
7	040107 03 山内市民サービス課 環境美化推進事業（山内地域）	1,740	1,734	505	1,229	1,799	1,799
8	040107 03 大雄市民サービス課 環境美化推進事業（大雄地域）	505	523	0	523	527	527

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 生活衛生営業等事務費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040107－020100　衛生費・保健衛生費・環境衛生費 生活衛生営業等事務費・生活衛生営業等事		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

理容業、美容業、クリーニング業、興行場営業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

営業者が遵守すべき衛生上の措置等を確認し、市民の衛生水準が保たれています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生活衛生営業管理事業】…法律に基づき適正に生活衛生関係の営業を行うよう指導

④根拠法令	理容業法・美容業法・クリーニング業法・興行場法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	生活衛生営業管理事業 （生活衛生営業の開設（理容所2件＋美容室2件＋クリーニング所1件＋コインランドリー1件）、変更（理容所2件＋美容所7件）、廃止の届出の受理（理容所13件＋美容所4件＋クリーニング所3件＋取扱所1件） ・使用前構造設備の確認検査（6件）・営業所の立入検査（0件）・貸おしぼり（3施設×2回・検査料88千円） ・理容台帳更新（257店舗→249店舗）
令和 7年度（決算）	・生活衛生営業の開設（美容所2件）×検査手数料16千円＝32千円（収入） ・変更（理容所5件、美容所13件） ・廃止の届出（理容所3件、美容所13件、クリーニング所2件） ・使用前構造設備の確認検査、立入検査、貸おしぼり検査（3施設×2検体×2回）検査料88千円（支出） ・台帳更新（美容業）240店舗/255店舗（回答率94.1%）
令和 8年度（計画）	生活衛生営業管理事業 （生活衛生営業の開設、変更、廃止の届出の受理・使用前構造設備の確認検査・営業所の立入検査・貸おしぼり検査・クリーニング台帳更新）
令和 9年度（計画）	活衛生営業管理事業 （生活衛生営業の開設、変更、廃止の届出の受理・使用前構造設備の確認検査・営業所の立入検査・貸おしぼり検査・理容台帳更新）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	貸おしぼり検査の実施				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	161	80	32	48	80
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	69	132	174	142
事業費の小計		161	149	164	222	222

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　(単位：千円)

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 財源内訳 特定財源	令和 7年度(決算) 財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	040107 02 生活環境課 生活衛生営業等事務費	149	164	32	132	222	222

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 公害対策総務費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040108－010100　　衛生費・保健衛生費・公害対策費 公害対策総務費・公害対策総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び事業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内では公害が発生せず、市民や事業者が安心して生活や事業活動が行われています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【公害発生状況確認事業】…一般環境（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）の状況を把握
【公害監視事業】…定期的に一般環境の検査を行い、環境の保全状況を確認
【公害対策事業】…公害が発生した場合は、被害の拡大を防止

④ 根 拠 法 令	環境基本法、公害対策基本法ほか	⑤ 関 連 計 画	横手市第２次環境基本計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①公害発生状況確認事業（酸性雪分析（年4回採水）、都市河川水分析（蛇の崎橋、旭川橋、大戸川橋にて5項目を毎月1回の分析） ②工業排水水質調査（公害防止協定に基づき、年1回調査を2社） ③道路交通騒音常時監視調査（4路線の道路近傍・背後地、計8地点の調査） ④公害対策事業（水質汚濁事故、悪臭等の苦情対応）
令和 7年度（決算）	・酸性雪分析（年4回採水） ・都市河川水分析（蛇の崎橋、旭川橋、大戸川橋にて5項目を毎月1回の分析） ・工業排水水質調査（公害防止協定に基づき、年1回調査を2社） ・道路交通騒音常時監視調査（4路線の道路近傍・背後地、計8地点の調査） ・公害相談
令和 8年度（計画）	①公害発生状況確認事業（酸性雪分析、都市河川水分析） ②公害監視事業（工業排水水質調査、道路交通騒音常時監視調査） ③公害対策事業（水質汚濁事故、悪臭等の苦情対応）
令和 9年度（計画）	①公害発生状況確認事業（酸性雪分析、都市河川水分析） ②公害監視事業（工業排水水質調査、道路交通騒音常時監視調査） ③公害対策事業（水質汚濁事故、悪臭等の苦情対応）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	工場排水水質の監視				
		単位	件	目標値	3	3	3	3	
				実績値	2	2	3		
	2	区分	活動	指標	都市河川水質の監視				
		単位	件	目標値	36	36	36	36	
				実績値	36	36	36		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,040	2,101	2,110	2,751	2,751
事業費の小計		2,040	2,101	2,110	2,751	2,751

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040108	01 生活環境課	2,101	2,110	0	2,110	2,751	2,751
	公害対策総務費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 休廃止鉱山坑廃水処理事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040108－020100　　衛生費・保健衛生費・公害対策費 休廃止鉱山坑廃水処理事業・休廃止鉱山坑		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	―	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

河川流域市町村

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

休廃止鉱山から流出する重金属の含まれた坑廃水を中和処理して河川へ放流させ、河川流域の安心が確保されています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【休廃止鉱山坑廃水処理事業（建設）】…国、県、専門機関からの指導を受けて水処理を実施（定期的に処理水の水質検査を行い水質変化を把握し、良好な水質維持を図る）

④根拠法令	金属鉱業等鉱害対策特別措置法（昭和48年法律第26号）	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	総事業費（17,004千円）のうち国補助金3/4、県補助金1/8 ①坑廃水処理　②電気保安管理　③水質分析　④施設修繕⑤区分開閉器更新工事及びリレー
令和 7年度（決算）	総事業費のうち国補助金3/4、県補助金1/8 （主な経常的費用）16,505千円 【坑廃水処理14,498千円、電気保安管理184千円、水質分析440千円、道路除雪1,383千円】 （設備修繕）なし
令和 8年度（計画）	①坑廃水処理　②電気保安管理　②水質分析　④施設修繕　⑤パッシブトリートメント実証実験（H27年度より継続）
令和 9年度（計画）	①坑廃水処理　②電気保安管理　②水質分析　④施設修繕　⑤パッシブトリートメント実証実験（H27年度より継続）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	放流水の水質分析結果を排水基準値内で処理する（達成率）				
		単位	%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	13,555	12,752	14,587	16,456	16,420
	(b) 県支出金	2,259	2,125	2,431	2,742	2,736
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,812	1,929	2,132	3,302	3,844
事業費の小計		17,626	16,806	19,150	22,500	23,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040108	02 生活環境課						
	休廃止鉱山坑廃水処理事業（建設）		16,806	19,150	17,018	2,132	22,500	23,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 斎場施設費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040111－010100　　衛生費・保健衛生費・斎場施設費 斎場施設費・東部斎場費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

東部斎場、南部斎場、西部斎場

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

適切な施設の維持管理により、火葬が支障なく厳かに行われる

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【東部・南部・西部　斎場施設費】【斎場施設長寿命化事業（建設）】
利用者の心情に配慮した管理運営や環境整備を行う

④根拠法令	墓地、埋葬に関する法律 墓地、埋葬に関する施行規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	斎場の運営管理と炉関係の予防保全的修繕、工事を実施 斎場運営経費　東部、南部、西部　67,919千円 斎場炉関係工事費　15,648千円
令和 7年度（決算）	斎場の運営管理と炉関係の予防保全的修繕、工事を実施 斎場運営経費　東部、南部、西部　68,115千円 斎場炉関係工事費　16,676千円
令和 8年度（計画）	斎場の運営管理と炉関係の予防保全的修繕、工事を実施 斎場運営経費　東部、南部、西部 斎場炉関係工事費　東部、南部、西部
令和 9年度（計画）	斎場の運営管理と炉関係の予防保全的修繕、工事を実施 斎場運営経費　東部、南部、西部 斎場炉関係工事費　東部、南部、西部

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	施設稼働停止				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	13,388	12,792	10,669	11,519	11,936
	(e) その他特定財源	0	0	0	22,940	0
	(f) 一般財源	58,768	70,774	75,207	62,562	54,158
事業費の小計		72,156	83,566	85,876	97,021	66,094

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	040111 01 生活環境課 東部斎場費	29,517	29,560	4,248	25,312	31,720	26,652
2	040111 01 生活環境課 南部斎場費	22,105	22,463	4,539	17,924	23,252	20,059
3	040111 01 生活環境課 西部斎場費	16,296	17,177	1,882	15,295	19,109	19,383
4	040111 01 生活環境課 斎場施設長寿命化事業（建設）	15,648	16,676	0	16,676	22,940	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 衛生センター費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040203－010100　　衛生費・清掃費・し尿処理費 衛生センター費・衛生センター共通管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	―	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民が衛生的に過ごせ、なおかつ自然環境に配慮した処理施設の維持

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【衛生センター共通管理費】【衛生センター共通管理費（建設）】【衛生センター長寿命化事業（建設）】
【横手衛生センター費】【雄物川衛生センター費】
・定期的な点検により処理機器を適正に稼働する
・自主点検、業者委託による検査により、放流水及び排煙の環境基準の厳守に努める
・し尿、浄化槽汚泥、下水道汚泥、農業集落排水汚泥を適切に処理する

④ 根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤ 関連計画	横手市環境基本計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・定期的な点検により処理機器を適正に稼働し、し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を処理する ・自主点検、業者委託による検査により、放流水及び排煙の環境基準の厳守に努める
令和 7年度（決算）	・定期的な点検により処理機器を適正に稼働し、し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を処理する ・自主点検、業者委託による検査により、放流水及び排煙の環境基準の厳守に努める
令和 8年度（計画）	・定期的な点検により処理機器を適正に稼働し、し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥の適切な処理を図る ・自主検査、業者委託による検査により、放流水及び排煙の環境基準の厳守 ・横手衛生センター基幹的設備改良事業の実施により施設の長寿命化を図る
令和 9年度（計画）	・定期的な点検により処理機器を適正に稼働し、し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥の適切な処理を図る ・自主検査、業者委託による検査により、放流水及び排煙の環境基準の厳守 ・横手衛生センター基幹的設備改良事業の実施により施設の長寿命化を図る

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	処理能力の維持（年間処理量）（横手衛生センター）				
		単位	t	目標値	44,530	44,530	44,530	44,530	44,530
				実績値	32,872	31,791	30,679		
	2	区分	活動	指標	処理能力の維持（年間処理量）（雄物川衛生センター）				
		単位	t	目標値	20,075	20,075	20,075	20,075	20,075
				実績値	13,749	13,852	13,644		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	2,790	4,131	16,598	384,050
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	52,800	0	7,400	22,400	0
	(d) 使用料・手数料	11,656	11,411	11,081	12,100	12,100
	(e) その他特定財源	0	0	0	60,030	0
	(f) 一般財源	162,798	232,429	212,748	201,136	1,061,289
事業費の小計		227,254	246,630	235,360	312,264	1,457,439

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040203	01 生活環境課	35,652	31,291	0	31,291	45,127	36,000
	衛生センター共通管理費							
2	040203	01 生活環境課	16,170	16,896	0	16,896	27,456	25,000
	衛生センター共通管理費（建設）							
3	040203	01 生活環境課	67,969	68,798	11,531	57,267	99,028	1,259,439
	衛生センター長寿命化事業（建設）							
4	040203	01 生活環境課	77,190	66,284	7,670	58,614	84,175	80,000
	横手衛生センター費							
5	040203	01 生活環境課	49,649	52,091	3,411	48,680	56,478	57,000
	雄物川衛生センター費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 自然体験型交流施設費

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－060109－040100　農林水産業費・農業費・農業施設費 自然体験型交流施設費・天下森ふれあい		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、観光客等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民のレジャー施設として活用されている。癒しの空間として観光客等を含む地域間交流を促進する場として利用されている。自然体験を通じて豊かな人間性と地域住民の連携意識を育み、農山村の活性化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【天下森ふれあい農園費（債務負担）】【上畑炭焼き体験施設費】
天下森ふれあい農園及び上畑炭焼き体験施設を適正に維持管理する。
※天下森ふれあい農園は指定管理者による指定管理施設

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	天下森ふれあい農園及び上畑ふるさと公園の運営及び維持管理を実施した。 ・天下森ふれあい農園　入場者数３，２９４人 ・上畑ふるさと公園　炭焼き実施　２４回の窯出し、見学者延べ５８名
令和 7年度（決算）	天下森ふれあい農園及び上畑ふるさと公園の運営及び維持管理を実施した。 ・天下森ふれあい農園　入場者数２，３２２人 ・上畑ふるさと公園　炭焼き実施　１７回の窯出し、見学者延べ１９名
令和 8年度（計画）	天下森ふれあい農園及び上畑炭焼き体験施設の運営及び維持管理の実施
令和 9年度（計画）	天下森ふれあい農園及び上畑炭焼き体験施設の運営及び維持管理の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用者数（H28,9,22現在）				
		単位	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	
				実績値	2,940	3,294	2,341		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	5	10	10
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,463	2,463	3,008	3,574	3,574
事業費の小計		2,463	2,463	3,013	3,584	3,584

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	04 増田地域課	2,463	2,541	0	2,541	3,047	3,047
	天下森ふれあい農園費（債務負担）							
2	060109	04 増田地域課	0	472	5	467	537	537
	上畑炭焼き体験施設費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 緑化推進事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060201－040100　　農林水産業費・林業費・林業総務費 緑化推進事業・緑化推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市民自らが害虫から樹木を守り、また緑化に対する意識の向上を図ることで自然環境の維持に努める。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
横手市緑化推進委員会の活動を補助し市民の緑化への意識醸成を行うほか、町内会等で実施するアメシロ防除への支援を行うことで、自然環境の維持を図る。

④ 根 拠 法 令	緑の募金による森林整備等の推進に関する法律	⑤ 関 連 計 画	・アメシロ防除対策事業・緑化推進事業
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・緑化推進委員会　活動費補助 ・アメシロ防除実施団体に対する補助金（100円/戸×2回）、87団体 ・アメシロ防除機の維持、修繕経費（横手2台、平鹿5台、大雄2台、十文字8台）計17台 ・アメシロ防除機購入　大型5台（横手1、平鹿1、十文字2、大雄1）　小型1台（十文字1）
令和 7年度（決算）	・緑化推進委員会　活動費補助 ・アメシロ防除実施団体に対する補助金（100円/戸×2回）、88団体 ・アメシロ防除機の維持・修繕経費（横手2台、平鹿5台、大雄2台、十文字8台）計17台
令和 8年度（計画）	○緑化推進委員会　活動費補助 ○アメシロ防除実施団体に対する補助金（100円/戸×2回）、 ○アメシロ防除機の維持・修繕経費（横手2台、平鹿5台、大雄2台、十文字8台）計17台
令和 9年度（計画）	○緑化推進委員会　活動費補助 ○アメシロ防除実施団体に対する補助金（100円/戸×2回）、 ○アメシロ防除機の維持・修繕経費（横手2台、平鹿5台、大雄2台、十文字8台）計17台

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	緑の羽根募金額				
		単位	千円	目標値	2,400	2,200	2,200	2,100	2,100
				実績値	2,162	2,226	2,112		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,213	1,193	1,259	1,571	1,580
事業費の小計		1,213	1,193	1,259	1,571	1,580

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	緑化推進事業については、市緑化推進委員会が全市的な募金活動や緑化運動を行っており、豊かな自然環境の維持の啓発に繋がっている。また、アメシロ防除対策については、防除機の貸し出しや防除に対する補助制度を継続し、被害拡大防止のため共同防除の推進を継続する必要がある。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	緑化推進事業については、市緑化推進委員会において全市的に活動している。またアメシロ防除対策については、被害のない一部の地域を除き、令和7年度実績で88町内会等が補助金の交付を受け共同防除を実施しており、一定範囲に公益をもたらしている。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	本事業の対象は、直接的には市緑化推進委員会及び町内会等の団体であるが、それを介して緑の街並みを守ることは、市民全体に及ぶサービスであり、地域コミュニティ活性化の一助になることも期待できる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	緑の羽根の募金額は前年度比で減少したが、大きな落ち込みはなく目標達成は可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	本事業は、市緑推進委員会の活動と、町内会等によるアメシロ防除に対しての助成等共同防除の推進が主な内容であり、これに類似する事業はない。なお、外部団体である市緑化推進委員会が実施している助成事業と、市（生活環境課）が独自で実施している花株助成には類似部分がある。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	事業実施により緑の街並みが守られており、施策達成のためには不可欠な事業である
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	アメシロ防除は、防除適期に一斉に実施することが効果的であるが、民間企業等での対応は難しく、町内会等による共同防除を市が主体的に推進し支援する必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	市緑化推進委員会の活動や決算状況は、継続して検証し、今後の助成について検討の必要がある。アメシロ防除対策については、貸出用防除機を維持しながら、共同防除への取り組みを推進しなければならない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市緑化推進委員会への補助金は、募金を緑化推進運動に有効活用するため事務費の一部を補助するものである。またアメシロ防除を推進するためには、防除費用の一部補助や防除機の貸出は必要なものであることから、適切な受益者負担となっている。
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市緑化推進委員会の運営に対する助成は継続しつつも、活動状況等を注視しながら妥当性・有効性を検証し見直す必要がある。アメシロ防除対策については、アメシロ防除対策推進方針に基づき事業を推進するため、防除機を適切に維持管理しながら、引き続き機械の貸し出しや補助金制度に取り組んでいく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060201 04	農林整備課	緑化推進事業	170	170	0	170	170	170
2	060201 04	農林整備課	アメシロ防除対策事業	944	917	0	917	1,150	1,150
3	060201 04	平鹿地域課	アメシロ防除対策事業（平鹿地域）	34	49	0	49	75	100
4	060201 04	十文字地域課	アメシロ防除対策事業（十文字地域）	39	62	0	62	80	100
5	060201 04	大雄地域課	アメシロ防除対策事業（大雄地域）	6	61	0	61	96	60

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 森林病害虫等防除事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060201－050100　農林水産業費・林業費・林業総務費 森林病害虫等防除事業・森林病害虫等防		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内のマツ林及びナラ林

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

松くい虫等病虫害による被害を抑え、山林・森林がもつ公益的機能と美しい自然景観の保全を目指す。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

森林病害虫等防除事業（国50%、県25%、市25%）を活用し、薬剤散布並びに樹幹注入による病害虫の防除、及び被害木のくん蒸処理による病害虫の駆除を行い、健全なマツ林、ナラ林の保全を行う。

④ 根 拠 法 令	森林病害虫等防除法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	【マツクイムシ防除】・空中散布88.9ha（増田地区、雄物川地区）・地上散布10.8ha（増田地区、雄物川地区、大森地区、山内地区）・伐倒（くん蒸）30.00m3（調査後地区設定）【カシノナガキクイムシ防除】・伐倒くん蒸33.85m3（調査後地区設定）・樹幹注入42本（保呂羽山少年自然の家キャンプ場周辺）
令和 7年度（決算）	【マツクイムシ防除】・空中散布88.9ha（増田地区、雄物川地区）・地上散布10.8ha（増田地区、雄物川地区、大森地区、山内地区）・伐倒（くん蒸）15.00m3【カシノナガキクイムシ防除】・伐倒くん蒸15.00m3・樹幹注入19本（保呂羽山少年自然の家キャンプ場周辺）
令和 8年度（計画）	マツクイムシ防除】・空中散布（増田地区、雄物川地区）・地上散布（増田地区、雄物川地区、大森地区、山内地区）
令和 9年度（計画）	マツクイムシ防除】・空中散布（増田地区、雄物川地区）・地上散布（増田地区、雄物川地区、大森地区、山内地区）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	松くい虫被害拡大の抑止（R2年度まで）				
		単位	㎡	目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	松くい虫被害対策地区実施計画に基づく防除（R3年度～）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	8,245	8,464	7,603	6,946	8,892
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,748	2,821	2,535	2,318	2,964
事業費の小計		10,993	11,285	10,138	9,264	11,856

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	松枯れ・ナラ枯れ被害の抑制、拡大防止に寄与しており、実施する内容を見直しつつも、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	対象となるマツ林・ナラ林において実施するものであるが、その目的から市全体に公益をもたらす事業と言える。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	森林が持つ公益的機能と美しい自然環境の保全を目指すものであり、すべての市民が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	計画に基づき防除し被害を抑制することを目標とし、防除・駆除の継続実施により被害拡大を抑制している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似の事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	美しい自然環境と森林の機能を保全するため、森林において松枯れ・ナラ枯れの被害を抑制することは不可欠である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	国土保全や景観保持のために行う国庫補助事業であり、国県の助成を受け市が事業主体となって実施する。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	毎年、被害状況を調査し、事業内容の精査を行ったうえで実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国土保全や景観保持のために行う国庫補助事業であり、国県の助成を受け市が事業主体となって実施するもので、受益者負担は発生しない。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

被害の拡大防止のためには、防除や駆除により継続した対策を講じなければならない。補助事業として実施するため、補助金の割り当てに応じた事業量とせざるを得ないところもあるが、被害木の調査結果を基に効果的に実施したい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060201	05 農林整備課						
	森林病害虫等防除事業（建設）		11,285	10,138	7,603	2,535	9,264	11,856

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 有害鳥獣対策事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060201－060100　農林水産業費・林業費・林業総務費 有害鳥獣対策事業・有害鳥獣対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民（主に農家）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

有害鳥獣の的確な捕獲を実施し、人身への被害を防止及び農作物への被害を軽減する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

鳥獣被害対策実施隊活動により有害鳥獣（ツキノワグマ・カラス・イノシシ・ニホンジカ）による被害の軽減に努めるとともに、横手市連合猟友会の活動を支援し、猟友会員の負担軽減を図る。

④根拠法令	鳥獣被害の防止のための特別措置に関する法律、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律	⑤関連計画	横手市鳥獣被害防止計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市鳥獣被害対策実施隊の隊員への報酬（許可35件）　942千円 ・イノシシ及びニホンジカ捕獲報奨金（イノシシ19頭、ニホンジカ0頭）　95千円 ・クマ捕獲用檻（6基）　1,907千円 ・横手市連合猟友会の運営費の補助金　635千円 ・獣害防止対策事業費補助金（電気柵設置43件、誘引木伐採20件）　3,073千円 ・狩猟免許等取得支援事業補助金（3件）　230千円
令和 7年度（決算）	・横手市鳥獣被害対策実施隊員年額報酬　・イノシシ及びニホンジカ捕獲報奨金（ｲﾉｼｼ10頭、ﾆﾎﾝｼﾞｶ8頭） ・指定管理鳥獣対策事業（緊急銃猟用資機材購入等） ・鳥獣被害防止対策事業費補助金（鳥獣被害防止対策協議会における有害捕獲［実施隊報酬］、ICT機器購入等） ・有害鳥獣駆除事業費補助金（猟友会活動費） ・獣害防止対策事業費補助金（電気柵設置56件、誘引木伐採50件） ・狩猟免許等新規取得支援事業補助金（8件）・長距離無線式捕獲ﾊﾟﾄﾛｰﾙｼｽﾃﾑ賃貸借（親機1台、子機10台）
令和 8年度（計画）	・横手市鳥獣被害対策実施隊員の年額報酬　・イノシシ及びニホンジカ捕獲報奨金　・鳥獣被害対策協議会への補助金　・横手市連合猟友会の活動費への補助金　・狩猟免許等新規取得支援事業補助金　・獣害防止対策事業費補助金　・クマ捕獲用箱罠購入
令和 9年度（計画）	・横手市鳥獣被害対策実施隊員の年額報酬　・イノシシ及びニホンジカ捕獲報奨金　・鳥獣被害対策協議会への補助金　・横手市連合猟友会の活動費への補助金　・狩猟免許等新規取得支援事業補助金　・獣害防止対策事業費補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	農作物被害防止（R2年度まで）				
		単位	㎡	目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	鳥獣被害防止計画に基づく農作物被害防止（R3年度～）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	1,704	63	3,445		
	3	区分	成果	指標	人身被害発生件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値		1	3		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	348	0	4,342	3,307	3,000
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,351	7,291	13,717	16,847	14,340
事業費の小計		5,699	7,291	18,059	20,154	17,340

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	鳥獣被害防止特措法に基づき鳥獣被害防止計画を作成し、農林水産被害等を防止するために活動するもので、市民の生命・財産を守るために不可欠な事業である。市街地に危険鳥獣が出没した場合等は、緊急銃猟等の対応が求められる場合がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	クマを始め野生鳥獣の出没が増加する中、人身被害、農林水産被害のいずれも市全域で発生の可能性があるものであり、その対策は市全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	市民の安全・安心を確保するため、人身被害防止の対策をすることは、全市民が対象となるものである。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	ツキノワグマによる人身被害が発生し、農作物被害も前年度に比べ大きく増加した。これまでの対策に加え、様々な角度から継続して対策することが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	豊かな自然環境を守りつつ、快適な生活環境の中で安心して暮らすことができるまちづくりを進めるために不可欠である。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	鳥獣被害防止特措法に基づき鳥獣被害防止計画を作成しており、その計画に従って被害防止活動を実施するものである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	鳥獣被害対策協議会（市・県・警察署・ＪＡ・共済・猟友会）を開催し協議するほか、猟友会や警察署とは都度協議し対応・対策を改善している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	鳥獣被害対策実施隊の活動は市民の安全・安心を守るものであることから、市が適正な報酬を支払い、猟友会の運営の助成をしている。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

ツキノワグマのみならず、イノシシやニホンジカの出没が増え、人身被害・農作物被害防止の更なる強化が必要となっている。令和7年度更新の鳥獣被害防止計画にある被害防止対策に基づき、担い手の確保・育成、捕獲の強化、受益者自らが行う電気柵等被害防止対策の推進等を図り、市民の安全・安心を確保し続けなければならない。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	060201	06	農林整備課 有害鳥獣対策事業	6,797	16,638	4,342	12,296	6,213	8,300
2	060201	06	農林整備課 鳥獣被害対策実施隊員確保事業	494	1,421	0	1,421	960	960
3	060201	06	農林整備課 獣害防止対策事業	0	0	0	0	12,981	8,080

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 水と緑の森づくり事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060202－040100　農林水産業費・林業費・林業振興費 水と緑の森づくり事業・マツ林・ナラ林		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

森林が有する公益的機能を効果的に発揮させ、市民にとって森林が身近な場となるよう努める。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

秋田県水と緑の森づくり税事業（県100%）を活用し、森林公園の整備、枯れマツ枯れナラ除去による景観向上、ツキノワグマとの出会い頭の遭遇を防止するための除伐等による緩衝帯整備を行う。

④ 根 拠 法 令	秋田県水と緑の森づくり税	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・マツ林・ナラ林等景観向上事業　景観や安全に支障のある枯れたマツ、ナラの伐採　（13,306千円） マツ 349.30㎥、ナラ 290.00㎥ ・緩衝帯等整備事業　下刈り、除伐等による野生動物の出没抑制（20,607千円） 横手公園：下刈12.75ha、横手南小学校裏山：下刈・除伐19.08ha、山内いこいの森：下刈26.74ha
令和 7年度（決算）	・マツ林・ナラ林等景観向上事業　景観や安全に支障のある枯れたマツ、ナラの伐採　（9,392千円） マツ 314.60㎥、ナラ 151.00㎥ ・緩衝帯等整備事業　下刈り、除伐等による野生動物の出没抑制（23,878千円） 横手公園：下刈12.75ha、横手南小学校裏山：下刈19.08ha、山内いこいの森：下刈30.51ha
令和 8年度（計画）	・緩衝帯整備事業 ・マツ林・ナラ林等景観向上事業 ・市町村等の森づくり活動支援事業
令和 9年度（計画）	・緩衝帯整備事業 ・マツ林・ナラ林等景観向上事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	マツ・ナラ伐倒処理量（R3年度～）				
		単位	㎥	目標値	500	500	500	500	
				実績値	785	639	466		
	3	区分	活動	指標	緩衝帯等整備箇所				
		単位	箇所	目標値	1	1	1	1	
				実績値	1	3	3		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	24,493	33,900	33,251	45,733	54,000
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	13	13	19	21	20
事業費の小計		24,506	33,913	33,270	45,754	54,020

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	特に緩衝帯等整備事業は、近年出没が増えているツキノワグマ等野生動物による被害を防止するのに有効な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	森林の持つ公益的機能（水源涵養・国土保全・保健・文化など）は市民の生活全てに寄与しており、機能の持続は必須である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	森林の景観向上、野生動物の出没抑制を図り、森林の持つ公益的機能発揮に寄与することは、全ての市民を対象とするものである。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	県補助事業であるため、毎年度実施する事業量に増減はあるものの、目標数量以上を要望し達成を目指している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	森林の持つ公益的機能（水源涵養・国土保全・保健・文化など）を保全し続けるためには不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	市有林において事業を行っており、所有者である市以外が取り組むことはできない。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	実施計画をもとに実施前年度に実施内容を決定し、実施年度に再度精査して執行されている状況。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	本事業は、森林の持つ公益的機能を保持し続けるという大きな役割を担っていることもあり、水と緑の森づくり税を活用した100%県補助の事業である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

水と緑の森づくり税を活用した100%県補助の事業である。森林の持つ公益的機能（水源涵養・国土保全・保健・文化など）の保持に加え、緩衝帯整備は有害鳥獣対策にもなることから、積極的に活用し広く市民に効果が発揮されるよう実施する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060202	04 農林整備課	13,306	9,392	9,383	9	4,750	22,010
	マツ林・ナラ林等景観向上事業（建設）							
2	060202	04 農林整備課	20,607	23,878	23,868	10	26,826	32,010
	緩衝帯等整備事業（建設）							
3	060202	04 農林整備課	0	0	0	0	14,178	0
	市町村等の森づくり活動支援事業（建設）							
4	060202	04 農林整備課	0	0	0	0	0	0
	森や木とのふれあい空間整備事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0016 いこいの森費

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060203－010100　　農林水産業費・林業費・林業施設費 いこいの森費・横手いこいの森費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市民が身近に安らぎを感じられる森林公園の維持整備を行う。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【横手いこいの森】【亀田稲荷の森】【平鹿いこいの森】【鍛冶台いこいの森】【武道山いこいの森】【山内いこいの森】の施設、植栽等の維持管理を行う。

④ 根 拠 法 令	森林法	⑤ 関 連 計 画	横手市環境基本計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	いこいの森内の施設・植栽等の維持管理（横手、亀田、平鹿、鍛冶台、武道山、山内）
令和 7年度（決算）	いこいの森内の施設・植栽等の維持管理（横手、亀田、鍛冶台、山内）
令和 8年度（計画）	いこいの森内の施設・植栽等の維持管理（横手、亀田、鍛冶台、山内）
令和 9年度（計画）	いこいの森内の施設・植栽等の維持管理（横手、亀田、鍛冶台、山内）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	維持管理費の抑制（R2年度まで）				
		単位	円	目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	管理箇所数（R3年度～）				
		単位	箇所	目標値	5	5	4	4	4
				実績値	6	6	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,465	3,289	2,997	3,701	3,754
事業費の小計		3,465	3,289	2,997	3,701	3,754

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060203	01 農林整備課						
	横手いこいの森費		950	1,111	0	1,111	1,197	1,250
2	060203	01 増田地域課						
	亀田稲荷の森費		248	261	0	261	273	273
3	060203	01 雄物川地域課						
	鍛冶台いこいの森費		1,881	1,407	0	1,407	2,003	2,003
4	060203	01 山内地域課						
	山内いこいの森費		210	218	0	218	228	228

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 やまばと山荘費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－060203－030100　　農林水産業費・林業費・林業施設費 やまばと山荘費・やまばと山荘費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び林業者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

林業者等による地域住民の交流の促進及び林業経営の合理化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【やまばと山荘費】
山内林業者等緑地休養施設「やまばと山荘」・・・施設の管理運営

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	やまばと山荘の管理運営に要する経費 需用費 581千円、役務費 168千円、合計 749千円
令和 7年度（決算）	やまばと山荘の管理運営に要する経費 需用費 167千円、役務費 380千円、委託費 71千円、　合計 618千円
令和 8年度（計画）	やまばと山荘の管理運営に要する経費 消耗品費、光熱水費、委託料等
令和 9年度（計画）	やまばと山荘の管理運営に要する経費 消耗品費、光熱水費、委託料等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	やまばと山荘利用者数				
		単位	人	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	0	31	8		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	7	3	15	15
	(e) その他特定財源	0	0	0	1	1
	(f) 一般財源	231	742	615	560	560
事業費の小計		231	749	618	576	576

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060203	03	山内地域課						
	やまばと山荘費			749	618	3	615	576	576

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 斎場施設整備事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040111－989800　　衛生費・保健衛生費・斎場施設費 斎場施設整備事業・西部斎場整備事業（建		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	－	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、西部斎場利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

3斎場運営の長期的な展望を見据え、新たな西部斎場の整備を行う

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

現敷地内に新たな西部斎場を改築するとともに、旧西部斎場を解体した跡地に駐車場等を整備する

④根拠法令	墓地、埋葬に関する法律 墓地、埋葬に関する施行規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 5年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・旧斎場解体工事設計・管理業務　2,530,000円 ・旧西部斎場解体工事　85,030,000円 ・浄化槽清掃委託　141,350円 ・西部斎場第二期造成工事　55,990,000円（繰越）
令和 7年度（決算）	・西部斎場第二期造成工事　65,579,800円 ・西部斎場外構樹栽工事　836,000円
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	564,900	87,500	65,500	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	10,485	252	916	0	0
事業費の小計		575,385	87,752	66,416	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040111 / 98 / 生活環境課 西部斎場整備事業（建設）	87,752	66,416	65,500	916	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 避難行動要支援者名簿整備事業

部・担当課	健康福祉部・まるごと福祉課	担当課長氏名	阿部　淳子
予算科目事業	1 一般会計－030104－110100　　民生費・社会福祉費・地域福祉費 避難行動要支援者名簿整備事業・避難行動		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
災害時に避難支援を要する方
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
平時から災害時に避難支援を必要とする方が把握できており、迅速かつ確実に避難させる体制が整えられている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
災害発生時に避難支援が必要な方に対し、避難者や避難方法、避難場所等を定めた個別計画を策定

④ 根拠法令	災害対策基本法	⑤ 関連計画	横手市地域防災計画、横手市地域福祉計画、避難行動要支援者計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・避難行動要支援者名簿の整備 名簿登載対象者数9,211人、平常時からの名簿登載同意者2,843人、自力避難等可能者3,029人 ・個別計画の策定　個別計画策定者数 1,653人 ・個別避難計画等策定にかかる事業説明の実施　2町内、小ネットワーク会議95か所、いきいきサロン2か所 ・個別計画の策定に向けた訪問65件うち完成41人
令和 7年度（決算）	・名簿・個別計画の更新・システム入力 名簿登録対象者数9,418人、うち支援希望者数2,723人、うち個別計画策定者数1,599人 ・避難支援等関係者への名簿配布 ・個別避難計画等策定にかかる事業説明の実施（小ネットワーク会議等）
令和 8年度（計画）	・避難行動要支援者名簿整備、個別避難計画の新規作成及び更新、システム保守 ・避難支援等関係者への名簿配布 ・個別避難計画作成の一部業務委託（居宅介護支援事業所等）
令和 9年度（計画）	・避難行動要支援者名簿整備、個別避難計画の新規作成及び更新、システム保守 ・避難支援等関係者への名簿配布 ・個別避難計画作成の一部業務委託（居宅介護支援事業所等）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	名簿登載率				
		単位	%	目標値	50	50	60	65	65
				実績値	34.8	30.8	28.9		
	3	区分	成果	指標	個別計画策定率				
		単位	%	目標値	40	50	60	70	70
				実績値	17.2	17.9	16.9		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,071	3,921	854	2,576	2,610
事業費の小計		3,071	3,921	854	2,576	2,610

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	災害対策基本法により、市町村に義務付けられている
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	災害時の被害者を最小限にするためには重要な事業である
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	地域防災計画に定められている避難行動要支援者が対象となる
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	避難行動支援者の個別計画の作成件数は増加傾向にあるが、名簿登載同意率はまだ低い状況である
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業はない
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	災害対策基本法により、市町村に義務付けられている
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	災害対策基本法により、市町村に義務付けられている
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	避難行動要支援者は高齢者だけではないため、危機対策課をはじめとする他課・各地域局との連携は重要である
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	連携等の課題はあるが、個別計画の作成率や名簿登載同意率の向上のため事業を遂行している
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
災害対策基本法により、市町村に義務付けられている事業であり、他課と連携しながら取り組んでいく必要がある

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	030104	11	まるごと福祉課 避難行動要支援者名簿整備事業	3,921	854	0	854	2,576	2,610

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 救急医療機器管理費

部・担当課	消防長・消防本部救急課	担当課長氏名	原田明宏
予算科目事業	1 一般会計－040101－040100　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　救急医療機器管理費・救急医療機器管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市内多くの場所で、市民の生命を守るための手段が確保され、市民が安心して生活している。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【救急医療体制整備事業（債務負担）】 公的施設等に配備しているＡＥＤ（自動体外式除細動器）を設置賃貸借契約に基づき適切に維持管理する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	救急医療体制整備事業 ＡＥＤ賃借料123台分　4,712千円 月額357,000円×12カ月×1.10＝4,712千円
令和 7年度（決算）	救急医療体制整備事業 ＡＥＤ賃借料123台分　4,712千円 月額357,000円×12カ月×1.10＝4,712千円
令和 8年度（計画）	市内公的施設に設置するＡＥＤ123台の賃貸借（年2回の訪問点検、使用時のメンテナンスを含む）
令和 9年度（計画）	市内公的施設に設置するＡＥＤ123台の賃貸借（年2回の訪問点検、使用時のメンテナンスを含む）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	公共施設等にAEDを配備する				
		単位	台	目標値	123	123	123	123	123
				実績値	123	123	123		
	2	区分	成果	指標	救命講習会等の受講者の養成数				
		単位	人	目標値	54,000	56,000	58,000	60,000	62,000
				実績値	47,856	48,595	49,211		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,712	4,712	4,712	4,713	4,713
事業費の小計		4,712	4,712	4,712	4,713	4,713

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	040101	04	消防本部救急課 救急医療機器管理費（債務負担）	4,712	4,712	0	4,712	4,713	4,713

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 河川総務費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080301－010100　　土木費・河川費・河川総務費 河川総務費・河川総務事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市が管理する河川の適正な維持管理を行う。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
市が管理する河川の維持管理等を行う。

④ 根 拠 法 令	河川法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市が管理する河川の維持管理のため、県河川海岸協会・県防災協会・全国治水砂防協会秋田県支部等へ負担金を支出した。
令和 7年度（決算）	・市が管理する河川（準用河川、普通河川）の維持管理に資する、県河川海岸協会・県防災協会・全国治水砂防協会秋田県支部に対する負担金を支出
令和 8年度（計画）	・市が管理する河川（準用河川、普通河川）の維持管理のため、県河川海岸協会・県防災協会・全国治水砂防協会秋田県支部への継続加入 ・第34回全国川サミットin横手に向けた準備経費
令和 9年度（計画）	市が管理する河川（準用河川、普通河川）の維持管理のため、県河川海岸協会・県防災協会・全国治水砂防協会秋田県支部への継続加入

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市が管理する河川に関する苦情件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	51	21	28	981	109
事業費の小計		51	21	28	981	109

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	080301	01	建設課	21	28	0	28	981	109
	河川総務事務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 急傾斜地崩壊対策費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080301－020100　　土木費・河川費・河川総務費 急傾斜地崩壊対策費・急傾斜地崩壊対策事業（		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

「急傾斜地崩壊危険区域」：一定の基準を満たす「がけ」について、県が区域を指定

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

急傾斜地（傾斜度が30度以上の土地）で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に危害が生ずることの軽減。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

崩壊するおそれのある急傾斜地で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に危害が生ずるおそれのあるもの及びこれに隣接する土地について県が実施する工事への負担を行う。
※市は、地方財政法第27条の規定に基づき、事業費の一部を負担。

④根拠法令	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	県営事業に係る急傾斜地崩壊対策事業負担金を支出 繰越分（R05→R06）・公共（市負担割合 5%）愛宕地区　4,265千円 ・県単（市負担割合20%）根岸1号地区　760円※精算分 現年分　・公共（市負担割合 5%）愛宕地区　2,155千円
令和 7年度（決算）	県営事業に係る今日傾斜地崩壊対策事業負担金を支出 繰越分（R06→R07）・公共（市負担割合 5%）愛宕地区　3,488千円 ※公共事業等債300千円、防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債3,100千円　充当 現年分　・県単（市負担割合20%）根岸1号地区　3,080千円 ※緊急自然災害防止対策事業債3,000千円　充当
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	公共（市負担割合 5%）愛宕地区

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	急傾斜地災害発生件数				
		単位	%	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	5,700	5,900	6,400	0	2,200
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,561	521	168	0	300
事業費の小計		8,261	6,421	6,568	0	2,500

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	080301 02 急傾斜地崩壊対策事業（建設）	建設課	6,421	6,568	6,400	168	0	2,500

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 河川維持管理費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080302－010100　　土木費・河川費・河川維持費 河川維持管理費・河川維持管理費（建設）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
準用河川等の適正な維持管理を行う
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
河川の適正な維持管理を行うため必要に応じた補修等を実施する

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	【雄物川地域】　南川の河川維持補修を行った 【大森地域】　保呂羽川、寄木川の護岸修繕を行った
令和 7年度（決算）	【雄物川地域】南川の河川維持補修を行った 【大森地域】　葛ヶ沢川の掘削工事を行った
令和 8年度（計画）	【河川維持管理費】雄物川・大森地域における準用河川等の維持、必要に応じた補修を行うもの 【河川維持管理費（建設）】市が管理する河川について、これまでの出水等による土砂流出・堆積や発生樹木の影響で低下した流下能力を回復させ、周辺住民の安全を確保するために、浚渫を実施
令和 9年度（計画）	雄物川・大森地域における準用河川等の維持、必要に応じた補修を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市が管理する河川に関する苦情件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	62,000	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,016	933	760	1,058	1,067
事業費の小計		1,016	933	760	63,058	1,067

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080302	01 建設課	0	0	0	0	62,073	0
	河川維持管理費（建設）							
2	080302	01 雄物川地域課	80	83	0	83	85	84
	河川維持管理費（雄物川地域）							
3	080302	01 大森地域課	853	677	0	677	900	983
	河川維持管理費（大森地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 常備消防経費

部・担当課	消防長・消防本部総務課	担当課長氏名	加藤　真
予算科目事業	1 一般会計－090101－020100　消防費・消防費・常備消防費 常備消防経費・常備消防経費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民の生命、身体、財産が火災等の災害から保護され、また、万一被害にあった場合でも最小限の被害に抑えられている。また、傷病者の搬送が適切に行われ、市民の安全・安心につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【常備消防経費】

・消防業務を円滑に推進できる体制を確保するため、消防車両、資機材、通信指令・無線施設、消防庁舎の適切な保守管理と装備品の貸与を行うとともに、県消防学校、消防大学校での研修や救急救命士の養成等を通じて、組織の充実と活性化を図る。

・住宅火災での逃げ遅れによる犠牲者を減らすための住宅用火災警報器や、救命率向上のための応急手当の普及啓発を推進する。

④根拠法令	消防法、消防組織法	⑤関連計画	横手市地域防災計画、横手市水防計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	消防車両、庁舎、指令システム等の保守管理、被服及び装備品貸与、消防学校等での教育、救急救命士養成等 ・指令センター保守管理業務委託　・防火装備更新 58着　・防火長靴更新 58足　・活動服更新 42着 ・教育研修　県消防学校 32人、緊急自動車運転技能者課程 1人 ・救急救命士養成 1人、指導救命士養成 1人
令和 7年度（決算）	消防車両、庁舎、指令センター等の保守管理、被服及び装備品貸与、消防学校等での教育、救急救命士養成等 ・指令センター保守管理業務委託 ・活動服及び救急服の更新53着 ・教育研修　県消防学校34人、消防大学校1人、惨事ストレス研修1人 ・救急救命士養成１人
令和 8年度（計画）	消防車両、庁舎、指令システム等の保守管理、被服及び装備品貸与、消防学校等での教育、救急救命士養成等
令和 9年度（計画）	消防車両、庁舎、指令システム等の保守管理、被服及び装備品貸与、消防学校等での教育、救急救命士養成等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	救命講習会等の受講者の養成数				
		単位	人	目標値	54,000	56,000	58,000	60,000	62,000
				実績値	47,856	48,595	49,211		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	900	900
	(e) その他特定財源	4,291	3,712	4,175	3,322	3,530
	(f) 一般財源	132,082	139,887	109,147	107,836	119,552
事業費の小計		136,373	143,599	113,322	112,058	123,982

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	090101	02 消防本部総務課						
	常備消防経費		143,599	113,322	4,175	109,147	112,058	123,982

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 常備消防施設等整備事業

部・担当課	消防長・消防本部総務課	担当課長氏名	加藤　真
予算科目事業	1 一般会計－090101－030100　消防費・消防費・常備消防費 常備消防施設等整備事業・常備消防施設等整備		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

消防本部が保有する消防車両、資機材、施設等が、複雑かつ多様化する災害現場に迅速・確実に対応できる設備に計画的に整えられ、市民の安全が確保できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【常備消防施設等整備事業】
更新基準年数に達した経年劣化の著しい車両等の計画的な更新や施設等の整備を図る。
【高機能消防指令センター更新事業（R5からR7）】
設計寿命に達する各システムを更新し、機能強化を図るとともに、将来にわたり安定した消防指令体制を確保する。

④根拠法令	消防法、消防力の整備指針	⑤関連計画	更新事業計画、過疎地域自立促進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・消防署資機材搬送車更新 1台　・平鹿分署広報車更新 1台 ・高機能消防指令センター更新工事及び工事監理
令和 7年度（決算）	・消防署ポンプ１号車更新 ・西分署救急２号車更新および高度救命用資機材購入 ・平鹿分署救急１号車更新および高度救命用資機材購入 ・高機能消防指令センター更新工事及び工事監理
令和 8年度（計画）	・消防署化学１号車更新　・南分署ポンプ１号車更新　・南分署広報２号車更新　・西分署広報２号車更新　・山内分署広報１号車更新 ・車両動態端末装置ＡＶＭ移設業務委託
令和 9年度（計画）	・消防本部査察１号車更新

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	更新計画車両の適切な更新				
		単位	台	目標値	2	3	2	4	
				実績値	1	2	3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	14,075	0	11,087	42,487	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	46,300	216,000	1,103,200	195,500	6,000
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	18,424	13,570	46,993	4,919	362
事業費の小計		78,799	229,570	1,161,280	242,906	6,362

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	消防組織法により、市は区域における消防を十分に果たすこととされており、実施が義務付けられた事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市民の生命、身体及び財産を火災から保護し、水火災又は地震等による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを目的とする。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	市民並びに横手市を訪れる全ての人を対象としている。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	災害に備え、老朽化した消防車両や施設設備を計画的に更新し、着実に事業を進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	消防署は、水火災又は地震等の災害に常時対応できる機関であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	災害に強いまちづくりの推進には、多種多様な災害に即応できる常備消防業務が不可欠であり、業務遂行のため計画的な施設設備の更新を図っている。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	消防組織法により、市は消防に関する責任を有し、消防機関の設置が義務付けられている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	車両の更新計画については、車両の状況等を評価し計画を随時見直す必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	消防組織法により、市町村の消防に要する費用は、当該市町村が負担することとされている。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

各種災害に即応するためには、計画的な施設設備等の維持管理が必要であり、継続して行うべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	090101 03 常備消防施設等整備事業（建設）	消防本部総務課	14,556	177,624	166,887	10,737	242,906	6,362
2	090101 03 高機能消防指令センター更新事業（建設）	消防本部総務課	215,014	983,656	947,400	36,256	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0008 非常備消防事業

部・担当課	消防長・消防本部総務課	担当課長氏名	加藤　真
予算科目事業	1 一般会計－090102－010100　　消防費・消防費・非常備消防費 非常備消防事業・非常勤特別職報酬（消防団		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

消防団、消防団員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

火災、地震、局地的な豪雨等による多様な災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、消防団を中核とした地域防災力の充実と強化が図られ、市民の安全・安心につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【非常備消防事業】（消防本部総務課・各地域局地域課）…消防団が円滑に活動できる体制を確保するため、幼少期からの防災教育や広報活動などを通じ消防団員の確保を図るとともに、消防団協力事業所制度を推進する。また、消防団の安全装備の整備と教育研修を計画的に進め、地域防災力向上につなげるとともに、消防団員の退職報償や消防団活動に伴う公務災害等の補償を確保する。

④根拠法令	消防法、消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・消防団活動（災害・警戒出動、訓練等）、行事（各種大会、研修等）の実施 ・消防団長報酬　・被服等物品購入費 ・非常備消防団員等公務災害補償負担金
令和 7年度（決算）	・消防団活動（災害・警戒出動、訓練等）、行事（各種大会、研修等）の実施 ・消防団員年額報酬、出動報酬 ・物品購入費、消防協会負担金、公務災害補償負担金等
令和 8年度（計画）	・消防団の各種訓練、研修等の実施と活動に必要な物品の購入 ・消防団員年額報酬、出動報酬、消防協会負担金、公務災害補償負担金等の支出 ・消防団装備の整備（活動服、防火衣、雨衣）
令和 9年度（計画）	・消防団の各種訓練、研修等の実施と活動に必要な物品の購入 ・消防団員年額報酬、出動報酬、消防協会負担金、公務災害補償負担金等の支出 ・消防団装備の整備（活動服、防火衣）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	消防団協力事業所数				
		単位	か所	目標値	62	63	64	65	66
				実績値	62	62	63		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	64	133	250	250
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	128,830	129,516	153,930	226,170	185,283
事業費の小計		128,830	129,580	154,063	226,420	185,533

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	消防組織法において、市は区域における消防を十分に果たすこととされており、実施が義務付けられた事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市民の生命、身体及び財産を火災から保護すると共に、水火災又は地震等による被害の軽減を目的としている。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	市民並びに横手市を訪れる人全てを対象としている。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	消防団員の減少を受け、消防団組織の検討委員会を開催するなど、団員確保につながる健全な組織の構築に向けた改革を進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	消防団は、地域に密着した唯一の非常備消防機関であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	災害に強いまちづくりの推進のため、地域防災力の中核として欠くことのできない消防団を維持するための事業である。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	消防組織法により、市は消防に関する責任を有し、消防機関の設置が義務付けられている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	消防団員の確保を含め、将来に向けた消防団組織の検討が必要であり、装備の充実や報酬の見直しなど処遇改善を図る必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	消防組織法により、市町村の消防に要する費用は、当該市町村が負担することとされている。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

消防団は、地域防災力の中核として将来にわたり欠くことのできない代替性のない組織であり、団員確保につながる組織を構築するため、継続して行う必要のある事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	090102 01 消防本部総務課 非常勤特別職報酬（消防団員）	0	0	0	0	104,488	102,531
2	090102 01 消防本部総務課 非常備消防団員公務災害補償等負担金	0	0	0	0	48,562	48,592
3	090102 01 消防本部総務課 非常備消防事業（本部）	67,151	151,939	133	151,806	8,561	9,390
4	090102 01 消防本部総務課 非常備消防事業（本部）（建設）	0	0	0	0	62,122	22,045
5	090102 01 横手地域課 非常備消防事業（横手地域）	9,216	238	0	238	318	318
6	090102 01 増田地域課 非常備消防事業（増田地域）	5,369	265	0	265	346	392
7	090102 01 平鹿地域課 非常備消防事業（平鹿地域）	8,920	344	0	344	384	384
8	090102 01 雄物川地域課 非常備消防事業（雄物川地域）	11,127	273	0	273	325	405
9	090102 01 大森地域課 非常備消防事業（大森地域）	5,750	276	0	276	315	361
10	090102 01 十文字地域課 非常備消防事業（十文字地域）	11,456	437	0	437	487	487
11	090102 01 山内地域課 非常備消防事業（山内地域）	4,534	170	0	170	217	333
12	090102 01 大雄地域課 非常備消防事業（大雄地域）	6,057	121	0	121	295	295

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 消防施設管理費

部・担当課	消防長・消防本部警防課	担当課長氏名	菊地　政嘉
予算科目事業	1 一般会計－090103－010100　　消防費・消防費・消防施設費 消防施設管理費・消防施設管理費（本部）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

災害時の被害を最小化するための関係資機材等が整備され、市民の生命や財産が保護されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【消防施設管理費】（消防本部警防課・各地域局地域課）
・消防施設や設備の点検、修繕を実施する。
・積雪寒冷期の消防施設や設備の維持管理強化を実施する。

④根拠法令	消防法、消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律	⑤関連計画	横手市地域防災計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	消防施設管理費 ・警防課所管の消防水利と消防団施設の維持管理 ・消耗品の購入 ・増田町熊渕旧消防ポンプ置場解体工事 ・十文字支団4-6ホース乾燥柱移設工事 ・十文字町木下消防ポンプ置場部分解体及び屋根改修工事
令和 7年度（決算）	消防施設管理費 ・警防課所管の消防水利と消防団施設の維持管理 ・消耗品の購入
令和 8年度（計画）	・警防課所管の消防水利と消防団施設の維持管理、消耗品の購入
令和 9年度（計画）	・警防課所管の消防水利と消防団施設の維持管理、消耗品の購入

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	消防ポンプ置場の点検数（消防ポンプ・資器材等）				
		単位	件	目標値	196	194	194	194	194
				実績値	196	194	189		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	48	37	54	36	36
	(f) 一般財源	15,669	17,589	14,939	18,744	18,651
事業費の小計		15,717	17,626	14,993	18,780	18,687

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	090103	01 消防本部警防課						
	消防施設管理費（本部）		4,154	2,763	0	2,763	3,800	4,000
2	090103	01 横手地域課						
	消防施設管理費（横手地域）		1,880	1,701	54	1,647	2,210	2,141
3	090103	01 増田地域課						
	消防施設管理費（増田地域）		906	643	0	643	1,224	900
4	090103	01 平鹿地域課						
	消防施設管理費（平鹿地域）		1,761	1,586	0	1,586	2,022	1,714
5	090103	01 雄物川地域課						
	消防施設管理費（雄物川地域）		2,286	2,268	0	2,268	2,205	2,718
6	090103	01 大森地域課						
	消防施設管理費（大森地域）		2,273	1,858	0	1,858	2,344	2,365
7	090103	01 十文字地域課						
	消防施設管理費（十文字地域）		2,169	1,587	0	1,587	2,230	1,800
8	090103	01 山内地域課						
	消防施設管理費（山内地域）		1,387	1,834	0	1,834	1,850	2,154
9	090103	01 大雄地域課						
	消防施設管理費（大雄地域）		810	753	0	753	895	895

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 消防施設整備事業

部・担当課	消防長・消防本部警防課	担当課長氏名	菊地　政嘉
予算科目事業	1 一般会計－090103－020100　　消防費・消防費・消防施設費 消防施設整備事業・消防施設整備事業（建設）		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
災害時の被害を最小化するための関係資機材等が整備され、市民の生命や財産が保護されている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【消防施設整備事業】 ・消防水利の乏しい地域へ防火水槽を設置する。 ・小型動力消防ポンプ等消防団の施設や設備を有効に配置し、更新する。

④ 根拠法令	消防法、消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律	⑤ 関連計画	横手市地域防災計画、 地震防災緊急事業五箇年計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	消防施設整備事業 ・耐震性貯水槽40m3型（二次製品）設置3基　・小型動力消防ポンプ付軽積載車購入3台　・軽積載車購入3台 ・小型動力消防ポンプ購入4台　・消防ポンプ置場新築3棟　・耐震性貯水槽測量設計調査委託6箇所
令和 7年度（決算）	消防施設整備事業 ・耐震性貯水槽40m3型（二次製品）新設3基　・小型動力消防ポンプ購入12台　・軽積載車購入3台　・消防ポンプ置場新築2棟/解体6棟　・耐震性貯水槽測量設計調査委託3箇所　・防火水槽撤去1基
令和 8年度（計画）	・耐震性貯水槽測量設計調査委託3箇所　・耐震性貯水槽40m3型（二次製品）新設2基　・耐震性貯水槽40m3型撤去/新設1基　・消防ポンプ置場新築2棟、解体2棟　・小型動力消防ポンプ購入5台　・軽積載車購入2台　・雄物川町又兵衛旧防火水槽埋戻し工事
令和 9年度（計画）	・耐震性貯水槽測量設計調査委託3箇所　・耐震性貯水槽40m3型（二次製品）新設2基　・耐震性貯水槽40m3型撤去/新設1基　・消防ポンプ置場新築3棟、解体6棟　・小型動力消防ポンプ購入2台　・軽積載車購入3台

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	耐震性貯水槽の設置数				
		単位	基	目標値	105	108	111	114	115
				実績値	103	106	108		
	2	区分	活動	指標	消防ポンプ自動車、軽積載車及び小型動力消防ポンプ更新				
		単位	台	目標値	13	13	15	5	5
				実績値	13	13	15		
	3	区分	活動	指標	消防ポンプ置場改築				
		単位	棟	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	2		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	5,818	12,489	12,489	12,489	18,822
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	84,600	108,300	98,600	101,500	101,100
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	16,399	6,893	16,114	1,292	1,011
事業費の小計		106,817	127,682	127,203	115,281	120,933

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	市は市域における消防を十分に果たすべき責任を有する。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	消防施設の整備は、市民の生命、身体及び財産をあらゆる災害から守るために必要な事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	消防業務は、市民及び市への来訪者全てを対象とする。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	消防施設の設置及び更新は計画を定めて実施しているが、耐震性貯水槽の設置数については、例外的に撤去を行うことがあり、過年度の撤去の影響が続いていくことから、目標値の見直しが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	消防施設の整備は全て消防本部が所管している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	災害に強いまちづくりの達成のために、災害発生時に即時対応できるように消防施設を整備している。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市は市域における消防を十分に果たすべき責任を有する。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	消防施設の整備は優先順位を定めて進めており、軽積載車の配備や消防ポンプ置場の改築は消防団の統廃合等を考慮して行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	消防施設は市が整備しなければならない。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　9×3	総合評価点　９１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
市民の生命、身体及び財産をあらゆる災害から守るために必要な事業であり、市は市域における消防を十分に果たすべき責任を有する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	090103 02 消防本部警防課 消防施設整備事業（建設）	127,682	127,203	111,089	16,114	115,281	120,933

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 水道事業（消防水利施設）費

部・担当課	消防長・消防本部警防課	担当課長氏名	菊地　政嘉
予算科目事業	1 一般会計－090103－030100　消防費・消防費・消防施設費 水道事業（消防水利施設）費・水道事業（消防		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

災害時の被害を最小化するための関係資機材等が整備され、市民の生命や財産が保護されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【水道事業（消防水利施設）費】
・消火栓を有効配置し、維持管理を実施する。

④根拠法令	消防法 水道法	⑤関連計画	横手市地域防災計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	水道事業会計負担金 ・既存消火栓破損に伴う撤去新設5基　・消火栓老朽に伴う新設1基 普通建設事業 ・既存消火栓破損に伴う撤去新設2基　・国との協議（国道拡幅）による消火栓新設1基 ・配水管布設工事に伴う新設消火栓2基
令和 7年度（決算）	水道事業会計負担金 ・配水管布設工事に伴う消火栓新設1基（雄物川町谷地新田）　・消火栓撤去工事1基（平鹿町醍醐） ・消火栓漏水に伴う修繕工事2基（山内三又、横手市朝倉町）　・消火栓更新工事1基（山内土渕） 普通建設事業 ・地権者要望による消火栓撤去・新設工事1基（十文字町大道東）　・県との協議（県道横手東由利線拡幅）による消火栓撤去・新設工事1基（平鹿町下吉田）　・水道管布設替え工事に伴う消火栓新設工事1基（横手市平城町）
令和 8年度（計画）	・国、県等との協議による消火栓更新1基　・地区会議、地域要望による消火栓更新2基　・無水利地区解消に向けた消火栓新設5基　・その他の消火栓新設、移設、交換、修繕
令和 9年度（計画）	・国、県等との協議による消火栓更新1基　・地区会議、地域要望による消火栓更新2基　・無水利地区解消に向けた消火栓新設5基　・その他の消火栓新設、移設、交換、修繕

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	新設消火栓数				
		単位	基	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	4	11	5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	5,461	0	0
	(f) 一般財源	8,227	11,946	5,314	17,420	6,000
事業費の小計		8,227	11,946	10,775	17,420	6,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	090103	03 消防本部警防課						
	水道事業（消防水利施設）費		5,702	3,749	0	3,749	6,000	6,000
2	090103	03 消防本部警防課						
	水道事業（消防水利施設）費（建設）		6,244	7,026	5,461	1,565	11,420	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 災害対策費

部・担当課	総務企画部・危機対策課	担当課長氏名	川津　久和
予算科目事業	1 一般会計－090104－010100　　消防費・消防費・災害対策費 災害対策費・災害対策総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民
防災関係機関

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

災害発生時にも市民の生命・財産は守られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【災害対策総務費】・【災害対策費（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄】
・災害に対する備え（各種計画の整備、防災訓練・防災備蓄の実施　等）
・緊急連絡、情報受発信手段の整備

④ 根 拠 法 令	災害対策基本法	⑤ 関 連 計 画	横手市地域防災計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・災害対策経費（防災担当携帯電話・孤立集落用衛星携帯電話利用料、発電機修繕、事務費等） ・防災備蓄品の整備（飲食料品・乳幼児用ミルク、毛布圧縮袋等購入） ・防災機器の維持管理（Ｊアラート、ＦＭ緊急割込装置、安全・安心メール、防災行政無線等） ・自主防災リーダーの育成（１３人の防災士資格取得の支援） ・災害対応経費（能登半島地震の支援、令和6年7月大雨災害に係る避難所開設、応急対策実施）
令和 7年度（決算）	・災害対策経費（防災担当携帯電話・孤立集落用衛星携帯電話利用料、発電機等修繕、事務費等） ・防災備蓄品購入（飲食料品、乳幼児用ミルク、体拭きシート、避難所用備品、災害対策用品等） ・防災機器維持管理・通信費（Ｊアラート、ＦＭ緊急割込装置、安心・安全メール、防災用電子住宅地図、防災行政無線経費等） ・自主防災リーダー育成経費（13人の防災士資格取得の支援）
令和 8年度（計画）	①災害対策経費（備蓄品等の購入、訓練資材の購入、防災携帯電話・孤立集落用衛星携帯電話利用料）②防災機器維持管理・通信費（Ｊアラート、ＦＭ緊急割込装置、安全・安心メール、防災用電子住宅地図、防災行政無線経費等）③自主防災リーダー育成費用（防災士資格取得費）④県総合防災情報システム更新費⑤ハザードマップ作成
令和 9年度（計画）	①災害対策経費（備蓄品等の購入、県総合防災訓練資材の購入、防災携帯電話・孤立集落用衛星携帯電話利用料） ②防災機器維持管理・通信費（Ｊアラート、ＦＭ緊急割込装置、安全・安心メール、防災用電子住宅地図、防災行政無線経費、県総合防災情報システム等）③自主防災リーダー育成経費（防災士資格取得費）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	防災備蓄品（主要１９品目）の目標量に対する備蓄割合				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	93		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	4,356	0
	(b) 県支出金	963	289	0	0	1,000
	(c) 地方債	0	0	15,100	11,100	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	18,460	15,097	15,238	31,356	17,804
事業費の小計		19,423	15,386	30,338	46,812	18,804

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	090104 01 危機対策課 災害対策総務費	11,434	10,814	0	10,814	20,886	14,789
2	090104 01 危機対策課 災害対策総務費（建設）	0	15,189	15,100	89	11,176	0
3	090104 01 横手地域課 災害対策費（横手地域）	212	18	0	18	50	50
4	090104 01 増田地域課 災害対策費（増田地域）	198	122	0	122	163	163
5	090104 01 平鹿地域課 災害対策費（平鹿地域）	64	50	0	50	90	100
6	090104 01 雄物川地域課 災害対策費（雄物川地域）	187	499	0	499	178	188
7	090104 01 雄物川地域課 災害対策費（雄物川地域）（建設）	0	0	0	0	5,421	0
8	090104 01 大森地域課 災害対策費（大森地域）	1,781	1,526	0	1,526	1,694	1,673
9	090104 01 十文字地域課 災害対策費（十文字地域）	58	80	0	80	95	95
10	090104 01 山内地域課 災害対策費（山内地域）	1,280	1,343	0	1,343	1,567	1,493
11	090104 01 大雄地域課 災害対策費（大雄地域）	172	697	0	697	253	253
12	090104 01 大雄地域課 災害対策費（大雄地域）（建設）	0	0	0	0	5,239	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 防災センター管理費

部・担当課	総務企画部・危機対策課	担当課長氏名	川津　久和
予算科目事業	1 一般会計－090104－020100　　消防費・消防費・災害対策費 防災センター管理費・防災センター管理費（横		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民（地域住民）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・地域の防災拠点として施設の適切な維持管理がなされ、平時でも市民が利用している。
・センターの利用を通じて、市民の防災意識の向上と防災活動が活発になっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【防災センター管理費（横手・平鹿・十文字）】
・施設、設備の維持管理
・防災備蓄品の保管
・災害発生時の的確な対応とそれに備えた準備、訓練の実施

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市地域防災計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・防災センターの維持管理経費（横手、平鹿、十文字） 施設光熱水費の支払い、施設・設備等修繕、法定点検の実施 ・平鹿防災センター天井カセット型エアコン取替工事実施
令和 7年度（決算）	・防災センターの維持管理経費（横手、平鹿、十文字） 施設光熱水費の支払い、法定点検の実施 ・照明のLED化（横手） ・トイレ修繕（平鹿）
令和 8年度（計画）	・防災センターの維持管理、法定点検の実施（横手、平鹿、十文字） ・平鹿防災センター水道ポンプ更新工事試験ボーリング、実施設計及び設計監理委託 ・十文字防災センター非常灯修繕
令和 9年度（計画）	・防災センターの維持管理、法定点検の実施（横手、平鹿、十文字） ・平鹿防災センター水道ポンプ更新工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	防災等に係る取組活動数				
		単位	回	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	18	17	17		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	102	60	75	60	60
	(f) 一般財源	1,674	2,602	1,421	4,808	1,991
事業費の小計		1,776	2,662	1,496	4,868	2,051

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	090104	02 横手地域課	617	581	75	506	607	678
	防災センター管理費（横手地域）							
2	090104	02 平鹿地域課	340	292	0	292	479	457
	防災センター管理費（平鹿地域）							
3	090104	02 平鹿地域課	1,012	0	0	0	2,481	0
	防災センター管理費（平鹿地域）（建設）							
4	090104	02 十文字地域課	693	623	0	623	784	916
	防災センター管理費（十文字地域）							
5	090104	02 十文字地域課	0	0	0	0	517	0
	防災センター管理費（十文字地域）（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 河川災害復旧事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－110202－010100　　災害復旧費・公共土木施設災害復旧費・河川災害復旧費 河川災害復旧事業・		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

自然災害により被災した横手市全域の河川に対し、迅速に応急対策工事が実施され、安全が早期に確保されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【河川災害復旧事業】・・地域の復旧、復興のため、災害発生時に迅速に応急対策工事を実施する。

④ 根 拠 法 令	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年度　23,331千円 ・準用河川湯ノ沢川、普通河川水沢川、その他単独災害復旧費
令和 7年度（決算）	令和6年度繰越　14,692千円 ・補助:【復旧工事】準用河川湯ノ沢川、普通河川水沢川 ・その他単独災害復旧費
令和 8年度（計画）	災害発生時の応急対策工事の経費等
令和 9年度（計画）	災害発生時の応急対策工事の経費等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	災害発生時における初期対応実施率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	7,480	8,583	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	3,100	4,200	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	10,745	12,751	1,909	3,000	3,000
事業費の小計		10,745	23,331	14,692	3,000	3,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	110202 01 現年発生河川災害復旧事業	建設課	23,331	14,692	12,783	1,909	3,000	3,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 防災・減災まちづくり学習事業

部・担当課	教育指導部・教育指導課	担当課長氏名	高橋　夏子
予算科目事業	1 一般会計－100103－090100　　教育費・教育総務費・教育指導費 防災・減災まちづくり学習事業・防災・減		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市立の中学校生徒を対象とする

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

中学生の目線から、自分の住んでいる地域や登下校の道路等にかかる緊急時及び災害等を意識したまちの姿から、自分が何をすべきか考える力を養う

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・中学校については、秋田県防災士会南部地区へ講師の派遣を依頼し、防災マップを作成し、災害に強いまちづくりを考える。
・完成マップを利用し、中学生の目線で家族や地域の方と緊急時・災害時の対応できる力を身に付ける。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・秋田県防災士会南部地区へ講師を依頼し、中学校で防災授業として防災マップの作成を行った。 （実施済：R1平鹿、R2増田中、R3横手北中、R4横手南中、R5十文字中） ・横手明峰中学校で12/20実施、2年生125名が参加した。（講師報償金２名　10千円、防災マップキット他　105千円） ・作成後の防災マップを利用し、家族や地域と共に減災・防災の意識を高め、非常時対応への知識を養った。
令和 7年度（決算）	・秋田県防災士会南部地区へ講師を依頼し、中学校で防災授業として防災マップを作成 （実施済：R1平鹿、R2増田中、R3横手北中、R4横手南中、R5十文字中、R6横手明峰中） ・平鹿中学校で10/17実施、2年生89名が参加(講師報償金２名　10千円、防災マップキット他　99千円) ・作成後の防災マップを利用し、家族や地域と共に減災・防災の意識を高め、非常時対応への知識を養った
令和 8年度（計画）	・市内全中学校２年生を対象に防災士による防災マップ作成授業（1校指定）の実施
令和 9年度（計画）	・市内全中学校２年生を対象に防災士による防災マップ作成授業（1校指定）の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	アンケートを実施し「とても勉強になった」と回答する参加生徒の割合				
		単位	%	目標値	68	70	70	70	70
				実績値	82.7	98.7	71.4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	105	115	99	63	110
事業費の小計		105	115	99	63	110

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	災害に強いまちづくりを推進するうえで、中学生が自ら防災を考える機会は必要である
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	自分の住む地域の災害発生について学ぶ機会として重要性が高い
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	年次計画により中学校を指定して実施している
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	防災士会、横手ロータリークラブの協力を得て、横手市防災マップに加え豊富な資料による学習が可能となっている
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	居住地域の航空写真を実際に見ながらの防災マップ作成は貴重な機会である
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	自助・共助・公助の意識をもつ市民を育てるうえで重要な意味をもつ事業である
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	各学校の教育課程に基づく実施計画を調整するため、市教育委員会が関わる必要がある
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	中学校の規模、実施時期に応じて、学習の内容を調整している
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	学校で教材等を準備する必要はない。市発行の防災マップも有効活用している
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　9×3
総合評価点		８２	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
本事業の実施により、災害から自分の身を守ること、家族など周りにいる大切な人を守ることができる子ども、市民を育てていくことにつながると考える。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	100103	09	教育指導課						
	防災・減災まちづくり学習事業			115	99	0	99	63	110

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0027 地域防災緊急整備事業

部・担当課	総務企画部・危機対策課	担当課長氏名	川津　久和
予算科目事業	1 一般会計－090104－030100　消防費・消防費・災害対策費 地域防災緊急整備事業・地域防災緊急整備事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	－	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民（避難者）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
避難所での生活環境を改善する
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【地域防災緊急整備事業】国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」を活用し、避難所の生活環境改善等のため、簡易ベッド、テント式パーティション、マンホールトイレ、簡易トイレなどを購入し、また、避難者に対し温かい食事を提供する体制を強化するため、市内事業者のキッチンカー導入補助を行う。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和７年度へ繰越（繰越明許） ・簡易ベッド、テント式パーティション、マンホールトイレ、簡易トイレの購入 ・キッチンカー導入事業者が行う車両改修等費用の一部補助
令和 7年度（決算）	・簡易ベッド、テント式パーティション、マンホールトイレ、簡易トイレの購入 ・キッチンカー導入事業者が行う車両改修等費用の一部補助3件、開業セミナー1回開催
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	開設当初から簡易ベッドやパーティションを設置できる避難所数				
		単位	箇所	目標値		14	34	34	
				実績値		16	34		
	2	区分	活動	指標	避難所でキッチンカーによる食事提供を行う事業者数				
		単位	人	目標値		0	3	6	
				実績値		0	6		
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	7,900	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	8,502	0	0
事業費の小計		0	0	16,402	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	国交付金を活用して避難所の環境整備を行うもの。災害関連死を防ぐため、継続して実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	避難所の環境改善は、全市民へ公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	災害はいつどこで発生するか分からず、避難所は全市民が利用する可能性がある。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	避難所での適温食の提供に向けキッチンカー事業者の災害協定を進めており、市補助事業を利用していない事業者とも協定を締結するなど、目標を上回る実績となっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	避難所の環境改善は防災担当部局が主導して行うべき事業である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民が安心して暮らせるまちづくりのため不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市公共施設を避難所として指定していることから、市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国の交付金を最大限活用して実施しており、今後も有効な財源を活用しながら実施していく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	避難所であり受益者負担は無い。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　9×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

全国的に災害が頻発化しており、いつどこで発生するか分からない大雨や地震に備える必要があり、避難所の環境改善は継続して取り組む必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	090104	03 危機対策課						
	地域防災緊急整備事業		0	16,402	7,900	8,502	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 コミュニティー助成事業（地域防災組織育成）

部・担当課	総務企画部・危機対策課	担当課長氏名	川津　久和
予算科目事業	1 一般会計－090104－989800　　消防費・消防費・災害対策費 コミュニティー助成事業（地域防災組織育成）		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	―	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

コミュニティ組織（自主防災組織等）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域住民自らが、防災について意識を高め、組織的に地域を災害から守るための体制が整えられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【コミュニティ助成事業（自主防災組織育成）】
（一財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（自主防災組織育成）助成金による補助事業を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市地域防災計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	実績なし
令和 7年度（決算）	コミュニティ助成事業（自主防災組織育成助成金）による補助事業 ・増田地区：西成瀬地区自主防災連合会が行う発電機、投光器、簡易トイレ等の整備に対する補助事業
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	自主防災組織育成事業補助金交付団体数				
		単位	団体	目標値			1		
				実績値		0	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	2,000	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	2,000	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	自治総合センターが宝くじ収益を財源として助成する社会貢献事業である。 消防団や自主防災組織等の各団体が本事業を活用し、防災体制の整備および防災意識高揚に寄与している事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	防災体制の整備・強化は市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	事業採択を受けた防災組織に対する補助事業であるが、避難所に整備された資機材はすべての市民が利用対象となるものである。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	事前に採択を受けた内容のとおり事業実施されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	防災組織育成の類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	災害に強いまちづくりの推進のため不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	助成対象となる団体は、市が認める防災組織や火災予防組合である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	自治総合センターが定めるコミュニティ助成実施要綱によるもので、改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	自治総合センターが定めるコミュニティ助成実施要綱によるもので全自治体共通である。 助成金による補助残については実施主体の負担となる。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　８９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
地域の防災体制整備・強化のため有効な事業であり、今後も有効に活用するため事業内容の周知に努める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	090104	98 増田地域課						
	コミュニティー助成事業（自主防災組織育成）		0	2,000	2,000	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 清掃総務管理費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040201－020100　衛生費・清掃費・清掃総務費 清掃総務管理費・清掃総務管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、各種団体（国、東北、県及び関係機関）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

国、東北管内と連携を図って、全国の情報を市民と共有出来ている。市への清掃業務に理解が得られたことで、市民の意識改革による快適な市民生活が実現しています

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【廃棄物減量等の推進】…横手市廃棄物減量等推進審議会を開催し、基本計画の年度計画を諮問する
【全国都市清掃会議等への参画】・・・各種会議や研修会への参加、専門家や他市町村から情報提供を清掃事業に反映する

④根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤関連計画	横手市一般廃棄物処理基本計画、 横手市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①廃棄物減量等の推進事業（審議委員報酬）78千円 ②全国都市清掃会議等への参画（各団体への負担金、研修旅費）99千円 ③旧環境保全センター（３施設）分の汚染負荷量賦課金　184千円 ④不法投棄監視員業務 140千円
令和 7年度（決算）	①廃棄物減量等の推進事業（審議委員報酬）　162千円 ②全国都市清掃会議等への参画（各団体への負担金、研修費）　99千円 ③旧環境保全センター（３施設）分の汚染負荷量賦課金　186千円 ④不法投棄監視員業務経費　223千円 ほか
令和 8年度（計画）	①廃棄物減量等の推進事業（審議委員報酬）　②全国都市清掃会議等への参画（各団体への負担金、研修費） ③旧環境保全センター（３施設）分の汚染負荷量賦課金 ④不法投棄監視員業務経費
令和 9年度（計画）	①廃棄物減量等の推進事業（審議委員報酬）　②全国都市清掃会議等への参画（各団体への負担金、研修費） ③旧環境保全センター（３施設）分の汚染負荷量賦課金 ④不法投棄監視員業務経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	不用品回収（不許可）監視パトロール				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	2	区分	成果	指標	不法投棄発見・通報に対する回収率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	714	787	998	1,049	1,151
事業費の小計		714	787	998	1,049	1,151

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	040201 02 清掃総務管理費	生活環境課	787	998	0	998	1,049	1,151

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0003 ごみ収集事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040202－010100　　衛生費・清掃費・塵芥処理費 ごみ収集事業・ごみ収集事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民、個人事業主、法人
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
指定ごみ袋制の継続によるごみの減量化と各種補助金により、集積所にごみとして排出しない仕組みづくりができている。 ごみ集積所の整備と新分別ルールの周知徹底により、適正なごみ収集ができている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【ごみ収集事業】…一般廃棄物収集運搬業務の収集委託を実施 【ごみ袋作製事業】…指定ごみ袋の作成と保管配送業務委託の実施 【ごみ集積所整備及び生ごみ処理容器補助事業】…ごみ集積庫の整備費補助、電動生ごみ処理機及びコンポスト購入費補助 【集団資源回収活動事業】…地域で資源回収する登録団体への収集資源物量に応じた活動奨励金 【ごみ分別事業】…分別ルールの市民への周知徹底のための広報、チラシ配布、分別相談及び回収等の実施

④ 根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤ 関連計画	横手市一般廃棄物処理基本計画、 横手市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①ごみ収集事業（市内集積所及び公共施設からの収集運搬の委託費）　311,548千円 ②ごみ袋作製事業（指定ごみ袋作製委託 78,925千円、ごみ袋販売委託 6,105千円、保管配送委託費 3,937千円） ③ごみ分別アプリ保守委託料 396千円 ④ごみ集積所整備及び生ごみ処理容器補助事業　（各種補助金）　2,626千円・31件 ⑤集団資源回活動事業奨励金 1,428千円・106件
令和 7年度（決算）	①ごみ収集事業（市内集積所及び公共施設からの収集運搬の委託費）　316,807千円 ②ごみ袋作製事業（指定ごみ袋作製委託 79,336千円、ごみ袋販売委託 6,224千円、保管配送委託費 4,243千円） ③ごみ分別アプリ保守委託料 396千円 ④ごみ集積所整備及び生ごみ処理容器補助事業　（各種補助金）3,105千円・51件 ⑤集団資源回活動事業奨励金 1,288千円・107件
令和 8年度（計画）	①ごみ収集事業（市内集積所及び公共施設からの収集運搬の委託費）②ごみ袋作製事業（指定ごみ袋の作製委託費、保管配送委託費）③ごみ集積所整備及び生ごみ処理容器補助事業　（各種補助金） ④集団資源回収活動事業　登録団体への奨励金
令和 9年度（計画）	①ごみ収集事業（市内集積所及び公共施設からの収集運搬の委託費）②ごみ袋作製事業（指定ごみ袋の作製委託費、保管配送委託費）③ごみ集積所整備及び生ごみ処理容器補助事業　（各種補助金） ④集団資源回収活動事業　登録団体への奨励金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	一人一日あたりごみ排出量				
		単位	グラム	目標値	917	900	890	880	870
				実績値	891	874	890		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	96,557	95,389	96,280	97,880	99,512
	(e) その他特定財源	50,377	50,555	58,295	58,563	52,176
	(f) 一般財源	252,778	266,763	262,854	270,703	272,881
事業費の小計		399,712	412,707	417,429	427,146	424,569

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	法令により一般廃棄物の収集・運搬は市の責務である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	ごみの減量化・資源化率の向上に向けた施策を展開することで循環型社会の形成を目指している。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	一般廃棄物を排出する市民（家庭ごみ）が対象である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	一般廃棄物処理基本計画及び実施計画の目標が達成されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	類似事業無し。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	ごみの減量化、資源化により、循環型社会の形成につながる。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	一般廃棄物処理は市の自治事務である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	ごみの集団資源回収の普及、ごみの減量化など、循環型社会を形成していく必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	指定ごみ袋制の導入により受益者負担を求めることでごみの排出量の抑制を行っている。また、ごみの集積庫の整備を促進するため集積庫の整備に対する助成を行っている。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

一般廃棄物処理計画、実施計画に基づきごみの減量化、資源化を促進することが求められている。
ごみの減量化、資源化を図り、循環型社会の形成を促進する施策を実施する必要がある。
ペットボトルの排出量の増加に伴い、ペットボトルの収集回数を増やし、今まで燃やすごみにだされていたペットボトルが回収され資源化率の向上が見込まれる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040202	01	生活環境課	412,707	417,429	154,575	262,854	427,146	424,569
	ごみ収集事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 クリーンプラザよこて費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040202－020100　　衛生費・清掃費・塵芥処理費 クリーンプラザよこて費・クリーンプラザよこ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
要求水準に基づいた運営・維持管理を行い、施設を安全かつ確実な一般廃棄物の焼却処理、中間処理を行い資源化率の向上を図られ、周辺住民へ環境にも安心して暮らせることの出来る社会が実現されている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【クリーンプラザよこて費】【クリーンプラザよこて費（債務負担）】 ①周辺環境調査事業　②リサイクル事業　③施設運営モニタリング事業　④環境保全事業　⑤運営維持管理事業（債務負担）⑥主灰資源化業務事業

④ 根 拠 法 令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤ 関 連 計 画	横手市一般廃棄物処理基本計画、 横手市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①周辺環境測定事業（大気質、水質、土壌、低質調査の検査委託料）　2,321千円 ②リサイクル事業（各種品目の処理委託料）　12,075千円 ③環境保全事業（委員の報酬）　39千円 ④運営維持管理事業（運営維持管理業務委託料）　410,678千円 ⑤資源化業務事業（主灰資源化業務委託料）　49,786千円
令和 7年度（決算）	①周辺環境測定事業（大気質、水質、土壌、低質調査の検査委託料）　2,321千円 ②リサイクル事業（各種品目の処理委託料）　12,775千円 ③環境保全事業（委員の報酬）　27千円 ④運営維持管理事業（運営維持管理業務委託料）　421,403千円 ⑤資源化業務事業（主灰資源化業務委託料）　50,268千円
令和 8年度（計画）	①周辺環境測定事業（大気質、水質、土壌、低質調査の検査委託料）②リサイクル事業（各種品目の処理委託料） ③環境保全事業（委員の報酬）④運営維持管理事業（運営維持管理業務委託料） ⑤資源化業務事業（資源化業務委託料）
令和 9年度（計画）	①周辺環境測定事業（大気質、水質、土壌、低質調査の検査委託料）②リサイクル事業（各種品目の処理委託料） ③環境保全事業（委員の報酬）④運営維持管理事業（運営維持管理業務委託料） ⑤資源化業務事業（資源化業務委託料）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	モニタリング実施回数				
		単位	回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	21,000	0
	(d) 使用料・手数料	116,301	114,199	112,615	114,192	116,220
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	345,461	362,102	386,412	438,862	386,468
事業費の小計		461,762	476,301	499,027	574,054	502,688

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040202	02 生活環境課	15,837	16,576	0	16,576	18,465	18,471
	クリーンプラザよこて費							
2	040202	02 生活環境課	460,464	471,671	112,615	359,056	532,214	484,217
	クリーンプラザよこて費（債務負担）							
3	040202	02 生活環境課	0	10,780	0	10,780	23,375	0
	クリーンプラザよこて費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 最終処分場管理費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040202－030100　衛生費・清掃費・塵芥処理費 最終処分場管理費・南東地区最終処分場管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市の最終処分場（西部地区、南東地区）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

処分場の施設廃止までの埋め立て、侵出水の適切な処理を行われ、周辺地域への安全性の確保が図られている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【南東地区最終処分場管理費】【南東地区最終処分場長寿命化事業（建設）】【旧西部地区最終処分場解体事業（建設）】

①南東地区最終処分場管理事業・ごみ処理場からの焼却残渣、飛灰、不燃物等を適切に埋立し、処理水は施設で薬剤で処理して下水道に放流して適切に管理を行う　②南東地区最終処分場長寿命化事業・機械類の更新工事を実施し施設の長寿命化をするための工事と第１埋立地の埋立終了に伴うキャッピング工事の実施と第２埋立地の埋立準備工事を実施　③旧西部地区最終処分場の解体工事を実施

④根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤関連計画	横手市一般廃棄物処理基本計画、 横手市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①南東地区最終処分場管理事業 侵出水処理用の薬剤 4,164千円、施設維持運転費（委託料1,182千円 光熱水費11,077千円）水質分析 4,037千円 重機・施設等修繕費 4,370千円 ②南東地区最終処分場長寿命化事業 第一区画キャッピング工事（第2期）R6分 85,298千円（R6～R7 2か年工事） 第一区画キャッピング工事監理業務委託（第2期） R6分 6,248千円（R6～R7 2か年委託）
令和 7年度（決算）	①南東地区最終処分場管理事業 侵出水処理用の薬剤 3,750千円、施設維持運転費（委託料1,231千円 光熱水費11,653千円）水質分析 4,076千円 重機・施設等修繕費 3,976千円 ②南東地区最終処分場長寿命化事業 第一区画キャッピング工事（第2期）R7分 85,298千円（R6～R7 2か年工事） 第一区画キャッピング工事監理業務委託（第2期） R7分 4,697千円（R6～R7 2か年委託）　ほか
令和 8年度（計画）	①南東地区最終処分場管理事業（侵出水処理用の薬剤、各種交換部品、機械の修繕、その他の経費等） ②南東地区最終処分場長寿命化事業（水処理施設等長寿命化設備更新）
令和 9年度（計画）	①南東地区最終処分場管理事業（侵出水処理用の薬剤、各種交換部品、機械の修繕、その他の経費等） ②南東地区最終処分場長寿命化事業（水処理施設等長寿命化設備更新）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	浸出水の適切な処理と分析				
		単位	回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	58,645	130,085	137,044	42,763	38,560
事業費の小計		58,645	130,085	137,044	42,763	38,560

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040202	03 生活環境課	36,064	36,632	0	36,632	40,568	38,560
	南東地区最終処分場管理費							
2	040202	03 生活環境課	94,021	100,412	0	100,412	2,195	0
	南東地区最終処分場長寿命化事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 ペットボトル等処理施設費

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040202－040100　衛生費・清掃費・塵芥処理費 ペットボトル等処理施設費・ペットボトル等処		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
容器包装リサイクル法に基づき、リサイクル協会の収集分別計画に沿って再資源化が図られ、資源化率の向上に繋がっている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【収集物適正処理作業業務】…収集物より不適合物の除去作業　ペットボトル分別適合物（ベール）の品質向上 【機械設備適正管理業務】…圧縮梱包機器などの適正管理

④ 根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤ 関連計画	横手市一般廃棄物処理基本計画 横手市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	ペットボトル等処理センターの経常経費 ①収集物適正処理作業業務（会計年度任用職員報酬・職員手当、費用弁償　28,232千円） ②施設維持管理経費（車両関係修繕費　778千円）
令和 7年度（決算）	・クリーンプラザよこて内の仮設処理施設内における、ペットボトル・プラスチック容器包装類処理の経常経費 ①収集物適正処理作業業務（会計年度任用職員報酬・職員手当、費用弁償　31，324千円） ②施設維持管理経費　1,310千円）　ほか
令和 8年度（計画）	・クリーンプラザよこて内の仮設処理施設内における、ペットボトル・プラスチック容器包装類処理の経常経費 ①収集物適正処理作業業務　②移設後の機械設備適正管理業務他
令和 9年度（計画）	・新ペットボトル等処理施設における、ペットボトル・プラスチックの処理経常経費 ①収集物適正処理作業業務　②ペットボトル等処理施設維持管理経費）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	ペットボトル・プラスチックの処理（ベール検査のランク維持）				
		単位	ﾗﾝｸ	目標値	A	A	A	A	A
				実績値	A	A	A		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	7,774	7,967	10,527	10,000	9,840
	(f) 一般財源	15,927	24,471	25,696	33,113	29,099
事業費の小計		23,701	32,438	36,223	43,113	38,939

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040202	04 生活環境課	32,438	36,223	10,527	25,696	41,160	38,939
	ペットボトル等処理施設費							
2	040202	04 生活環境課	0	0	0	0	1,953	0
	ペットボトル等処理施設費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0010 地域資源循環施設費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060109－070100　　農林水産業費・農業費・農業施設費 地域資源循環施設費・増田堆肥処理セン		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・畜産農家・耕種農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域にある資源を有効活用し、環境への負荷の少ない循環型社会の推進に向けた市民の意識が高まっている。
畜産環境等の改善や有機資源を活用した農業の推進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域資源循環施設費】【地域資源循環施設費（建設）】
・有機資源の地域内循環のため、大雄堆肥センター等の資源循環施設を運営するとともに、廃棄物系バイオマスエネルギー利活用の検証を実施する。
【増田町堆肥処理センター費】・増田町堆肥処理センターの指定管理の実施。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市農業振興計画、横手市環境基本計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・大雄堆肥センター等管理運営 畜ふん等受入れ 5,599t　堆肥販売数量 2,497t　堆肥販売額 22,792千円 ・増田堆肥処理センター土地借上料等 ・廃食油の利活用に向けた実証 BDF精製量　700ℓ　※堆肥センターローダーへ活用
令和 7年度（決算）	大雄堆肥センター等の管理運営 ・畜ふん等受入れ6,340ｔ、堆肥販売数量3,042ｔ、堆肥販売額27,861千円 廃食油の利活用に向けた実証 ・BDF精製量400リットル（施設内ローダーへ活用） 増田堆肥処理センター土地借上料等
令和 8年度（計画）	地域資源循環施設の管理運営 ・大雄堆肥センター等の管理運営、増田堆肥処理センターの維持 廃棄物系バイオマスエネルギーの利活用に向けた検証
令和 9年度（計画）	地域資源循環施設の管理運営 ・大雄堆肥センター等の管理運営、増田堆肥処理センターの維持 廃棄物系バイオマスエネルギーの利活用に向けた検証

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	畜ふん等受入数量				
		単位	t	目標値	6,000	5,500	5,000	5,000	5,000
				実績値	5,258	5,599	6,340		
	2	区分	成果	指標	堆肥販売量				
		単位	t	目標値	2,000	2,000	2,500	2,500	2,500
				実績値	2,520	2,497	3,042		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	1,846	1,751	1,723	1,738	1,800
	(e) その他特定財源	23,526	23,172	28,413	24,518	24,000
	(f) 一般財源	26,762	32,790	22,948	58,475	31,150
事業費の小計		52,134	57,713	53,084	84,731	56,950

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目	大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	060109	07	増田地域課	増田堆肥処理センター費	419	479	435	44	155	150
2	060109	07	農業振興課	地域資源循環施設費	52,344	51,670	29,701	21,969	56,778	56,800
3	060109	07	農業振興課	地域資源循環施設費（建設）	4,950	935	0	935	27,798	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 ペットボトル等処理施設整備事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040202－050100　　衛生費・清掃費・塵芥処理費 ペットボトル等処理施設整備事業・ペットボト		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

容器包装リサイクル法に基づき、リサイクル協会の収集分別計画に沿って再資源化が図られ、資源化率の向上に繋がっている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

令和４年度から施行される「プラスックに係る資源循環の促進等に関する法律（廃プラ新法）では、令和５年から「公益財団法人日本容器リサイク協会への引き渡しが開始され本格運用される　廃プラ新法にも将来的に対応可能な設備を導入した施設の整備を進めるものである

④ 根 拠 法 令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	⑤ 関 連 計 画	横手市一般廃棄物処理基本計画 横手市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 8年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	ペットボトル等処理施設整備事業 ・地質調査業務委託　7,022千円 ・整備事業支援業務委託　1,430千円 ・基本・実施設計業務委託　19,250千円（R7へ繰越）
令和 7年度（決算）	ペットボトル等処理施設整備事業 ・基本・実施設計業務委託　19,250千円（R6～R7） ・圧縮梱包機設置工事　R7分　45,388千円（R7～R8　2か年工事） ・圧縮梱包機設置工事　工事監理業務委託　R7分　440千円（R7～R8　2か年業務委託） ・地域計画変更及び交付金等手続支援業務委託　1,650千円 ・循環型交付金の額再確定に伴う返還（R5）　2,404千円
令和 8年度（計画）	・新ペット・プラ処理棟整備工事（２カ年工事の２年目） ・整備工事の設計監理業務委託及び工事監理業務委託 ・計画支援業務委託（国の交付金申請等の支援業務委託）
令和 9年度（計画）	・外構工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	ペットボトル等処理センター移転整備事業				
		単位	ﾗﾝｸ	目標値	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	48,586	2,340	41,867	266,991	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	80,000	4,400	18,300	524,300	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	73,233	1,712	9,487	123,980	0
事業費の小計		201,819	8,452	69,654	915,271	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	法令により一般廃棄物処理に関する事業は市の責務であり、処理計画において分別収集計画を作成し資源化の推進を行っている。また「プラスチック資源循環法」の制定に伴い、新たに製品プラスチックも処理できる施設を整備をする。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	環境への負荷をできるだけ低減していく循環型社会を形成していく必要がある。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	一般家庭から排出されたプラスチック容器包装類及び製品プラスチックやペットボトルについて適正な処理を行う事業である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	一般廃棄物処理基本計画及び実施計画に基づき、目標達成に向け着実に進んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無い。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	快適な生活環境の実現を目指し生活環境の保全を図るほか、循環型社会の形成につながる。
③事業の効率性	６	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	民間等での一部受入は可能と考えるが、現施設の方向性と一般廃棄物処理基本計画の変更など、社会情勢や国内・県内の動向を含め調査研究が必要である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	職員1人　会計年度任用職員10人体制で運営・維持管理を実施している。 体制は維持しながら他業務との連携を引き続き行っていく。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	日本容器包装リサイクル協会における再商品化事業では、特別分別基準適合物の再商品化単価及び特定事業者責任比率等に応じた負担となっている。
項目点合計	２５	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　6×3	総合評価点　８５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

容器包装廃棄物の適正処理の確保は重要な分野であり、「容器包装に係る分部収集及び再商品化の促進等に関する法律」に基づき分別収集計画を作成している。「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に沿った機械機器を備えたペットボトル等処理施設を整備し、一体的な処理でコスト上昇を抑えるとともに、引き続き精度の高い3Rを推進していくことで資源の有効利用と最終処分量の削減を図る取組が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	040202 05 生活環境課 ペットボトル等処理施設整備事業（建設）	8,452	69,654	60,167	9,487	915,271	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 気候変動対策事業

部・担当課	市民生活部・生活環境課	担当課長氏名	課長　大友　宣宏
予算科目事業	1 一般会計－040107－060100　　衛生費・保健衛生費・環境衛生費 気候変動対策事業・気候変動対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び事業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

エネルギーの効率的な利用と自然エネルギーの積極的な活用が促進され地球環境にやさしい生活と事業活動が定着しています

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地球温暖化対策実行計画の推進と進捗管理】
【再生可能エネルギー設備等導入促進】
【地域企業及び住民向けの脱炭素化社会へ向けた啓蒙活動】
【ＣＯＯＬＣＨＯＩＣＥ（二酸化炭素を減らす選択）に向けた情報発信】

④根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、 エネルギーの使用の合理化等に関する法律	⑤関連計画	
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①地球温暖化対策実行計画の推進と進捗管理 ②再生可能エネルギーまたは省エネルギーの設備等の導入促進事業 交付件数5件　交付額1,000,000円 ③住民向けの出前講座（２回開催）消費者の会、横手南中学校 ④クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）10施設
令和 7年度（決算）	①地球温暖化対策実行計画の推進　・再生可能エネルギー、省エネルギー設備の導入促進 ②再生可能エネルギー等事業補助金　交付件数5件　交付額1,000千円 ③クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）22施設
令和 8年度（計画）	・気候変動対策実行計画の推進と進捗管理　・再生可能エネルギー設備導入促進 ・電気自動車充電設備の整備　・地域企業及び住民向けの脱炭素化社会へ向けた啓蒙活動 ・ＣＯＯＬＣＨＯＩＣＥ（二酸化炭素を減らす選択）に向けた情報発信
令和 9年度（計画）	・気候変動対策実行計画の推進と進捗管理　・再生可能エネルギー設備導入促進 ・電気自動車充電設備の整備　・地域企業及び住民向けの脱炭素化社会へ向けた啓蒙活動 ・ＣＯＯＬＣＨＯＩＣＥ（二酸化炭素を減らす選択）に向けた情報発信

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	公共施設でのＣＯ２排出量の削減（実績値は翌年度集計のため前年度数値）単位:t-C02				
		単位	t	目標値	16,200	16,100	16,000	15,900	15,800
				実績値	16,662	16,662	15,921		
	2	区分	活動	指標	再生可能エネルギー設備等導入				
		単位	人	目標値	6	10	5	5	5
				実績値	6	5	5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,289	1,077	1,079	1,098	1,098
事業費の小計		1,289	1,077	1,079	1,098	1,098

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地球温暖化対策推進法は地方自治体に対して各自治体の事務事業に関する温室効果ガス削減策をまとめるよう義務付けている。また国で掲げる目標達成に向けて、温室効果ガス削減の取り組みを実施する必要がある。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市民一人ひとりの認知度が低く、総じて事業所を含めた意識の低さに繋がっていると感じる。効果的な媒体を使用し、出前講座など積極的に行う必要性を感じる。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	市民の自発的な活動を支援し、ニーズに即した事業を進める必要がある。
②事業の有効性	7	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	市が管理する公共施設からCO2排出量を計算し、目標達成に向けて努力している。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	・J-クレジット制度によるカーボンオフセット地球温暖化事業 ・公共施設のLED化事業 ・バイオマスタウン事業
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	横手市総合計画においても再生可能エネルギーや省エネルギーの設備導入について支援を行っている。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	地球温暖化対策推進法では地方公共団体に対して実施する事務・事業に関する温室効果ガスの排出抑制のための計画策定や実施状況を公表するように義務付けられている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	今後も温室効果ガス削減に向けて効果的な事業を展開していく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	再生可能エネルギー設備等導入促進事業については、導入経費の一部を補助するものであり、受益者負担は適正と考えている。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　7×3　＋　8×3　　総合評価点　７７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
再生可能エネルギー設備等導入促進事業についても単なる補助事業に留まることなく、市場動向を探りながら進めていきたい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040107	06 生活環境課	1,077	1,079	0	1,079	1,098	1,098
	気候変動対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 カーボンオフセット地球温暖化対策費

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060201－030100　農林水産業費・林業費・林業総務費 カーボンオフセット地球温暖化対策費・		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・事業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

森林が持つCO2を吸収できる権利（横手J-クレジット）をCO2を排出する側の事業所等と取引するカーボン・オフセットにより、CO2削減効果を発揮させるとともに、森林の健全化に力を注ぐことで地球温暖化防止に貢献する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

横手市と横手市森林組合とで構成する共同プロジェクト推進協議会を通じ横手J-クレジットを販売し、販売収益を森林整備に充てることでCO2を吸収する森林の健全化を図る。

④ 根 拠 法 令	地球温暖化対策の推進に関する法律	⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会を通じ、所有する横手J-クレジットを販売。併せて販路拡大にも取り組む。
令和 7年度（決算）	横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会を通じ、所有する横手J-クレジットを販売。併せて販路拡大にも取り組む。
令和 8年度（計画）	横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会を通じ、所有する横手J-クレジットを販売。併せて販路拡大にも取り組む。
令和 9年度（計画）	横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会を通じ、所有する横手J-クレジットを販売。併せて販路拡大にも取り組む。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	カーボン・オフセットクレジットの活用量				
		単位	t	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	152	101	180		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	145	151	147	202	202
事業費の小計		145	151	147	202	202

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060201 03 農林整備課 カーボンオフセット地球温暖化対策費	151	147	0	147	202	202

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策４】

基本目標

地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり

【政策４】

魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります《産業振興》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策4-1】魅力ある農林業の振興		顧客利便施設費	1166
農業委員費	914	商店街振興施設管理事業	1170
農業者年金受託事業	918	地方創生臨時交付金事業	1174
農業総務事務費	922	起業・創業支援事業	1178
農業振興センター事業	926	伝統的産業緊急支援事業	1182
農業経営支援事業	930	【施策4-3】活力ある工業の振興	
直接支払交付金事業	934	工業振興費	1186
作物振興事業	938	成長産業支援事業	1190
就農支援事業	942	地域ビジネス発掘調査事業	1194
果樹振興事業	946	中小企業活性化支援事業	1198
食育推進事業	950	機能合体事業	1202
発酵文化のまちづくり事業	954	工業団地管理費	1206
農山村振興事業	958	【施策4-4】観光・物産資源の発掘と発信	
機能合体事業	962	山内地場産品直売施設費	1210
果樹等自然災害復旧対策事業	966	機能合体事業	1214
地域活性化イベント事業	970	横手の魅力営業総務費	1218
産地づくり事業	974	横手産品販路拡大事業	1222
経営所得安定対策推進事業	978	観光振興事業	1226
水田活用推進事業	982	横手駅東西交流施設費	1230
農作物防除推進対策事業	986	展望台費	1234
家畜伝染病予防対策事業	990	ふれあいセンターかまくら館費	1238
子牛生産奨励事業	994	真人山荘費	1242
農業経営利子補給費	998	ふれあい交流センター費	1246
農地総務事務費	1002	道の駅費	1250
高度土地利用調整事業	1006	増田のまちなみ観光施設費	1254
農業生産基盤整備事業	1010	温泉観光施設費	1258
農業水利施設整備事業	1014	市営温泉施設特別会計繰出金	1262
農村地域防災減災事業	1018	観光誘客推進事業	1266
基幹水利施設管理事業	1022	応援人口拡大事業	1270
土壌汚染対策事業	1026	よこて観光地域づくり推進事業	1274
多面的機能支払交付金事業	1030	横手の物産活性化事業	1278
市民農園費	1034	民間温泉施設支援事業	1282
就業改善センター費	1038	【施策4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	
生活改善センター費	1042	労政・雇用対策事業	1286
大雄農業団地センター費	1046	総合技能センター費	1290
農産物加工・特産品生産振興施設費	1050	若年者等人財育成・地元定着支援事業	1294
泉の里地区水環境施設費	1054	勤労者等福祉施設費	1298
牧場費	1058	産業誘致対策事業	1302
死亡獣畜保冷施設費	1062	企業誘致対策費	1306
林業総務事務費	1066	ＩＴ・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	1310
民有林整備育成事業	1070	工業団地整備事業	1314
造林事業費	1074		
林道整備費	1078		
林道維持補修費	1082		
国産材需要開発センター費	1086		
農地農業用施設災害復旧事業	1090		
林業施設災害復旧事業	1094		
よこて農業創生大学事業	1098		
林道施設長寿命化事業	1102		
森林経営管理事業	1106		
地方創生臨時交付金事業	1110		
スマート農業普及支援事業	1114		
農業災害等緊急支援事業	1118		
畜産経営支援事業	1122		
畑地化促進支援事業	1126		
農山村振興事業	1130		
みどりの食料システム戦略推進事業	1134		
スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業	1138		
【施策4-2】活気ある商業の振興			
商工総務事務費	1142		
金融対策費	1146		
地域商業活性化支援事業	1150		
商工団体連携地域活性化事業	1154		
市場運営事業	1158		
山内杜氏組合支援事業	1162		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 農業委員会費

部・担当課	農業委員会事務局・農業委員会事務局	担当課長氏名	岩瀬　司
予算科目事業	1 一般会計－060101－020100　農林水産業費・農業費・農業委員会費　農業委員会費・非常勤特別職報酬（農		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業委員・農地利用最適化推進委員・市民・農業委員会事務局職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・農業委員と農地利用最適化推進委員がその職責を果たしている。（果たすための事務局体制が整っている。）
・担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進など農業委員の使命を市民が理解している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【非常勤特別職報酬】
・農業委員と農地利用最適化推進委員の報酬を支出。
【農業委員費】
・食育見聞録作文図画コンクール等の各種事業、農業委員と農地利用最適化推進委員の活動に支出。

④根拠法令	農業委員会等に関する法律、農地法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①農業委員報酬(24名)【月額報酬：会長75千円、会長職務代理者50千円、委員41千円】→　12,324千円 ②農地利用最適化推進委員報酬(23名)【月額報酬：35千円】　→　9,450千円 ③食育見聞録作文・図画コンクール等 ・応募作品数　作文：96作品　図面：239作品　計　335作品 ・各部門　最優秀賞1名　優秀賞5名
令和 7年度（決算）	①農業委員報酬(24名)【月額報酬：会長75千円、会長職務代理者50千円、委員41千円】→　12,119千円 ②農地利用最適化推進委員報酬(23名)【月額報酬：35千円】→　9,660千円 ③食育見聞録作文・図画コンクール等 ・応募作品数　作文：108作品　図面：175作品　計　283作品 ・各部門　最優秀賞1名　優秀賞5名
令和 8年度（計画）	①農業委員報酬(24名)・農地利用最適化推進委員報酬(23名) ②秋田県農業公社特例事業による農地売買等事業に関する業務、農業委員会だより発行 ③食育見聞録作文・図画コンクール等の実施
令和 9年度（計画）	①農業委員報酬(24名)・農地利用最適化推進委員報酬(23名) ②秋田県農業公社特例事業による農地売買等事業に関する業務、農業委員会だより発行 ③食育見聞録作文・図画コンクール等の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	農業委員会総会出席				
		単位	回	目標値	12	13	12	12	13
				実績値	12	13	12		
	2	区分	活動	指標	食育見聞録作文・図画コンクール開催				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	3	区分	活動	指標	秋田県農業委員会大会参加				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	236	236	236	236	236
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	181	171	181	195	175
	(f) 一般財源	26,082	26,482	25,704	26,665	27,557
事業費の小計		26,499	26,889	26,121	27,096	27,968

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060101 02 農業委員会事務局 非常勤特別職報酬（農業委員）		21,774	21,779	0	21,779	21,984	21,984
2	060101 02 農業委員会事務局 農業委員費		633	429	0	429	740	853
3	060101 02 農業委員会事務局 農業委員会事務局費		4,068	3,341	417	2,924	3,609	4,368
4	060101 02 農業委員会事務局 農業委員会事務局費（債務負担）		414	572	0	572	763	763

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0003 農業者年金受託事業

部・担当課	農業委員会事務局・農業委員会事務局	担当課長氏名	岩瀬　司
予算科目事業	1 一般会計－060101－030100　農林水産業費・農業費・農業委員会費　農業者年金受託事業・農業者年金受託		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者年金加入予定者・農業者年金加入者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業者が、老後生活の安定と福祉向上のため農業者年金に加入している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農業者年金受託事業】
・啓蒙普及を積極的に行い、情報提供に努めながら年金加入を推進する。
・農業後継者への、農地の適正移譲を図る。

④ 根 拠 法 令	独立行政法人農業者年金基金法、農地法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①農業者年金事務等 ②農業委員会だより発行（515,460円：33,000部）
令和 7年度（決算）	①農業者年金事務等 ②農業委員会だより発行（580,800円：33,000部）
令和 8年度（計画）	①農業者年金事務等 ②農業委員会だより発行
令和 9年度（計画）	①農業者年金事務等 ②農業委員会だより発行

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	農業者年金加入促進				
		単位	人	目標値	13	13	13	10	10
				実績値	1	2	4		
	2	区分	活動	指標	農業委員会だより発行（9月）				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2,507	2,848	2,413	1,932	2,300
	(f) 一般財源	415	618	1,249	1,860	1,352
事業費の小計		2,922	3,466	3,662	3,792	3,652

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	独立行政法人農業者年金基金法、農業委員会等に関する法律による事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	農業者の老後の生活の安定および福祉の向上を図るとともに、農業者の確保に資することを目的としている。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	一定の要件に基づく、農業経営者や農業従事者が対象となる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	農業者年金の加入推進と受給者への適正指導は達成できているが、 新規加入者の大幅な増加の見込みは難しい。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	独立行政法人農業者年金基金法、農業委員会等に関する法律による事業である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	独立行政法人農業者年金基金法、農業委員会等に関する法律による事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	独立行政法人農業者年金基金法、農業委員会等に関する法律による事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	法令に基づいた事業内容であり、農業後継者への農地の適正移譲と農家の老後生活の安定を図るものであり効率的である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	独立行政法人農業者年金基金法に基づいて、市の責務として実施している業務であり、負担は適正である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

農業者年金加入により農業経営の安定化を図り、年金受給者の適正な経営移譲を推進する。
農地を農業後継者へ適正に移譲させ、老後生活の安定と福祉向上のため、農業者年金加入を促進する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060101	03 農業委員会事務局	3,466	3,662	2,413	1,249	3,792	3,652
	農業者年金受託事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 農業総務事務費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060102－020100　農林水産業費・農業費・農業総務費 農業総務事務費・農業総務事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市全域（主として農林水産業者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民が意欲をもって取り組める農林水産業の振興が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・横手市農業振興計画に則った農業関連事業の実施
・横手農業振興地域整備計画の定期変更による適切な運用管理
・農業関連団体、内水面漁業協同組合等への活動支援
・各地域局（増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）における農政事務執行
・大田区大森町共栄会交流事業の実施

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市農業振興計画 横手農業振興地域整備計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・農林部及び地域局の農政執行事務費 ・各種農業団体への補助 ・各種農業団体等への負担金 ・農業振興地域整備計画の運用管理 ・コピー機リース（3台）ほか
令和 7年度（決算）	・農林部及び地域局の農政執行事務費 ・第３次農業振興計画の策定 ・農業振興地域整備計画の運用管理 ・各種農業団体への補助金交付 ・各種農業団体等への負担金 ・大田区大森町共栄会との交流事業の実施
令和 8年度（計画）	・農林部及び地域局の農政執行事務費　・各種農業団体への補助及び各種農業団体等への負担金等 ・農業振興地域整備計画の運用管理　・大田区大森町共栄会との交流事業に係る経費ほか
令和 9年度（計画）	・農林部及び地域局の農政執行事務費　・各種農業団体への補助及び各種農業団体等への負担金等 ・農業振興地域整備計画の運用管理　・大田区大森町共栄会との交流事業に係る経費ほか

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	主管課長等会議回数				
		単位	回	目標値	2	2	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	2	区分	活動	指標	農業振興地域整備計画変更回数				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	469	0	0
	(f) 一般財源	24,007	21,591	21,055	23,873	23,959
事業費の小計		24,007	21,591	21,524	23,873	23,959

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	060102 02 農業振興課 農業総務事務費	11,447	11,327	469	10,858	13,026	13,300
2	060102 02 増田地域課 農業総務事務費（増田地域）	2,678	2,838	0	2,838	2,875	2,875
3	060102 02 平鹿地域課 農業総務事務費（平鹿地域）	472	477	0	477	583	482
4	060102 02 雄物川地域課 農業総務事務費（雄物川地域）	162	134	0	134	166	177
5	060102 02 大森地域課 農業総務事務費（大森地域）	1,022	37	0	37	76	76
6	060102 02 十文字地域課 農業総務事務費（十文字地域）	2,783	2,942	0	2,942	3,100	3,002
7	060102 02 山内地域課 農業総務事務費（山内地域）	2,684	2,858	0	2,858	2,971	2,971
8	060102 02 大雄地域課 農業総務事務費（大雄地域）	343	259	0	259	344	344
9	060102 02 大森地域課 大田区大森町共栄会交流事業	0	652	0	652	732	732

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0008 農業振興センター事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－010100　農林水産業費・農業費・農業振興費 農業振興センター事業・農業振興センタ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
農業者・農業関係機関
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
農業者や農業関係機関が、営農や事業の情報等を共有している。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【農業振興センター事業】 農業者への情報発行やメール配信

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・営農情報発行（稲作6回・果樹13回） ・事業情報パンフレットの発行 ・気象情報・農作物被害防止情報等のメール配信（4回）
令和 7年度（決算）	農業振興センター事業の実施 ・営農情報発行（稲作6回・果樹14回） ・事業情報パンフレットの発行 地域農業指導センター事業の実施（8地域） ・地域農業団体等の活動助成 ・交流事業ほか
令和 8年度（計画）	農業者への情報発信 ・営農情報発行（稲作・果樹）、事業情報パンフレットの発行、気象情報等のメール配信 地域農業指導センター事業の実施（８地域）
令和 9年度（計画）	農業者への情報発信 ・営農情報発行（稲作・果樹）、事業情報パンフレットの発行、気象情報等のメール配信 地域農業指導センター事業の実施（８地域）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	情報発行・発信回数				
		単位	回	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	20	23	21		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,704	3,639	3,731	3,631	3,726
事業費の小計		3,704	3,639	3,731	3,631	3,726

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	農業関係団体と情報共有を図りながら市内農業者への営農情報等を提供するほか、各地域において農業関係団体等の活動助成を実施している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	農業関係団体と連携し、基幹産業である農業の振興を目指す事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	農業者や農業関係団体が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	市内農業者の営農継続と所得向上に向けた取組であり、目標も達成できている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	魅力ある農業の振興に必要な事業である。
③事業の効率性	5	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	農業関係団体と連携して農業振興を図るため、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	事業がマンネリ化している部分も多く、今後見直しや改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	1点：適切な受益者負担となっておらず、サービス水準も含めた見直しが必要である。
		1	定額的な負担となっている部分も多く、見直しが必要である。
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　5×3　　総合評価点　７０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
事業の内容を精査し、各地域や関係団体と協議を重ねながら、今後の方向性を検討し、事業の見直しを進める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060103	01 農業振興課	675	694	0	694	749	770
	農業振興センター事業							
2	060103	01 農業振興課	500	500	0	500	500	500
	農業指導センター事業（横手地域）							
3	060103	01 増田地域課	147	160	0	160	160	160
	農業指導センター事業（増田地域）							
4	060103	01 平鹿地域課	674	649	0	649	649	649
	農業指導センター事業（平鹿地域）							
5	060103	01 雄物川地域課	173	270	0	270	115	175
	農業指導センター事業（雄物川地域）							
6	060103	01 大森地域課	249	237	0	237	237	237
	農業指導センター事業（大森地域）							
7	060103	01 十文字地域課	570	570	0	570	570	570
	農業指導センター事業（十文字地域）							
8	060103	01 山内地域課	271	271	0	271	271	285
	農業指導センター事業（山内地域）							
9	060103	01 大雄地域課	380	380	0	380	380	380
	農業指導センター事業（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0012 農業経営支援事業

部・担当課	農林部・農業振興課		担当課長氏名	鈴木　洋		
予算科目事業	1 一般会計－060103－020100　農林水産業費・農業費・農業振興費　農業経営支援事業・農業経営安定化対策					
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者および人・農地プランに位置づけされた経営体

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業の持続的発展と食料の安定供給を図るため、地域の将来を担う中心経営体の育成強化対策により農家所得が向上している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農業経営安定化対策事業】農業経営安定化対策資金(マル農)の推進【担い手への農地集積推進事業】人・農地プランに基づく農地中間管理事業の推進【集落型農業法人育成事業】新規集落型農業法人の経営安定化支援【収入保険加入拡大支援事業】収入保険加入拡大支援【経営継承・発展等支援事業】農業経営の継承を支援【集落営農活性化プロジェクト推進事業】集落営農組織の活性化を支援【中山間地域等経営継続支援事業】中山間地域における営農継続を支援【畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業】畑作物の産地生産体制の確立を支援【集落営農連携促進等事業】集落営農の連携・合併による収益強化等を支援

④ 根拠法令	農地中間管理事業の推進に関する法律、経営体育成支援事業実施要綱	⑤ 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①地域計画（目標地図）の策定 ②農地中間管理事業に係る協力金や補助金の交付（地域集積4地域） ③農業者への融資あっせんの実施（マル農新規借入　137件　489,520千円） ④収入保険の加入促進（継続344人　新規30人　計374人） ⑤中山間地域における営農継続支援（条件整備7件、新規借受1件・借受面積943a） ⑥農業法人の育成・活性化支援（8件）ほか
令和 7年度（決算）	①農業者への融資あっせんの実施（マル農新規借入167件　712,890千円） ②農地中間管理事業に係る協力金や補助金の交付（地域集積協力金1地域） ③農業法人の育成支援（3件） ④収入保険の加入促進（継続339人、新規25人　合計364人） ⑤中山間地域における営農継続支援（条件整備4件、新規借受4件） ⑥農業人材確保に向けた取組の支援（2件）ほか
令和 8年度（計画）	①農業経営安定化対策資金（マル農）の推進 ②地域計画の見直し ③農地中間管理事業の推進 ④農業法人の育成・経営継承支援 ⑤収入保険の加入推進 ⑥中山間地域における営農継続支援⑦地域計画に位置付けられた担い手の経営安定化支援⑧農業人材確保に向けた取組の推進
令和 9年度（計画）	①農業経営安定化対策資金（マル農）の推進 ②地域計画の見直し ③農地中間管理事業の推進 ④農業法人の育成・経営継承支援 ⑤収入保険の加入推進 ⑥中山間地域における営農継続支援⑦地域計画に位置付けられた担い手の経営安定化支援⑧農業人材確保に向けた取組の推進

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	新規農業法人数				
		単位	法人	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	11	19		
	2	区分	成果	指標	新規認定農業者・認定就農者数				
		単位	人	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	32	26	38		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	96,299	41,159	168,477	221,625	1,010,543
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	800,537	535,849	535,462	535,000	535,000
	(f) 一般財源	22,497	19,766	22,566	47,290	41,582
事業費の小計		919,333	596,774	726,505	803,915	1,587,125

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	基幹産業である農業の担い手となる経営体の育成に向けた経営基盤の強化に不可欠な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	農業の振興や生産力の向上は、市内の経済活動にも影響することから、公益性の高い事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	農業者や農業法人等が対象であるが、関連する多くの人達にも関係している。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	農業の担い手を育成しながら取組が進んでおり、継続した実施が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	農業の担い手の経営安定に向けた支援は、持続的な農業振興に欠かせない事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国・県の補助事業の積極的な活用も含め、市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	農業情勢や農業者のニーズの変化により、事業内容を見直し実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国・県の補助事業が多く、適切なサービス水準である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　10×3　＋　8×3	総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

基幹産業である農業の持続的な発展に向けては担い手の育成と経営安定が不可欠であり、農業経営基盤の強化を支援するために継続した実施が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	060103 02 農業振興課 農業経営安定化対策事業（債務負担）	544,249	548,878	535,000	13,878	559,351	563,000
2	060103 02 農業振興課 担い手への農地集積推進事業	27,124	3,464	2,013	1,451	4,195	11,500
3	060103 02 農業振興課 集落型農業法人育成事業	134	90	0	90	200	200
4	060103 02 農業振興課 収入保険加入拡大支援事業	1,208	1,398	0	1,398	1,650	1,882
5	060103 02 農業振興課 中山間地域等経営継続支援事業	5,672	4,519	0	4,519	7,000	8,000
6	060103 02 農業振興課 農地利用効率化等支援事業（建設）	6,000	30,014	30,014	0	30,000	30,000
7	060103 02 農業振興課 農業人材確保事業	170	1,230	0	1,230	2,519	2,000
8	060103 02 農業振興課 新基本計画実装・農業構造転換支援事業（建設）	0	132,227	132,227	0	166,000	928,543
9	060103 02 農業振興課 集落営農連携促進等事業	0	1,000	1,000	0	1,000	10,000
10	060103 02 農業振興課 来たれ次期社長候補！経営継承促進事業	0	0	0	0	2,000	2,000
11	060103 02 農業振興課 担い手確保・経営強化支援事業（建設）	0	0	0	0	30,000	30,000
12	060103 02 農業振興課 地域農業構造転換支援事業（建設）	0	0	0	0	0	0
13	060103 02 農業振興課 経営継承・発展等支援事業	0	0	0	0	0	0
14	060103 02 農業振興課 集落営農活性化プロジェクト促進事業	8,413	2,915	2,915	0	0	0
15	060103 02 農業振興課 企業的農業法人へのジャンプアップ応援事業	3,804	0	0	0	0	0
16	060103 02 農業振興課 畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業	0	770	770	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 直接支払交付金事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－030100　農林水産業費・農業費・農業振興費 直接支払交付金事業・中山間地域等直接		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者の組織する団体　等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業の持続的発展と農業の有する多面的機能が健全に発揮されるとともに、意欲ある農業者が農業を継続でき、農業が本来有する自然循環機能が維持・増進されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・中山間地域において、農地の保全と地域環境の保全に取り組む農業者団体等に対し、中山間地域等直接支払交付金を交付する。
・自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動等を実施する農業者団体等に対し、環境保全型農業直接支払交付金を交付する。

④根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	⑤関連計画	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・中山間地域等直接支払交付事業　交付対象面積：626.9ha　交付金額：56,713千円 ・中山間地域等直接支払推進事業　事務費：1,205千円 ・環境保全型農業直接支援対策事業　対象面積：506.96ha　交付金額計：26,412千円　事務費：148千円
令和 7年度（決算）	中山間地域等の農業生産条件の不利を補正することによる生産活動の継続支援 ・対象面積 313.2ha、交付金額 26,261千円 ・事務費 858千円 自然環境の保全に資する生産方式を導入した農業生産活動の取組支援 ・対象面積 400.96ha、交付金額 17,870千円 ・事務費 149千円
令和 8年度（計画）	・中山間地域等直接支払交付事業・推進事業の実施 ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施
令和 9年度（計画）	・中山間地域等直接支払交付事業・推進事業の実施 ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	環境保全型農業直接支払対策事業取組対象面積				
		単位	ha	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	500	507	401		
	2	区分	成果	指標	中山間地域等直接支払交付事業取組対象面積				
		単位	ha	目標値	630	630	500	500	500
				実績値	630.2	626.9	313.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	62,807	62,614	33,543	37,706	36,410
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	21,344	21,864	11,595	13,298	12,366
事業費の小計		84,151	84,478	45,138	51,004	48,776

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	多面的機能を発揮する中山間地域の農地保全と環境負荷軽減を図る営農活動により、国土保全の観点からも重要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	中山間地域の農地保全や農村の環境保全を図る事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	農業者や農業組織、地域住民が対象である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	1点：目標の達成が困難であり、目標値の修正が必要である。
		1	中山間地域においては農業者の高齢化や担い手不足が顕著であり、目標値ついて修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	多面的機能を持つ農地と農村環境の維持に向けて欠かせない事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	国の交付金事業であり、市が実施する必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	中山間地域においては農業者の高齢化や担い手不足が顕著であり、取組面積も減少したことから、今後の取組に向けて検討が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国の交付金事業であり、他自治体と比較してサービス水準は適切である。
項目点合計	２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　7×3　＋　9×3	総合評価点　８４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
多面的機能の維持と環境と調和のとれた農業の取組は、持続可能な農業の振興や農村環境の維持からも継続して実施すべきである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060103	03 農業振興課	56,713	26,261	19,696	6,565	26,262	24,534
	中山間地域等直接支払交付事業							
2	060103	03 農業振興課	1,205	858	300	558	1,172	672
	中山間地域等直接支払推進事業							
3	060103	03 農業振興課	26,560	18,019	13,547	4,472	23,570	23,570
	環境保全型農業直接支援対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 作物振興事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－040100　農林水産業費・農業費・農業振興費 作物振興事業・高収益作物導入推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内農業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

複合経営の推進により、農業生産額及び農業所得が向上している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【夢ある園芸産地創造事業】・・県の戦略作物の産地拡大や経営の複合化等に必要な機械・施設にかかる経費の一部を助成。【高収益作物導入推進事業】【園芸作物規模拡大強化事業】・・振興作物等の栽培に必要な機械・設備の導入にかかる経費の一部を助成。【輸出農産物販売促進事業】・・JA秋田ふるさとによる市内農産物の輸出に向けた取組支援。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市農業振興計画、戦略作物産地育成計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・夢ある園芸産地創造事業　（12件　補助金 30,318千円） ・高収益作物導入推進事業　（55件　補助金 17,415千円） ・園芸作物規模拡大強化事業　（19件　補助金 4,555千円） ・あきたの園芸省エネ化支援事業　（11件　補助金 3,213千円） ・化学肥料低減機械等導入支援事業　（ 4件　補助金 8,319千円）
令和 7年度（決算）	園芸作物の生産拡大に必要な機械、施設の導入支援 ・夢ある園芸産地創造事業　（10件　補助金 22,656千円） ・高収益作物導入推進事業　（59件　補助金 19,901千円） ・園芸作物規模拡大強化事業　（13件　補助金 4,958千円） ・あきたの園芸省エネ化支援事業　（14件　補助金 3,418千円） ・化学肥料低減機械等導入支援事業　（ 3件　補助金 6,751千円）
令和 8年度（計画）	・夢ある園芸産地創造事業　・高収益作物導入推進事業　・園芸作物規模拡大強化事業 ・輸出農産物販売促進事業
令和 9年度（計画）	・夢ある園芸産地創造事業　・高収益作物導入推進事業　・園芸作物規模拡大強化事業 ・輸出農産物販売促進事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	園芸作物等総生産額（水稲除く）				
		単位	億円	目標値	163	163	163	140	140
				実績値	158	159	175		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	35,680	34,177	27,863	34,200	35,000
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	32,674	29,643	29,821	31,800	31,000
事業費の小計		68,354	63,820	57,684	66,000	66,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市の基幹産業である農業の産地複合化の推進のために優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市の農業振興を図るうえで重要な事業である。また、農業所得の向上により地域経済の活性化につながることから、市全体に公益をもたらす事業と言える。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	農業の複合経営のため規模の拡大や維持等を目指す農業者や経営体などが対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	地球温暖化などの影響による変動もあり、引き続き目標達成に向けた取り組みが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市の基幹産業である農業の産地複合化の推進や振興のためには必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国や県の補助事業のほか市単独事業も実施しており、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	農業者などの要望に基づき事業内容を精査し、最善と思われる制度に見直ししながら事業を実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国や県の事業内容を確認し適切に実施している。また、市単独の補助事業は小規模な農家も取り組めるような受益者負担となるように制度設計をしている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

産地の複合経営を推進するために欠かせない事業である。今後も県やJA秋田ふるさと農業協同組合等の関係機関と連携しながら、事業を継続していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	060103 04 農業振興課 高収益作物導入推進事業	17,415	19,901	0	19,901	21,000	21,000
2	060103 04 農業振興課 夢ある園芸産地創造事業（建設）	30,318	22,656	17,694	4,962	40,000	40,000
3	060103 04 農業振興課 園芸作物規模拡大強化事業	4,555	4,958	0	4,958	5,000	5,000
4	060103 04 農業振興課 あきたの園芸省エネ化支援事業	3,213	3,418	3,418	0	0	0
5	060103 04 農業振興課 輸出農産物販売促進事業	0	0	0	0	0	0
6	060103 04 農業振興課 化学肥料低減機械等導入支援事業	8,319	6,751	6,751	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 就農支援事業

部・担当課	農林部・食農推進課	担当課長氏名	松井　尊臣
予算科目事業	1 一般会計－060103－050100　農林水産業費・農業費・農業振興費 就農支援事業・新規就農者確保・定着支		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業経営者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域農業を支え、様々な分野の知識人らと協力し合い、能力を十分に発揮して自己実現している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・県農業試験場や横手市園芸振興拠点センター等で研修を受ける研修生に対して、奨励金を交付する。
・経営開始直後の新規就農者に対し、経営確立に資する資金の交付や経営発展に必要な機械・施設の導入等を支援する。
・新規就農者や青年農業者、高校生に対して、各種研修等を実施する。
・就農相談会や短期農業研修等を活用した新規就農者確保と営農定着に向けたフォローアップを実施する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・農業研修生に対する研修奨励金の交付（フロンティア研修生2名、地域で学べ研修生10名） ・新規就農者に対する経営確立のための資金交付　（農業次世代人材投資事業12名、経営開始資金11名） ・新規就農者や青年農業者、高校生に対する各種研修等の実施（経営力向上研修19名、高校生研修講話等14回） ・農業人材の確保に向けた取組みの実施（就農相談会等出展4回、市内就農相談会2回、農業短期研修2人、新規就農者定住支援事業1名） ・ホップ作業機械・施設等の修繕費用への一部助成（22件）
令和 7年度（決算）	・農業研修生に対する研修奨励金の交付（フロンティア研修生1名、地域で学べ研修生9名） ・新規就農者に対する経営確立のための資金交付　（農業次世代人材投資事業4名、経営開始資金5名） ・新規就農者や青年農業者、高校生に対する各種研修等の実施（経営力向上研修18名、高校生研修講話等3回） ・農業人材の確保に向けた取組みの実施（就農相談week1回、随時就農相談、新規就農者定住支援事業1名） ・ホップ栽培技術平準化検証事業（ホップ栽培マニュアルの作成） ・ホップ作業機械・施設等の修繕費用への一部助成（13件）
令和 8年度（計画）	①新規就農者確保・定着支援事業（経営力向上研修の実施等）、②フロンティア農業者育成事業・地域で学べ農業技術研修事業（農業技術研修の実施）、③ミドル就農者経営確立支援事業・新規就農者育成総合対策事業（就農直後の経営確立支援）、④「横手のホップ」ステップアップ事業　ほか
令和 9年度（計画）	①新規就農者確保・定着支援事業（経営力向上研修の実施等）、②フロンティア農業者育成事業・地域で学べ農業技術研修事業（農業技術研修の実施）、③ミドル就農者経営確立支援事業・新規就農者育成総合対策事業（就農直後の経営確立支援）、④「横手のホップ」ステップアップ事業　ほか

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	新規就農者数				
		単位	人	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	48	47	53		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	40,804	33,740	14,927	19,560	19,590
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	1,000	1,000	1,000
	(f) 一般財源	5,727	10,544	11,126	13,656	14,868
事業費の小計		46,531	44,284	27,053	34,216	35,458

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市・まち・ひと・しごと創生総合戦略の重要業績指標である新規就農者を確保するための事業であり、優先的に実施すべき事業絵ある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市の基幹産業である農業を支える担い手を確保する事業であり、農業の持続的発展につながるものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	事業により対象年齢などの要件はあるものの、就農を希望する全ての市民が対象となる事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	農業技術研修生の確保が難しくなってきており、募集方法に工夫等が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	農業に限定した事業であり、他部局に類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手市・まち・ひと・しごと創生総合戦略の重要業績指標である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	補助事業については、実施要綱により市が窓口となる事業がほとんどである。また、支援的な事業内容からも市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	制度改正や事業検証による見直しや改善を実施しているが、今後も実態に即した支援事業となるよう見直しや改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市独自の支援事業もあるが、国・県の制度に準じた運用をしており、他自治体と比較しても適切な水準である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

人口減少が加速する中、農業の担い手を確保し、営農定着に導くことは、市の基幹産業である農業の持続的発展に重要な施策である。国・県事業の活用を図りながら市独自の事業を組み合わせることで、より効果的、効率的な事業展開ができており、継続した担い手の確保・育成に向け、更に強化して取り組む必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	060103 05 食農推進課 新規就農者確保・定着支援事業	149	256	0	256	912	417
2	060103 05 食農推進課 フロンティア農業者育成事業	2,400	1,200	630	570	2,400	3,600
3	060103 05 食農推進課 地域で学べ農業技術研修事業	10,200	10,800	4,050	6,750	9,600	12,000
4	060103 05 食農推進課 ミドル就農者経営確立支援事業	0	0	0	0	1,200	1,200
5	060103 05 食農推進課 「横手のホップ」ステップアップ事業	2,203	4,547	1,000	3,547	6,604	6,241
6	060103 05 食農推進課 新規就農者育成総合対策事業	15,750	7,550	7,547	3	13,500	12,000
7	060103 05 食農推進課 農業次世代人材投資事業	13,582	2,700	2,700	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 果樹振興事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－060100　農林水産業費・農業費・農業振興費 果樹振興事業・果樹産地再生支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内果樹農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

高品質で収益性の高い果樹の生産により、果樹産地として復興し、果樹農家が自立した果樹経営をしています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【果樹産地再生支援事業】・・より力強い果樹産地として再生するため、生産資材・施設等にかかる経費の一部を助成。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	果樹産地の支援事業を継続実施。果樹作業労働を補完・軽減する機械等に対する助成。 ・農機導入事業　（ 44件　補助金 10,816千円） ・横手モデル推進事業（ 15件　補助金　576千円） ・圃場改良事業　（ 108件　補助金 1,561千円） ・品質向上対策事業　（ 123件　補助金　632千円）
令和 7年度（決算）	果樹産地の支援事業を継続実施。果樹作業労働を補完、軽減する機械等に対する助成 ・農機導入事業　（45件　補助金 11,178千円） ・品質向上事業　（61件　補助金　503千円） ・横手モデル推進事業（ 8件　補助金　575千円） ・圃場改良事業　（83件　補助金 1,300千円） ・放任園解消事業　（ 1件　補助金　270千円）
令和 8年度（計画）	【果樹産地再生支援事業】より力強い果樹産地として再生するため、生産資材、農機等にかかる経費の一部助成 【果樹放任園解消緊急対策事業】放任園を解消し病害虫のまん延を防ぐための樹木の伐採等の経費の一部助成 【共同防除緊急体制強化事業】スピードスプレーヤー購入に対する経費の一部助成
令和 9年度（計画）	【果樹産地再生支援事業】より力強い果樹産地として再生するため、生産資材、農機等にかかる経費の一部助成 【果樹放任園解消緊急対策事業】放任園を解消し病害虫のまん延を防ぐための樹木の伐採等の経費の一部助成 【共同防除緊急体制強化事業】スピードスプレーヤー購入に対する経費の一部助成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市内樹園地面積				
		単位	ha	目標値	980	940	894	894	894
				実績値	912	891	856		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,288	13,585	13,826	33,100	77,400
事業費の小計		3,288	13,585	13,826	33,100	77,400

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	県内一の果樹の産地であり、後継者不足による廃園や離農を防ぐうえでも優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	歴史的風致の維持や耕作放棄による農地の荒廃を防ぐためにも公益性の高い事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	支援の対象は果樹農家であるが、農地の荒廃防止や景観の維持、水源涵養の観点からも不特定多数の市民に関係する事業である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標達成に向けて着実に進歩しているが、自然災害や後継者不足などの影響により目標値の修正は必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似する事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	果樹は横手市の農業振興に欠かせない重要作物であり、果樹振興のために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	後継者不足等による廃園や離農を防ぎ産地を守るため、市が主体的に取り組む必要がある事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年度事業の見直しを行っており、今後も改善の余地はある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	生産基盤づくりと景観の維持にも貢献しており、他の自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和2年度の大雪災害により樹園地は多大な被害を受けた。しかし、果樹農家や関係者の取り組みにより以前の産地に戻りつつある。特に農機の導入等の意欲からも判断することができる。秋田県内随一の果樹産地であり、今後も産地を守り維持していくためには、これまで以上に積極的な事業展開が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060103 06 農業振興課 果樹産地再生支援事業	13,585	13,826	0	13,826	16,200	21,000
2	060103 06 農業振興課 果樹放任園解消緊急対策事業	0	0	0	0	1,900	11,400
3	060103 06 農業振興課 共同防除緊急体制強化事業	0	0	0	0	15,000	45,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 食農推進事業

部・担当課	農林部・食農推進課	担当課長氏名	松井　尊臣
予算科目事業	1 一般会計－060103－070100　農林水産業費・農業費・農業振興費 食農推進事業・横手市特産品開発支援事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市民・農業者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域産品イメージの向上と、個別の地域産品のブランド化が進み、地域産品の付加価値の向上と農業所得の向上が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手の食農推進事業】横手の食農推進事業、食と農からのＨＰ管理事業、食農推進ＰＲラジオ番組、十文字地域首都圏での農産物ＰＲ販売事業、地産地消イベント、卸売市場流通支援事業。【６次産業化応援事業】６次産業化研修、６次産業化推進支援事業補助金、加工品開発支援等。【横手市特産品開発支援事業（特産品生産振興費】山内地域特産品のＰＲ、販路拡大、加工品開発事業に要する経費。【６次産業施設整備支援事業】漬物製造販売事業などの継続のため、改正法に対応した施設整備への補助経費。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・首都圏等の卸売市場でのトップセールスの実施、ＨＰやラジオ番組等による「食と農」の情報発信 ・米粉餡の普及に向けた講習会の開催（全7回）　・６次産業化セミナーの開催（全7回：受講者7名） ・６次産業化推進支援事業補助金の交付（交付件数：3件、交付金額：1,234千円） ・漬物製造等事業継続支援事業補助金の交付（交付件数：2件、交付金額：544千円） ・【山内地域課】わらび園整備事業、山内ニンジン普及活動、いぶりんピックの開催 ・【十文字地域課】首都圏で地元農産物のＰＲ販売する青空市場を開催（11/1）
令和 7年度（決算）	・首都圏等の卸売市場でのトップセールスの実施　・ＨＰやラジオ番組等による「食と農」の情報発信 ・６次産業化セミナーの開催（全10回、受講者4名） ・６次産業化推進支援事業補助金の交付（交付件数：3件、交付金額：685千円） ・【山内地域課】わらび園整備事業（営業5/12～7/6、来場者368名）、山内にんじん普及活動（全2回）、いぶりんピックの開催（2/4、総数24名）　・【十文字地域課】さくらんぼ産地元気アップ事業（5/26～3/27、のぼり旗製作、さくらんぼフォトコンテスト、生産者アンケート調査）
令和 8年度（計画）	①横手市産農産物のＰＲ（首都圏等で販促活動、ＨＰ管理、ラジオ番組制作、ＳＮＳの活用）。②６次産業化の取組みへ助成、講習会等の開催、加工品開発支援他。③わらび園整備事業、山内ニンジン普及活動、いぶりんピックの開催（山内地域課）。④さくらんぼ産地を元気にする事業（十文字地域課）
令和 9年度（計画）	①横手市産農産物のＰＲ（首都圏等で販促活動、ＨＰ管理、ラジオ番組制作、ＳＮＳの活用）。②６次産業化の取組みへ助成、講習会等の開催、加工品開発支援他。③わらび園整備事業、山内ニンジン普及活動、いぶりんピックの開催（山内地域課）。④さくらんぼ産地を元気にする事業（十文字地域課）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	食育・地産地消推進に関する事業数				
		単位	回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	8	7	6		
	2	区分	活動	指標	横手市6次産業化支援施設を活用した取組件数（R2年度～）				
		単位	件	目標値	150	150	150	150	150
				実績値	202	174	130		
	3	区分	成果	指標	学校給食における地場産野菜15品目使用率				
		単位	%	目標値	45	45	45	45	45
				実績値	25.2	32.1	33.7		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,274	5,420	5,169	7,735	11,308
事業費の小計		8,274	5,420	5,169	7,735	11,308

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	第２次横手市総合計画の主な取り組みとして位置づけられている。本市の豊かな地域資源の活用と新たな流通戦略の展開、地域文化の伝承を図りながら「食」の安全・安心に配慮した農業の推進を方針としており、農業所得の向上や将来を見据えた担い手の確保に向けて重要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	地域資源の核となる農産品を起点としたブランド化を進めることにより、農業者だけではなく市内の様々な業種に波及するものと考えられる。特に６次産業化の分野は他県と比較して伸びしろがあり、公益につながる可能性が大きいものと考える。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	農業者だけではなく、一般市民・加工業者や市内の児童・園児など幅広い市民を対象としている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	農業所得の向上のため、更なる周知と継続した取り組みが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	基幹産業である農業を起点とした産業振興の取組みである。他部署と連携を図りながら事業を進めていく必要がある。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	持続可能な農業を実現するためには農業所得の向上が不可欠であり、その基盤として付加価値向上や持続的に担い手を確保するために事業を進めていく必要がある。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	行政としてのスタンスを保ちながらも民間の考え方も積極的に導入していく必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	社会情勢の変化に対応し、効果を引き出すよう毎年見直し、改善する必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	補助事業については、他自治体と同程度の補助率となっているほか、受益者負担を求めるものではない。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3　　総合評価点　８１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

６次産業化については、施設の更なる周知を図りながら、成功事例の情報収集を行う必要がある。また、新たに商品を形にし、定着させるサポート支援も行う必要がある。商品開発されたものも、市の特産品になるよう普及に努める必要がある。また、食農推進については市場向けＰＲ活動の充実を図るとともに、情報発信についても情報の更新や効果的な手法を取り入れながら行っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060103	07	山内地域課						
	横手市特産品開発支援事業（特産品生産振興費）			763	953	0	953	1,056	1,158
2	060103	07	食農推進課						
	横手の食農推進事業			2,088	2,233	0	2,233	3,025	4,623
3	060103	07	十文字地域課						
	横手の食農推進事業（十文字地域）			280	313	0	313	316	316
4	060103	07	食農推進課						
	６次産業化応援事業			2,289	1,670	0	1,670	3,338	5,211

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 発酵文化のまちづくり事業

部・担当課	農林部・食農推進課	担当課長氏名	松井　尊臣
予算科目事業	1 一般会計－060103－080100　　農林水産業費・農業費・農業振興費 発酵文化のまちづくり事業・発酵文化の		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市民（特に若い世代に対して）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内各地域に次世代へ伝承すべき魅力ある食文化があり、特に米糀を中心とした味噌や漬物など、発酵食が発達したところに特徴があるが、それらの発酵に関連した食文化が継承され、まちづくりに寄与している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【発酵文化のまちづくり事業】

・発酵文化の魅力と次世代へ継承することの大切さをより多くの方々に伝えていく。また、横手市食育推進計画に基づき、横手の豊富な農産物や自然を活用しながら、食文化の継承と発展を推進するため、研究所に対し活動費の補助を行うもの。

④ 根 拠 法 令	なし。	⑤ 関 連 計 画	横手市食育推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・発酵を起点とした「農・商・工」の連携等を通じて発酵文化のまちづくりを推進するため、「よこて発酵文化研究所」に対して、活動費を補助（補助金額：1,300千円） ・全国発酵のまちづくりネットワーク協議会（10/25）、全国発酵食品サミットinかとりへ参加（10/26～27） ・「発酵の学校」の開催（計6回：7～11月、参加者31名） ・「伝統的酒造り」ユネスコ無形文化遺産登録記念セレモニーの開催（12/9、参加者約100名） ・「横手盆地発酵交換会」の開催（10/8～14、来場者10,822名）
令和 7年度（決算）	・発酵を起点とした「農・商・工」の連携等を通じて発酵文化のまちづくりを推進するため、「よこて発酵文化研究所」に対して、活動費を補助（補助金額：1,500千円） ・全国発酵のまちづくりネットワーク協議会（10/10）、全国発酵食品サミットinとみやへ参加（10/11～12） ・「発酵の学校」の開催（計6回、参加者33名）　・発酵の学校横手分校同窓会の開催（2/21、参加者28名） ・「横手盆地発酵交換会」の開催（9/6～7、来場者12,000名） ・秋田栄養短期大学との連携事業の実施（計6回）
令和 8年度（計画）	・「よこて発酵文化研究所」の活動支援 ・「全国発酵のまちづくりネットワーク協議会」の開催及び「全国発酵食品サミット」への参加 ・「発酵の学校」の開催、「発酵食品ソムリエ全国大会」の開催支援
令和 9年度（計画）	・「よこて発酵文化研究所」の活動支援 ・「全国発酵のまちづくりネットワーク協議会」の開催及び「全国発酵食品サミット」への参加 ・「発酵フォーラム」の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	補助金執行状況（R2年度まで）				
		単位	%	目標値	－	－			
				実績値	100	100	100		
	2	区分	成果	指標	発酵食品の開発件数（R3年度～）				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	3	区分	活動	指標	発酵に関する事業開催回数				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	4	5	6		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,928	3,791	4,230	4,392	3,298
事業費の小計		1,928	3,791	4,230	4,392	3,298

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	第４次食育推進計画に位置付けられており、主な取り組みとしている「食育の推進と食文化の継承」を図る重要な事業の一つである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	発酵文化は歴史的にも横手の食の核となってきた経緯があり、将来に向けて他地域と差別化が可能な重要な文化である。また、発酵食品の推進が市民の健康にもつながっているものと考えられる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	専門性の高いという事業の性質上、関心の高い市民のみが対象となる傾向がある。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	今後も発酵文化を継承していくために、継続した取り組みが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	発酵に特化した事業は他にはない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	発酵という地域の独自性を継承することにより、発酵をテーマとした交流人口の増加や地域活性化、郷土愛の醸成などに資する取り組みである。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市内の発酵食品関連の事業者などで組織する団体だが、事業の目的を達成するために、自立運営ができるまで市で支援していくべきものと考えている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	発酵に関するＰＲや特許取得した「熟成味噌ディフェンシン」開発などの活動は活発化してきているが、さらに工夫して取り組む必要がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	自主財源の確保が見込まれるまでは、市で財政的な支援をしていく必要がある。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　7×3　　総合評価点　７７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

当市の伝統的な食文化であり、市民にとって身近な存在である発酵文化を将来に継承していくために、今後も関係団体等と連携しながら、市民が発酵に触れ親しむ機会を創出していく必要がある。併せて、当市が「発酵のまち」であることの知名度を市内外で高めていくために、様々なプロモーション活動を展開していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060103	08 食農推進課	2,691	3,240	0	3,240	4,392	3,298
	発酵文化のまちづくり事業							
2	060103	08 食農推進課	1,100	990	0	990	0	0
	横手盆地発酵交換会事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 農山村振興事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－100100　農林水産業費・農業費・農業振興費 農山村振興事業・グリーンツーリズム推		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者・農業体験者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・体験者が市の地域産業に対する興味と関心を高め、再び横手を訪れるなど交流人口の増加による地域活性化につながっている。
・農業者の所得や意欲が向上している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【「また、来てみたい」グリーンツーリズム横手の魅力発信事業】
・都市部の学校や消費者等の農業体験の受入れや交流事業等の実施により、横手の魅力発信と地域の活性化を支援する。
・グリーン・ツーリズム事業推進のための農業体験受入農家及び農家民宿開業農家を育成する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市農業振興計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・農業体験の受け入れ（仙台市立袋原中学校ほか） ・交流事業実施（沖縄県恩納村） ・大森町グリーン・ツーリズム推進協議会補助金 ・秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会負担金
令和 7年度（決算）	・農業体験の受け入れ（仙台市立西山中学校ほか） ・交流事業の実施（沖縄県恩納村） ・大森町グリーン・ツーリズム推進協議会補助金 ・秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会負担金 ・地域資源を活用した地域活性化活動への支援
令和 8年度（計画）	農業体験の受け入れ及び交流事業の実施 ・研修会等の開催による受入農家の確保・育成 ・大森町グリーン・ツーリズム推進協議会の活動支援
令和 9年度（計画）	農業体験の受け入れ及び交流事業の実施 ・研修会等の開催による受入農家の確保・育成 ・大森町グリーン・ツーリズム推進協議会の活動支援

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	研修会等開催回数				
		単位	回	目標値	2	2	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	2	区分	成果	指標	受入れ団体数				
		単位	件	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	6	12	7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	246	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	581	706	1,243	1,166	1,200
事業費の小計		581	706	1,489	1,166	1,200

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地域資源を活用しながら農業の魅力向上や都市部との交流を深め、交流人口の増加を目指す事業であり、継続的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	農作業体験や交流を通じて、横手のＰＲや横手市産品の購買意欲向上なども期待できる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市内で農作業体験や交流を進めることにより、地域の活性化にもつながる事業である。
②事業の有効性	6	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	人口減少やクマなどの外的要因もあり、事業内容を見直しながら取組を進めていく必要がある。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	観光部局などと連携が必要な場合もあるが、農業体験等は他では実施していない事業である。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	市の魅力発信や交流人口の増加にもつながる事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	農業や農村生活など魅力ある地域資源を活用した取組であり、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	受入農家の高齢化等により組織体制が弱体化しており、組織体制のあり方を含めた見直しが必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	それぞれの役割分担に基づき、適切に取り組まれている。
項目点合計		２０	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　6×3　＋　7×3　　総合評価点　６７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
市の魅力発信や都市部との交流により交流人口の増加につながる事業であり、課題の改善を図りながら継続実施すべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060103	10	農業振興課						
	グリーンツーリズム推進事業			706	997	0	997	1,166	1,200
2	060103	95	農業振興課						
	未来へつなぐ元気な農山村創造事業			0	492	246	246	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0022 機能合体事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－110100　　農林水産業費・農業費・農業振興費 機能合体事業・担い手経営サポート事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

認定農業者、集落営農組織、新規就農者等の担い手

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

各種支援事業を効果的に実施し、農業者の所得向上と市農業の持続的発展が可能となっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【儲かる横手農業の振興事業（担い手経営サポート事業）】
・研修会等の開催による、担い手農業者の経営力向上支援の実施。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	新規就農者、認定農業者、農業法人等の担い手の経営力向上に係る講習会の実施 （パソコン農業簿記講習会、農業法人経営マネジメント力向上セミナー）
令和 7年度（決算）	新規就農者、認定農業者、農業法人等の担い手の経営力向上に係る講習会の実施 ・パソコン農業簿記講習会　2回 ・農業法人経営マネジメント力向上強化セミナー　1回
令和 8年度（計画）	担い手経営サポート事業の実施（パソコン農業簿記基礎講習会、実践講習会）
令和 9年度（計画）	担い手経営サポート事業の実施（パソコン農業簿記基礎講習会、実践講習会）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	研修会等開催回数				
		単位	回	目標値	4	4	3	3	3
				実績値	4	4	3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	247	407	46	330	330
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		247	407	46	330	330

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	新規就農者、認定農業者、農業法人等を対象に、経営力向上に向けた支援を県と連携し実施しており、市内農業者の経営安定、所得向上のために実施すべき事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	地域農業の担い手の経営力向上に資する事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	農業の担い手が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標値を達成しながら推移している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	県との機能合体を活用して農業経営力の向上を図る事業であり、他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	農業経営力の向上は農業所得の増加にもつながる事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	県との機能合体による連携事業であり、市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	農業経営に関する変化にも対応した内容となるよう検討しながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	県と役割分担し取り組んでおり、適切なサービス水準である。
項目点合計	２２	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　8×3	総合評価点　７２

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
県との機能合体による連携事業で、農業の担い手の経営力向上につながる事業であることから、今後も継続的に実施すべきである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060103	11	農業振興課						
	担い手経営サポート事業			407	46	46	0	330	330

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0023 果樹等自然災害復旧対策事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－120100　　農林水産業費・農業費・農業振興費 果樹等自然災害復旧対策事業・果樹等自		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内果樹農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

自然災害により被害を受けた果樹が復旧して果樹生産が可能となり、農家の経営安定と果樹産地の復興につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【果樹等自然災害復旧対策事業】・・ 風害、雪害等により被害を受けた果樹農家等に対し、経営支援策として果樹薬剤購入費の一部を助成。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	果樹等風害復旧対策事業の実施（果樹薬剤購入費の補助・会計年度任用職員報酬ほか ） 自然災害により被害を受けた果樹農家等に対し、経営支援策として果樹薬剤購入費の一部を助成。 ・共同防除組合（　45件　補助金 22,926千円 ） ・個　人　　（ 429件　補助金 23,367千円 ）
令和 7年度（決算）	果樹等風害復旧対策事業の実施 自然災害により被害を受けた果樹農家等に対し、経営支援策として果樹薬剤購入費の一部を助成 ・果樹薬剤購入費の補助、会計年度任用職員報酬ほか ・共同防除組合（　44件　補助金 15,994千円 ） ・個　人　　（ 404件　補助金 16,383千円 ）
令和 8年度（計画）	果樹等自然災害復旧対策事業の実施 自然災害により被害を受けた果樹農家等に対し、経営支援策として果樹薬剤購入費の一部を助成
令和 9年度（計画）	果樹等自然災害復旧対策事業の実施 自然災害により被害を受けた果樹農家等に対し、経営支援策として果樹薬剤購入費の一部を助成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市内樹園地面積				
		単位	ha	目標値	980	950	950	920	920
				実績値	912	891	856		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	60,923	48,002	34,247	17,764	22,286
事業費の小計		60,923	48,002	34,247	17,764	22,286

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	自然災害からの復旧を目的とした事業であるが、離農や廃園などを防ぐ点でも有効な事業であるため優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	園地の維持、景観の保全、水源涵養等からも公益性の高い事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	果樹生産者が支援対象の事業である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	目標を上回る成果が上がっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似する事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市の農業振興においても重要な作目であり、県内一の産地を維持するためにも必要な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	果樹振興の推進と景観保全や水源涵養などにも貢献しており市が主体的となって取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	自然災害に対応した事業と果樹振興に対応した事業を一つの事業にまとめるなど見直しを行っている。今後も現状を把握し見直す余地がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	災害からの復旧と生産性の向上により貢献しており、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
項目点合計	２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　10×3　＋　7×3	総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和2年度の大雪による被害を受け、早期復旧を図るため令和3年度には補助率を引き上げている。令和4年度からは樹園地の復旧の度合いに応じて補助率を段階的に引き下げしている。ただし、「災害からの復旧」を事業の趣旨として取り組んできたが、社会情勢の変化により「薬剤助成」という物価高騰への助成へと変化してきている。今後は情勢を見極め適切な事業に見直ししていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060103	12	農業振興課						
	果樹等自然災害復旧対策事業			48,002	34,247	0	34,247	17,764	22,286

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0024 地域活性化イベント事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－130100　農林水産業費・農業費・農業振興費 地域活性化イベント事業・増田地域産業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び近隣市町村住民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域の特色を活かしたイベントの開催により、地域の活性化を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域活性化イベント費】
「増田地域じまん市」、「増田地域農業活性化講演会」、「平鹿りんご味覚まつり」の開催

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	各地域の農業関係イベント等の開催支援 ・増田地域じまん市 ・増田地域農業活性化講演会 ・平鹿りんご味覚まつり
令和 7年度（決算）	各地域の農業関係イベント等の開催支援 ・増田地域じまん市 ・増田地域農業活性化講演会 ・平鹿りんご味覚まつり
令和 8年度（計画）	各地域の農業関係イベント等の開催支援 「増田地域じまん市」・「増田地域農業活性化講演会」・「平鹿りんご味覚まつり」
令和 9年度（計画）	各地域の農業関係イベント等の開催支援 「増田地域じまん市」・「増田地域農業活性化講演会」・「平鹿りんご味覚まつり」

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	イベント参加者数（増田じまん市）				
		単位	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	0	600	3,000		
	2	区分	成果	指標	イベント参加者数（平鹿りんご味覚まつり）				
		単位	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	2,000	3,500	2,500		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	805	837	748	932	1,032
事業費の小計		805	837	748	932	1,032

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	地域に根差した事業であり、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	増田・平鹿地域のイベントであるが、地域外からも多くの人が参加する事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	イベント参加者のすべてがサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	地域の特色を活かした農業イベントとして今後も取り組んでいく。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	地域農業の魅力発信と地域の活性化につながる事業である。
③事業の効率性	6	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	イベント業務の一部ついては、アウトソーシングが可能と思われる。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	イベント内容の改善を図りながら取り組んでいる。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	サービス水準を維持しながら取り組む事業である。
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　6×3　　総合評価点　７０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

地域の特色を活かした農業イベントの開催となっており、農業者の意欲向上につながることに加え、市外からの来場者も多く、地域の活性化等農業以外への波及効果も期待できることから継続すべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060103	13 増田地域課	224	176	0	176	353	353
	増田地域産業祭事業							
2	060103	13 平鹿地域課	613	572	0	572	579	679
	平鹿地域産業まつり事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 産地づくり事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060104－010100　農林水産業費・農業費・水田活用推進費 産地づくり事業・生産力強化産地確		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

販売農家・集落営農

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

転作作物の作付が進み、転作目標面積が達成されるとともに、農業者の所得が向上している

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生産力強化産地確立事業】【水田利活用緊急支援対策事業】【ほ場整備地力増進支援事業】
・転作において市の定める重点振興作物（８品目）と振興作物（１１品目）の作付に助成することにより、農業所得の向上を図ると共に戦略作物の産地化を目指す。また、ほ場整備面工事完了後の地力増進作物「えん麦」に助成し、作物の高収益を目指す。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし （横手市農業再生協議会事業計画）
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・生産力強化産地確立事業　27,192千円 ・水田利活用緊急支援対策事業　15,021千円 ・ほ場整備地力増進支援事業　2,715千円
令和 7年度（決算）	経営所得安定対策を進め、収益性の高い複合型農業を確立するための事業 ・生産力強化産地確立事業　24,591千円 ・水田利活用緊急支援対策事業　14,121千円 ・ほ場整備地力増進支援事業　0　円　※産地交付金で手当て出来たため
令和 8年度（計画）	・生産力強化産地確立事業 ・水田利活用緊急支援対策事業 ・ほ場整備地力増進支援事業
令和 9年度（計画）	・生産力強化産地確立事業 ・水田利活用緊急支援対策事業 ・ほ場整備地力増進支援事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	転作目標面積の達成（平成30年度以降の指標：水稲作付目安面積の順守）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	84	85	83		
	2	区分	成果	指標	重点振興作物・振興作物作付面積（R3年度～）				
		単位	ha	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	457	428	415		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	47,110	44,928	38,712	42,783	54,500
事業費の小計		47,110	44,928	38,712	42,783	54,500

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	基幹作業である農業の複合化を進めるうえで、水田フル活用をけん引する重要事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	農業所得構造に資する事業であり、地域経済への貢献度が大きい事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	一定の要件を満たす農業者が対象の事業である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	複合型農業経営は進んでいるが、担い手の高齢化や後継者不足により目標達成には至っていない。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	米の品質向上や戦略作物の生産拡大など、地域農業の振興のため必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	水田フル活用の産地づくりを着実に推進するため、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	適宜、事業の見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適正な受益者負担であり、施策目的達成のためサービス水準は適切である。
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3	総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
水田フル活用による複合産地化と需要に応じた質の高い米づくりを実施しながら、環境と調和のとれた農業生産を推進していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060104	01	農業振興課						
	生産力強化産地確立事業			27,192	24,591	0	24,591	27,673	35,000
2	060104	01	農業振興課						
	水田利活用緊急支援対策事業			15,021	14,121	0	14,121	14,460	14,500
3	060104	01	農業振興課						
	ほ場整備地地力増進支援事業			2,715	0	0	0	650	5,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0026 経営所得安定対策推進事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060104－020100　農林水産業費・農業費・水田活用推進費 経営所得安定対策推進事業・経営所		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

経営所得安定対策推進事業費を横手市農業再生協議会に対して補助する

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業者への普及推進活動や交付金申請手続き支援を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【経営所得安定対策推進事業】

農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持するために、経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を目的とする。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・人件費等　5,466千円 ・横手市農業再生協議会補助金　14,507千円
令和 7年度（決算）	経営所得安定対策を進めるための経費 ・人件費等　6,600千円 ・横手市農業再生協議会補助金　15,133千円
令和 8年度（計画）	・人件費等 ・横手市農業再生協議会補助金
令和 9年度（計画）	・人件費等 ・横手市農業再生協議会補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	経営所得安定対策への対象面積				
		単位	ｈａ	目標値	13,850	13,850	13,850	13,850	13,850
				実績値	11,347	10,841	10,673		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	21,737	19,973	21,453	23,359	22,087
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	338	0	280	799	300
事業費の小計		22,075	19,973	21,733	24,158	22,387

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	国が推進する対策に基づき事業を確実に実施している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	基幹産業である農業に関わる事業であり、国の関与も大きく全体に影響のある事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市内に農地を有する営農者、農業法人が対象の事業である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	担い手の高齢化や後継者不足により目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	コメの需給調整や戦略作物の生産拡大など、地域農業の振興のため不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国が推進する施策であり、農業関係団体による連携のもと、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	農業情勢の変化に応じ適宜見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国費によるものであり適切なサービス水準である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、経営所得安定対策（国）を推進する必要があるため継続的な取組を行う必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060104	02	農業振興課	19,973	21,733	21,453	280	24,158	22,387
	経営所得安定対策推進事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0027 水田活用推進事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060104－030100　農林水産業費・農業費・水田活用推進費 水田活用推進事業・地域調整活動支		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内全域の農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業者は、経営所得安定対策や支援策の内容を把握しており、米の需給調整が円滑に進んでいるとともに転作の現地確認に必要な地域活動が実施されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域調整活動支援事業】
- 転作等現地確認案内人
- 転作現地確認等事務費補助（ＪＡ秋田ふるさと）

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・転作確認票等印刷	266千円
	・転作現地確認等事務費補助	11,269千円
令和 7年度（決算）	生産調整を確実に進めるための経費	
	・転作確認票等印刷	70千円
	・転作現地確認等事務費補助	11,200千円
令和 8年度（計画）	・転作確認票等印刷	
	・転作現地確認等事務費補助	
令和 9年度（計画）	・転作確認票等印刷	
	・転作現地確認等事務費補助	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	転作目標面積の達成（平成30年度以降の指標：水稲作付面積の順守）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	84	85	83		
	2	区分	成果	指標	重点振興作物・振興作物作付面積（R3年度～）				
		単位	ha	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	457	428	415		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	11,219	11,535	11,270	11,270	11,545
事業費の小計		11,219	11,535	11,270	11,270	11,545

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	基幹産業である農業の振興のため、また、複合産地づくり推進のため、取り組む必要のある事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	農業生産力および農業所得の向上により市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	需給調整に係わるもので全国民が対象。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	複合産地としての生産振興が実現しているが、担い手の高齢化や後継者不足により目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	コメの需給調整や戦略作物の生産拡大など、地域農業振興のため不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	水田フル活用の産地づくり、米の需給バランスに対応した作付けを確実に実施するため、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	適宜、事業を見直し改善している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	コメの需給バランス調整とあわせて、複合産地の推進に資する事業を実施しており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

農業経営の安定に向け、国の米政策の動向や需給バランス等を見据えながら、安定した米生産の維持と複合経営による産地づくりを維持するため取組の継続が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060104	03 農業振興課						
	地域調整活動支援事業		11,535	11,270	0	11,270	11,270	11,545

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 農作物防除推進対策事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060105－010100　　農林水産業費・農業費・農業災害病害虫対策費 農作物防除推進対策事業・農		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業経営者、または農業従事者
横手市水稲病害虫防除協議会

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・水稲病害虫が防除され、良質な米が生産されている。
・専門技術が必要でハードワークになりがちな一斉防除作業を、地域の担い手が協力して、効果的な作業を進めている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農作物防除推進対策費】・農業者の防除意識や地域ぐるみでの一斉防除を推進するため、横手市水稲病害虫防除協議会を通じて水稲作付農家に防除費用の支援や防除に関する情報提供を実施する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	一斉防除補助　　10,276千円
令和 7年度（決算）	水稲一斉防除により品質向上を図るための経費 ・一斉防除補助　　9,040ha　10,230千円
令和 8年度（計画）	水稲防除補助
令和 9年度（計画）	水稲防除補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	一等米比率				
		単位	%	目標値	95	95	95	95	95
				実績値	81.6	87.7	92.7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	11,685	10,276	10,230	7,500	10,276
事業費の小計		11,685	10,276	10,230	7,500	10,276

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市の基幹産業である農業の根幹を支える米生産の品質確保は、市の重要課題であり、優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	コメの品質確保は横手産米に対するイメージアップに繋がるため市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	水稲作付農業者および横手市水稲病害虫防除協議会が対象となる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	気象条件等に影響を受ける部分はあるが、本事業の実施により目標達成に向けて着実に進んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	農業所得に大きく影響するコメの品質向上のために欠かせない事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	関係機関との調整や市民への周知など公益性の高い事業であるが、事業のアウトソーシングが可能である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	産業用ドローンなどによる散布の拡大により防除体制が変わってきている、現状把握に努め改善していく余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

産業用ドローン産業用ドローンの普及により水田の農薬散布体制が激変している。より効率的な取組みや支援方法など見直しを図りながら継続するべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060105	01	農業振興課						
	農作物防除推進対策事業			10,276	10,230	0	10,230	7,500	10,276

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 家畜伝染病予防対策事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060106－010100　農林水産業費・農業費・畜産振興費 家畜伝染病予防対策事業・家畜伝染病予		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内家畜飼養農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

予防接種等により家畜の伝染病等の発生が未然に防止され、市内家畜飼養農家が安定的に畜産経営を行っている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【家畜伝染病予防接種事業】・・家畜伝染病予防接種に係る経費の一部を助成。

④根拠法令	家畜伝染病予防法	⑤関連計画	横手市農業振興計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	家畜伝染病予防接種事業の実施。（家畜伝染病予防接種に係る経費の一部を助成。）791,300円 ・牛アカバネ　（488頭　488,000円） ・豚日本脳炎パルボ（360頭　246,600円） ・豚丹毒　（360頭　25,200円） ・鶏ニューカッスル（70千羽　31,500円）
令和 7年度（決算）	家畜伝染病予防接種に係る経費の一部を助成 ・牛アカバネ　（449頭　449,000円） ・豚日本脳炎パルボ（360頭　247,000円） ・豚丹毒　（410頭　28,000円） ・鶏ニューカッスル（67千羽　30,000円）
令和 8年度（計画）	家畜伝染病予防接種事業の実施（家畜伝染病予防接種に係る経費の一部を助成）
令和 9年度（計画）	家畜伝染病予防接種事業の実施（家畜伝染病予防接種に係る経費の一部を助成）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	牛の飼養頭数				
		単位	頭	目標値	1,535	1,535	1,535	1,700	
				実績値	1,716	1,493	1,235		
	2	区分	－	指標	豚の飼養頭数				
		単位	頭	目標値	37,996	37,996	37,996	36,000	
				実績値	36,003	39,193	40,282		
	3	区分	－	指標	鶏の飼養羽数				
		単位	羽	目標値	178,493	178,493	178,493	165,000	
				実績値	175,085	175,357	180,329		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	809	791	754	971	1,021
事業費の小計		809	791	754	971	1,021

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	複合産地を形成するには畜産部門も重要であり、畜産物の安定供給はもとより、食の安全や循環型農業の観点からも優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	伝染病による患畜を防ぎ、畜舎のある地域の環境保全が図られる事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	畜産農家が対象となる事業である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	複合産地の形成や耕畜連携などの循環型農業推進のため必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	伝染病による産地の壊滅リスクを回避するためにも市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	接種料金の見直しを行ってきたが、今後は飼養頭数も見極めることで改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	家畜の伝染病を予防することで畜産経営の安定を図ることが可能であり、サービス水準は適切である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

家畜伝染病の予防のために接種することにより畜産農家の安定経営を確保することができる。また、畜産物の安全性と安定供給に寄与することができるため継続して実施していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060106	01 農業振興課						
	家畜伝染病予防接種事業		791	754	0	754	971	1,021

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0030 子牛生産奨励事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060106－020100　農林水産業費・農業費・畜産振興費 子牛生産奨励事業・子牛生産奨励事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市内黒毛和種子牛生産者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市場評価の高い優良黒毛和種の子牛の生産が増加し、市内和牛の高品質化が図られることにより、畜産農家の経営の安定につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【子牛生産奨励事業】・・市内で生産された黒毛和種子牛に対する助成。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市農業振興計画 横手市酪農・肉用牛生産近代化計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	子牛生産奨励事業の実施。（市内で生産された黒毛和種子牛に対する助成。） 実績1,282,500円（285頭×4,500円）
令和 7年度（決算）	黒毛和種子牛の市内での生産を奨励するための補助 ・実績1,040,000円（231頭×4,500円）
令和 8年度（計画）	子牛生産奨励事業の実施（市内で生産された黒毛和種子牛に対する助成）
令和 9年度（計画）	子牛生産奨励事業の実施（市内で生産された黒毛和種子牛に対する助成）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	市内の肉用子牛生産頭数				
		単位	頭	目標値	300	300	300	300	
				実績値	280	285	231		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,260	1,283	1,040	1,463	1,575
事業費の小計		1,260	1,283	1,040	1,463	1,575

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	5	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	和牛繁殖農家を支援することでの経営の安定を図ることができる。また、横手和牛のブランド推進につながるため、継続して事業を実施する必要がある。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	横手和牛のブランド力の向上により地域経済に与える影響は大きい。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	和牛繁殖農家と酪農家が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	和牛繁殖農家と酪農家の経営の安定を支援するもので、畜産振興のために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間では同種のサービスがなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	これまでも単価の見直しなどを行っているが、改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	和牛繁殖農家の経営の安定化を図るだけでなく、横手和牛のブランド化の推進にも貢献している事業であり、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　5×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		６８	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

子牛生産奨励事業を行うことで複合産地化の推進や循環型農業の確立、優良な黒毛和牛の確保が可能となる。さらに横手和牛のブランド化の推進を図ることができることからこの事業は継続していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060106	02 農業振興課	1,283	1,040	0	1,040	1,463	1,575
	子牛生産奨励事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0031 農業経営利子補給費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060107－010100　　農林水産業費・農業費・農業制度資金利子補給費 農業経営利子補給費・横手		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

各種制度資金借入者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

各種の制度資金借入者の金利負担が軽減され、農業経営の安定化につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手市規模拡大農家スーパーＬ資金等利子助成費（債務負担）】【畜産経営維持緊急支援資金利子補給事業（債務負担）】
【果樹産地再生支援資金利子補給事業（債務負担）】【農業・漁業経営フォローアップ資金利子補給事業（債務負担）】
・資金借入者に対し、償還金利子の一部を助成する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	資金償還終了までの利子助成 ・スーパーＬ資金　20件 ・畜産経営維持緊急支援資金　1件 ・果樹産地再生支援資金　17件 ・農業・漁業経営フォローアップ資金　9件
令和 7年度（決算）	資金償還終了までの利子助成 ・スーパーＬ資金　16件 ・畜産経営維持緊急支援資金　1件 ・果樹産地再生支援資金　16件 ・農業・漁業経営フォローアップ資金　9件
令和 8年度（計画）	資金償還終了までの利子助成
令和 9年度（計画）	資金償還終了までの利子助成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	利子助成件数				
		単位	件	目標値	58	47	39	36	24
				実績値	57	47	42		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	491	429	351	273	195
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	292	250	201	158	116
事業費の小計		783	679	552	431	311

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目	大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060107	01	農業振興課	横手市規模拡大農家スーパーＬ資金等利子補給費（債務負担）	110	79	40	39	55	34
2	060107	01	農業振興課	畜産経営維持緊急支援資金利子補給費（債務負担）	7	6	0	6	5	4
3	060107	01	農業振興課	果樹産地再生支援資金利子補給費（債務負担）	128	86	57	29	52	17
4	060107	01	農業振興課	農業・漁業経営フォローアップ資金利子補給費（債務負担）	434	381	254	127	319	256

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0032 農地総務事務費

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－010100　　農林水産業費・農業費・農地費 農地総務事務費・農地総務事務費		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

土地改良区、各種の土地改良関係団体

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

土地改良事業施設の良好な維持管理及び土地改良組織の強化が図られ、円滑な土地改良事業が推進されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農地総務事務費】
- 農業農村整備事業に係る一般事務費（旅費、消耗品等）
- 土地改良区や各種団体への負担金
- 土地改良区への維持管理及び合併に係る組織強化のための補助金

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	土地改良区、土地連への各種負担金等　482,000円 土地改良区への維持管理費等補助金　10,653,300円　土地改良区組織強化費補助金　331,920円 積算システム賃借料等　643,544円 その他需用費等　381,236円　　計　12,492,000円
令和 7年度（決算）	土地改良区、土地連への各種負担金等 482,000円 土地改良区への維持管理費補助金 10,653,300円　　土地改良区組織強化費補助金 290,960円 土地改良区への水利施設管理強化事業費補助金（渇水・高温対策）　32,465,000円 積算システム賃借料 612,700円 その他需用費等 444,897円 合計 44,948,857円
令和 8年度（計画）	土地改良区、土地連への各種負担金等、土地改良区への維持管理費等補助金 水路整備事業費補助金 その他旅費、需用費等
令和 9年度（計画）	土地改良区、土地連への各種負担金等、土地改良区への維持管理費等補助金 水路整備事業費補助金 その他旅費、需用費等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	農業用排水路の維持管理（延長）				
		単位	km	目標値	243	243	243	243	243
				実績値	243	243	243		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	914	14	22,767	14	14
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	13,420	12,478	22,182	13,597	13,375
事業費の小計		14,334	12,492	44,949	13,611	13,389

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060108	01	農林整備課						
	農地総務事務費			12,492	44,949	22,767	22,182	13,611	13,389

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0033 高度土地利用調整事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－020100　　農林水産業費・農業費・農地費 高度土地利用調整事業・土地利用調整推進事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

土地改良区

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ほ場整備を機に将来の農業生産を担うに望ましい経営体の育成を図るとともに、担い手への農用地の面的集積に向け改良区が行う土地利用調査。調整活動を支援する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

ほ場整備事業を契機に将来の農業生産を担う望ましい経営体の育成を図るとともに、担い手への農用地の面的集積に向け土地改良区が行う土地利用調査・調整活動の支援を、秋田県土地改良関係補助金及び交付金交付要綱等に基づき補助金を交付する

補助率:農地集積加速化型　　80.0%（国55.0%、市25%）

農地中間管理機構関連型　87.5%（国62.5%、市25%）

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	高度土地利用調整事業　3,562千円 ほ場整備事業を契機に将来の農業生産を担う望ましい経営体の育成を図るとともに、担い手への農用地の面積集積に向け土地改良区が行う土地利用調査・調整活動の支援を行った。 （補助率　集積加速化：国55%、市25%、土地改良区20%　機構関連：国62.5%、市25%、土地改良区12.5%） 農地集積加速化型　　：栄東部400千円 浅舞北部400千円 下福田400千円 農地中間管理機構関連型：朴田荒処612千円 平鹿蟹沢525千円 下吉田700千円 みたけ525千円
令和 7年度（決算）	高度土地利用調整事業 2,549千円 ほ場整備事業を契機に将来の農業生産を担う望ましい経営体の育成を図るとともに、担い手への農用地の面的集積に向け土地改良区が行う土地利用調査・調整活動に対する支援を行った。 （補助率　集積加速化：国55%、市25%、土地改良区20%　機構関連：国62.5%、市25%、土地改良区12.5%） ・農地集積加速化型　　：栄東部 400,000円、浅舞北部 400,000円 ・農地中間管理機構関連型：朴田荒処 525,000円、平鹿蟹沢 437,000円、下吉田 787,000円
令和 8年度（計画）	高度土地利用調整事業補助金　8地区 農地集積加速化型　　：田ノ植、栄東部、浅舞北部 農地中間管理機構関連型：朴田荒処 平鹿蟹沢 下吉田 みたけ　中吉田
令和 9年度（計画）	高度土地利用調整事業補助金　6地区 農地集積加速化型　　：浅舞北部 農地中間管理機構関連型：朴田荒処 平鹿蟹沢 下吉田 みたけ　中吉田

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	県営ほ場整備事業完了地区の面的集積率				
		単位	%	目標値	62	62	62	62	62
				実績値	62	62	62		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,950	2,512	1,799	1,668	1,668
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	825	1,050	750	684	684
事業費の小計		2,775	3,562	2,549	2,352	2,352

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	県営ほ場整備事業を機に将来の農業生産を担うのに望ましい経営体の育成を図るとともに、担い手への面的集積に向け改良区が行う土地利用調整や調査活動を支援する事業である。県営ほ場整備事業と連動して実施するもの。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	県営ほ場整備実施地区に公益をもたらす事業であるが、ほ場整備を実施したほ場については暗渠が設置され、農用地湛水による洪水予防箇所として地域防災計画に掲載され、地域の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	県営ほ場整備実施地区の農家が対象であるが、市の基幹産業である農業の活性化は、横手市の活性化につながるものである。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	県営ほ場整備事業の進捗に合わせ、着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	将来の農業生産を担うのに望ましい経営体の育成と担い手への農用地の面的集積を図るための事業で、施策達成には不可欠である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	「秋田県土地改良関係補助金及び交付金交付要綱」に基づき、経営体育成と農地の集積を図るべく市が取り組む事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	県・土地改良区・受益者代表と定期的に協議し実施されている事業である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	「秋田県土地改良関係補助金及び交付金交付要綱」に基づき補助するもので、適切である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		８５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

将来に亘って農業生産を担うに望ましい経営体の育成と担い手への農用地の面的集積を図るための事業であり、県営ほ場整備事業と連動する形で実施されるものであるため、ほ場整備事業が実施される間は維持していくべきものである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060108	02	農林整備課	3,562	2,549	1,799	750	2,352	2,352
	土地利用調整推進事業								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0036 農業生産基盤整備事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－030100　　農林水産業費・農業費・農地費 農業生産基盤整備事業・農地集積加速化基盤		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
農業者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
生産力強化に向けた基盤の整備等により、高収益な農業経営が確立され、効率的・安定的な農業が実施できている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
ほ場の区画整理、暗渠排水などの生産基盤整備事業実施に伴う負担金、委託料、計画策定に係る事務費

④ 根拠法令	土地改良法	⑤ 関連計画	国：「農林水産業・地域の活力創造プラン」 県：「第３期ふるさと秋田農林水産ビジョン」
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	基盤整備事業（県営ほ場整備）の実施により、生産基盤の整備を図った。 消耗品費：47,862円 委託料（促進計画変更等）：8,017,900円 負担金：現年分（横手地区外11地区）46,621,048円　繰越分（横手地区外10地区）99,144,929円 合計　153,831,739円
令和 7年度（決算）	地域農業をけん引する担い手へ農地を集積し、農業生産性の向上と経営規模の拡大による効率的かつ安定的な農業を確立するため、ほ場の区画整理、暗渠排水などの生産基盤を整備するための県営事業負担金と地形図作成に係る委託料 委託料（中吉田地区地形図作成）9,900,000円 負担金　現年分（横手地区外10地区）145,738,388円　　繰越分（横手地区外8地区）5,738,244円 合計 161,376,632円
令和 8年度（計画）	農地集積加速化基盤整備事業（県営ほ場整備）に係る建設事業費負担金
令和 9年度（計画）	農地集積加速化基盤整備事業（県営ほ場整備）に係る建設事業費負担金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	ほ場整備率				
		単位	%	目標値	96.6	97.5	97.5		
				実績値	97.8	98.1	98.3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	5,500
	(b) 県支出金	7,515	2,238	4,950	1,500	0
	(c) 地方債	177,500	138,400	149,400	96,600	110,700
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	26,541	13,194	7,027	4,502	6,552
事業費の小計		211,556	153,832	161,377	102,602	122,752

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市の基幹産業である農業の振興のために生産基盤を整備するとともに、地域農業を牽引する担い手へ農地を集積し、農業生産性の向上と経営規模の拡大による安定的な農業を確立させる。農業水利施設の機能診断を基にした予防保全対策により施設の長寿命化と管理の合理化を図るものである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	農地や農業用水によって保全される生物多様性や景観、洪水防止等の機能は市全体に公益をもたらしている。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	苦役農家が直接的なサービス対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	農業農村整備管理計画に従って実施されており、目標達成に向け着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無い。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	生産力強化に向けた基盤整備により、効率的・安定的で高収益な農業経営が確立されることは、魅力ある農業の振興に大きく貢献する。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	農家からの要望を受け、国の審査を経て事業化された県営事業で、国が示すガイドラインを基本に市が事業費の一部を負担し推進していくべきである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	県・土地改良区・受益農家と随時協議し、管理計画の見直し・改善をしている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国が示すガイドラインを基に、適切な受益者負担となっている。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		８９	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
担い手への農地の集積と生産基盤の強化を図り、魅力ある農業の振興に大きく貢献する事業であり、国が示すガイドラインを基本として事業費の一部を負担し推進すべきである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・	大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060108	03	農林整備課	農地集積加速化基盤整備事業（建設）	153,832	161,377	154,350	7,027	102,602	122,752

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0037 農業水利施設整備事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－040100　　農林水産業費・農業費・農地費 農業水利施設整備事業・県営かんがい排水事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生産力強化に向けた基盤の整備により、効率的・安定的な農業経営ができている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【県営かんがい排水事業】農業用排水等の水利条件を整備し水利用の安定と合理化を図る事業への負担金　【県営基幹水利施設ストックマネジメント事業】【団体営農業水路等長寿命化事業】農業水利施設の機能診断を基にした予防保全を図る事業への負担金　【県営小水力等発電施設整備事業】農業水利施設を活用した小水力発電を導入し、売電収入により維持管理費軽減を図る事業への負担金　【土地改良施設維持管理適正化事業】農業水利施設の適時適切な整備による施設の長寿命化を行う

④ 根 拠 法 令	土地改良法	⑤ 関 連 計 画	国：「農林水産業・地域の活力創造プラン」 県：「第３期ふるさと秋田農林水産ビジョン」
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	県営かんがい排水事業に対する負担金（現年） ・蛭野・角間川堰2-1工区64,500,000円、2-2工区10,500,000円 ・四の堰15,600,000円　・横手西部30,500,000円　・沼館6,647,000円 ・明永堰2期（調査計画）700,000円　計128,447,000円 県営保全合理化事業に対する負担金（現年） ・大戸川1,780,000円
令和 7年度（決算）	・県営かんがい排水事業事業に対する負担金（蛭野・角間川堰ほか５地区）66,804,200円 ・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業に対する負担金（開三ヶ村2期ほか３地区）19,171,800円 ・団体営農業水路等長寿命化事業に対する工事請負費と負担金（本堂ほか７地区）26,815,100円 ・県営小水力等発電施設整備事業に対する負担金（雄物川筋十文字）270,000円 ・土地改良施設維持管理適正化事業に対する負担金（蛭藻沼）246,000円　合計 113,307,100円
令和 8年度（計画）	県営かんがい排水事業、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、団体営農業水路等長寿命化事業、県営小水力等発電施設整備事業に係る建設事業費負担金
令和 9年度（計画）	県営かんがい排水事業、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、団体営農業水路等長寿命化事業、県営小水力等発電施設整備事業に係る建設事業費負担金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	県営かんがい排水事業進捗率				
		単位	%	目標値	35	37	40		
				実績値	33.7	35.9	57.4		
	2	区分	成果	指標	県営保全合理化事業　大戸川地区　進捗率				
		単位	%	目標値	85	88	100		
				実績値	85	85.1	98.4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	6,000	5,272	13,496	7,300	0
	(c) 地方債	97,900	98,500	94,200	99,300	150,400
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	764	1,974	0	0
	(f) 一般財源	37,547	51,730	3,637	27,096	57,650
事業費の小計		141,447	156,266	113,307	133,696	208,050

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	農業生産の基礎となる農業用水や排水等を整備することにより、用水の安定確保と湛水被害の抑制を図る。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	受益農地の水利条件が改善されるのみならず、排水能力が向上することにより周辺及び下流域の湛水被害防止の役割も果たす。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	受益農家が直接的なサービス対象であるが、湛水被害防止効果により受益者以外の市民も対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	幹線用排水路等の整備により、安定的・効率的な農業用水の確保や排水不良など水利条件の改善を図る。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無い。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	水利用の安全と合理化を図ることは効率的で安定した農業経営につながることから、魅力ある農業の振興に大きく貢献する。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	農家から要望を受け国の審査を経て事業化された県営事業で、国が示すガイドラインを基本に事業費の一部を市が負担し推進していくべきものである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	県・土地改良区・受益農家と事業計画について随時協議し実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国が示すガイドラインを基本に適切な受益者負担となっている。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　９３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
幹線用排水路、揚水機、発電施設等の整備により、安定的・効率的な農業用水の確保や排水改良など水利条件の改善を図る。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	060108 04 農林整備課 県営かんがい排水事業（建設）	130,227	66,804	65,900	904	98,640	104,750
2	060108 04 農林整備課 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業（建設）	15,601	19,172	18,600	572	11,200	81,000
3	060108 04 農林整備課 団体営農業水路等長寿命化事業（建設）	9,058	26,815	25,070	1,745	22,856	20,400
4	060108 04 農林整備課 県営小水力等発電施設整備事業（建設）	1,134	270	100	170	1,000	1,900
5	060108 04 農林整備課 土地改良施設維持管理適正化事業（債務負担）	246	246	0	246	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0038 農村地域防災減災事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－050100　農林水産業費・農業費・農地費 農村地域防災減災事業・県営ため池等整備事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生産力強化に向けた基盤の整備により、効率的・安定的な農業ができている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【県営ため池等整備事業】農用地及び農業用施設等の災害を防止するため、早急に整備を要するため池の改修や用排水施設の改修等を行う事業への負担金

④ 根 拠 法 令	土地改良法	⑤ 関 連 計 画	国：「農林水産業・地域の活力創造プラン」 県：「第３期ふるさと秋田農林水産ビジョン」
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	農用地・農業用施設及び周辺住宅地の災害を防止するため、早急に整備を要するため池や用排水施設の改修等に係る建設事業費負担金 ・大屋沼寺内（用排水施設）（繰越分）6,490,000円 ・大森新堤（老朽ため池）　（現年分）　100,000円 合計　6,590,000円
令和 7年度（決算）	農用地・農業用施設及び周辺住宅地の災害を防止するため、早急に整備を要するため池や用排水施設の改修等に係る建設事業費負担金 ・現年分　大屋沼寺内（用排水施設整備）12,474,000円　大森新堤（老朽ため池）2,100,000円 ・繰越分　大屋沼寺内（用排水施設整備）6,160,000円 合計 20,734,000円
令和 8年度（計画）	農用地、農業用施設及び周辺住宅地の災害防止のための改修事業に対する県への負担金 実施地区　大屋沼寺内
令和 9年度（計画）	農用地、農業用施設及び周辺住宅地の災害防止のための改修事業に対する県への負担金 実施地区　葛ヶ沢　金沢ダム

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標	ため池等整備事業進捗率				
		単位	%	目標値	40	42	42		
				実績値	75	79	80.9		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	69,800	5,800	18,500	13,800	2,200
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,620	790	2,234	1,600	301
事業費の小計		72,420	6,590	20,734	15,400	2,501

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	農用地及び農業用施設等の災害を防止するため、早急に整備を要するため池や用排水路の改修事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	ため池や用排水路の改修により、農用地のみならず住宅地を含めた広範囲に及ぶ湛水被害を防止できのることから、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	直接の受益者は農家であるが、ため池の決壊や用排水路の氾濫を未然に防ぐことは、周辺住民の生命と財産を守ることになる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	農業農村整備管理計画に従って実施されており、目標達成に向け着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無い。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	安定的な水利と安全が確保されることは農業の礎であり、施策達成には不可欠である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	農家や地域住民からの要望を受け国の審査を経て事業化された県営事業で、国が示すガイドラインを基本に、市も事業費の一部を負担し推進していくべきもの。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	県・土地改良区・受益農家と事業計画について適宜協議しながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国が示すガイドラインを基本に適切な受益者負担となっている。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　９３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

老朽化したため池や用排水路の改修により安定的な水利と安全が確保されることは農業の礎であることに加え、地域住民の安全確保のため必要な事業であり、国が示すガイドラインを基本に市も事業費の一部を負担し推進すべきである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060108	05 農林整備課						
	県営ため池等整備事業（建設）		6,590	20,734	18,500	2,234	15,400	2,501

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0039 基幹水利施設管理事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－060100　　農林水産業費・農業費・農地費 基幹水利施設管理事業・旭川地区基幹水利施		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

国営雄物川筋農業水利事業で造成された「新一の堰頭首工」の管理を行い施設機能を適切に保全する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【旭川地区基幹水利施設（新一の堰頭首工）】
・公共性・公益性の高い新一の堰頭首工を市が管理し、施設機能の適切な保全を図る

④ 根 拠 法 令	土地改良法、河川法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	国営土地改良事業で造成された、公共性・公益性の高い旭川地区基幹水利施設「新一の堰頭首工」の管理にかかる経費 ・需用費　417,547円 ・委託料（秋田県南旭川水系土地改良区への管理委託）2,367,000円 計　2,784,547円
令和 7年度（決算）	国営土地改良事業で造成された基幹水利施設のうち、公共性・公益性の高い施設を市町村が管理を行い、施設機能を適切に保全するための経費（旭川地区基幹水利施設「新一の堰頭首工」の管理） ・需用費等 454,220円 ・委託料（秋田県南旭川水系土地改良区へ管理委託）2,695,000円 合計 3,149,220円
令和 8年度（計画）	国営土地改良事業で造成された基幹水利施設のうち、公共性・公益性の高い施設を市町村が管理を行い、施設機能を適切に保全するための経費（旭川地区基幹水利施設「新一の堰頭首工」の管理）
令和 9年度（計画）	国営土地改良事業で造成された基幹水利施設のうち、公共性・公益性の高い施設を市町村が管理を行い、施設機能を適切に保全するための経費（旭川地区基幹水利施設「新一の堰頭首工」の管理）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	協定取水量の遵守（9/8～5/5）				
		単位	㎥/秒	目標値	0.6	0.6	0.6		
				実績値	0.59	0.59	0.59		
	2	区分	成果	指標	協定取水量の遵守（5/6～5/20）				
		単位	㎥/秒	目標値	4.85	4.85	4.85		
				実績値	4	4.13	4.31		
	3	区分	成果	指標	協定取水量の遵守（5/21～9/7）				
		単位	㎥/秒	目標値	3.79	3.79	3.79		
				実績値	3.75	3.31	3.31		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	773	776	827	855	855
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,473	1,478	1,575	1,628	1,576
	(f) 一般財源	432	531	747	745	860
事業費の小計		2,678	2,785	3,149	3,228	3,291

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	新一の堰頭首工は国より管理委託されている農業水利施設である。他目的として冬季の流雪溝用水の取水にも利用されているほか、直下流に横手・大雄地区の上水道取水口もあるなど、様々な用途に関連する重要な施設であり、その管理事業は滞らせるわけにはいかない事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	横手地区の農地への用水と冬期の流雪溝用水を広範に提供する事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	横手地区の農地への用水と冬期の流雪溝用水を広範に提供する事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	施設管理を適切に行い、農業水利に支障をきたさないことが目標である。毎年目標は達成されており、今後も継続していく。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無い。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手地区の農業水利を司る施設で、施策の根幹を担う事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	農業水利施設として広範な農地への配水を司る重要な施設で、その適正な管理が求められる。現在国から委託を受け、市が事業主体となっている。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	市が事業主体として今後も管理を継続していくか、検討の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国のガイドラインを基本に適切な受益者負担となっており、サービス水準も適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3
総合評価点		８３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

基幹的な農業水利施設として広範な農地への配水を司っている重要な施設で、その適正な管理が求められている。当面は現在の内容・体制を維持しなければならないが、市が事業主体として管理を継続していくかの検討が必要である。
また、管理委託先である旭川水系土地改良区管内で実施されている国営かんがい排水事業との関連を含めた検討も必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060108	06 農林整備課						
	旭川地区基幹水利施設（新一の堰頭首工）（建設）		2,785	3,149	2,402	747	3,228	3,291

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0040 土壌汚染対策事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060108－070100　　農林水産業費・農業費・農地費 土壌汚染対策事業・土壌汚染対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

カドミウムによる土壌汚染により、含有米が発生するおそれのある地域

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

食品衛生法の基準値を超えるカドミウム含有米（汚染米）の発生が抑制されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【カドミウム吸収抑制対策技術普及推進事業】

・食品衛生法の基準値を超えるカドミウム含有米（汚染米）の発生を抑制するため、夏場の湛水管理が最も有効であることから、

汚染米発生のおそれがある地域における水管理巡視員の設置を支援する。

・夏場の湛水管理等を徹底し、発生防止対策を講じる。

④根拠法令	農用地の土壌の汚染防止用に関する法律	⑤関連計画	カドミウム含有米生産防止計画書
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	湛水管理事業の実施（ＪＡ秋田ふるさとへ委託　1,313,000円）
令和 7年度（決算）	汚染米の生産・流通防止に向けた湛水管理事業の実施 ・委託料　1,313千円（ＪＡ秋田ふるさと）
令和 8年度（計画）	汚染米の生産・流通防止対策、汚染米発生防止のための湛水管理事業の実施
令和 9年度（計画）	汚染米の生産・流通防止対策、汚染米発生防止のための湛水管理事業の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	土壌汚染対策連絡協議会等の開催回数				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	4	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,313	1,313	1,313	1,326	1,326
事業費の小計		1,313	1,313	1,313	1,326	1,326

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手産米の安全・安心を確保するための対策として、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	対象地域のみならず、産地全体の安全イメージの向上につながる事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	農産物の安全性確保の観点から、すべての農業関係者が対象となる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	汚染米の生産・流通防止のため重要な事業であり、継続して実施する必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	当市の主要農産品である米のブランドイメージを維持するために不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	県など関係機関との連携が重要であり、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	カドミウム低吸収品種の導入も進んでおり、事業内容の見直しも含めた検討が必要である。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	農産物の安全性を確保するため、適切なサービス水準である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

食の安全・安心が重要視されるなかで、横手産米の安全・安心の確保と有利販売に向け継続した取組が必要な事業である。今後はカドミウム低吸収品種の導入状況を確認しながら事業内容の検討が必要になる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060108	07 農業振興課	1,313	1,313	0	1,313	1,326	1,326
	土壌汚染対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0044 多面的機能支払交付金事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060108－080100　　農林水産業費・農業費・農地費 多面的機能支払交付金事業・多面的機能支払		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業・農村の持つ多面的機能を維持・発揮するための共同活動への支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【多面的機能支払交付金】地域共同で行う多面的機能を支える活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を実施する活動組織に対し支援を行う

【多面的機能支払推進事務費】（本庁・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）：多面的機能支払交付金により活動組織が行う活動が適正かつ円滑に実施されるよう支援する推進事務費

④根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮のための交付金事業 認定組織数　73組織（うち中山間3組織）　認定農用地面積12,323ha　【交付実績】農地維持366,655千円、資源向上（共同）219,613千円、資源向上（長寿命化）30,469千円　　計　616,737千円 多面的機能支払交付金事業の適正かつ円滑な実施を支援するための推進事務費 【本庁分】　3,045千円 【地域局分消耗品費】　282千円
令和 7年度（決算）	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮され、これにより、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする 認定組織数 73組織（うち中山間3組織）認定農用地面積 12,650ha 【組織への交付実績】　農地維持（70組織）368,881,200円、資源向上（共同）（68組織）229,925,276円、 増進活動加算（7組織）8,957,868円、深化活動加算（1組織）765,576円、みどり加算（1組織）98,960円 資源向上（長寿命化）（14組織）34,140,453円　　合計 632,946,929円
令和 8年度（計画）	組織数　農地維持：70組織　資源向上（共同）：69組織　資源向上（長寿命化）：16組織 対象面積　12,370ha 組織に対する交付金、事業実施のための推進費
令和 9年度（計画）	組織数　農地維持：70組織　資源向上（共同）：69組織　資源向上（長寿命化）：16組織 対象面積　12,370ha 組織に対する交付金、事業実施のための推進費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	認定農用地面積				
		単位	ha	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績値	12,561	12,323	12,650		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	466,839	464,432	476,660	484,643	484,643
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	155,874	155,632	160,053	162,758	162,758
事業費の小計		622,713	620,064	636,713	647,401	647,401

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	農業の持続的発展と農業農村の多面的機能を維持・発揮するための共同活動への支援を行うものである。また、農業者のみならず地域住民が活動に参加し、担い手に集中する水路や農道等の維持管理を地域全体で支える体制づくりに資するものである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市全域において、活動組織による農地、水路、農道等の保全管理に加え、農村環境保全のための活動が行われ、地域コミュニティーの活性化につながっている。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	非農業者や地域住民団体等も活動組織の構成員となって活動に参加することができる。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		３	農地、水路、農道等の地域資源の保全管理と土地改良施設の基本的な維持管理により、良好な状態で農地が維持されている、
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	横手市では本事業において平場の農地を事業対象としており、中山間地域の農地については中山間直接支払制度により事業実施されている。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	国土保全・水源涵養・自然環境保全・景観形成などの農業農村の持つ多面的機能を発揮するための活動は、様々な地域資源の活用に資するものである。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」において実施が定められている。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		３	活動組織は協定期間の５年間で全体計画を策定し、毎年度事業内容を見直しながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく要綱で定められている負担割合で国、県、市が事業費を負担している。
項目点合計	２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　10×3	総合評価点　９７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

国土保全・水源涵養・自然環境保全・景観形成などの農業農村の持つ多面的機能を発揮するための活動は、様々な地域資源の活用に資するものであるため、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」により定められた本事業は継続して推進すべきものである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060108	08 農林整備課	616,737	632,947	474,710	158,237	643,592	643,592
	多面的機能支払交付金事業							
2	060108	08 農林整備課	3,327	3,766	1,950	1,816	3,809	3,809
	多面的機能支払推進事務費（本庁）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0045 市民農園費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060108－090100　　農林水産業費・農業費・農地費 市民農園費・市民農園費（横手地域）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・野菜や花の栽培を通じて、自然に触れ合うとともに、農業に対する理解を深めてもらう。
・多くの市民の方に利用してもらい、一区画１人の利用を実現する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市民農園費】（平鹿地域・横手地域）
・農園の適正な管理による利用環境の整備。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市民農園の管理・運営 ・横手地域　62区画　利用者数　38人・1団体　利用区画数　60区画 ・平鹿地域　35区画　利用者数　9人　利用区画数　16区画
令和 7年度（決算）	市民農園の管理・運営 ・横手地域（全62区画）　利用区画数　59区画、利用者数　34人・1団体 ・平鹿地域（全35区画）　利用区画数　16区画、利用者数　11人
令和 8年度（計画）	市民農園の管理・運営 ・横手地域　６２区画 ・平鹿地域　３５区画
令和 9年度（計画）	市民農園の管理・運営 ・横手地域　６２区画 ・平鹿地域　３５区画

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	利用区画数				
		単位	区画	目標値	97	97	97	97	97
				実績値	78	76	75		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	124	125	122	140	134
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	396	473	430	574	567
事業費の小計		520	598	552	714	701

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060108	09	農業振興課						
	市民農園費（横手地域）			92	82	82	0	96	96
2	060108	09	平鹿地域課						
	市民農園費（平鹿地域）			506	470	40	430	618	605

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0047 就業改善センター費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060109－010100　農林水産業費・農業費・農業施設費 就業改善センター費・就業改善センター		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

適切に施設利用できるよう、施設の維持管理に努める。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【就業改善センター費（平鹿地域）（雄物川地域）】
・就業改善センターの適正な維持管理

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	各地域の就業改善センターの管理・運営 ・平鹿地域（利用者数　143人） ・雄物川地域（利用者数　3,926人）
令和 7年度（決算）	各地域の就業改善センターの管理・運営 ・平鹿地域（利用者数 67人） ・雄物川地域（利用者数 3,531人）
令和 8年度（計画）	各地域の就業改善センターの管理・運営 ・平鹿地域 ・雄物川地域
令和 9年度（計画）	各地域の就業改善センターの管理・運営 ・平鹿地域 ・雄物川地域

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	3,800	3,800	3,600	3,600	3,600
				実績値	3,595	4,069	3,598		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	33	36	24	44	24
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,910	1,684	1,788	2,248	2,106
事業費の小計		1,943	1,720	1,812	2,292	2,130

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	01 平鹿地域課						
	就業改善センター費（平鹿地域）		552	635	0	635	894	810
2	060109	01 雄物川地域課						
	就業改善センター費（雄物川地域）		1,168	1,177	24	1,153	1,398	1,320

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0048 生活改善センター費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－060109－020100　農林水産業費・農業費・農業施設費 生活改善センター費・生活改善センター		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民（特に山内地域の市民・農業者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民や農業者の地域コミュニティが維持・促進されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生活改善センター費】
施設の管理運営を行う。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	施設の管理運営に要する経費 管理人報酬、光熱水費、消耗品費、土地借上料など　492千円
令和 7年度（決算）	施設の管理運営に要する経費 管理人報酬、光熱水費、消耗品費、土地借上料など　497千円
令和 8年度（計画）	施設の管理運営に要する経費 管理人報酬、光熱水費、消耗品費、土地借上料など
令和 9年度（計画）	施設の管理運営に要する経費 管理人報酬、光熱水費、消耗品費、土地借上料など

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	施設の利用人員				
		単位	人	目標値	1,200	600	500	400	300
				実績値	338	396	295		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	1	1
	(f) 一般財源	446	492	497	511	511
事業費の小計		446	492	497	512	512

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	02 山内地域課	492	497	0	497	512	512
	生活改善センター費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0049 大雄農業団地センター費

部・担当課	まちづくり推進部・大雄地域課	担当課長氏名	松川　敬
予算科目事業	1 一般会計－060109－030100　農林水産業費・農業費・農業施設費 大雄農業団地センター費・大雄農業団地		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民（主に大雄地域の農業者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業者の経営の安定と農業技術の向上が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【大雄農業団地センター費】

地域がより高度で安定的な農業生産力を高めるため、生産から流通まで総合的かつ有機的に管理する施設としての大雄農業団地センターを管理運営する。

④ 根 拠 法 令	横手市大雄農業団地センター設置条例	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・大雄農業団地センターの維持管理業務を実施 ①計画的な修繕と光熱水費等の節減【需用費1,700千円・委託料613千円・使用料及び賃借料24千円】 ②消防設備の点検及び避難誘導訓練の実施 など【役務費417千円】
令和 7年度（決算）	・大雄農業団地センターの維持管理業務を実施 ①計画的な修繕と光熱水費等の節減【需用費1,797千円・委託料612千円・使用料及び賃借料25千円】 ②消防設備の点検及び避難誘導訓練の実施 など【役務費372千円】
令和 8年度（計画）	・大雄農業団地センターの維持管理業務を実施 計画的な修繕、光熱水費等の節減、消防設備の点検、避難誘導訓練の実施等
令和 9年度（計画）	・大雄農業団地センターの維持管理業務を実施 計画的な修繕、光熱水費等の節減、消防設備の点検、避難誘導訓練の実施等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	光熱水費等の経費削減（前年度比）				
		単位	%	目標値	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
				実績値	6.5%増	増減なし	5.2%増		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	9	9	6	3	2
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,847	2,745	2,800	3,213	3,100
事業費の小計		2,856	2,754	2,806	3,216	3,102

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	060109 03	大雄地域課	大雄農業団地センター費	2,754	2,806	6	2,800	3,216	3,102

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0050 農産物加工・特産品生産振興施設費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060109－050100　農林水産業費・農業費・農業施設費 農産物加工・特産品生産振興施設費・地		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・農林産物の加工による農家の所得向上を図る。
・市民が集う地域コミュニティの場を提供する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域ふれあい施設たかね費（債務負担）】【増田特産品開発研修施設費】【大森農産物食品加工体験施設費（含む債務負担）】【葉たばこ育苗施設費】【山内農林産物加工交流施設費（ふれあい館）】
・地域住民が利用しやすいよう、施設を適正に維持管理する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・増田地域：特産品開発研修施設の維持管理、地域ふれあい施設たかねの指定管理 ・大森地域：大森農産物食品加工体験施設の指定管理等 ・山内地域：ふれあい館及び葉たばこ育苗センターの管理運営
令和 7年度（決算）	農産物加工・特産品生産振興施設の維持管理経費 ・地域ふれあい施設たかね ・増田特産品開発研修施設 ・大森農産物食品加工体験施設　※指定管理 ・山内農林産物加工交流施設（ふれあい館） ・葉たばこ育苗施設
令和 8年度（計画）	各施設の維持管理と運営（一部施設は、指定管理）
令和 9年度（計画）	各施設の維持管理と運営（一部施設は、指定管理）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	―	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	4,000	4,000	3,500	3,500	3,500
				実績値	3,308	3,188	1,499		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	509	423	539	553	555
	(e) その他特定財源	600	600	600	1	1
	(f) 一般財源	4,650	2,669	1,913	2,172	2,174
事業費の小計		5,759	3,692	3,052	2,726	2,730

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	05 増田地域課	1,109	177	0	177	200	200
	地域ふれあい施設たかね費							
2	060109	05 増田地域課	266	250	14	236	292	296
	増田特産品開発研修施設費							
3	060109	05 大森地域課	36	36	0	36	36	36
	大森農産物食品加工体験施設費							
4	060109	05 大森地域課	400	400	0	400	401	401
	大森農産物食品加工体験施設費（債務負担）							
5	060109	05 山内地域課	567	721	32	689	679	679
	山内農林産物加工交流施設費（ふれあい館）							
6	060109	05 山内地域課	1,314	1,468	1,093	375	1,118	1,118
	葉たばこ育苗施設費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0051 泉の里地区水環境施設費

部・担当課	まちづくり推進部・平鹿地域課	担当課長氏名	佐藤　明子
予算科目事業	1 一般会計－060109－060100　農林水産業費・農業費・農業施設費 泉の里地区水環境施設費・泉の里地区水		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民（主に平鹿地域の市民）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民の健康増進及び自然にふれあうことのできる憩いの場が市民に提供され、利用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【泉の里地区水環境施設費】
・泉の里地区（白藤自然公園）施設の維持管理を実施する

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	白藤清水公園内施設の維持管理 （園路の除草、施設の清掃）
令和 7年度（決算）	白藤清水公園内施設の維持管理 （園路の除草、施設の清掃）
令和 8年度（計画）	白藤清水公園内施設の維持管理
令和 9年度（計画）	白藤清水公園内施設の維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	適正な施設の維持管理				
		単位	千円	目標値	444	444	450	450	450
				実績値	253	430	271		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	253	430	271	447	445
事業費の小計		253	430	271	447	445

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	06 平鹿地域課						
	泉の里地区水環境施設費		430	271	0	271	447	445

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0053 牧場費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060109－080100　　農林水産業費・農業費・農業施設費 牧場費・外畑牧場費（債務負担）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
肉用牛生産農家
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
放牧による優良な肉用牛の生産及び生産コストの削減が図られている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【外畑牧場費】【鍋ヶ沢牧場費】 ・市営牧場で預託する

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市畜産振興計画 横手市酪農・肉用牛生産近代化計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	外畑牧場（増田）の指定管理料及び鍋ヶ沢牧場（山内）の施設管理費（人件費含む） 放牧頭数：外畑牧場（増田）25頭／鍋ヶ沢牧場（山内）20頭
令和 7年度（決算）	外畑牧場（増田）の指定管理料及び鍋ヶ沢牧場（山内）の施設管理費（人件費含む） ・放牧頭数　外畑牧場（増田）19頭、鍋ヶ沢牧場（山内）19頭
令和 8年度（計画）	外畑牧場（増田）の指定管理料及び鍋ヶ沢牧場（山内）の施設管理費（人件費含む）
令和 9年度（計画）	外畑牧場（増田）の指定管理料及び鍋ヶ沢牧場（山内）の施設管理費（人件費含む）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	―	指標	外畑牧場及び鍋ヶ沢牧場への放牧頭数				
		単位	頭	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	38	45	38		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	568	558	463	496	500
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,547	4,364	5,666	5,773	5,769
事業費の小計		4,115	4,922	6,129	6,269	6,269

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	08 増田地域課	812	1,716	0	1,716	825	825
	外畑牧場費（債務負担）							
2	060109	08 山内地域課	4,110	4,413	463	3,950	5,444	5,444
	鍋ヶ沢牧場費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0054 死亡獣畜保冷施設費

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060109－090100　農林水産業費・農業費・農業施設費 死亡獣畜保冷施設費・死亡獣畜保冷施設		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内畜産農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

死亡した家畜が適正に処理されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【死亡獣畜保冷施設費】

死亡した家畜は、化製工場に持ち込み適正に処理することになっているが、化製工場は東北では青森県にしかなく、個人の畜産農家が持ち込むにはコストがかかりすぎるため、市で設置した死亡獣畜保冷施設に一時保管し、市で契約した産廃業者に一括で搬送してもらうことで、畜産農家のコスト軽減と不法投棄による環境汚染の防止を図る。

④根拠法令	化製場等に関する法律	⑤関連計画	横手市農業振興計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	死亡獣畜の保冷・管理、廃棄物処理に伴う施設運営費 化製処理費・収集運搬費・施設維持費・管理人人件費ほか
令和 7年度（決算）	死亡獣畜の保冷及び管理、廃棄物処理に伴う施設運営費 ・化製処理費、収集運搬費、施設維持費、管理人人件費ほか
令和 8年度（計画）	死亡獣畜の保冷・管理、廃棄物処理に伴う施設運営費 化製処理費・収集運搬費・施設維持費・管理人人件費ほか
令和 9年度（計画）	死亡獣畜の保冷・管理、廃棄物処理に伴う施設運営費 化製処理費・収集運搬費・施設維持費・管理人人件費ほか

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	施設の稼働停止日数（R3年度～）				
		単位	日	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	926	706	791	891	900
	(e) その他特定財源	3	4	1	2	2
	(f) 一般財源	4,481	6,109	4,848	7,421	7,033
事業費の小計		5,410	6,819	5,640	8,314	7,935

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060109	09	農業振興課 死亡獣畜保冷施設費	6,819	5,640	792	4,848	8,314	7,935

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0055 林業総務事務費

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060201－020100　　農林水産業費・林業費・林業総務費 林業総務事務費・林業総務事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
森林所有者及び森林経営者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
森林が有する公益的機能が十分に発揮されるよう林政全般にわたり関係機関との調整を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
林政に係る一般事務費及び関係団体負担金

④ 根 拠 法 令	森林・林業基本法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・林業関連負担金等　・横手地域の森林等管理費　・増田地域の林業関連事務費　・雄物川地域の林業関連事務費及びマツタケ山整備経費
令和 7年度（決算）	・林業関連負担金等　・横手地域の森林等管理費　・増田地域の林業関連事務費　・雄物川地域の林業関連事務費及びマツタケ山整備経費　・大森地域森林空間整備事業施設の維持管理費　・山内地域の林業関連事務費
令和 8年度（計画）	・林業総務事務経費、林業関連負担金等　・横手地域の森林等管理費　・増田地域の林業関連事務費　・雄物川地域の林業関連事務費及びマツタケ山整備経費　・大森地域森林空間整備事業施設の維持管理費　・山内地域の林業関連事務費
令和 9年度（計画）	・林業総務事務経費、林業関連負担金等　・横手地域の森林等管理費　・増田地域の林業関連事務費　・雄物川地域の林業関連事務費及びマツタケ山整備経費　・大森地域森林空間整備事業施設の維持管理費　・山内地域の林業関連事務費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	森林経営計画策定面積				
		単位	ｈａ	目標値	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
				実績値	12,335.51	12,572.34	12,620.56		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	2	1
	(f) 一般財源	2,874	2,850	3,445	3,739	2,293
事業費の小計		2,874	2,850	3,445	3,741	2,294

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060201 02 農林整備課 林業総務事務費		2,300	2,285	0	2,285	2,487	1,027
2	060201 02 増田地域課 林業総務事務費（増田地域）		297	328	0	328	363	363
3	060201 02 雄物川地域課 林業総務事務費（雄物川地域）		253	320	0	320	346	345
4	060201 02 大森地域課 林業総務事務費（大森地域）		0	492	0	492	524	538
5	060201 02 山内地域課 林業総務事務費（山内地域）		0	20	0	20	21	21

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0058 民有林整備育成事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060202－010100　　農林水産業費・林業費・林業振興費 民有林整備育成事業・民有林整備育成事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
林業施業を行う市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
民有林の整備育成を支援し、森林所有者が森林の育成及び整備を確実に行えるようにすることにより、森林施業者の雇用創出を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
森林経営計画が策定された森林の事業費の１０％以内を補助する。財源には横手J-ｸﾚｼﾞｯﾄ収益金を充てる。

④ 根 拠 法 令	森林法	⑤ 関 連 計 画	森林経営計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	森林経営計画が策定された森林において行う森林整備に係る経費の一部補助 ※再造林（植栽、下刈り）：2/10以内、その他保育事業：1/10以内） ※再造林2/10のうち1/10は森林環境整備事業予算（森林環境譲与税活用） 対象面積：85.32ha、施業種：植栽・下刈
令和 7年度（決算）	森林経営計画が策定された森林において行う森林整備に係る経費の一部補助 ※再造林（植栽、下刈り）：2/10以内、その他保育事業：1/10以内） ※再造林2/10のうち1/10は森林環境整備事業予算（森林環境譲与税活用） 対象面積：112.71ha、施業種：植栽・下刈
令和 8年度（計画）	森林経営計画に基づき行う森林整備に係る経費の一部補助（対象経費1/10以内、再造林については森林環境整備事業で1/10嵩上げ）
令和 9年度（計画）	森林経営計画に基づき行う森林整備に係る経費の一部補助（対象経費1/10以内、再造林については森林環境整備事業で1/10嵩上げ）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	民有林施業面積				
		単位	ha	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	49.66	85.32	112.71		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,439	4,948	3,583	500	500
	(f) 一般財源	1,910	0	2,184	5,527	4,700
事業費の小計		3,349	4,948	5,767	6,027	5,200

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	皆伐後の再造林がされていなかったり、手入れの行き届かない森林の増加が問題となっている。再造林や保育整備に係る経費の一部を助成し、森林所有者の負担軽減を図ることが民有林整備の推進に繋がる。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	直接的に公益がもたらされるのは特定の範囲だが、森林の持つ公益的機能の保持という意味では広く公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	森林所有者がサービスの対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	本事業により森林所有者の負担が軽減し、再造林が進み森林整備が推進されているが、継続した取り組みが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	森林整備に対して理解や関心がない森林所有者が増え、特に伐採跡地への植栽が進まない状況にあっては、森林整備における所有者の負担軽減が不可欠である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国及び県が補助し、残る所有者負担の一部を市が助成するもので、民間等のサービス提供の事例はなく、市が主体的に取り組まなければならない。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	令和5年度に補助金額の上限を廃止して以降は、再造林への取り組みが増えている。現状で最大限に近い支援内容となっており。この内容を継続する必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	施業経費の68%を国県が負担し、所有者が本来負担すべき32%の内、市が10%（再造林については森林環境譲与税を活用し更に10%）を負担している。他自治体でも同程度の支援をしているところは少なくない。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

全国的に放置される民有林が多くなっているが、横手市もその例外ではない。公益的機能発揮のためには再造林及び保育事業を継続しなければならず、森林所有者の負担軽減のためには欠かせない事業である。本事業の財源には横手J-クレジットの販売益を充てることとしており、財源確保にも努めなければならない。

5．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	060202	01	農林整備課 民有林整備育成事業	4,948	5,767	3,583	2,184	6,027	5,200

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0059 造林事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060202－020100　　農林水産業費・林業費・林業振興費 造林事業・市有林維持管理費		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市有林

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・良質材の生産とともに、山地の保全、水資源のかん養、自然環境の保全・形成等の多様な公益的機能の維持を図る。・森林資源を活用し持続的な森林経営を実現するため、搬出間伐等の森林施業と森林作業道の開設を行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

造林事業を活用し、森林経営計画に基づき計画的な施業を実施する。

④ 根 拠 法 令	森林法	⑤ 関 連 計 画	森林経営計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・保育事業　下刈（大森 4.06ha） ・収穫間伐事業（横手・山内 44.13ha）
令和 7年度（決算）	・作業道今宿線復旧工事（雄物川地域） ・保育事業　下刈（大森 4.06ha） ・収穫間伐事業（大森 30.61ha）
令和 8年度（計画）	・保育事業（植栽） ・収穫間伐事業
令和 9年度（計画）	・保育事業（下刈、除間伐、枝打等） ・収穫間伐事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	市有林間伐面積				
		単位	ha	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	43.72	46.8	30.61		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	14,141	16,413
	(b) 県支出金	29,767	24,987	18,695	17,695	14,376
	(c) 地方債	0	0	0	2,800	3,100
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	15,884	11,929	9,067	20,083	20,605
	(f) 一般財源	93	0	8,536	2,762	211
事業費の小計		45,744	36,916	36,298	57,481	54,705

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	良質材を生産するとともに、国土保全・水源涵養・自然環境保全など多様な公益的機能の維持を図る。森林作業道の開設により、効率的な間伐材搬出と森林施業で持続的な森林経営を実現するものであり、優先的に実施すべきである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民の財産である市有林整備の事業であり、公益的機能を維持維持しつつ収益をあげるということは、市全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	森林が担っている機能は多面的であり、市民生活に様々な恩恵を与えている。造林事業の適切な実施により、多面的機能を維持できるものである。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	森林経営計画および整備計画に基づき、目標達成に向け進捗を図っているが、国県補助金が要望通りの配分とならず、目標達成は現実的ではない。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	国土保全・水源涵養・自然環境保全など多様な公益的機能の維持を図り市民生活に様々な恩恵を与えている。造林事業により、その機能を保持し続けるとともに、良質な林産物を搬出するために、不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	市行造林であり、国県の助成を受けて、市が事業主体となって取り組む事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	森林整備計画をもとに年度計画を定め、前年度に計画を精査し、事業年度には現地踏査し実施しており、現状では改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市行造林であり、国県補助以外はすべて市が負担する。なお、間伐材等の売却益は本事業の財源に充当され、一般財源での負担はない状況が続いており、充当残については一般財源に補填される。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市行造林の森林の多くが収穫間伐期を迎えている状況であり、収穫事業を計画的に実施するとともに、適切な保育も行っていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	060202	02	農林整備課	市有林維持管理費	0	8,536	0	8,536	2,650	150
2	060202	02	農林整備課	造林事業（保育）（建設）	1,158	1,242	1,242	0	8,002	1,413
3	060202	02	農林整備課	造林事業（収穫）（建設）	35,758	26,520	26,520	0	46,829	53,142

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0060 林道整備費

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060202－070100　農林水産業費・林業費・林業振興費 林道整備費・高能率生産団地路網整備事		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

林業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

効率的な森林施業や木材搬出の基盤となる林内路網の整備促進を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

高能率生産団地路網整備事業（林業専用道整備）（国3/6、県2/6、市1/6）を活用した林道開設を行う。

④ 根 拠 法 令	森林法	⑤ 関 連 計 画	雄物川地域森林計画、横手市森林整備計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・森林の持つ公益機能を高度発揮するための基盤整備、林道専用道整備に伴う県営事業の事業費負担（R5繰越分） （前郷線：工事L=1,020.0m、上楢沢1号線・2号線：工事L=116.4m）
令和 7年度（決算）	・森林の持つ公益機能を高度発揮するための基盤整備、林道専用道整備に伴う県営事業の事業費負担 （上楢沢1号線・2号線：L=591.35m）
令和 8年度（計画）	・森林の持つ公益機能を高度発揮するための基盤整備、林道専用道整備に伴う県営事業の事業費負担
令和 9年度（計画）	・森林の持つ公益機能を高度発揮するための基盤整備、林道専用道整備に伴う県営事業の事業費負担

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	年間整備延長				
		単位	m	目標値	400	400	400	400	
				実績値	1,093.5	1,136.4	591.35		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	11,000	11,000	11,000	9,900	9,900
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		11,000	11,000	11,000	9,900	9,900

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3　　総合評価点　0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060202	07 農林整備課						
	高能率生産団地路網整備事業（林業専用道整備）（建設）		11,000	11,000	11,000	0	9,900	9,900

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0061 林道維持補修費

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060202－030100　　農林水産業費・林業費・林業振興費 林道維持補修費・林道維持補修費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
林業関係者、地域住民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市が管理する林道を良好に保ちかつ安全に通行できるよう維持管理を行う。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
林道の維持管理及び林道改良事業を活用した林道改良を行う。

④ 根拠法令	森林法	⑤ 関連計画	横手市森林整備計画、雄物川地域森林計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	林道・作業道の維持管理及び補修　15,828千円 林道改良事業（山内・南郷岳線測改良工事）　8,976千円（翌年度へ繰越）
令和 7年度（決算）	林道・作業道の維持管理及び補修　16,045千円 林道改良事業（山内・大倉沢線測量設計業務委託）　3,322千円 （山内・南郷岳線改良工事）　12,519千円
令和 8年度（計画）	林道・作業道の維持管理及び補修 【建設】林道城屋敷線（山内）　測量設計業務、改良工事
令和 9年度（計画）	林道・作業道の維持管理及び補修 【建設】林道明沢道満線（平鹿）　測量設計業務、改良工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	林道維持管理費の抑制（R2年度まで）				
		単位	千円	目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	林道改良事業の実施（R3年度～）				
		単位	路線	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	5,321	0	11,822	4,950	15,400
	(c) 地方債	4,300	8,900	3,900	4,000	12,600
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	16,457	15,904	16,197	18,876	18,300
事業費の小計		26,078	24,804	31,919	27,826	46,300

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060202	03 農林整備課	15,828	16,078	0	16,078	17,826	17,300
	林道維持補修費							
2	060202	03 農林整備課	8,976	3,322	3,300	22	10,000	29,000
	林道維持補修費（建設）							
3	060202	98 農林整備課	0	12,519	12,422	97	0	0
	林道維持補修費（建築）（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0064 国産材需要開発センター費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－060203－020100　農林水産業費・林業費・林業施設費 国産材需要開発センター費・国産材需要		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・林業や木材加工に関わる市民・横手市を訪れる方

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・地域森林資源の有効活用、特産品創出及び木材の需要拡大の推進が図られている。
・木工製品に親しみ、触れることのできる場所の提供を行う

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【国産材需要開発センター費（債務負担）】
国産材需要開発センターの管理運営を行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	国産材需要開発センターを指定管理者制度の導入により運営する。 指定管理委託料　4,026千円 工事費（事務室エアコン交換）586千円 手数料（特殊建築物定期報告調査）　208千円
令和 7年度（決算）	国産材需要開発センターを指定管理者制度の導入により運営する。 指定管理委託料　4,169千円 修繕料（玄関前柱）303千円
令和 8年度（計画）	国産材需要開発センターを指定管理者制度の導入により運営する。 指定管理委託料　建築基準法定期点検　店舗照明器具ＬＥＤ改修　改修工事実施設計業務委託
令和 9年度（計画）	国産材需要開発センターを指定管理者制度の導入により運営する。 指定管理委託料　建築基準法定期点検　改修工事費　工事監理業務委託費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設の利用者数				
		単位	人	目標値	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
				実績値	7,609	6,917	6,910		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,291	4,820	4,472	8,854	34,169
事業費の小計		4,291	4,820	4,472	8,854	34,169

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060203	02 山内地域課	4,820	4,472	0	4,472	8,854	34,169
	国産材需要開発センター費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0066 農地農業用施設災害復旧事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－110101－010100　　災害復旧費・農林水産業施設災害復旧費・農業施設災害復旧費 農地農業用施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

被災農家

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

基準以上の大雨による、農地、農業用施設の被災に対し、早期の対応により被災農家の営農に対し、できるだけ影響を少なくする

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【現年発生農地農業用施設災害復旧事業】
　農地や農業用施設への災害が発生し、国庫補助に該当する場合の査定設計書作成のための委託料及び国庫補助に該当しない災害への市単独補助金の交付や緊急に応急対応が必要な場合の重機リースや原材料費等

④ 根 拠 法 令	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年7月24～26日発生梅雨前線豪雨災害による農地・農業用施設災害復旧事業に係る経費 ・需用費154,135円　・原材料費44,550円 ・委託料（被害額算定現場踏査業務）1,584,000円　（査定設計書作成業務）29,797,900円 ・補助金（市単独補助金）農地13件、農業用施設33件　11,451,468円 （県単小災害支援事業費補助金）農地10件、農業用施設24件　3,289,000円　補助金計　14,740,468円 ・建設事業負担金（皆瀬頭首工分）3,702,600円　合計　50,023,653円
令和 7年度（決算）	令和6年7月24日～26日発生梅雨前線豪雨災害による農地・農業用施設災害復旧事業に係る経費（繰越分） ・使用料及び賃借料 509,300円　・工事請負費 108,579,900円　・原材料費 924,000円 ・補助金　市単独補助金（農地 5件）811,599円　（農業用施設 14件）2,620,761円 県単小災害支援事業費補助金　（農地 7件）804,000円　（農業用施設 16件）1,659,000円 計 5,895,360円 合計 115,908,560円
令和 8年度（計画）	異常気象によって被災した農地・農業用施設の復旧に対する補助金及び市の管理施設の復旧に係る経費 災害査定設計書委託料、補助金（市単独）、応急用費用（木杭等消耗品費、修繕料、雑木処理等手数料、応急対策時重機リース料、応急対策用原材料費）
令和 9年度（計画）	異常気象によって被災した農地・農業用施設の復旧に対する補助金及び市の管理施設の復旧に係る経費 災害査定設計書委託料、補助金（市単独）、応急用費用（木杭等消耗品費、修繕料、雑木処理等手数料、応急対策時重機リース料、応急対策用原材料費）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	災害発生時の復旧率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	133	16,076	66,832	0	0
	(c) 地方債	0	900	23,800	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	370	10,122	0	0
	(f) 一般財源	460	32,678	15,155	2,000	2,000
事業費の小計		593	50,024	115,909	2,000	2,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	110101	01	農林整備課						
	現年発生農地農業用施設災害復旧事業			50,024	115,909	100,754	15,155	2,000	2,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0067 林業施設災害復旧事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－110102－010100　　災害復旧費・農林水産業施設災害復旧費・林業施設災害復旧費 林業施設災害		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

林道施設

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

林道災害発生時、迅速に復旧対応を行い利用者の安全を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

原材料、重機借上げ等により小規模な被災箇所の復旧を迅速に行う。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年7月24日～25日発生梅雨前線豪雨災害 ・補助事業：5路線7箇所（翌年度へ繰越）　単独事業：各地域小災害復旧実施（一部翌年度へ繰越） R5繰越分 ・林道三森山線林道施設災害復旧工事　※豪雨により別箇所が被災し施工不可となり契約解除、事業中止 林道萱峠線地すべり災害復旧事業 ・調査解析測量設計業務（債務負担）　地すべり災害復旧工事（翌年度へ繰越）
令和 7年度（決算）	令和6年7月24日～25日発生梅雨前線豪雨災害 ・補助事業：5路線7箇所（R6から繰越、完成）　単独事業　各地域小災害復旧実施（一部R6から繰越、完成） 令和5年7月14日～16日発生梅雨前線豪雨災害 ・林道三森山線測量設計業務委託 令和5年7月19日～令和6年10月11日発生地すべり災害 ・林道萱峠線地すべり災害復旧工事 前払金、立木補償
令和 8年度（計画）	・災害発生時の緊急対応分 ・林道三ツ森山線災害復旧工事（R6災・雄物川）
令和 9年度（計画）	・災害発生時の緊急対応分

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	迅速な復旧（R2年度まで）				
		単位	件	目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	災害発生時の復旧率（R3年度～）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	89	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	22,271	90,187	0	0
	(c) 地方債	0	0	7,900	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,081	67,343	57,698	12,226	5,000
事業費の小計		8,081	89,614	155,785	12,226	5,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	110102	01 農林整備課	58,861	128,902	95,287	33,615	5,000	5,000
	現年発生林業施設災害復旧事業							
2	110102	01 農林整備課	0	0	0	0	7,226	0
	令和６年発生林業施設災害復旧事業							
3	110102	01 農林整備課	30,753	26,883	2,800	24,083	0	0
	令和5年発生林業施設災害復旧事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0069 よこて農業創生大学事業

部・担当課	農林部・食農推進課	担当課長氏名	松井　尊臣
予算科目事業	1 一般会計－060103－140100　農林水産業費・農業費・農業振興費 よこて農業創生大学事業・農業経営者等		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

新規就農者、既存の農業経営者、横手市産農産物に関心のある市民　など

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

1.農業所得の向上を図る　2.就農者としてスタートさせ自立した農業経営者を志す人材に育成する　3.より高い意識と栽培技術を持った農業経営者に育成する　4.栽培し食することで、横手産野菜を身近に感じてもらえる市民を増やす

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

よこて農業創生大学事業を展開していく拠点として園芸振興拠点センターを管理運営
農家所得の向上と担い手の確保・育成に向けて、園芸作物の生産力強化対策や新規就農者育成研修事業、農業経営実践レベルアップ事業など、大学事業のアクションプランに登載した各種の取組みを実施する。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市農業振興計画 地域価値創造拠点整備基本構想
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	H27年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	【園芸振興拠点センター費31,064千円】①園芸振興拠点センターの適切な管理運営を実施　②園芸振興推進会議の開催と第３期アクションプランを作成　③センターの認知度向上等に向け食農フェスタを開催　【農業経営者等育成事業4,835千円】①農業技術研修生を10名を受入れ担い手の育成を図った　②園芸の取組に関する普及啓発のため市民向け野菜講習会等を実施　【園芸作物栽培実証3,188千円】アスパラガスの施設高畝栽培の実践圃展示や廃菌床入りスーパーコン施用の栽培試験など、各種栽培実証試験を実施　【横手市農業持続的発展事業4,657千円】持続可能なホップ生産推進事業を実施
令和 7年度（決算）	【農業経営者等育成事業7,384千円】①農業技術研修生を9名を受入れ、担い手の育成を図った　②農家レベルアップ講習として土壌診断セミナー＆相談会を実施　③園芸の取組に関する普及啓発のため市民向け野菜栽培講習会等を実施 【園芸作物栽培実証試験事業3,228千円】①市重点振興作物8品目の展示栽培　②アスパラガスの採りっきり栽培及び露地枠板式高畝栽培、スイカの遅出し栽培等、各種栽培実証試験の実施　③新たな品目・品種導入や周年栽培に向けた栽培実証試験の実施（ブロッコリー、タルティーボ）　④伝統野菜保存の取り組み
令和 8年度（計画）	①農業技術研修生の受け入れ、農業者向け各種研修の実施、農作業体験の受入れ ②園芸作物の栽培実証による生産力強化対策
令和 9年度（計画）	①農業技術研修生の受け入れ、農業者向け各種研修の実施、農作業体験の受入れ ②園芸作物の栽培実証による生産力強化対策

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市施設で研修を終えた新規就農者数				
		単位	人	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	5	4	6		
	2	区分	成果	指標	農業者レベルアップ研修受講者数				
		単位	人	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	49	40	29		
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	204	233	187	200	200
	(e) その他特定財源	3,177	4,589	5,163	4,160	4,351
	(f) 一般財源	41,939	41,609	43,166	52,983	51,365
事業費の小計		45,320	46,431	48,516	57,343	55,916

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市行政組織規則において当課の事務分掌に位置づけられている事業である
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	直接的には園芸農業を営むもの、園芸農業により就農をめざすもの、園芸農業の関心があるものを対象に事業を行うが、関連する産業や地域の土地利用など間接的に広く影響をもたらす事業である
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	園芸農業に関心があるものや影響があるものが対象となる
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	ほぼ目標は達成できているが、事業を推進するマンパワー（指導者などの人材確保）が維持できるかが課題である
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	横手市行政組織規則において当課の事務分掌に位置づけられている事業である
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手市総合計画、横手市農業振興計画など各種計画の施策達成に寄与している
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間等で同種サービスの提供もあるが、民間と市が連携し実施することで、より効果が期待できる事業である
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	よこて農業創生大学事業を具体的に事業展開し取組むべき事項を３か年計画であるアクションプラン（第３期　Ｒ７～９）としてまとめ、園芸振興推進会議の開催により毎年ローリングを行っている
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	農業者の所得向上と担い手の育成確保を主目的とする当該事業において、農業の複合経営推進を主要な農業振興施策と位置付けており、その目的達成に向け相当のサービス水準を維持している
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

農業の担い手や労働力不足が深刻化する中で、持続可能な農業の実現を目指し、農業者の所得向上と担い手の育成確保を主目的とする「よこて農業創生大学事業」を継続的に実施していく必要がある。また、当該事業の行動計画であるアクションプランのローリングを行うことにより随時、改善を図っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	060103 | 15 | 食農推進課 園芸振興拠点センター費	31,064	30,776	1,122	29,654	35,394	33,251
2	060103 | 15 | 食農推進課 園芸振興拠点センター費（債務負担）	260	44	0	44	0	0
3	060103 | 15 | 食農推進課 農業経営者等育成事業	4,835	7,384	1,000	6,384	11,214	11,750
4	060103 | 15 | 食農推進課 地域種苗支援センター費（債務負担）	7,084	7,084	0	7,084	7,084	7,084
5	060103 | 15 | 食農推進課 園芸作物栽培実証試験事業	3,188	3,228	3,228	0	3,651	3,831
6	060103 | 15 | 食農推進課 種苗供給安定化緊急対策事業	0	0	0	0	0	0
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0071 林道施設長寿命化事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	菅原　淳
予算科目事業	1 一般会計－060202－060100　農林水産業費・林業費・林業振興費 林道施設長寿命化事業・林道施設長寿命		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

林道施設

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

林道施設の長寿命化を図り、維持・建設コストの低減及び安全性を確保する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

林道施設長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、林道橋の長寿命化を図る。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	萱峠線2号橋（山内）L=16.4m　長寿命化工事 実施設計業務委託
令和 7年度（決算）	萱峠線1号橋（山内）L=18.5m　長寿命化対策 実施設計
令和 8年度（計画）	萱峠線1号橋（山内）L=18.5m　長寿命化対策　補修工事
令和 9年度（計画）	赤倉1号橋（山内）・雄勝川2号橋計（山内）・雄勝川5号橋（山内）　長寿命化対策

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	林道橋の点検診断件数				
		単位	橋	目標値	19	0	0	0	
				実績値	20	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	2,420	19,250	18,700
	(c) 地方債	0	0	1,900	15,700	15,300
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	5,500	80	1,050	1,000
事業費の小計		0	5,500	4,400	36,000	35,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	森林資源の活用や公益的機能の維持のため林道及び林道施設の整備は重要であり、長寿命化を図り安全性を確保しなければならない。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	森林は広く市民に公益をもたらすものであり、その豊かな森林環境を保全するために林道施設の役割は重要である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	森林整備に関わる者が主な対象となるが、それ以外の市民も利用する施設であり全市民がサービスの対象となる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	長寿命化計画（個別施設計画）に基づき改修を進めているが、改修が必要な健全度Ⅲの解消には時間を要する。県営事業路線における函渠化や、不要な橋梁の廃止の検討も合わせて進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	森林整備の基盤となる林道を利用するために不可欠な施設である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	管理者は市であり、市が取り組まなければならない。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	5年毎の点検・診断において、より精度の高い計画を作成し取り組む必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	管理者である市が負担する。
項目点合計	２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

施設の長寿命化を図ることで、総体的なコストの低減と森林環境の保全に繋げなければならない。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060202	06 農林整備課						
	林道施設長寿命化事業（建設）		5,500	4,400	4,320	80	36,000	35,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0080 森林経営管理事業

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－060202－050100　農林水産業費・林業費・林業振興費 森林経営管理事業・森林管理体制構築事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
適切に経営や管理が行われていない森林
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の促進を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
森林経営管理制度に基づき、森林管理体制構築事業・森林経営管理事業等により、森林管理の適正化を図る。

④ 根 拠 法 令	森林経営管理法	⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・森林管理体制構築事業：45,030千円［森林資源解析、経営管理権集積計画作成2件ほか］　・森林管理体制構築事業（債務負担）：7,995千円［森林情報デジタル化推進事業負担金］　・森林経営管理事業：2,727千円［林道修繕、保育間伐1.52ha］　・森林環境整備事業：6,433千円〔マツ・ナラ枯死木伐倒、木育、病害木調査、再造林支援、林業体験学習］
令和 7年度（決算）	・森林管理体制構築事業：52,191千円［森林資源解析、経営管理権集積計画作成4件ほか］　・森林経営管理事業：473千円［林道修繕、保育間伐0.48ha］　・森林環境整備事業：15,899千円〔マツ・ナラ枯死木伐倒、木育、病害木調査、再造林支援、高性能林業機械等導入支援、林業体験学習］
令和 8年度（計画）	・森林管理体制構築事業（集積計画策定、航空レーザ―計測及び境界推定図作成、ＧＩＳ保守・改修、集積計画地巡視、事務費）　・森林経営管理事業（委託された森林の施業、林道等修繕）　・森林環境整備事業（マツ・ナラ枯死木伐倒、木育、人材育成、病害木調査、再造林支援）
令和 9年度（計画）	・森林管理体制構築事業（集積計画策定、森林資源解析及び境界推定図作成、ＧＩＳ保守・改修、集積計画地巡視、事務費）　・森林経営管理事業（委託された森林の施業、林道等修繕）　・森林環境整備事業（マツ・ナラ枯死木伐倒、木育、人材育成、病害木調査、再造林支援）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	経営管理先が確定した面積（令和2年度まで）				
		単位	ha	目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	経営管理権集積計画策定数（令和3年度～）				
		単位	件	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	3	2	4		
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	142	0
	(f) 一般財源	41,564	54,190	68,563	71,322	65,200
事業費の小計		41,564	54,190	68,563	71,464	65,200

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づき適正な管理がされていない森林の管理を市が受託し、間伐等の森林整備を実施する。また、そのほか森林の整備及び森林の整備の促進に関する施策を森林環境譲与税を財源とし実施する。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	森林の持つ公益的機能（水源涵養・国土保全・保健・文化など）は市民の生活すべてに寄与しており、機能の持続は重要である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	森林の持つ公益的機能（水源涵養・国土保全・保健・文化など）の持続のため、森林整備やその促進に関する施策を実施することはすべての市民がサービスの対象となる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	経営管理権集積計画作成を順次進めており、さらに進捗を図る必要があるが、境界明確化に時間を要するため、大きな進捗とはなっていない。森林環境譲与税については、有効に活用し取り組んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	森林経営管理制度は森林整備を図るための重要な制度であり、森林環境譲与税はその貴重な財源である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	森林環境譲与税は市に譲与されており、市以外が取り組むことはできない。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	森林経営管理制度への取り組みは、常に見直し改善することが必要と思われるが、境界明確化に時間を要するのはやむを得ないところである。その他事業についても、改善・工夫しながらより効果的・効率的となるよう進めなければならない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	森林環境譲与税を活用した事業であり、受益者の負担はない。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　9×3	総合評価点　９１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和6年度から森林環境税が課税され、また譲与基準の見直し等により森林環境譲与税の譲与額が増加されている。そのため、森林経営管理制度の進捗と森林環境譲与税の更なる有効活用が必要であり、全国的にも求められている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060202	05	農林整備課 森林管理体制構築事業	45,030	52,191	0	52,191	59,724	31,650
2	060202	05	農林整備課 森林経営管理事業	2,727	473	0	473	3,679	26,050
3	060202	05	農林整備課 森林環境整備事業	6,433	15,899	0	15,899	7,951	7,500
4	060202	05	農林整備課 木材利用促進事業	0	0	0	0	110	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0082 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－969800　農林水産業費・農業費・農業振興費 地方創生臨時交付金事業・農業経営継続		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
水稲作付農業者、農業法人又は人農地プランの中心経営体、水稲露地プール育苗に取り組む農業者、冬期農業経営者、畜産農業者等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
農業経営の安定化を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【飼料高騰対策事業】飼料価格の高騰に対する助成 【農業経営継続支援事業】燃料費や光熱費等の高騰により影響を受ける施設園芸農家支援

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 2年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・農業資材等価格高騰対策（果樹）緊急支援事業　19,038千円 ・農業資材等価格高騰対策緊急支援事業　95,736千円
令和 7年度（決算）	令和6～7年度地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策 ・農業経営継続支援事業　6,089千円 ・飼料高騰対策事業　31,152千円
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	営農継続率				
		単位	%	目標値			100		
				実績値			100		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	82,512	0	37,240	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	17,190	0	1	0	0
事業費の小計		99,702	0	37,241	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	燃油や光熱費、飼料等の価格高騰の影響を受ける農家の営農継続支援として、必要な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市内農業者の営農継続を支援する重要な事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	施設園芸農家、畜産農家が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	各事業において達成度に差異はあるものの、概ね目標は達成されている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部署において、類似する事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	基幹産業である農業の持続的発展を支援し、市の農業振興に資する事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	基幹産業である農業を守るため、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	緊急的措置として立案した事業であり、今後改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	物価高騰により農業経営に支障をきたしている農業者を支援するために他自治体等の支援も参考に適切な制度設計がなされており、サービス水準において適切である。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		７２	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

世界情勢不安に伴う飼料・燃油等の価格高騰により厳しさを増している農業者を支援するため、国の地方創生臨時交付金を活用した事業である。この事業は短期的な支援措置であり、長期的にコスト投入する事業ではない。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060103	96 農業振興課	0	6,089	6,088	1	0	0
	農業経営継続支援事業							
2	060106	04 農業振興課	0	31,152	31,152	0	0	0
	飼料高騰対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0083 スマート農業普及支援事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－150100　　農林水産業費・農業費・農業振興費 スマート農業普及支援事業・産業用ドロ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

スマート農業に取り組もうとしている農事組合法人等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

スマート農業（水稲）が普及している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

スマート技術を備えた農業用機械の導入経費の一部を助成し、スマート農業の普及を支援する。
・大型作業機械（トラクター・コンバイン・田植機）導入費　・管理用機械（自動抑草ロボットほか）　・果樹関係機械（自動草刈機等）　・産業用ドローン導入費、認定証取得費　・パワーアシストスーツ等の導入費

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・スマート農業実装支援事業　市単独　18件　事業費　36,662千円　補助金額　9,828千円 （※田植機1・トラクター2・自動操舵2・ドローン6・ドローン認定証取得6・アシストスーツ1）
令和 7年度（決算）	スマート農業の普及を図るため、水稲用作業機械の導入経費の一部を助成 ・実績34件、補助金額 33,798千円 ・田植機5台、トラクター3台、コンバイン4台、自動操舵7台、ドローン8台、ドローン認定証取得6件、アシストスーツ1台
令和 8年度（計画）	スマート技術を備えた農業用機械の導入経費の一部を助成し、スマート農業の普及を支援する。 ・大型作業機械（田植機、コンバイン）導入費　・産業用ドローン導入費、認定証取得費 ・自動操舵システムの導入費　・管理用機械（自動抑草ロボット）
令和 9年度（計画）	スマート技術を備えた農業用機械の導入経費の一部を助成し、スマート農業の普及を支援する。 ・大型作業機械（田植機、コンバイン）導入費　・産業用ドローン導入費、認定証取得費 ・自動操舵システムの導入費　・管理用機械（自動抑草ロボット）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	スマート農業に取り組む法人数				
		単位	法人	目標値	1	2	2	2	2
				実績値	6	4	14		
	2	区分	成果	指標	一等米比率				
		単位	%	目標値	95	95	95	95	95
				実績値	81.6	87.7	92.7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	8,875	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	10,463	9,828	33,798	33,000	33,000
事業費の小計		19,338	9,828	33,798	33,000	33,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市の基幹産業である農業の推進のためにはスマート農業への取り組みが必要不可欠であり、優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	スマート農業の普及は、作業の省力化や軽労化、担い手不足の補完などにより、持続可能な農業経営の推進と離農抑制につながり地域の維持にも寄与することから、極めて公益性の高い事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	スマート農業に取り組もうとしている農業者が対象。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	現代農業が抱える課題解決と農産物の生産性や品質向上のためにも欠かせない事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市の基幹産業である農業の課題解決に向けた観点から、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	農業のＡＩ化が進んでおり、スマート農業の進展や新たな技術開発などの状況に応じて改善と見直しの必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

担い手の高齢化や後継者不足など市が抱える農業の課題解決にはスマート農業技術の活用は必要不可欠である。また、農産物の生産性や品質の向上に向けた取り組みや産地を維持していくために必要な技術でもあるため、市が率先し推進していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060103	15	農業振興課						
	産業用ドローン導入支援事業			0	0	0	0	8,000	8,000
2	060103	15	農業振興課						
	未来農業推進事業			0	0	0	0	25,000	25,000
3	060103	15	農業振興課						
	スマート農業実装支援事業			9,828	33,798	0	33,798	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0085 農業災害等緊急支援事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－190100　農林水産業費・農業費・農業振興費 農業災害等緊急支援事業・降雹被害緊急		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内で農産物の生産・販売を行っている農業者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

経営の再建が図られている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農業経営等復旧・継続支援対策事業】令和5年7月の大雨により被害を受けた被災農業者等の再生産に向けた取組に対して助成し、農業経営等の再建を支援。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・令和5年7月の大雨により被害を受けた農業者等の再生産に必要な種苗費への助成（3件　98,000円） ・令和6年7月の大雨により被害を受けた園芸作物等の生産維持に向けた防除薬剤費等への助成（51件　3,392,470円） ・令和6年7月以降の大雨により被害を受けた農業者等の生産施設・機械の復旧経費や水稲、大豆の追加防除経費への助成（4件　311,000円）
令和 7年度（決算）	令和6年7月以降の大雨により被害を受けた農業者等の再生産に向けた種苗費等への助成 ・補助額　6,779,000円（6件） 令和7年度の渇水により農業用水が不足している農業者の農業用水確保に向けた経費への助成 ・補助額　6,558,000円（256件）
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	成果	指標	事業活用農家戸数				
		単位	戸	目標値		4	100		
				実績値		58	292		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	306	6,189	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	103	7,148	0	0
事業費の小計		0	409	13,337	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	自然災害からの復旧及び自然災害への対策事業であり、優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	自然災害による被害農業者を支援し、地域農業の維持を図る事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	自然災害による被害農業者支援である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	自然災害からの復旧及び自然災害への応急対策を支援することで、農業経営の継続が図られた。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	自然災害から経営継続を目指す農業者を支援するために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	自然災害からの復旧及び自然災害への応急支援であり、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	被害状況に応じて、必要な支援策を検討して実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	自然災害からの復旧及び自然災害への対策支援であり、受益者負担・サービス水準は適切である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　７８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
自然災害の被害農業者を支援する時限的な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060103	19 農業振興課	0	0	0	0	0	0
	降雹被害緊急支援事業							
2	060103	94 農業振興課	409	6,779	6,189	590	0	0
	農業経営等復旧・継続支援対策事業							
3	060103	94 農業振興課	0	0	0	0	0	0
	渇水応急対策事業							
4	060103	94 農業振興課	0	6,558	0	6,558	0	0
	渇水応急対策事業（市単独）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0087 畜産経営支援事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060106－030100　農林水産業費・農業費・畜産振興費 畜産経営支援事業・夢ある畜産経営ステ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内の認定農業者、畜産クラスター計画の中心的経営体、機械共同利用集団、堆肥化共同利用集団又は認定就農者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
畜産経営の安定
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
畜産経営の生産振興や産出額の拡大のために必要な支援をする 【夢ある畜産経営ステップアップ支援事業】

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業の実施。 複合型生産構造への転換をこれまで以上に加速すると共に、畜産を核とした地域活性化を図るため、意欲ある農業者のステップアップに必要な取組に必要な経費の一部を助成。 3件 568千円
令和 7年度（決算）	複合型生産構造への転換をこれまで以上に加速すると共に、畜産を核とした地域活性化を図るため、意欲ある農業者のステップアップに必要な取組に必要な経費の一部を助成 ・実績2件、5,251千円
令和 8年度（計画）	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業（県）の実施 畜産による地域活性化を図るため意欲ある農業者のステップアップに必要な取組に必要な経費の一部を助成
令和 9年度（計画）	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業（県）や畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（国）の実施 畜産による地域活性化を図るため意欲ある農業者のステップアップに必要な取組に必要な経費の一部を助成 養豚畜舎の建設一式（電気設備、給排水工事含む）の費用の一部を助成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	販売額　[肉用牛(肥育牛)＋肉用牛(繁殖牛)＋酪農(乳用牛)]				
		単位	億円	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	7.4	7.8	6.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	8,649	455	4,204	15,750	516,500
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,439	113	1,047	2,250	3,500
事業費の小計		11,088	568	5,251	18,000	520,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	複合型生産構造への転換を加速させ、中山間地域等での畜産を核とした地域活性化を図るため必要な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	畜産事業者にとって必要な事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	畜産事業者が対象の事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	経営の安定化が図られることから、畜産振興に対し必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	畜産の生産に必要な秋田牛増頭や機械導入等への支援は畜産振興のために重要であり、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業は県事業であるため、畜産農家からの声を聞取りし、県と情報共有のうえより良い制度設計になるよう協議してゆく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　8×3
総合評価点		７５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

夢ある畜産経営ステップアップ支援事業は令和8年度から事業名称が変更になり新たな制度としてスタートする。ただし、県事業であることから市として制度設計を行うことはできない。しかし、多くの畜産農家からの要望を聞き取りして、より良い制度設計になるよう県に畜産農家の声を届ける。また、複合経営の推進に畜産は非常に重要であり牛の増頭や機械類の導入により収益性の高い畜産業の推進を図るため、この事業は必要不可欠であり事業継続の要望を行っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	060106	03	農業振興課						
	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業（建設）			568	5,251	4,204	1,047	18,000	20,000
2	060106	03	農業振興課						
	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（建設）			0	0	0	0	0	500,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0092 畑地化促進支援事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－170100　農林水産業費・農業費・農業振興費 畑地化促進支援事業・畑地化促進支援事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

畑地化促進事業に取り組んだ農地の管轄土地改良区に対して補助する。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

畑地化促進事業に取り組む農業者や管轄土地改良区の負担軽減により、円滑な畑地化促進を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

農業経営の安定と国内生産の確保を図り、高収益作物やその他の畑作物の導入定着を図るため、土地改良区の地区内の土地において水田を畑地化する際に生じる費用（決済金、協力金等）に相当する額を支援する。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	畑地化面積　11ha　2,485千円
令和 7年度（決算）	国の畑地化促進事業に採択された管轄土地改良区の地区内の土地において、水田を畑地化する際に生じる費用（決済金、協力金等）に相当する額を支援 ・畑地化実績　0ha ・事務経費　252千円
令和 8年度（計画）	国の畑地化促進事業に採択された管轄土地改良区の地区内の土地において、水田を畑地化する際に生じる費用（決済金、協力金等）に相当する額を支援。
令和 9年度（計画）	国の畑地化促進事業に採択された管轄土地改良区の地区内の土地において、水田を畑地化する際に生じる費用（決済金、協力金等）に相当する額を支援。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	畑地化面積（ｈａ）				
		単位	ｈａ	目標値		3	20	30	30
				実績値	5	11	0		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	2,485	252	1,005	1,005
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	2,485	252	1,005	1,005

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	国が推進する対策に基づき事業を確実に実施している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	基幹産業である農業に関わる事業であり、国の関与も大きく市全体に影響のある事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市内に農地を有する農業者が対象の事業である。
②事業の有効性	6	目標の達成度	1点：目標の達成が困難であり、目標値の修正が必要である。
		1	国の水田政策の変更をまじかに控え、事業の活用に慎重となっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	畑作物の本作化に取り組む農業者を支援することは、横手市が推進する複合農業の振興に必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国が推進する施策であり、農業関係団体による連携のもと、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国の規定により実施している事業であり、現段階で改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国の規定により実施している事業であり、助成内容は一律である。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　6×3　＋　9×3
総合評価点		７３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む農業者に対し、畑地化への円滑な移行を促すため必要な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060103 17	農業振興課	畑地化促進支援事業	2,485	252	252	0	1,005	1,005

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0095 農山村振興事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	佐藤　雅人
予算科目事業	予算科目なし		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
農業者等が組織する団体
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
農山村の活性化と維持発展に向けて、地域資源を活用した取り組みにより農業者等の所得向上や雇用の創出が図られている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【未来へつなぐ元気な農山村創造事業】地域資源を活用した地域活性化に向けた取り組みへの支援

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 8年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	未来へつなぐ元気な農山村創造事業の実施
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	事業活用団体等				
		単位	団体	目標値			1	1	1
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	0	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1			予算科目事業なし						

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				財源内訳			
		事業費	事業費	特定財源	一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0096 みどりの食料システム戦略推進事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－979800　　農林水産業費・農業費・農業振興費 みどりの食料システム戦略推進事業・有		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内農業者等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
環境負荷軽減と持続的発展に向けた取り組みの推進により、環境と調和のとれた食料システムの構築が図られている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【有機転換推進事業】新たに有機農業への転換等を実施する農業者等の支援

④ 根 拠 法 令	みどりの食料システム法	⑤ 関 連 計 画	横手市農業振興計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	新たに有機農業に取り組む農業者を支援 ・有機転換推進事業　200千円（1件、100a）
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	事業活用件数				
		単位	件	目標値			1		
				実績値			1		
	2	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	200	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	200	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	環境と調和のとれた農業の振興に向け必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	安全・安心な農産物の生産や地域の環境保全につながる事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	有機農業に取り組む農家が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	取り組む農家が限定的であり、取り組みの拡大に向けた検討が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局に類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	持続可能な農業の振興に向け必要な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	国の補助事業であり、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	有機農業への取り組みには課題も多く、取り組みの拡大に向けた検討が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国の補助事業であり、他自治体と比較してサービス水準は適切である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　7×3　　総合評価点　７７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

持続可能な農業の推進に向け有効な事業であるが、有機農業の取り組みには課題も多く、取り組む農家が限定的となっている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	060103	97	農業振興課						
	有機転換推進事業			0	200	200	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0097 スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－060103－989800　農林水産業費・農業費・農業振興費 スマート農業・農業支援サービス事業導		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	農業の担い手が育ち、地域内で農業を経営する仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市内でサービス事業を提供する農業支援サービス事業体

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

スマート農業技術の活用等により農業現場における生産性の向上を支援し、農業支援サービス事業を利用できる環境の早急な整備を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業】農業支援サービス事業の新規立上げ又は事業の拡大に必要な取り組みに係る費用及び農業支援サービスの提供に必要となるスマート農業機械等の導入に係る経費の一部補助。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	農業支援サービス事業の新規立上げ又は事業の拡大に必要な取り組みに係る費用及び農業支援サービスの提供に必要となるスマート農業機械等の導入に係る経費の一部補助 ・実績 1経営体、補助金額 17,585千円
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	事業実施主体の提供するサービスを活用する農地面積				
		単位	ha	目標値			34	124.5	155
				実績値			8.6		
	2	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	17,585	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	0	17,585	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市の基幹産業である農業の推進のためにはスマート農業への取り組みが必要不可欠であり、優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	スマート農業の普及は、作業の省力化や軽労化、担い手不足の補完などにより、持続可能な農業経営の推進と離農抑制につながり地域の維持にも寄与することから、極めて公益性の高い事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	スマート農業に取り組もうとする農業者が対象。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	現代農業が抱える課題の解決と農産物の生産性や品質向上のためにも欠かせない事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市の基幹産業である農業の課題解決に向けた観点から、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	農業のＡＩ化が進んでおり、スマート農業の進展や新たな技術開発などの状況に応じて改善と見直しの必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計	２４	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　７９

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

担い手の高齢化や後継者不足など市が抱える農業の課題解決にはスマート農業技術の活用は必要不可欠である。また、農産物の生産性や品質の向上に向けた取り組みや産地を維持していくために必要な技術でもあるため、市が率先し推進していく必要がある。
なお、事業実施主体からは令和７年度は農業機械の納入に時間がかかり、活用する農地面積の目標を達成できなかった。２年目からは大規模農業法人のニーズに応えるため春から農業機械をフル稼働させ目標を達成できるよう指導していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	060103	98	農業振興課 スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業	0	17,585	17,585	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 商工総務事務費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070101－020100　　商工費・商工費・商工総務費 商工総務事務費・商工総務事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・市内商工業事業者・各種団体、駐車場

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

各地域の商工業振興等に係る経費の支出により、市民生活の利便性が図られ、市内商工業振興と地域の賑わいづくりに結びついている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

各種団体（ジェトロ秋田貿易情報センター等）への補助金の支出。計量器定期検査経費（隔年実施）の支出
商工業関係事業の総務事務費

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①各種団体（ジェトロ秋田貿易情報センター等）補助金の交付　②（増田地域）商工振興事業に係る総務費　③（平鹿地域）商工振興事業に係る総務費　④（雄物川地域）商工振興事業に係る総務費　⑤（十文字地域）十文字地域観光マップ印刷に係る経費　⑥（山内地域）商工振興事業に係る総務費　⑦（大雄地域）商工振興事業に係る総務費　⑧計量器定期検査に係る経費
令和 7年度（決算）	①各種団体（ジェトロ秋田貿易情報センター等）補助金の交付　②（増田地域）商工振興事業に係る総務費　③（平鹿地域）商工振興事業に係る総務費　④（雄物川地域）商工振興事業に係る総務費　⑤（十文字地域）十文字地域観光マップ印刷に係る経費　⑥（山内地域）商工振興事業に係る総務費　⑦（大雄地域）商工振興事業に係る総務費　⑧計量器定期検査に係る経費
令和 8年度（計画）	①各種団体（ジェトロ秋田貿易情報センター等）補助金の交付 ②商業関係事業の総務費 ③計量器定期検査に係る経費
令和 9年度（計画）	①各種団体（ジェトロ秋田貿易情報センター等）補助金の交付 ②商業関係事業の総務費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	計量器定期検査受検率（隔年）				
		単位	%	目標値	－	100	－	100	－
				実績値	－	100	－		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,373	1,044	2,860	3,251	3,781
事業費の小計		2,373	1,044	2,860	3,251	3,781

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070101	02 商工労働課	649	2,493	0	2,493	2,966	3,426
	商工総務事務費							
2	070101	02 山内地域課	277	277	0	277	285	285
	商工総務事務費（山内地域）							
3	070101	02 増田地域課	8	11	0	11	0	0
	商工総務事務費（増田地域）							
4	070101	02 平鹿地域課	18	18	0	18	0	22
	商工総務事務費（平鹿地域）							
5	070101	02 雄物川地域課	48	48	0	48	0	48
	商工総務事務費（雄物川地域）							
6	070101	02 十文字地域課	34	4	0	4	0	0
	商工総務事務費（十文字地域）							
7	070101	02 大雄地域課	10	9	0	9	0	0
	商工総務事務費（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 金融対策費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－010100　　商工費・商工費・商工業振興費 金融対策費・金融対策事業		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

事業資金を必要とする市内中小企業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内中小企業の事業安定と業界の振興・発展が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

事業資金を必要とする中小企業者に対して、融資あっせんや利子補給事業を実施することで、企業の安定並びに業界の振興・発展に資する。

【金融対策費】・・中小企業融資あっせん資金預託金

【金融対策費（債務負担）】・・中小企業融資あっせん資金保証料補給金、中小企業融資あっせん資金利子補給金

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①マル横資金預託金（600,000千円） ②マル横資金保証料補給負担金（一般29,145千円、小口7,091千円、創業1,525千円） ③マル横資金利子補給補助金（上期　501件10,936千円、下期　529件11,120千円） ④県経営安定資金新型コロナウイルス感染症対策枠保証料補給負担金（4,433千円） ⑤県経営安定資金危機対策枠・危機対策特別枠4年目以降利子補給金（上期　1,566件95,852千円、下期1,539件　101,998千円）
令和 7年度（決算）	①マル横資金預託金（600,000千円） ②マル横資金保証料補給負担金（一般31,692千円、小口7,481千円、創業1,667千円） ③マル横資金利子補給補助金（上期　504件10,887千円、下期　475件11,746千円） ④県経営安定資金新型コロナウイルス感染症対策枠保証料補給負担金（3,876千円） ⑤県経営安定資金危機対策枠・危機対策特別枠4年目以降利子補給金（上期　1,513件92,428千円、下期1,439件82,838千円）
令和 8年度（計画）	①マル横資金預託金　②マル横資金保証料補給　③マル横資金利子補給　④秋田県経営安定資金「新型コロナウイルス感染症対策枠」保証料補給　⑤秋田県経営安定資金「危機対策枠」「危機対策特別枠」利子補給
令和 9年度（計画）	①マル横資金預託金　②マル横資金保証料補給　③マル横資金利子補給　④秋田県経営安定資金「新型コロナウイルス感染症対策枠」保証料補給　⑤秋田県経営安定資金「危機対策枠」「危機対策特別枠」利子補給

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	マル横利用企業者数				
		単位	社	目標値	540	500	300	280	260
				実績値	247	240	255		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	772,444	802,283	692,978	600,000	600,000
	(f) 一般財源	57,187	59,817	149,637	247,621	221,937
事業費の小計		829,631	862,100	842,615	847,621	821,937

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	01 商工労働課	600,000	600,000	600,000	0	600,000	600,000
	金融対策事業							
2	070102	01 商工労働課	59,817	63,473	0	63,473	87,318	110,189
	金融対策事業（債務負担）							
3	070102	01 商工労働課	202,283	179,142	92,978	86,164	160,303	111,748
	中小企業経営安定支援事業（新型コロナウイルス感染症関連融資）（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 地域商業活性化支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－020100　　商工費・商工費・商工業振興費 地域商業活性化支援事業・商工会議所・商工		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内の中小企業者、市内商店街や商店街の各店舗及び市内経済団体

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

商工会議所・商工会の経営改善及び円滑な運営により市内の商工業事業者への支援の充実が図られている。
地域商業の活性化と地域の賑わいが創出されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【商工会議所・商工会等支援事業】商工団体の円滑な事業運営のための補助金交付　【地域商業活性化事業】地域の商業活性化を目的とする事業に関する経費（イベント費・研修）及び商店街街路灯電気料に対する補助　【空き店舗等利活用支援事業】商店街の空き店舗を活用して営業を開始するために必要な経費の補助及び既存店のイメージアップを図るための店舗づくりの経費の補助

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①商工会議所（5,250千円）・商工会（19,000千円）への事業費等補助金を交付 ②商店街街路灯維持管理費補助事業（電気料金補助金団体16団体 1,310千円） ③商い賑わい創出事業（3件　797千円） ④空き店舗等利活用支援事業（空き店舗10件　4,078千円）
令和 7年度（決算）	①商工会議所（5,250千円）・商工会（19,000千円）への事業費等補助金の交付 ②商い賑わい創出事業（2件　500千円） ③商店街街路灯管理費補助金事業（16団体　1,310千円） ④空き店舗等利活用支援事業（空き店舗2件　1,000千円、自店舗改装1件　265千円）
令和 8年度（計画）	①商工会議所・商工会への事業費等補助金の交付　②商い賑わい創出事業　③商店街街路灯管理費補助金 ④空き店舗等利活用支援事業　⑤商店街街路灯ＬＥＤ化補助金
令和 9年度（計画）	①商工会議所・商工会への事業費等補助金の交付　②商い賑わい創出事業　③商店街街路灯管理費補助金 ④空き店舗等利活用支援事業　⑤商店街街路灯ＬＥＤ化補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	空き店舗利活用支援事業を活用した件数				
		単位	件	目標値	13	9	9	9	9
				実績値	8	10	3		
	2	区分	成果	指標	商い賑わい補助金を活用した件数				
		単位	件	目標値	12	6	5	4	4
				実績値	2	3	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	29,391	30,435	27,325	31,250	31,550
事業費の小計		29,391	30,435	27,325	31,250	31,550

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	商業振興施策として優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	中小企業、商店、商店街、商工団体等が対象となっている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	まちの賑わい創出のため必要な事業と考えるが、申請件数が減少傾向にある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	商工業振興施策として、必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	商工団体等と市の連携が重要な事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	現状確認とその改善については、継続して実施する必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適正な負担とサービスを実施している。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
各商工業振興事業について、中小企業者、商店街や各店舗、経済団体等のニーズを把握しながら、事業の見直し検討を行っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	02 商工労働課	24,250	24,250	0	24,250	24,250	24,250
	商工会議所・商工会等支援事業							
2	070102	02 商工労働課	2,107	1,810	0	1,810	2,700	3,000
	地域商業活性化事業							
3	070102	02 商工労働課	4,078	1,265	0	1,265	4,300	4,300
	空き店舗等利活用支援事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 商工団体連携地域活性化事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－030100　商工費・商工費・商工業振興費 商工団体連携地域活性化事業・商工団体連携		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手商工会議所、よこて市商工会が連携して実施する事業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手商工会議所、よこて市商工会が市内の商工業振興のための事業を連携して実施し、経済波及効果の発展や地域活性化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【商工団体連携地域活性化事業】・・・横手商工会議所、よこて市商工会が連携し、商工業振興のみならず６次産業化や観光振興のためのイベント等開催費用への補助金を交付する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手商工会議所、よこて市商工会が連携して実施する事業への補助金の交付 ①商工団体連携地域活性化事業補助金 ・横手ブランド新商品開発研究事業（1,000千円） ・次世代人材育成塾事業（500千円）
令和 7年度（決算）	横手商工会議所、よこて市商工会が連携して実施する事業への補助金の交付 ①商工団体連携地域活性化事業補助金 ・横手ブランド新商品開発研究事業（1,000千円） ・次世代人材育成塾事業（500千円）
令和 8年度（計画）	横手商工会議所、よこて市商工会が連携して実施する事業への補助金の交付 ・商工団体連携地域活性化事業補助金
令和 9年度（計画）	横手商工会議所、よこて市商工会が連携して実施する事業への補助金の交付 ・商工団体連携地域活性化事業補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	商工団体連携事業数				
		単位	件	目標値	3	3	2	2	2
				実績値	2	2	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,500	1,500	1,500	1,694	1,530
事業費の小計		1,500	1,500	1,500	1,694	1,530

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	商工団体の連携事業であり、継続した実施が必要
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	商工団体会員から市民に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	事業展開により、多くの市民がそのサービスを享受できる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて事業を推進している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	商工業振興施策として必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が支援して取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	継続事業については、改善の余地あり。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切なサービス水準と判断される。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

社会情勢の変化に合わせ、地域の商業者にも変革が求められており、地域活性化を担う人材の育成、商品開発や販路拡大に資する本事業についても、見直しを実施しながら進めていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	03 商工労働課						
	商工団体連携地域活性化事業		1,500	1,500	0	1,500	1,694	1,530

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 市場管理費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－040100　　商工費・商工費・商工業振興費 市場管理費・増田朝市費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市場の開催により、市民の交流促進と地域の賑わい創出及び地域商業の活性化が図られている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【増田朝市費】・・朝市の管理運営費及び環境整備に係る経費を支出。 【十文字市場費】・・十文字市場の管理運営に係る経費を支出。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①増田朝市場の管理運営（557千円） ②十文字市場の管理運営（1,348千円）
令和 7年度（決算）	①増田朝市場の管理運営（567千円） ②十文字市場の管理運営（1,276千円）
令和 8年度（計画）	①増田朝市場の管理運営 ②十文字市場の管理運営
令和 9年度（計画）	①増田朝市場の管理運営 ②十文字市場の管理運営

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	市場への出店店舗数（1回）（増田朝市）				
		単位	件	目標値	40	30	25	24	24
				実績値	24	18	15		
	2	区分	成果	指標	市場への出店店舗数（1回）（十文字市場）				
		単位	件	目標値	16	13	12	12	11
				実績値	11	8	7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	487	384	356	375	335
	(e) その他特定財源	16	16	16	16	16
	(f) 一般財源	1,388	1,505	1,471	1,524	1,576
事業費の小計		1,891	1,905	1,843	1,915	1,927

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	04 増田地域課	557	567	284	283	616	616
	増田朝市費							
2	070102	04 十文字地域課	1,348	1,276	88	1,188	1,299	1,311
	十文字市場管理費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 山内杜氏組合支援事業

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－070102－070100　　商工費・商工費・商工業振興費 山内杜氏組合支援事業・山内杜氏組合運営支		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

酒造業従事者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業者及び自営業者の冬期の仕事を確保するための酒造技術の向上を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【山内杜氏組合運営補助事業】
・杜氏講習会の開催支援のため、山内杜氏組合に対し補助事業を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	山内杜氏組合事業運営費補助金　390,000円 ・組合からの要望書提出によりR6年度より増額（秋田県杜氏連合会解散による事業継承等）
令和 7年度（決算）	山内杜氏組合事業運営費補助金　390,000円
令和 8年度（計画）	山内杜氏組合事業運営費補助金
令和 9年度（計画）	山内杜氏組合事業運営費補助金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	杜氏講習会開催支援（年１回）				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	265	390	390	390	390
事業費の小計		265	390	390	390	390

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	当地域は古くから山内杜氏を輩出しており、杜氏に必要な酒造技術や人材の育成を図るため大正11年に山内杜氏組合が設立され、長年にわたり培った伝統技術を継承するうえで、実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	山内杜氏は全国的にも認知されており、その技術の継承は地域固有の産業育成を推進するとともに、地域のイメージアップにも資する事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	杜氏に必要な技術の取得及び向上を目的とした市民が対象である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	毎年、杜氏講習会を開催しており、酒造技術の向上及び後継者育成が図られている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似する事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	山内杜氏組合の酒造に関する高度な伝統技術が市内外の酒造業の振興発展に寄与しており、不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間としての視点から補助することも可能であるが、地域から多数輩出している人材を育成し、山内杜氏組合の円滑な運営支援を継続していくため、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	効果的な事業運営のため、毎年精査する必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	山内杜氏組合を担っていく人材の育成及び地域産業の保護などに繋げていくため、補助基準は適正である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　8×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
毎年開催している山内杜氏講習会は、酒造技術向上及び後継者育成のために必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102	07	山内地域課						
	山内杜氏組合運営支援事業			390	390	0	390	390	390

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 顧客利便施設費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070104－030100　　商工費・商工費・商工観光施設費 顧客利便施設費・顧客利便施設費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

適切な施設管理及び事業運営により、利用者（市民）に対するサービスが向上し、地域商業の活性化及び観光振興に結びついている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【顧客利便施設費】・・こうじ庵施設管理に係る修繕料及び土地賃借料の支出。
【顧客利便施設費（債務負担）】・・こうじ庵の指定管理料の支出。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①こうじ庵施設管理に係る委託及び土地賃借料等の支出 （土地賃貸借料208千円、小破修繕料109千円、排雪委託料110千円、リサイクル手数料4千円） ②指定管理による運営（4,495千円）
令和 7年度（決算）	①こうじ庵施設管理に係る委託及び土地賃借料等の支出 （土地賃貸借料204千円、小破修繕料371千円、除排雪委託料55千円） ②指定管理による運営（4,495千円）
令和 8年度（計画）	①こうじ庵施設管理に係る修繕及び土地賃借料の支出 ②指定管理による運営
令和 9年度（計画）	①こうじ庵施設管理に係る修繕及び土地賃借料の支出 ②指定管理による運営

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	5,100	3,000	2,500	2,400	2,300
				実績値	2,048	2,288	2,221		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,606	4,926	5,125	5,035	5,035
事業費の小計		4,606	4,926	5,125	5,035	5,035

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	03 商工労働課	431	630	0	630	540	540
	顧客利便施設費							
2	070104	03 商工労働課	4,495	4,495	0	4,495	4,495	4,495
	顧客利便施設費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 商店街振興施設管理事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070104－090100　商工費・商工費・商工観光施設費 商店街振興施設管理事業・ショッピングエ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ショッピングエリアや市営駐車場の適切な維持管理を行うことで、市民の交流の場の確保と地域の賑わい及び地域商業の活性化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ショッピングエリア管理事業】平鹿地域ショッピングエリアの修繕料、賃借料等維持管理費の支出
【駐車場管理事業】大森地域駐車場管理及び下田総合案内所の維持管理費の支出

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①平鹿地域ショッピングエリア及び駐車場の維持管理（3,459千円） ②大森地域駐車場の維持管理（542千円）
令和 7年度（決算）	①平鹿地域ショッピングエリア及び駐車場の維持管理（3,164千円） ②大森地域駐車場の維持管理（540千円）
令和 8年度（計画）	①平鹿地域ショッピングエリア及び駐車場の維持管理 ②大森地域駐車場の維持管理
令和 9年度（計画）	①平鹿地域ショッピングエリア及び駐車場の維持管理 ②大森地域駐車場の維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	駐車場内での交通事故数ゼロ				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	451	451	398	432	432
	(e) その他特定財源	347	344	151	154	339
	(f) 一般財源	2,519	3,206	3,155	3,665	3,379
事業費の小計		3,317	4,001	3,704	4,251	4,150

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
					事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070104	09	平鹿地域課	ショッピングエリア管理費	3,459	3,164	549	2,615	3,507	3,419
2	070104	09	大森地域課	駐車場管理費（大森地域）	542	540	0	540	744	731

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－250100　　商工費・商工費・商工業振興費 地方創生臨時交付金事業・プレミアム付商品		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・市内に住所・店舗を有する個人事業者または市内に事業所を有する法人（中小事業者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

急激な円安や世界情勢の不安化により原油価格等が高騰したことにより、電力・石油等のエネルギー価格が高騰し企業経営を圧迫している。市内中小事業者に対し、エネルギー価格高騰分を支援し、持続可能な経営に寄与する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【エネルギー価格高騰対策支援事業】
令和6年度に支払った水道光熱費等の5%、最大10万円を補助する

④根拠法令	ない	⑤関連計画	横手市商工業振興計画
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 2年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・プレミアム付商品券事業（R5繰越事業） ①商品券セット発行総数　83,000セット　②商品券セット販売数　81,257セット（販売率97.9%、②÷①） ③有効商品券総額　568,799,000円（③×@7,000円） ④換金総額　567,194,000円（使用率99.71%、④÷③）
令和 7年度（決算）	・エネルギー価格高騰対策支援事業 中小企業者に対する水道光熱費等の高騰分の補助を実施。令和6年度水道光熱費等の5%（上限10万円） 交付件数1,294件・73,329千円　事務費298千円 ・プレミアム付商品券事業 1セット1万円の商品券を5千円で販売（プレミアム率100%）。1人2セット購入可。 交付決定額878,202千円のうち、1,000千円を事前事務費として交付。残額はR8年度へ繰越。
令和 8年度（計画）	事業実施予定なし
令和 9年度（計画）	事業実施予定なし

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	活動	指標	補助金の申請者				
		単位	社	目標値	3,000		1,300		
				実績値	922		1,294		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	60,000	101,012	51,162	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,902	107,326	23,465	0	0
事業費の小計		63,902	208,338	74,627	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	エネルギー価格高騰により経営を圧迫されている市内事業者の支援のため必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市内事業者の支援及び市民の消費喚起を図ることで、市内経済の循環や雇用の場の維持確保につながる事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	商品券については、全市民が購入できる対象となっている。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	ほぼ目標値どおりの数の事業者から申請があった。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	活力ある商業の振興に寄与している。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	商品券事業については、横手市共通商品券実行委員会への補助金という形での支出となっている。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	過去に実施したエネルギー価格高騰対策支援事業、プレミアム付商品券事業とも改善を行いながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	エネルギー価格や物価高騰に影響を受ける市民や事業者にとっては、適切な水準の支援と考える。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3	総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

事業としては有効である考えるが、社会情勢や事業者ニーズも変化していることや、国の交付金等の財源の問題もあることから実施には検討が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	25 商工労働課	208,338	1,000	1,000	0	0	0
	プレミアム付商品券事業							
2	070102	98 商工労働課	0	73,627	50,162	23,465	0	0
	エネルギー価格高騰対策支援事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 起業・創業支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－080100　商工費・商工費・商工業振興費 起業・創業支援事業・横手市起業家育成事業		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内で起業をしようとする方（UIJターン起業家含む）
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
起業に関するアドバイスや起業の際の初期投資を援助することで、市内起業家が増加し商工業の活性化が図られている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
①横手市創業支援事業計画に基づくワンストップ窓口の設置及び起業セミナー等の開催、起業・創業における初期投資に係る経費の一部補助 ②Bizサポートよこての運営及び活用推進

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①起業ワンストップ相談事業（相談件数111件、フォローアップ12件） ②起業・創業支援事業補助金（15件6,128千円） ③ビジネス支援セミナー事業（創業機運醸成セミナー等 35回192人）、ハンズオン支援事業（経験共有型成長支援セミナー3回、伴走型経営支援3名） ④Ｂｉｚサポートよこての運営費　R7年3月末パーソナルオフィスの入居者 4事業者（うちサテライトオフィス利用企業 1事業者）・シェアオフィスの入居者　2事業者
令和 7年度（決算）	①起業ワンストップ相談事業（相談件数107件、フォローアップ12件） ②起業・創業支援事業補助金（6件2,059千円） ③ビジネス支援セミナー事業（創業機運醸成セミナー等 35回169人）、ハンズオン支援事業（事業計画作成・テストマーケティング等伴走型支援　プログラム参加者5グループ9名） ④Ｂｉｚサポートよこての運営費　R8年3月末パーソナルオフィスの入居者 5事業者（うちサテライトオフィス利用企業3事業者）・シェアオフィスの入居者　3事業者（うちサテライトオフィス利用企業2事業者）
令和 8年度（計画）	①起業ワンストップ相談事業　②起業セミナー等の開催　③起業、創業支援事業による助成　④Bizサポートよこての運営　⑤ハンズオン支援事業
令和 9年度（計画）	①起業ワンストップ相談事業　②起業セミナー等の開催　③起業、創業支援事業による助成　④Bizサポートよこての運営　⑤ハンズオン支援事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	起業ワンストップ相談窓口相談件数				
		単位	件	目標値	150	150	120	125	130
				実績値	117	111	107		
	2	区分	成果	指標	起業・創業支援事業を活用した件数				
		単位	件	目標値	15	14	14	14	14
				実績値	12	15	6		
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	5,462	4,700	4,910	5,500	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	2,087	1,895	1,984	2,116
	(e) その他特定財源	2,431	223	220	192	60
	(f) 一般財源	15,363	16,158	11,551	18,114	23,267
事業費の小計		23,256	23,168	18,576	25,790	25,443

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	起業支援は重点事業として取り組んでいる。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらしている。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	起業を目指すものが対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	実績として起業につながった件数は減少したものの、起業に向けた相談件数等は一定数をキープしている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	活力ある商工業振興に不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	Bizサポートよこての活用等については、常に改善を行いながら実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	サービス水準は適切と考える。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：9×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市内起業家の発展・育成に係る事業内容については見直しや検討を行いながら、関係団体と連携して事業を推進していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	070102 | 08 | 商工労働課 横手市起業家育成事業	19,313	14,536	4,910	9,626	21,176	21,176
2	070102 | 08 | 商工労働課 Ｂｉｚサポートよこて費	3,855	4,040	2,115	1,925	4,614	4,267
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 伝統的産業緊急支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－240100　商工費・商工費・商工業振興費 伝統的産業緊急支援事業・伝統的産業緊急支		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内の酒類製造業及び味噌、麹を生産する食品製造業に該当する事業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

事業者の安定した経営環境の確保を図ることで、地域経済の衰退を防ぐ

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【伝統的産業緊急支援事業】
原材料として主食用米または加工用米を仕入れた経費（前年度からの価格高騰分）の一部補助

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	原材料米の急激な価格高騰の影響を受ける市内の酒造業者及び麹・味噌製造業者に対し、仕入経費の一部を補助 ①令和7年6月補正分 令和6年度と令和5年度の仕入価格の高騰額への補助　交付件数13事業者　交付額11,355,044円 ②令和8年1月補正分（重点支援地方創生臨時交付金活用事業） 令和7年産米・令和6年産米の仕入に対する定額補助　※令和8年度へ全額（57,041千円）繰越
令和 8年度（計画）	事業実施予定なし
令和 9年度（計画）	事業実施予定なし

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	補助金交付事業者の経営継続率				
		単位	%	目標値			100		
				実績値			100		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	11,355	0	0
事業費の小計		0	0	11,355	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市として重要な産業の安定化を図る事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	地域経済の衰退を防ぐことにつながる事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	補助対象者は一部業種に限定される。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	対象事業者が事業を継続している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市内の商工業振興を図るうえで必要な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が政策的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業内容については、随時見直しを実施する必要があると考える。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	原材料米の急激な価格高騰に対する補助であり、緊急的な事業と考える。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3　　総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和7年産の原材料米の価格が高止まりしていることから、令和8年度も実施することとしているが、令和9年度以降については実施の必要性は低いと考える。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	24 商工労働課						
	伝統的産業緊急支援事業		0	11,355	0	11,355	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 工業振興費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－050100　商工費・商工費・商工業振興費 工業振興費・工業振興対策費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内企業及び事業者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
製造業を主とした企業等の活性化を促進
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【工業振興対策費】‥企業振興審議会の開催、各種団体への負担金・補助金の交付、工業振興経常経費 【企業振興・企業立地促進事業】 横手市企業振興条例に基づく指定企業に対して、各種奨励金（用地取得助成金、雇用奨励金、環境整備推進奨励金、雪対策奨励金）を交付

④ 根拠法令	横手市企業振興条例	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①工業振興に関する各種団体（5団体）への補助、負担金等の支出 ②企業振興審議会の開催、条例指定企業への各種奨励金交付 ・雇用奨励金15社　24,000千円 ・雪対策奨励金15社　16,635千円 ・用地取得助成金5社　103,677千円　合計144,312千円
令和 7年度（決算）	①工業振興に関する各種団体（5団体）への補助、負担金等の支出 ②企業振興審議会の開催、条例指定企業への各種奨励金交付 ・雇用奨励金14社　18,000千円 ・雪対策奨励金23社　38,883千円 ・用地取得助成金1社　97,974千円 ・環境整備推進奨励金5社　12,606千円　合計168,272千円
令和 8年度（計画）	・ＱＣサークル等工業振興に関する経費の支出 ・市内自動車関連企業ブースの展示、希少車の展示や試乗体験、子供向け自動車関連イベント等を駅前公共施設等を会場に開催
令和 9年度（計画）	・ＱＣサークル等工業振興に関する経費の支出 ・市内自動車関連企業ブースの展示、希少車の展示や試乗体験、子供向け自動車関連イベント等を駅前公共施設等を会場に開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	指定企業件数				
		単位	社	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	6	10	10		
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	51,978	145,397	168,523	178,413	74,163
事業費の小計		51,978	145,397	168,523	178,413	74,163

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：0×4　＋　0×3　＋　0×3　　総合評価点　0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	05 商工労働課	1,085	251	0	251	282	282
	工業振興対策費							
2	070102	05 商工労働課	144,312	168,272	0	168,272	175,881	71,881
	企業振興・企業立地促進事業							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 成長産業支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－200100　　商工費・商工費・商工業振興費 成長産業支援事業・ＢＩＧプロジェクト支援		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内企業及びＩＣＴ関連の起業を目指している方 特定業種または一定の要件を満たす新規立地企業等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市内のＩＴ系企業の事業拡大及びICTを活用した起業を目指している方の起業推進を図る。 市内への新規企業立地を促進し、雇用の拡大等、地域経済の振興を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【ＢＩＧプロジェクト支援事業】…大型設備投資案件に対し、経費の一部を補助する。（既存企業：対象投資額の5%・5,000万円上限、新規立地企業：対象投資額の10%・5,000万円上限、対象投資額30億円以上・3億円上限） 【地域経済牽引事業】…地域経済を牽引する経済波及効果の高い事業を行う企業等に対し、設備投資に係る経費の一部を補助する。（対象経費の30%、上限1億円）

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①設備投資経費に関する補助 ・大型投資事業者３社　　400,000千円
令和 7年度（決算）	①設備投資経費に関する補助 ・大型投資事業者２社　　343,707千円
令和 8年度（計画）	・市内製造業等企業が実施する大型設備投資に係る投資経費の一部補助
令和 9年度（計画）	・市内製造業等企業が実施する大型設備投資に係る投資経費の一部補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	新規立地企業数				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	
				実績値	0	3	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	371,600	300,000	349,400	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	28,400	43,707	50,600	100,000
事業費の小計		0	400,000	343,707	400,000	100,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・雇用創出による人口減少、若者定着等対策
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・雇用創出による経済効果などは市全体に波及するものである
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	・大型投資、雇用創出を図る不特定多数の法人対象
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	・R7年度実績2件（目標1件）
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・一定額投資企業への税軽減制度はあり
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・制度の目的鑑みるに必要不可欠
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	・設備投資及び当市への進出インセンティブ高めるための助成制度
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・企業投資額の拡大＆雇用状況の変化に合わせ、一部条件は改善の余地
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・経済波及効果等を鑑みて概ね妥当と判断
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　8×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・当市の誘致競争力を高める⇒大型投資企業への進出インセンティブを高めるための制度改正実施済（R6～）

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	070102	20	商工労働課 ＢＩＧプロジェクト支援事業	400,000	343,707	300,000	43,707	400,000	100,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 地域ビジネス発掘調査事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－969800　　商工費・商工費・商工業振興費 地域ビジネス発掘調査事業・地域ビジネス発		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	―	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・市内事業所または起業創業を検討している市民等
・新技術・新製品の開発に取り組む市内事業者、またはプランを有する市民等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域課題の解決や雇用創出に結びつく新たな仕組み、ビジネス、製品、技術等の開発や調査研究、情報提供を通じ、事業所等の競争力向上や起業者等の増加を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業】R2年度で廃止
【地域ビジネス調査発掘事業】産学連携の取組み強化、企業支援アドバイザーとの連携を図り、大学等が有する知見の提供により市内事業者の課題解決を支援

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①企業支援アドバイザーと東北大学との連携による企業支援訪問延べ件数　23件 ②産学連携の取り組み強化による市内事業者の課題解決支援　実績なし
令和 7年度（決算）	①企業支援アドバイザーと東北大学との連携による企業支援訪問延べ件数　4件 ②産学連携の取り組み強化による市内事業者の課題解決支援　実績なし
令和 8年度（計画）	令和７年度で終了
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	企業等の課題解決着手数（H30年度～）				
		単位	件	目標値	10	5	5	5	5
				実績値	5	4	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,882	2,165	266	0	0
事業費の小計		3,882	2,165	266	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	・重点的な企業支援活動継続 ・産学連携助成は課題
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・上記につき市全体への影響あり
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	・生産性の向上、商品開発等を図る不特定多数の法人対象
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・企業支援の目標数値は見直し必要
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・企業支援アドバイザーを活用している事業につき類似事業なし
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	・課題を抱える企業支援目的につき、実施継続が望ましい
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	・大学との連携必須。単なる企業支援とは相違
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・企業ニーズ掘り起こし等、改善余地あり
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・受益者負担なし
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　7×3　＋　7×3　　総合評価点　７０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・企業支援アドバイザーの一身上の都合による辞職のため令和７年度で事業終了
・その専門性と経験により、余人をもって代え難い存在となっていた。今後については商工労働課職員に蓄積されたノウハウを共有し企業支援を実施する

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	070102　96 地域ビジネス発掘調査事業	商工労働課	2,165	266	0	266	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 中小企業活性化支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－090100　商工費・商工費・商工業振興費 中小企業活性化支援事業・中小企業設備導入		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内企業及び事業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

製造業を主とした企業等を活性化する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

○中小企業設備導入支援事業　生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定を受けた市内事業者のうち、従業員数（常勤雇用者数）が50人未満の企業が行う先端設備導入に係る経費の一部を補助。（対象経費1/2、上限2,000千円）

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①中小企業者が行う生産性向上や事業拡大目的の設備投資費用への助成 12件　13,236千円
令和 7年度（決算）	①中小企業者が行う生産性向上や事業拡大目的の設備投資費用への助成 12件　14,862千円
令和 8年度（計画）	・中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画の認定を受けた市内事業者のうち、従業員数が50人未満の企業が行う先端設備導入に係る経費の一部を補助（対象経費1/2、上限2,000千円）
令和 9年度（計画）	・中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画の認定を受けた市内事業者のうち、従業員数が50人未満の企業が行う先端設備導入に係る経費の一部を補助（対象経費1/2、上限2,000千円）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	採択件数				
		単位	件	目標値	48	20	20	20	20
				実績値	44	12	12		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	18,603	13,236	14,862	17,000	20,000
事業費の小計		18,603	13,236	14,862	17,000	20,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・企業競争力高めるための施策
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・新たな雇用創出、労働環境の改善等見込まれ市全体への影響あり
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	・生産性向上に取り組む不特定多数の法人対象
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・目標値をやや下回る
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・商工部門独自事業
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・制度の目的鑑みるに必要不可欠
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	・生産性向上意欲高めるための助成制度
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・対象業種等再考の余地あり
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・制度目的等考慮するに概ね妥当
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・時代や企業ニーズに合わせた制度設計の見直しを図りつつ継続する必要あり

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	070102	09	商工労働課	中小企業設備導入支援事業	13,236	14,862	0	14,862	17,000	20,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 機能合体事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－100100　　商工費・商工費・商工業振興費 機能合体事業・ものづくり産業新展開推進事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内ものづくり企業等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ものづくり関連企業等の技術力向上を通じ、大手関連企業との取引開始・拡大を推進する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ものづくり産業新展開推進事業】
- 秋田県と連携し、各種セミナー、商談会等を実施
- ものづくり企業の業界団体等が実施するセミナー・研修の開催等への支援
- 高校生、教員等を対象とした企業見学会の実施

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①ものづくり産業支援事業：自動車関連産業等で要求される高度な品質に対応するため、生産現場を対象とするセミナー、研修等を8回実施（延べ82社、189人参加） ②若者の県内定着促進事業：高校生、教員等の工場見学7回実施（延べ36社、生徒214人、教員21人参加） 中学生向け企業説明会（企業39社、生徒619人参加） ※高校2年生対象企業ガイダンス（企業65社、生徒343人参加） 一般求職者向け企業説明会（企業37社、12人参加）
令和 7年度（決算）	①ものづくり産業支援事業：自動車関連産業等で要求される高度な品質に対応するため、生産現場を対象とするセミナー、研修等を8回実施（延べ72社、147人参加） ②若者の県内定着促進事業：高校生、教員等の工場見学6回実施（延べ28社、生徒184人、教員18人参加） 中学生向け企業説明会（企業39社、生徒603人参加） ※高校2年生対象企業ガイダンス（企業61社、生徒243人参加） 一般求職者向け企業説明会（企業82社、78人参加）
令和 8年度（計画）	・市の基幹産業である輸送機関連産業の魅力に触れる機会を提供するため催事等を開催 ・地域産業を担う人材を確保するため、新卒者（大卒等）及び一般求職者を対象とする企業説明会等を開催 ・生産現場を対象とする研修会及びものづくり関連人材等による講演・セミナーを開催
令和 9年度（計画）	・市の基幹産業である輸送機関連産業の魅力に触れる機会を提供するため催事等を開催 ・地域産業を担う人材を確保するため、新卒者（大卒等）及び一般求職者を対象とする企業説明会等を開催 ・生産現場を対象とする研修会及びものづくり関連人材等による講演・セミナーを開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	企業見学会協力企業数（延）				
		単位	社	目標値	20	20	30	40	40
				実績値	39	36	28		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,165	1,082	1,197	1,200	1,200
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		1,165	1,082	1,197	1,200	1,200

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・雇用創出による人口減少、若者定着等対策
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・上記につき市全体への影響大
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	・求職者、求人企業等、不特定多数の個人、法人対象
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	・一時コロナ禍の影響あったものの、参加企業等回復傾向顕著
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・商工部門以外なし
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・制度の目的等鑑みるに必要不可欠
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	・市内企業の認知度向上⇒求職者求人企業のマッチング制度
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・求職者求人企業需給動向等に合わせ、改善検討の余地
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・制度の目的等鑑みるに妥当
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　7×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
県との機能合体事業により、ものづくり企業の支援と若年者地元定着に向けた取り組みを継続

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102	10	商工労働課 ものづくり産業新展開推進事業	1,082	1,197	1,197	0	1,200	1,200

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 工業団地管理費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070102－150100　　商工費・商工費・商工業振興費 工業団地管理費・工業団地管理費		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	－	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
新規立地企業及び既存立地企業
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
企業立地を促進するとともに既存企業の操業環境を保全する。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【工業団地管理費】 市内工業団地の草刈り作業、調整池の水質検査等を実施

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①横手第二工業団地草刈等管理業務委託　629千円 ②柳田工業団地調整池等の水路管理、草刈等業務　131千円
令和 7年度（決算）	①横手第二工業団地草刈等管理業務委託　651千円 ②柳田工業団地調整池等の水路管理、草刈等業務　130千円 ③横手第二工業団地案内看板修繕　172千円 ④横手工業団地横手川排水施設応急復旧工事　2,450千円
令和 8年度（計画）	①横手第二工業団地草刈等管理業務委託 ②柳田工業団地調整池油分中和処理作業、水路管理・草刈等業務 ③横手工業団地排水樋管改修（測量設計）他
令和 9年度（計画）	①横手第二工業団地草刈等管理業務委託 ②柳田工業団地調整池油分中和処理作業、水路管理・草刈等業務 ③横手工業団地排水樋管改修（改修工事）他

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	新規立地企業数				
		単位	社	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,090	629	801	1,100	1,000
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	70	70	70
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	595	131	2,534	6,810	170
事業費の小計		1,685	760	3,405	7,980	1,240

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・雇用創出による人口減少、若者定着等対策
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・雇用創出による経済効果などは市全体に波及するものである
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	・工業団地立地企業による雇用創出等を図る不特定多数の法人対象
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・立地企業の認定状況等の進捗により修正が必要
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・商工部門の独自事業
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・制度の目的鑑みるに必要不可欠
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	・市内に立地する企業への進出インセンティブ高めるために必要
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・企業の状況や雇用状況の変化に合わせ、管理状況等について改善の余地を残す
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・経済波及効果等を鑑みて概ね妥当
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
企業進出を促進するためにも事業の継続が必要

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	15 商工労働課	760	3,405	871	2,534	1,340	1,240
	工業団地管理費							
2	070102	15 商工労働課	0	0	0	0	6,640	0
	工業団地管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 山内地場産品直売施設費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－070102－060100　商工費・商工費・商工業振興費 山内地場産品直売施設費・山内地場産品直売		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

（主に山内地域の）農業者・山内温泉保養施設を訪れた方・市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

農業者による新鮮な野菜等の直接販売による農業所得の向上と、山内温泉保養施設を訪れた方への販売を通じて横手産品の魅力が市外に伝わっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【山内地場産品直売施設費】
・山内地場産品直売施設休館中の維持管理を実施する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	あいのの温泉直売所「山菜恵ちゃん」の施設維持管理に係る経費 需用費90千円、役務費59千円、委託料271千円　合計420千円
令和 7年度（決算）	あいのの温泉直売所「山菜恵ちゃん」の施設維持管理に係る経費 需用費99千円、役務費59千円、委託料238千円　合計396千円
令和 8年度（計画）	あいのの温泉直売所「山菜恵ちゃん」の施設維持管理に係る経費
令和 9年度（計画）	あいのの温泉直売所「山菜恵ちゃん」の施設維持管理に係る経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	施設再開までの間、毎月施設の維持管理点検を実施（年回数）（R3年度～）				
		単位	回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	407	420	396	631	631
事業費の小計		407	420	396	631	631

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	070102 06 山内地場産品直売施設費	山内地域課	420	396	0	396	631	631

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 機能合体事業

部・担当課	商工観光部・横手の魅力営業課	担当課長氏名	西川　可奈子
予算科目事業	1 一般会計－070102－100200　　商工費・商工費・商工業振興費 機能合体事業・横手産品ＰＲ事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業生産者、加工業者、小売業者
観光客

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市産品のPR・販路開拓による事業者所得の向上、誘客による交流人口の増

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手産品ＰＲ事業】・・・商談会への出展支援、県地域振興局と連携した広域的な観光物産展、
秋田駅物産展の開催、ＧＩいぶりがっこへの支援
【観光資源発掘支援事業】・・・県南地域連携観光ＰＲ事業の実施等
【観光実態調査事業】・・・秋田県観光客数調査（観光地点パラメータ調査）

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市観光振興計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・仙台市での展示商談会への出展を支援 ・県南３地域振興局で連携し、スケールメリットを生かした観光PRと物産展の実施 ・いぶりがっこの知名度向上と販売促進のため、ＧＩいぶりがっこをメインとした物産展を開催 ・秋田県観光客数調査（観光地点パラメータ調査）を実施し県へ報告⇒毎年８月公表
令和 7年度（決算）	・仙台市での展示商談会への出展を支援　277千円（3事業者支援） ・県南３地域振興局で連携し、スケールメリットを生かした観光PRと物産展の実施　250千円（4事業者出展） ・いぶりがっこの知名度向上と販売促進のため、ＧＩいぶりがっこをメインとした物産展を開催　784千円（12事業者出品） ・観光講習会や全国3都市での観光PRイベント、県南地域で連携したスタンプラリーの開催　985千円 ・秋田県観光客数調査（観光地点パラメータ調査）を実施し県へ報告⇒毎年８月公表　132千円
令和 8年度（計画）	仙台圏での展示商談会への出展支援 県南地域連携観光ＰＲ事業の開催、ＧＩいぶりがっこへの支援 秋田県観光客数調査（観光地点パラメータ調査）
令和 9年度（計画）	仙台圏での展示商談会への出展支援 県南地域連携観光ＰＲ事業の開催、ＧＩいぶりがっこへの支援 秋田県観光客数調査（観光地点パラメータ調査）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	商談会への出展事業者数				
		単位	件	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	4	3	3		
	2	区分	成果	指標	広域連携による周遊に伴う県関連施設への入込客数				
		単位	人	目標値	882,000	882,000	882,000	882,000	882,000
				実績値	588,767	873,502	749,691		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	2,446	2,399	2,424	2,467	2,468
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4	4	4	7	5
事業費の小計		2,450	2,403	2,428	2,474	2,473

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	県と市の二重行政の解消や広域的な事業展開のために必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	物産展や商談会等への参加事業者について、新しい事業者の発掘と機会創出に努めている。 物産展、観光、文化交流と連携した事業展開により、市全体に公益をもたらすものといえる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	主に首都圏や仙台圏での物産販売や観光ＰＲのため、サービス対象が特定の事業者に限定されるが、物産振興や観光振興により、経済活動が活性化することで、市全体に好影響があると考えられる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	消費者ニーズにあった事業展開を行ってきたことの成果が表れ始めたと思われる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	観光文化振興事業や支援事業は当部局で実施しており、類似事業はない。より効果的な事業展開をするため他部局との連携に努めていきたい。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	県と市の二重行政の解消や広域的な事業展開のために必要である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	広域的で大規模な物産展や展示会への参加等については、市内中小事業者または個人事業者では実現が困難なものが多く、市としての支援や育成が重要となる。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	消費者ニーズになった事業展開が必要であり、社会情勢の変化に合わせて、事業内容や目標値の修正を行う。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	対象となる事業者は、ほとんどが中小事業者または個人事業者であるため、物産販売において特に初期段階での支援は必要であると考える。横手産品購入者や来訪者の満足度向上のためにもサービス水神の継続が不可欠である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・市単独での開催が難しい物産展等への参加が可能であり、積極的な観光物産ＰＲができる。
・機能合体を活かした広域的な事業展開により、効率的・効果的な事業推進を図る。
・県からの情報を早期に収集し、事業へ反映させることができる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102 10	横手の魅力営業課						
	横手産品ＰＲ事業		1,289	1,311	1,310	1	1,341	1,341
2	070103 03	観光おもてなし課						
	観光資源発掘支援事業		982	985	985	0	988	988
3	070103 03	観光おもてなし課						
	観光実態調査事業		132	132	129	3	145	144

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 横手の魅力営業総務費

部・担当課	商工観光部・横手の魅力営業課	担当課長氏名	西川　可奈子
予算科目事業	1 一般会計－070102－110100　　商工費・商工費・商工業振興費 横手の魅力営業総務費・横手の魅力営業総務		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

職員、会計年度任用職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手の魅力営業課の職員が円滑に業務を遂行できるようにします。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

職員の業務を補完するため、必要最小限の会計年度任用職員を雇用します。
事務費の精査をしながら、業務に必要な費用を支出します。

④ 根拠法令	横手市会計年度任用職員制度、勤務条件等に関する規則	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	会計年度任用職員報酬ほか事務的経費の支出
令和 7年度（決算）	・会計年度任用職員報酬（1人）　2,651千円 ・事務的経費の支出　76千円
令和 8年度（計画）	会計年度任用職員報酬ほか事務的経費の支出
令和 9年度（計画）	会計年度任用職員報酬ほか事務的経費の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	事務の効率化（非常勤職員数が１を上回らない）				
		単位	人	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,925	2,690	2,727	2,823	2,690
事業費の小計		1,925	2,690	2,727	2,823	2,690

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102	11	横手の魅力営業課						
	横手の魅力営業総務費			2,690	2,727	0	2,727	2,823	2,690

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 横手産品販路拡大事業

部・担当課	商工観光部・横手の魅力営業課	担当課長氏名	西川　可奈子
予算科目事業	1 一般会計－070102－130100　　商工費・商工費・商工業振興費 横手産品販路拡大事業・横手産品販路拡大事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

優れた農産品等を作り、販路拡大に意欲のある生産者・生産団体、法人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手産地域産品の認知度向上、生産者・消費者ニーズの把握に努めながら、農産品の販路の拡大と所得向上を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・首都圏及び仙台圏の店舗催事等を活用した横手産品のＰＲ・販促活動の実施
・バイヤーとのマッチング等商談機会創出、外食産業をターゲットにした販路拡大支援、セミナー等の開催による人材育成支援
・通常輸出実現国における横手商品の継続的な輸出が行われるようマネジメントの実施
・新規輸出対象国での商品提案とテストマーケティングの実施
・販路先関係者、現地パートナーとの関係性の強化

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・首都圏・仙台圏の小売店舗における販促・ＰＲ活動の実施 ・首都圏バイヤーや卸業者への商品提案や商談機会創出による横手産品の販路拡大支援 ・外食産業への横手産食材の提案、横手産食材使用メニュー開発と店舗における提供 ・マカオ向け継続取引のための輸出支援 ・香港・マカオ、マレーシア西武での現地プロモーション活動による販促活動の実施 ・販売促進のためのスキルアップセミナーの開催
令和 7年度（決算）	・首都圏での販売促進1,716千円（九州屋1回、サカガミ2回） ・仙台圏での販売促進、催事支援617千円（八百長商店12回）、その他販路拡大事業1,878千円（こととや3回）等 ・商談機会創出による農産品等の販路拡大支援（25回） ・外食企業向け事業913千円（首都圏飲食店での横手フェアへの食材の提供（市内5事業者9品目を使用）） ・海外での販売促進事業2,600千円（香港・マカオ及びマレーシアでのプロモーション活動 等） ・売れる商品作りのための商品開発のプロセスやデザインを学ぶセミナーの開催 216千円（参加者25名）
令和 8年度（計画）	首都圏を含む国内及び海外での横手産品のＰＲ・販促活動の実施と新たな産品発掘および事業者支援の実施 バイヤーとの商談機会創出、外食産業をターゲットにした販路拡大支援ほか 新規輸出対象国での商品提案と販促活動の実施
令和 9年度（計画）	首都圏を含む国内及び海外での横手産品のＰＲ・販促活動の実施と新たな産品発掘および事業者支援の実施 バイヤーとの商談機会創出、外食産業をターゲットにした販路拡大支援ほか 新規輸出対象国での商品提案と販促活動の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	生産者商談スキルの向上（商談機会提供数）				
		単位	回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	23	28	25		
	2	区分	成果	指標	輸出回数（R３年度～）				
		単位	回	目標値	20	20	20	20	30
				実績値	22	23	15		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,504	8,606	7,940	9,995	9,695
事業費の小計		5,504	8,606	7,940	9,995	9,695

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	事業者の所得向上のため、横手市産品の継続取引・販路拡大の推進は大きな課題であり、優先的に進めるべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市内産業の活性化に資する事業であり、市内全体に公益をもたらす事業といえる。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	販路促進活動等は全ての市民がサービス対象とならないが、成果によっては地域経済の活性化・雇用の創出など市全体への普及効果が期待される。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	既存販路先との関係性（パートナー関係）の強化による横手産品の継続的な取引や、商談機会の創出・マッチング支援により、着実に成果が上がっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局において類似事業は存在しておらず、部局間の連携や役割分担を図りながら事業実施に努めている。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	事業の推進により、関係する事業者所得の向上、雇用創出に資するものであることから、市内産業の活性化のためには不可欠な事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体となって取り組むことで、全市的観点での事業推進が可能となる。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	消費者・市場ニーズなど、社会情勢の変化により事業内容の修正を行っている。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	事業内容を精査し、適切な支援と受益者負担を求めている。 事業評価を行いながら、関係事業者や組織の自立を促すようにしている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手産品の販路拡大は、既存販路先との継続取引による関係性の強化と、新規に販路先を開拓することで成果が得られると考える。市が関わることにより、取引相手の信用が得られるというメリットがある。特に海外販路開拓は、事業者のリスクや不安が大きく、事業者単独での対応が困難なケースが多いことから支援を必要とする。今後も横手産品の現状に適した販路拡大支援の更なる推進と取引の継続に努める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	070102 13 横手産品販路拡大事業	横手の魅力営業課	8,606	7,940	0	7,940	9,995	9,695

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0007 観光振興事業

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070103－010100　　商工費・商工費・観光費 観光振興事業・観光活動推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

各地域観光協会等、よこてイースト利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

各地域観光協会の事務並びに事業補助による観光振興が進められている。
観光情報を発信するとともに、横手駅前の賑わいの創出と快適な空間の提供が出来ている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【よこてイースト施設管理費】
・施設等維持管理および市内イベントのチラシ、ポスター等の掲示による情報発信
【観光活動推進費】
・各協議会への負担金、各地域観光協会・イベント等への協力及び補助金交付
【市制施行20周年記念事業】

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市観光振興計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	■よこてイースト施設管理費　※令和６年度決算額 4,765,117円 ・事務所の施設管理経費（駅前施設共益費、光熱水費、複合機リース経費、公用車経費等） ■観光活動推進費　※令和６年度決算額　80,418,354円 ・観光経常に伴う費用 ・各種協議会への負担金及び各地域観光協会・実行委員会等への補助金
令和 7年度（決算）	①観光活動推進事業　79,220,407円 ・観光経常に伴う費用、各地域観光協会及びイベント実行委員会等への補助金、各種協議会への負担金支出 ②市制施行20周年記念事業　24,513,880円 ・横手市市制施行20周年を記念して地域の活性化を図るイベントを実施 ③観音寺鐘楼堂改修事業（建設）　12,074,200円 ・観音寺鐘楼堂の修繕工事を実施　※令和７年度決算額　115,808,487円
令和 8年度（計画）	・観光経常に伴う費用 ・各地域観光協会及び市内イベント実行委員会等への補助金や各種協議会への負担金の支出
令和 9年度（計画）	・観光経常に伴う費用 ・各地域観光協会及び市内イベント実行委員会等への補助金や各種協議会への負担金の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	観光地点等入込客数（延べ人数）※観光地点及び行祭事・イベントにおける客数				
		単位	人	目標値	3,740,000	3,850,000	4,000,000		
				実績値	2,754,366	3,061,467	2,875,451		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	5,750	0	0
	(b) 県支出金	3,000	3,000	7,000	2,000	2,000
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	81,827	77,418	103,058	87,141	80,111
事業費の小計		84,827	80,418	115,808	89,141	82,111

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・市内観光協会や観光推進機構、市内外の関係団体と連携し誘客を進める事業であり、優先すべきものである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・市内外の関係団体と連携した誘客活動により、市全体に人を呼び込み、地域の稼ぐ力を引き出すことに結び付く事業である。 ・市内の活性化と賑わいの創出につながる事業であり、公益性が高いと考えられる。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	・市内の各観光協会等と連携しており、各イベントが全市民を対象とした事業である。 ・市外からの観光誘客を図り、交流人口の増加に資することから、市内全域に効果が及ぶものと考えられる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・目標の達成に向け、観光分野に関わる各組織が取組みを進めており、関係機関と連携しながら施策を展開している。目標値としている観光地入れ込み客数などはコロナ禍前の設定値となっていることから修正が必要。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・他部局において、類似する事業は存在しない。 ・市内への誘客に関するコンテンツに関しては、庁内関係課と連携することが重要と捉えている。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・観光客による地域活性化と賑わいの創出に向けて、必要不可欠な事業である。 ・観光客（入込客数と宿泊客数）の増加は、地域経済の活性化に直結する事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	・観光協会等への補助金交付や協議会への負担金支出による事業連携があることから、事実上、一部アウトソーシングの状態にあると考えられる。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・横手市観光推進機構等との連携を踏まえ、事業内容の精査を進めることにより、市との役割分担等に関して、見直しと改善の余地はあると考えられる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・現状において、事業の実施にあたり関係団体は、相応の負担をしているものと考えている。 ・補助金交付団体が行う事業に関しては、引き続き連携を図りながら、適正な事務手続きを進めることとしている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		８１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市内観光協会等への補助金及び市外関係団体への負担金については、観光に係る施策展開と人口減少化において地域に人を呼び込む力を確保するうえで、今後も一定額の予算確保と連携した活動を維持していく必要がある。引き続き交付額については,その効果を検証しながら全体的な見直しが必要と考えている。横手市観光推進機構に関しては、全市的な合意形成のもと観光地域づくりを進めてもらうために市としても基盤強化と活動推進を後押ししていくこととしている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070103	01 観光おもてなし課	80,418	79,220	7,000	72,220	81,692	82,111
	観光活動推進事業							
2	070103	01 観光おもてなし課	0	0	0	0	7,449	0
	観光活動推進事業（建設）							
3	070103	01 観光おもてなし課	0	24,514	0	24,514	0	0
	市制施行20周年記念事業							
4	070103	01 観光おもてなし課	0	12,074	5,750	6,324	0	0
	観音寺鐘楼堂改修事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 横手駅東西交流施設費

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070104－020100　　商工費・商工費・商工観光施設費 横手駅東西交流施設費・横手駅東西交流施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
東西自由通路及び観光案内所利用者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
観光情報を発信するとともに快適な空間の提供が行われている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【横手駅東西交流施設費】・・施設維持管理

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市観光振興計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市横手駅東西交流施設に係る管理運営費
令和 7年度（決算）	・指定管理委託料　23,694,000円 ・修繕料（西口入口自動ドア装置修繕、東口トイレ前屋根雨漏り修繕等）1,936,000円 ・委託料　（消防設備保守点検、木製涼み台製作等）2,081,860円 ※令和7年度決算額　27,711,860円
令和 8年度（計画）	・横手市横手駅東西交流施設について、指定管理者への委託による施設の管理運営 ・横手市横手駅東西交流施設に係る管理運営費（電気保安管理費、消防設備保守点検費、修繕料）
令和 9年度（計画）	・横手市横手駅東西交流施設について、指定管理者への委託による施設の管理運営 ・横手市横手駅東西交流施設に係る管理運営費（電気保安管理費、消防設備保守点検費、修繕料）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	横手駅東口ラウンジ利用者数				
		単位	人	目標値	55,000	55,000	55,000	56,000	56,000
				実績値	50,169		69,466		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	128	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	989	712	713	719	719
	(f) 一般財源	24,399	23,009	26,999	25,459	24,110
事業費の小計		25,516	23,721	27,712	26,178	24,829

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	02 観光おもてなし課	1,127	1,096	713	383	1,135	1,135
	横手駅東西交流施設費							
2	070104	02 観光おもてなし課	22,594	23,694	0	23,694	23,694	23,694
	横手駅東西交流施設費（債務負担）							
3	070104	02 観光おもてなし課	0	2,922	0	2,922	1,349	0
	横手駅東西交流施設費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 展望台費

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070104－040100　　商工費・商工費・商工観光施設費 展望台費・展望台費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民、観光客
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
横手市のシンボルの一つである展望台において、展示品等が充実している。 ・展望台来館者が増加し、来館者が安全で快適に訪問している。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【展望台費】・・施設維持管理や市民の芸術作品・歴史的資料等の展示および情報発信

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市観光振興計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	観光拠点施設としての誘客、市民の芸術・伝統作品の展示、施設の維持管理 ・解説員、展示資料協議会委員に係る経費　5,014,829円 ・需用費（消耗品、光熱水費等）　1,060,909円 ・設備維持管理委託料　990,444円 ・その他（展示謝礼、電話料金、県博物館協議会会費等）　622,986円 ※令和６年度決算額 7,689,168円　参考：来場者数：20,206人、入場料：1,372,900円
令和 7年度（決算）	観光拠点施設としての誘客、市民の芸術・伝統作品の展示、施設の維持管理 ・解説員、展示資料協議会委員に係る経費　5,050,579円 ・需用費（消耗品、光熱水費等）　994,112円 ・設備維持管理委託料　1,420,980円 ・その他（展示謝礼、電話料金、県博物館協議会会費等）　737,082円 ※令和７年度決算額 8,202,753円　参考：来場者：18,921人、入場料収入：1,295,000円　御城印売上：278,400円
令和 8年度（計画）	・市民の芸術作品、歴史的資料や伝統作品の企画展示 ・県や市内他施設、民間団体と連携し観光情報発信を行う ・御城印販売による新たな来館者（再来館者）層の取り込み
令和 9年度（計画）	・市民の芸術作品、歴史的資料や伝統作品の企画展示 ・県や市内他施設、民間団体と連携し観光情報発信を行う ・御城印販売による新たな来館者（再来館者）層の取り込み

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	展望台来館者数				
		単位	人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
				実績値	14,395	20,206	18,921		
	2	区分	成果	指標	入場料金【令和2年度まで】				
		単位	千円	目標値	－				
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	987	1,373	1,295	1,300	1,232
	(e) その他特定財源	0	0	278	645	645
	(f) 一般財源	5,193	6,316	6,630	7,143	7,348
事業費の小計		6,180	7,689	8,203	9,088	9,225

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	04 観光おもてなし課	7,689	8,203	1,573	6,630	9,088	9,225
	展望台費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 ふれあいセンターかまくら館費

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070104－010100　　商工費・商工費・商工観光施設費 ふれあいセンターかまくら館費・ふれあい		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民の文化向上、福祉の増進及び観光振興を図るため、市民が良好な状態で使用できるよう施設管理を行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ふれあいセンターかまくら館費】
【ふれあいセンターかまくら館費（債務負担）】
・指定管理者制度を適正に運用し、一般社団法人横手市観光協会と連携を図る。
・横手市観光協会及び関係業者と連携を密にし、建物の保守点検や修繕を行い、常に施設を良好な状態に保つ。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	■横手市ふれあいセンターかまくら館に係る管理運営費　7,141千円 ・修繕料　2,098千円　・手数料　587千円　・委託料　4,456千円 ■横手市ふれあいセンターかまくら館指定管理料　46,790千円 （一社）横手市観光協会への指定管理委託料（指定管理期間：H31.4.1～R6.3.31）
令和 7年度（決算）	かまくら館管理運営費　8,445,085円 ・需用費　3,096,981円（複合機ほか　2,097,301円、修繕料　999,680円） ・役務費（点検手数料ほか　601,714円）　・管理委託料　4,495,590円　・複合機リース　250,800円 かまくら館指定管理料　51,106,000円（（一社）横手市観光協会、指定管理期間：R6.4.1～R10.3.31） かまくら館屋上防水工事実施設計委託料　756,800円、冷温水ポンプインバーター交換　1,089,000円
令和 8年度（計画）	横手市ふれあいセンターかまくら館に係る管理運営費
令和 9年度（計画）	横手市ふれあいセンターかまくら館に係る管理運営費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	ふれあいセンターかまくら館の利用者数（使用料徴収対象部分）				
		単位	件	目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000
				実績値	23,451	24,928	21,891		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	52,560	0
	(f) 一般財源	53,971	53,931	61,397	59,899	59,684
事業費の小計		53,971	53,931	61,397	112,459	59,684

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	01 観光おもてなし課	7,141	8,445	0	8,445	8,793	8,578
	ふれあいセンターかまくら館費							
2	070104	01 観光おもてなし課	46,790	51,106	0	51,106	51,106	51,106
	ふれあいセンターかまくら館費（債務負担）							
3	070104	01 観光おもてなし課	0	1,846	0	1,846	52,560	0
	ふれあいセンターかまくら館費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 真人山荘費

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－070104－060100　　商工費・商工費・商工観光施設費 真人山荘費・真人山荘費（債務負担）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、観光客等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び真人公園を訪れる観光客の保養及び健康の増進が図られるとともに、増田地域の観光情報が発信されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【真人山荘費（債務負担）】・真人山荘の運営と維持管理を実施する。（指定管理者制度）
【真人山荘費】・軒折修繕の実施

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	真人山荘の運営及び維持管理を実施（指定管理者制度） 営業時間　4/1～10/31　9:00～18:00、11/1～3/31　9:00～17:00、予約制により夜間営業～21:00 定休日　　毎週月曜日（月曜日が祝祭日の場合は火曜日）、8/13、12/29～1/4 ・ボイラー故障により入浴サービス休止
令和 7年度（決算）	真人山荘の運営及び維持管理を実施（指定管理者制度） 営業時間　4/1～10/31　9:00～18:00、11/1～3/31　9:00～17:00、予約制により夜間営業～21:00 定休日　　毎週月曜日（月曜日が祝祭日の場合は火曜日）、8/13、12/29～1/4 ・ボイラー故障により入浴サービス休止
令和 8年度（計画）	真人山荘の運営及び維持管理の実施（指定管理者制度）
令和 9年度（計画）	真人山荘の運営及び維持管理の実施（指定管理者制度）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	利用者数（H29.3.31現在）				
		単位	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	
				実績値	3,792	3,179	2,999		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,301	4,389	4,888	3,612	3,731
事業費の小計		4,301	4,389	4,888	3,612	3,731

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	06 増田地域課	4,389	4,888	0	4,888	3,612	3,731
	真人山荘費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 ふれあい交流センター費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－070104－070100　　商工費・商工費・商工観光施設費 ふれあい交流センター費・ふれあい交流セ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び観光客

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

「ポッポあいのの」の愛称で親しまれている施設の適正な維持管理を行い、ＪＲの玄関口として交流人口の拡大を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ふれあい交流センター費（債務負担）】
・施設の管理運営と利用促進活動を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	ふれあい交流センター（ポッポあいのの）施設管理運営に係る経費 指定管理委託料6,582千円、修繕箇所R6年度無し
令和 7年度（決算）	ふれあい交流センター（ポッポあいのの）施設管理運営に係る経費 指定管理委託料7,128千円、修繕料(エアコン修理他)275千円、役務費(建築物調査)245千円
令和 8年度（計画）	ふれあい交流センター（ポッポあいのの）施設管理運営に係る経費 指定管理委託料、修繕
令和 9年度（計画）	ふれあい交流センター（ポッポあいのの）施設管理運営に係る経費 指定管理委託料、修繕

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設利用者数				
		単位	人	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
				実績値	3,915	4,814	4,527		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,660	6,582	7,648	7,476	7,488
事業費の小計		6,660	6,582	7,648	7,476	7,488

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	070104 07	山内地域課	ふれあい交流センター費	0	520	0	520	348	360
2	070104 07	山内地域課	ふれあい交流センター費（債務負担）	6,582	7,128	0	7,128	7,128	7,128

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 道の駅費

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070104－080100　　商工費・商工費・商工観光施設費 道の駅費・道の駅十文字費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

農業者及び観光客

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域のインフォーメーションと直売機能を併せ持つ道の駅の魅力を高め、農家の所得向上と交流人口の拡大を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【道の駅十文字費（含む債務負担）】【道の駅さんない農香庵費（債務負担）】
・施設の維持管理　・利用促進のための誘客活動　・地区内インフォメーション活動

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・「道の駅十文字」及び「道の駅さんない」について、指定管理者への委託による施設の管理運営 ・「道の駅十文字」施設維持経費 ・「道の駅十文字」屋根改修工事費、空きテナント改修工事費 ※令和6年度決算額39,152千円
令和 7年度（決算）	・「道の駅十文字」及び「道の駅さんない」について、指定管理者への委託による施設の管理運営 ・「道の駅十文字」施設維持経費 ※令和7年度決算額18,307千円
令和 8年度（計画）	・「道の駅十文字」及び「道の駅さんない」について、指定管理者への委託による施設の管理運営 ・「道の駅十文字」施設維持経費
令和 9年度（計画）	・「道の駅十文字」及び「道の駅さんない」について、指定管理者への委託による施設の管理運営 ・「道の駅十文字」施設維持経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	744,000	750,000	967,000	970,000	970,000
				実績値	671,317	673,688	683,179		
	2	区分	成果	指標	直売所年間売上額				
		単位	円	目標値	585,000,000	587,000,000	773,000,000	780,000,000	780,000,000
				実績値	651,086,962	791,171,013	977,515,089		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	406	129	1	0
	(f) 一般財源	20,630	38,747	18,178	18,297	15,037
事業費の小計		20,630	39,153	18,307	18,298	15,037

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	08 十文字地域課	1,457	4,512	129	4,383	615	1,996
	道の駅十文字費							
2	070104	08 十文字地域課	6,169	4,290	0	4,290	4,290	4,290
	道の駅十文字費（債務負担）							
3	070104	08 十文字地域課	22,776	0	0	0	3,850	0
	道の駅十文字費（建設）							
4	070104	08 山内地域課	8,751	9,505	0	9,505	9,543	8,751
	道の駅さんない農香庵費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 増田のまちなみ観光施設費

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－070104－050100　　商工費・商工費・商工観光施設費 増田のまちなみ観光施設費・観光拠点施設		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、観光客等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

増田地域における自然景観、歴史的町並み、農産物等の地域資源が市内外に発信されるとともに、増田地域を訪れた方に増田の町並みの魅力が伝わり、横手市全域の交流人口が増加している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【観光拠点施設費】観光物産センター蔵の駅「旧石平金物店」の運営及び維持管理を実施する。
【旧石田理吉家費】旧石田理吉家の運営及び維持管理を実施する。
【生活環境施設費】横手市増田生活環境施設「ほたる」の運営及び維持管理を実施する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市観光振興計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	観光物産センター蔵の駅「旧石平金物店」の運営及び維持管理を実施 旧石田理吉家の運営及び維持管理を実施 横手市増田生活環境施設「ほたる」の運営及び維持管理を実施
令和 7年度（決算）	観光物産センター蔵の駅「旧石平金物店」の運営及び維持管理を実施する。 旧石田理吉家の運営及び維持管理を実施する。 横手市増田生活環境施設「ほたる」の運営及び維持管理を実施する。
令和 8年度（計画）	観光物産センター蔵の駅「旧石平金物店」の運営及び維持管理の実施 旧石田理吉家の運営及び維持管理の実施 横手市増田生活環境施設「ほたる」の運営及び維持管理の実施
令和 9年度（計画）	観光物産センター蔵の駅「旧石平金物店」の運営及び維持管理の実施 旧石田理吉家の運営及び維持管理の実施 横手市増田生活環境施設「ほたる」の運営及び維持管理の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	利用者数（直営3施設のH29.3.31現在延べ人員）				
		単位	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	
				実績値	50,010	43,138	46,146		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	775	793	866	870	777
	(e) その他特定財源	0	0	0	52	52
	(f) 一般財源	23,730	26,381	27,779	29,901	29,994
事業費の小計		24,505	27,174	28,645	30,823	30,823

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070104	05 増田地域課	8,640	8,909	0	8,909	9,753	9,753
	観光拠点施設費							
2	070104	05 増田地域課	7,064	7,788	865	6,923	7,994	7,994
	旧石田理吉家費							
3	070104	05 増田地域課	9,778	10,495	1	10,494	11,442	11,442
	生活環境施設費							
4	070104	05 増田地域課	1,692	1,453	0	1,453	1,634	1,634
	コミュニティーラウンジ管理費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0023 温泉観光施設費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070105－010100　　商工費・商工費・温泉観光施設費 温泉観光施設費・温泉施設民営化関連事業		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び観光客（交流人口）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

交流人口を増加させる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・公共温泉施設再編方針に基づく施策の推進
・民営化温泉施設の支援
・市有温泉施設の適切な管理

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①H30. 4. 1付民間譲渡温泉施設の運営に関する固定資産税相当額を、補助金として拠出　等 ㈱リバーサイドヒル　7,153,100円 ②休館施設維持管理費　16,480,260円
令和 7年度（決算）	①H30. 4. 1付民間譲渡温泉施設の運営に関する固定資産税相当額を、補助金として拠出　等 ㈱リバーサイドヒル　3,654,800円 ②休館施設維持管理費　19,229,074円 ③山村振興等農林漁業特別対策事業補助金一部返還　22,350,120円（さわらび）
令和 8年度（計画）	民間譲渡温泉施設運営費補助　等
令和 9年度（計画）	民間譲渡温泉施設運営費補助　等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	民間譲渡した施設の経営状況の把握（H30年度～）				
		単位	社	目標値	3	廃止	－	－	
				実績値	1	1			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	264	264	264
	(f) 一般財源	23,759	23,633	44,970	5,591	5,936
事業費の小計		23,759	23,633	45,234	5,855	6,200

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	070105 01 商工労働課 温泉施設民営化関連事業	0	18,461	0	18,461	3,655	4,000
2	070105 01 山内地域課 温泉施設管理事務費（山内地域）	0	0	0	0	2,200	2,200
3	070105 01 平鹿地域課 平鹿ときめき交流センター「ゆっぷる」費	0	0	0	0	0	0
4	070105 01 商工労働課 温泉施設管理事務費	23,633	26,773	264	26,509	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 市営温泉施設特別会計繰出金

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070105－020100　　商工費・商工費・温泉観光施設費 市営温泉施設特別会計繰出金・市営温泉施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

観光客（交流人口）及び市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域の賑わいの創出や交流人口拡大、雇用確保、健康福祉の増進

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市営温泉施設特別会計繰出金】…安定的な温泉施設運営を図るため、経費の不足分を一般会計から繰出
【市営温泉施設特別会計繰出金（建設）】…施設の投資的経費に対する繰出
　さくら荘・ゆっぷる・ゆとりおん大雄

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①市営温泉施設特別会計繰出金 ゆっぷる：49,850,200円、さくら荘：62,314,700円、ゆとりおん大雄：64,000,000円 ②施設の建設改良に係る繰出金 ゆっぷる　：3,649,800円、さくら荘　：9,185,300円
令和 7年度（決算）	①市営温泉施設特別会計繰出金 ゆっぷる：57,500,000円、さくら荘：65,738,000円、ゆとりおん大雄：65,500,000円 ②施設の建設改良に係る繰出金 さくら荘：3,762,000円
令和 8年度（計画）	市営温泉施設の経営に係る不足分と建設改良に係る事業費の財源として一般会計からの繰り出しを実施 （さくら荘・ゆっぷる・ゆとりおん大雄）
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	各施設への入込客数				
		単位	人	目標値	153,058	231,000	227,000	223,000	
				実績値	261,211	276,696	291,959		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	138,301	189,000	192,500	206,934	0
事業費の小計		138,301	189,000	192,500	206,934	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070105	02	商工労働課 市営温泉施設特別会計繰出金	176,165	188,738	0	188,738	201,147	0
2	070105	02	商工労働課 市営温泉施設特別会計繰出金（建設）	12,835	3,762	0	3,762	5,787	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0026 観光誘客推進事業

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070103－020100　　商工費・商工費・観光費 観光誘客推進事業・横手の冬ブランド化事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、観光客・事業者・スポーツ関係者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市への更なる誘客を図るＰＲ活動が行われている。
事業実施主体や関係機関との連携による運営と交流人口の拡大を図るベントの実施が進められている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手の冬ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化事業】…かまくらをはじめとした「横手の冬」のブランド化、出前かまくら実施による誘客促進
【インバウンド対応事業】…台湾大同大学等との連携、台湾・タイ等への観光ＰＲ事業及び海外旅行者の受入体制整備
【歴史的風致維持向上計画関連事業】【地域資産活用地域計画推進事業】...各計画に基づいた事業の推進
【関西圏観光客誘致事業】【横手版オンデマンド・エアポートライナー運行事業】【横手城活用事業】

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市観光振興計画 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・各種パンフレット増刷、商談会やキャンペーンによる各種ＰＲを実施。 ・関東・関西圏に向けた横手の冬まつりＰＲ（６個所）の実施。 ・台湾大同大学との交流事業、繋体字ガイドブック作成、多言語ホームページによる情報発信等を実施。 ・地域通訳案内士の育成（中国語）。 ・公衆無線LANの運用、観光デジタルサイネージの運用。 ・大阪関西万博開催に向けた事業実施。　令和６年度決算額　58,617千円
令和 7年度（決算）	・各種パンフレット増刷、商談会やキャンペーンによる各種ＰＲを実施 ・関東・関西圏に向けた横手の冬まつりＰＲ（５個所）の実施 ・台湾大同大学との交流事業・１０周年記念事業、繋体字ガイドブック作成、多言語ホームページによる情報発信等を実施 ・公衆無線LANの運用、観光デジタルサイネージの運用 ・大阪関西万博への出展（かまくら展示）　令和７年度決算額　62,627千円
令和 8年度（計画）	・よこての雪まつり開催、関東・関西圏に向けた横手の冬まつりＰＲ（５個所程度）の実施 ・台湾大同大学との交流事業、繋体字ガイドブック作成、多言語ホームページによる情報発信等を実施 ・万博に共同出展した姫路市において、合同アフター万博イベント（雪まつり等）の開催
令和 9年度（計画）	・よこての雪まつり開催、関東・関西圏に向けた横手の冬まつりＰＲ（５個所程度）の実施 ・台湾大同大学との交流事業、繋体字ガイドブック作成、多言語ホームページによる情報発信等を実施 ・関西圏の誘客力のある観光地で、誘客ＰＲイベント（雪まつり等）の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間宿泊者数				
		単位	万人	目標値	25.6	26.1	26.5	26.7	26.8
				実績値	23	23.3	24.2		
	2	区分	成果	指標	冬期間（１２月～３月）の入込客数【令和２年度まで】				
		単位	万人	目標値	－				
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	5,412	716	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	255	503	1,355	0	0
	(f) 一般財源	38,954	54,952	61,272	52,118	52,845
事業費の小計		44,621	56,171	62,627	52,118	52,845

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・事業実施により、来訪者数・宿泊者数を増加させることで、観光消費額を拡大させ、外貨を獲得し、市内経済の活性化につながる。「稼ぐ観光」を強力に展開するため、継続的かつ優先的に取り組む必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・観光客の増加は、地域経済の活性化と賑わいの創出につながることから、市内全域に公益をもたらす事業と考えている。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	・横手の観光及び物産素材を最大限に活用し、ＰＲする事業であり、その恩恵については、観光客及び観光関連事業者だけでなく、直接的、間接的に全ての市民が対象となっている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・市内宿泊者数においては、コロカ禍以降、外国人観光客も含めて順調に増加傾向にあるが、コロナウイルスの影響で停滞期間が長かったことから、目標値の根本的な修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・全市的な観光ＰＲや観光誘客の取り組みに関しては、関係課との連携・役割分担は不可欠であるが、当課が展開する個別事業については、他部局において類似するものはない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・市内の魅力ある観光、物産素材等を対外的にＰＲすることで、観光客が増え、地域経済の活性化に寄与することから、不可欠な事業と位置付けられる。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	・市が行政として、主体的に取り組む必要はあるものの、民間事業者との連携、役割分担を行いながら、事業を展開する必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・観光分野の取り組みに関しては、業界的に変化が激しいことから、関係団体と振り返りを行いながら、随時見直しと改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・市内への観光客増加と地域経済の活性化に向けては、適正な受益者負担になっているものと考えられる。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　7×3　　総合評価点　８１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・地域経済活性化の重要な手段として、関係機関との役割分担を行い、予算を見直しながらも、官民連携により活動を維持、拡大させていく必要がある。
・観光閑散期である冬期の誘客を強化するため、関西圏を中心とした国内誘客、インバウンド事業を進める必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	070103	02	観光おもてなし課	横手の冬ブランド化事業	12,816	11,932	255	11,677	11,013	11,774
2	070103	02	観光おもてなし課	インバウンド対応事業	7,604	11,241	1,100	10,141	9,000	9,000
3	070103	02	観光おもてなし課	歴史的風致維持向上計画関連事業	1,861	3,314	0	3,314	3,366	3,332
4	070103	02	観光おもてなし課	関西圏観光客誘致事業	24,722	19,577	0	19,577	7,020	7,020
5	070103	02	観光おもてなし課	よこてＷＡＲＰ運行実証事業	9,168	16,563	0	16,563	21,719	21,719

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 応援人口拡大事業

部・担当課	商工観光部・横手の魅力営業課	担当課長氏名	西川　可奈子
予算科目事業	1 一般会計－070102－140100　　商工費・商工費・商工業振興費 応援人口拡大事業・応援人口拡大事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全国の横手市出身者、横手市にゆかりのある方などへ、ふるさとの情報を提供する仕組みを作る。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市外に住んでいる方に横手市の情報を提供し、横手市出身者、関係者の「買ってみたい」「行ってみたい」「誰かに教えたい」という気持ちに訴える内容とすることで、交流人口の増加、物産振興へ結びつけながら応援人口拡大を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

ふるさと横手を常に身近に感じてもらうための、地元情報紙「よこてｆｕｎ通信」を年４回発行し、横手の魅力情報を発信する。新規の定期読者を増やし、応援人口の拡大につなげるため、首都圏ふるさと会へのアプローチや、首都圏で開催されるイベントでのPR、市ＳＮＳ等で周知を図る。また、新たに横手応援拠点の登録を進め、「人と人」「人と店」「人と横手」の関係深化を図る。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市観光振興計画 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市の情報や首都圏で開催のイベント情報、ふるさと会情報を掲載し、横手市を身近に感じてもらえる交流情報紙よこてｆｕｎ通信を年4回（6・9・12・3月）発行。定期読者数はR6.2末11,538人からR7.1末12,310人に増加した ・市外への転出者や市内高校3年生へのチラシ配布、ＳＮＳ発信等、新規読者獲得に向けた取組みを行った ・横手応援拠点と連動したPR（リトルよこてin東京など）の実施。サンプル送付事業の実施（取引1件成立） ・横手応援拠点の登録推進（R6.3末18事業者からR7.3末21事業者へ増加）及び候補店舗情報収集を実施した ・応援拠点と連携し、「よこてｆｕｎパーティーin横手応援拠点」を実施（1回）
令和 7年度（決算）	・市の様々な情報や県外でのイベント情報などを掲載するよこてfun通信を年4回（6・9・12・3月）発行。15,538千円（定期読者数　R8.1末13,038人。内電子書籍読者528人。記事広告8事業者） ・横手応援拠点と連動したPR及び、サンプル送付事業の実施　272千円（登録数19店舗） ・横手応援団事業の実施　300千円
令和 8年度（計画）	・交流情報誌「よこてfun通信」の発行（年4回）、首都圏イベント等周知のための号外発行（不定期） ・紙面や電子書籍を活用し、市の事業に参画してもらうなど、横手ファンとの関係性を深める取り組みの強化 ・横手応援拠点と連携した横手ファン向けイベントの開催
令和 9年度（計画）	・交流情報誌「よこてfun通信」の発行（年4回）、首都圏イベント等周知のための号外発行（不定期） ・紙面や電子書籍を活用し、市の事業に参画してもらうなど、横手ファンとの関係性を深める取り組みの強化 ・横手応援拠点と連携した横手ファン向けイベントの開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	情報紙講読者				
		単位	人	目標値	12,000	12,500	13,000	13,500	14,000
				実績値	11,538	12,310	13,038		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	360	240	400	400
	(f) 一般財源	15,166	15,745	15,870	14,820	14,820
事業費の小計		15,166	16,105	16,110	15,220	15,220

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	応援人口（市外在住の横手市出身者、縁故者やふるさと納税者など）への情報発信や交流の手段を提供する事業として重要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	応援人口の増加は、観光振興、物産振興に直結し、市全体の活性化に貢献している。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	当事業の対象は市外在住の応援人口となっているが、ふるさと情報の提供等を通じて、その力を地域活性化に活用する狙いがあり、対象は妥当である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	年間約７００名の横手ファンを獲得しており、目標達成もできた。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局に類似事業は存在しない。事業実施にあたっては、関連部局や民間事業者と連携を図っている。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	人口減少が進む横手市において、応援人口との関連性を深め、地域の維持・活性化に結び付けるため、今後とも継続していくべき事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	応援人口をターゲットとした交流情報紙の発行、交流拠点の整備等は県内でも類似事例はほとんどなく、市内においてもノウハウを持つ事業者は存在しないため、市が取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	応援人口のニーズや社会情勢の変化に対応し、当初の目的を達成するための手段として、引き続き事業の検証・改善を行っていき、さらに進化をしていく必要がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	交流人口が応援人口（横手ファン）になってもらうためにも必要な取り組みであり、よこてfun通信の紙面内容の充実、交流拠点である横手応援拠店の活用等、サービスの維持・向上を図りたい。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　7×3
総合評価点		８３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・市の人口が減少していく中で、応援人口を獲得し、応援人口による来訪や横手産品の購入をしていただくことで、サービスの維持・向上を図るものであり、よこてfun通信を発行を維持しつつ、読者増加＝応援人口の増加を目指す。
・横手応援拠店の取り組みを進め、横手の魅力発信の拠点として、新規応援人口の獲得と関係深化、応援人口同士の交流を図る。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102	14	横手の魅力営業課						
	応援人口拡大事業			16,105	16,110	240	15,870	15,220	15,220

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 よこて観光地域づくり推進事業

部・担当課	商工観光部・観光おもてなし課	担当課長氏名	鈴木　崇仁
予算科目事業	1 一般会計－070103－040100　　商工費・商工費・観光費 よこて観光地域づくり推進事業・よこて観光地域づ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・市民を含む観光地域づくりを進める団体及び事業者
・市外及び海外からの観光客

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・多様な関係者とともに、戦略的な観光地域づくりが推進されている。
・横手市に、国内外から多くの観光客が訪れている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・令和３年３月に国の観光地域づくり法人登録となった「一般社団法人　横手市観光推進機構」とともに、多様な関係者と連携を図り、地域一体となった観光地域づくりを推進する。
・地域の稼ぐ力を引き出す施策を実行し、来訪者にとっては「訪れて良し」、住民にとっては「住んで良し」の環境づくりを推進し、観光産業の活性化を図っていく。

④根拠法令		⑤関連計画	横手市観光振興計画
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	（一社）横手市観光推進機構への事業費補助　1,240千円 ①横手エキスパート推進事業 ②横手駅前賑わい創出事業
令和 7年度（決算）	（一社）横手市観光推進機構への事業費補助　1,440千円 ①体験型コンテンツ造成事業 ②横手駅前賑わい創出事業
令和 8年度（計画）	（一社）横手市観光推進機構への事業費補助 ①横手エキスパート推進事業 ②横手駅前賑わい創出事業
令和 9年度（計画）	（一社）横手市観光推進機構への事業費補助 ①横手エキスパート推進事業 ②横手駅前賑わい創出事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間宿泊者数				
		単位	万人	目標値	25.6	26.1	26.5	26.7	26.8
				実績値	23	23.3	24.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,240	1,240	1,440	1,440	1,440
事業費の小計		1,240	1,240	1,440	1,440	1,440

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	・横手市観光推進機構と連携し、「観光地域づくり」を進める事業であり、市として優先して実施する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	・横手エキスパート、横手駅東口まつりによる市内の観光や食の魅力発信など、最終的には市内の活性化や賑わい創出など、市全体の公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	・各イベントについては、全市民を対象とした事業であり、市外からも誘客を図り、交流人口の増加に資することから、市内全域に効果が及ぶものと考えられる。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・市内宿泊者数においては、コロカ禍以降、外国人観光客も含めて順調に増加傾向にあるが、コロナウイルスの影響で停滞期間が長かったことから、目標値の根本的な修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	・横手駅前の賑わい創出事業については、地域の活性化や賑わいの創出が高く期待できることから、不可欠な事業と位置付けられる。
③事業の効率性	6	事業実施主体の適正性	1点：民間等が同種サービスを十分に提供しており、事業の全部のアウトソーシングが可能である。
		1	・横手市観光推進機構への補助金交付により推進する事業であり、事実上のアウトソーシングによる事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	・毎年の事業評価により、事業内容の精査が必要であり、そのための協議を行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・事業実施にあたり、横手市観光推進機構では相応の負担をするとともに、直接事業に参加する個人、団体についても負担を求めている。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　6×3　　総合評価点　７８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・横手駅は当市の玄関口であり、東口は再開発による新たな賑わい創出が必須であることから、引き続き事業推進のためにも、予算の継続が必要である。
・横手エキスパートについては、体験商品としての造成が進んでおり、終期の設定を検討している。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070103	04 観光おもてなし課						
	よこて観光地域づくり推進事業		1,240	1,440	0	1,440	1,440	1,440

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0031 横手の物産活性化事業

部・担当課	商工観光部・横手の魅力営業課	担当課長氏名	西川　可奈子
予算科目事業	1 一般会計－070102－120100　　商工費・商工費・商工業振興費 横手の物産活性化事業・横手の物産活性化事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内生産・販売業者（個人・団体）及び市民、観光客、消費者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ひとつでも多くの横手産品が世に出て販売され、所得・知名度の向上につながるようになること。
横手産品を横手への入り口と位置付け、手にとった市内外の消費者等が横手ファンとなること。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

市内外で開催する各種イベントへの出展や催事・物産展、ネット販売等を通じて、横手市特産品をそのストーリーとともにＰＲ（販売促進）する。企業訪問、市場調査、テストマーケティング等の実施。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市観光振興計画 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	Ｒ 7年度　～　Ｒ 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市特産品のPRとして、昨年度に引き続き東京の武蔵小山商店街を会場にしたほか、仙台駅東西自由通路を会場にリトルよこてを開催した。（売上：東京2,524,660円、仙台2,000,488円） ・横手市物産団体連絡協議会をはじめとした市内事業者へ各種物産展の紹介。 ・友好都市である那珂市、厚木市をはじめ、県内外で行われる物販を伴うイベントに市内事業者と共に参加し、物産活性化に努めた。（売上：22,439,508円）
令和 7年度（決算）	・交流物産展「リトルよこて」の開催 2,378千円（東京都9/30～10/5、仙台圏11/7～9） ・友好都市（厚木市、那珂市）や県内外イベントへの出展　1,349千円（15回※リトルよこてを除く） ・横手市物産団体連絡協議会との連携事業　102千円（会員数　79事業所） ・工芸品産業の活性化に向けた取組　71千円（秋田公立美術大学との連携事業の実施、命名紙の増刷）
令和 8年度（計画）	・市内事業者産品等の振興・活性化を図るための物産展等の機会創出及び販路拡大に向けたマッチングの実施 ・応援人口・ふるさと会・友好都市を活用した物産振興事業の展開
令和 9年度（計画）	・市内事業者産品等の振興・活性化を図るための物産展等の機会創出及び販路拡大に向けたマッチングの実施 ・応援人口・ふるさと会・友好都市を活用した物産振興事業の展開

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	物産振興ＰＲのための物産展出展支援				
		単位	回	目標値	10	10	13	14	15
				実績値	17	26	17		
	2	区分	活動	指標	横手市物産団体連絡協議会加盟事業者数の増加				
		単位	団体	目標値	75	75	77	77	77
				実績値	77	80	77		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	300	300
	(f) 一般財源	3,862	4,156	3,900	6,233	6,233
事業費の小計		3,862	4,156	3,900	6,533	6,533

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市の魅力PR・物産振興のために必要不可欠な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	物産展や各種イベントを活用した横手産品のPR販売事業は、市内事業者の物産振興や市の知名度向上、横手ファンの獲得、地域経済の活性化に資する。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	物産展等への出店にあたっては公募を基本としているが、物産展の趣旨や内容いよっては、条件に合致する事業者への機会提供となる場合もある。
②事業の有効性	9	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	市内事業者へ様々な販売機会を提供するとともに、横手産品の魅力PRも推進することができた。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	観光物産事業・友好都市事業は、棲み分けが困難な部分が多いが、関係各課と情報共有・連携・事業検証をすることで、より効果的な事業展開ができる。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	物産展や各種イベントを活用した横手産品のPR事業は、物産振興、市の知名度向上、横手ファンの創出を図る上で必要不可欠である。また、地域経済の活性化に直接的に資する取り組みである。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	観光物産事業・友好都市交流事業等は、市が主体となり進めていくべき事業である。横手市の特色を出しつつ、市内事業者の商品等を通じて、効果的に横手の魅力PRを行っていく取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業実施にあたっては、毎年成果や課題等について検証を行い、改善に努めている。様々な経済状況や消費者ニーズの変化に対応する必要がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	物産展等の目的や効果を見極めたうえで、一定の基準のもとに事業者支援を行う場合がある。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　7×3　　総合評価点　７６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・物産展の主なターゲットを首都圏・仙台圏だけではなく、他につながりがある都市へもリトルよこて等を中心に物産展の展開を図り、横手市の知名度向上と横手ファンの獲得を図る。
・物価高騰のおり、市内事業者がおかれている環境は厳しい状態にあり、横手産品のPRのためにも更なる物産振興やPR活動が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	070102	12 横手の魅力営業課	4,156	3,900	0	3,900	5,309	5,309
	横手の物産活性化事業							
2	070102	12 横手の魅力営業課	0	0	0	0	1,224	1,224
	関西物産展推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0037 民間温泉施設支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－070103－060100　商工費・商工費・観光費 民間温泉施設支援事業・民間温泉施設改修支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	－	地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内民間温泉施設経営法人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内民間温泉施設の温泉入浴サービス機能の維持・向上を図ることにより、地域の活性化を促進する

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

源泉関連設備・温泉入浴サービスを提供するために必要な設備の改修更新に要するコストの一部を支援
【補助上限】　2,000,000円/施設
【補助率】　対象経費の50%

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	第３次横手市観光振興計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①補助実績 ・利用件数＝3施設　補助金総額＝3,412千円　1施設当たり平均補助金額＝853千円 ②投資内容 ・浴室、脱衣所、給排水循環ポンプ、熱交換器、ボイラー、排水溝等の改修
令和 7年度（決算）	①補助実績 ・利用件数＝3施設　補助金総額＝3,500千円　1施設当たり平均補助金額＝1,166千円 ②投資内容 ・ろ過装置、水風呂、配管、給湯配管、サウナセンサー・ドア、脱衣室、源泉用電動弁等の改修
令和 8年度（計画）	源泉関連設備、温泉入浴サービスを提供するために必要な設備の改修更新に要するコストの一部を支援 ・補助上限　2,000,000円/施設 ・補助率　対象経費の50%
令和 9年度（計画）	源泉関連設備、温泉入浴サービスを提供するために必要な設備の改修更新に要するコストの一部を支援 ・補助上限　2,000,000円/施設 ・補助率　対象経費の50%

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市内温泉施設利用者数				
		単位	人	目標値	326,000	299,000	275,000	253,000	253,000
				実績値	393,122	397,539	418,381		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,854	3,412	3,500	7,000	7,000
事業費の小計		2,854	3,412	3,500	7,000	7,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	4	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	・温泉施設維持管理支援⇒利用者の利便性向上策
		目的の妥当性	1点：個人又は団体等、特定範囲に公益をもたらす事業である。
		1	・温泉施設経営法人等対象。一定の経済波及効果あり
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	・温泉施設経営法人等対象
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	・状況に合わせ、適宜目標値の見直し必要
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	・商工部門以外になし
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	・観光施策、設備更新に必要性等考慮するに実施が望ましい
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	・民間法人が行う設備更新等への助成制度
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	・実施4年目。需給動向等確認⇒必要性により改善
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	・受益者負担割合は概ね妥当
項目点合計		１８	総合評価点の算出方法　：　4×4　＋　7×3　＋　7×3　　総合評価点　５８

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

民間温泉施設の源泉関連設備・温泉入浴サービスに必要な設備の改修更新支援につき継続

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070103	06	商工労働課						
	民間温泉施設改修支援事業			3,412	3,500	0	3,500	7,000	7,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0001 労働・雇用対策事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－050101－010100　　労働費・労働諸費・労働諸費 労働・雇用対策事業・労働・雇用対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	－	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内企業及び求職者、市内に居住しかつ勤務する者で卓越した技能を有する者及び各種団体

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内企業の人材確保と雇用の促進及び若年者の地元定着が図られている。
各種団体の円滑な事業運営により、雇用・労働環境の整備が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【労働・雇用対策総務費】・・○就職面接会（企業説明会）の開催及び係る経費の支出　○内職相談　○技能功労者及び優良技能者表彰　○横手市シルバー人材センター、横手地方能力開発協会、横手市勤労者互助会、横手雇用開発協会への事業運営に係る補助金交付　【労働対策費】・・市内勤労者への「自治体提携融資」等の資金源として東北労働金庫へ資金の預託

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①就職面接会の開催（第1回：R6.8.18 17人・36社参加　第2回：R7.1.19 41人・30社参加） ②技能功労者及び優良技能者表彰（技能功労者7名表彰 199千円） ③内職相談（延べ相談件数492件）　④東北労働金庫預託金（71,000千円） ⑤横手市シルバー人材センター、横手地方職業能力開発協会、横手市勤労者互助会、横手雇用開発協会への事業運営に係る補助金交付
令和 7年度（決算）	①就職面接会の開催（第1回：R7.8.8 44人・44社参加　第2回：R8.1.20 34人・38社参加） ②技能功労者及び優良技能者表彰（技能功労者3名・優良技能者1名表彰 140千円） ③内職相談（延べ相談件数166件）　④東北労働金庫預託金（71,000千円） ⑤横手市シルバー人材センター、横手地方職業能力開発協会、横手市勤労者互助会、横手雇用開発協会への事業運営に係る補助金交付
令和 8年度（計画）	①就職面接会の開催　②技能功労者及び優良技能者表彰　③内職相談　④東北労働金庫預託金 ⑤横手市シルバー人材センター・横手地方能力開発協会・横手市勤労者互助会・横手雇用開発協会への事業運営に係る補助金交付
令和 9年度（計画）	①就職面接会の開催　②技能功労者及び優良技能者表彰　③内職相談　④東北労働金庫預託金 ⑤横手市シルバー人材センター・横手地方能力開発協会・横手市勤労者互助会・横手雇用開発協会への事業運営に係る補助金交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	就職面接会参加求職者数（1回）				
		単位	人	目標値	50	40	40	40	40
				実績値	41	41	44		
	2	区分	成果	指標	就職面接会参加企業数（1回）				
		単位	社	目標値	30	40	40	40	40
				実績値	46	36	36		
	3	区分	成果	指標	技能功労者及び優良技能功労者数				
		単位	人	目標値	5	3	3	3	3
				実績値	1	7	4		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	71,000	71,000	71,011	71,007	71,001
	(f) 一般財源	20,906	21,275	20,678	21,429	21,460
事業費の小計		91,906	92,275	91,689	92,436	92,461

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	企業の人材確保、雇用促進、労働環境の整備等、優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	一定要件に基づく市民が対象。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向け事業推進している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	雇用対策として必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	団体の運営費については、見直しの検討が必要と考える。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	サービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

就職面接会や企業説明会の参加者増加に向けた周知について、新たに構築する就職情報ポータルサイトを活用しながら強化していくとともに、関係機関との緊密な連携と図りながら、より効率的・効果的な実施方法を検討し改善を図っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	050101	01 商工労働課	21,275	20,689	11	20,678	21,436	21,461
	労働・雇用対策事業							
2	050101	01 商工労働課	71,000	71,000	71,000	0	71,000	71,000
	労働対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 総合技能センター費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－050101－020100　労働費・労働諸費・労働諸費 総合技能センター費・総合技能センター費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	―	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

職業訓練（技能訓練）を必要とする市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

適切な施設管理及び事業運営により、利用者に対するサービスが向上し、労働者地位向上及び職業の安定が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【総合技能センター費】・・施設管理に係る修繕料等の支出
【総合技能センター費（債務負担）】・・指定管理料の支出

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①施設管理に係る修繕等の実施（建築物定期調査40千円・側溝清掃業務委託223千円） ②指定管理の実施（1,191千円）
令和 7年度（決算）	①施設管理に係る修繕等の実施（小破修繕33千円・建築物定期調査40千円・側溝清掃業務等委託351千円） ②指定管理の実施（1,191千円）
令和 8年度（計画）	①施設管理に係る修繕等の実施 ②指定管理の実施
令和 9年度（計画）	①施設管理に係る修繕等の実施 ②指定管理の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	職業訓練受講者数				
		単位	人	目標値	1,000	900	850	800	750
				実績値	768	762	888		
	2	区分	成果	指標	国家技能検定の受験者数				
		単位	人	目標値	380	200	180	160	140
				実績値	0	55	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,630	1,454	1,615	1,698	1,652
事業費の小計		1,630	1,454	1,615	1,698	1,652

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	050101	02 商工労働課	263	424	0	424	506	460
	総合技能センター費							
2	050101	02 商工労働課	1,191	1,191	0	1,191	1,192	1,192
	総合技能センター費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 若年者等人財育成・地元定着支援事業

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－050101－030100　労働費・労働諸費・労働諸費 若年者等人財育成・地元定着支援事業・就職情		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	－	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・市内で操業する企業、事業所等、又は市内に住所を有する１８歳以上４０歳以下の求職者等
・ＵＩＪターンを希望している首都圏等に在住する若者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・就業に関する情報等の提供を通じ、市内への定住を促進
・企業における採用活動を支援し、若年者の定住を促進

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業】市内の企業・求人情報等を発信するポータルサイトを運営
【採用活動応援事業】企業の採用活動の経費・学生が就職のためのインターンシップや面接試験等で要した交通費、宿泊費のうち企業が負担する経費への補助等

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①ジョブナビサイトの運営（サイト公開事業者数：2,168件、閲覧ユーザー数：延べ69,533人） ②横手市内企業でインターンシップを実施した学生への補助金（17件730千円） ③東北圏（山形・新潟）の大学等へインターンシップ開拓訪問4校
令和 7年度（決算）	①ジョブナビサイトの運営（サイト公開事業者数：2,171件、閲覧ユーザー数：延べ70,162人） ②市内事業者の採用活動に対する支援（10件941千円） 【内訳】インターンシップ・採用活動1件84千円　合同企業説明会参加1件100千円　求人情報発信8件757千円 ③東北圏の大学等へインターンシップ開拓訪問5校
令和 8年度（計画）	①就職情報総合ポータルサイトのリニューアル　②企業の採用活動の費用の補助　③ジョブナビサイトの運営
令和 9年度（計画）	①就職情報総合ポータルサイトの運営　②企業の採用活動の費用の補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	登録事業者数				
		単位	件	目標値	3,100	3,100	2,500	2,600	2,700
				実績値	2,144	2,168	2,171		
	2	区分	成果	指標	補助金を活用した市内企業に就職した学生等の人数				
		単位	人	目標値	－	－	3	4	5
				実績値			4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,550	3,550	4,491	18,801	5,881
事業費の小計		3,550	3,550	4,491	18,801	5,881

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	若年者地元定着に向け、優先的に実施すべき事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	一転要件に基づく対象者への補助。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向け事業推進している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業なし。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	若年者の定住を促進するために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	横手ジョブナビに関しては、サーバーリプレイスや内容そのものについても見直しが必要となっており、令和8年度にサイトの再構築を実施する予定となっている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	サービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和8年度には就職情報総合ポータルサイトの再構築を予定しており、サイトの活用を通じて市内就職、地元定着につながる事業を拡充していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	050101	03 商工労働課	3,550	3,550	0	3,550	3,550	0
	就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業							
2	050101	03 商工労働課	0	941	0	941	15,251	5,881
	若年者等人財育成・地元定着支援事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 勤労者等福祉施設費

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－050102－010100　労働費・労働諸費・勤労者等福祉施設費 勤労者等福祉施設費・サンサン横手		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	―	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内勤労者及び全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

勤労者等の趣味、教養、文化、研修、スポーツ等様々な講座及び講習会活動の推進を通じて、市民の福祉の充実及び健康維持が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【サンサン横手費】・・施設管理に係る修繕料等の支出　【サンサン横手費（債務負担）】・・指定管理料の支出　【女性センター費】・・施設管理に係る経費の支出。勤労女性等の福祉増進及び地位向上に寄与するための主催講座等の開催　【雄物川共同福祉施設費】・・施設管理に係る経費の支出

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①サンサン横手施設管理に係る修繕等の実施 （ごみ集積書建替え工事144千円、低濃度PCB検査77千円、定期設備点検91千円）、指定管理料（10,800千円）
令和 7年度（決算）	①サンサン横手施設管理に係る修繕等の実施 （通路誘導灯取替修繕66千円、高天井ランプ交換150千円、定期設備点検91千円、駐車場区画線修繕112千円、エアコン吸気フィルター清掃38千円）、指定管理料（13,321千円）
令和 8年度（計画）	①サンサン横手施設管理に係る修繕等の実施、指定管理
令和 9年度（計画）	①サンサン横手施設管理に係る修繕等の実施、指定管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	サンサン横手の年間利用者数				
		単位	人	目標値	30,000	25,000	20,000	18,000	16,000
				実績値	16,695	19,937	20,876		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	11,222	11,112	13,778	13,849	13,732
事業費の小計		11,222	11,112	13,778	13,849	13,732

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 財源内訳 特定財源	令和 7年度(決算) 財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	050102 01 サンサン横手費	商工労働課	312	457	0	457	429	312
2	050102 01 サンサン横手費（債務負担）	商工労働課	10,800	13,321	0	13,321	13,420	13,420

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 産業誘致対策事業

部・担当課	商工観光部・企業誘致課	担当課長氏名	木村　和義
予算科目事業	1 一般会計－070102－170100　　商工費・商工費・商工業振興費 産業誘致対策事業・産業誘致対策事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	－	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

進出企業及び既存企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

企業立地を図ることで、地域経済の活性化と雇用の場が確保され、人口減少の歯止めとなっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

■横手ものづくりネットワーク会議開催事業…市内誘致済み企業の本社・親会社及びその取引先企業と首都圏で懇談会を開催することで、参加企業の情報交換やビジネスマッチングを促進させる。　■展示会連携ＰＲ事業…企業が出展する展示会等で、市の工業団地や優遇制度等を一緒にＰＲすることで、企業及び市のイメージアップに繋げる。　■横手市産業振興アドバイザー事業…横手市出身で、産業界で活躍する方の豊富な知見を活かした助言を通じ、市の産業振興を図り、ひいては雇用の受け皿の拡大に繋げる。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手ものづくりネットワーク会議事業　11/1、アルカディア市ヶ谷(東京都)にて横手市関連企業50社参加のもと、市長による横手の紹介や市関連企業、秋田県によるプレゼン等を実施。第2部では交流会を行い、情報交換を図った ・横手市産業振興アドバイザー事業　市内企業延べ8社訪問。横手ものづくりネットワーク会議をコーディネート
令和 7年度（決算）	・横手ものづくりネットワーク会議事業　12/23　アルカディア市ヶ谷(東京都)にて横手市関連企業48社5団体の参加のもと市長による横手の紹介や市関連企業によるプレゼン等を実施　第2部では交流会を行い情報交換を図った ・横手市産業振興アドバイザー事業　市内企業延べ14社訪問　横手ものづくりネットワーク会議をコーディネート
令和 8年度（計画）	①横手ものづくりネットワーク会議開催 ②横手市産業振興アドバイザーによる企業訪問
令和 9年度（計画）	①横手ものづくりネットワーク会議開催 ②横手市産業振興アドバイザーによる企業訪問

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手ものづくりネットワーク会議に出席する企業数				
		単位	社	目標値	50	40	40	40	40
				実績値	38	50	48		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	3,000	2,912	2,997	3,188	3,151
事業費の小計		3,000	2,912	2,997	3,188	3,151

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	雇用の確保に向け継続した活動が必要である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	対象を市内企業とし、要望等の把握に努めている。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	事業拡大に意欲を持つ企業を支援する。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けた取り組みを進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	企業間ネットワークづくりや産業振興アドバイザーによる支援など、他の部局に類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	上位施策達成のため必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市内企業間交流や企業への情報提供など、市としての取組みが産業振興には重要。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	ものづくりネットワーク会議の開催時期や参加人数などを調整し東京都で開催。 毎年度参加企業にアンケートを実施し開催内容に反映させている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	費用については市の全額負担。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

ものづくりネットワーク会議は、市内企業間の連携と企業留置を目的に維持が望ましい。
産業振興アドバイザー事業は、既存企業へのアドバイス及び新たな企業誘致に向けて維持が望ましい。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102	17	企業誘致課						
	産業誘致対策事業			2,912	2,997	0	2,997	3,188	3,151

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 企業誘致対策費

部・担当課	商工観光部・企業誘致課	担当課長氏名	木村　和義
予算科目事業	1 一般会計－070102－160100　　商工費・商工費・商工業振興費 企業誘致対策費・企業誘致対策費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	－	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

進出企業及び既存企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

企業立地を図ることで、地域経済の活性化と雇用の場が確保され、人口減少の歯止めとなっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

■企業調査、企業訪問・・企業信用調査の実施と企業訪問。
■秋田県企業誘致推進協議会事業・・秋田県と県内市町村が合同で、リッチセミナーや企業懇談会等を実施。
■パンフレット等の作成・・横手第二工業団地紹介パンフレットの作成、輸送機関連企業向け提案資料等の作成。
■サテライトオフィス誘致のためのパンフレット印刷、マッチングイベント出展、進出支援事業補助金の交付。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・企業訪問　訪問企業数103社、企業訪問延べ305件実施。市内外企業へ訪問し情報収集や立地環境の紹介を実施。 ・2社誘致認定（内、横手工場への本社機能移転に伴う事業集約による誘致認定1社、事業拡大による誘致認定1社） ・秋田県企業誘致推進協議会事業（リッチセミナー、企業懇談会）へ参加。東京都（7/16、1/29）、大阪（1/28）、愛知県（10/16）へ参加し横手市の紹介と企業との意見交換を行った ・企業信用調査（15件）
令和 7年度（決算）	・企業訪問　訪問企業数130社　企業訪問延べ210件実施　市内外企業へ訪問し情報収集や立地環境の紹介を実施 ・1社誘致認定（県外から横手市への移転） ・秋田県企業誘致推進協議会事業（リッチセミナー、企業懇談会）へ参加　東京都（7/15、1/29）　愛知県（7/28）へ参加し横手市の紹介と企業との意見交換を行った ・企業信用調査ほか　企業信用調査数12件
令和 8年度（計画）	①企業調査、企業訪問の継続実施 ②秋田県企業誘致推進協議会事業（リッチセミナー、企業懇談会等の継続開催） ③パンフレット等の作成
令和 9年度（計画）	①企業調査、企業訪問の継続実施 ②秋田県企業誘致推進協議会事業（リッチセミナー、企業懇談会等の継続開催） ③パンフレット等の作成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市の関与により立地した企業数				
		単位	社	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	3	2	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	1,475	0	0	0
	(f) 一般財源	2,894	2,021	3,288	3,332	3,327
事業費の小計		2,894	3,496	3,288	3,332	3,327

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	070102	16	企業誘致課	3,496	3,288	0	3,288	3,332	3,327
	企業誘致対策費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 ＩＴ・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業

部・担当課	商工観光部・企業誘致課	担当課長氏名	木村　和義
予算科目事業	1 一般会計－070102－180100　　商工費・商工費・商工業振興費 ＩＴ・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	－	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

起業・進出企業及び市内既存企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

起業立地を図ることで、地域経済の活性化と若者の雇用の場が確保され、人口減少の歯止めとなっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・ソフトウエア業、情報処理・提供サービス業、インターネット付随サービス業、コールセンター業、ＢＰＯサービス業などの業種で、新規立地又は既存事業の拡大を行い、かつ３名以上新規正規雇用（一年以上の雇用継続が必要）を行った法人に対し、ア）雇用に関わる経費の助成、イ）従業員家賃負担の助成、ウ）事務所取得経費の助成、エ）事務所賃借料の助成、オ）通信経費の助成、カ）研修期間の費用の助成（特認）、を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・事業の紹介や説明、新規の問合せ企業へ訪問 ・既存認定企業2社に補助金を交付
令和 7年度（決算）	・事業の紹介や説明　新規の問合せ企業へ訪問 ・既存認定企業1社に補助金を交付
令和 8年度（計画）	①企業訪問（事業の紹介、周知） ②事業認定に係る個別相談、事業計画書の作成支援 ③補助金の交付
令和 9年度（計画）	①企業訪問（事業の紹介、周知） ②事業認定に係る個別相談、事業計画書の作成支援 ③補助金の交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	新規立地企業（市外からの誘致を含む）				
		単位		目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	0	0		
	2	区分	－	指標	市内既存企業の拡大による事業該当数				
		単位		目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	2	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	21,128	3,373	2,759	3,500	0
事業費の小計		21,128	3,373	2,759	3,500	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	まち・ひと・しごと創生総合戦略。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	地域の新たな雇用に結び付く事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市民（特に若者）にとって職業選択できる業種と働く場を増やす事業である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	新規認定の実績はなし。目標達成に向けて事業PRに努めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業の存在なし。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	上位施策達成のために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	助成事業として市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業実績と効果から平成29年度中に内容の一部見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	企業が新たに行う事業展開への支援であり適切な受益者負担と考えている。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　7×3　＋　8×3
総合評価点		７３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
更に有効な事業となるよう適宜見直しを実施する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	070102	18	企業誘致課	ＩＴ・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	3,373	2,759	0	2,759	3,500	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 工業団地整備事業

部・担当課	商工観光部・企業誘致課	担当課長氏名	木村　和義
予算科目事業	1 一般会計－070102－190100　商工費・商工費・商工業振興費 工業団地整備事業・柳田工業団地整備事業（		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	－	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

進出企業及び既存企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

企業立地を図ることで、地域経済の活性化と雇用の場が確保され、人口減少の歯止めとなっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

企業誘致の事業所建設のための用地を確保するため新たな工業団地を整備する

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 8年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・関係機関との協議 ・造成工事 ・各種業務委託（造成工事設計変更業務委託、許認可申請業務委託、配水管修正設計業務委託）
令和 7年度（決算）	・関係機関との協議 ・造成工事 ・水道管敷設工事 ・下水道管敷設工事 ・マンホールポンプ設置工事
令和 8年度（計画）	○関係機関との協議 ○造成工事 ○確定測量・登記
令和 9年度（計画）	・関係機関との協議 ・新規産業用地候補地調査業務委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	造成完了時の誘致企業分譲予約の割合				
		単位	%	目標値	20	30	40	50	
				実績値	0	0	0		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	132,676	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,200	400	300	0	0
	(f) 一般財源	257,307	97,863	482,352	113,328	0
事業費の小計		258,507	98,263	482,652	246,004	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	多種多様な分野の企業に進出いただくためにも、新たな工業用地を整備することが急務である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	新たな企業が立地することにより、地域の新たな雇用に結びつく事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市民にとって、多様な働く場の確保につながる。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	事業は順調に推移している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策達成のために必要な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	工業団地造成事業として市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	工業専用地域として用途指定されたエリアを工業用地として有効利用できるよう設計した。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	秋田県「県・市町村立地基盤整備連携事業補助金」を活用する。 ※補助率　県1/2、限度額1haあたり30,000千円
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
多種多様な企業に進出いただくためにも新たな工業用地の整備が急務である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	070102	19	企業誘致課						
	柳田工業団地整備事業（建設）			98,263	482,652	300	482,352	246,004	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策５】

基本目標

安全で快適な住みよいまちづくり

【政策５】

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます《建設交通》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策5-1】雪国の快適な暮らしの実現			
雪となかよく暮らす条例推進事業	1320		
道路等除排雪事業	1324		
克雪施設（流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等）管理費	1328		
町内会等除雪活動支援事業	1332		
雪国よこて安全安心住宅普及促進事業	1336		
木造住宅耐震改修等事業	1340		
【施策5-2】快適な移動空間の実現			
土木総務管理費	1344		
道路台帳補正費	1348		
道路橋りょう総務管理費	1352		
駅前自転車駐車場維持管理費	1356		
道路維持管理費	1360		
街路灯・防犯灯管理費	1364		
道路新設改良事業	1368		
社会資本整備総合交付金等事業（道路）	1372		
道路メンテナンス補助事業（橋りょう維持）	1376		
道路橋りょう災害復旧事業	1380		
地方街路整備事業	1384		
【施策5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実			
鉄道整備・地域開発促進事業	1388		
地域公共交通費	1392		
【施策5-4】地域拠点整備による市街地の活性化			
都市計画総務管理費	1396		
景観・屋外広告物対策事業	1400		
横手駅駅前広場管理費	1404		
建築住宅総務費	1408		
建築確認費	1412		
まちなか再生推進事業	1416		
都市再生整備事業	1420		
副拠点エリア整備事業（十文字地域）	1424		
土地区画整理費	1428		
中心市街地活性化事業	1432		
【施策5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理			
浄化槽設置整備事業	1436		
水洗化資金融資利子補給費	1440		
上水道事業繰出金	1444		
非公営水道事業	1448		
都市下水路管理費	1452		
下水道事業繰出金	1456		
【施策5-6】市民がくつろげる公共空間の整備			
公共施設サポーター制度事業	1460		
社会資本総合整備事業	1464		
公園管理費	1468		
都市計画施設災害復旧事業	1472		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 雪となかよく暮らす条例推進事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－080100　　総務費・総務管理費・地域振興費 雪となかよく暮らす条例推進事業・雪とな		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	－	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・すべての市民が雪に親しみ、雪と楽しく暮らす生活スタイルを確立している。
・市と市民、事業所が互いに協力し、マナーを守って雪となかよく暮らすまちづくりを実践している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【雪となかよく暮らす条例推進事業】
雪となかよく暮らす条例に基づく市民委員会の開催、雪国マイスター表彰、雪と親しむ日事業

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市総合雪対策基本計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・雪となかよく暮らす条例に基づく市民委員会の開催（３回開催）　報酬60千円 ・雪国マイスター表彰（該当なし） ・雪と親しむ日事業2/11実施（条例周知チラシとミニかまくら用ろうそく配布）38千円
令和 7年度（決算）	・雪となかよく暮らす条例に基づく市民委員会の開催（3回 11/18、1/16、1/24）報償費54,000円 ・雪国マイスター表彰（該当なし） ・雪と親しむ日事業（1/24）「くろかわ冬まつり2026」会場内で条例PRの菓子を配布　消耗品費15,504円
令和 8年度（計画）	・雪となかよく暮らす条例に基づく市民委員会の開催 ・親雪事業の推進
令和 9年度（計画）	・雪となかよく暮らす条例に基づく市民委員会の開催 ・親雪事業の推進

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	雪となかよく暮らす条例に基づく市民委員会開催回数				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	4	3	3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	87	98	70	193	224
事業費の小計		87	98	70	193	224

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	5	事業の必要性	1点：目的を達成しており、現状では、他の事業よりも優先度が低い。
		1	「雪となかよく暮らす条例」に基づき、実施している事業であるが、優先度が低いと考える。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	事業内容については、随時、検討する必要がある。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	事業内容は市民委員会に委ねており、雪国マイスターの選定、親雪に関する事業である。
②事業の有効性	4	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	事業の目指す方向を定める必要がある。
		類似事業の存在	1点：類似する内容の事業が存在しており、事業の統廃合の検討の余地がある。
		1	雪に関する観光事業や伝統事業、また各地域で開催されている雪まつりなど、類似するものがあるため、雪に親しむ日事業の在り方について検討する必要がある。
		上位施策への貢献度	1点：上位施策に対する貢献度が低いために根本的な見直しが必要である。
		1	雪国の快適な暮らしの実現のための事業であるが、事業の実施により貢献しているという判断は難しい。
③事業の効率性	6	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	「雪となかよく暮らす条例」に基づき、実施している事業であるが、優先度が低いと考える。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	理念を掲げる条例であるため、雪に親しむ日事業については、令和７年度より見直している。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	理念を推進するものであり、受益者負担を求めるものでなはい。
項目点合計		１５	総合評価点の算出方法　：　5×4　＋　4×3　＋　6×3
総合評価点		５０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

「雪となかよく暮らす条例」の理念に基づく利雪・克雪・親雪といった事業展開であり、事業の実施や方向性を適宜見直す必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 財源内訳 特定財源	令和 7年度(決算) 財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	020108 08 雪となかよく暮らす条例推進事業	地域づくり支援課	98	70	0	70	193	224

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 道路等除排雪事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080205－010100　　土木費・道路橋りょう費・雪対策費 道路等除排雪事業・道路等除排雪事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	－	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民および横手市域の往来者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
冬季間の交通の安全と定時制が確保され、市民等が冬季の道路環境にあまり不満を抱くことなく利用している。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
道路の除排雪に必要な体制をつくり、年度ごとに策定する除雪基本計画に基づく道路等の除排雪及び雪捨て場の維持管理を実施する

④ 根拠法令	道路法・積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する 特別措置法	⑤ 関連計画	横手市総合雪対策基本計画 横手市除雪基本計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・除雪総務費（除雪出動に関するシステム経費・除雪講習会負担金、除雪管理システム運用経費等） 3,489千円（システム更新・保守・賃借料ほか） ・道路等除排雪費（直営道路除排雪に係る会計年度任用職員人件費・燃料費・借上料、除雪業者委託費等） 2,211,209千円 ・雪捨場対策費（除雪専用雪捨場３地域(横手、十文字、山内) 115,826千円
令和 7年度（決算）	①除排雪管理事業（除雪出動システム経費・講習会負担金・除雪管理システム運用経費等）2,363千円 ②除排雪管理事業（建設）（積雪通報システム端末、センサー更新）3,445千円 ③道路等除排雪事業（会計年度任用職員人件費・燃料費・借上料、除雪業者委託費等）2,155,972千円 ④雪捨場対策事業（横手、十文字、山内）114,872千円
令和 8年度（計画）	・除排雪管理事業（除雪出動に関するシステム経費・除雪講習会負担金、除雪管理システム運用経費等） ・道路等除排雪事業（直営路線除排雪に係る会計年度任用職員人件費、燃料費、借上料、除排雪業者委託費等） ・雪捨場対策事業（雪捨場３地域(横手、十文字、山内)）
令和 9年度（計画）	・除排雪管理事業（除雪出動に関するシステム経費・除雪講習会負担金、除雪管理システム運用経費等） ・道路等除排雪事業（直営路線除排雪に係る会計年度任用職員人件費、燃料費、借上料、除排雪業者委託費等） ・雪捨場対策事業（雪捨場３地域(横手、十文字、山内)）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	道路除雪に関する早朝出動日あたりの苦情件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	10.4	6.8	5.9		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	67,510	357,723	243,383	115,325	110,796
	(b) 県支出金	975	1,231	1,674	600	600
	(c) 地方債	35,400	52,000	31,300	57,600	55,300
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,276,603	2,068,512	2,089,171	1,274,750	1,251,763
事業費の小計		1,380,488	2,479,466	2,365,528	1,448,275	1,418,459

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	道路法及び同施行令により、道路の機能を維持するために必要な措置を講じることが定められている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	安全・安心な冬期道路交通の確保は、広く市民全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	安全・安心な冬期道路交通の確保は、市民のみならず道路利用者すべてが対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標達成に向け、毎年協議や改善を行っているが、市民ニーズの多様化や気候等の変動に対応しきれていない。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	道路管理者である市が行うべき事業であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	冬期間における市民生活の安全・安心の確保に必要不可欠である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	道路管理者である市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	安全かつ効率的な作業実施のため、毎年協議や改善を行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	冬期間の道路交通維持のため、市が負担すべき事業である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　9×3
総合評価点		９１	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
市民及び道路利用者等の安心・安全を確保するため、道路除排雪等は必要不可欠である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	080205 01 建設課 道路等除排雪事業	2,211,209	2,158,701	188,994	1,969,707	1,215,160	1,215,160
2	080205 01 建設課 雪捨場対策事業	115,826	114,872	0	114,872	60,092	30,600
3	080205 01 建設課 除雪機械購入事業（建設）	148,942	86,147	84,263	1,884	173,023	166,194
4	080205 01 建設課 除排雪管理事業	3,489	2,363	0	2,363	0	6,505
5	080205 01 建設課 除排雪管理事業（建設）	0	3,445	3,100	345	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 克雪施設（流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等）管理費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080205－020100　　土木費・道路橋りょう費・雪対策費 克雪施設（流雪溝・消雪パイプ・消融雪		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	－	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民および横手市域の往来者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
冬季間の交通の安全と定時制が確保され、市民等が冬季の道路環境にあまり不満を抱くことなく利用している。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
冬季間の道路交通確保のための克雪施設（流雪溝・消雪パイプ等）の維持修繕、必要に応じた更新を行う

④ 根拠法令	道路法・積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する 特別措置法	⑤ 関連計画	横手市総合雪対策基本計画 横手市除雪基本計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・道路交通確保のための克雪施設（流雪溝・消雪パイプ等）の維持管理・更新 横手地域：60,488千円　増田地域：　1,582千円　平鹿地域：9,736千円　雄物川地域：4,342千円 大森地域：　2,697千円　十文字地域：85,078千円　山内地域：8,476千円　大雄地域：　1,523千円
令和 7年度（決算）	・冬季間の道路交通確保のための克雪施設（流雪溝・消雪パイプ等）の維持修繕・更新 横手地域：64,544千円　増田地域　：　6,158千円　平鹿地域：　5,121千円　雄物川地域：2,500千円 大森地域：　1,353千円　十文字地域：79,975千円　山内地域：10,736千円　大雄地域：　963千円
令和 8年度（計画）	・克雪施設管理費 横手地域（流雪溝ポンプ、融雪施設）、平鹿地域（消雪パイプ、水中ポンプ） 十文字地域（消雪パイプ、井戸、流雪溝）、大雄地域（消雪施設、ポンプ小屋）
令和 9年度（計画）	・克雪施設管理費 横手地域

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	克雪施設の異常による事故件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	25,000	85,900	73,500	169,400	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	13,442	12,721	12,833	13,326	13,558
	(f) 一般財源	54,573	75,301	85,028	66,865	50,582
事業費の小計		93,015	173,922	171,361	249,591	64,140

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080205	02 横手地域課	60,488	64,555	11,988	52,567	47,355	45,930
	克雪施設管理費（横手地域）							
2	080205	02 横手地域課	0	0	0	0	50,336	0
	克雪施設管理費（横手地域）（建設）							
3	080205	02 増田地域課	1,582	6,158	431	5,727	1,971	1,971
	克雪施設管理費（増田地域）							
4	080205	02 増田地域課	0	0	0	0	5,000	0
	克雪施設管理費（増田地域）（建設）							
5	080205	02 平鹿地域課	1,604	5,121	0	5,121	1,575	1,638
	克雪施設管理費（平鹿地域）							
6	080205	02 平鹿地域課	8,132	0	0	0	11,206	0
	克雪施設管理費（平鹿地域）（建設）							
7	080205	02 雄物川地域課	4,342	2,500	0	2,500	1,100	1,100
	克雪施設管理費（雄物川地域）							
8	080205	02 大森地域課	2,697	1,353	0	1,353	1,878	1,873
	克雪施設管理費（大森地域）							
9	080205	02 十文字地域課	4,368	5,375	0	5,375	3,624	3,624
	克雪施設管理費（十文字地域）							
10	080205	02 十文字地域課	80,710	74,600	73,500	1,100	105,500	0
	克雪施設管理費（十文字地域）（建設）							
11	080205	02 山内地域課	8,476	10,736	414	10,322	4,818	6,969
	克雪施設管理費（山内地域）							
12	080205	02 大雄地域課	225	963	0	963	1,035	1,035
	克雪施設管理費（大雄地域）							
13	080205	02 大雄地域課	1,298	0	0	0	14,193	0
	克雪施設管理費（大雄地域）（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 町内会等除雪活動支援事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080205－030100　　土木費・道路橋りょう費・雪対策費 町内会等除雪活動支援事業・町内会等除		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	－	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民および横手市域の往来者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
地域の協力により、冬季間の交通の安全と定時制が確保され、市民等が冬季の道路環境（特に当該地域の生活道路等）をあまり不満を覚えることなく利用している。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
横手市除雪活動費補助金交付要綱に基づき ・道路交通の確保のための除排雪を実施するための除雪活動団体への補助 ・消融雪施設の新設・更新に要する費用に対する補助 ・消融雪施設の維持管理経費等に対する補助

④ 根拠法令	道路法・積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する 特別措置法	⑤ 関連計画	横手市総合雪対策基本計画 横手市除雪基本計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手市除雪活動費補助金交付要綱に基づき狭隘な道路の交通確保のための除排雪を実施する除雪活動団体に対し補助金を支出し活動を支援した。 ・補助内容　①消融雪施設の新設・更新に要する費用　②消融雪施設の維持管理経費等に対する補助 ・補助実績額　21,091千円 （内訳：建設課2,503,000円、横手地域局1,685,334円、増田地域局95,615円、平鹿地域局2,297,744円、雄物川地域局3,912,555円、大森地域局1,202,401円、十文字地域局7,841,806円、大雄地域局1,533,807円）
令和 7年度（決算）	横手市除雪活動費補助金交付要綱に基づき狭隘な道路の交通確保のための除排雪を実施する除雪活動団体に対し補助金を支出し活動を支援した ・補助内容　①消融雪施設の新設・更新に要する費用　②消融雪施設の維持管理経費等に対する補助 ・補助実績額　20,935千円 （内訳：建設課3,290,000円、横手地域局1,686,795円、増田地域局147,578円、平鹿地域局2,042,168円、雄物川地域局3,826,964円、大森地域局1,070,716円、十文字地域局7,448,858円、大雄地域局1,421,721円）
令和 8年度（計画）	除雪活動費補助金交付要綱に基づき申請のあった団体(狭隘な道路を除雪する団体)に対し対象経費への補助を実施 ・消雪パイプ、融雪溝施設の新設及び既存施設の全面的な更新、修理費の50/100以内 ・除雪機械、融雪機器の取得･燃料費･修理費の50/100以内　・流雪溝の管理運営費
令和 9年度（計画）	除雪活動費補助金交付要綱に基づき申請のあった団体(狭隘な道路を除雪する団体)に対し対象経費への補助を実施 ・消雪パイプ、融雪溝施設の新設及び既存施設の全面的な更新、修理費の50/100以内 ・除雪機械、融雪機器の取得･燃料費･修理費の50/100以内　・流雪溝の管理運営費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	除雪活動団体数（補助金交付団体数）				
		単位	団体	目標値	300	300	300	300	300
				実績値	296	302	302		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	16,624	21,091	20,935	22,050	22,050
事業費の小計		16,624	21,091	20,935	22,050	22,050

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	町内会等が主体となって行う除排雪、消融雪施設の運営に要する補助であり、冬季間の道路交通を確保するためにも優先して実施する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	冬季間の道路交通の安全確保は、広く市民全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	冬季間の道路交通の安全確保は、市民のみならず道路利用者すべてが対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	市民と協働で取り組む事業である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	冬期道路交通確保のための事業であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	冬季間の道路交通の安全確保に必要不可欠である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市民と行政が協働で取り組む事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	適宜、見直しを図っているが、改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担であり、適切なサービスである。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市民、行政が共同して取り組む事業であるため、維持していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080205	03 建設課						
	町内会等除雪活動支援事業		21,091	20,935	0	20,935	22,050	22,050

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 雪国よこて安全安心住宅普及促進事業

部・担当課	建設部・建築住宅課	担当課長氏名	佐藤　守
予算科目事業	1 一般会計－080501－040100　　土木費・住宅費・建築住宅総務費 雪国よこて安全安心住宅普及促進事業・雪		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	－	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内に住宅を所有する市民等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

雪国よこての地域特性に配慮した安全で快適な住宅の普及が進み、冬季における市民の負担が軽減され、快適で安心に暮らすことができている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【雪国よこて安全安心住宅住宅普及促進事業（建設）】
・安全で快適な住宅の普及を促進するため、要件を満たす住宅の改修工事にかかる費用について補助を行う。
（住宅の雪対策、バリアフリー化、省エネルギー･断熱化、防災･減災対策）

④ 根 拠 法 令	横手市雪国よこて安全安心住宅普及促進事業補助金交付要綱	⑤ 関 連 計 画	横手市総合雪対策基本計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業 ・安全で快適な住宅の普及を促進するため、住宅の改修工事にかかる費用の一部を補助
令和 7年度（決算）	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業 ・安全で快適な住宅の普及を促進するため、住宅の改修工事にかかる費用の一部を補助 ・住宅の雪対策23件、バリアフリー化22件、省エネルギー･断熱化68件、防災･減災対策1件　※重複あり
令和 8年度（計画）	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業 ・安全で快適な住宅の普及を促進するため、住宅の改修工事にかかる費用の一部を補助
令和 9年度（計画）	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業 ・安全で快適な住宅の普及を促進するため、住宅の改修工事にかかる費用の一部を補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	住宅改修工事補助件数				
		単位		目標値	90	90	90	90	90
				実績値	120	98	96		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	5,850	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	9,379	13,623	11,966	15,400	15,400
事業費の小計		15,229	13,623	11,966	15,400	15,400

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	８	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		３	市総合計画の施策に基づく主要事業であり、建設部の重点目標となっている。施策実現のための事業となっており、優先的の実施すべきである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市全域において市民が安心して暮らせる住環境の整備のための事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		２	一定の要件を満たした住宅の改修工事を行う不特定多数の市民が対象である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	補助件数は目標値を上回っている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	個人の住宅を対象とした改修工事に対しての補助事業であり類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	安全で安心な住宅普及促進の必要性は高く、上位施策達成のためには必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	８	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		３	民間サービスの提供例はない。地域経済活性化の役割の担っており市が主体的に取り組んでいく必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	補助金利用者へのアンケート調査の結果、事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	適切な受益者負担と考えている。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　8×3	総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

目標を上回る申請件数があり、市内工事業者からの事業の継続の要望もあることから事業を維持していく方向性としたい。また、人口減少社会を見据え市民ニーズの掘り起こしなどの方策も検討する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	080501	04	建築住宅課 雪国よこて安全安心住宅普及促進事業（建設）	13,623	11,966	0	11,966	15,400	15,400

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 木造住宅耐震改修等事業

部・担当課	建設部・建築住宅課	担当課長氏名	佐藤　守
予算科目事業	1 一般会計－080501－050100　　土木費・住宅費・建築住宅総務費 木造住宅耐震改修等事業・木造住宅耐震改		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	－	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内に住宅を所有する方

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

木造住宅の耐震化が進み、災害に強いまちづくりができている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【木造住宅耐震改修等事業（建設）】
・木造住宅の耐震診断にかかる費用の一部を支援
・木造住宅の耐震改修、耐震改築にかかる補助金の交付

④根拠法令	社会資本整備総合交付金交付要綱	⑤関連計画	横手市耐震改修促進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・木造住宅耐震診断支援・耐震改築補助を実施した ①診断支援決定の件数：１１件　委託金額：１，３２０千円 ②耐震改築補助の件数：　３件　補助金額：３，０００千円 ・前年度に耐震診断支援事業を利用した方に令和７年度の木造住宅耐震改修等補助事業について電話周知した
令和 7年度（決算）	・木造住宅耐震診断支援・耐震改築補助を実施 ①診断支援決定の件数：３件　委託金額：　３６０千円 ②耐震改築補助の件数：５件　補助金額：５，０００千円 ・前年度に耐震診断支援事業を利用した方に令和８年度の木造住宅耐震改修等補助事業について電話周知 ・令和３年度から令和７年中に建築工事を実施した住宅供給事業者へ木造住宅耐震診断支援事業のチラシを送付
令和 8年度（計画）	木造住宅耐震改修等事業 ・木造住宅の耐震診断にかかる費用の一部を支援　想定受付件数：７戸 ・木造住宅の耐震改修、耐震改築にかかる補助金の交付　想定受付件数：５戸
令和 9年度（計画）	木造住宅耐震改修等事業 ・木造住宅の耐震診断にかかる費用の一部を支援　想定受付件数：７戸 ・木造住宅の耐震改修、耐震改築にかかる補助金の交付　想定受付件数：５戸

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	木造住宅耐震診断数				
		単位	件	目標値	7	7	7	7	7
				実績値	8	11	3		
	2	区分	活動	指標	木造住宅耐震改修、耐震改築数				
		単位	件	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	3	3	5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,980	2,160	1,825	2,920	2,920
	(b) 県支出金	465	555	315	585	585
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,515	1,605	3,220	2,335	2,335
事業費の小計		3,960	4,320	5,360	5,840	5,840

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市耐震改修促進計画【第４期】に基づく主要事業であり、課の重点目標の一つである。 施策実現のため優先的に実施すべきである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市内全域の住環境向上のための事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	木造住宅を所有する個人を対象にしている。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	耐震診断については目標とする７件に対して３件の申請だったが、耐震改修・耐震改築については目標とする５件の申請を達成できた。耐震診断支援事業の啓発について今後も継続して行う必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	個人の住宅を対象にした一定の要件を満たす耐震関係補助事業の類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	降雪の多い横手市において安全で安心な住宅の普及促進の必要性は高い。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間サービスでの提供は無い。地域経済活性化の役割もあり、市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	事業の内容について毎年度見直しは行ってはいるが、補助内容について現段階では最上であり改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担である。県内の他自治体と比較してもサービス水準は極めて高い。
項目点合計	２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　８６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

青森県東方沖や三陸沖の東北地方を震源地とする最大震度５強以上の地震が発生するなど、依然として日本各地で地震が頻発している。市民の関心は高い事業であり、今後とも継続すべき事業である。毎年度目標とする件数を達成出来るよう、啓発活動は行う必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	080501 05	建築住宅課	木造住宅耐震改修等事業（建設）	4,320	5,360	2,140	3,220	5,840	5,840

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 土木総務管理費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080101－020100　　土木費・土木管理費・土木総務費 土木総務管理費・土木総務管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民・国、県、道路公団等道路交通政策担当組織

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・国道、県道、市道の整備促進を図り道路網の整備を促進する。
・法定外公共物の適正な管理を行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・同盟会、協議会等の活動を通して道路・成瀬ダム等の整備促進のための中央省庁、関係機関への要望をはじめとした活動を実施する。
・法定外公共物管理の適正な管理を実施する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	各種同盟会活動への参加による要望活動を行い、広域的な道路網整備等に向けた活動を実施した。 道路整備等のための調整を行ったほか、法定外公共物の適正な管理のための活動を行った。 ・会計年度任用職員人件費（2名分）5,258,510円、コピー機及び公共事業積算システム使用料等 2,055,327円、同盟会等負担金 1,414,000円、カラーコピーカウンター料他消耗品 2,793,159円、測量他手数料 592,247円、現場用公用車燃料費 486,480円、同盟会活動等旅費 283,510円ほか
令和 7年度（決算）	各種同盟会活動への参加による要望活動を行い、広域的な道路網整備等に向けた活動を実施した 道路整備等のための調整を行ったほか、法定外公共物の適正な管理のための活動を行った ・会計年度任用職員人件費（2名分）5,470,795円、コピー機及び公共事業積算システム使用料等 2,029,969円、同盟会等負担金 1,192,000円、カラーコピーカウンター料他消耗品 2,600,830円、車検他手数料 4,110円、現場用公用車燃料費 406,168円、同盟会活動等旅費 122,950円ほか 創設非農用地換地予定地の引き渡しに伴う費用（単年度）　14,938千円（栄東部地区、横手地区）
令和 8年度（計画）	①各種同盟会事業　同盟会、協議会等の活動を通して道路・成瀬ダム等の整備促進のための中央省庁、関係機関への要望をはじめとした活動を実施、広域的な道路網整備等の実現及び横手北スマートICの利用促進を図る ②法定外公共物管理費　法定外公共物の適正な管理を実施
令和 9年度（計画）	①各種同盟会事業　同盟会、協議会等の活動を通して道路・成瀬ダム等の整備促進のための中央省庁、関係機関への要望をはじめとした活動を実施、広域的な道路網整備等の実現及び横手北スマートICの利用促進を図る ②法定外公共物管理費　法定外公共物の適正な管理を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	加入している同盟会（R3時点加入:21団体）による要望活動実施回数				
		単位	回	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	47	36	42		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	7	4	4	1	1
	(f) 一般財源	12,953	13,431	27,294	14,496	14,600
事業費の小計		12,960	13,435	27,298	14,497	14,601

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080101	02 建設課	13,435	12,360	4	12,356	14,497	14,601
	土木総務管理費							
2	080101	02 建設課	0	14,938	0	14,938	0	0
	土木総務管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
					財源内訳			
			事業費	事業費	特定財源	一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 道路台帳補正費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080201－030100　　土木費・道路橋りょう費・道路橋りょう総務費 道路台帳補正費・道路台帳補		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市地域往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民はじめ横手市を往来する全ての者が、安全かつ快適な道路・交通環境を享受している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

市道の位置・幅員及び延長等を正確に把握し、市道の維持管理を円滑に行うため、道路台帳を整備する。
【道路台帳補正事業】道路法第28条に基づき、道路台帳の情報（新設道路及び拡幅改良等の道路状況）更新を行う。
・道路台帳補正業務委託による。
・更新媒体：図面、調書等

④ 根 拠 法 令	道路法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・道路台帳補正業務委託 新規認定　0.56km　拡幅改良　0.54km　調書補正　0.56km　橋梁改良　3橋 橋梁補正　1橋　電算処理　2,233.72km
令和 7年度（決算）	・道路台帳補正業務委託　19,980千円 新規認定　0.00km　拡幅改良　0.61km　調書補正　0.61km　橋梁改良　21橋 橋梁補正　3橋　廃止路線　0.66km　電算処理　2,233.20km
令和 8年度（計画）	（20,000千円） 道路台帳補正業務委託
令和 9年度（計画）	（20,000千円） 道路台帳補正業務委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	道路台帳補正率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	17,081	19,978	19,980	20,000	20,000
事業費の小計		17,081	19,978	19,980	20,000	20,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080201	03 建設課	19,978	19,980	0	19,980	20,000	20,000
	道路台帳補正費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 道路橋りょう総務管理費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080201－020100　　土木費・道路橋りょう費・道路橋りょう総務費 道路橋りょう総務管理費・道		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

道路、橋りょう、トンネル等の施設及びその利用者（市民、市外からの来訪者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

利用者全員が安全かつ快適に利用できる状態

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・各地域に設置している道路管理センターの施設管理運営を行う
・道路維持管理システムによりトンネル・地下道等における事故・不具合を通報・警報・監視を実施する（システム管理業務委託含む）
・道路施設用地に関する各種事務を行う

④根拠法令	道路法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・各地域に設置している道路管理センターの施設の管理運営を行う ・トンネル及び地下道の警報装置・監視装置運営業務を行う（業務委託を含む） ・道路用地寄附等に対応した嘱託登記及び電柱移設の補償等を行う
令和 7年度（決算）	・各地域に設置している道路管理センターの施設の管理運営を行う ・トンネル及び地下道の警報装置・監視装置運営業務を行う（業務委託を含む） ・道路用地寄附等に対応した嘱託登記及び電柱移設の補償等を行う
令和 8年度（計画）	【道路橋りょう総務管理費】①各地域に設置している道路管理センターの施設の管理運営を実施②トンネル及び地下道の警報装置・監視装置運営業務を実施（業務委託を含む）③道路用地寄附等に対応した嘱託登記及び電柱移設の補償等を実施【道路橋りょう総務管理費（平鹿地域）（建設）】中吉田地区水路の改修工事
令和 9年度（計画）	①各地域に設置している道路管理センターの施設の管理運営を実施 ②トンネル及び地下道の警報装置・監視装置運営業務を実施（業務委託を含む） ③道路用地寄附等に対応した嘱託登記及び電柱移設の補償等を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	各地域の道路管理センターでの施設管理上の事故件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	851	1,258	1,426	888	583
	(e) その他特定財源	56	70	44	48	54
	(f) 一般財源	11,028	7,936	8,985	16,143	10,082
事業費の小計		11,935	9,264	10,455	17,079	10,719

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080201	02 横手地域課	3,434	3,854	949	2,905	4,461	4,112
	道路橋りょう総務管理費（横手地域）							
2	080201	02 増田地域課	761	641	82	559	759	827
	道路橋りょう総務管理費（増田地域）							
3	080201	02 平鹿地域課	1,903	2,092	135	1,957	2,271	2,271
	道路橋りょう総務管理費（平鹿地域）							
4	080201	02 平鹿地域課	0	0	0	0	5,689	0
	道路橋りょう総務管理費（平鹿地域）（建設）							
5	080201	02 雄物川地域課	384	390	67	323	414	660
	道路橋りょう総務管理費（雄物川地域）							
6	080201	02 大森地域課	108	93	8	85	182	126
	道路橋りょう総務管理費（大森地域）							
7	080201	02 十文字地域課	390	314	134	180	419	415
	道路橋りょう総務管理費（十文字地域）							
8	080201	02 山内地域課	1,034	1,968	46	1,922	1,094	1,141
	道路橋りょう総務管理費（山内地域）							
9	080201	02 大雄地域課	1,250	1,103	49	1,054	1,790	1,167
	道路橋りょう総務管理費（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 駅前自転車駐車場維持管理費

部・担当課	まちづくり推進部・横手地域課	担当課長氏名	坂水　剛
予算科目事業	1 一般会計－080201－040100　　土木費・道路橋りょう費・道路橋りょう総務費 駅前自転車駐車場維持管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手駅利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民が安全・安心に気持ちよく利用できる駐輪場となっており、公共交通としての駅の利便性向上につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【駅前自転車駐車場維持管理費】
・防犯カメラ、消火施設、照明施設の確実な運用を図る。
・駐輪場内の清掃及び放置自転車対策の徹底を図る。

④ 根 拠 法 令	横手市自転車等駐車場条例 横手市自転車等駐車場条例施行規則	⑤ 関 連 計 画	横手市交通戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・防犯カメラ警備委託・駐輪場管理委託・消防設備点検・電気設備維持修繕・放置自転車撤去
令和 7年度（決算）	・防犯カメラ警備委託・駐輪場管理委託・消防設備点検・電気設備維持修繕・放置自転車撤去
令和 8年度（計画）	・防犯カメラによる構内警備の委託、駐輪場の清掃等管理の委託、消防設備の保守点検委託、構内照明等電気設備の維持修繕の実施、放置自転車の確認と撤去を毎年実施し、駐輪スペースの確保ならびに環境整備を図る。
令和 9年度（計画）	・防犯カメラによる構内警備の委託、駐輪場の清掃等管理の委託、消防設備の保守点検委託、構内照明等電気設備の維持修繕の実施、放置自転車の確認と撤去を毎年実施し、駐輪スペースの確保ならびに環境整備を図る。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	放置自転車数の縮減				
		単位	台	目標値	70	69	68	67	66
				実績値	48	46	34		
	2	区分	活動	指標	利用台数の維持				
		単位	台	目標値	464	464	464	464	464
				実績値	217	251	218		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	948	967	1,711	1,352	1,351
事業費の小計		948	967	1,711	1,352	1,351

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	080201	04	横手地域課 駅前自転車駐車場維持管理費（横手地域）	967	1,711	0	1,711	1,352	1,351

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 道路維持管理費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080202－010100　土木費・道路橋りょう費・道路維持費　道路維持管理費・道路維持管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市地域往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内の道路が適切に維持管理され、交通が確保されており、市民をはじめ市内往来者が安全に道路を利用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

８地域の道路管理センターを拠点とし市道等の補修･維持管理を実施する。また老朽化し緊急度の高い道路施設(生活道路･水路、ガードレール、道路区画線等)の補修等について臨時対応分として通常の維持管理とは別に実施する。加えて市道等の舗装を延命する補修も実施する。

④根拠法令	道路法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・道路維持管理費　139,064千円（各地域課における市道等の補修・維持管理） ・道路維持管理費（建設）　76,892千円（ﾄﾝﾈﾙ雪庇防止柵工事、公用車購入、ｻｲﾎﾝ清掃委託 ほか） ・道路施設等補修臨時対応事業　46,569千円（老朽化の著しい道路施設の補修） ・道路舗装延命事業　19,941千円（市道の舗装を延命する補修）
令和 7年度（決算）	・道路維持管理費　141,659千円（各地域課における市道等の補修・維持管理） ・道路維持管理費（建設）　153,937千円（ﾄﾝﾈﾙ照明灯更新工事、公用車購入、草刈装置購入） ・道路施設等補修臨時対応事業　47,175千円（老朽化の著しい道路施設の補修） ・道路舗装・施設延命事業　19,942千円（市道舗装及び道路施設等の延命化を図る補修）
令和 8年度（計画）	・道路維持管理費（市が管理する道路の維持管理の経費） ・道路施設等補修臨時対応事業（老朽化の著しい道路施設の臨時補修） ・道路舗装・施設延命事業（市道舗装及び道路施設等の延命化を図るための予防保全補修）
令和 9年度（計画）	・道路維持管理費（市が管理する道路の維持管理の経費） ・道路施設等補修臨時対応事業（老朽化の著しい道路施設の臨時補修） ・道路舗装・施設延命事業（市道舗装及び道路施設等の延命化を図るための予防保全補修）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	3	2	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	1,617	1,645	1,500	1,500
	(c) 地方債	32,700	42,800	125,700	0	0
	(d) 使用料・手数料	18,318	18,531	18,815	18,377	18,377
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	188,832	219,518	216,553	197,340	197,340
事業費の小計		239,850	282,466	362,713	217,217	217,217

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	080202	01	建設課						
	道路維持管理費			139,064	141,659	18,815	122,844	149,247	149,247
2	080202	01	建設課						
	道路施設等補修臨時対応事業（建設）			46,569	47,175	1,645	45,530	47,970	47,970
3	080202	01	建設課						
	道路舗装・施設延命事業（建設）			19,941	19,942	0	19,942	20,000	20,000
4	080202	01	建設課						
	道路維持管理費（建設）			76,892	153,937	125,700	28,237	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 街路灯・防犯灯管理費

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080202－030100　　土木費・道路橋りょう費・道路維持費 街路灯・防犯灯管理費・街路灯・防犯		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市地域往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

街路灯・防犯灯が適切に維持管理され、市民や往来者が夜間に安全にかつ犯罪に遭うことなく道路を利用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【街路灯・防犯灯管理費】

■街路灯・防犯灯管理事業務 … 市が管理する街路灯・防犯灯の修繕及び新設等の実施や電気料の支出

■街路灯・防犯灯設置補助金の交付 …「横手市街路灯及び防犯灯設置規則」に基づく防犯灯の設置等に係る補助金の交付

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市が管理する街路灯、防犯灯の維持管理 光熱水費　76,114千円　　修繕料 37,849千円
令和 7年度（決算）	・市が管理する街路灯、防犯灯の維持管理 光熱水費　75,393千円　　修繕料 33,476千円
令和 8年度（計画）	・市が管理する街路灯・防犯灯の維持管理経費と設置に対する補助金交付 （光熱水費、修繕料、手数料、工事請負費、補助金）
令和 9年度（計画）	・市が管理する街路灯・防犯灯の維持管理経費と設置に対する補助金交付 （光熱水費、修繕料、手数料、工事請負費、補助金）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	不具合が発生した管理街路灯の修繕率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	106,678	113,963	108,869	148,894	159,466
事業費の小計		106,678	113,963	108,869	148,894	159,466

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080202	03 建設課						
	街路灯・防犯灯管理費		113,963	108,869	0	108,869	148,894	159,466

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 道路新設改良事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080203－020100　　土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費 道路新設改良事業・くらしのイン		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

基幹道路は市内各地域間交通と公共施設等へのアクセスを円滑にするという役割を果たし、生活道路は日常的に利用する歩行者や自転車利用者の安全性が確保されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【くらしのインフラ整備事業（建設）】　拠点地区との交流・連携、さらに広域交流の進展につながる基幹道路の整備、関連する生活道路等の改良充実を図るために、各種工事（道路改良・舗装補修・側溝改良等）を実施する。
【道路施設排水対策事業（建設）】　緊自債を活用し側溝等の整備をすることにより、市民の快適で安全な生活を守る。

④ 根 拠 法 令	道路法・道路交通法	⑤ 関 連 計 画	横手市道路整備計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和5年度繰越　58,139千円　・起債(過疎債)：【道路改良】タモノ木夏見沢線　・単独【法面】羽場菅生線　【水路】沖田萩ノ目線 令和6年度　569,542千円　・起債(過疎債・辺地債)：【道路改良】下高口上田村線ほか3路線　・起債(緊自債)：【舗装】雄物川中央線ほか16路線　【委託】横手平鹿増田線　・起債(公適債)：【舗装】駅西線　【排水対策】旭川地区 ・単独：【舗装】大沢二井山丘陵線　【道路改良】折橋四津屋線ほか1路線　【側溝】湯ノ島寺内線ほか1路線　【委託】本町平鹿線ほか3路線　【照明】堤新藤線ほか1箇所
令和 7年度（決算）	令和6年度繰越　30,197千円 ・単独：【舗装】一本杉蛭野線　【道路改良】羽場菅生線 令和7年度　621,236千円 ・起債(過疎債・辺地債)：【道路改良】タモノ木夏見沢線ほか3路線　・起債(緊自債)：【舗装】横手環状線ほか13路線　【法面】横手平鹿増田線　【排水対策】旭川地区　・単独：【舗装】大谷地線　【道路改良】折橋四津屋線ほか2路線　【側溝】本町平鹿線ほか3路線　【委託】田ノ新戸北線ほか1路線　・令和8年度繰越額：83,800千円
令和 8年度（計画）	・起債(過疎債・辺地債)：【道路改良】タモノ木夏見沢線ほか3路線　・起債(緊自債)：【舗装】旭川金沢線ほか12路線　【排水対策】旭川地区 ・単独：【舗装】南相野々線1号線　【道路改良】折橋四津屋線　【側溝】本町平鹿線ほか2路線
令和 9年度（計画）	・起債(過疎債・辺地債・緊自債)及び単独事業を含め、舗装・道路改良・側溝改良等、地域局の要望を取りまとめて決定

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	「道路網の整備」に対する市民満足度　※まちづくりアンケート				
		単位	%	目標値	66.5	67.5	68.5	69.5	
				実績値	62.3	60			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	389,800	511,900	458,600	431,500	172,500
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	11,020	9,630	9,360	9,000	9,000
	(f) 一般財源	87,483	106,151	183,473	104,000	323,000
事業費の小計		488,303	627,681	651,433	544,500	504,500

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	道路法及び同施行令により、道路の機能を維持するために必要な措置を講じることが定められている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、広く市民全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	道路交通の安全確保は、広く市民サービスの対象である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	道路管理者である市が行うべき事業であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	道路交通の安全・安心の確保に必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	道路管理者である市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	事業内容について毎年度見直しを行いながら進めている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	道路交通の安全・安心を確保するため、市が負担すべき事業である。
項目点合計		２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		９７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

安全・安心で快適な市民生活の確保のため、道路改良や舗装補修等を実施する当該事業は必要不可欠であるが、労務費や資材費の高騰によりコストは増大傾向にある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080203	02 建設課	567,276	566,103	404,260	161,843	500,000	462,000
	くらしのインフラ整備事業（建設）							
2	080203	02 建設課	39,285	42,123	40,700	1,423	42,500	42,500
	道路施設排水対策事業（建設）							
3	080203	02 増田地域課	21,120	43,207	23,000	20,207	2,000	0
	天下森スキー場接続道路整備事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 社会資本整備総合交付金等事業（道路）

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080203－030100　　土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費 社会資本整備総合交付金等事業（		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

三次医療機能を有する総合病院や、統合再編される小中学校など公共・公益施設への幹線の利便性と安全が確保され、市民生活の質の維持向上に寄与している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【社会資本整備総合交付金等事業（道路）（建設）】

・社会資本整備総合交付金等を活用し、主要プロジェクト関連路線等、幹線道路等を主とした整備、維持補修を実施する。

④根拠法令	社会資本整備総合交付金交付要綱	⑤関連計画	社会資本総合整備計画 横手市道路整備計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年度　531,866千円 ・交付金:【舗装】城野岡赤坂線ほか4路線　【防雪柵】睦合造山線　【委託】路面性状調査 ・補助金:【舗装】三嶋馬鞍線　【委託】仁井田古内線(測量設計) ・公適債:【舗装】高口越前線　ほか1路線 ・緊自債:【舗装】堤美砂古線
令和 7年度（決算）	令和6年度繰越　343千円 ・単独:【補償】仁井田古内線 令和7年度　518,939千円 ・交付金:【舗装】浅舞今宿線ほか6路線　【防雪柵】睦合造山線　【委託】舗装個別施設計画 ・補助金:【道路改良】仁井田古内線 ・緊自債:【舗装】黒川田ノ植線　ほか3路線
令和 8年度（計画）	・交付金:【舗装】八柏船沼線ほか7路線　【防雪柵】睦合造山線 ・補助金:【道路改良】仁井田古内線 ・公適債:【舗装】折橋四津屋線ほか3路線
令和 9年度（計画）	・交付金:【舗装】舗装個別施設計画路線より選定　【防雪柵】睦合造山線 ・起　債:【舗装】舗装個別施設計画路線より選定

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	「道路網の整備」に対する市民満足度　※まちづくりアンケート				
		単位	%	目標値	66.5	67.5	68.5	69.5	
				実績値	62.3	60			
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	252,164	238,932	227,643	244,081	218,847
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	273,400	262,600	262,500	266,300	294,100
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	33,882	30,334	29,139	44,619	47,053
事業費の小計		559,446	531,866	519,282	555,000	560,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	道路法及び同施行令により、道路の機能を維持するために必要な措置を講じることが定められている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、広く市民全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、市民のみならず道路利用者すべてが対象である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	道路管理者である市が行うべき事業であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	道路交通の安全・安心の確保に必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	道路管理者である市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	事業内容について毎年度見直しを行いながら進めている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	道路交通の安全・安心を確保するため、市が負担すべき事業である。
項目点合計		２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		９７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

安全・安心で快適な市民生活の確保のため、道路改良や舗装補修等を実施する当該事業は必要不可欠であるが、労務費や資材の高騰によりコストは増大傾向にある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	080203	03	建設課 社会資本整備総合交付金等事業（道路）（建設）	531,866	519,282	490,143	29,139	555,000	560,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 道路メンテナンス補助事業（橋りょう維持）

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080204－010100　　土木費・道路橋りょう費・橋りょう維持費 道路メンテナンス補助事業（橋り		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び横手市往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

コストを勘案しつつ、橋りょうの補修・架替え工事が計画的に行われることにより、橋りょうの長寿命化と安全が確保され、市民が安心して橋りょうを利用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【道路メンテナンス補助事業（橋りょう維持）（建設）】

道路メンテナンス補助を活用し、市内の２ｍ以上の橋りょうについて、５年サイクルで点検を実施するとともに、補修、架替え工事を計画的に実施する。

④根拠法令	道路法 道路局所管補助事業採択基準等	⑤関連計画	横手市橋梁・トンネル・道路附属物長寿命化修繕計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和5年度繰越　70,139千円 ・補修工事（二本松橋、宝竜橋）　委託（本郷橋設計、大巻3号橋設計） 令和6年度　214,402千円 ・補修工事（戸波橋）　委託（宝竜橋積算、油川12号橋設計） ・点検（道路橋(194橋) 道路施設(トンネル 1、シェルター 1)点検委託、橋梁長寿命化修繕計画更新）
令和 7年度（決算）	令和6年度繰越　600千円 ・委託（金谷橋設計、相川野東里線1号橋設計、松川橋設計） 令和7年度　172,454千円 ・補修工事（宝竜橋、油川12号橋、上台橋）　委託（金谷橋設計、相川野東里線1号橋設計、松川橋設計） ・道路橋点検（179橋）・跨道橋点検（7橋）
令和 8年度（計画）	・橋梁補修工事（3橋）　・橋梁補修設計（1橋） ・点検委託（道路橋(101橋) 横断歩道橋(1橋) 法定外跨道橋(1橋) 跨線橋(3橋)、 道路構造物長寿命化修繕計画更新）
令和 9年度（計画）	○橋梁補修工事　○橋梁補修設計 ○道路橋定期点検業務委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	管理する橋梁に関する苦情件数				
		単位	件	目標値	0				
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	102,339	165,908	103,191	91,422	143,880
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	47,000	0	62,000	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	41,911	118,633	7,863	108,078	96,120
事業費の小計		191,250	284,541	173,054	199,500	240,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	道路構造物の定期点検や保全に関しては、法令により道路管理者が実施することとなっている。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、広く市民全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	安全・安心な道路交通の確保は、市民のみならず道路利用者すべてが対象である。
②事業の有効性	９	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向け、見直しや改善を行いながら取り組んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	道路管理者である市が行うべき事業であり、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民生活の安全・安心の確保に必要不可欠である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	道路管理者である市が行うべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	毎年、事業内容について事業対象及び施工方法を協議し計画的に実施している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	安心・安全な道路交通の確保のため市道管理者が行うべきものである。
項目点合計		２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　10×3　　総合評価点　９７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

安全・安心で快適な市民生活の確保のため、当該事業は必要不可欠であるが、労務費や資材費の高騰によりコストは増大傾向にある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	080204	01	建設課	284,541	173,054	165,191	7,863	199,500	240,000
	道路メンテナンス補助事業（橋りょう維持）（建設）								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 道路橋りょう災害復旧事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－110201－010100　　災害復旧費・公共土木施設災害復旧費・道路橋りょう災害復旧費 道路橋りょ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び横手市往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

自然災害により被災した横手市全域の道路橋りょうに対し、迅速に応急対策工事が実施され、安全が早期に確保されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【道路橋りょう災害復旧事業】・・地域の復旧、復興のため、災害発生時に迅速に応急対策工事を実施する。

④ 根 拠 法 令	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年度　70,581千円 ・補助：【復旧工事】大沢南2号線、【委託】大沢岩ノ沢線ほか11路線 ・単独：【復旧工事】平野沢線、【委託】二井山上溝線ほか1路線、その他単独災害復旧費
令和 7年度（決算）	令和6年度繰越　212,431千円 ・補助:【復旧工事】横手平鹿増田線ほか8路線 ・単独:【復旧工事】二井山上溝線ほか3路線、【委託】梨木古内線、その他単独復旧費
令和 8年度（計画）	災害発生時の応急対策工事の経費等
令和 9年度（計画）	災害発生時の応急対策工事の経費等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	災害発生時における初期対応実施率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	15,821	71,771	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	16,000	5,100	45,600	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	215	49,660	95,060	4,000	4,000
事業費の小計		16,215	70,581	212,431	4,000	4,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	110201	01 建設課						
	現年発生道路橋りょう災害復旧事業		70,581	212,431	117,371	95,060	4,000	4,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 地方街路整備事業

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080403－010100　　土木費・都市計画費・街路事業費 地方街路整備事業・地方街路整備事業（八		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	－	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び来横者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

歩行者の安全・安心な交通を確保するとともに自動車交通の円滑化を図る

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地方道路交付金事業（八幡根岸線）（建設）】
「都市計画道路八幡根岸線」　総事業費14.98億円　延長L=315.0m　幅員W=9.0(18.0)m　横手市負担率 6%
・県が実施する都市計画道路八幡根岸線の建設事業負担金

④ 根 拠 法 令	都市計画法	⑤ 関 連 計 画	横手市総合交通戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H29年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	県都市計画事業負担金 ・都市計画道路八幡根岸線の建設事業負担金 県事業負担金　県事業 97,000千円×6%(R5繰)＝5,820千円、 県単事業3,212千円×6%(R5繰)＝193千円、9,382千円×6%＝562千円(R6) 市単独事業 移転補償金(移転完了後払)3,906千円×2件＝7,812千円（R5繰）
令和 7年度（決算）	都市計画道路八幡根岸線 建設事業負担金 ・地方街路交付金事業　163,000千円×6%＝9,780千円のうち9,653千円（R7） ・地方街路整備事業（県単）　32,000千円×6%＝1,920千円のうち1,916千円（R7） ・地方街路整備事業（歩道整備アロケ）　100%　1,078千円（R7） ・地方街路交付金事業　10,000千円×6%＝600千円のうち38千円（R6繰越）
令和 8年度（計画）	県都市計画事業負担金 ・都市計画道路八幡根岸線の建設事業負担金
令和 9年度（計画）	県都市計画事業負担金 ・都市計画道路八幡根岸線の建設事業負担金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	事業進捗率　県事業計画による（事業費ベース）				
		単位	%	目標値	100				
				実績値	72.7	89.3	99.9		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	5,600	5,200	8,600	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	13,508	9,187	4,085	960	600
事業費の小計		19,108	14,387	12,685	960	600

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	秋田県が施工する横手都市計画道路事業への負担金である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	市街地の円滑な交通の確保と通学等の歩行者・自転車等の安全な空間を確保する事業であり、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	地域住民や市民はもとより、全ての道路利用者が対象である。
②事業の有効性	８	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		２	過年度事業の遅れを事業内容の見直しにより着実に進捗しているが、若干の目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	安全で快適な道路環境整備を行うため必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	秋田県が施工する横手都市計画道路事業の負担金であり、県と市が連携し行う事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		３	事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	市街地の道路網形成のため、事業主体の秋田県に対する市負担金であり適切である。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　10×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
都市計画道路八幡根岸線は令和８年度をもって完了する予定である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	080403 01 都市計画課 地方街路整備事業（八幡根岸線）（建設）	14,387	12,685	8,600	4,085	960	600

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 鉄道整備・地域開発促進事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020108－110100　総務費・総務管理費・地域振興費 鉄道整備・地域開発促進事業・鉄道整備・		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0503	市民が利用しやすい公共交通の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
鉄道の利便性を高め、市民が利用しやすい公共交通の充実を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
次の協議会等の活動により、ＪＲ北上線の利用促進、フル規格の新幹線整備、ＪＲ奥羽本線の全線複線化等を目指す。 ①ＪＲ北上線利用促進協議会（H26設立）、②秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会（H28設立・市町村の負担金なし） ③奥羽本線全線複線化早期完成期成同盟会（S37設立・負担金なし）　④北上横手地域開発促進協議会（S55設立） ※次の２団体は平成29年度に解散済。⑤山形新幹線延伸早期実現期成同盟会(H4設立)、⑥山形新幹線大曲延伸推進会議(H13設立) ⑦十文字駅管理業務（JRからの簡易委託を受け、十文字駅の乗車券類発売等管理業務を実施）

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①ＪＲ北上線利用促進協議会…会長及び事務局：西和賀町 【100周年記念事業】10/6横手市でシンポジウム開催、沿線小学生乗車体験、沿線ゆかりのアーティスト事業ほか 【利用促進に係る事業】グループ助成（実績191人）、月極駐車場助成事業（実績3件） ②秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会、③奥羽本線全線複線化早期完成期成同盟会（書面開催） ④北上横手地域開発促進協議会…会長及び事務局：令和6年度総会後から北上市 6/25総会・平和街道サミットを西和賀町で開催、2/5ＪＲ盛岡支社への要望活動を3市町の首長・議長参加で実施
令和 7年度（決算）	①ＪＲ北上線利用促進協議会…会長及び事務局：西和賀町 【100周年記念事業】10/5北上市でシンポジウム開催、沿線小学生乗車体験、テレビ番組制作事業ほか 【利用促進に係る事業】グループ助成（実績109人）、月極駐車場助成事業（実績2件）ほか ②秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会、奥羽本線全線複線化早期完成期成同盟会（書面開催） ③北上横手地域開発促進協議会…会長及び事務局：北上市 6/30総会・平和街道サミットを横手市で開催、3/2ＪＲ盛岡支社への要望活動を3市町の首長・議長参加で実施
令和 8年度（計画）	①JR北上線利用促進基本計画に基づく利用促進活動の実施 ②北上横手地域開発促進協議会による北上横手地域の開発促進にかかる事業の実施 ③各種期成同盟会による要望活動
令和 9年度（計画）	①JR北上線利用促進基本計画に基づく利用促進活動の実施 ②北上横手地域開発促進協議会による北上横手地域の開発促進にかかる事業の実施 ③各種期成同盟会による要望活動

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手駅－1日平均の乗車人員を目標値以上に維持（翌年度の7月にＪＲ東日本ＨＰで公開）				
		単位	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
				実績値	1,062	1,062			
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	216	3,576	1,198	1,195	1,273
事業費の小計		216	3,576	1,198	1,195	1,273

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	将来に亘って横手市が交通の要衝として機能するため、JR北上線の維持や国道107号の利便性向上等を目指し、継続して取り組む必要がある。また、市の副拠点に位置する十文字駅に人員を配置することにより、さらなる地域の活性化を図る必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	公共交通機関である鉄道や駅の存続は市全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	公共交通機関である鉄道は、すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	公共交通全体の利用者が減少しているなかで、協議会が主体となって様々な利用促進策を実施しており、利用者数は微増傾向が続いている。しかしながら、目標値との乖離もあることから目標値の修正についても検討する必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似する事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	便利で快適なまちづくりを目指すうえで、公共交通機関の維持や利便性向上は必要不可欠である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	利用者数の減少により廃線や廃駅となることを防ぐためには、市が主体的に取り組む必要性が高いものである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	関係する自治体間で連携し足並みを揃えながら事業を行っており、常に内容を見直しながら実施している。また、十文字駅管理においては、JRのダイヤ改正や利用者の状況に合わせ、人員を配置する時間を適宜見直ししている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	公共交通機関としての鉄道の維持確保を目的としていることから、受益者負担は発生しない。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：9×4　＋　8×3　＋　9×3
総合評価点		８７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
JR東日本が利用の少ない線区や駅といった経営状況を開示しており、ローカル線の維持確保が厳しい状況にある。ローカル線存続のためには、関係自治体との連携をさらに強化して継続的に利用促進等に取り組んでいく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	11 経営企画課						
	鉄道整備・地域開発促進事業		3,576	1,198	0	1,198	1,195	1,273
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 地域公共交通費

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020108－020100　総務費・総務管理費・地域振興費 地域公共交通費・生活バス路線運行費補助		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0503	市民が利用しやすい公共交通の充実
	⑤目指す将来の姿	―	市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・地域住民の通院、通学、通勤又は買い物等の生活に欠かすことのできないバス路線の運行が確保されている。
・地域の実情に即した輸送サービスを実現するため、住民や交通事業者、行政などの多様な関係者による協議が行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【生活バス路線運行費補助事業】…生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部を乗合バス事業者へ補助。
【地域公共交通活性化事業】…地域公共交通活性化協議会が行う事業への負担金。【代替運行事業】…バス廃止路線における代替交通（乗合タクシー）の運行、自家用有償旅客運送の運行。【シャトルバス運行事業】…11月～3月の冬期間、大森リゾート村周辺へのシャトルバスを運行。【十文字駅管理業務受託費】…JRからの簡易委託を受け、十文字駅の乗車券類発売等管理業務を行う。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市地域公共交通計画(R6～R10年度)
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部を乗合バス事業者へ補助 国県補助対象分78,020千円、市単独4,352千円、十文字待合所維持費43千円 ・地域公共交通活性化協議会が行う事業の負担金支出（61,670千円） デマンド交通利用者32,726人、循環バス利用者42,851人、免許証自主返納（回数券交付決定）312人 ・バス廃止路線における代替交通（乗合タクシー）5路線、自家用有償旅客運送2路線の運行（25,080千円） ・大森シャトルバス運行（冬期間のみ）（546千円）、JR十文字駅の乗車券類発売等業務の受託（4,025千円）
令和 7年度（決算）	・生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部を乗合バス事業者へ補助 国県補助対象分75,893千円、市単独4,261千円、十文字待合所維持費43千円 ・地域公共交通活性化協議会が行う事業の負担金支出（60,845千円） デマンド交通利用者31,070人、循環バス利用者41,705人、免許証自主返納（回数券交付決定）298人 ・バス廃止路線における代替交通（乗合タクシー）4路線、自家用有償旅客運送2路線の運行（20,986千円） ・大森シャトルバス運行（冬期間のみ）（539千円）
令和 8年度（計画）	①生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部を乗合バス事業者へ補助 ②地域公共交通活性化協議会が行うデマンド交通や循環バスへの負担金の支出 ③バス廃止路線後の地域における移動を確保するための乗合タクシー等の実施
令和 9年度（計画）	①生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部を乗合バス事業者へ補助 ②地域公共交通活性化協議会が行うデマンド交通や循環バスへの負担金の支出 ③バス廃止路線後の地域における移動を確保するための乗合タクシー等の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	路線バス利用者数（10－9月）民間路線バス年間利用者数 ※R6から新計画の目標値に変更				
		単位	人	目標値	454,100	290,367	264,451	245,683	228,116
				実績値	335,395	315,704	311,396		
	2	区分	成果	指標	デマンド交通利用者数（4－3月）※R6から新計画の目標値に変更				
		単位	人	目標値	39,700	32,822	31,943	31,575	31,049
				実績値	36,501	32,726	31,070		
	3	区分	成果	指標	代替交通利用者数（10－9月）				
		単位	人	目標値	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
				実績値	7,535	7,338	6,682		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	18,569	20,682	18,050	17,850	18,569
	(c) 地方債	0	0	0	4,500	0
	(d) 使用料・手数料	582	482	580	636	582
	(e) その他特定財源	645	612	657	611	645
	(f) 一般財源	163,734	151,960	147,510	150,167	146,254
事業費の小計		183,530	173,736	166,797	173,764	166,050

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	人口減少・少子高齢化が進むなか、市民の生活の足として公共交通機関の維持や利便性の向上を図ることは、市の重点施策である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	公共交通の維持確保はまちづくりの根幹をなす施策の一つであり、すべての市民に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民をサービスの対象として、生活の足の維持確保を図る事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標値を概ね達成する見込みであるが、代替交通を運行している地域では人口減少の影響により利用者が低下傾向にあるため、新たな需要の掘り起こし等を実施し目標の達成を図る。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似する事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	便利で快適なまちづくりを目指すうえで、公共交通の維持や利便性向上を図ることは必要不可欠である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	当市においては、路線バス事業等の採算性が極めて低く、市民の移動手段を維持・確保していくためには市が主体的に取り組む必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	運行ルートの見直しや他の公共交通機関との接続性等を改善することにより、新たな需要を取り込むことができるものと捉えている。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	事業者・利用者・行政の負担バランスについては、適宜見直しを行いながら、生活の足としてサービス水準を維持していく。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：9×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
人口データ等を用いた循環バス運行ルートの再編等により、利便性向上と市民生活における移動の足を確保し、持続可能な地域公共交通を構築する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 ／ 担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020108 | 02 | 経営企画課 生活バス路線運行費補助事業	82,415	80,116	11,213	68,903	80,197	80,479
2	020108 | 02 | 経営企画課 地域公共交通活性化協議会事業	61,670	60,845	6,204	54,641	58,690	57,926
3	020108 | 02 | 経営企画課 地域内交通確保事業	25,080	20,986	1,213	19,773	24,500	22,142
4	020108 | 02 | 経営企画課 地域内交通確保事業（建設）	0	0	0	0	4,636	0
5	020108 | 02 | 経営企画課 シャトルバス運行事業	546	539	0	539	635	635
6	020108 | 02 | 経営企画課 十文字駅管理業務受託費	4,025	4,311	657	3,654	5,106	4,868
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 都市計画総務管理費

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080401－020100　　土木費・都市計画費・都市計画総務費　都市計画総務管理費・都市計画総務管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民、横手市全域

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

適正な土地利用により良好な生活空間が確保され、また地域資源を活かしたまちづくりを実施していることにより、市民が安全で快適に暮らしている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・都市計画の策定及び都市施設等の整備のため、法令上必要な手続きを確実に実施する。
・都市計画の策定や都市施設等の整備のために必要な知識、適正な土地利用の指導・誘導を行うための知識を得るため、研修会・講習会等へ参加する。
・都市計画・中心市街地活性化・都市公園・土地区画整理事業に係る協議会等への参加により、情報収集・情報交換を行う。

④根拠法令	都市計画法	⑤関連計画	横手市都市計画マスタープラン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	都市計画審議会の開催、東北発コンパクトシティ会議への参加、中心市街地活性化推進協議会総会・まちづくり研究会・要望会・意見交換会の開催、中心市街地活性化推進協議会・都市計画協会・日本公園緑地協会・全国都市公園整備促進協議会、街づくり区画整理協会等への負担金、横手市統合型地理情報システムデータ更新等
令和 7年度（決算）	都市計画審議会の開催、東北発コンパクトシティ会議等、中心市街地活性化推進協議会総会等、中心市街地活性化推進協議会・都市計画協会・日本公園緑地協会・全国都市公園整備促進協議会・市街地再開発協会への負担金等、都市計画基礎調査、横手市統合型地理情報システムデータ更新等
令和 8年度（計画）	都市計画審議会・都市再生推進協議会の開催、東北発コンパクトシティ会議等、中心市街地活性化推進協議会総会等、開発許可研修、中心市街地活性化推進協議会・都市計画協会・日本公園緑地協会・全国都市公園整備促進協議会への負担金等、開発審査基準改訂、横手市統合型地理情報システムデータ更新等
令和 9年度（計画）	都市計画マスタープラン・立地適正化計画見直し、都市計画審議会・都市再生推進協議会の開催、東北発コンパクトシティ会議等、中心市街地活性化推進協議会総会等、開発許可研修、中心市街地活性化推進協議会・都市計画協会・日本公園緑地協会・全国都市公園整備促進協議会への負担金等、横手市統合型地理情報システムデータ更新等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	都市計画等に係る研修会・講習会・協議会等への参加				
		単位	人	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	17	21	13		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	580	1,277	947	1	1
	(e) その他特定財源	20	21	15	1	1
	(f) 一般財源	3,027	3,034	10,048	7,294	17,498
事業費の小計		3,627	4,332	11,010	7,296	17,500

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080401	02 都市計画課	4,332	11,010	962	10,048	7,296	17,500
	都市計画総務管理費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 景観・屋外広告物対策事業

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080401－030100　土木費・都市計画費・都市計画総務費 景観・屋外広告物対策事業・景観・屋		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民、事業者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市景観計画における目指すべき将来像である「山と川、豊かな自然と歴史あふれる景観を、守り、育て、つなげる田園都市」に向かっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【景観・屋外広告物対策事業】

・横手市全域に横手市景観計画及び横手市屋外広告物条例を周知する。届出（景観計画）及び許可（屋外広告物条例）対象物件の適正運用に向けた指導を行う。

・住民主導のまちづくりを推進する(羽黒町上内町地区・増田地区景観重点地区等)

④根拠法令	景観法、屋外広告物法	⑤関連計画	横手市景観計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手市景観審議会、まちづくり委員会事業費補助（羽黒・上内町地区旧町名標柱の補修163,350円、増田地区ごみ集積所修景200,000円）、景観形成事業補助（2件　739,542円）、景観計画区域内における行為届出事務、屋外広告物表示（設置）許可等更新申請事務等、景観・屋外広告物パトロール
令和 7年度（決算）	横手市景観審議会、まちづくり委員会事業費補助（羽黒・上内町地区旧町名標柱の補修199,320円、増田地区ごみ集積所修景200,000円）、景観形成事業補助（5件 1,600,680円）、景観計画区域内における行為届出事務、屋外広告物表示（設置）許可等更新申請事務等、景観・屋外広告物パトロール
令和 8年度（計画）	横手市景観審議会、まちづくり委員会事業費補助、景観形成事業補助、景観計画区域内における行為届出事務、屋外広告物表示（設置）許可等更新申請事務等、景観・屋外広告物パトロール
令和 9年度（計画）	横手市景観審議会、まちづくり委員会事業費補助、景観形成事業補助、景観計画区域内における行為届出事務、屋外広告物表示（設置）許可等更新申請事務等、景観・屋外広告物パトロール

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	屋外広告物表示（設置）許可等更新申請における更新率維持				
		単位	%	目標値	95	95	95	95	95
				実績値	94	97.7	95.1		
	3	区分	活動	指標	住民等が主体的に取り組むまちづくりへ支援（景観形成事業補助）				
		単位	件	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	3	2	5		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,495	1,469	2,356	2,744	2,892
事業費の小計		1,495	1,469	2,356	2,744	2,892

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		４	屋外広告物法及び景観法により位置付けられている事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	屋外広告物及び景観に関する規則などは、市全体の公益に資するものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	屋外広告物及び景観に関する規則などは、全ての市民・事業者が対象となる。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	屋外広告物の更新率の向上に向けた取り組みを継続して行っている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	総合計画に位置付けられた事業である。
③事業の効率性	９	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		４	法令に基づき市が実施すべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	社会情勢に応じ改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	サービス水準は適切である。
項目点合計		２９	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　10×3　＋　9×3
総合評価点		９７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

法令等に定められ、市総合計画にも位置付けられている継続すべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080401	03 都市計画課	1,469	2,356	0	2,356	2,744	2,892
	景観・屋外広告物対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 横手駅駅前広場管理費

部・担当課	まちづくり推進部・横手地域課	担当課長氏名	坂水　剛
予算科目事業	1 一般会計－080401－040100　　土木費・都市計画費・都市計画総務費　横手駅駅前広場管理費・横手駅駅前広		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手駅東西駅前広場内の施設(広場、駐車場)利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

利用者が安全、安心に施設を利用してもらうための維持管理に係る経費

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手駅駅前広場管理費】
・東口駅前広場、西口広場駐車場の適切な維持管理

④根拠法令	横手市横手駅西口駅前広場設置条例 横手市横手駅西口駅前広場管理運営規則	⑤関連計画	横手市・ひと・しごと創生総合戦略
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・西口広場駐車場の自動料金精算システム機器の保守管理委託業務 ・除排雪委託業務 ・東口駅前広場融雪施設の保守管理委託業務
令和 7年度（決算）	・西口広場駐車場の自動料金精算システム機器の保守管理委託業務 ・除排雪委託業務 ・東口駅前広場融雪施設の保守管理委託業務
令和 8年度（計画）	・西口広場駐車場の自動料金精算システム機器の保守管理委託 ・除排雪業務の委託 ・東口駅前広場融雪施設の保守管理委託
令和 9年度（計画）	・西口広場駐車場の自動料金精算システム機器の保守管理委託 ・除排雪業務の委託 ・東口駅前広場融雪施設の保守管理委託

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	駅西口広場駐車場を適切に管理することにより利用台数の増加を図る				
		単位	台	目標値	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
				実績値	12,853	14,304	13,213		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	4,169	5,520	5,216	5,870	4,100
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	7	2,029
事業費の小計		4,169	5,520	5,216	5,877	6,129

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	080401 04 横手地域課 横手駅駅前広場管理費	5,520	5,216	5,216	0	5,877	6,129

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0008 建築住宅総務費

部・担当課	建設部・建築住宅課	担当課長氏名	佐藤　守
予算科目事業	1 一般会計－080501－020100　　土木費・住宅費・建築住宅総務費 建築住宅総務費・建築住宅総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市営住宅等入居者・市民・建築工事業者等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
公営住宅や公共建築物の適正な維持管理がなされており、入居者等の満足が充足されている。 適切な行政サービス・指示等により、適法な建築物が市内に建設され、安全で良好な住環境が整備される。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【建築住宅総務費】・・・公共建築物の建設・修繕工事の作業確認及び検査、民間等の建築物の安全パトロール、違法建築物の巡視、市営住宅等の修繕工事の作業確認及び検査、市営住宅等の管理運営事務、建築及び住宅関係の指導・検査等

④ 根 拠 法 令	建築基準法、公営住宅法等	⑤ 関 連 計 画	横手市営住宅等長寿命化計画、横手市財産経営推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①建築住宅総務費…公共建築物の建設・修繕工事の作業確認、検査 民間等の建築物の安全パトロール、違法建築物の巡視 公営住宅等及び建築・住宅関係の指導、検査等 居住支援協議会の活動（総会、研修会6回、物件の紹介等）
令和 7年度（決算）	①建築住宅総務費…公共建築物の建設・修繕工事の作業確認、検査 民間等の建築物の安全パトロール、違法建築物の巡視 公営住宅等及び建築・住宅関係の指導、検査等 居住支援協議会の活動（総会、研修会2回、先進地視察、意見交換会、物件の紹介等）
令和 8年度（計画）	①建築住宅総務費…公共建築物の建設・修繕工事の作業確認、検査　建築パトロールの実施　公営住宅等及び建築・住宅関係の指導、検査等、居住支援協議会の活動
令和 9年度（計画）	①建築住宅総務費…公共建築物の建設・修繕工事の作業確認、検査　建築パトロールの実施　公営住宅等及び建築・住宅関係の指導、検査等、居住支援協議会の活動

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	建築物の完了検査				
		単位	件	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	42	46	40		
	2	区分	活動	指標	公共建築物の現況調査・確認及び工事検査				
		単位	件	目標値	300	300	300	300	300
				実績値	312	305	339		
	3	区分	活動	指標	市営住宅の維持管理の確認・検査				
		単位	件	目標値	25	20	20	20	20
				実績値	38	61	62		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,194	4,657	5,011	5,357	5,129
事業費の小計		4,194	4,657	5,011	5,357	5,129

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	080501 02 建築住宅課 建築住宅総務費	4,657	5,011	0	5,011	5,357	5,129

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 建築確認費

部・担当課	建設部・建築住宅課	担当課長氏名	佐藤　守
予算科目事業	1 一般会計－080501－030100　　土木費・住宅費・建築住宅総務費 建築確認費・建築確認費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民や建築業者等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

建築基準法等の法令に基づいた安全な建築物が建設され、安全・安心なまちづくりと市民の暮らしが確保されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【建築確認費】

建築確認申請等の迅速かつ適正な審査、違反建築防止のための完了検査率の向上

④ 根 拠 法 令	建築基準法等	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・建築基準法並びに関係法令に基づいた審査、検査を行った ①建築確認申請等の審査及び完了検査（審査：市45件、民305件、検査：市46件、民265件） ②長期優良住宅の認定（42件）　③バリアフリー建築に関する届出等の審査及び検査（20件） ④建築物等の定期報告の受理（68件）　⑤建築物省エネ法に関する届出等の審査（5件） ⑥建設リサイクル法に基づく届出事務（234件）
令和 7年度（決算）	・建築基準法並びに関係法令に基づいた審査、検査を行った ①建築確認申請等の審査及び完了検査（審査：市49件、民279件、検査：市40件、民263件） ②長期優良住宅の認定（40件）　③バリアフリー建築に関する届出等の審査及び検査（15件） ④建築物等の定期報告の受理（61件）　⑤建築物省エネ法に関する届出等の審査（3件） ⑥建設リサイクル法に基づく届出事務（248件）
令和 8年度（計画）	①建築確認申請等の審査及び完了検査 ②長期優良住宅の認定　③バリアフリー建築に関する届出等の審査及び検査 ④建築物等の定期報告の受理　⑤建築物省エネ法に関する届出等の審査　⑥建設リサイクル法に基づく届出事務
令和 9年度（計画）	①建築確認申請等の審査及び完了検査 ②長期優良住宅の認定　③バリアフリー建築に関する届出等の審査及び検査 ④建築物等の定期報告の受理　⑤建築物省エネ法に関する届出等の審査　⑥建設リサイクル法に基づく届出事務

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	確認申請審査の第1回指摘までの日数				
		単位	日	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	3	3	4		
	2	区分	成果	指標	完了検査率				
		単位	%	目標値	98	98	98	98	98
				実績値	74	102	82		
	3	区分	活動	指標	違反建築等パトロール				
		単位	回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	6	6	6		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	3,164	2,646	3,223	2,746	1,947
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	713	1,756	1,467	3,126	2,608
事業費の小計		3,877	4,402	4,690	5,872	4,555

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	080501 03	建築住宅課	建築確認費	4, 402	4, 690	3, 223	1, 467	5, 872	4, 555

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0013 まちなか再生推進事業

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080406－010100　　土木費・都市計画費・市街地整備費 まちなか再生推進事業・市街地再開発対		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
区域内権利者のみならず全市民および来横者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
横手駅東口におけるにぎわい創出と魅力ある横手市の玄関口の再生により事業区域内外の活性化を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
民間が実施する市街地再開発事業への事業支援

④ 根拠法令	都市再開発法、都市計画法 市補助金等交付要綱(No.571)　ほか	⑤ 関連計画	横手市の施設展望 横手市財産経営推進計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の実施に対する支援 運営支援：総会4回、理事会14回、通常定例会議12回、総合定例会議12回、A街区定例会議2回、その他各種工事等会議59回 事業支援：補償、除却工事、建築工事、公共施設管理者負担金 ・再開発組合が実施する事業に対する補助金交付（令和7年度へ一部明許繰越） ・関係機関等との事業調整：庁内関係課室所9回　国・県5回　インフラ関係5回
令和 7年度（決算）	・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の実施に対する支援 運営支援：総会4回、理事会15回、通常定例会議13回、総合定例会議12回、その他各種工事等会議42回 事業支援：補償、除却工事、建築工事 ・再開発組合が実施する事業に対する補助金交付 ・関係機関等との事業調整：庁内関係課室所6回　国・県3回　インフラ関係2回
令和 8年度（計画）	・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の実施に対する支援 ・再開発組合が実施する事業に対する補助金交付（施設建築物建設工事） ・関係機関等との事業調整
令和 9年度（計画）	・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の実施に対する支援 ・再開発組合が実施する業務に対する支援（解散申請業務、清算支援業務） ・関係機関等との事業調整（事後評価業務）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	事業実施計画に基づいた着実な事業の実施				
		単位	%	目標値	75	75	89	100	100
				実績値	55	76	89		
	2	区分	成果	指標	市道駅東線の一日当たり交通量（歩行者・自転車・自動車）				
		単位	人	目標値	2,500	2,750	3,000	3,000	3,000
				実績値	2,685	2,908	2,993		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	597,467	476,273	665,175	0
	(b) 県支出金	0	224,128	144,030	155,260	0
	(c) 地方債	0	344,100	226,500	224,300	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	567	44,953	16,563	35,437	10,000
事業費の小計		567	1,210,648	863,366	1,080,172	10,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	中心市街地へのまちなか居住推進及びにぎわい再生のため必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	横手市全体に波及効果をもたらす事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	事業対象は、横手駅東口第二地区市街地再開発組合である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	再開発組合による事業計画の見直しがあり、事業完了予定が２年遅延したものの、目標達成は可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	国及び秋田県の法令等により、市が補助金交付を実施する事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	随時、事業内容の見直しを行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国及び秋田県の法令等に沿った適切な受益者負担となっている。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		８５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
横手駅東口第二地区市街地再開発事業の施設建築物建設工事が令和８年度末に完了する予定のため。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	080406	01	都市計画課	1,210,648	863,366	846,803	16,563	1,080,172	10,000
	市街地再開発対策費（横手駅東口第二地区）（建設）								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 都市再生整備事業

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080406－020100　　土木費・都市計画費・市街地整備費 都市再生整備事業・都市再生整備事業（		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	―	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
計画区域内住民、全市民、来街者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
横手駅東口における居住と魅力ある環境整備により、立地適正化計画の誘導区域内の都市再生を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
市民アンケートの実施、方針の検討、計画区域の検討、目標の検討、実施事業の検討等を作成する。

④ 根 拠 法 令	都市再生特別措置法	⑤ 関 連 計 画	都市計画マスタープラン・立地適正化計画
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	A街区保留床取得、電線共同溝整備、歩道詳細設計業務委託、歩道改良工事
令和 7年度（決算）	道路詳細設計業務委託、歩道改良工事、歩道新設工事
令和 8年度（計画）	事業効果調査分析業務委託等
令和 9年度（計画）	令和8年度で終了

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	―	指標	詳細設計の完成件数				
		単位	件	目標値	1	1			
				実績値	3	1	1		
	2	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	59,867	616,935	83,750	4,500	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	50,500	1,080,700	74,200	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	19,775	119,645	49,730	4,500	0
事業費の小計		130,142	1,817,280	207,680	9,000	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	都市計画マスタープラン、立地適正化計画の実現に向けた重点事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	来街者すべてがサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	事業効果検証のためには、目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	都市計画マスタープラン、立地適正化計画の実現に向けた重点事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	都市再生特別措置法、都市再生整備計画に基づき自治体が実施する事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	適宜都市再生整備計画を変更し、計画に基づいた事業を実行している。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	駅前の再興は市全体の発展に寄与するものと考える。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

都市計画マスタープラン、立地適正化計画の実現に向けた重点事業であり、地域拠点整備による市街地の活性化のため早急に実施すべき事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	080406	02	都市計画課	1,817,280	207,680	157,950	49,730	9,000	0
	都市再生整備事業（建設）								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 副拠点エリア整備事業（十文字地域）

部・担当課	総務企画部・地域創造戦略室	担当課長氏名	宮本　敦
予算科目事業	1 一般会計－020107－140100　　総務費・総務管理費・企画費 副拠点エリア整備事業（十文字地域）・副拠点		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市民、市外からの来訪者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

十文字副拠点エリア内に多世代が楽しむことができる賑わいのある場所を整備することで、横手市民にとって「住んで良し訪れて良しの住みよいまち」という満足感が得られている状態にする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

十文字副拠点エリアにおいて、多世代が集まる憩いの場を中心とした賑わい拠点を整備する。
【副拠点エリア構想事業（十文字地域）】

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	横手市都市計画マスタープラン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・よこて市商工会及び十文字町建設連合組合移転補償
令和 7年度（決算）	・シン・十文字拠点基本構想の策定 ・シン・十文字拠点基本構想策定委員会における協議及び合意形成（計５回） ・シン・十文字拠点基本構想に係る中高生によるワークショップの実施（計３回）
令和 8年度（計画）	・シン・十文字拠点基本計画の策定 ・関係機関等との協議及び合意形成
令和 9年度（計画）	・シン・十文字拠点基本設計の実施 ・基本計画に基づく既存施設解体設計の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	整備スケジュールに応じた年度毎の進捗率				
		単位	%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	29,500	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	89,684	3,313	30,501	218,515
事業費の小計		0	89,684	3,313	60,001	218,515

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	上位計画に位置づけられた市の重点事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	すべての市民を対象とした多世代が集う賑わい拠点を創出する事業であり、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象であり、より多くの市民が気軽に利用できる運用を図る。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	副拠点エリア整備スケジュールにそって着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。部局間の横断的な連携のもとで事業を実施している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手市南部の拠点として交流や賑わい、経済の活性化を生み出すために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	多世代が集う賑わい拠点を創出するために、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	事業の方向性や規模、実施手段について精査と見直しを重ねている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適正である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手市南部の中心という位置づけに留まらず、東北各地から交流人口の拡大も視野に入れながら、多世代が楽しめる賑わい拠点として事業を継続していく。事業進捗に応じたコスト投入、活動の拡大が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020107	14	地域創造戦略室	副拠点エリア整備事業（十文字地域）	0	3,313	0	3,313	1,001	515
2	020107	14	地域創造戦略室	副拠点エリア整備事業（十文字地域）（建設）	89,684	0	0	0	59,000	218,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 土地区画整理費

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080402－010100　　土木費・都市計画費・土地区画整理費 土地区画整理費・土地区画整理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

土地区画整理事業区域内の市民・区域内を通行する市民若しくは市往来者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

道路・公園・宅地が一体的に整備され、健全で安全な住みよい街になっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【中事業名】三枚橋地区土地区画整理事業の清算金徴収交付事務、駅西線無散水消雪施設整備及び維持管理、市所有地維持管理

④根拠法令	土地区画整理法	⑤関連計画	
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	三枚橋地区土地区画整理事業の清算金徴収事務、駅西線無散水消雪施設維持管理、市所有地維持管理 その他委託（駅西線無散水消雪施設）5,496千円、駅西線無散水消雪施設点検口設置工事　N=4箇所　工事費8,340千円
令和 7年度（決算）	三枚橋地区土地区画整理事業の清算金徴収事務 駅西線無散水消雪施設洗浄業務委託　5,476千円
令和 8年度（計画）	三枚橋地区土地区画整理事業の清算金徴収事務、駅西線無散水消雪施設維持管理、市所有地維持管理
令和 9年度（計画）	三枚橋地区土地区画整理事業の清算金徴収事務、駅西線無散水消雪施設維持管理、市所有地維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	徴収清算金累計収入率				
		単位	%	目標値	32	88	92	95	100
				実績値	84.5	94.4	96.3		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	10,800	8,300	7,900	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	46,302	0	0	0	0
	(f) 一般財源	7,340	5,887	6,964	6,251	6,353
事業費の小計		64,442	14,187	14,864	6,251	6,353

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080402	01 都市計画課	5,847	5,813	0	5,813	6,251	6,353
	土地区画整理費							
2	080402	01 都市計画課	8,340	9,051	7,900	1,151	0	0
	土地区画整理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0019 中心市街地活性化事業

部・担当課	総務企画部・地域創造戦略室	担当課長氏名	宮本　敦
予算科目事業	1 一般会計－020107－150100　　総務費・総務管理費・企画費 中心市街地活性化事業・中心市街地活性化基本		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	－	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

中心市街地

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

都市機能の増進および経済活力の向上

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【中心市街地活性化基本計画策定事業】・・中心市街地活性化基本計画の策定
【中心市街地活性化対策事業】・・三枚橋１号街区公園の利活用方法の検討などの各種事業の実施

④根拠法令	中心市街地の活性化に関する法律	⑤関連計画	横手市都市計画マスタープラン
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・中心市街地活性化基本計画の策定 ・中心市街地活性化協議会（準備会）を開催 ・中心市街地活性化協議会を開催
令和 7年度（決算）	・中心市街地活性化基本計画の策定 ・中心市街地活性化協議会における協議及び合意形成（計３回） ・中心市街地活性化対策事業の実施（三枚橋1号街区公園の利活用検討）
令和 8年度（計画）	・中心市街地活性化基本計画の策定（基本計画変更及びフォローアップ、中心市街地活性化協議会の開催） ・中心市街地活性化対策事業の実施（三枚橋1号街区公園の利活用検討、中心市街地にぎわいイベント補助金）
令和 9年度（計画）	・中心市街地活性化基本計画の策定（基本計画変更及びフォローアップ、中心市街地活性化協議会の開催） ・中心市街地活性化対策事業の実施（三枚橋1号街区公園の利活用検討、中心市街地にぎわいイベント補助金）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	中心市街地活性化基本計画策定の進捗状況				
		単位	%	目標値		100	100		
				実績値		100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	6,980	6,806	6,496	8,196
事業費の小計		0	6,980	6,806	6,496	8,196

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	中心市街地の活性化に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	都市機能および経済活力が向上され市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象であり、良好な生活空間が確保されるほか、賑わいや地域の活力が創出される事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	中心市街地活性化のスケジュールにそって着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。部局間の横断的な連携のもとで事業を実施している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されるために不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	都市機能の増進および経済活力の向上のために、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業の必要性や内容について精査を重ねている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８３

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手市中心市街地基本計画に基づき、中心市街地活性化対策事業を継続していく必要があり、事業進捗に応じたコスト投入及び活動が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	15 地域創造戦略室	6,980	4,341	0	4,341	196	196
	中心市街地活性化基本計画策定事業							
2	020107	15 地域創造戦略室	0	2,465	0	2,465	6,300	8,000
	中心市街地活性化対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 浄化槽設置整備事業

部・担当課	上下水道部・下水道課	担当課長氏名	高橋　公成
予算科目事業	1 一般会計－040107－040100　　衛生費・保健衛生費・環境衛生費 浄化槽設置整備事業・浄化槽設置整備事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	－	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

合併処理浄化槽整備地区の住民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活排水による公共用水域の水質汚濁が防止され、生活環境の向上が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【浄化槽設置整備事業（建設）】

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する市民に対し補助金を交付する。

④ 根拠法令	浄化槽法	⑤ 関連計画	横手市下水道中長期ビジョン、生活排水処理構想、横手市地域循環型社会形成推進地域計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	補助事業①合併浄化槽本体：5人槽：85基、7人槽4基、10人槽3基　計92基 ②単独槽撤去費：4基、③汲取槽撤去費：19基、④単独槽及び汲取槽転換配管費：53基 単独事業❶合併浄化槽本体：5人槽3基 ❷単独槽及び汲取槽転換配管費：1基 ❸上乗せ補助：95基　　合計：95基
令和 7年度（決算）	補助事業 ①合併浄化槽本体：5人槽69基、7人槽1基、10人槽1基　計71基 ②単独槽撤去費：5基、③汲取槽撤去費：12基、④単独槽及び汲取槽転換配管費：38基 単独事業 ❶合併浄化槽本体：5人槽2基、❷上乗せ補助：73基　合計73基
令和 8年度（計画）	補助事業 ①合併浄化槽本体5人槽100基、7人槽5基、10人槽5基　計110基 ②単独槽撤去5基、③汲取槽撤去20基、④配管費75基 単独事業 ①合併浄化槽本体7人槽10基、②汲取撤去10基、③配管費10基、④上乗せ120基　合計120基
令和 9年度（計画）	補助事業 ①合併浄化槽本体5人槽120基、7人槽15基、10人槽5基　計140基 ②単独槽撤去7基、③汲取槽撤去80基、④配管費87基 単独事業 ❶合併浄化槽本体7人槽10基、❷汲取撤去10基、❸配管費10基、❹上乗せ150基　合計150基

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	浄化槽設置基数				
		単位	基	目標値	150	150	150	150	
				実績値	82	95	73		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	30,450	30,450	8,026	0	0
	(b) 県支出金	15,881	18,221	13,618	23,190	0
	(c) 地方債	8,200	9,500	7,300	12,000	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,184	7,495	20,028	55,030	0
事業費の小計		56,715	65,666	48,972	90,220	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、集合処理以外の地区にこの事業以外の施策がない。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	適切な生活排水処理を行う上で、妥当な施策である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市の施策によりエリアを限定し、補助対象としている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	合併処理浄化槽の整備率は、着実に向上している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局において類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	横手市全域の水洗化率の向上に欠かせない事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	国及び県の補助制度を利用する為には、市の計画策定が義務付けられているため、市の施策として実施する事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	市の計画を5年ごとに見直しながら計画を策定し、事業に反映している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	国の基準に基づく補助制度となっており、適切な水準である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
公共水域の水質汚濁の防止を図りながら事業を継続することなので、個別処理区域の水洗化率の向上と、横手市全域における水洗化率の向上を図る。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	040107	04	下水道課						
	浄化槽設置整備事業（建設）			65,666	48,972	28,944	20,028	90,220	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 水洗化資金融資利子補給費

部・担当課	上下水道部・下水道課	担当課長氏名	高橋 公成
予算科目事業	1 一般会計－040107－050100　衛生費・保健衛生費・環境衛生費 水洗化資金融資利子補給費・水洗化資金融		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	－	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

下水道事業区域以外の地区

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

生活排水による公共用水域の水質汚濁が防止され、生活環境の向上を図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【水洗化資金融資利子補給費（債務負担）】
合併処理浄化槽設置事業に伴う排水設備工事の借入金への利子補給を行う。

④根拠法令	浄化槽法	⑤関連計画	横手市地域循環型社会形成推進地域計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	合併処理浄化槽設置事業に伴う排水設備工事の借入金への利子補給を行う。 令和5年度以前融資分　1件　41,101円 令和6年度新規融資分　1件　12,991円
令和 7年度（決算）	合併処理浄化槽設置事業に伴う排水設備工事の借入金への利子補給を行う。 令和6年度以前融資分　4件　75,302円 令和7年度新規融資分　0件　0円
令和 8年度（計画）	合併処理浄化槽設置事業に伴う排水設備工事の借入金への利子補給を実施
令和 9年度（計画）	合併処理浄化槽設置事業に伴う排水設備工事の借入金への利子補給を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	利子補給件数				
		単位	件	目標値	46	46	46	46	46
				実績値	7	4	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	33	54	75	735	735
事業費の小計		33	54	75	735	735

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	040107 05 下水道課 水洗化資金融資利子補給費（債務負担）	54	75	0	75	735	735

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 上水道事業繰出金

部・担当課	上下水道部・経営管理課	担当課長氏名	二階堂　寛
予算科目事業	1 一般会計－040301－010100　　衛生費・水道費・上水道費 上水道事業繰出金・上水道事業繰出金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	－	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

水道利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

上水道事業経営の健全性が維持され、安全で廉価な水道水を継続的に市民が利用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【上水道事業繰出金】　　・総務省の繰出基準に基づく一般会計からの繰出及び資本費に対する基準外繰出を実施する。
【上水道事業繰出金（建設）】・繰出基準に基づき建設改良費の一部について一般会計からの繰出を実施する。

④ 根 拠 法 令	地方公営企業法	⑤ 関 連 計 画	水道事業ビジョン、水道事業計画・経営戦略、管路更新・耐震化計画、水安全計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出金　274,751千円（統合水道　161,931、児童手当　1,820、ダム負担金　24,000 未普及　25,500、広域化　73,500、調整額　△12,000） ・基準外繰出金　22,667千円（電力料金高騰対策資本費繰出　22,667）
令和 7年度（決算）	水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出 238,815千円（統合水道　156,620、児童手当　1,945、ダム負担金36,300、 未普及　62,100、調整額　△18,150） ・基準外繰出　39,183千円（電力料金高騰対策資本費繰出等 39,183）
令和 8年度（計画）	水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出 199,017千円（元利償還154,867、児童手当1,900、ダム29,600、未普及24,800、調整額△12,150） ・基準外繰出　44,161千円（電力料金高騰対策資本費繰出）
令和 9年度（計画）	水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出 180,809千円（元利償還144,909、児童手当1,900、ダム16,700、未普及17,300）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	81,900	122,500	98,400	54,400	34,000
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	153,247	174,918	179,598	188,778	146,809
事業費の小計		235,147	297,418	277,998	243,178	180,809

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040301	01 経営管理課	174,418	179,598	0	179,598	188,778	146,809
	上水道事業繰出金							
2	040301	01 経営管理課	123,000	98,400	98,400	0	54,400	34,000
	上水道事業繰出金（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0005 非公営水道事業

部・担当課	健康福祉部・健康推進課	担当課長氏名	小國　晶
予算科目事業	1 一般会計－040101－060100　衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費　非公営水道事業・非公営水道事業（増		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	－	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

非公営水道組合・非公営水道利用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

非公営飲用水道について安全が確保され、安全に利用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【非公営水道費】（横手・増田・平鹿・雄物川・十文字）
・非公営水道の定期的な水質検査実施への補助

④ 根拠法令	水道法	⑤ 関連計画	横手市水道計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	非公営水道組合の水質検査事業への補助　千本野小規模水道組合：10,000円
令和 7年度（決算）	非公営水道組合の水質検査事業への補助 ・小規模水道組合（24組合）　・簡易水道組合（6組合）
令和 8年度（計画）	非公営水道組合の水質検査事業への補助
令和 9年度（計画）	非公営水道組合の水質検査事業への補助

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	非公営水道組合の水質検査実施率の向上				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,111	915	908	3,657	3,389
事業費の小計		1,111	915	908	3,657	3,389

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	市の上水道給水区域であるが、未だ配管敷設が終了していない地域における非公営水道の安全な水の安定共給を図るため必要な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	水質検査費用が高額になることから助成はやむを得ないと考える。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	上水道給水区域であるが、配管敷設が終了していない地域であるため妥当である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	水質検査費用への助成により、検査実施率は100%となっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	基本構想の基本目標「安全で快適な住みよいまちづくり」のため望ましい事業である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	上水道給水区域であるが、配管敷設が終了していない地域であるため、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	すべての地区において上水道での給水が可能となるよう、関係部署と協議を進めていく必要がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	本来は受益者負担が原則であるが、上水道給水区域で配管敷設が終了していない地域であり、安全な水の安定供給が必要である。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		７２	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

上水道の未普及区域において、非公営水道の水質管理を促し、安全衛生を確保するために必要な事業である。
関係部署と連携し上水道への切替を進めていく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	040101	06 増田市民サービス課	35	13	0	13	103	133
	非公営水道事業（増田地域）							
2	040101	06 平鹿市民サービス課	175	245	0	245	822	732
	非公営水道事業（平鹿地域）							
3	040101	06 雄物川市民サービス課	577	510	0	510	2,162	1,920
	非公営水道事業（雄物川地域）							
4	040101	06 十文字市民サービス課	128	140	0	140	570	604
	非公営水道事業（十文字地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 都市下水路管理費

部・担当課	上下水道部・下水道課	担当課長氏名	高橋　公成
予算科目事業	1 一般会計－080498－989700　　土木費・都市計画費・都市下水路費 都市下水路管理費・都市下水路管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	－	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

下水道事業区域の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

雨水の浸水対策を図ることにより、豪雨時でも安全な市民生活が確保されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【都市下水路管理費】
都市下水路の適切な維持管理をおこなう。

④ 根 拠 法 令	下水道法	⑤ 関 連 計 画	横手都市計画事業
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・維持管理、保守点検 ・都市下水路浚渫工事　下タ町都市下水路浚渫工事　L＝42m
令和 7年度（決算）	・維持管理、保守点検 ・都市下水路浚渫工事　下タ町下水路浚渫工事　L＝80m
令和 8年度（計画）	企業会計へ移行
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	浚渫工事				
		単位	m	目標値	270	270	270	270	270
				実績値	82	42	80		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	17,420	1,093	4,852	0	0
事業費の小計		17,420	1,093	4,852	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080498	98 下水道課	1,093	1,469	0	1,469	0	0
	都市下水路管理費							
2	080498	98 下水道課	0	3,383	0	3,383	0	0
	都市下水路管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 下水道事業繰出金

部・担当課	上下水道部・経営管理課	担当課長氏名	二階堂　寛
予算科目事業	1 一般会計－080404－010100　　土木費・都市計画費・下水道費 下水道事業繰出金・下水道事業繰出金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	－	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

使用者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

下水道事業経営の健全化が維持され、生活環境の保全と公共用水域の水質保全の確保及び快適な市民生活の向上が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【下水道事業繰出金】　・使用料収入の改善と（水洗化率の向上）とあわせ、安定的な事業運営に資するための繰出基準に基づく繰出及び基準外繰出を実施する。

④根拠法令	地方公営企業法	⑤関連計画	横手市下水道中長期ビジョン、横手市生活排水処理構想、横手市公共下水道事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	下水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため下水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出　885,662千円（資本費等 731,649、元金償還 153,493、児童手当　520） ・基準外繰出　326,221千円（資本費等　59,749、元金償還 150,736、維持管理費 53,251、特別損失 62,485）
令和 7年度（決算）	下水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため下水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出　829,755千円（資本費等 675,047、元金償還 154,508、児童手当　200） ・基準外繰出　286,543千円（資本費等 78,922、元金償還 130,000、維持管理費 77,621）
令和 8年度（計画）	下水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため下水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出　962,166千円（資本費等 791,251、元金償還 148,708、雨水費 22,007、児童手当 200） ・基準外繰出　303,957千円（資本費等 133,957、元金償還 170,000）
令和 9年度（計画）	下水道事業の経営基盤強化及び資本費負担の軽減のため下水道事業会計へ繰出 ・基準内繰出　899,013千円（資本費等 765,251、元金償還 132,682、児童手当　1,080） ・基準外繰出　273,305千円（資本費等 113,305、元金償還 160,000）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,131,806	1,211,883	1,116,298	1,266,123	1,172,318
事業費の小計		1,131,806	1,211,883	1,116,298	1,266,123	1,172,318

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	080404	01	経営管理課						
	下水道事業繰出金			1,211,883	1,116,298	0	1,116,298	1,266,123	1,172,318

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 公共施設サポーター制度事業

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－080101－030100　　土木費・土木管理費・土木総務費 公共施設サポーター制度事業・公共施設サ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0506	市民がくつろげる公共空間の整備
	⑤目指す将来の姿	－	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

身近な公共空間である道路、公園等の公共施設において、市民が主体となって環境美化活動を行うことにより、生活環境に対する市民意識の高揚を図り、もって市民との協働によるまちづくりを推進することを目的とする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

公共施設サポーター制度により、登録団体等が道路や公園などの公共施設において行う環境美化活動に対し必要な消耗物品・用具等の支給または貸与を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	公共施設サポーター制度に基づく登録団体等が道路や公園などの公共施設においてサポーター活動を行う際に必要な消耗物品・用具等の支給を実施する。 物品支援実績　405,361円（支給団体:10団体　内訳：消耗品　313千円　燃料費　30千円） 市民サポーター活動損害保険料 62千円
令和 7年度（決算）	公共施設サポーター制度に基づく登録団体等が道路や公園などの公共施設においてサポーター活動を行う際に必要な消耗物品・用具等の支給を実施する 物品支援実績　340,371円（支給団体:10団体　内訳：消耗品　312千円　燃料費　28千円） 市民サポーター活動損害保険料 62千円
令和 8年度（計画）	公共施設サポーター制度に基づく登録団体等が道路や公園などの公共施設においてサポーター活動を行う際に必要な消耗物品・用具等の支給を実施
令和 9年度（計画）	公共施設サポーター制度に基づく登録団体等が道路や公園などの公共施設においてサポーター活動を行う際に必要な消耗物品・用具等の支給を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	公共施設等市民サポーター登録団体数				
		単位	団体	目標値	65	65	65	65	65
				実績値	70	71	72		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	404	405	402	409	409
事業費の小計		404	405	402	409	409

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	道路や公園の維持管理を住民と企業との協働により実施していることから、継続する必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	公共施設の美化に失する事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	公共施設を利用するすべての市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	目標は年度により変動がある。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	県で実施する事業に類似している。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	公共施設の美化のため必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間活動を支援する制度であり、市が取り組むものである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	支援内容に改善の余地はある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担もあり、適正である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
市民協働のまちづくりに必要な事業である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	080101 03 建設課 公共施設サポーター制度事業	405	402	0	402	409	409

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 社会資本総合整備事業

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080405－020100　土木費・都市計画費・公園費 社会資本総合整備事業・都市公園長寿命化対策		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0506	市民がくつろげる公共空間の整備
	⑤目指す将来の姿	－	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び来横者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民のみならず、広域的な利用にも対応できる総合的な余暇活動の場となっている。
公園施設の生涯コストの低廉化がなされている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【都市公園整備事業（横手公園）（建設）】
・横手公園魅力向上計画に基づいた公園整備を実施する。
【都市公園長寿命化対策（建設）】
・都市公園において、劣化が著しい施設からの順次改築更新を実施する。

④根拠法令	都市公園法	⑤関連計画	横手公園魅力向上計画 横手市公園施設長寿命化計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H29年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	都市公園遊具改修工事 ［R5繰越］横手公園具改修工事1,383千円、［R6］横手公園具改修工事25,484千円、八王寺公園具改修工事5,329千円
令和 7年度（決算）	都市公園遊具改修工事 ・大森公園遊具改修工事 ・真人公園遊具改修工事 ・中央児童公園遊具改修工事 ・本郷第二公園遊具改修工事 計４件　30,993千円
令和 8年度（計画）	都市公園遊具改修工事
令和 9年度（計画）	都市公園遊具改修工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	「公園・緑地の整備」に対する市民満足度				
		単位	%	目標値	67	68			
				実績値	75.2	61.5	60.8		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	20,973	15,395	15,000	15,000	15,000
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	14,600	15,800	15,000	15,000	15,000
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,896	1,160	993	1,000	1,000
事業費の小計		42,469	32,355	30,993	31,000	31,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市総合計画重点施策であり、横手市公園施設長寿命化計画に基づく事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民利用はもちろんのこと、観光シーズンには市外や県外からの来園者も多く訪れる。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	多くの市民が憩いの場や遊び場として快適に利用するための事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	市民が満足する公園・緑地に向けて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。各地域局と横断的な連携のもとで事業を実施している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策で目標とする安全・安心な暮らし、良好な住環境の形成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が管理する公園施設であるため、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	長寿命化計画を定期的に見直しており事業の必要性や内容について精査を重ねている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較しても、長寿命化計画で定めたサービス水準は適正である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
公園利用者の安全・安心を確保するとともに施設の長寿命化を図るため、長寿命化計画に基づく計画的な維持管理が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080405	02 都市計画課	32,355	30,993	30,000	993	31,000	31,000
	都市公園長寿命化対策事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 公園管理費

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－080405－010100　　土木費・都市計画費・公園費 公園管理費・公園管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0506	市民がくつろげる公共空間の整備
	⑤目指す将来の姿	－	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民及び来横者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民のだれもが、安全で安心に公園を利用し、公園が安らぎの場になっている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【公園管理費】（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）・公園の清掃、除草及び施設管理の徹底し、公園遊具の日常点検と合わせ、劣化点検及び安全領域点検を国の定める指針等に従い実施する。・公園における災害等の緊急時に対応する。
【農村公園等費（債務負担）】（横手・平鹿・雄物川・大森・十文字・大雄）・農村公園の指定管理委託料として支出する。

④根拠法令	都市公園法 都市公園における遊具の安全確保に関する指針	⑤関連計画	横手市公園施設長寿命化計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H29年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	公園遊具基準・劣化点検（31公園），遊具点検実務講習会，各地域局で、公園の清掃、除草、施設の管理の徹底，公園緊急伐木手数料，公園緊急対応調査・設計業務委託，公園緊急対応工事 横手地域54,875千円、増田地域12,803千円、平鹿地域15,458千円、雄物川地域9,512千円、大森地区11,658千円、十文字地域2,624千円、山内地域10,161千円、大雄地域3,609千円。その他都市計画課執行分1,813千円。
令和 7年度（決算）	・公園遊具基準・劣化点検（31公園）、遊具点検実務講習会1名 ・各地域局による公園維持管理　横手地域61,039千円、増田地域3,709千円、平鹿地域16,278千円、雄物川地域11,045千円、大森地域20,156千円、十文字地域3,433千円、山内地域11,161千円、大雄地域4,441千円
令和 8年度（計画）	公園遊具基準・劣化点検（31公園），遊具点検実務講習会，各地域局で、公園の清掃、除草、施設の管理の徹底，公園緊急伐木手数料，公園緊急対応調査・設計業務委託，公園緊急対応工事
令和 9年度（計画）	公園遊具基準・劣化点検（31公園），遊具点検実務講習会，各地域局で、公園の清掃、除草、施設の管理の徹底，公園緊急伐木手数料，公園緊急対応調査・設計業務委託，公園緊急対応工事

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	都市公園・遊具の維持管理に関する苦情への対応率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	2	区分	成果	指標	市民協働により管理する公園数				
		単位	か所	目標値	54	55	55	55	55
				実績値	48	48	47		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	1,900	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	4,966	4,919	5,148	4,262	4,214
	(e) その他特定財源	15	19	21	24	24
	(f) 一般財源	110,186	107,852	128,616	135,964	115,953
事業費の小計		117,067	112,790	133,785	140,250	120,191

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	080405	01 都市計画課	1,813	2,523	0	2,523	12,898	2,670
	公園管理費							
2	080405	01 横手地域課	52,748	60,907	4,972	55,935	61,724	56,487
	公園管理費（横手地域）							
3	080405	01 横手地域課	1,995	0	0	0	770	0
	公園管理費（横手地域）（建設）							
4	080405	01 増田地域課	3,080	3,709	164	3,545	4,165	4,165
	公園管理費（増田地域）							
5	080405	01 平鹿地域課	15,106	15,926	19	15,907	16,361	15,490
	公園管理費（平鹿地域）							
6	080405	01 平鹿地域課	0	0	0	0	1,413	0
	公園管理費（平鹿地域）（建設）							
7	080405	01 雄物川地域課	6,000	7,312	0	7,312	7,205	6,817
	公園管理費（雄物川地域）							
8	080405	01 雄物川地域課	3,292	3,292	0	3,292	3,292	3,292
	公園管理費（雄物川地域）（債務負担）							
9	080405	01 大森地域課	11,372	12,030	0	12,030	12,841	11,195
	公園管理費（大森地域）							
10	080405	01 十文字地域課	2,443	3,253	8	3,245	1,675	3,251
	公園管理費（十文字地域）							
11	080405	01 山内地域課	10,161	11,161	0	11,161	11,785	11,890
	公園管理費（山内地域）							
12	080405	01 大雄地域課	3,180	4,012	6	4,006	3,572	3,334
	公園管理費（大雄地域）							
13	080405	01 横手地域課	132	132	0	132	132	132
	農村公園等費（横手地域）（債務負担）							
14	080405	01 平鹿地域課	352	352	0	352	352	352
	農村公園等費（平鹿地域）（債務負担）							
15	080405	01 平鹿地域課	0	0	0	0	819	0
	農村公園等費（平鹿地域）（建設）							
16	080405	01 雄物川地域課	220	441	0	441	350	220
	農村公園等費（雄物川地域）（債務負担）							
17	080405	01 大森地域課	286	286	0	286	286	286
	農村公園等費（大森地域）（債務負担）							
18	080405	01 十文字地域課	181	180	0	180	181	181
	農村公園等費（十文字地域）（債務負担）							
19	080405	01 大雄地域課	429	429	0	429	429	429
	農村公園等費（大雄地域）（債務負担）							
20	080405	01 大森地域課	0	7,840	0	7,840	0	0
	公園管理費（大森地域）（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 都市計画施設災害復旧事業

部・担当課	建設部・都市計画課	担当課長氏名	高橋　惣平
予算科目事業	1 一般会計－110203－010100　　災害復旧費・公共土木施設災害復旧費・都市計画施設災害復旧費 都市計画施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0506	市民がくつろげる公共空間の整備
	⑤目指す将来の姿	－	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

R6.07月豪雨により被災した公園

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

被災箇所を災害復旧工事により安全を確保する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【都市計画施設災害復旧事業】迅速に災害復旧工事を実施する。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	法面崩落復旧（横手公園・大森公園・真人公園）、冠水復旧（雄物川河川公園） 消耗品費99千円、その他委託料941千円、使用料及び賃借料3,920千円、原材料費639千円、備品購入費770千円
令和 7年度（決算）	実績無し
令和 8年度（計画）	都市公園災害復旧
令和 9年度（計画）	都市公園災害復旧

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	都市公園災害復旧				
		単位	箇所	目標値		4	1	1	1
				実績値		4	0		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	6,370	0	2,000	2,000
事業費の小計		0	6,370	0	2,000	2,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	110203	01 都市計画課						
	都市計画施設災害復旧事業		6,370	0	0	0	2,000	2,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策６】

基本目標

みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり

【政策６】

やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます《市民協働》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策6-１】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実			
横手市交流センター費	1478		
地域振興総務費	1482		
大森町中心部活性化施設費	1486		
地区会議支援事業	1490		
集会施設整備補助事業	1494		
横手総合交流促進施設費	1498		
増田地区多目的研修センター費	1502		
十文字環境改善センター費	1506		
十文字西スポーツ交流センター費	1510		
山内三又コミュニティセンター費	1514		
集落多目的施設費	1518		
大森コミュニティ交流センター費	1522		
コミュニティ助成事業	1526		
地区交流センター費	1530		
山内南郷コミュニティセンター費	1534		
大雄コミュニティ交流センター費	1538		
地域づくり支援事業	1542		
地域づくり活動補助事業	1546		
町内会活動補助事業	1550		
雄物川コミュニティセンター費	1554		
農村体験学習施設費	1558		
狙半内地域交流施設整備事業	1562		
【施策6-2】男女が尊重し合う社会づくり			
男女共同参画社会推進事業	1566		
自分らしい生き方・働き方推進事業	1570		
【施策6-3】情報を共有する環境の整備			
広報費	1574		
行政情報発信事業	1578		
市政協力員費	1582		
情報発信戦略プロジェクト事業	1586		
地域情報通信網管理運営費	1590		
コミュニティＦＭ中継局運営費	1594		
【施策6-4】市内外との交流連携の推進			
友好都市交流事業	1598		
多文化共生推進事業	1602		
移住定住促進事業	1606		
ふるさと納税ＰＲ事業	1610		
ふるさと会支援事業	1614		
奨学金返還支援事業	1618		
共創推進総務費	1622		
地域おこし協力隊活用事業	1626		
若者結婚生活応援事業	1630		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 横手市交流センター費

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020107－040100　　総務費・総務管理費・企画費 横手市交流センター費・横手市交流センター施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・交流センター施設

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・人と人とが「つどいつながる」交流拠点として、多くの人に利用され、交流が促進されている。
・利用者が快適・安全に施設を利用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手市交流センター施設管理費】
・Ｙ２ぷらざ及び横手駅東口市営駐車場の施設の維持管理（施設の保守、定期点検、修繕等）
【横手市交流センター事業】
・Ｙ２ぷらざ及び横手駅東口市営駐車場の適正な施設運営
・よこてイースト等と連携したイベントの開催による賑わいの創出

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・Y2ぷらざ及び横手駅東口市営駐車場の各種設備の定期点検、適正な施設管理業務の遂行 ・よこてイースト等と連携したイベントの開催による賑わいの創出 （施設管理費　56,130,260円、運営費　22,457,350円） （入館者数　185,513人）
令和 7年度（決算）	・Ｙ２ぷらざ及び横手駅東口市営駐車場の適正な管理及び運営の遂行 ・各フロアと連携し、利用者目線に立ったホスピタリティの実施 ・よこてイースト等と連携したイベントの開催による賑わいの創出 （施設管理費　54,061,363円　運営費23,438,285円） （入館者数 157,357人）
令和 8年度（計画）	・Ｙ２ぷらざ及び横手駅東口市営駐車場の適正な管理及び運営の遂行
令和 9年度（計画）	・Ｙ２ぷらざ及び横手駅東口市営駐車場の適正な管理及び運営の遂行

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間来館者数の維持				
		単位	人	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
				実績値	230,963	185,513	157,357		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	4,000	55,200
	(d) 使用料・手数料	6,750	12,085	16,449	19,469	13,898
	(e) その他特定財源	1,566	1,122	1,308	2,317	1,319
	(f) 一般財源	47,162	42,923	37,547	57,334	69,378
事業費の小計		55,478	56,130	55,304	83,120	139,795

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	04 地域づくり支援課	56,130	54,061	17,757	36,304	78,981	78,358
	横手市交流センター施設管理費							
2	020107	04 地域づくり支援課	0	1,243	0	1,243	4,139	61,437
	横手市交流センター施設管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 地域振興総務費

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－010100　　総務費・総務管理費・地域振興費 地域振興総務費・地域振興総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民、全職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域づくり支援に係る事業の円滑な推進のための体制の素地が、各地域の市民・市職員ともに整っている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域振興総務費】…地域づくり支援事業推進のため各種研修会への参加、公共施設予約システムの円滑な運営
【山内建設技能者組合補助金】…山内技能者組合への補助金支出
【イースト施設管理費】…よこてイースト事務所棟の施設管理
【地域交流施設費（共通分）】…２款で管理している各地域住民利用施設の突発的な修繕のため

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・地域づくり支援課の経常経費　210千円（消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等） ・各種負担金　193千円（（一財）地域活性化センター140千円、小規模多機能自治ネットワーク会議22千円ほか） ・公共施設予約システム　665千円 ・ＪＲＡ福島競馬「横手特別」レース副賞贈呈　99千円 ・各地域住民利用施設の突発的な修繕　13,232千円 ・山内建設技能者組合補助金　61千円
令和 7年度（決算）	・地域づくり支援課の経常経費　446千円、（一財）地域活性化センター年会費140千円 ・公共施設予約システム　747千円、ＪＲＡ福島競馬「横手特別」レース副賞贈呈　136千円 ・山内建設技能者組合補助金　61千円 ・各地域住民利用施設の突発的な修繕　13,727千円 ・よこてイースト施設管理費用　1,876千円（電気料金・使用料・共益費等等）
令和 8年度（計画）	・地域づくり支援課の経常経費（各種会議・研修旅費・消耗品・各種負担金）、ＪＲＡ福島競馬「横手特別」レース副賞贈呈、公共施設予約システムに係る経費 ・よこてイースト施設管理費（共益費、電気・空調料金、施設修繕費用）
令和 9年度（計画）	・地域づくり支援課の経常経費（各種会議・研修旅費・消耗品・各種負担金）、ＪＲＡ福島競馬「横手特別」レース副賞贈呈、公共施設予約システムに係る経費 ・よこてイースト施設管理費（共益費、電気・空調料金、施設修繕費用）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	地域づくり職員研修参加回数				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	3	5	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	214	214	214
	(f) 一般財源	756	6,491	3,131	3,965	3,899
事業費の小計		756	6,491	3,345	4,179	4,113

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	01 地域づくり支援課	6,491	1,469	0	1,469	2,123	2,123
	地域振興総務費							
2	020108	01 地域づくり支援課	0	1,876	214	1,662	2,056	1,990
	よこてイースト施設管理費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 大森町中心部活性化施設費

部・担当課	まちづくり推進部・大森地域課	担当課長氏名	大極　孝春
予算科目事業	1 一般会計－020108－090100　　総務費・総務管理費・地域振興費 大森町中心部活性化施設費・大森町中心部		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域住民の活動拠点として利用されています。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域活動推進費】・・施設が良好な状態に維持されるよう、指定管理者を指導する。
【大森町中心部活性化施設費】・・住民の活動拠点となる利活用について、モニタリングを実施する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①施設の良好な維持 ②有効利用についての検証
令和 7年度（決算）	・大森町中心部活性化施設（１，３３４㎡の土地及び建物面積１１２㎡の国登録有形文化財（建造物））の賃貸借契約及び指定管理者の更新手続き ・大森町中心部活性化施設（指定管理施設）のモニタリング調査（施設目的・運営体制・維持管理・サービス内容）の実施と指定管理者への指導
令和 8年度（計画）	①施設の良好な維持 ②有効利用についての検証
令和 9年度（計画）	①施設の良好な維持 ②有効利用についての検証

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設利用者数				
		単位	人	目標値	900	800	800	800	
				実績値	1,450	1,365	1,145		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,063	1,957	1,957	2,007	2,007
事業費の小計		2,063	1,957	1,957	2,007	2,007

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	09 大森地域課	816	816	0	816	866	866
	大森町中心部活性化施設費							
2	020108	09 大森地域課	1,141	1,141	0	1,141	1,141	1,141
	大森町中心部活性化施設費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 地区会議支援事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－070100　　総務費・総務管理費・地域振興費 地区会議支援事業・地区会議ハード事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民（36地区会議）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地区会議の運営により、住民主体の自治活動や地域づくり活動が行われている。
住民が地区の課題解決に向け主体的に取り組んでいる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地区会議運営支援ハード事業】…各地区会議の地域要望を取りまとめ、ハード事業の実施
【地区会議運営支援総務費（各地域）】…各地区会議の要望取りまとめ、運営費の支出

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・ハード事業（36地区）34,263千円 横手地域（9地区）10,892千円、増田地域（4地区）4,077千円、平鹿地域（4地区）5,311千円、雄物川地域（5地区）3,640千円、大森地域（4地区）1,490千円、十文字地域（4地区）4,251千円、山内地域（4地区）2,371千円、大雄地域（2地区）2,231千円 ・各地区会議の運営費　351千円
令和 7年度（決算）	各地区会議の地域要望をまとめハード事業を実施　（合計）31,574千円 （内訳） ・横手　9,224千円　・増田　3,303千円　・平鹿　4,633千円　・雄物川　3,621千円 ・大森　2,384千円　・十文字　4,014千円　・山内　2,265千円　・大雄　2,130千円 ・各地区会議の運営費　366千円
令和 8年度（計画）	・各地区会議からのハード事業要望を実施 ・各地区会議の運営費の支出
令和 9年度（計画）	・各地区会議からのハード事業要望を実施 ・各地区会議の運営費の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	地区会議の開催回数				
		単位	事業	目標値	108	108	108	108	108
				実績値	310		182		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	34,196	34,614	31,943	35,410	35,440
事業費の小計		34,196	34,614	31,943	35,410	35,440

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地区内の身近な要望について、地区会議において優先順位を定め決定、実施しており、必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	全市を対象としている事業であり、目的は妥当である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全ての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	6	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	地区内の住民要望を取りまとめ、優先順位を検討しながら事業実施することで、住民が主体となった地域づくり活動の一翼を担っており、効果が現れている。
		類似事業の存在	1点：類似する内容の事業が存在しており、事業の統廃合の検討の余地がある。
		1	道路補修、修繕等のハード事業は他部局の事業でも行われている。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	上位施策とつながっている。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	公共性があり市が行うべきである。
		事業内容の効率性	1点：事業当初から同じ内容や手段で実施しており、今後、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		1	ハード事業の実施については改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	基本的には市が行う事業である。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　6×3　＋　7×3　　総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

ハード事業の実施にあたっては、そのほとんどが建設部局との調整が必要なことから、緊急性や危険性、老朽化等を考慮し、優先順位を判断し対応していく必要がある。また、地区会議のあり方については、地区交流センターとの関係や体制を考慮しながら検討していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	07 地域づくり支援課						
	地区会議ハード事業		34,263	31,574	0	31,574	35,000	35,000
2	020108	07 横手地域課						
	地区会議運営支援事業（横手地域）		140	148	0	148	155	157
3	020108	07 増田地域課						
	地区会議運営支援事業（増田地域）		44	44	0	44	44	44
4	020108	07 平鹿地域課						
	地区会議運営支援事業（平鹿地域）		54	64	0	64	67	70
5	020108	07 雄物川地域課						
	地区会議運営支援事業（雄物川地域）		69	70	0	70	45	70
6	020108	07 大森地域課						
	地区会議運営支援事業（大森地域）		6	4	0	4	40	40
7	020108	07 十文字地域課						
	地区会議運営支援事業（十文字地域）		12	13	0	13	30	30
8	020108	07 山内地域課						
	地区会議運営支援事業（山内地域）		26	26	0	26	9	9
9	020108	07 大雄地域課						
	地区会議運営支援事業（大雄地域）		0	0	0	0	20	20

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 集会施設整備補助事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－060100　　総務費・総務管理費・地域振興費 集会施設整備補助事業・集会施設整備補助		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

住民自治活動の拠点となる集会施設等の整備を支援し、住民自治の円滑な推進を図る。
住民自治活動が活発になり、地域住民が互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【町内会館等施設整備補助事業】…住民自治活動の拠点となる集会施設等整備への補助金交付、コミュニティ活動に必要な備品整備への補助金交付、補助金の適正な運用と効果的な制度周知
【町内会館等整備補助事業（亀田地区）】…横手市亀田地区住民福祉増進補助金要綱に基づく地区のコミュニティ活動場整備への補助金交付

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・交付件数　30件　交付実績額　6,860千円 （内訳）改修　28件　交付実績額　6,310千円 新築　1件　交付実績額　59千円 土地購入 1件　交付実績額　500千円 ・町内会館等整備補助事業（亀田地区7自治会）
令和 7年度（決算）	・集会施設整備費補助金交付件数　25件　交付実績額　7,449千円 （内訳）改修　24件　交付実績額　3,451千円 新築　1件　交付実績額　3,998千円 ・町内会等備品整備補助金交付件数　36件　交付実績額　3,974千円 ・町内会館等整備補助事業（亀田地区7自治会）1,841千円
令和 8年度（計画）	補助金の適正な運用、効果的な制度周知（集会施設整備費補助金・町内会等備品整備補助金）
令和 9年度（計画）	補助金の適正な運用、効果的な制度周知（集会施設整備費補助金・町内会等備品整備補助金）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	補助金交付件数（補助金により整備した町内会館数）				
		単位	件	目標値	17	17	20	20	20
				実績値	20	30	25		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	1,756	1,841	0	0
	(f) 一般財源	4,734	6,860	11,423	11,450	11,450
事業費の小計		4,734	8,616	13,264	11,450	11,450

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	住民自治組織の拠点整備に対する補助であり、自治活動の円滑な推進のため必要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	住民自治組織の拠点整備に対する補助であり、申請団体においても応分の負担をしていることからニーズに合った事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	対象は全ての町内会、自治会である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		4	どこも老朽化していることが件数増加の要因であることに加え、物価高騰により整備にかかる費用が上がっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	集会施設等の新築及び改築について他の助成事業はあるが、修繕を含む助成事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民の主体的な地域活動支援のために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組むものである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年事業内容を振り返り、必要があれば、見直しを図っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な補助率、受益者負担となっている。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　10×3　＋　8×3
総合評価点		８６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
地域コミュニティの維持、住民自治活動の円滑な推進を図るうえで、拠点整備の必要性は高いものであるが、集会施設の老朽化が著しいことに加え、施設の維持管理が難しくなっている自治会も出てきている。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020108	06	地域づくり支援課						
	集会施設整備補助事業			6,860	11,423	0	11,423	11,450	11,450
2	020108	06	増田地域課						
	町内会館等整備補助事業（亀田地区）			1,756	1,841	1,841	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 横手総合交流促進施設費

部・担当課	まちづくり推進部・横手地域課	担当課長氏名	坂水　剛
予算科目事業	1 一般会計－020109－010100　　総務費・総務管理費・地域局費 横手総合交流促進施設費・オアシス館費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民が、興味関心のある活動に取り組んで自己実現を図り、また地域課題を自ら解決するためのコミュニティ活動を活発にする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【オアシス館運営費】・・オアシス館の運営　　【ふるさと館運営費】・・ふるさと館の運営
【さかえ館運営費】・・さかえ館の運営　　【あさくら館運営費】・・あさくら館の運営
【旭ふれあい館運営費】・・旭ふれあい館の運営　　【金沢孔城館運営費】・・金沢孔城館の運営

④根拠法令	横手市横手総合交流促進施設設置条例	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・総合交流促進施設の維持管理に係る点検保守と委託管理業務の実施 ・地域住民自らが地域課題を解決するための運営組織の育成 ・地区会議等による事業活動の推進
令和 7年度（決算）	・総合交流促進施設の維持管理に係る点検保守と委託管理業務の実施 ・地域住民自らが地域課題を解決するための運営組織の育成 ・地区会議等による事業活動の推進
令和 8年度（計画）	①施設の運営費　住民等が地域活動等に利用できる施設を提供（貸館）。 ②施設の維持管理　施設の維持管理費。 ③地域住民活動の推進費　住民等の自主的な活動事業及び地域運営組織育成の支援。
令和 9年度（計画）	①施設の運営費　住民等が地域活動等に利用できる施設を提供（貸館）。 ②施設の維持管理　施設の維持管理費。 ③地域住民活動の推進費　住民等の自主的な活動事業及び地域運営組織育成の支援。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	横手総合交流促進施設年間利用者数				
		単位	人	目標値	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000
				実績値	182,414	150,155	203,319		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	7,400	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,893	3,291	4,250	3,395	2,742
	(e) その他特定財源	1,812	1,718	1,727	12,827	1,672
	(f) 一般財源	38,460	38,718	72,397	82,311	69,099
事業費の小計		50,565	43,727	78,374	98,533	73,513

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	020109 01 横手地域課 オアシス館費	3,968	9,938	354	9,584	10,890	10,087
2	020109 01 横手地域課 オアシス館費（債務負担）	172	172	0	172	172	313
3	020109 01 横手地域課 ふるさと館費	7,324	12,993	1,897	11,096	14,636	14,597
4	020109 01 横手地域課 さかえ館費	6,928	12,535	729	11,806	13,688	13,091
5	020109 01 横手地域課 さかえ館費（債務負担）	178	178	0	178	179	179
6	020109 01 横手地域課 さかえ館費（建設）	0	0	0	0	6,528	0
7	020109 01 横手地域課 あさくら館費	7,610	14,242	1,429	12,813	14,178	14,550
8	020109 01 横手地域課 旭ふれあい館費	5,761	11,370	708	10,662	12,676	6,781
9	020109 01 横手地域課 金沢孔城館費	11,406	13,561	860	12,701	14,500	13,915
10	020109 01 横手地域課 金沢孔城館費（建設）	0	0	0	0	11,086	0
11	020109 01 横手地域課 ふるさと館費（債務負担）	190	32	0	32	0	0
12	020109 01 横手地域課 旭ふれあい館費（債務負担）	190	32	0	32	0	0
13	020109 01 横手地域課 旭ふれあい館費（建設）	0	3,321	0	3,321	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 増田地区多目的研修センター費

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－020109－020100　　総務費・総務管理費・地域局費 増田地区多目的研修センター費・増田地区多		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

（主に増田地域の）市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域の産業振興や生活・文化・福祉につながる活動並びに地域内のコミュニティ活動や生涯学習の場として、市民の自主的な活動が活発に行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【増田多目的センター費】
・地域住民の様々な活動の場所として、増田地区多目的研修センターの適正な維持管理を行う。

④根拠法令	横手市増田地区多目的研修センター設置条例、同管理規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	地域交流及び生涯学習の場として、施設経費の節減を図りながら適正な運営及び維持管理を実施した。 年２回の避難訓練を実施し、災害時の迅速な対応について確認した。
令和 7年度（決算）	横手市増田地区多目的研修センターの運営及び維持管理を実施する。 年２回の避難訓練を実施し、災害時の迅速な対応について確認した。
令和 8年度（計画）	横手市増田地区多目的研修センターの運営及び維持管理を実施する。 トイレの腐食した配管改修工事及び便器の洋式化のための実施設計を行う。
令和 9年度（計画）	横手市増田地区多目的研修センターの運営及び維持管理を実施する。 トイレの腐食した配管改修工事及び便器の洋式化を行う。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	年間の利用者数				
		単位	人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
				実績値	16,146	19,426	18,971		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	500	16,400
	(d) 使用料・手数料	260	250	291	269	248
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,205	2,251	2,645	3,259	2,790
事業費の小計		2,465	2,501	2,936	4,028	19,438

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020109	02 増田地域課	2,501	2,936	291	2,645	3,520	3,023
	増田地区多目的研修センター費							
2	020109	02 増田地域課	0	0	0	0	508	16,415
	増田地区多目的研修センター費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 十文字環境改善センター費

部・担当課	まちづくり推進部・十文字地域課	担当課長氏名	照井　孝志
予算科目事業	1 一般会計－020109－040100　　総務費・総務管理費・地域局費 十文字環境改善センター費・十文字環境改善		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

（主に十文字西地域の）市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域内の生活環境の向上や健康推進、交流の活発化につながる、市民の自主的な活動が促進されている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【十文字環境改善センター費】
・地域住民の様々な活動の拠点として、農村環境改善センター、西地区交流センター、西地区交流館の良好な施設の運営を図る

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・経費節減に努めながら、施設管理に取り組む（西地区交流館の管理を含む） ・施設維持管理費用：16,931千円
令和 7年度（決算）	・経費節減に努めながら、施設管理に取り組む（西地区交流館の管理を含む） ・施設維持管理費用：18,106千円
令和 8年度（計画）	・経費節減に努めながら、施設管理に取り組む ・施設維持管理費（十文字西地区交流センター・十文字農村環境改善センター・十文字西地区交流館）
令和 9年度（計画）	・経費節減に努めながら、施設管理に取り組む ・施設維持管理費（十文字西地区交流センター・十文字農村環境改善センター・十文字西地区交流館）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	西地区館　年間施設利用者数				
		単位	人	目標値	16,887	16,887	16,887	16,887	16,887
				実績値	14,142	22,154	34,279		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	132	165	288	251	251
	(e) その他特定財源	107	50	46	78	78
	(f) 一般財源	14,700	16,716	17,772	19,221	19,221
事業費の小計		14,939	16,931	18,106	19,550	19,550

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020109	04	十文字地域課						
	十文字環境改善センター費			16,931	18,106	334	17,772	19,550	19,550

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 十文字西スポーツ交流センター費

部・担当課	まちづくり推進部・十文字地域課	担当課長氏名	照井　孝志
予算科目事業	1 一般会計－020109－989700　　総務費・総務管理費・地域局費 十文字西スポーツ交流センター費・十文字西		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

（主に十文字地域の）市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域住民のコミュニティ活動、健康増進活動、スポーツ交流活動等幅広い地域活動を通して、地域の活性化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【十文字西スポーツ交流センター費】

・スポーツ活動を中心とした地域住民の自主的な活動の拠点として、十文字西スポーツ交流センターを設置し、施設の良好な管理運営を行う

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・十文字西スポーツ交流センター改修工事実施設計業務委託の実施 ・施設管理維持費：1,541千円 ・工事関係委託料：2,049千円
令和 7年度（決算）	・十文字西スポーツ交流センター改修工事及び設計・工事監理の実施 ・施設管理維持費：　2,584千円 ・工事関係委託料：　3,993千円 ・工事　　：123,576千円
令和 8年度（計画）	・令和７年度で終了
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	施設利用者数				
		単位	人	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
				実績値	2,735	1,302	756		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	1,800	120,900	0	0
	(d) 使用料・手数料	14	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,768	1,789	9,252	0	0
事業費の小計		1,782	3,589	130,152	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	020109	98	十文字地域課						
	十文字西スポーツ交流センター費			1,541	2,584	0	2,584	0	0
2	020109	98	十文字地域課						
	十文字西スポーツ交流センター費（建設）			2,048	127,568	120,900	6,668	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 山内三又コミュニティセンター費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－020109－050100　　総務費・総務管理費・地域局費 山内三又コミュニティセンター費・山内三又		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

（主に山内地域三又の）市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域のコミュニティ活動など、地域住民の主体的な活動を促進され、集落の維持活性化につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【山内三又コミュニティセンター（債務負担）】
・山内三又コミュニティセンターを設置し、運営を行う。（運営は指定管理者制度を活用）

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	指定管理者制度を活用し、適正な管理運営を実施する（指定管理者：三又部落区長） 指定管理料　192千円 三又コミュニティセンターの屋根塗装工事　2,979千円 三又コミュニティセンターの屋根塗装　設計及び設計監理業務委託　451千円
令和 7年度（決算）	指定管理者制度を活用し、適正な管理運営を実施する。（指定管理者：三又部落区長） 指定管理料　209千円
令和 8年度（計画）	指定管理者制度を活用し、適正な管理運営を実施する。（指定管理者：三又部落区長）指定管理料209千円 山内三又コミュニティセンター外壁塗装工事　5,203千円 同実施設計及び設計監理業務委託　1,109千円
令和 9年度（計画）	指定管理者制度を活用し、適正な管理運営を実施する。 指定管理料（指定管理者：三又部落区長）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	利用回数				
		単位	回	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	56	69	64		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	192	3,622	209	6,521	209
事業費の小計		192	3,622	209	6,521	209

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020109	05 山内地域課						
	山内三又コミュニティセンター費（債務負担）		192	209	0	209	209	209
2	020109	05 山内地域課						
	山内三又コミュニティセンター費（建設）		3,430	0	0	0	6,312	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 集落多目的施設費

部・担当課	まちづくり推進部・平鹿地域課	担当課長氏名	佐藤　明子
予算科目事業	1 一般会計－060109－100100　農林水産業費・農業費・農業施設費 集落多目的施設費・下鍋倉地区多目的施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	―	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域住民の生活・文化・福祉の向上につながる市民の自主的な活動が活発に行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【下鍋倉地区多目的施設費・二井山地区集落多目的施設費】
地域住民の様々な活動の拠り所として、集落多目的施設を設置し良好な施設の運営を図る。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	施設の維持管理 （燃料費、光熱水費、修繕料、委託料、賃借料）
令和 7年度（決算）	施設の維持管理 （燃料費、光熱水費、修繕料、委託料、賃借料）
令和 8年度（計画）	施設の維持管理
令和 9年度（計画）	施設の維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	―	指標	施設の適正な維持管理				
		単位	千円	目標値	1,243	1,235	1,141	1,141	1,141
				実績値	991	1,120	1,063		
	2	区分	成果	指標	下鍋倉多目的施設年間利用人数				
		単位	人	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	1,332	1,132	1,052		
	3	区分	―	指標	二井山多目的施設年間利用人数				
		単位	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績値	210	260	320		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	1	1
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	991	1,120	1,063	1,212	1,237
事業費の小計		991	1,120	1,063	1,213	1,238

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	060109	10 平鹿地域課	328	375	0	375	520	438
	下鍋倉地区多目的施設費							
2	060109	10 雄物川地域課	792	688	0	688	693	800
	集落多目的施設費（雄物川地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 大森コミュニティ交流センター費

部・担当課	まちづくり推進部・大森地域課	担当課長氏名	大極　孝春
予算科目事業	1 一般会計－020109－979800　　総務費・総務管理費・地域局費 大森コミュニティ交流センター費・大森コミ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	―	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
安全で快適なコミュニティ施設を提供し、スポーツ交流等の地域活動を通して地域の活性化を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【大森コミュニティ交流センター費】・・計画的に施設改修を実施し、良好な施設の維持に努める。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①安全で快適な施設の改修と管理 ②令和6年度末で廃止
令和 7年度（決算）	・施設の廃止 ・入口通行止め措置の実施
令和 8年度（計画）	廃止のため財産管理費へ予算を移管
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	6,000	4,000	0	0	
				実績値	4,156	3,618	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	28	27	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,899	2,070	13	0	0
事業費の小計		1,927	2,097	13	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020109	97 大森地域課						
	大森コミュニティ交流センター費		2,097	13	0	13	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0023 コミュニティ助成事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－130100　　総務費・総務管理費・地域振興費 コミュニティ助成事業・コミュニティ助成		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

コミュニティ組織

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

住民が自主的に行うコミュニティ活動が活発になり、地域の連帯感に基づく自治意識が醸成される。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【コミュニティ助成事業】（一財）自治総合センター　コミュニティ助成事業助成金による補助事業を実施する。
一般コミュニティ助成事業：コミュニティ活動に直接必要な設備の整備、コミュニティセンター助成事業：コミュニティ活動のために必要な施設の建設または大規模修繕及び備品の整備、青少年健全育成助成事業：青少年の健全育成のための事業等

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	一般コミュニティ　田中町内会（平鹿）　祭り備品整備事業　2,500千円 一般コミュニティ　三重地区交流センター運営協議会（十文字）　集会施設備品整備事業　1,100千円
令和 7年度（決算）	コミュニティセンター助成事業 持田会館新築整備 16,500千円
令和 8年度（計画）	助成事業への申請により採択された事業を実施
令和 9年度（計画）	助成事業への申請により採択された事業を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	一般コミュニティ助成事業補助金交付団体数				
		単位	団体	目標値	2	2	2		
				実績値	0	2	0		
	2	区分	活動	指標	コミュニティセンター助成事業補助金交付団体数				
		単位	団体	目標値	1	1			
				実績値	0	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	2,500	16,500	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	2,500	16,500	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	自治総合センターが宝くじ収益を財源として助成する社会貢献広報事業である。 コミュニティの推進に寄与しており、必要な事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	事業採択を受けた団体に対する補助である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	1点：目標の達成が困難であり、目標値の修正が必要である。
		1	自治総合センターの採択によることから、目標値の修正が必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない。 自治総合センターの事業であり市の予算は発生しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域コミュニティ推進事業として、財源的に有利な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	自治総合センターの事業であり市の予算は発生しない。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	申請団体が複数の場合は、選考基準により順位付けを行い、県を通して自治総合センターへ申請している。 選考基準・選考方法については適宜改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市の負担は発生しないが、受益者の応分の負担は生じる。
項目点合計	２３	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　7×3　＋　10×3	総合評価点　７５

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
自治総合センターへ申請し、採択される事業であり、市の財政負担は発生しない。事業の有効活用を推進するため、今後も周知、情報提供に努める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	13 平鹿地域課	2,500	0	0	0	0	0
	コミュニティ助成事業（平鹿地域）							
2	020108	13 大雄地域課	0	0	0	0	0	0
	コミュニティ助成事業（大雄地域）							
3	020108	98 横手地域課	0	16,500	16,500	0	0	0
	コミュニティ助成事業（横手地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 地区交流センター費

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020109－090100　総務費・総務管理費・地域局費 地区交流センター費・地区交流センター管理		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	―	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
公民館本来の目的に加え、生涯学習による人づくりを推進し、市民協働による地域づくりの支援により事業の円滑な推進を図る。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【地区交流センター事業（各地域）】…地域課題解決に向けた地域づくり活動や生涯学習活動等の地区交流センター事業の実施、地区交流センター職員（センター長、事務補助員）の配置 【地区交流センター管理費（各地域）】…地区交流センターの適正な施設維持管理

④ 根拠法令	横手市地区交流センター事業実施要綱	⑤ 関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・地区交流センター運営協議会への事業委託料　19,623千円 （金沢、境町、黒川、増田、亀田、西成瀬、狙半内、吉田、醍醐、沼館、里見、福地、館合、大沢、大森、八沢木、ほろわ、川西、十文字、三重、十文字西、山内、大雄　計23地区） ・会計年度任用職員人件費（センター長、事務補助員）報酬、期末手当、費用弁償　182,460千円 ・公用車リース料（21台）7,387千円 ・各地区交流センター施設維持管理費
令和 7年度（決算）	・地区交流センター運営協議会（２４地区）への事業委託（各地域） ・会計年度任用職員（センター長、事務補助員）の人件費（各地域） ・各地区交流センター施設維持管理費（各地域）
令和 8年度（計画）	地区交流センター施設維持管理経費
令和 9年度（計画）	地区交流センター施設維持管理経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	地区交流センター事業実施地区数				
		単位	地区	目標値	24	26	24	25	26
				実績値	23	24	24		
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	4,200	38,800	57,700	14,300
	(d) 使用料・手数料	5,790	7,322	8,676	7,152	7,331
	(e) その他特定財源	354	2,149	2,061	3,824	3,842
	(f) 一般財源	258,832	330,753	323,966	365,500	362,092
事業費の小計		264,976	344,424	373,503	434,176	387,565

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：0×4　＋　0×3　＋　0×3　　総合評価点　0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020109 | 11 | 横手地域課 地区交流センター事業（横手地域）	81,015	49,406	0	49,406	50,224	77,914
2	020109 | 11 | 増田地域課 地区交流センター事業（増田地域）	25,238	25,212	0	25,212	25,696	26,700
3	020109 | 11 | 平鹿地域課 地区交流センター事業（平鹿地域）	23,444	25,428	0	25,428	25,870	24,389
4	020109 | 11 | 雄物川地域課 地区交流センター事業（雄物川地域）	32,042	29,132	0	29,132	30,429	29,778
5	020109 | 11 | 大森地域課 地区交流センター事業（大森地域）	23,818	24,351	0	24,351	26,130	26,130
6	020109 | 11 | 十文字地域課 地区交流センター事業（十文字地域）	34,233	24,727	3,043	21,684	26,926	26,926
7	020109 | 11 | 山内地域課 地区交流センター事業（山内地域）	11,612	10,094	0	10,094	10,224	10,224
8	020109 | 11 | 大雄地域課 地区交流センター事業（大雄地域）	11,518	9,092	0	9,092	9,017	9,017
9	020109 | 11 | 横手地域課 地区交流センター管理費（横手地域）	6,211	9,391	317	9,074	10,668	6,845
10	020109 | 11 | 増田地域課 地区交流センター管理費（増田地域）	7,077	6,477	476	6,001	7,990	7,990
11	020109 | 11 | 増田地域課 地区交流センター管理費（増田地域）（建設）	0	1,663	0	1,663	0	0
12	020109 | 11 | 平鹿地域課 地区交流センター管理費（平鹿地域）	35,646	37,612	1,304	36,308	39,697	39,053
13	020109 | 11 | 平鹿地域課 地区交流センター管理費（平鹿地域）（建設）	6,928	42,464	38,800	3,664	1,912	0
14	020109 | 11 | 雄物川地域課 地区交流センター管理費（雄物川地域）	9,853	9,186	652	8,534	10,074	11,980
15	020109 | 11 | 大森地域課 地区交流センター管理費（大森地域）	7,867	13,775	281	13,494	9,943	9,943
16	020109 | 11 | 十文字地域課 地区交流センター管理費（十文字地域）	9,560	34,115	1,702	32,413	38,425	38,425
17	020109 | 11 | 山内地域課 地区交流センター管理費（山内地域）	362	3,255	73	3,182	3,516	3,516
18	020109 | 11 | 大雄地域課 地区交流センター管理費（大雄地域）	2,897	6,077	168	5,909	6,565	6,565
19	020109 | 11 | 増田地域課 農山村体験学習施設費（釣りキチ三平の里体験学習館）	10,344	10,282	2,721	7,561	11,231	11,500
20	020109 | 11 | 増田地域課 農山村体験学習施設費（釣りキチ三平の里体験学習館）（建設）	0	840	0	840	0	0
21	020109 | 11 | 雄物川地域課 地区交流センター管理費（雄物川地域）（建設）	4,759	924	0	924	56,403	15,897
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0027 山内南郷コミュニティセンター費

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－020109－060100　　総務費・総務管理費・地域局費 山内南郷コミュニティセンター費・山内南郷		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民による共助活動として市民自らが地域課題の解決に向けた活動が活発化している。また、地域のコミュニティ活動や自主防災活動、生涯学習活動が促進される。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

人口減少や少子高齢化が進む中、地域コミュニティ活動の活性化や共助活動の促進、伝統行事の継承活動等を行う上で必要となる拠点施設の維持管理を行う。

④ 根拠法令	・横手市山内南郷コミュニティセンター設置条例・横手市公民館設置条例	⑤ 関連計画	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 市民協働推進指針
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	山内南郷コミュニティセンター管理運営　合計646千円 ・需用費168千円　・役務費19千円　・委託料165千円　・使用料及び賃借料294千円
令和 7年度（決算）	山内南郷コミュニティセンター管理運営　合計659千円 ・需用費181千円　・役務費19千円　・委託料165千円　・使用料及び賃借料294千円
令和 8年度（計画）	山内南郷コミュニティセンター管理運営
令和 9年度（計画）	山内南郷コミュニティセンター管理運営

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	自主防災活動参加率				
		単位	%	目標値	52.5	52.5	52.5	52.5	52.5
				実績値	7.43	8.95	34		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	1	1	1	1	1
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	663	645	659	688	688
事業費の小計		664	646	660	689	689

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020109	06	山内地域課	646	660	1	659	689	689
	山内南郷コミュニティセンター費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 大雄コミュニティ交流センター費

部・担当課	まちづくり推進部・大雄地域課	担当課長氏名	松川　敬
予算科目事業	1 一般会計－020109－070100　　総務費・総務管理費・地域局費 大雄コミュニティ交流センター費・大雄コミ		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

安全で快適なコミュニティ施設を提供し、スポーツ交流等の地域活動をとおして地域の活性化を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【大雄コミュニティ交流センター費】・・良好な施設の維持管理に努める。

④ 根拠法令	横手市地域コミュニティ施設設置条例	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・施設管理の徹底及び安全で快適に利用できる環境整備 ・定期的な掃除 ・施設点検 需用費903千円、役務費351千円、委託料138千円、賃借料25千円
令和 7年度（決算）	・施設管理の徹底及び安全で快適に利用できる環境整備 ・定期的な掃除 ・施設点検 需用費944千円、役務費362千円、委託料131千円、賃借料25千円、工事請負費1,252千円
令和 8年度（計画）	・施設管理の徹底及び安全で快適に利用できる環境整備 ・令和７年度末で大雄農業者トレーニングセンター終了、コミュニティ交流センター体育館への移行、環境整備
令和 9年度（計画）	・施設管理の徹底及び安全で快適に利用できる環境整備

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	利用者数				
		単位	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
				実績値	7,684	7,242	5,899		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	32	29	32	90	90
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,513	1,390	9,010	6,838	6,838
事業費の小計		1,545	1,419	9,042	6,928	6,928

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020109 07	大雄地域課	大雄コミュニティ交流センター費	1,419	2,711	32	2,679	6,928	6,928
2	020109 07	大雄地域課	大雄コミュニティ交流センター費（建設）	0	6,331	0	6,331	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0030 地域づくり支援事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－030100　　総務費・総務管理費・地域振興費 地域づくり支援事業・地域づくり支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

住民主体で地域運営を行う地域運営組織が市内全域に形成され、地域の人々が将来にわたり、安心して暮らし続ける事ができている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域運営組織支援事業】…地域運営組織の形成支援や伴走支援の実施（ワークショップ・研修・先進地視察等）、センター職員や運営協議会委員向けの研修等の実施、地区交流センター大交流会による学びと交流の場の提供
【地域づくり支援事業（各地域）】…地域の特性を活かした事業の実施（旧元気事業からの移行経費）

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・形成支援①浅舞（アンケート調査含）②朝倉③旭 ・伴走支援（里見） ・各種研修の実施①地域づくり研修（12月3日、参加者27名）②西部地域（雄物川・大森・大雄）地区交流センター情報交換会（2月22日、参加者85名） ・地区交流センター大交流会（1月30日、参加者：約170人） ・地域の特性を活かした事業の実施（各地域課：旧元気事業からの移行経費等）
令和 7年度（決算）	・形成支援（朝倉・旭）・伴走支援（里見・吉田） ・各種研修の実施①東部地域（横手・山内）4月24日、参加者35名　②南部地域（増田・平鹿・十文字）12月18日、参加者75名　③特別研修（全職員対象）2月5日、参加者58名　326千円 ・地区交流センター連絡会運営業務（会議2回、研修2回・情報交換会2回）377千円 ・地区交流センター大交流会（2月4日、参加者：約150人）499千円 ・地域の特性を活かした事業の実施（各地域課）
令和 8年度（計画）	・地域の特性を活かした事業の実施・各団体が実施する事業への補助金交付（各地域課：旧元気事業からの移行経費等） ・山内建設技能者組合（山内地域）への補助金交付
令和 9年度（計画）	・地域の特性を活かした事業の実施・各団体が実施する事業への補助金交付（各地域課：旧元気事業からの移行経費等） ・山内建設技能者組合（山内地域）への補助金交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	ワークショップの開催回数　※令和２年度まで				
		単位	回	目標値					
				実績値					
	2	区分	－	指標	職員等研修会の開催　※令和3年度から				
		単位		目標値	5	5	5	5	5
				実績値	5	2	5		
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	505	710	212	400	400
	(f) 一般財源	21,404	21,830	24,118	17,285	16,943
事業費の小計		21,909	22,540	24,330	17,685	17,343

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	住民主体による地域運営組織の形成をサポートする事業であり、優先的に実施するものである。 地域の特色を活かした事業を実施しており、継続していく事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市全体に公益をもたらす事業であるが、一部実施していない地域がある。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市民すべてが対象であるが、一定要件に基づく地区が対象となっている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	地域の現状を把握し、地域課題の解決に向け事業に取り組んでいる。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局の事業と連携、情報共有を図りながら実施していく。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民が安心して暮らし続けられるまちづくりを支援するためには重要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市がサポート役となり取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	地域の実情に合った事業展開が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	施策目的達成のためサービス水準は適切である。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　8×3
総合評価点		７６	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

地域運営組織の未設立地区での設立に向けた支援を実施するとともに、既存組織の基盤強化や体制の見直し等、伴走支援を継続していく。委員やセンター職員を対象とした研修や交流会を開催し、横のつながりを強化しながら情報共有や学び合いの場を創出する。各地域で行われている地域づくり支援事業については、形骸化している事業もあり、必要性の有無について検討・見直しが必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	03 増田地域課	1,246	1,363	0	1,363	1,355	1,391
	地域づくり支援事業（増田地域）							
2	020108	03 平鹿地域課	4,326	4,445	0	4,445	4,437	4,559
	地域づくり支援事業（平鹿地域）							
3	020108	03 雄物川地域課	3,982	3,982	0	3,982	4,382	3,982
	地域づくり支援事業（雄物川地域）							
4	020108	03 大森地域課	3,046	2,832	212	2,620	2,177	2,177
	地域づくり支援事業（大森地域）							
5	020108	03 十文字地域課	2,911	3,724	0	3,724	2,222	2,122
	地域づくり支援事業（十文字地域）							
6	020108	03 山内地域課	2,203	2,233	0	2,233	2,354	2,354
	地域づくり支援事業（山内地域）							
7	020108	03 大雄地域課	1,344	1,386	0	1,386	697	697
	地域づくり支援事業（大雄地域）							
8	020108	03 山内地域課	61	61	0	61	61	61
	山内建設技能者組合支援事業（山内地域）							
9	020108	03 地域づくり支援課	3,421	4,304	0	4,304	0	0
	地域運営組織支援事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0031 地域づくり活動補助事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－040100　　総務費・総務管理費・地域振興費 地域づくり活動補助事業・地域づくり活動		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動が実践されている。
地域課題の解決を図る活動が行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域づくり活動補助事業】
・地域住民による主体的なまちづくり活動の促進を図り、地域課題の解決を図る活動への補助金交付
・市民への効果的な広報活動

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・補助金交付件数 71件　交付実績額 17,623千円 ・自主運営組織,地区会議事業　交付件数 44件　交付実績額 9,421千円 ・非営利団体　地域課題解決型事業　交付件数 8件　交付実績額 1,656千円 ・非営利団体　イベント型事業　交付件数 8件　交付実績額 2,643千円 ・旧元気の出る地域づくり事業　交付件数 11件　交付実績額 3,903千円
令和 7年度（決算）	交付件数　66件　交付実績額　16,423千円 ・地域運営組織,地区会議事業　交付件数 45件　交付実績額 11,082千円 ・共助組織　地域課題解決型事業　交付件数 7件　交付実績額 1,658千円 ・非営利団体　イベント型事業　交付件数 8件　交付実績額 2,108千円 ・旧元気の出る地域づくり事業　交付件数 6件　交付実績額 1,575千円
令和 8年度（計画）	補助金の適正な運用、効果的な制度周知
令和 9年度（計画）	補助金の適正な運用、効果的な制度周知

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	補助金交付件数				
		単位	件	目標値	110	110	80	80	80
				実績値	74	71	66		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	19,160	17,623	16,423	20,600	21,000
事業費の小計		19,160	17,623	16,423	20,600	21,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	地域住民による自主的・主体的なまちづくりを進め、地域課題の解決につなげる事業である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	市全体に公益をもたらす事業であるが、申請団体は一部である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	すべての市民が対象であるが、事業を実施しているのは一部の団体である。
②事業の有効性	6	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標値とする交付件数には至っていないが、住民による主体的な地域づくりは確実に行われている。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	他の部局と連携、情報共有を図りながら事業を進める必要がある。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	豊かな地域社会を実現するためには必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	平成30年度に新たな地域づくりの事業としてスタートしたものであり、市が主体的に取り組むものである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	適宜、制度の一部を見直し、より使いやすいものとしている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な補助率、受益者負担となっており、サービス水準は適切である。
項目点合計		２１	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　6×3　＋　8×3　　総合評価点　７０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

地域の現状把握や地域資源の掘り起こし、地域課題の解決など、市民が主体となった活動を支援するため継続する必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020108	04	地域づくり支援課						
	地域づくり活動補助事業			17,623	16,423	0	16,423	20,600	21,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0032 町内会活動補助事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020108－050100　　総務費・総務管理費・地域振興費 町内会活動補助事業・町内会活動補助事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

町内会、自治会、集落等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

自治会の組織化及び育成が図られ、自治会の自治活動及び地域づくり活動が実践されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【町内会活動補助事業】
・自治会、町内会、集落等が行う活動（環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流）への補助金交付

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・地域活動補助金　交付件数　65件　交付実績額　2,895千円 （横手　13件　814千円、増田　11件　429千円、平鹿　13件　405千円、雄物川　5件　149千円、大森　4件　202千円、十文字　9件　461千円、山内　5件　258千円、大雄　5件　177千円） ・備品整備補助金　交付件数　25件　交付実績額　3,303千円
令和 7年度（決算）	町内会等活動補助金　交付件数　72件　交付実績額　3,235千円 （横手　14件　920千円、増田　11件　430千円、平鹿　16件　498千円、雄物川　4件　130千円、大森　4件　201千円、十文字　12件　593千円、山内　5件　256千円、大雄　6件　207千円）
令和 8年度（計画）	補助金の適正な運用、効果的な制度周知
令和 9年度（計画）	補助金の適正な運用、効果的な制度周知

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	地域活動補助交付件数				
		単位	件	目標値	300	300	100	100	100
				実績値	51	65	72		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,173	6,198	3,235	4,000	4,000
事業費の小計		5,173	6,198	3,235	4,000	4,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	住民自治活動に要する事業を支援し、町内会等における地域づくりを推進する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全ての市民が対象である。
②事業の有効性	5	目標の達成度	1点：目標の達成が困難であり、目標値の修正が必要である。
		1	町内会により活動状況が異なるため、目標値の見直しが必要である。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	類似事業はないが、一部、類似目的の補助金がある。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	住民主体の住民自治活動推進のために必要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が行う事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	補助金を活用していただくため、地域局と連携・協力し周知に努める。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は適切である。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　5×3　＋　8×3
総合評価点		７５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市民にとって最も身近な範囲である、自治会や町内会、集落等が行う地域活動を支援する事業であり、補助金の有効な活用に向け、地域局と連携、協力しながら進める。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020108	05	地域づくり支援課						
	町内会活動補助事業			6,198	3,235	0	3,235	4,000	4,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0037 雄物川コミュニティセンター費

部・担当課	まちづくり推進部・雄物川地域課	担当課長氏名	佐々木　浩之
予算科目事業	1 一般会計－020109－030100　　総務費・総務管理費・地域局費 雄物川コミュニティセンター費・雄物川コミ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民による地域課題の解決に向けた活動が活発化している。また、地域のコミュニティ活動や生涯学習活動が促進している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

雄物川コミュニティセンターの維持管理費

④根拠法令	社会教育法	⑤関連計画	横手市生涯学習推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	雄物川コミュニティセンターの施設維持管理経費 人件費、燃料費、光熱水費、修繕料、電話料金、業務委託料、保守管理委託料他
令和 7年度（決算）	雄物川コミュニティセンターの施設維持管理経費 ・人件費、燃料費、光熱水費、修繕料、電話料金、業務委託料、保守管理委託料他 ・公用車車検 ・空調機器改修工事
令和 8年度（計画）	雄物川コミュニティセンターの施設維持管理経費
令和 9年度（計画）	雄物川コミュニティセンターの施設維持管理経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	雄物川コミュニティセンター年間延べ利用者数				
		単位	人	目標値	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
				実績値	12,538	9,933	10,797		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	29,800	0	0
	(d) 使用料・手数料	313	271	273	200	200
	(e) その他特定財源	27	24	21	20	16
	(f) 一般財源	11,086	10,400	50,146	14,795	14,715
事業費の小計		11,426	10,695	80,240	15,015	14,931

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020109	03 雄物川地域課	10,695	13,857	294	13,563	15,015	14,931
	雄物川コミュニティセンター費							
2	020109	03 雄物川地域課	0	66,383	29,800	36,583	0	0
	雄物川コミュニティセンター費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0038 農村体験学習施設費

部・担当課	まちづくり推進部・平鹿地域課	担当課長氏名	佐藤　明子
予算科目事業	1 一般会計－020109－100100　　総務費・総務管理費・地域局費 農村体験学習施設費・農村体験学習施設費（		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内・市外から農村体験をしよう横手市に訪れる方。
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
農業の振興及び若者定住を推進し、都市と農村の交流を図り、青少年の心身の健全な育成及び市民の生涯学習の振興が促進されている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【農村体験学習施設費】 ・施設の維持管理を実施する。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	アイリスハウス及び釣りキチ三平の里体験学習館の維持管理
令和 7年度（決算）	アイリスハウス及び釣りキチ三平の里体験学習館の維持管理
令和 8年度（計画）	アイリスハウス及び釣りキチ三平の里体験学習館の維持管理
令和 9年度（計画）	アイリスハウス及び釣りキチ三平の里体験学習館の維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	年間利用者数				
		単位	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	2,373	5,493	7,233		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	3,166	3,488	3,598	2,741	2,812
	(e) その他特定財源	0	429	1	1,589	1,601
	(f) 一般財源	10,830	10,552	12,075	12,191	11,839
事業費の小計		13,996	14,469	15,674	16,521	16,252

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020109	10 平鹿地域課	4,125	4,552	878	3,674	5,290	4,752
	農村体験学習施設費（アイリスハウス）							
2	020109	10 増田地域課	10,344	10,282	2,721	7,561	11,231	11,500
	農山村体験学習交流施設費（釣りキチ三平の里体験学習館）							
3	020109	10 増田地域課	0	840	0	840	0	0
	農山村体験学習交流施設費（釣りキチ三平の里体験学習館）（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0039 狙半内地域交流施設整備事業

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－020108－120100　　総務費・総務管理費・地域振興費 狙半内地域交流施設整備事業・狙半内地域		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民（特に増田地域狙半内南部3集落地区市民）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民（特に増田地域狙半内地区市民）による共助活動として市民自らが地域課題の解決に向けた活動が活発化している。また、地域コミュニティ活動や防災活動、生涯学習活動が促進している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【狙半内南部コミュニティセンター整備事業】狙半内南部コミュニティセンター整備事業に伴う各種業務委託・関連工事等

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	建築工事・電気設備工事・機械設備工事
令和 7年度（決算）	狙半内南部コミュニティセンター整備事業 ・基本設計
令和 8年度（計画）	狙半内南部コミュニティセンター整備事業 ■建物実施設計委託
令和 9年度（計画）	狙半内南部コミュニティセンター整備事業 ■建物本体工事 ■設計工事監理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	狙半内南部コミュニティセンターの整備				
		単位	施設	目標値			0	0	1
				実績値			0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	9,000	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	1,507	0	0
事業費の小計		0	0	1,507	9,000	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	5	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	地域活性化のための避難所機能を有するコミュニティ施設整備に向けた基本構想・計画のための調査、設計を実施。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	狙半内南部３集落（火石田・上畑・滝ノ下）が孤立した場合に備え、避難所機能や防災備蓄機能を有する施設の整備とともに、過疎化の進む地域活性化のためのコミュニティの場を設けるもの。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	過疎化の進む地域活性化のためのコミュニティ施設であり、炭焼き体験、トレッキングに訪れた方々へのビジターセンターとしての役割を担う。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	コミュニティ施設整備に向けた基本構想・計画のための調査、設計を実施し、施設建設に向かう。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	狙半内南部地区における地域活性化事業である。地域の集落会館は駐車場がなく、急角度の階段の上にあるなど高齢者の利用や避難に支障を来す。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	過疎化が進んでおり、交通途絶の可能性のある地域でもあるため、避難所、生涯学習拠点、健康増進活動等に利用できる施設の整備が望まれる。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	避難所、生涯学習拠点、健康増進活動に利用できる施設整備であり、行政介入が不可欠である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	当該地域は過疎化、高齢化が進行しており、早急な施設整備が求められている。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	建設予定段階であるが、将来的には施設維持のための委託等の検討が必要。
項目点合計		２０	総合評価点の算出方法　：　5×4　＋　8×3　＋　7×3
総合評価点		６５	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

過疎化、高齢化が進む地区であることから、災害時の避難所、生涯学習拠点、コミュニティ施設を市の責任において整備する必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020108	12 増田地域課						
	狙半内地域交流施設整備事業（建設）		0	1,507	0	1,507	9,000	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0043 男女共同参画社会推進事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020107－050100　　総務費・総務管理費・企画費 男女共同参画社会推進事業・男女共同参画社会		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、企業、事業主、市職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわりなくその個性と能力が発揮できる社会の実現について、市民・市内事業者がその意義と価値を理解し、「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」の形成に向け意識の醸成がなされている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【男女共同参画推進事業】

男女共同参画行動計画の着実な実施と進行管理を図るため、市民による推進協議会を開催し、計画の進捗状況や新たな課題へ対応する。また、男女共同参画意識の啓発のためのイベントや研修会、女性が活躍できるセミナー等の開催、市報やホームページ掲載等による啓発などにより、市民の理解が進むよう努める。

④根拠法令	男女共同参画社会基本法	⑤関連計画	横手市男女共同参画行動計画 横手市子ども・子育て支援事業計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手市男女共同参画推進協議会（6/19・11/19開催） 事業費（委員への報酬金等）：90千円 ・横手市男女共同参画フォーラム（2/22開催） 「男女共に輝く社会を目指して～女性活躍の実現～」 来場者：延べ70人　事業費（講師謝礼・司会委託料等）：184千円
令和 7年度（決算）	・横手市男女共同参画推進協議会（6/24、8/6、9/16、10/28、11/26開催） 事業費（委員謝礼等）：204千円 ・横手市男女共同参画行動計画第５次計画の策定 事業費（印刷製本費等）：40千円 ・横手市男女共同参画フォーラム（11/22開催） 参加者：延べ44人　事業費等：165千円
令和 8年度（計画）	・横手市男女共同参画推進協議会 ・横手市男女共同参画フェスティバル ・研修会、セミナー等の開催
令和 9年度（計画）	・横手市男女共同参画推進協議会 ・横手市男女共同参画フェスティバル ・研修会、セミナー等の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	男性職員の育児休業取得率（令和6年度から）				
		単位	%	目標値		30	30	30	30
				実績値		26.9	57.7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	成果	指標	行政における各審議会等への女性委員の登用率				
		単位	%	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	26.2				

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	457	274	459	428	428
事業費の小計		457	274	459	428	428

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	男女共同参画社会の推進は市の施策に深くかかわっており、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に向けて必要不可欠です。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	男女共同参画社会の推進は市の施策に深く関わっており、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	庁内ではここ数年、男性職員の育児休業の取得率が上昇しているため、引き続き育児休業を取得しやすい環境を目指す必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において類似事業はないが、県南部男女共同参画センターでは同様の事業を実施している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	男女共同参画社会の推進は、市の施策に深く関わっており、上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市の全体的な男女共同参画社会の推進は市が担う必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	5年ごとの横手市男女共同参画行動計画の見直しや毎年度の実績検証等、改善を図りながら事業を推進している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担を求める事業でないため、市が負担して行うべきものである。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3
総合評価点		８７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

・男女共同参画社会の推進は、日常生活や職場での意識づけ、理解の積み重ねにより推進されるもので、市民、企業等の協力を得ながら取り組む事業である。
・横手市男女共同参画行動計画第5次計画（令和7年度策定）を着実に推進するとともに、県南部男女共同参画センター等と連携し啓発活動を実施する。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020107 05 地域づくり支援課 男女共同参画社会推進事業	274	459	0	459	428	428

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0044 自分らしい生き方・働き方推進事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020107－060100　　総務費・総務管理費・企画費 自分らしい生き方・働き方推進事業・自分らし		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	－	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

主に子育て世帯の男性労働者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

男性が積極的に子育て等に関わることにより、働き方の見直しにつながり、男女ともに仕事と家庭生活のよりよいバランスがとれている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ワークスタイル研修受講支援事業】
企業・団体の経営者・管理職向けおよび従業員向けと対象に合わせた働き方改革やワーク・ライフ・バランス等に関する講演会・研修会を実施する。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市男女共同参画行動計画 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・管理職向け講演会：「令和時代のマネジメント～イクボスのススメ～」 12/24　参加者20名　事業費（委託料）110千円 ・従業員に向け研修：「表情力診断であなたの笑顔を分析」 10/22・26　参加者23名　事業費（講師謝礼等）81千円 ・経営者による講演会（男女共同参画フォーラム「男女共に輝く社会を目指して～女性活躍の実現～」） 2/22　参加者延べ70人　事業費（委託料等）256千円
令和 7年度（決算）	働き方改革に対応し、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組む企業を増やすため、管理職層向けと従業員向けと対象を分けて、ワークライフバランスに関する講演会・研修を実施 ・イクボス研修（管理職向け・一般職向け）：8/28開催　参加者計30名 事業費（委託料）：220千円、・消耗品費等：58千円 ・横手市男女共同参画フォーラム「らく家事のススメ。」：11/22開催（共催事業）　参加者のべ44人 事業費（消耗品費等）：58千円
令和 8年度（計画）	・企業、団体の経営者、管理職層に向けた著名な講師による『ワークライフバランス講演会』の実施 ・企業団体の従業員に向け、ワークスタイル研修を実施（主催事業年間3回）
令和 9年度（計画）	・企業、団体の経営者、管理職層に向けた著名な講師による『ワークライフバランス講演会』の実施 ・企業団体の従業員に向け、ワークスタイル研修を実施（主催事業年間3回）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	ワークスタイル研修・ワークライフバランス講演会参加者の人数				
		単位	人	目標値	150	150	100	100	100
				実績値	81	113	74		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	261	447	280	600	600
事業費の小計		261	447	280	600	600

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	男女が尊重し合う社会づくりの形成には、ワークライフバランスの推進が不可欠である。
		目的の妥当性	2点：地域等の一定範囲に公益をもたらす事業である。
		2	ワークライブバランスの推進には、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	研修会のテーマや講師の選定、周知方法を工夫することで目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	市民や企業等のワークライフバランスに対する意識の醸成を図る類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	男女が尊重し合う社会づくりの形成には、ワークライフバランスの推進が不可欠である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	ワークライフバランスの推進は、市が主体となり、市民や企業等と連携しながら取り組んでいく事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	ワークライフバランスの推進のため、参加者等の意見や話題性のあるものを取り入れるなどして、参加者の確保に努める必要がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	受益者の負担はないが適切な水準といえる。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　9×3　＋　7×3　　総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

自分らしい生き方・働き方を推進していくにはワークライフバランスの推進が不可欠で、今後も市民や企業等の意識の醸成が重要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　(単位：千円)

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020107	06	地域づくり支援課 自分らしい生き方・働き方推進事業	447	280	0	280	600	600

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 広報費

部・担当課	総務企画部・秘書広報課	担当課長氏名	菅原　徳子
予算科目事業	1 一般会計－020103－010100　　総務費・総務管理費・広報費 広報費・広報費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	―	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び秘書広報課職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民が、市報以外のメディアにより市政情報をはじめ、市の様々な情報を知ることができている。
秘書広報課の職員による取材等情報発信する体制が整えられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【広報費】
・市報、ホームページ、エックス、フェイスブック、ＦＭ放送などのメディアを有効に活用
・市報編集用ソフトを使用して広報紙を作成

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市男女共同参画行動計画 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・広報業務全般にかかる経費（ただし、市報印刷を除く） ・横手市広報取材等経費 ・広報編集用ソフトのライセンス使用料 ・全国広報広聴研究大会（横手市開催）にかかる経費
令和 7年度（決算）	・広報業務全般にかかる経費（ただし、市報印刷を除く） ・横手市広報取材等経費 ・広報に係るセミナーへの参加に要する経費 ・市報取材等経費、市報編集機に係る経費、動画撮影用カメラに係る経費 ・ドローン空撮に係る経費 ・東京タワーでのシティプロモーション
令和 8年度（計画）	広報業務全般にかかる経費（ただし、市報印刷を除く） 横手市広報取材等経費
令和 9年度（計画）	広報業務全般にかかる経費（ただし、市報印刷を除く） 横手市広報取材等経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手市Facebookおよび横手市公式LINEを活用した情報発信数（月）				
		単位	件	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	24	31	91		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	152	155	261	293	150
	(f) 一般財源	3,483	4,523	4,142	4,753	3,884
事業費の小計		3,635	4,678	4,403	5,046	4,034

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020103	01	秘書広報課						
	広報費			4,678	4,403	261	4,142	5,046	4,034

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 行政情報発信事業

部・担当課	総務企画部・秘書広報課	担当課長氏名	菅原　徳子
予算科目事業	1 一般会計－020103－020100　　総務費・総務管理費・広報費 行政情報発信事業・広報誌発行事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

「市報よこて」や「コミュニティＦＭ」による情報発信を通じて、市民が市政情報をはじめ市の様々な情報を得られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【広報誌発行事業】
・見やすい分かりやすい見てもらう市報づくり（「市報よこて」を毎月１回発行する。）
【コミュニティＦＭ活用行政情報発信事業】
・コミュニティＦＭ放送を有効に活用した情報発信（横手市タウン情報の放送）

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市報よこてを毎月1日の月１回、年間１２回発行 ・市報で、特集またはミニ特集を実施（９件・２５ページ） ・市民がシティプロモーター事業（市報折込はがき）を年１回実施 ・市報への折り込みアンケートを実施（回答数７８１通） ・コミュニティＦＭを活用し、行政情報を発信（年間放送原稿件数３９３件）
令和 7年度（決算）	・市報よこてを毎月1日の月１回、年間１２回発行 ・市報で、特集またはミニ特集を実施（１０件・３３ページ） ・市民がシティプロモーター事業（市報折込はがき）を年１回実施 ・市報への折り込みアンケートを実施（回答数９６４通） ・コミュニティＦＭを活用し、行政情報を発信（年間放送原稿件数２８５件）
令和 8年度（計画）	・「市民が頑張っている」を伝える広報紙づくり ・コミュニティＦＭを活用した行政情報の発信にかかる経費
令和 9年度（計画）	・「市民が頑張っている」を伝える広報紙づくり ・コミュニティＦＭを活用した行政情報の発信にかかる経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市民からのおたより件数（市報アンケート件数含む）				
		単位	件	目標値	270	280	300	300	300
				実績値	304	781	964		
	2	区分	成果	指標	市役所全庁からのタウンメッセージ原稿数の増加				
		単位	件	目標値	240	240	240	240	240
				実績値	294	393	285		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,478	1,488	1,515	1,488	1,488
	(f) 一般財源	40,513	43,167	45,212	47,367	56,438
事業費の小計		41,991	44,655	46,727	48,855	57,926

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市の情報発信として主軸となる事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体の公益事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全市民が対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて、常に改善を意識することで着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民と行政との情報共有を図るためにも不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	常に事業内容の見直し・改善をしており、現段階で改善の余地がないと思われる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な水準といえる。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市の政策やサービス、緊急時の対応に関する情報発信の柱となる事業であるため。
市民ニーズの把握や情報収集に努め、市民の求める情報を迅速に発信していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020103	02	秘書広報課 広報誌発行事業	35,019	37,091	1,515	35,576	39,219	48,264
2	020103	02	秘書広報課 コミュニティＦＭ活用行政情報発信事業	9,636	9,636	0	9,636	9,636	9,662

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 市政協力員費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020103－030100　　総務費・総務管理費・広報費 市政協力員費・市政協力員費（横手地域）		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	―	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市によって発行される「市報よこて」が、購読を希望する市民全てに配布されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市政協力事務】（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）
・町内会等から推薦を受けた市政協力員を登録し、町内会等に市報の配布を依頼する。
・市政協力員を推薦した町内会等に対し、報償費を支出する。

④根拠法令	横手市市政協力事務に関する要綱	⑤関連計画	横手市情報化推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市政協力員を確保し登録の上、市報の配布を行い、市政情報のほか、市の様々な情報を市民に伝える。（市政協力員数　横手359人、増田52人、平鹿113人、雄物川103人、大森85人、十文字136人、山内59人、大雄58人）
令和 7年度（決算）	市政協力員を確保し登録の上、市報の配布を行い、市政情報のほか、市の様々な情報を市民に伝える。（市政協力員数　横手359人、増田52人、平鹿113人、雄物川103人、大森85人、十文字136人、山内59人、大雄58人）
令和 8年度（計画）	市政協力員を確保し登録の上、市報の配布を行い、市政情報のほか、市の様々な情報を市民に伝える。
令和 9年度（計画）	市政協力員を確保し登録の上、市報の配布を行い、市政情報のほか、市の様々な情報を市民に伝える。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	市政協力員数（令和2年度実績値の維持）				
		単位	人	目標値	960	960	960	960	960
				実績値	963	965	965		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	34,129	33,951	33,871	34,191	34,385
事業費の小計		34,129	33,951	33,871	34,191	34,385

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020103	03 横手地域課	14,526	14,569	0	14,569	14,675	14,677
	市政協力員費（横手地域）							
2	020103	03 増田地域課	2,282	2,238	0	2,238	2,296	2,320
	市政協力員費（増田地域）							
3	020103	03 平鹿地域課	3,932	3,914	0	3,914	3,930	4,010
	市政協力員費（平鹿地域）							
4	020103	03 雄物川地域課	3,132	3,112	0	3,112	3,118	3,166
	市政協力員費（雄物川地域）							
5	020103	03 大森地域課	2,271	2,276	0	2,276	2,346	2,386
	市政協力員費（大森地域）							
6	020103	03 十文字地域課	4,777	4,755	0	4,755	4,800	4,800
	市政協力員費（十文字地域）							
7	020103	03 山内地域課	1,413	1,393	0	1,393	1,406	1,406
	市政協力員費（山内地域）							
8	020103	03 大雄地域課	1,618	1,614	0	1,614	1,620	1,620
	市政協力員費（大雄地域）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 情報発信戦略プロジェクト事業

部・担当課	総務企画部・秘書広報課	担当課長氏名	菅原　徳子
予算科目事業	1 一般会計－020103－040100　　総務費・総務管理費・広報費 情報発信戦略プロジェクト事業・情報発信戦略		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	―	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民一体となった情報発信の推進、横手市の魅力アップ推進が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手市情報発信戦略プロジェクト事業】
行政情報や市民や企業からの情報を発信する横手市情報センターの管理運営

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	●横手市情報センター・横手市ＬＩＮＥ公式アカウントの管理運営委託 ・情報管理数895件（市役所541件、市民87件、Yokotter267件） ・デジタルサイネージ掲載数(延べ)　33,801件 ●各種公式ＳＮＳによる情報発信数 ・フェイスブック　330回　・Youtube　115回　・LINE　47回　・X　307回　・Instagram　121回
令和 7年度（決算）	●横手市情報センター・横手市ＬＩＮＥ公式アカウントの管理運営委託 ・情報管理数801件（市役所567件、市民80件、Yokotter154件） ・デジタルサイネージ掲載数(延べ)　33,932件 ●各種公式ＳＮＳによる情報発信数 ・フェイスブック　715回　・Youtube　337回　・LINE　380回　・X　950回　・Instagram　480回
令和 8年度（計画）	横手市情報センター・横手市公式ＬＩＮＥの管理運営委託、各課が実施する事業のＰＲ活動、各種ＳＮＳを活用した情報発信
令和 9年度（計画）	横手市情報センター・横手市公式ＬＩＮＥの管理運営委託、各課が実施する事業のＰＲ活動、各種ＳＮＳを活用した情報発信

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手市情報センターへの掲載依頼数（月平均）				
		単位	件	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	91	74	66		
	2	区分	成果	指標	横手市Youtube番組の動画配信数（年間）				
		単位	回	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	85	115	337		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	10
	(f) 一般財源	3,220	4,341	4,145	4,221	4,931
事業費の小計		3,220	4,341	4,145	4,221	4,941

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	９	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		３	多岐にわたる情報を共有する環境整備として重要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		３	横手市の魅力を市内外へ発信できるなど市全体の公益事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		３	すべての市民が対象となる行政情報等を発信するため事業である。
②事業の有効性	１０	目標の達成度	4点：目標を上回る成果が上がっている。
		４	常に改善を意識することで、目標を上回る成果が上がっている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		３	他の部局の情報も集約して発信しており、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		３	市民と行政との情報共有を図るためにも必要不可欠な事業である。
③事業の効率性	８	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		３	市が主体的に取り組む事業であるが、横手市情報センターとの連携の必要性も高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		２	横手市情報センター有効活用により、さらに情報収集・発信の効率が高まっており、費用対効果は大きい。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		３	適切な水準といえる。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　10×3　＋　8×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市民と行政が情報共有を図り、より快適で便利な市民生活を推進するために必要な事業である。
多岐にわたる情報収集・発信を行うため、横手市情報センターの機能を有効に活用していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020103　04	秘書広報課 情報発信戦略プロジェクト事業	4, 341	4, 145	0	4, 145	4, 221	4, 941
2	020103　04	秘書広報課 全国高校野球選手権大会出場支援事業	0	0	0	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0006 地域情報通信網管理運営費

部・担当課	総務企画部・情報政策課	担当課長氏名	嶋田　貴
予算科目事業	1 一般会計－020110－040100　総務費・総務管理費・電算情報管理費　地域情報通信網管理運営費・地域情報		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

西部地区・山内南郷三又地区・増田狙半内地区の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

光ケーブルを利用したインターネット接続及びテレビ視聴等が可能となり、対象地区の情報通信格差の是正が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【地域情報通信網管理運営費】
市が実施したＩＲＵ事業（光ケーブル）・テレビ共同受信施設の維持管理、移動通信用鉄塔施設の維持管理

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①西部地区及び山内・増田地区ＩＲＵ事業の維持管理　②テレビ共同受信施設の維持管理　③移動通信用鉄塔施設の維持管理　④西部地区テレビ共同受信施設機器更新 ・地域情報通信ケーブル移設等：西部地区２２件、山内・増田地区１件 ・西部地区テレビ共同受信施設光増幅器電源ユニット更新
令和 7年度（決算）	①西部地区及び山内・増田地区ＩＲＵ事業の維持管理　②テレビ共同受信施設の維持管理　③移動通信用鉄塔施設の維持管理 ・地域情報通信ケーブル移設等：西部地区１３件、山内・増田地区２件
令和 8年度（計画）	①西部地区及び山内・増田地区ＩＲＵ事業の維持管理及び民間移行の推進　②テレビ共同受信施設の維持管理　③移動通信用鉄塔施設の維持管理　④武道地区・ハアカ坂地区のテレビ共同受信施設光増幅器更新
令和 9年度（計画）	①西部地区及び山内・増田地区ＩＲＵ事業の維持管理及び民間移行の推進　②テレビ共同受信施設の維持管理　③移動通信用鉄塔施設の維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	山内・増田地区のブロードバンド加入率				
		単位	%	目標値	44	48	48	48	48
				実績値	43	43	43		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	2,700	0
	(d) 使用料・手数料	248	248	246	247	265
	(e) その他特定財源	15,617	15,775	15,756	15,704	15,617
	(f) 一般財源	7,908	12,011	14,115	11,037	10,845
事業費の小計		23,773	28,034	30,117	29,688	26,727

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020110	04 情報政策課	28,034	30,117	16,002	14,115	26,938	26,727
	地域情報通信網管理運営費							
2	020110	04 情報政策課	0	0	0	0	2,750	0
	地域情報通信網管理運営費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 コミュニティＦＭ中継局運営費

部・担当課	総務企画部・情報政策課	担当課長氏名	嶋田　貴
予算科目事業	1 一般会計－020110－050100　総務費・総務管理費・電算情報管理費 コミュニティＦＭ中継局運営費・コミ		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	－	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市民が市内のどこでもコミュニティＦＭ放送を安定的に受信できている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【コミュニティＦＭ中継局運営費】 ・コミュニティＦＭ中継局の維持管理の継続

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	Ｒ 6年度　～　Ｒ 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	１０中継局及び１移動局の保守点検・故障修理対応等の維持管理の実施
令和 7年度（決算）	１０中継局及び１移動局の保守点検・故障修理対応等の維持管理の実施 免許の有効期間満了による再免許申請（５年毎） 定期検査（法定、５年毎）
令和 8年度（計画）	１０中継局及び１移動局の保守点検・故障修理対応等の維持管理の実施
令和 9年度（計画）	１０中継局及び１移動局の保守点検・故障修理対応等の維持管理の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	コミュニティＦＭ中継局の安定稼働のための定期点検の実施				
		単位	回	目標値	年１回	年１回	年１回	年１回	年１回
				実績値	年１回	年１回	年１回		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	189	189	383	189	189
	(f) 一般財源	5,678	5,795	7,869	7,243	7,192
事業費の小計		5,867	5,984	8,252	7,432	7,381

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020110	05	情報政策課						
	コミュニティＦＭ中継局運営費			5,984	8,252	383	7,869	7,432	7,381

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 友好都市交流事業

部・担当課	総務企画部・秘書広報課	担当課長氏名	菅原　徳子
予算科目事業	1 一般会計－020107－080100　　総務費・総務管理費・企画費 友好都市交流事業・友好都市交流事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民・友好都市（厚木市・那珂市）の市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市民と友好都市（厚木市・那珂市）の市民相互に交流や連携が活発に行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【友好都市交流事業】
・友好都市と市民レベルで相互訪問し交流や経済連携等を図る
　※令和6年度は那珂市20周年、令和7年度は厚木市40周年の友好都市提携交流事業を予定
【神奈川県厚木市との友好都市締結40周年記念事業】
・友好都市締結40周年を記念して、今後の両市の発展を祈念し友好を誓うことを目的に、共同事業を開催

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・友好都市催事での物産交流などの横手市ＰＲを実施（厚木市：あつぎ国際大道芸への出展／那珂市：静峰ふるさと公園雪まつりへの出展、よこての全国線香花火大会への来横※ひまわりフェスタは中止） ・交流事業に係る打合せの実施（厚木市：令和7年度予定の友好都市40周年記念式典等に係る打合せ／那珂市：令和6年度開催の友好都市20周年記念式典および打合せ） ・友好都市両市がよこての雪まつりへの来横を実施（厚木市は市民訪問団との交流を実施）
令和 7年度（決算）	・友好都市催事での物産交流などの横手市ＰＲを実施（厚木市：あつぎ国際大道芸への出展、横手市友好都市締結40周年記念横手市増田まんが美術館厚木出張所を実施、あつぎ昼走会による厚木横手リレーマラソンの歓迎セレモニーを実施／那珂市：よこての全国線香花火大会への来横、いぃ那珂フェスティバル出展、東京タワー出前かまくら出展） ・友好都市両市が全力！よこて祭りへの出展 ・友好都市両市がよこての雪まつりへの来横を実施（厚木市は市民訪問団との交流を実施）
令和 8年度（計画）	友好都市交流事業を市民レベルで深めるため、各種イベントでの物産販売や市民交流を実施
令和 9年度（計画）	友好都市交流事業を市民レベルで深めるため、各種イベントでの物産販売や市民交流を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	友好都市との市民交流				
		単位	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	4	4	7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	363	381	1,405	580	588
事業費の小計		363	381	1,405	580	588

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市のＰＲはもとより、産業や歴史的つながりも大きく、市民の横手愛や地元への愛着を醸成、交流人口の増加も期待できることから重点事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体の公益事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全市民が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	交流事業の継続により目標達成は可能である。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	他部局と連携して取り組める事業がないか検討の必要はある。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市内外との交流連携の推進のためにも不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む必要があるが、市民を主体とした自発的な交流の必要性も高い。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	見直しや改善、情報共有を行っているが、他部局と連携して取り組める部分がないかの検討は必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な水準といえる。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　８４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手市のＰＲはもとより、産業や歴史的つながりも大きく、市民の横手愛や地元への愛着を醸成、交流人口の増加を図るためにも継続的な取り組みが必要である。
市民を主体とした自発的な交流が活性化するよう、交流事業の情報発信を強化していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	08 秘書広報課						
	友好都市交流事業		381	360	0	360	580	588
2	020107	08 秘書広報課						
	神奈川県厚木市との友好都市締結40周年記念事業		0	1,045	0	1,045	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0003 多文化共生推進事業

部・担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	担当課長氏名	高橋　良明
予算科目事業	1 一般会計－020107－110100　　総務費・総務管理費・企画費 多文化共生推進事業・多文化共生推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・市内在住の外国の方

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・国際交流が進み、市民の国際化への理解が進んでいる。
・横手に住む外国の方が、日常生活のコミュニケーションに困らずに暮らしている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・明海大学（千葉県浦安市）に通う留学生が市民宅にホームステイし、横手の暮らしや文化などを体験して頂くと共に、市民に国際理解と国際感覚を養える機会を提供していく。
・市内在住の外国人が日常生活に困らない程度の日本語習得と生活支援のため日本語教室を開催する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・明海大学留学生のホームスティの実施 「秋の体験」（10月開催：留学生6名）、「冬の体験」（2月開催：留学生10名） ・日本語教室の開催（44回開催） ・多文化共生研修会の開催（「やさしい日本語講座」3/21開催：参加者15名） ・在留、滞在中の外国人向けのわかりやすい日本語案内作成（ごみの分別）
令和 7年度（決算）	・明海大学留学生のホームスティの実施 「秋の体験」（10月開催）参加者：8名、「冬の体験」（2月開催）参加者：8名 ・日本語教室の開催（44回開催） ・多文化共生講演会、研修会の開催（3/15開催）参加者：23名 ・在留、滞在中の外国人向けのわかりやすい日本語案内作成（コミュニケーションボード）
令和 8年度（計画）	・明海大学留学生のホームスティ「よこて体験」の実施 ・日本語教室の開催・多文化共生講演会、研修会の開催 ・在留、滞在中の外国人向けのわかりやすい日本語案内作成
令和 9年度（計画）	・明海大学留学生のホームスティ「よこて体験」の実施 ・日本語教室の開催・多文化共生講演会、研修会の開催 ・在留、滞在中の外国人向けのわかりやすい日本語案内作成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	国際交流事業の年間実施回数				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	2	2	2		
	2	区分	活動	指標	多文化共生事業の年間実施回数				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,444	1,429	1,558	1,896	1,896
事業費の小計		1,444	1,429	1,558	1,896	1,896

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	7	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	国際化が進む中、多文化共生推進のための事業展開が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	外国人との共生は、今後の地域づくりにとって重要であり、公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	一部事業（日本語教室）は、海外からの移住者が対象になっている。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	外国人との交流は他課でも実施しているようだが、事業目的ごとに担当課を集約するなど検討が必要である。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	外国人との交流は他課でも実施しているようだが、事業目的ごとに担当課を集約するなど検討が必要である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市内外との交流連携の推進のために不可欠である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が主体的に取り組む必要があるが、民間団体を活用した事業展開や市民の自発的な交流も重要である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	今後は、地域社会の構成員として在住外国人との共生を推進するための事業展開が重要となってくる。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者の負担はないが、適切な水準といえる。
項目点合計		２３	総合評価点の算出方法　：　7×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　７６

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
今後も多文化共生の理解・推進のためにも継続した取り組みが必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	11 地域づくり支援課						
	多文化共生推進事業		1,429	1,558	0	1,558	1,896	1,896

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 移住定住促進事業

部・担当課	まちづくり推進部・横手の未来ともにつくる課	担当課長氏名	髙橋　美貴子
予算科目事業	1 一般会計－020107－070100　　総務費・総務管理費・企画費 移住定住促進事業・移住定住促進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

首都圏等の県外在住者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

移住や交流人口の増加により、地域の活性化につながっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

○移住コーディネーターと連携した、オンライン相談対応や首都圏移住相談会等を通じた移住検討者・希望者との個別面談、情報発信等の実施
○各種媒体を活用した移住定住施策の周知
○移住検討者・希望者を現地に招く施策
○移住支援金の支給（地方創生推進交付金事業　国1/2、県1/4、市1/4）

④根拠法令	横手市市政協力事務に関する要綱	⑤関連計画	横手市情報化推進計画
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・移住コンシェルジュ1名　報償金600千円 ・相談対応件数25件(窓口1件、電話12件、ほか12件）移住者実績：23世帯・38人 ・先進地視察（3名）移住イベントへの出展（2件）旅費400千円、使用料3千円 ・定住促進パンフレットの作成1,000部　印刷製本費81千円、委託料99千円　・情報発信委託料99千円 ・「横手暮らし体験事業」（9件）負担金327千円　・移住支援金過年度返還金　償還金225千円 ・移住支援金の支給（単身60万円*1、世帯100万円*2、子育て加算100万円*1）補助金3,600千円
令和 7年度（決算）	・移住コーディネーター3名　報償金1,188千円 ・相談対応件数20件(窓口2件、電話10件、ほか8件）移住者実績：21世帯・39人 ・移住相談会等の実施（2回）委託料563千円、報償金118千円、旅費169千円 ・移住定住コミュニティ形成イベントの開催（3回）委託料123千円 ・横手暮らし体験事業（2件）負担金36千円 ・移住支援金の支給（世帯100万円*3、子育て加算100万円*3）補助金6,000千円
令和 8年度（計画）	・移住コーディネーターの配置　・移住検討者への情報発信、相談対応及び移住体験ツアー等の実施　・首都圏等での移住検討者向けイベント等の実施　・横手市での生活がイメージできるパンフレットの作成、配布　・横手暮らし体験事業の実施　・移住支援金の交付　・移住定住ランディングページの作成
令和 9年度（計画）	・移住コーディネーターの配置　・移住検討者への情報発信、相談対応及び移住体験ツアー等の実施　・首都圏等での移住検討者向けイベント等の実施　・横手市での生活がイメージできるパンフレットの作成、配布　・横手暮らし体験事業の実施　・移住支援金の交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	移住件数（世帯数）				
		単位	件	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	23	23	21		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	3,675	2,700	4,500	6,900	6,900
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	300	0	0	0
	(f) 一般財源	3,412	2,481	3,739	6,151	6,151
事業費の小計		7,087	5,481	8,239	13,051	13,051

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	第２期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けているものであり、人口減少対策の一つとして重要な事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	移住・定住者の増加は、人口減少対策として市全体に公益をもたらすものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	市外在住者に移住定住を促す事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	働き方の見直しや地方移住への関心の高まりを受け、さらに事業を展開していく。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	移住に関する支援だけではなく、就業・住まい・子育て・教育など様々な分野との連携が必要であり、部局横断による相談体制の構築が重要である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	第２期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けているものであり、人口減少対策の一つとして重要な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	民間等とも連携しながら、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	部局横断的な相談体制の構築、移住促進につながる事業内容の見直しなど、改善が必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	サービス水準は適正と考える。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3　　総合評価点　８７

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

移住定住促進は、人口減少が課題となっている当市において最も直接的にアプローチする事業であり、今後も事業の改善を図りながら推進していく必要がある。移住者に応じたさまざまな支援を提供できるような庁内体制を構築するとともに、移住コーディネーターや民間団体との連携を図りながら、移住者目線での情報発信などブラッシュアップや移住検討者を含めたコミュニティづくりの支援を行い、さらに移住者を増加させる取り組みを実施していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	07 横手の未来ともにつくる課	5,481	8,239	4,500	3,739	13,051	13,051
	移住定住促進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0007 ふるさと納税ＰＲ事業

部・担当課	まちづくり推進部・横手の未来ともにつくる課	担当課長氏名	髙橋　美貴子
予算科目事業	1 一般会計－020107－100100　　総務費・総務管理費・企画費 ふるさと納税ＰＲ事業・ふるさと納税ＰＲ事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

主に市外の方

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ふるさと納税制度を活用し、横手市に寄附（応援）したくなるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ふるさと納税ＰＲ事業】
・各種媒体を活用した効果的なＰＲ
・事業者との連携による魅力ある返礼品の充実
・ふるさと納税寄附金の活用に関する情報発信
・寄附受付、管理業務にかかる事務の効率化

④根拠法令	なし	⑤関連計画	
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・新聞、電子広告等を活用し、幅広い層へのPRを実施 ・ふるさと納税返礼品登録事業者個別相談会の実施（2回、延べ44事業者参加） ・事業者及び返礼品の拡充（事業者数・返礼品数＝ H30年度末 68・280 → H31年度末 71・350 → R2年度末　70・417 → R3年度末　74・490　→　R4年度末　99・972　→　R5年度末　100・1,332　→R6年度末109・1,156） ・R6年度寄附金受領実績　35,280件/578,563,258円 ・受付サイトを4つ増設し計12サイト
令和 7年度（決算）	髙橋・新聞、電子広告等を活用し、幅広い層へのPRを実施 ・ふるさと納税返礼品登録事業者個別相談会の実施（2回） ・事業者及び返礼品の拡充（事業者数・返礼品数＝H31年度末71・350 → R2年度末70・417 → R3年度末74・490 → R4年度末99・972 → 5年度末100・1,332 → R6年度末109・1,156 → R7年度末119・3,223） ・R7年度寄附金受領実績　32,071件/598,721,843円 ・受付サイトを3つ増設し計15サイト
令和 8年度（計画）	・「ふるさと納税指定制度」に係る基準を満たした適切な寄附募集方法の実施 ・寄附額及び寄附件数の増加を目指した取り組み（各種ＰＲ・魅力的な返礼品の充実） ・効果的な寄附の募集方法及び寄附受付・管理業務にかかる事務の効率化の推進（サイトの追加・廃止の検討）
令和 9年度（計画）	・「ふるさと納税指定制度」に係る基準を満たした適切な寄附募集方法の実施 ・寄附額及び寄附件数の増加を目指した取り組み（各種ＰＲ・魅力的な返礼品の充実） ・効果的な寄附の募集方法及び寄附受付・管理業務にかかる事務の効率化の推進（サイトの追加・廃止の検討）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	寄附金額				
		単位	千円	目標値	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
				実績値	514,025	578,563	598,721		
	2	区分	成果	指標	寄附件数				
		単位	件数	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績値	33,599	35,280	32,071		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	249,577	273,039	285,409	314,059	357,000
事業費の小計		249,577	273,039	285,409	314,059	357,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	返礼品の贈呈は地場産品の消費拡大、地域経済の活性化に寄与している。 また応援市民の獲得に寄与している。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	他自治体に住所を有する納税者に対するサービスの提供であるが、上記の関係人口のつながるツールである。（市民が他自治体へ寄付することにより市民税は減少することになる）
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	横手を応援したい方、横手の産品に関心がある方が対象である。また、返礼品提供事業者も一部サービスの対象である。 ふるさと納税制度は納税者全員が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	ふるさと納税受付サイトの追加、返礼品提供事業者の増加及び返礼品の拡充・磨き上げにより寄付金額は着実に増加している。しかし、寄付者数は減少したため、原因の洗い出しが必要である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無し。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	市で行う事業であるが、業務の一部はアウトソーシングしている。 今後も事業の効率化を図るため、出来る限りアウトソーシングを検討したい。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	現在も改善しながら業務を進めているが、今後も効率的で効果的な手法を検討していく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担で実施されている事業であり、今後も寄付者の獲得に向け対策を講じていく。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　9×3
総合評価点		８３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

受付サイト事業者、返礼品提供事業者とさらなる連携・情報交換を行い、質の高い魅力ある返礼品の紹介・発掘・提供により寄付額の増加につなげていく。R8年度は中間支援事業者をプロポーザルで選定し、R9年度はより効率的な運営体制を構築するため、準備を行う。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	10 横手の未来ともにつくる課	273,039	285,409	0	285,409	314,059	357,000
	ふるさと納税ＰＲ事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0009 ふるさと会支援事業

部・担当課	まちづくり推進部・横手の未来ともにつくる課	担当課長氏名	髙橋　美貴子
予算科目事業	1 一般会計－020107－090100　　総務費・総務管理費・企画費 ふるさと会支援事業・ふるさと交流促進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・首都圏在住の横手市出身者で構成する首都圏横手市ふるさと会、旧8市町村出身者で構成する各ふるさと会

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市との連携が深まり、市をあらゆる角度から応援していただいている。会員相互の親睦を図り、首都圏とふるさとの情報交換を行い、郷土の発展に寄与する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ふるさと交流促進事業】・各ふるさと会総会・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会役員会等へ参加する。
【ふるさと会支援事業】・補助金交付（各ふるさと会事業・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会事業）によりふるさと会会員と横手市との交流を推進する。
・首都圏で開催される行事・イベント等の情報提供、横手市からの各種情報提供により物産及びふるさと納税のＰＲ等、会員募集に努める。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会　役員会2回*2名、交流会5名　旅費270千円、報償品9千円 ・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会補助金　120千円 ・各ふるさと会支援事業の実施（横手地域630千円　増田地域580千円　平鹿地域940千円　雄物川地域450千円　大森地域420千円　十文字地域530千円　山内地域450千円　大雄地域480千円） Ｒ5年度補助金の見直しに伴い、Ｒ6年度からふるさと会事業費補助金として積算方法を統一
令和 7年度（決算）	・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会　役員会2回*2名、交流会5名　旅費114千円、報償品6千円 ・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会補助金　200千円 ・ふるさと探訪ツアーの開催（9/25～27）参加者53名 ・各ふるさと会支援事業の実施（横手635千円　増田590千円　平鹿463千円　雄物川910千円　大森440千円　十文字740千円　山内440千円　大雄358千円）
令和 8年度（計画）	・各ふるさと会総会・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会役員会等への参加 ・補助金交付（各ふるさと会事業・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会事業・交流会【東京会場】開催支援） ・首都圏で開催される行事・イベント等の情報提供、横手市からの各種情報提供と交流推進
令和 9年度（計画）	・各ふるさと会総会・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会役員会等への参加 ・補助金交付（各ふるさと会事業・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会事業・ふるさと探訪ツアー開催支援） ・首都圏で開催される行事・イベント等の情報提供、横手市からの各種情報提供と交流推進

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	ふるさと会の会員数				
		単位	人	目標値	2,740	2,760	2,780	2,780	2,780
				実績値	1,928	1,938	1,930		
	2	区分	活動	指標	新規加入会員数				
		単位	人	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	29	64	42		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,623	8,004	8,688	8,051	8,146
事業費の小計		6,623	8,004	8,688	8,051	8,146

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	ふるさと会は市にとって最大の応援団であり、今後も交流・連携しながら事業を展開していく。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	各ふるさと会の事業は、市出身者等により様々な方法で市を応援していただくものとなっている。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市出身者等で構成される「ふるさと会」の会員が対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	会員の高齢化などの課題はあるが、目標達成に向け事業を進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無し。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	首都圏等において企業及び在住する人とのつながり役として大きな存在である。 交流・関係・応援人口の拡大やふるさと納税の寄付など、様々な協力をいただいており市との関りわりが深い。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市が取り組む事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	会員の高齢化などの課題はあるが、会員の確保・情報共有の仕方など改善に向け検討している。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	適切な受益者負担である。 市との交流・連携を深めており、補助金交付やその他の支援を今後も継続していく。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

ふるさと会は市とのつながりが深い応援市民であり、各ふるさと会においても新規会員の獲得に向けた取り組みを積極的に展開しようとしていることから、継続して支援を行う必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	09 横手の未来ともにつくる課						
	ふるさと交流促進事業		398	343	0	343	519	409
2	020107	09 横手地域課						
	ふるさと会支援事業（東京かまくら会）		796	799	0	799	837	835
3	020107	09 増田地域課						
	ふるさと会支援事業（首都圏増田会）		1,442	1,845	0	1,845	1,336	1,623
4	020107	09 平鹿地域課						
	ふるさと会支援事業（東京平鹿町会）		1,335	884	0	884	889	907
5	020107	09 雄物川地域課						
	ふるさと会支援事業（秋田のふるさと雄物川会）		706	1,246	0	1,246	802	794
6	020107	09 大森地域課						
	ふるさと会支援事業（大森町ふるさと会）		753	808	0	808	855	855
7	020107	09 十文字地域課						
	ふるさと会支援事業（首都圏十文字会）		892	1,252	0	1,252	1,084	1,084
8	020107	09 山内地域課						
	ふるさと会支援事業（さんない古里会）		797	747	0	747	853	853
9	020107	09 大雄地域課						
	ふるさと会支援事業（東京大雄会）		885	764	0	764	876	786

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0015 奨学金返還支援事業

部・担当課	教育指導部・学校教育課	担当課長氏名	佐藤　隆徳
予算科目事業	1 一般会計－100102－070100　教育費・教育総務費・事務局費 奨学金返還支援事業・奨学金返還支援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内に就職し、定住の意思を持って居住しており、奨学金の貸与を受けている横手市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

経済的不安の低減により、地元への定住や次世代を担う人材を確保する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【奨学金返還支援事業】

・奨学金返還に対する経済的不安の低減と、地元への定住や次世代を担う人材確保を推進するため、県の奨学金返還支援制度に同調する形で、返還支援制度を実施。

④根拠法令		⑤関連計画	第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	補助交付決定者 58人（一般分55人 2,928千円、未来創生分 3人 102千円）
令和 7年度（決算）	補助交付決定者 60人（一般分60人 3,212千円）
令和 8年度（計画）	奨学金返還に対する助成 【県返還助成制度一般分の交付決定を受けている者】年返還額の1/3（上限8万円） 【県返還助成制度未来創生分の交付決定を受けている者】年返還額から県助成額を控除した額（上限4万円）
令和 9年度（計画）	奨学金返還に対する助成 【県返還助成制度一般分の交付決定を受けている者】年返還額の1/3（上限8万円） 【県返還助成制度未来創生分の交付決定を受けている者】年返還額から県助成額を控除した額（上限4万円）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	返還支援件数を目標以上にする				
		単位	人	目標値	86	84	81	81	84
				実績値	56	58	60		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	1,000	0	0	0
	(f) 一般財源	3,106	2,070	3,266	3,718	0
事業費の小計		3,106	3,070	3,266	3,718	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	6	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	市奨学金返還支援事業補助金交付要綱により実施していく事業であり、第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業として今後も継続していく必要がある。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	修学意欲のある学生の経済的不安の解消と市内に就職し定住促進を図る事業である。
		対象の妥当性	1点：特定の市民や団体が対象である。
		1	県返還助成制度の交付決定を受けている、市内在住で5年以上居住する意思のある方を対象とする。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	市内定住や次世代を担う人材確保を推進するため、事業の周知等継続していく。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	奨学金返還への助成は、他の部局には存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の移住・定住を促進する事業として必要である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	県の動向等を注視しながら、実施状況や成果を検証しつつ、より効果的な制度となるよう取り組みを継続していく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	県返還助成制度に同調し、県の交付決定を受けている方へ市も一部を助成する。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　6×4　＋　8×3　＋　10×3
総合評価点		７８	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

奨学金返還に対する経済的不安の低減により、地元への若者の移住・定住を促進し、次世代を担う人材を確保する事業として継続していく必要がある。また、県の動向等を注視しながら、実施状況や成果を検証しつつ、より効果的な制度となるよう取り組みを継続していく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	100102	07 学校教育課	3,070	3,266	0	3,266	3,718	0
	奨学金返還支援事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 共創推進総務費

部・担当課	まちづくり推進部・横手の未来ともにつくる課	担当課長氏名	髙橋　美貴子		
予算科目事業	1 一般会計－020107－160100　総務費・総務管理費・企画費 共創推進総務費・共創推進総務費				
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	―	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内外の民間企業、団体等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
官民連携による取組が実践されている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【共創推進総務費】通信運搬費、公用車管理費、会計年度任用職員人件費等の管理経費を適切に執行する。 【共創推進事業】先進地視察、ワークショップを実施する。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	・横手の未来ともにつくる課の経常経費【会計年度職員人件費2名分(報酬・各手当5,383,430円)、よこてイースト公用車管理費(燃料費112,173円、修繕料41,003円)】 ・横手市まちづくり民間提案窓口の設置【提案1件、取組1件】 ・東北大学公共政策大学院との連携【連携事業2件、2/16連携協議会】 ・よこての未来共創プロジェクトの実施【旧片野家住宅活用検討、十文字和紙継承(増田高校・㈱東海理化)、光明寺公園の賑わい創出(市内活動団体)】
令和 8年度（計画）	・横手の未来ともにつくる課の経常経費（公用車管理費、ファクス通信料等） ・会計年度任用職員人件費
令和 9年度（計画）	・横手の未来ともにつくる課の経常経費（公用車管理費、ファクス通信料等） ・会計年度任用職員人件費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	共創による取組の数				
		単位	件	目標値			5	5	5
				実績値			6		
	2	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	6,605	8,341	8,572
事業費の小計		0	0	6,605	8,341	8,572

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：0×4　＋　0×3　＋　0×3　　総合評価点　0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	16 横手の未来ともにつくる課	0	6,221	0	6,221	6,072	6,072
	共創推進総務費							
2	020107	16 横手の未来ともにつくる課	0	384	0	384	2,269	2,500
	共創推進事業							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 地域おこし協力隊活用事業

部・担当課	まちづくり推進部・横手の未来ともにつくる課	担当課長氏名	髙橋　美貴子
予算科目事業	1 一般会計－020103－050100　　総務費・総務管理費・広報費 地域おこし協力隊活用事業・地域おこし協力隊		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

地域おこし協力隊として受入れ、地域協力活動に従事してもらい、当市へ定住・定着することにより、地域力の維持・強化が図られている。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

外部人材を積極的に誘致し、その定住と定着による地域力の維持及び強化並びに地域の活性化を図ることを目的に事業を実施する。その手段として、地域おこし協力隊として受入れ、地域産業や観光の振興、移住定住の促進や地域の魅力発信などの地域協力活動に

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

④ 根拠法令		⑤ 関連計画	
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・旅費45,400円（あきた地域おこし協力隊相談会） ・報償金57,000円（トークセッション出演等謝礼） ・広告料804,268円（新聞広告、Ｗｅｂ広告） ・その他委託料169,500円(研修委託、チラシ作成委託) ・補助金1,987,000円（地域おこし協力隊起業・事業承継費補助金2件） Ｒ6年度末で3名の隊員が活動中（Ｒ6年度の募集によりＲ7/4/1付3名が着任）
令和 7年度（決算）	・都市部における地域おこし協力隊の募集に要した経費 広告料112,200円、委託料1,400,300円（Ｗｅｂ広告）、チラシ作成委託10,000円 ・現役地域おこし協力隊員のサポート委託1,724,800円 ・空き家改修費補助金233,000円 ・Ｒ7年度末6名の隊員が活動中
令和 8年度（計画）	・令和9年度任用を目的とした都市部での地域おこし協力隊の募集、ＰＲイベント参加及び隊員募集サイトを活用した募集活動　・現役隊員の活動や生活に関する日々の相談業務（日々サポート）の委託　・地域おこし協力隊の地域協力活動の経費・地域おこし協力隊研修会の開催
令和 9年度（計画）	・令和10年度任用を目的とした都市部での地域おこし協力隊の募集、ＰＲイベント参加及び隊員募集サイトを活用した募集活動　・現役隊員の活動や生活に関する日々の相談業務（日々サポート）の委託　・地域おこし協力隊の地域協力活動の経費　・地域おこし協力隊研修会の開催

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	定住者数				
		単位	人	目標値	3	3	3		
				実績値	4	3	3		
	2	区分	成果	指標	情報センターを除く独自媒体での地域資源に係る情報発信数				
		単位	件	目標値	36	48	48		
				実績値	446	463	14		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	13,731	24,850	32,064	53,550	34,561
事業費の小計		13,731	24,850	32,064	53,550	34,561

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	地域おこし協力隊が地域活動に従事することにより、地域課題の解決や地域活性化につながるとともに、定住・定着により地域力の維持・強化を図ることができる事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	隊員が定住・定着することで市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	大都市圏をはじめとする都市地域等からの移住者がサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	隊員の受入数は増加傾向にあり、定住者数も目標を達成している。しかし、情報発信数は情報発信をメインとしていた地域おこし協力隊員の卒業に伴い、目標を下回った。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は無し。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	地域おこし協力隊が地域活動に従事し、定住・定着することにより市民主体による特色あるまちづくりが進められる。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	募集のアウトソーシングなど、さらに民間等との連携が可能であるものの、制度上市が主体的に関わる必要性が高い事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	隊員募集に対する応募人数や活動支援団体とのミスマッチなど課題が多く、今後改善の余地が多い。国や県の伴奏支援などを活用するなどして、見直しに取り組む必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は適切である。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　８０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和3年度に隊員を3名受入れて以降、活動を希望する団体の増加に伴い隊員も増加している。しかし、隊員の募集方法や活動支援団体とのミスマッチなどの課題も多く改善が必要であることから、令和8年度は県内の地域おこし協力隊OB・OGによる伴奏支援を実施し、隊員への日々サポートや活動支援団体等を含めた庁内外への制度理解を深める取り組みを行う。また、任期満了後の定住に向けた支援についても国の財政措置の範囲内で充実させる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020103	05 秘書広報課	10,662	4,108	0	4,108	11,000	0
	地域おこし協力隊活用事業（秘書広報課分）（債務負担）							
2	020108	10 横手の未来ともにつくる課	3,063	3,678	0	3,678	5,500	6,500
	地域おこし協力隊活用事業							
3	030104	13 まるごと福祉課	0	4,760	0	4,760	5,190	5,190
	地域おこし協力隊活用事業（まるごと福祉課分）							
4	060103	16 食農推進課	5,196	9,638	0	9,638	16,500	11,000
	地域おこし協力隊活用事業（食農推進課分）（債務負担）							
5	070103	05 観光おもてなし課	5,929	9,880	0	9,880	15,360	11,871
	地域おこし協力隊活用事業（観光おもてなし課分）（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 若者結婚生活応援事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020107－030100　総務費・総務管理費・企画費 若者結婚生活応援事業・若者結婚生活応援事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	－	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

独身の市民・夫婦のみ世帯・子育て世帯

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

独身男女の出会いの場の創出や１対１のマッチング等により成婚に結びつくきっかけが生まれている。
結婚や子育てに対する様々な阻害要因が少しでも解消し、希望するものの結婚や出産が実現できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【若者交流促進事業】…独身男女の出会いを創出するイベント及び若者が気軽に参加できる交流イベントの経費の助成（R6拡充）
【結婚新生活支援事業（R3～）】…結婚新生活スタートのための住宅取得費用、引っ越し費用等の助成（上限あり）
【若者出会い応援事業】…市指定マッチングサービス利用料の一部助成、交際に要する費用の一部助成等（R6新規）
【三世代同居等促進住まい支援事業】…三世代同居や近居を促進するため、子育て世帯の住宅等の購入やリフォーム等の支出に補助金を支出する。（令和４年度で事業廃止）

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①若者交流促進事業 ・委託分…1社／5,313千円／参加者延べ114人／個別アドバイス6回、セミナー2回、交流会6回 ・補助分…2社／714千円／参加者延べ67人／音楽＆スイーツ交流会、居酒屋交流会 ②結婚新生活支援事業…申請件数56件（20件は令和7年度継続申請予定、29歳以下39件、左記以外17件） ③若者出会い応援事業…マッチングサービス利用料助成（16件／156千円）、交際費用助成（38件／941千円）、あきた結婚支援センター入会登録料助成（10千円×22件）
令和 7年度（決算）	①若者交流促進事業 ・委託分…1社／5,466千円／参加者延べ50人／個別アドバイス2回、セミナー2回、交流会7回 ・補助分…1社／61千円／参加者延べ7人／クリスマス交流会 ②結婚新生活支援事業…申請件数63件（20件は令和8年度継続申請予定、29歳以下42件、左記以外21件） ③若者出会い応援事業…マッチングサービス利用料助成（15件／167千円）、交際費用助成（16件／337千円）、あきた結婚支援センター入会登録料助成（10千円×21件）
令和 8年度（計画）	①結婚新生活スタートのための家賃・引越し費用等助成 ②29歳以下で、住居取得、リフォーム等を実施する際の費用助成 ③あきた結婚支援センター入会登録料全額負担
令和 9年度（計画）	①結婚新生活スタートのための家賃・引越し費用等助成 ②29歳以下で、住居取得、リフォーム等を実施する際の費用助成 ③あきた結婚支援センター入会登録料全額負担

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	年間婚姻率（人口千人あたりの婚姻件数割合）（令和3年度～）※人口9月末				
		単位	－	目標値	2.98	2.99	3		
				実績値	2.38	2.17	2.42		
	2	区分	成果	指標	出会いの場（市補助事業）に参加した独身男女の比率（R3はオンライン参加者）				
		単位	－	目標値	1対1	1対1	1対1		
				実績値	1対0.83	1対1.09	1対0.75		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	4,350	8,400	12,545	16,000	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	8,650	19,921	12,904	67,400	0
事業費の小計		13,000	28,321	25,449	83,400	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられている重点事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市の重点課題の一つである人口減少や少子化の抑制を図ることを目的としており、公益性は高い。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	直接的には若年層がサービスの対象であるが、人口減少対策や少子化対策として市全体に公益をもたらす事業である。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	婚姻率や出生率の減少傾向が顕著であり、毎年度事業の見直しを行いながら目標値に近づける必要がある。
		類似事業の存在	2点：類似目的の事業が存在しており、事業統合の検討の余地がある。
		2	人口減少や少子化対策事業として類似目的の事業はあるが、それぞれ目的やターゲット等を明確化しながら事業を展開している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	人口減少や少子化対策の入口となる重要な事業であり、見直しを行いながら継続した取り組みが必要である。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	民間等においても若者交流や結婚支援関連サービスが行われているが、危機的な少子化の現状も踏まえ、行政としても積極的かつ直接的な実施が必要と考える。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年見直しを行いながら実施しているが、一部の事業は参加者や申請者が少数であることから、中止を含めた抜本的な見直しが必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体でも同様の取り組みを行っていることから適切であると考える。また、出会いイベント等の事業の実施においては、必要に応じて自己負担を求めている。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　7×3　＋　7×3　　総合評価点　７４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

2030年代に入る前の残り４年が少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスとされる。少子化対策に特効薬はなく、様々な角度からの中長期的な取り組みが必要であるが、実績を伴わない事業については中止を含めた抜本的な見直しを行い、コスト投入の拡大の可能性を含めた新たな事業展開の検討が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	03 経営企画課	0	0	0	0	83,400	0
	若者結婚生活応援事業							
2	020107	03 経営企画課	6,027	5,527	0	5,527	0	0
	若者交流促進事業							
3	020107	03 経営企画課	20,977	19,208	12,405	6,803	0	0
	結婚新生活支援事業							
4	020107	03 経営企画課	1,317	714	140	574	0	0
	若者出会い応援事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

第２次横手市総合計画　後期基本計画
実施計画事業企画書【政策７】

基本目標

計画実現のために

【政策７】

横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます《行政経営》

実施計画事業名	頁	実施計画事業名	頁
【施策7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進		公債償還元金	1876
議会管理費	1636	公債償還利子	1880
一般管理費（人事事務）	1640	一時借入金利子	1884
一般管理費（秘書事務）	1644	公債諸費	1888
一般管理費	1648	財政調整基金積立金	1892
行政改革推進事業	1652	減債基金積立金	1896
市制施行記念式典事業	1656	ふるさと水と土保全基金積立金	1900
文書費	1660	子牛導入貸付事業基金積立金	1904
庁舎管理費（本庁舎）	1664	ふるさと振興基金積立金	1908
庁舎管理費（条里南庁舎）	1668	振興基金積立金	1912
庁舎管理費（条里北庁舎）	1672	ふるさと応援基金積立金	1916
庁舎管理費（増田庁舎）	1676	農業災害復旧事業基金積立金	1920
庁舎管理費（平鹿庁舎）	1680	予備費	1924
庁舎管理費（雄物川庁舎）	1684	財産経営推進計画実施事業	1928
庁舎管理費（大森庁舎）	1688	公共施設等総合管理推進基金積立金	1932
庁舎管理費（十文字庁舎）	1692	森林環境基金積立金	1936
庁舎管理費（山内庁舎）	1696	大型公共施設整備事業	1940
庁舎管理費（大雄庁舎）	1700	中小企業経営安定基金積立金	1944
庁舎管理費（県平鹿地域振興局庁舎）	1704	横手市民会館施設整備基金積立金	1948
庁舎管理費（水道庁舎）	1708	【施策7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	
公用車管理費	1712	職員研修及び厚生費	1952
企画総務費	1716	公平委員会総務費	1956
総合計画策定事業	1720	非常勤特別職報酬（公平委員）	1960
情報化総務事務費	1724		
情報システム運用管理費	1728		
ネットワーク管理費	1732		
検査管理事務費	1736		
戸籍事務費	1740		
住民基本台帳事務費	1744		
印鑑事務費	1748		
自動車臨時運行事務費	1752		
中長期在留者居住地届出等事務費	1756		
旅券事務費	1760		
選挙管理委員会総務費	1764		
非常勤特別職報酬（監査委員）	1768		
選挙啓発事業	1772		
統計総務費	1776		
学校基本調査費	1780		
秋田県年齢別人口流動調査費	1784		
経済センサス費	1788		
監査委員総務費	1792		
非常勤特別職報酬（選挙管理委員）	1796		
個人番号カード等交付事務費	1800		
参議院議員通常選挙費	1804		
秋田県知事選挙費	1808		
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	1812		
横手市長及び市議会議員選挙費	1816		
証明書等コンビニ交付費	1820		
農林業センサス費	1824		
国勢調査費	1828		
地方創生臨時交付金事業	1832		
ＩＣＴ活用サービス推進事業	1836		
定額減税調整給付金給付事業	1840		
【施策7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進			
財政管理費	1844		
財産管理費	1848		
公共用地借上費	1852		
会計管理費	1856		
税務事務費	1860		
賦課事務費	1864		
徴収事務費	1868		
地籍調査事業	1872		

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 議会管理費

部・担当課	議会事務局・議事課	担当課長氏名	高橋　司
予算科目事業	1 一般会計－010101－030100　　議会費・議会費・議会費 議会管理費・議会管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
横手市議会
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
豊かな横手市を実現するための議決機関としての権能の実践
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【議会管理費】①定例会等議会に関連する会議の開催を支援する。 ②議長会会議・研修会等への積極的参加 ③横手市議会基本条例に基づいた議会及び議員活動の実践と検証、政務活動による調査研究と議員特別研修の実施 ④本会議場等の環境整備・設備保守、本議会等の円滑な運営と市民に安定的に議会活動を周知報告する。 ⑤タブレット端末の運用…タブレット端末を用い、円滑な議会活動を展開する。

④ 根 拠 法 令	地方自治法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①定例会等会議の開催および研修会等への参加 ②議会だよりやＦＭ放送などによる広報活動の充実 ③政務活動費（1人当たり10,000円/月）の支給（執行率65.7%） ④議員活動の実施支援（タブレット端末の運用を含む）
令和 7年度（決算）	①定例会等会議の開催、改選による議員活動の環境整備と初議会の開催 ②研修会等への参加、議員活動の実施支援（タブレット端末の運用を含む） ③政務活動費（1人当たり10,000円/月）の支給（4～10月分執行率62.1%、11月～令和8年3月分執行率69.5%）
令和 8年度（計画）	①定例会等会議の開催 ②研修会等への参加、議員活動の実施支援（タブレット端末の運用を含む） ③政務活動費（1人当たり10,000円/月）の支給
令和 9年度（計画）	①定例会等会議の開催 ②研修会等への参加、議員活動の実施支援（タブレット端末の運用を含む） ③政務活動費（1人当たり10,000円/月）の支給

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	議会ホームページアクセス数				
		単位	件	目標値	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
				実績値	235,257	206,147	266,927		
	2	区分	活動	指標	市民と議会の懇談会実施回数（R5年度追加）				
		単位	回	目標値	5	5	5	5	
				実績値	3	0	1		
	3	区分	成果	指標	議会報告会参加者数（R4年度で終了）				
		単位	人	目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	459	459	465	450	389
	(f) 一般財源	30,033	28,217	31,242	37,715	38,015
事業費の小計		30,492	28,676	31,707	38,165	38,404

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	010101	03	議事課	議会管理費	28,676	31,707	465	31,242	38,165	38,404

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0004 一般管理費（人事事務）

部・担当課	総務企画部・人事課	担当課長氏名	山本　剛
予算科目事業	1 一般会計－020101－040100　　総務費・総務管理費・一般管理費 一般管理費（人事事務）・人事事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

職員・横手市役所への就職を希望する人・人事課職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・職員の効果的な人事配置、横手市に必要な人材の採用、障がい者の方の雇用が推進されている。
・職員が働きやすい職場環境と感じている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・定員適正化計画を踏まえた職員採用試験の実施等
・人事管理のための調査研究等
・派遣職員に係る赴任費用の負担

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市定員適正化計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・職員採用試験の実施 次年度採用職員　23名 （大卒9名、短大卒0名、高卒2名、職務経験4名、理学療法士1名、管理栄養士4名、看護師1名、介護士2名） ・職員派遣の実施 派遣先：国行政機関2名、秋田県3名、後期高齢者医療広域連合1名　計6名
令和 7年度（決算）	・職員採用試験の実施 次年度採用職員　26名 （大卒11名、短大卒0名、高卒2名、職務経験4名、学芸員1名、保健師4名、看護師1名、介護士1名、障がい者2名） ・職員派遣の実施 派遣先：国行政機関1名、秋田県3名、後期高齢者医療広域連合1名　計5名
令和 8年度（計画）	・国の行政機関や地方公共団体、民間企業等への職員派遣に係る経費 ・職員採用試験の実施に係る経費 ・人事課事務経費
令和 9年度（計画）	・国の行政機関や地方公共団体、民間企業等への職員派遣に係る経費 ・職員採用試験の実施に係る経費 ・人事課事務経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	定員適正化計画に基づき職員を新規採用する				
		単位	人	目標値	17	13	15	15	15
				実績値	12	23	26		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	73	60	60	60	0
	(f) 一般財源	8,628	10,130	8,458	11,580	0
事業費の小計		8,701	10,190	8,518	11,640	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　**（単位：千円）**

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	020101	04	人事課	10,190	8,518	60	8,458	11,640	0
	人事事務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 一般管理費（秘書事務）

部・担当課	総務企画部・秘書広報課	担当課長氏名	菅原　徳子
予算科目事業	1 一般会計－020101－050100　　総務費・総務管理費・一般管理費 一般管理費（秘書事務）・秘書管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市長、副市長、秘書広報課職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市長及び副市長のスケジュールが的確に管理され、業務に支障が生じず結果が生み出せている。
市長及び副市長の秘書業務が円滑に行われる体制が整えられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【秘書管理費】
・市長及び副市長の秘書用務
・省庁訪問、企業訪問、各種会議等への出席

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・会議出席等に伴う出張旅費（全56回・全94件：5,584,8117円） うち企業訪問及び要望活動（秋田自動車道四車線化期成同盟会要望会、省庁訪問等48件） ・市長交際費（全166件：1,110,923円） ・各種団体に係る負担金、年会費（秋田県市長会負担金等2,937,400円） ほか秘書業務全般にかかる経費
令和 7年度（決算）	・会議出席等に伴う出張旅費（全48回・全91件：3,328,557円） うち企業訪問及び要望活動（秋田自動車道四車線化期成同盟会要望会、省庁訪問等41件） ・市長交際費（全167件：1,140,963円） ・各種団体に係る負担金、年会費（秋田県市長会負担金等3,328,900円） ほか秘書業務全般にかかる経費
令和 8年度（計画）	・省庁訪問、企業訪問及び会議出席等に伴う出張旅費 ・市長交際費（市代表者が外部団体との交際に要する経費） ・各種団体に係る負担金、会議参加費等
令和 9年度（計画）	・省庁訪問、企業訪問及び会議出席等に伴う出張旅費 ・市長交際費（市代表者が外部団体との交際に要する経費） ・各種団体に係る負担金、会議参加費等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	巡回地域局数				
		単位	箇所	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	8	8	8		
	2	区分	活動	指標	市内外企業への訪問数				
		単位	回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	14	23	15		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	9,896	11,089	9,555	12,837	12,155
事業費の小計		9,896	11,089	9,555	12,837	12,155

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	020101	05	秘書広報課	11,089	9,555	0	9,555	12,837	12,155
	秘書管理費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0006 一般管理費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020101－060100　　総務費・総務管理費・一般管理費 一般管理費・総務管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民、総務課職員（総務課所管用務を担う各地域課職員を含む）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・対市民に係る総務課所管業務を円滑に遂行する。
・職員の一般的な管理業務を適正に行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【総務管理費】①固定資産評価審査委員会の開催　②非核平和都市宣言に関する標語コンクールの実施　③各種表彰事務及び表彰式随行用務④全国市長会市民総合賠償補償保険に係る事務　⑤顧問弁護士の委託業務　⑥自衛官募集に関する事務の実施
【一般管理費】（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）
・各地域に係る総務課関係事務を円滑に執行する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・弔祭料、弔花料（150千円） ・非核平和都市宣言標語コンクール（応募総数935点） ・顧問弁護士委託料（1,056千円） ・市民総合賠償保険料（1,074千円） ・自衛官募集事務（26千円） ・各地域局に係る事務費
令和 7年度（決算）	・固定資産評価審査委員会委員報酬（54千円） ・弔祭料、弔花料（100千円） ・非核平和都市宣言標語コンクール（応募総数738点） ・顧問弁護士委託料（1,056千円） ・自衛官募集事務（55千円） ・市民総合賠償保険料（1,050千円）　・各地域局に係る事務費
令和 8年度（計画）	・固定資産評価審査委員会委員報酬 ・弔祭料　・非核平和都市宣言標語コンクール ・顧問弁護士委託料　・自衛官募集事務　等
令和 9年度（計画）	・固定資産評価審査委員会委員報酬 ・弔祭料　・非核平和都市宣言標語コンクール ・顧問弁護士委託料　・自衛官募集事務　等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	損害賠償支払件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	2	5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	77	55	55	55	60
	(b) 県支出金	2,101	1,837	1,754	1,665	1,934
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	1	2	2	1	0
	(e) その他特定財源	6	0	0	1,101	1,102
	(f) 一般財源	11,542	7,940	14,125	10,992	8,535
事業費の小計		13,727	9,834	15,936	13,814	11,631

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020101	06 総務課	3,043	9,045	1,811	7,234	6,392	4,213
	総務管理費							
2	020101	06 横手地域課	3,281	3,489	0	3,489	3,571	3,461
	一般管理費（横手地域局）							
3	020101	06 増田地域課	1,954	1,856	0	1,856	1,979	2,085
	一般管理費（増田地域局）							
4	020101	06 平鹿地域課	310	292	0	292	458	458
	一般管理費（平鹿地域局）							
5	020101	06 雄物川地域課	229	231	0	231	284	240
	一般管理費（雄物川地域局）							
6	020101	06 大森地域課	503	439	0	439	514	514
	一般管理費（大森地域局）							
7	020101	06 十文字地域課	20	30	0	30	36	36
	一般管理費（十文字地域局）							
8	020101	06 山内地域課	188	215	0	215	192	236
	一般管理費（山内地域局）							
9	020101	06 大雄地域課	306	339	0	339	388	388
	一般管理費（大雄地域局）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 行政改革推進事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020101－080100　　総務費・総務管理費・一般管理費 行政改革推進事業・行政改革推進事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
行政内部
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【行政改革推進事業】・・・総合計画・予算・行政評価が連動する行政経営システムの運用、行財政改革アクションプランの策定・推進、行財政改革推進委員会の開催、指定管理者制度の適正運用、補助金の適正運用、アウトソーシングの推進 【庁舎機能再編事業】・・・庁舎機能再編に伴う備品購入等の費用（R6終了） 【指定管理施設物価高騰対策事業】・・・指定管理施設の電気、ガス及び燃料のかかり増し経費を支援

④ 根 拠 法 令	簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律	⑤ 関 連 計 画	第2次行財政改革アクションプラン
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・第2次行財政改革アクションプランの推進（R3年度～） ・第2次行財政改革アクションプランのローリング（R7.3月） ・行財政改革推進委員会の開催（委員5名・1回開催・委員報酬30千円） ・指定管理者委員会の開催（外部委員3名・1回開催・委員報酬18千円） ・会計課のフロア移動、財務部とまちづくり推進部、商工観光部、農業委員会の庁舎移転 ・指定管理施設物価高騰対策として光熱費のかかり増し経費支援（16,163千円）
令和 7年度（決算）	・第2次行財政改革アクションプランの推進（R3年度～） ・第3次行財政改革アクションプランの策定（R8.3月） ・行財政改革推進委員会の開催（委員7名・3回開催・委員報酬126千円） ・指定管理者委員会の開催（外部委員3名・2回開催・委員報酬36千円） ・アナログ規制の点検、見直し（委託料3,949千円） ・指定管理施設物価高騰対策として光熱費のかかり増し経費支援（17,522千円）
令和 8年度（計画）	行財政改革推進事業（行財政改革推進委員会委員報酬、指定管理者選定委員会委員報酬、第3次行財政改革アクションプランの推進、アナログ規制の見直しと検討）
令和 9年度（計画）	行財政改革推進事業（行財政改革推進委員会委員報酬、指定管理者選定委員会委員報酬、第3次行財政改革アクションプランの推進）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手市の取組全体に対する市民満足度（まちづくりアンケート結果）令和3年度から目標値変更				
		単位	%	目標値	68.6	68.6	68.6	68.6	68.6
				実績値	60.1	61.7			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	19,751	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,443	16,213	22,252	1,767	318
事業費の小計		21,194	16,213	22,252	1,767	318

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	将来にわたって持続的な行政経営を実現するための取り組みであり、生産性や効率性の向上を目指して、不断の取り組みが必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	行政サービスの質の向上とコスト削減を主たる目的とした行財政改革であり、市全体の公益に結び付くものである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	行政サービスの質の向上とコスト削減は、すべての市民の利益に結び付くものである。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	横手市行財政改革アクションプランに基づき進行管理しており、ローリングによる見直しも行いながら、着実かつ継続的に取り組みを進めている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局において、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	より効率的で効果的な行政経営手法を構築しようとするものであり、行政経営や行政サービスの質の向上を図るためには不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	将来にわたって持続的な行政経営を実現するため、市自らが継続して取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	横手市行財政改革アクションプランに基づいて進行管理しており、ローリングによる見直しも行いながら進めているが、持続的な行政経営の実現に向けて、今後も毎年度の見直しが必要である。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	全国の自治体でも同様に取り組んでいる事業であり、事業は適切である。
項目点合計		２６	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　8×3
総合評価点		８７	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

最小の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営の実現のため、行政経営手法の確立や組織機構改革については不断の取り組みが必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020101	08 経営企画課	50	4,730	0	4,730	1,767	318
	行政改革推進事業							
2	020101	08 経営企画課	16,163	17,522	0	17,522	0	0
	指定管理施設物価高騰対策事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 市制施行記念式典事業

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020101－090100　　総務費・総務管理費・一般管理費 市制施行記念式典事業・市制施行記念式典		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民が、新市制施行記念日の10月1日を市政の節目として祝い、新たな節目のスタートとして市の一体感を意識している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【市制施行記念式典事業費】

市制施行記念表彰式を開催し、節目を市全体で祝うとともにさらに飛躍するための出発点として記念式典等を開催する。

・表彰候補者の選定。

・庁内各課及び市民団体等との連携。

④根拠法令	横手市市制施行記念日を定める条例	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	表彰式の開催に要する費用。 10月1日、横手市ふれあいセンターかまくら館で、市制施行19周年記念表彰式を実施。 横手市表彰条例に基づく表彰4名、横手市技能功労者表彰7名、感謝状贈呈16名。
令和 7年度（決算）	市制施行20周年記念式典の開催に要する費用。 10月4日、横手市民会館で、市制施行20周年記念式典を開催。 横手市表彰条例に基づく表彰者5名、横手市技能功労者3名、優良技能者1名、感謝状贈呈者10名、感謝状贈呈者（まんが美術館）7名。
令和 8年度（計画）	表彰式の開催に要する費用。
令和 9年度（計画）	表彰式の開催に要する費用。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	表彰条例による表彰者数				
		単位	人	目標値	―	―	―	―	―
				実績値	6	4	5		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	344	240	2,505	407	338
事業費の小計		344	240	2,505	407	338

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市表彰条例に基づき実施する事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	横手市表彰条例第２条に基づく表彰者数が一定数を超えている。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	横手市表彰条例に基づき市が実施する必要がある。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業当初から同じ内容や手段で実施しており、参加者数を増やすため、内容の見直し・改善を行う必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市の業務遂行上必要な経費であり、市が負担すべきものである。
項目点合計	２８	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　9×3　＋　9×3	総合評価点　９４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

当事業は、横手市表彰条例に基づく表彰を毎年「市制施行記念日」に行うことが定められている事業である。市政発展のために多大な貢献をされた方をはじめ、各専門分野において市の産業振興に大きな貢献をされた方を対象に表彰しており、他に類似性がない事業のため、今後も継続的に実施していくべきである。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020101 09	総務課						
	市制施行記念式典事業		240	2,505	0	2,505	407	338

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 文書費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020102－010100　　総務費・総務管理費・文書費 文書費・文書費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

職員、市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・文書の印刷及び発送を適正に行う。・歴史的公文書が適切に管理されている。
・例規システムを活用し、正確で効率的な例規の制定、改正、改廃の作業支援及び法令審査を行う。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【文書費】　①公文書等の発送　②横手市情報公開・個人情報保護審査会の開催　③印刷機の保守管理の継続
④例規システムの運用及び委託業者との連携　⑤横手市公文書館の管理運営
【文書費】（横手・増田・平鹿・雄物川・大森・十文字・山内・大雄）　①公文書等の発送等
【文書管理費】公文書館及び文書管理施設の運営・管理

④根拠法令	公文書等の管理に関する法律、 個人情報の保護に関する法律　他	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公文書郵送料（本庁及び各地域局発送分） ・本庁舎印刷室に係る経費（コピー用紙、パフォーマンスチャージ、インク代等） ・個人情報取扱業務WEBシステム使用料 ・例規システムサーバリース料 ・横手市例規集追録印刷代 ・公文書館及び文書管理施設に係る経費
令和 7年度（決算）	・公文書郵送料（本庁及び各地域局発送分） ・本庁舎印刷室に係る経費（コピー用紙、パフォーマンスチャージ、インク代等） ・個人情報取扱業務WEBシステム使用料 ・例規システムサーバリース料 ・横手市例規集追録印刷代 ・公文書館及び文書管理施設に係る経費
令和 8年度（計画）	・公文書郵送料（本庁及び各地域局発送分） ・本庁舎印刷室に係る経費 ・例規サポートシステムリース料　・公文書館及び文書管理施設に係る経費
令和 9年度（計画）	・公文書郵送料（本庁及び各地域局発送分） ・本庁舎印刷室に係る経費 ・例規サポートシステムリース料　・公文書館に係る経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	情報公開請求から交付までの平均日数				
		単位	日	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	8	11	10		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	8	6	14	1	1
	(e) その他特定財源	126	104	117	56	58
	(f) 一般財源	55,115	59,426	69,026	71,160	63,868
事業費の小計		55,249	59,536	69,157	71,217	63,927

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020102 01 総務課 文書費		11,767	12,134	90	12,044	13,549	13,185
2	020102 01 横手地域課 文書費（横手地域局）		11,583	12,271	0	12,271	12,444	11,879
3	020102 01 増田地域課 文書費（増田地域局）		685	629	0	629	868	868
4	020102 01 平鹿地域課 文書費（平鹿地域局）		3,693	3,940	27	3,913	4,196	4,224
5	020102 01 雄物川地域課 文書費（雄物川地域局）		2,867	2,793	0	2,793	3,296	3,505
6	020102 01 大森地域課 文書費（大森地域局）		1,578	1,536	0	1,536	1,617	1,593
7	020102 01 十文字地域課 文書費（十文字地域局）		3,880	4,106	0	4,106	4,281	4,281
8	020102 01 山内地域課 文書費（山内地域局）		1,992	2,465	0	2,465	2,340	2,340
9	020102 01 大雄地域課 文書費（大雄地域局）		2,886	2,736	0	2,736	2,626	2,626
10	020102 01 総務課 文書管理施設費		18,605	20,123	14	20,109	26,000	19,426
11	020102 01 総務課 文書管理施設費（建設）		0	6,424	0	6,424	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 庁舎管理費（本庁舎）

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020106－020100　　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（本庁舎）・本庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
全市民（主に来庁者）及び職員
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【本庁舎管理費】 ・本庁舎に係る各種設備の保守に関して委託業者等と連携し、適正に維持管理等の業務を遂行する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	本庁舎保守管理事業 ・庁舎保守管理、庁舎周辺駐車場保守管理（本庁舎周辺３ヵ所） ・本庁舎照明ＬＥＤ化改修工事、本庁舎受変電設備等改修工事、本庁舎劣化度等調査業務委託 ※H26光熱水費（燃料費含む）基準額34,429,923円に対し、R06実績額30,761,215円（－10.7%）
令和 7年度（決算）	本庁舎保守管理事業 ・本庁舎施設の建物や付属設備の保守点検、電気・水道・冷暖房の運転管理、設備の補修、施設の清掃・警備 ・本庁舎来客用駐車場（３ヶ所）の管理、冬期間の排雪 ・本庁舎高圧引込設備工事 ※H26光熱水費（燃料費含む）基準額34,429,923円に対し、R07実績額44,327,056円（＋28.8%）
令和 8年度（計画）	本庁舎保守管理事業 ・庁舎保守管理業務全般（年間業務委託、短期業務委託、修繕工事、来客用駐車場管理等） 本庁舎大規模改修事業
令和 9年度（計画）	本庁舎保守管理事業 ・庁舎保守管理業務全般（年間業務委託、短期業務委託、修繕工事、来客用駐車場管理等） 本庁舎大規模改修事業

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	光熱水費の削減率（H26年度を基準値とする）				
		単位	%	目標値	95	95	95	95	95
				実績値	124	89	128		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	2,000	112,200	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	21,317	22,632	23,299	35,406	21,457
	(f) 一般財源	69,199	131,234	73,866	72,712	333,241
事業費の小計		92,516	266,066	97,165	108,118	354,698

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020106 02 総務課 本庁舎管理費		89,300	95,779	23,299	72,480	96,118	91,698
2	020106 02 総務課 本庁舎管理費（建設）		176,766	1,386	0	1,386	12,000	263,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 庁舎管理費（条里南庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・横手地域課	担当課長氏名	坂水　剛
予算科目事業	1 一般会計－020106－030100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（条里南庁舎）・条里南庁舎管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【条里南庁舎管理費】
- 庁舎維持管理に係る業務委託
- 経年劣化の進行により生じた不良箇所の修繕
- 躯体、空調等基幹設備の改修

④根拠法令	横手市庁舎管理規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・光熱水費、燃料費の支払 ・庁舎維持管理に係る業務委託 ・庁舎設備の修繕及び更新（ボイラー室配管、消防設備、照明器具等）
令和 7年度（決算）	・光熱水費、燃料費の支払 ・庁舎維持管理に係る業務委託 ・庁舎設備の修繕及び更新（ボイラー室配管、ボイラー本体、消防設備、照明器具等）
令和 8年度（計画）	・光熱水費、燃料費の支払 ・庁舎維持管理に係る業務委託 ・庁舎設備の修繕及び更新
令和 9年度（計画）	・光熱水費、燃料費の支払 ・庁舎維持管理に係る業務委託 ・庁舎設備の修繕及び更新

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	電気使用量対H26年度比				
		単位	%	目標値	20%以内	15%以内	10%以内	8%以内	6%以内
				実績値	2.34	-2.79	-2.95		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	324	464	454	418	418
	(f) 一般財源	15,897	15,473	13,983	15,941	16,731
事業費の小計		16,221	15,937	14,437	16,359	17,149

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020106	03	横手地域課						
	条里南庁舎管理費			15,937	14,437	454	13,983	16,359	17,149

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 庁舎管理費（条里北庁舎）

部・担当課	消防長・消防本部総務課	担当課長氏名	加藤　真
予算科目事業	1 一般会計－020106－040100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（条里北庁舎）・条里北庁舎管		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【条里北庁舎管理費】平成５年建設し３０年以上経過した条里北庁舎の建物・設備等の適切な点検・改修実施。庁舎に係る各種設備の保守に関して委託業者等と連携し、適正に維持管理等の業務を遂行する。庁舎の維持管理、点検等に要する経費の支出。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	横手市財産経営推進計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	条里北庁舎の維持管理 ・訓練塔訓練用梯子金具交換工事 ・その他維持管理経費
令和 7年度（決算）	条里北庁舎の維持管理 ・条里北庁舎照明ＬＥＤ化改修工事 ・条里北庁舎照明ＬＥＤ化改修工事設計及び設計監理、工事監理業務委託 ・条里北庁舎非常用発電機蓄電池交換修繕 ・条里北庁舎非常用発電機電磁接触器交換修繕
令和 8年度（計画）	・条里北庁舎保守点検及び維持管理 ・条里北庁舎エアコン設置工事　・条里北庁舎非常用発電機高圧ケーブル改修工事 ・条里北庁舎ファンコイルユニット取替修繕工事
令和 9年度（計画）	・条里北庁舎保守点検及び維持管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	条里北庁舎光熱水費の削減（年１％減）				
		単位	千円	目標値	12,177	12,055	11,934	11,815	11,687
				実績値	18,559	17,495	16,807		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	56,600	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2,046	1,440	727	48,324	1,157
	(f) 一般財源	42,235	32,265	42,143	37,313	40,543
事業費の小計		44,281	33,705	99,470	85,637	41,700

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	04 消防本部総務課	33,020	34,652	727	33,925	38,044	41,700
	条里北庁舎管理費							
2	020106	04 消防本部総務課	685	64,818	56,600	8,218	47,593	0
	条里北庁舎管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 庁舎管理費（増田庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・増田地域課	担当課長氏名	信太　正樹
予算科目事業	1 一般会計－020106－060100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（増田庁舎）・増田庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【増田庁舎管理費】（建設事業含む）

・増田庁舎に係る各種設備の保守点検を実施し、庁舎の適正な維持管理を行う。

④ 根拠法令	横手市庁舎管理規則	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	増田庁舎保守管理事業 ・庁舎管理（夜警、日直）、清掃業務、事務機器保守、エレベーター保守、消防設備保守　その他 18,720千円
令和 7年度（決算）	増田庁舎の運営及び維持管理を実施する。 ・庁舎管理（夜警、日直）、清掃業務、事務機器保守、エレベーター保守、消防設備保守　その他 19,943千円
令和 8年度（計画）	増田庁舎の運営及び維持管理を実施する。 増田庁舎の照明器具ＬＥＤ更新工事を行う。
令和 9年度（計画）	増田庁舎の運営及び維持管理を実施する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	日常目視点検の実施日				
		単位	日	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	50	50	50		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	32,800	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,235	439	94	78	232
	(f) 一般財源	17,414	18,281	19,849	25,929	20,120
事業費の小計		18,649	18,720	19,943	58,807	20,352

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	06 増田地域課	18,720	19,943	94	19,849	22,307	20,352
	増田庁舎管理費							
2	020106	06 増田地域課	0	0	0	0	36,500	0
	増田庁舎管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 庁舎管理費（平鹿庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・平鹿地域課	担当課長氏名	佐藤　明子
予算科目事業	1 一般会計－020106－070100　　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（平鹿庁舎）・平鹿庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【平鹿庁舎管理費】

・平鹿庁舎の管理運営、設備の保守点検

庁舎に係る各種設備の保守に関して委託業者等と連携し、適正に維持管理等の業務を遂行する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	平鹿庁舎の維持管理費 ・消耗品費、燃料費、光熱水費、電話料金、シルバー人材委託料（清掃、宿直）、各設備の保守点検委託料等
令和 7年度（決算）	平鹿庁舎の維持管理費 ・消耗品費、燃料費、光熱水費、電話料金、シルバー人材委託料（清掃、宿直）、各設備の保守点検委託料等
令和 8年度（計画）	平鹿庁舎保守管理業務（需用費、役務費、委託料他） ・維持管理コストの軽減を図る ・来庁者及び職員の快適環境を確保する
令和 9年度（計画）	平鹿庁舎保守管理業務（需用費、役務費、委託料他） ・維持管理コストの軽減を図る ・来庁者及び職員の快適環境を確保する

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	再生可能エネルギーの導入により、光熱水費・燃料費の削減を図る。				
		単位	%	目標値	H28年比-5%	H28年比-5%	H28年比-5%	H28年比-5%	H28年比-5%
				実績値	H28年比20.6%	H28年比20.7%	H28年比20.7%		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	310	324	325	305	293
	(f) 一般財源	12,367	13,216	11,601	12,703	12,439
事業費の小計		12,677	13,540	11,926	13,008	12,732

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度(決算) 事業費	令和 7年度(決算) 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度(計画) 事業費	令和 9年度(計画) 事業費
1	020106	07	平鹿地域課	13,540	11,926	325	11,601	13,008	12,732
	平鹿庁舎管理費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 庁舎管理費（雄物川庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・雄物川地域課	担当課長氏名	佐々木 浩之
予算科目事業	1 一般会計－020106－080100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（雄物川庁舎）・雄物川庁舎管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【雄物川庁舎管理費】

・雄物川庁舎に係る各種設備の保守に関して委託業者等と連携し、適正に維持管理等の業務を遂行する。
（施設設備の維持管理、保守管理、修繕、省エネへの取り組み等）

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	雄物川庁舎保守管理事業 ・庁舎補助員１名及び文書配達員１名の任用（報酬3,752千円、期末勤勉手当1,415千円、費用弁償145千円） ・雄物川庁舎管理に要する経費（光熱水費4,076千円、修繕料231千円、賃借料242千円ほか） ・消防設備・特殊建築物定期点検の実施（手数料168千円）　・電話使用料（通信運搬費547千円） ・庁舎宿日直委託料（シルバー人材委託料2,371千円）　・保守点検業務委託（その他委託料1,166千円）
令和 7年度（決算）	雄物川庁舎保守管理事業 ・庁務補助員1人及び文書配達員1名の任用（報酬4,020千円、期末勤勉手当1,512千円、費用弁償149千円） ・雄物川庁舎管理に要する経費（光熱水費4,281千円、修繕料244千円、賃借料242千円ほか） ・消防設備点検の実施（手数料68千円）・電話使用料（通信運搬費550千円） ・庁舎宿日直委託料（シルバー人材委託料2,616千円）・保守点検業務委託（その他委託料1,277千円）
令和 8年度（計画）	雄物川庁舎保守管理事業 庁舎保守管理（需用費・役務費・委託料他）
令和 9年度（計画）	雄物川庁舎保守管理事業 庁舎保守管理（需用費・役務費・委託料他）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	使用電気量の削減（R３年度比）令和４年度～				
		単位	%	目標値	-4	-4	-4	-4	-4
				実績値	-1.79	1.73	1.06		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	44	48	48	36	36
	(f) 一般財源	13,280	14,434	15,284	15,927	14,964
事業費の小計		13,324	14,482	15,332	15,963	15,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	08 雄物川地域課						
	雄物川庁舎管理費		14,482	15,332	48	15,284	15,963	15,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0018 庁舎管理費（大森庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・大森地域課	担当課長氏名	大極　孝春
予算科目事業	1 一般会計－020106－090100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（大森庁舎）・大森庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制と機能を充実させ、来庁者及び職員が良好な状態で利用できるようにしたい。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【大森庁舎管理費】

・庁舎及び庁舎内の各種設備等を適正に維持管理する。
（駐車場、出入口、通路等の点検、計画的な施設の修繕の実施、防犯管理の徹底、省エネ設備の導入や節電・節水などの節減、消防設備点検・避難訓練の実施、防災備品の管理等）・耐震補強と合わせた改修計画を進める。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	大森庁舎保守管理事業（需用費、役務費、委託料他） ・定期的に消防用設備、防災備品の点検及び避難誘導訓練を行った。 ・光熱水費削減に努めた。
令和 7年度（決算）	大森庁舎保守管理事業（需用費、役務費、委託料他） ・定期的に消防用設備、防災備品の点検及び避難誘導訓練を行った ・光熱水費削減に努めた
令和 8年度（計画）	大森庁舎保守管理事業（需用費、役務費、委託料他） ・定期的に消防用設備、防災備品の点検及び避難誘導訓練を行う。 ・光熱水費削減に努める。
令和 9年度（計画）	大森庁舎保守管理事業（需用費、役務費、委託料他） ・定期的に消防用設備、防災備品の点検及び避難誘導訓練を行う。 ・光熱水費削減に努める。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	光熱水費等の経費削減（対前年度費）				
		単位	%	目標値	1%減	1%減	1%減	1%減	
				実績値	4.3%増	1.8%増	0.2%増		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,118	836	535	558	0
	(f) 一般財源	26,622	28,934	31,547	29,936	30,703
事業費の小計		27,740	29,770	32,082	30,494	30,703

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	09 大森地域課	29,770	32,082	535	31,547	30,494	30,703
	大森庁舎管理費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 庁舎管理費（十文字庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・十文字地域課	担当課長氏名	照井　孝志
予算科目事業	1 一般会計－020106－100100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（十文字庁舎）・十文字庁舎管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【十文字庁舎管理費】
・庁舎運営が滞りなく行えるよう、委託業者等との連携による適正な維持管理を目指す
・施設維持経費の適切な管理による経費節減

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	十文字庁舎維持管理 施設保守管理（需用費・役務費・委託料他） 経費節減に努めながら、施設管理を実施　13,902,897円
令和 7年度（決算）	十文字庁舎維持管理 施設保守管理（需用費・役務費・委託料他） 経費節減に努めながら、施設管理を実施　14,435,996円
令和 8年度（計画）	十文字庁舎維持管理事業（需用費、役務費、委託料他） ・建物及び各種設備の定期点検、修繕
令和 9年度（計画）	十文字庁舎維持管理事業（需用費、役務費、委託料他） ・建物及び各種設備の定期点検、修繕

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	経費の予算内支出				
		単位	千円	目標値	15,041	15,521	15,738	15,583	15,583
				実績値	12,820	13,903	14,436		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	541	28	822	490	490
	(f) 一般財源	12,279	13,875	13,614	14,805	14,411
事業費の小計		12,820	13,903	14,436	15,295	14,901

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020106	10	十文字地域課						
	十文字庁舎管理費			13,903	14,436	822	13,614	15,295	14,901

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 庁舎管理費（山内庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・山内地域課	担当課長氏名	高橋　優華
予算科目事業	1 一般会計－020106－110100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（山内庁舎）・山内庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【山内庁舎管理費】

・庁舎に係る各種設備の保守に関して委託業者等と連携するなど、適正に維持管理等の業務を遂行する。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	山内地域局庁舎管理費　合計13,510千円 ・会計年度職員報酬、期末勤勉手当、費用弁償　2,673千円 ・消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料　5,017千円 ・通信運搬費、手数料　461千円 ・シルバー人材委託料（当直業務）、その他委託料　5,172千円 ・使用料　187千円
令和 7年度（決算）	山内地域局庁舎管理費　合計13,813千円 ・会計年度職員報酬、期末勤勉手当、費用弁償　2,848千円 ・消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料　4,973千円 ・通信運搬費、手数料　390千円 ・シルバー人材委託料（当直業務）、その他委託料　5,385千円 ・使用料　217千円
令和 8年度（計画）	山内地域局庁舎管理費（会計年度職員報酬・手当・費用弁償、消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、通信運搬費、シルバー人材委託料、その他委託料） 非常用発電機点検あり　　特殊建築物定期報告調査実施
令和 9年度（計画）	山内地域局庁舎管理費（会計年度職員報酬・手当・費用弁償、消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、通信運搬費、シルバー人材委託料、その他委託料） 非常用発電機点検なし　　特殊建築物定期報告調査実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	光熱水費の削減率（R1年度を基準値とする）				
		単位	%	目標値	95	95	95	95	95
				実績値	136.7	134.1	141.7		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	347	335	340	335	335
	(f) 一般財源	12,100	13,175	13,473	14,181	14,181
事業費の小計		12,447	13,510	13,813	14,516	14,516

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020106 11 山内地域課 山内庁舎管理費	13,510	13,813	340	13,473	14,516	14,516

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0021 庁舎管理費（大雄庁舎）

部・担当課	まちづくり推進部・大雄地域課	担当課長氏名	松川　敬
予算科目事業	1 一般会計－020106－120100　　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（大雄庁舎）・大雄庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【大雄庁舎管理費】

・庁舎に係る各種設備の保守に関して委託業者等と連携し、適正に維持管理等の業務を遂行する。
　（駐車場や玄関周りの緑化、計画的な施設の修繕の実施、消防設備点検及び避難訓練の実施、省エネへの取り組み等）

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	大雄庁舎の維持管理費 ・消耗品費、燃料費、光熱水費、通信運搬費等　7,944千円 ・修繕料　1,007千円 ・シルバー人材委託料（宿直、清掃）、各設備の保守点検委託料等　4,251千円
令和 7年度（決算）	大雄庁舎の維持管理費 ・保守点検及び維持管理（電気保安管理、空調機器維持管理、地下タンク・貯水槽保守、庁舎設備等の修繕、シルバー人材委託（宿直・清掃）等）　6,327千円 ・灯油代、電気・ガス・水道代、電話等通信料、消耗品代等　6,665千円 ・高圧ケーブル更新工事　1,177千円 ・空調設備改修工事（設計及び設計監理業務委託）　692千円
令和 8年度（計画）	・庁舎保守点検（年間業務委託等）及び維持管理（修繕工事等）の実施 ・庁舎外壁タイル打診調査、アスベスト調査の実施 ・庁舎照明ＬＥＤ化改修工事の実施
令和 9年度（計画）	・庁舎保守点検（年間業務委託等）及び維持管理（修繕工事等）の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	光熱水費の経費削減（対前年度比）				
		単位	%	目標値	-2%	-2%	-2%	-2%	-2%
				実績値	-7.2	-6.8	-5.2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	600	56,900	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	153	35	44	6,182	30
	(f) 一般財源	12,285	13,167	14,217	14,285	13,105
事業費の小計		12,438	13,202	14,861	77,367	13,135

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	12 大雄地域課	13,202	12,992	44	12,948	13,135	13,135
	大雄庁舎管理費							
2	020106	12 大雄地域課	0	1,869	600	1,269	64,232	0
	大雄庁舎管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0023 庁舎管理費（県平鹿地域振興局庁舎）

部・担当課	建設部・建設課	担当課長氏名	高橋　英樹
予算科目事業	1 一般会計－020106－050100　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（県平鹿地域振興局庁舎）・庁		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、市民が県・市等の行政単位をあまり意識することなくサービスを受けられている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【庁舎管理費（県平鹿地域振興局庁舎）】

秋田県との機能合体事業に伴い秋田県平鹿地域振興局庁舎内に設置する市の行政サービスを安定的に提供するため、市占有部分の庁舎管理を適正に実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市建設部の占有事務スペースに係る庁舎の使用料を県知事あて支出。 ・事務遂行のための需用費、役務費等の支出　・市民対応のための庁舎内環境整備、 ・市公用車駐車場の管理
令和 7年度（決算）	・市建設部の占有事務スペースに係る庁舎の使用料を県知事あて支出。 ・事務遂行のための需用費、役務費等の支出　・市民対応のための庁舎内環境整備、 ・市公用車駐車場の管理
令和 8年度（計画）	・平鹿地域振興局の市占有事務スペースに係る県庁舎の清掃委託を行うほか、光熱水費負担金を秋田県へ支出 ・行政サービスを安定的に提供するための庁舎内環境管理を実施
令和 9年度（計画）	・平鹿地域振興局の市占有事務スペースに係る県庁舎の清掃委託を行うほか、光熱水費負担金を秋田県へ支出 ・行政サービスを安定的に提供するための庁舎内環境管理を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	庁舎利用者からの行政サービス提供環境に対する苦情件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,997	4,751	4,421	4,325	4,418
事業費の小計		2,997	4,751	4,421	4,325	4,418

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	020106	05	建設課 庁舎管理費（県平鹿地域振興局庁舎）	4,751	4,421	0	4,421	4,325	4,418

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0024 庁舎管理費（水道庁舎）

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020106－989800　　総務費・総務管理費・財産管理費 庁舎管理費（水道庁舎）・水道庁舎管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

・全市民（主に来庁者）及び職員（県職員含む）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・行政サービスを安定的に提供できるための体制が整えられ、来庁者及び職員が庁舎を良好な状態で使用できている。
・秋田県との機能合体により県との連携強化を図り、業務の効率化と市民の利便性が向上している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【水道庁舎管理費】
・秋田県との機能合体に基づき、県教育庁南教育事務所が水道庁舎３階を使用することに伴い、横手市長部局側から所有者である水道事業管理者（水道事業会計）に対し、行政財産使用料を支払うもの。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	市長部局側から所有者である水道事業管理者（水道事業会計）に対し、行政財産使用料の支払事務を実施。 （秋田県との機能合体に基づき、県教育庁南教育事務所が使用する水道庁舎3Ｆフロア賃借料を市が負担する。）
令和 7年度（決算）	市長部局側から所有者である水道事業管理者（水道事業会計）に対し、行政財産使用料の支払事務を実施。 （秋田県との機能合体に基づき、県教育庁南教育事務所が使用する水道庁舎3Ｆフロア賃借料を市が負担する。） 県教育庁南教育事務所の移転に伴い、令和7年8月分の使用料の支払いをもって本事業を終了。
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	行政財産使用に係る事務手続き及び支払い				
		単位	件	目標値	1	1	1		
				実績値	1	1	2		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,246	2,246	936	0	0
事業費の小計		2,246	2,246	936	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	98 総務課	2,246	936	0	936	0	0
	水道庁舎管理費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 公用車管理費

部・担当課	財務部・財産経営課	担当課長氏名	小松　淳
予算科目事業	1 一般会計－020106－140100　　総務費・総務管理費・財産管理費 公用車管理費・公用車管理費（財産経営課		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
職員・公用車
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
公用車の適正な維持管理と効果的・効率的な運用がなされ、職員の業務のための移動が円滑に行われている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
公用車の管理一元化により、公用車の整備及び運行管理の最適化を実施する。 【公用車管理費】各庁舎及び財産経営課における公用車の維持管理、運行管理経費。 【公用車購入事業】公用車の更新のため新規購入に要する経費。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公用車の管理一元化による適正な維持管理と効率的な運行管理、車両保有の実施 ・適正な公用車の整備 ・公用車購入事業　５台購入　8,998千円 ・車両管理システムの試験導入（公用車11台において試験的に運用）
令和 7年度（決算）	・公用車の管理一元化による適正な維持管理と効率的な運行管理、車両保有の実施 ・車両管理システムの試験運用（令和7年度末をもって試験運用を終了） ・公用車購入事業　７台購入　9,776千円
令和 8年度（計画）	・公用車の管理一元化による適正な維持管理と効率的な運行管理、車両保有の実施
令和 9年度（計画）	・公用車の管理一元化による適正な維持管理と効率的な運行管理、車両保有の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	全公用車平均稼働率をR3年度以降5年間で5%向上				
		単位	%	目標値	47	48	49	50	50
				実績値	46	36	35		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	75,891	64,149	66,156	79,543	67,003
事業費の小計		75,891	64,149	66,156	79,543	67,003

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	14 財産経営課	0	3,690	0	3,690	5,991	6,327
	公用車管理費（財産経営課）							
2	020106	14 総務課	19,449	22,556	0	22,556	19,705	22,150
	公用車管理費（本庁舎）							
3	020106	14 横手地域課	6,864	3,668	0	3,668	3,907	4,558
	公用車管理費（条里南北庁舎）							
4	020106	14 農業振興課	1,289	1,350	0	1,350	2,436	2,000
	公用車管理費（県平鹿振興局庁舎・農林部）							
5	020106	14 建設課	798	882	0	882	837	1,046
	公用車管理費（県平鹿振興局庁舎・建設部）							
6	020106	14 増田地域課	4,982	4,068	0	4,068	5,154	5,183
	公用車管理費（増田庁舎）							
7	020106	14 平鹿地域課	6,631	6,592	0	6,592	7,458	7,556
	公用車管理費（平鹿庁舎）							
8	020106	14 雄物川地域課	2,459	2,091	0	2,091	3,494	3,436
	公用車管理費（雄物川庁舎）							
9	020106	14 大森地域課	3,045	4,003	0	4,003	4,981	4,597
	公用車管理費（大森庁舎）							
10	020106	14 十文字地域課	3,022	1,906	0	1,906	3,583	3,551
	公用車管理費（十文字庁舎）							
11	020106	14 山内地域課	4,068	3,355	0	3,355	3,494	3,957
	公用車管理費（山内庁舎）							
12	020106	14 大雄地域課	2,544	2,219	0	2,219	2,134	2,642
	公用車管理費（大雄庁舎）							
13	020106	14 財産経営課	8,998	9,776	0	9,776	16,369	0
	公用車購入事業（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0026 企画総務費

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020107－010100　　総務費・総務管理費・企画費 企画総務費・企画総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市民が満足度の高い行政サービスが提供されていると感じられるようにする。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【企画総務費】 限られた経営資源（ひと・もの・かね）を効果的に活用し、市民満足度の高い施策や行政サービスの提供するための政策調整、企画立案、行政改革等の検討を実施する。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	H30年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・各種負担金（県過疎地域振興協議会負担金258千円、あきた結婚支援センター負担金323千円、秋田空港利用促進協議会負担金40千円、Society5.0YOKOTEコンソーシアム負担金10千円、青年会議所賛助会員会費120千円、総合計画策定研修受講負担金48千円） ・経営企画課一般事務経費（消耗品費（事務用品109千円）、印刷製本費（30千円）、通信運搬費（郵送料67千円）等
令和 7年度（決算）	・各種負担金（県過疎地域振興協議会負担金252千円、あきた結婚支援センター負担金322千円、秋田空港利用促進協議会負担金40千円、青年会議所賛助会員会費120千円） ・経営企画課一般事務経費（消耗品費（事務用品147千円）、印刷製本費（31千円）、通信運搬費（郵送料62千円）等
令和 8年度（計画）	・経営企画課の経常経費（企画用務旅費、消耗品、封筒印刷、郵送代等） ・各種負担金（秋田県山村・過疎地域振興協議会会費、あきた結婚支援センター負担金等）
令和 9年度（計画）	・経営企画課の経常経費（企画用務旅費、消耗品、封筒印刷、郵送代等） ・各種負担金（秋田県山村・過疎地域振興協議会会費、あきた結婚支援センター負担金等）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	―	指標	監査指摘事項数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	131	323	119	119	323
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,543	726	909	1,026	1,109
事業費の小計		1,674	1,049	1,028	1,145	1,432

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020107 01 企画総務費	経営企画課	1,049	1,028	119	909	1,145	1,432

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0027 総合計画策定事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020107－020100　　総務費・総務管理費・企画費 総合計画策定事業・総合計画策定事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び横手市に関わりのある人や企業等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

　総合計画に基づいた各施策や事業等行政サービスを展開して、対象が充実した、より良い生活を送ることができる。
または、横手市で関わることに喜びや満足感が得られるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・第２次横手市総合計画の着実な実施と成果を担保するため、まちづくりアンケートを実施しながら、実施計画のローリングや行政評価を行うとともに、第２次総合計画後期基本計画及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に遂行する。
・令和８年度の第３次横手市総合計画のスタートに合わせて、基本構想・基本計画・実施計画の策定に着手する。

④根拠法令	なし	⑤関連計画	第２次横手市総合計画及び全ての分野別計画
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・行政評価の実施、実施計画ローリングの実施 ・まちづくりアンケートの実施（無作為抽出3,000人、回答数839人（うちＷｅｂ234人）、回答率28.0%（うちＷｅｂ7.8%）、1,257千円） ・若者意識調査の実施（Ｗｅｂ回答、無作為抽出3,000人、回答数752人、回答率25.1%、492千円） ・第3次横手市総合計画基本構想の策定（審議会6回、策定委員会5回、部会4回、ワークショップ2回、絵画等作品募集及び表彰の実施）
令和 7年度（決算）	・行政評価の実施、実施計画ローリングの実施 ・まちづくりアンケートの実施（無作為抽出3,000人、回答数1,033人（うちＷｅｂ295人）、回答率34.4%（うちＷｅｂ9.8%）907千円） ・第３次横手市総合計画基本計画及び実施計画の策定 総合計画審議会開催（委員18名、4回開催、報酬258千円） 総合計画策定委員会開催（外部委員26名、内部委員43名、3回開催、謝礼198千円）
令和 8年度（計画）	・第3次横手市総合計画スタート ・まちづくりアンケートの実施、実施計画ローリングの実施等 ・有識者会議の開催、総合戦略事業及び過疎計画の効果検証の実施
令和 9年度（計画）	・第3次横手市総合計画の推進 ・まちづくりアンケートの実施、実施計画ローリングの実施等 ・有識者会議の開催、総合戦略事業及び過疎計画の効果検証の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	まちづくりアンケートの回答率				
		単位	%	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	28	34.4			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,026	3,010	7,096	2,123	1,907
事業費の小計		1,026	3,010	7,096	2,123	1,907

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	横手市自治基本条例において最上位計画に位置付けている総合計画の策定に係る事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	総合的かつ計画的に市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針を策定するものであり、公益性は極めて高い。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	総合計画に基づく総合的かつ計画的な市政運営は、全ての市民の利益に結び付くものである。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	第２次総合計画に基づき各種事業を進めてきたが目標値に達しない項目もあり、現状と課題を踏まえて令和８年度スタートの第３次総合計画を策定し、新たな目標値設定を行った。関係する全ての取り組みについて、不断の見直しと改善により目標達成を目指す必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他部局において、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	総合的かつ計画的に市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針を策定するものであり、不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	総合的かつ計画的に市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針を策定するものであり、市が実施すべきである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	庁内策定部会や外部委員を入れた策定委員会で素案を検討し、審議会において審議を重ねる手法により策定を進めた。すべての計画について、今後も手法については見直しを加えながら策定を進める。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	全国の自治体でも同様に取り組んでいる事業であり、適切な事業である。
項目点合計	２７	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　9×3	総合評価点　９１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	■ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

第３次総合計画の策定が令和７年度で完了し、今後は基本構想で定めた目指す姿の実現に向け、前期基本計画に基づく各種施策の展開をＰＤＣＡサイクルの繰り返しにより実行していく必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	02 経営企画課	3,010	7,096	0	7,096	2,123	1,907
	総合計画策定事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 情報化総務事務費

部・担当課	総務企画部・情報政策課	担当課長氏名	嶋田　貴
予算科目事業	1 一般会計－020110－010100　総務費・総務管理費・電算情報管理費	情報化総務事務費・情報化総務事務費	

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民及び市職員
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
市民や市の業務に関する行政情報が適切に管理・活用され、行政サービスの向上につながっている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【情報化総務事務費】 ＩＣＴによる行政サービスの安定的な稼働を行うため、各種運用・維持管理を行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	Ｒ 6年度　～　Ｒ 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・情報化政策及び情報化事務に関する事務費 ・システムサーバ用無停電電源装置保守、自家発電装置定期点検保守、マシン室空調設備保守 ・Ｊ－ＬＩＳ負担金等 ・自家発電設備補修及びサーバ室空調設備補修
令和 7年度（決算）	・情報化政策及び情報化事務に関する事務費 ・システムサーバ用無停電電源装置保守、自家発電装置定期点検保守、マシン室空調設備保守 ・Ｊ－ＬＩＳ負担金等
令和 8年度（計画）	事務機器及び事務機器の消耗品・利用料、自家発電・空調設備点検保守、サーバ用無停電電源装置点検保守、複合機リース料、Ｊ－ＬＩＳ負担金等の情報化政策及び情報化事務の実施
令和 9年度（計画）	事務機器の消耗品・利用料、自家発電・空調設備点検保守、サーバ用無停電電源装置点検保守、複合機リース料、Ｊ－ＬＩＳ負担金等の情報化政策及び情報化事務の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	職員研修への積極的参加				
		単位	回	目標値	5	5	5	5	
				実績値	5	5	5		
	2	区分	活動	指標	オープンデータコンテンツの作成				
		単位	件	目標値	2	2	2	2	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	900	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,826	2,457	2,883	3,845	3,517
事業費の小計		2,826	2,457	2,883	4,745	3,517

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目	大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020110	01	情報政策課	情報化総務事務費	2,457	2,883	0	2,883	4,745	3,517

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 情報システム運用管理費

部・担当課	総務企画部・情報政策課	担当課長氏名	嶋田　貴
予算科目事業	1 一般会計－020110－020100　総務費・総務管理費・電算情報管理費　情報システム運用管理費・内部情報系		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

内部情報系システム・住民情報系システムの安定的な稼働により事務の効率化が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【内部情報系システム運用管理費】内部情報系システム保守・更新等
【内部情報系システム運用管理費（債務負担）】内部情報系システムリース等
【住民情報系システム機器保守管理経費】住民情報系システム保守・更新等
【住民情報系システム運用管理費（債務負担）】住民情報系システムリース等
【自治体情報システム標準化対応事業（建設）】自治体情報システム（基幹系業務システム）の標準化対応等

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市デジタル推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①内部情報系システム・プリンタ・セキュリティソフト等の保守運用管理　②内部情報系システム・LGWAN系事務用端末のリース　③住民情報系システム及び仮想基盤サーバの保守運用管理、番号制度対応、中間サーバプラットフォームの共同利用　④住民情報系システムのリース　⑤住民情報系OCR機器更新　⑥基幹系業務システムの標準化対応　⑦基幹系業務システムのガバメントクラウド移行対応　⑧定額減税及び調整給付に対応するための機能改修
令和 7年度（決算）	①内部情報系システム・プリンタ・セキュリティソフト等の保守運用管理　②内部情報系システム・LGWAN系事務用端末のリース　③住民情報系システムの保守運用管理、番号制度対応、中間サーバプラットフォーム　④住民情報系システムのリース　⑤基幹系業務システムの標準化対応・ガバメントクラウドへの移行
令和 8年度（計画）	①各種内部情報系システム・プリンタ・セキュリティソフト等の保守運用管理　②各種内部情報系システム・LGWAN系事務用端末のリース　③各種住民情報系システムの保守運用管理、番号制度対応、中間サーバプラットフォーム　④住民情報系システムのリース
令和 9年度（計画）	①各種内部情報系システム・プリンタ・セキュリティソフト等の保守運用管理　②各種内部情報系システム・LGWAN系事務用端末のリース　③各種住民情報系システムの保守運用管理、番号制度対応、中間サーバプラットフォーム　④住民情報系システムのリース

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	内部情報系システムの円滑な運用のための職場巡回ヒアリングの実施（年間）				
		単位	回	目標値	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1		
	2	区分	成果	指標	基幹系対象20業務の標準準拠システムへ移行				
		単位	%	目標値			100	100	100
				実績値			95		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	9,111	10,632	4,129	333	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	82,187	128,501	30,626	0
	(f) 一般財源	209,157	204,864	262,106	388,575	275,099
事業費の小計		218,268	297,683	394,736	419,534	275,099

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020110	02 情報政策課						
	内部情報系システム運用管理費		34,063	45,180	0	45,180	112,699	74,323
2	020110	02 情報政策課						
	内部情報系システム運用管理費（債務負担）		87,878	88,374	0	88,374	88,374	88,374
3	020110	02 情報政策課						
	住民情報系システム機器保守管理経費		88,371	101,524	4,129	97,395	186,293	110,861
4	020110	02 情報政策課						
	住民情報系システム運用管理費（債務負担）		0	1,539	0	1,539	1,541	1,541
5	020110	02 情報政策課						
	自治体情報システム標準化対応事業（建設）		87,371	158,119	128,501	29,618	30,627	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0030 ネットワーク管理費

部・担当課	総務企画部・情報政策課	担当課長氏名	嶋田　貴
予算科目事業	1 一般会計－020110－030100　　総務費・総務管理費・電算情報管理費 ネットワーク管理費・ネットワーク管		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民及び横手市の情報を得たい不特定の方々
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
ホームページ等の活用により、横手市に関する情報が市民や横手市の情報を得たい不特定の方に届いている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【ネットワーク管理費】各種ネットワーク保守等 【ネットワーク管理費（債務負担）】各種ネットワーク機器リース

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	横手市デジタル推進計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①ネットワーク機器及び関連システム、ビジネスイーサ回線、自営光ケーブル運用保守管理、セキュリティクラウド・情報集約配信システムの共同利用　②ネットワーク機器のリース　③仮想化基盤更新リース　④クラウドPBX及びIP電話運用保守　⑤新公益棟ネットワーク整備　⑥東かがやき教室、三重地区交流センターLAN敷設
令和 7年度（決算）	①ネットワーク機器及び関連システム、ビジネスイーサ回線、自営光ケーブル運用保守管理、セキュリティクラウド・情報集約配信システムの共同利用　②ネットワーク機器のリース　③仮想化基盤更新リース　④クラウドPBX及びIP電話運用保守　⑤ガバメントクラウド接続運用支援業務委託、接続利用料　⑥ファイルサーバ更新リース
令和 8年度（計画）	①ネットワーク機器及び関連システム、ビジネスイーサ回線、自営光ケーブル運用保守管理、セキュリティクラウド利用　②ネットワーク機器のリース　③仮想化基盤保守　④ガバメントクラウド接続運用支援業務委託、接続利用料　⑤リモート相談窓口　⑥ファイル無害化システム　⑦施設予約システム利用料　⑨ＩＰ電話機リース
令和 9年度（計画）	①ネットワーク機器及び関連システム、ビジネスイーサ回線、自営光ケーブル運用保守管理、セキュリティクラウド利用　②ネットワーク機器のリース　③仮想化基盤保守　④ガバメントクラウド接続運用支援業務委託、接続利用料　⑤リモート相談窓口　⑥ファイル無害化システム　⑦施設予約システム利用料　⑨ＩＰ電話機リース

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	ネットワーク管理の円滑な運用のための知識取得研修への参加（年間）				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	
				実績値	3	3	3		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	2,300	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	9,255	0	0
	(f) 一般財源	227,391	230,673	260,106	361,473	383,603
事業費の小計		227,391	230,673	269,361	363,773	383,603

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020110	03	情報政策課						
	ネットワーク管理費			117,381	160,876	9,255	151,621	242,774	265,999
2	020110	03	情報政策課						
	ネットワーク管理費（債務負担）			113,292	108,485	0	108,485	120,999	117,604

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0031 検査管理事務費

部・担当課	財務部・契約検査課	担当課長氏名	平塚　和仁
予算科目事業	1 一般会計－020111－010100　　総務費・総務管理費・契約検査管理費　検査管理事務費・検査管理事務費		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

入札参加事業者・市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・公共事業の発注が公平公正かつ効率的に実施されるとともに適正な価格で執行され、その成果物は高い品質が確保されている。
　その結果、市民満足度の高い行政サービスが提供できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・入札参加資格の適正管理、社会情勢や制度改正に対応した公平公正な入札執行、適正な価格での契約締結
・中間・完成検査時における品質向上のための技術指導
・電子入札の実施、電子契約の導入・運用
・工事成績評定に基づく優良工事表彰を行い、企業の技術力並びに意欲の向上を図る

④ 根 拠 法 令	地方自治法 ほか	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・令和7・8年度入札参加資格申請件数：建設工事 479件、コンサルタント業務 235件、物品・役務 860件 ・営業所実態調査の実施（1者） ・電子契約の導入・運用（R6年10月から）（実績：66件、61.7%） ・施工フォローの実施による工事成績評定点の向上(工事成績評定平均点の実績：77.6点/146件) ・優良工事表彰の実施（実績：工事4件/6社、技術者4名）
令和 7年度（決算）	・営業所実態調査の実施（6者） ・電子契約の運用（実績：297件、74.1%） ・施工フォローの実施による工事成績評定点の向上(工事成績評定平均点の実績：77.5点/162件) ・優良工事表彰の実施（実績：工事3件/5社、技術者3名）
令和 8年度（計画）	①令和9・10年度適用の入札参加資格者名簿の作成 ②営業所実態調査の実施 ③工事成績評定平均点の向上、優良工事表彰の実施
令和 9年度（計画）	①契約・検査事務のDX推進 ②営業所実態調査の実施 ③工事成績評定平均点の向上、優良工事表彰の実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	営業所実態調査件数				
		単位	件	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	2	1	6		
	2	区分	成果	指標	工事成績評定点の平均点				
		単位	点	目標値	77	77	77	77	77
				実績値	77.7	77.6	77.5		
	3	区分	成果	指標	工事成績評定６９点以下の件数				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	1	1	2		

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,882	2,941	3,618	4,303	3,873
事業費の小計		2,882	2,941	3,618	4,303	3,873

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020111 01 契約検査課 検査管理事務費	2,941	3,618	0	3,618	4,303	3,873

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0032 戸籍事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－020100　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 戸籍事務費・戸籍事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民（本籍人、非本籍人、戸籍届出をする者）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民からの届出の内容が戸籍に記録され、市民の国籍と親族的身分関係の登録、創設、公証が行われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【戸籍事務費】

・市民及び他市町村から送付された本籍人の戸籍届出について受付処理し、新戸籍編成など戸籍に必要事項を記載、消除を行う。
　非本籍人については、届書を受付審査後、当該人の本籍地の市町村に送付する。

④根拠法令	戸籍法、民法、国籍法、戸籍法施行規則	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	H31年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・出生、死亡等の身分関係に関する届出の受理、戸籍の記載 ・戸籍謄本等証明書の交付
令和 7年度（決算）	・出生、死亡等の身分関係に関する届出の受理、戸籍の記載 ・戸籍謄本等証明書の交付
令和 8年度（計画）	・出生、死亡等の身分関係に関する届出の受理、戸籍の記載 ・戸籍謄本等証明書の交付
令和 9年度（計画）	・出生、死亡等の身分関係に関する届出の受理、戸籍の記載 ・戸籍謄本等証明書の交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	49,000	49,000	42,000	42,000	42,000
				実績値	53,818	46,719	44,242		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	13,992	11,473	11,411	0	0
	(b) 県支出金	88	92	91	89	89
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	16,829	15,773	14,959	15,742	14,955
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	3,908	6,783	7,570
事業費の小計		30,909	27,338	30,369	22,614	22,614

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020301 02 市民課 戸籍事務費	27,338	30,369	26,461	3,908	22,614	22,614

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0033 住民基本台帳事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－030100　　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 住民基本台帳事務費・住		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市に住民登録をしている人、住民登録していた人、本籍のある人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

住所異動届等が適切に処理され、市民の居住関係の公証や教育・福祉・徴税などの権利の行使及び義務の履行が図られている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【住民基本台帳事務費】
- 住民異動届書の受理及び住民基本台帳への記載
- 住民票（除票を含む）及び戸籍附票（除票を含む）の謄抄本等の交付
- 住民記録実態調査等の実施

④根拠法令	住民基本台帳法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・届出及び証明書申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理の実施 ・受付時には要望を正確に聞き取り、的確な判断のもと親切な対応の実施 ・毎週水曜日の窓口延長、休日の住民票交付の継続実施
令和 7年度（決算）	・届出及び証明書申請時の本人確認を徹底した、迅速かつ適正な事務処理 ・受付時には要望を正確に聞き取り、的確な判断のもと親切な対応の実施 ・毎週水曜日の窓口延長、休日の住民票交付
令和 8年度（計画）	・届出及び証明書申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理をする ・受付時には要望を正確に聞き取り、的確な判断のもと親切に対応し市民の満足度を高める ・毎週水曜日の窓口延長、休日の住民票交付
令和 9年度（計画）	・届出及び証明書申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理をする ・受付時には要望を正確に聞き取り、的確な判断のもと親切に対応し市民の満足度を高める ・毎週水曜日の窓口延長、休日の住民票交付

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	30,000	30,000	38,000	38,000	38,000
				実績値	43,238	42,691	39,995		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	14,544	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	8,665	6,582	7,183	7,331	6,032
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,262	5,001	5,162	5,523	6,927
事業費の小計		10,927	26,127	12,345	12,854	12,959

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　(単位：千円)

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	020301	03	市民課	26,127	12,345	7,183	5,162	12,854	12,959
	住民基本台帳事務費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0034 印鑑事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－040100　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 印鑑事務費・印鑑事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市に住所を有し、印鑑登録をしている人、これから登録する人。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

不動産の登記や自動車の登録など重要な取引等の場面で、印鑑（登録された印章）により個人が証明され、市民等が取引を円滑に進めている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【印鑑事務費】

・条例に基づき、印鑑登録、廃止申請の受付、印鑑登録原票、除票の保管管理及び証明書の交付を適正に行う。

④ 根拠法令	横手市印鑑条例	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・登録及び廃止申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理の実施 ・受付時には的確な判断のもと親切な対応の実施 ・毎週水曜日の窓口延長の継続
令和 7年度（決算）	・登録及び廃止申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理の実施 ・受付時には的確な判断のもと親切な対応の実施 ・毎週水曜日の窓口延長の継続
令和 8年度（計画）	・登録及び廃止申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理をする ・受付時には的確な判断のもと親切な対応を心がけ、市民の満足度を高める ・毎週水曜日の窓口延長
令和 9年度（計画）	・登録及び廃止申請時の本人確認を徹底し、迅速かつ適正な事務処理をする ・受付時には的確な判断のもと親切な対応を心がけ、市民の満足度を高める ・毎週水曜日の窓口延長

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	20,000	20,000	18,000	18,000	18,000
				実績値	20,952	21,273	19,745		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	54	685	246	109	272
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	416	0
事業費の小計		54	685	246	525	272

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　(単位：千円)

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020301	04	市民課						
	印鑑事務費			685	246	246	0	525	272

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0035 自動車臨時運行事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－050100　　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 自動車臨時運行事務費・		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

自動車の臨時運行許可が必要な人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

自動車の検査等のため、当該自動車を市民が臨時的に公共道路を運行している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【自動車臨時運行事務費】

・横手市自動車臨時運行許可事務取扱規則に基づき、申請書、提出書類を審査し、許可証の交付と許可番号標の貸与及び回収を適正に行う。

④ 根 拠 法 令	道路運送車両法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	申請受付時に運行の目的及び経路等を勘案し、必要最少日数の許可を交付
令和 7年度（決算）	申請受付時に運行の目的及び経路等を勘案した、必要最少日数の許可
令和 8年度（計画）	・申請受付時に運行の目的及び経路等を勘案し、必要最少日数の許可をする
令和 9年度（計画）	・申請受付時に運行の目的及び経路等を勘案し、必要最少日数の許可をする

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	自動車臨時運行許可件数				
		単位	件	目標値	350	350	400	400	400
				実績値	476	461	527		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	20	16	20	20
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	20	16	20	20

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020301 05 市民課 自動車臨時運行事務費	20	16	16	0	20	20

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0036 中長期在留者居住地届出等事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－060100　　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 中長期在留者居住地届出		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市に居住する特別永住者及び中長期在留者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市に居住する特別永住者及び中長期在留者の居住関係及び身分事項について公証されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【中長期在留者居住地届出等事務】
・住居地届出受理等事務及び法務省端末との情報連携処理

④根拠法令	住民基本台帳法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・中長期在留者居住地届出等事務。対象者からの居住地の届出（転入・転居・転出）を受理し、法務大臣に通知及び在留カードへの記載を実施 ・専用端末による法務省との情報連携等事務の実施
令和 7年度（決算）	・中長期在留者居住地届出等事務。対象者からの居住地の届出（転入・転居・転出）を受理し、法務大臣に通知及び在留カードへの記載 ・専用端末による法務省との情報連携等事務
令和 8年度（計画）	・中長期在留者居住地届出等事務。対象者からの居住地の届出（転入・転居・転出）を受理し、法務大臣に通知及び在留カードへの記載 ・専用端末による法務省との情報連携等事務
令和 9年度（計画）	・中長期在留者居住地届出等事務。対象者からの居住地の届出（転入・転居・転出）を受理し、法務大臣に通知及び在留カードへの記載 ・専用端末による法務省との情報連携等事務

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	90	90	150	150	150
				実績値	196	165	230		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	98	49	2,002	279	267
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	245	294	306
事業費の小計		98	49	2,247	573	573

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020301	06	市民課						
	中長期在留者居住地届出等事務費			49	2,247	2,002	245	573	573

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0037 旅券事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－070100　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 旅券事務費・旅券事務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
横手市に住民登録している者、横手市に居所を有する者で一般旅券の発給、変更及び増補を希望している者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
希望する市民が一般旅券の発給、変更及び増補を受けている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【旅券事務費】 ・申請受付事務から県への申請依頼、旅券交付までを適正に行う。

④ 根 拠 法 令	旅券法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	旅券の申請時及び交付時に本人確認を徹底し確実な事務処理を実施
令和 7年度（決算）	旅券の申請時及び交付時に本人確認を徹底し、確実な事務処理の実施
令和 8年度（計画）	・旅券の申請時及び交付時に本人確認を徹底し確実な事務処理をする
令和 9年度（計画）	・旅券の申請時及び交付時に本人確認を徹底し確実な事務処理をする

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	200	200	500	500	500
				実績値	607	505	597		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	361	849	843	843	783
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	1,907	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	2,069	2,104	2,819	2,164
事業費の小計		2,268	2,918	2,947	3,662	2,947

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020301	07 市民課	2,837	2,848	843	2,005	3,563	2,848
	旅券事務費							
2	020301	07 市民課	81	99	0	99	99	99
	旅券事務費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0038 選挙管理委員会総務費

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020401－030100　総務費・選挙費・選挙管理委員会費 選挙管理委員会総務費・選挙管理委員会		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市選挙管理管理委員・選挙管理委員会事務局職員
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
公職選挙法等を正しく理解することで選挙制度に精通している。 先進事例等の情報を入手することに努め、日頃から選挙業務の円滑な実施のための体制が整えられている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【選挙管理委員会総務費】・・公職選挙法に関する関係書籍の購入等。県内市選挙管理委員会連合会、全国市区選挙管理委員会連合会東北支部等による各種研修会への参加。投票所施設変更に係るシステム改修 【選挙管理委員会総務費（建設）】・・経年劣化した選挙備品の更新

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公職選挙法に関する書籍購入費（選挙時報、月刊選挙） ・全国市区選挙管理委員会連合会及び県内市選挙管理委員会連合会負担金 ・全国市区選挙管理委員会連合会東北支部定期総会出席
令和 7年度（決算）	・公職選挙法に関する書籍購入費（選挙時報、月刊選挙） ・全国市区選挙管理委員会連合会及び県内市選挙管理委員会連合会負担金 ・全国市区選挙管理委員会連合会東北支部定期総会出席 ・県内市選挙管理委員会連合会研修会出席 ・選挙管理委員改選に伴う諸経費
令和 8年度（計画）	・公職選挙法に関する書籍購入費 ・全国市区選管理委員会連合会東北支部、県内市選挙管理委員会連合会の総会・研修会の参加費用 ・同負担金　・選挙時使用備品の更新
令和 9年度（計画）	・公職選挙法に関する書籍購入費 ・全国市区選管理委員会連合会東北支部、県内市選挙管理委員会連合会の総会・研修会の参加費用 ・同負担金　・選挙時使用備品の更新

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	人材育成のための研修会受講回数				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	2	2	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1	1,238	1,376	1	1
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	276	1,414	1,321	1,067	1,067
事業費の小計		277	2,652	2,697	1,068	1,068

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020401	03 選挙管理委員会事務局	177	222	1	221	1,068	1,068
	選挙管理委員会総務費							
2	020401	03 選挙管理委員会事務局	2,475	2,475	1,375	1,100	0	0
	選挙管理委員会総務費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0039 非常勤特別職報酬（監査委員）

部・担当課	監査委員事務局・監査委員事務局	担当課長氏名	石川　知博
予算科目事業	1 一般会計－020601－010100　　総務費・監査委員費・監査委員費 非常勤特別職報酬（監査委員）・非常勤特		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

監査委員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

監査委員がその職責を果たしている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【非常勤特別職報酬（監査委員）】

・監査委員に対し、非常勤特別職報酬を支出する。

④根拠法令	地方自治法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	■識見監査委員 2名（うち代表監査委員 1名）、議選監査委員 1名 ・定期監査（第１期～第３期）、財政援助団体等監査を実施し監査報告書を提出 ・例月出納検査を毎月実施し検査報告書を提出 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査を行い審査報告書を提出 ・代表監査委員である柴田恒宏委員が退任し、11月に佐越和之委員が選任された ・議選監査委員である寿松木孝委員が退任し、3月に木村清貴委員が選任された
令和 7年度（決算）	■識見監査委員 2名（うち代表監査委員1名）、議選監査委員1名 ・定期監査、財政援助団体等監査、随時監査、例月出納検査等 ・議選監査委員である木村清貴委員が退任し、12月に髙橋聖悟委員が選任された ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査
令和 8年度（計画）	・識見監査委員 2名（うち代表監査委員 1名）、議選監査委員 1名 ・定期監査、財政援助団体等監査、随時監査、例月出納検査等 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査
令和 9年度（計画）	・識見監査委員 2名（うち代表監査委員 1名）、議選監査委員 1名 ・定期監査、財政援助団体等監査、随時監査、例月出納検査等 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	定期監査措置状況報告（措置件数/指摘件数*100）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,146	3,992	4,072	4,164	4,164
事業費の小計		4,146	3,992	4,072	4,164	4,164

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020601	01 監査委員事務局						
	非常勤特別職報酬（監査委員）		3,992	4,072	0	4,072	4,164	4,164

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0040 選挙啓発事業

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020402－010100　　総務費・選挙費・選挙啓発費 選挙啓発事業・選挙啓発事業		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

全市民（有権者及び選挙権取得前の市民）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・多くの市民や有権者が投票や公正な選挙の意義等を理解し、有権者は投票を行っている。
・選挙制度が市民や有権者に理解されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【選挙啓発費】・・市内中学校・高等学校等における選挙啓発出前講座の実施、全国明るい選挙啓発ポスターコンクールの参加呼びかけ及び審査、明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会との合同研修実施

④根拠法令	公職選挙法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	選挙啓発に向けた各種取組実施 ・明推協委員等謝礼（にぎわい商品券206千円） ・明るい選挙啓発ポスターコンクール（応募54点、地方審査入選7点、地方審査優秀賞5点、中央審査推薦3点） 記念品等（図書カードほか） ・選挙出前講座の実施（市内高校5校、中学校2校、小学校1校で若年層に向けた選挙啓発を実施）
令和 7年度（決算）	選挙啓発に向けた各種取組実施 ・明推協委員等謝礼（にぎわい商品券135千円） ・明るい選挙啓発ポスターコンクール（応募29点、地方審査入選3点、地方審査優秀賞4点、中央審査推薦3点） 記念品等（図書カード） ・選挙出前講座の実施（市内高校1校、小学校2校で若年層に向けた選挙啓発を実施）
令和 8年度（計画）	選挙啓発に向けた各種取組実施 ・公益財団法人明るい選挙推進協会主催「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への応募募集、審査 ・明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会の合同研修会の実施　・小中学生に対する選挙啓発出前講座実施
令和 9年度（計画）	選挙啓発に向けた各種取組実施 ・公益財団法人明るい選挙推進協会主催「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への応募募集、審査 ・明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会の合同研修会の実施　・小中学生に対する選挙啓発出前講座実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	啓発ポスター応募学校数				
		単位	校	目標値	13	13	13	13	13
				実績値	10	8	9		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	526	241	183	317	317
事業費の小計		526	241	183	317	317

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	選挙に関して正しく理解することや投票の重要性を啓発することは、市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
③事業の効率性	6	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	高校・大学や民間団体での取組事例があり、対象団体と調整できれば業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	事業手法について過去に見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		受益者負担の適切さ	2点：適切な受益者負担とはなっていないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
		2	目的から判断して受益者負担を求める事業ではないが、施策目的達成のためにサービス水準を維持している。
項目点合計		２２	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　8×3　＋　6×3
総合評価点		７４	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法
投票や公正な選挙の意義等への理解を広く啓発するために重要な事業であり、各年代に合わせた効果的な取り組みを検討しつつ今後も継続した活動が必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020402 01	選挙管理委員会事務局 選挙啓発事業	241	183	0	183	317	317

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0043 統計総務費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020501－010100　　総務費・統計調査費・統計調査総務費 統計総務費・統計総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・統計調査員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・統計情報を活用したい人が欲しい統計情報を入手しやすい環境が整えられている。
・長年、統計業務に携わってこられた市民の方の功績が称えられ、他の市民へ周知されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【統計総務費】
・市民へのホームページ等での統計情報を公開する。
・統計功労者（被表彰者）に関する国・県への上申事務を行う。
・各種の行政施策に活用するため、関係課への統計情報の提供する。

④ 根 拠 法 令	統計法等	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・統計情報をホームページ上で公開 ・統計功労者（被表彰者）を国・県へ推薦
令和 7年度（決算）	・統計情報をホームページ上で公開 ・統計功労者（被表彰者）を国・県へ推薦 ・統計調査員協議会への支援・育成
令和 8年度（計画）	・統計情報をホームページ上で公開 ・統計功労者（被表彰者）を国・県へ推薦 ・統計調査員協議会への支援・育成
令和 9年度（計画）	・統計情報をホームページ上で公開 ・統計功労者（被表彰者）を国・県へ推薦 ・統計調査員協議会への支援・育成

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	各種統計資料の作成及び公表				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	21	38	40	68	68
事業費の小計		21	38	40	68	68

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020501	01	総務課						
	統計総務費			38	40	0	40	68	68

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0045 学校基本調査費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020502－010100　　総務費・統計調査費・基幹統計調査費　学校基本調査費・学校基本調査費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

調査対象（各学校等）・市民等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・調査対象により統計調査が確実に履行されている。
・調査結果が市民等に活用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【学校基本調査費】
・各学校施設担当者と連携を図り、統計調査業務を行う。
・統計調査に係る交付金を適正に執行するための予算管理を行う。

④ 根 拠 法 令	統計法等	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年度学校基本調査 小学校14校 中学校6校 幼稚園4校 認定こども園4校
令和 7年度（決算）	田中令和7年度学校基本調査 小学校14校 中学校6校 幼稚園4校 認定こども園4校 専修学校1校
令和 8年度（計画）	令和8年度学校基本調査
令和 9年度（計画）	令和9年度学校基本調査

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	学校基本調査実施件数				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	19	18	18	25	25
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	1	3	0	0
事業費の小計		19	19	21	25	25

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020502 01 学校基本調査費	総務課	19	21	18	3	25	25

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0047 秋田県年齢別人口流動調査費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020502－020100　総務費・統計調査費・基幹統計調査費 秋田県年齢別人口流動調査費・秋田県		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

調査対象（転入出者等）・市民等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・調査対象により統計調査が確実に履行されている。
・調査結果が市民等に活用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【秋田県年齢別人口流動調査費】
・市関係課（市民福祉部国保市民課）担当者と連携を図り、統計調査業務を行う。
・統計調査に係る交付金を適正に執行するための予算管理を行う。

④根拠法令	統計法等	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年度秋田県年齢別人口流動調査等
令和 7年度（決算）	令和7年度秋田県年齢別人口流動調査等
令和 8年度（計画）	令和8年度秋田県年齢別人口流動調査等
令和 9年度（計画）	令和9年度秋田県年齢別人口流動調査等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	秋田県年齢別人口流動調査の実施件数				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	75	75	75	100	100
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2	0	4	0	0
事業費の小計		77	75	79	100	100

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020502	02	総務課						
	秋田県年齢別人口流動調査費			75	79	75	4	100	100

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0049 経済センサス費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020502－030100　　総務費・統計調査費・基幹統計調査費 経済センサス費・経済センサス費		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

調査対象（製造業・小売業・卸売業等を営む会社等）・市民等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・調査対象により統計調査が確実に履行されている。
・調査結果が市民等に活用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【経済センサス費】
・統計調査員・指導員及び各地域課担当者と連携を図り、統計調査業務を行う。
・統計調査に係る交付金を適正に執行するための予算管理を行う。

④ 根 拠 法 令	統計法等	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・令和6年度経済センサス調査区管理 事業費　18,744円
令和 7年度（決算）	・令和7年度経済センサス調査区管理・令和8年経済センサス－活動調査準備 事業費　132,924円
令和 8年度（計画）	・令和8年度経済センサス調査区管理・令和8年経済センサス－活動調査
令和 9年度（計画）	・令和9年度経済センサス調査区管理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	経済センサスに係る調査等件数				
		単位	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	17	18	111	6,025	25
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	1	22	0	0
事業費の小計		17	19	133	6,025	25

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　(単位：千円)

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020502	03	総務課	19	133	111	22	6,025	25
	経済センサス費								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0052 監査委員総務費

部・担当課	監査委員事務局・監査委員事務局	担当課長氏名	石川　知博
予算科目事業	1 一般会計－020601－030100　　総務費・監査委員費・監査委員費 監査委員総務費・監査委員総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市の事務執行及び財政運営がどのように行われているか、市民がよく理解している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【監査委員総務費】

・市の財政に関する事務の執行及び市の経営に係る事業の管理について監査を行い、報告書等を作成し公表する。

④根拠法令	地方自治法、地方公営企業法 地方公共団体の財政健全化法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	■識見監査委員 2名（うち代表監査委員 1名）、議選監査委員 1名 ・定期監査（第１期～第３期）、財政援助団体等監査を実施し監査報告書を提出 ・例月出納検査を毎月実施し検査報告書を提出 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査を行い審査報告書を提出 ・市議会からの監査請求（大森浄化センター関連）に基づき監査を行い監査報告書を提出
令和 7年度（決算）	・定期監査(第1期～第3期）、財政援助団体等監査、随時監査を実施し監査報告書を提出 ・例月出納検査を毎月実施し検査報告書を提出 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査を行い審査報告書を提出 ・住民監査請求1件、結果却下（理由）地方自治法第242条第1項に規定する住民監査請求の要件を欠くため、受理することができないと判断
令和 8年度（計画）	・識見監査委員 2名（うち代表監査委員 1名）、議選監査委員 1名 ・定期監査、財政援助団体等監査、随時監査、例月出納検査等 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査
令和 9年度（計画）	・識見監査委員 2名（うち代表監査委員 1名）、議選監査委員 1名 ・定期監査、財政援助団体等監査、随時監査、例月出納検査等 ・一般会計特別会計決算審査、企業会計決算審査、財政健全化判断比率等審査

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	成果	指標	定期監査結果措置状況報告（措置件数/指摘件数*100）				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,061	1,114	1,134	2,085	2,179
事業費の小計		1,061	1,114	1,134	2,085	2,179

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020601	03 監査委員事務局						
	監査委員総務費		1,114	1,134	0	1,134	2,085	2,179

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0054 非常勤特別職報酬（選挙管理委員）

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020401－010100　　総務費・選挙費・選挙管理委員会費 非常勤特別職報酬（選挙管理委員）・非		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
横手市選挙管理委員
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
選挙管理委員が選挙に関する事務を管理する職責を果たしている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【非常勤特別職報酬（選挙管理委員）】条例に基づく選挙管理委員報酬の支出

④ 根 拠 法 令	公職選挙法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	委員長報酬(1名)　31,500円／月 委員報酬(3名)　22,000円／月　計　1,170,000円
令和 7年度（決算）	委員長報酬(1名)　31,500円／月 委員報酬(3名)　22,000円／月　計　1,170,000円
令和 8年度（計画）	委員長報酬(1名)　31,500円／月 委員報酬(3名)　22,000円／月　計　1,170,000円
令和 9年度（計画）	委員長報酬(1名)　31,500円／月 委員報酬(3名)　22,000円／月　計　1,170,000円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	審査申立件数（公正・公平・適正な選挙の管理執行）				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170
事業費の小計		1,170	1,170	1,170	1,170	1,170

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	020401	01	選挙管理委員会事務局 非常勤特別職報酬（選挙管理委員）	1,170	1,170	0	1,170	1,170	1,170

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0055 個人番号カード等交付事務費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－080100　　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 個人番号カード等交付事		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
横手市に住民登録している者で、個人番号カードの交付を希望する者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
希望する市民に個人番号カードが交付されている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【個人番号カード等交付事務】 ・申請者の本人確認を徹底し、確実に交付する。

④ 根拠法令	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・個人番号カードに関する事務を適正かつ迅速な実施 ・個人番号カードの利便性の周知と企業や商業施設等での出張交付申請の実施 ・個人番号カード申請補助の実施　令和7年3月31日時点の総務省公表値に変更 人口　82,454人　（令和6年1月1日時点） 保有枚数　67,044枚　（令和7年3月31日時点） 保有枚数率　81.3%
令和 7年度（決算）	・個人番号カードに関する事務の適正かつ迅速な実施　・個人番号カードの申請補助の実施 ・個人番号カード等の更新に係る関係業務の円滑な実施 ・高齢者福祉施設や個人宅戸別訪問での出張交付申請 総務省公表値　人口　80,777人　（令和7年1月1日時点） 保有枚数　68,210枚　（令和8年3月31日時点）保有枚数率　84.4%
令和 8年度（計画）	・個人番号カードに関する事務の適正かつ迅速な実施　・個人番号カードの申請補助の実施 ・個人番号カード等の更新に係る関係業務の円滑な実施 ・高齢者福祉施設や個人宅戸別訪問での出張交付申請
令和 9年度（計画）	・個人番号カードに関する事務の適正かつ迅速な実施　・個人番号カードの申請補助の実施 ・個人番号カード等の更新に係る関係業務の円滑な実施 ・高齢者福祉施設や個人宅戸別訪問での出張交付申請

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	8,000	8,000	3,000	3,000	3,000
				実績値	10,734	6,071	8,388		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	30,806	23,008	23,988	32,152	32,152
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		30,806	23,008	23,988	32,152	32,152

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020301	08 市民課	23,008	23,988	23,988	0	32,152	32,152
	個人番号カード等交付事務費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0056 参議院議員通常選挙費

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020496－989800　総務費・選挙費・参議院議員通常選挙費	参議院議員通常選挙費・参議院議員	

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

有権者・市選挙管理委員会・市選挙管理委員会事務局

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

有権者の投票に基づき、市選挙管理委員会、市選管事務局が参議院議員通常選挙を公正に執行している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【参議院議員通常選挙費】
- 公正かつ円滑な選挙の執行管理
- 効果的な啓発事業の実施　・投票しやすい環境づくり
- 各担当業務の連携によるチーム力アップ

④根拠法令	公職選挙法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	—
令和 7年度（決算）	■令和7年7月20日執行　参議院議員通常選挙の執行管理 ・ポスター掲示場の設置（314箇所）　・期日前投票所の設置（11箇所）及び運営 ・当日投票所の設置（56箇所）及び運営　・正確かつ迅速な開票事務の遂行
令和 8年度（計画）	—
令和 9年度（計画）	—

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	参議院議員通常選挙の投票率				
		単位	%	目標値	—	—	57	—	—
				実績値	—	—	59.23		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	45,217	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	7	0	0
事業費の小計		0	0	45,224	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020496	98 選挙管理委員会事務局						
	参議院議員通常選挙費		0	45,224	45,217	7	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0057 秋田県知事選挙費

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020495－989800　　総務費・選挙費・秋田県知事選挙費 秋田県知事選挙費・秋田県知事選挙費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内有権者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
秋田県知事選挙が公正に執行され、有権者の意思が投票結果へ適正に反映されている
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【秋田県知事選挙費】公正で円滑な選挙の管理執行、投票しやすい環境づくり、効果的な啓発事業の実施

④ 根 拠 法 令	公職選挙法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和7年4月6日執行秋田県知事選挙の執行管理 ・投票所入場券の作成等 ・期日前投票所の設置及び運営
令和 7年度（決算）	令和7年4月6日執行　秋田県知事選挙の執行管理 ・期日前投票所の運営（11箇所） ・投票所（56箇所）並びに開票所の設置及び運営
令和 8年度（計画）	―
令和 9年度（計画）	―

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	秋田県知事選挙の投票率				
		単位	%	目標値	―	―	58	―	―
				実績値	―	―	58.44		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	18,249	24,592	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	18,249	24,592	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020495	98 選挙管理委員会事務局						
	秋田県知事選挙費		18,249	24,592	24,592	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0063 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020498－989800　　総務費・選挙費・衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費 衆議院		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

有権者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

投票率向上のための取組や関係法令に基づいた適正かつ円滑な選挙執行を行い、市民一人ひとりの政治や選挙に対する意識を高める。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費】
・公正かつ円滑な選挙の執行管理
・効果的な啓発事業の実施　・投票しやすい環境づくり
・各担当業務の連携によるチーム力アップ

④根拠法令	公職選挙法	⑤関連計画	無し
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	■令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙費
令和 7年度（決算）	■令和8年2月8日執行　衆議院議員総選挙の執行管理 ・ポスター掲示場の設置（258箇所）　・期日前投票所の設置（11箇所）及び運営 ・当日投票所の設置（56箇所）及び運営　・正確かつ迅速な開票事務の遂行
令和 8年度（計画）	―
令和 9年度（計画）	―

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	投票率				
		単位	%	目標値	－	－	57	－	－
				実績値	－	－	58.05		
	2	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	47,787	48,653	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	1,100	0	0	0
事業費の小計		0	48,887	48,653	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020498	98 選挙管理委員会事務局						
	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費		48,887	48,653	48,653	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0064 横手市長及び市議会議員選挙費

部・担当課	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事務局	担当課長氏名	武藤　学
予算科目事業	1 一般会計－020497－989800　　総務費・選挙費・横手市長及び市議会議員選挙費 横手市長及び市議会議員選		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

有権者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

投票率向上のための取組や関係法令に基づいた適正かつ円滑な選挙執行を行い、市民一人ひとりの政治や選挙に対する意識を高める。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・公正かつ円滑な選挙の執行管理
・効果的な啓発事業の実施
・投票しやすい環境づくり
・各担当業務の連携によるチーム力アップ

④根拠法令	公職選挙法	⑤関連計画	無し
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	―
令和 7年度（決算）	■令和7年10月19日執行　横手市長及び横手市議会議員選挙の執行管理 ・ポスター掲示場の設置（312箇所）　・期日前投票所の設置（11箇所）及び運営 ・当日投票所の設置（56箇所）及び運営　・正確かつ迅速な開票事務の遂行
令和 8年度（計画）	―
令和 9年度（計画）	―

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	投票率				
		単位	%	目標値	－	－	64	－	－
				実績値	－	－	63		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	91,186	0	0
事業費の小計		0	0	91,186	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020497	98 選挙管理委員会事務局						
	横手市長及び市議会議員選挙費		0	91,186	0	91,186	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0069 証明書等コンビニ交付費

部・担当課	市民生活部・市民課	担当課長氏名	樽川　朝美
予算科目事業	1 一般会計－020301－090100　　総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費 証明書等コンビニ交付費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

横手市に住民登録している人、住所登録していた人、本籍のある人

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

コンビニエンスストアで住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書及び税の証明書を取得できるようにする。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【証明書等コンビニ交付費】
・個人番号カードの普及促進
・コンビニ交付の利便性の周知

④根拠法令	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	新規	⑦事業期間	R 3年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・コンビニ交付の利便性の周知 ・令和6年度証明書等コンビニ交付実績（令和7年3月31日現在） 交付件数　18,836件
令和 7年度（決算）	・コンビニ交付の利便性の周知 ・個人番号カードの普及促進 交付件数　市民課分　19,870件　税務課分　1,976件　計　21,846件
令和 8年度（計画）	・コンビニ交付の利便性の周知 ・個人番号カードの普及促進
令和 9年度（計画）	・コンビニ交付の利便性の周知 ・個人番号カードの普及促進

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	取扱件数				
		単位	件	目標値	5,000	14,000	15,000	15,000	15,000
				実績値	16,464	18,836	19,870		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	3,205	3,666	2,740	2,024	2,300
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	6,224	5,906	7,037	8,658	8,382
事業費の小計		9,429	9,572	9,777	10,682	10,682

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	020301	09	市民課 証明書等コンビニ交付費	9,572	9,777	2,740	7,037	10,682	10,682

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0070 農林業センサス費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020502－959800　総務費・統計調査費・基幹統計調査費 農林業センサス費・農林業センサス費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

調査対象（農林業者等）・市民等

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・調査対象により統計調査が確執に履行されている。
・調査結果が市民等に活用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農林業センサス費】
・統計調査員・指導員及び各地域課担当者と連携を図り、統計調査業務を行う。
・統計調査に係る交付金を適正に執行するための予算管理を行う。

④ 根 拠 法 令	統計法等	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	2025年農林業センサス-調査年（調査基準日　R7.2.1） 事業費　15,621,437円
令和 7年度（決算）	2025年農林業センサス-事後事務 事業費　48,975円
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	―	指標	農林業センサスの実施件数				
		単位		目標値	1	1	1		
				実績値	1	1	1		
	2	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	4	15,616	41	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	5	8	0	0
事業費の小計		4	15,621	49	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020502	95	総務課						
	農林業センサス費			15,621	49	41	8	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0072 国勢調査費

部・担当課	総務企画部・総務課	担当課長氏名	田中　弓子
予算科目事業	1 一般会計－020502－969800　　総務費・統計調査費・基幹統計調査費　国勢調査費・国勢調査費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

調査対象（横手市在住者の人口及び世帯の実態）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・調査対象により統計調査が確実に履行されている。
・調査結果が市民等に活用されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【国勢調査費】
・統計調査員・指導員及び各地域課担当者と連携を図り、統計調査業務を行う。
・統計調査に係る交付金を適正に執行するための予算管理を行う。

④ 根 拠 法 令	統計法等	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	2025年国勢調査調査区設定 事業費　445,099円
令和 7年度（決算）	2025年国勢調査（調査年：基準日10月1日） 事業費　40,615,903円
令和 8年度（計画）	令和7年度で終了 次回調査は令和12年度（令和11年度に調査区設定）
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	―	指標	国勢調査の実施件数（調査区管理を含む）				
		単位		目標値		1	1		
				実績値		1	1		
	2	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	―	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	445	40,616	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	445	40,616	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020502	96	総務課						
	国勢調査費			445	40,616	40,616	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0077 地方創生臨時交付金事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020107－989800　　総務費・総務管理費・企画費 地方創生臨時交付金事業・よこて市民応援商品		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市内事業者、市民、市職員
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
物価高騰に対する負担軽減
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【よこて市民応援商品券事業（令和7年度）】住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業（令和6年度国補正分）の対象にならない市民に市内商店で使用できる商品券を配布し、生活の支援を行う

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	令和6年度住民税非課税世帯臨時特別給付金の対象外となる市民に、一人当たり3千円の商品券を支給 （対象者数67,370人、商品券換金額196,179千円、郵送等事務費25,572千円、商品券換金率97.2%）
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	商品券発送完了日（7月末時点）				
		単位	%	目標値			100		
				実績値			100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	194,409	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	27,343	0	0
事業費の小計		0	0	221,752	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	原油高、物価高騰の影響が市民の生活を圧迫していることから市内で使用できる商品券を配布し、生活の支援を行うものであり、優先的に実施すべきである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市民生活の支援は市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民を対象として実施した事業である。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	対象となる世帯に対して毎月100%の実績で発送している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	課税世帯を対象とした給付型の商品券交付事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	市民ニーズに応えるために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市民生活の支援は市が主体的に取り組む必要性が高い。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	令和4年度に実施した市民応援商品券事業での課題を抽出し、今回の事業実施に当たり見直しを実施したうえで事業を行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	配布した商品券の金額としては過大なものではなく適切なサービス水準である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3
総合評価点		９０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業であり、当該事業については令和７年度をもって終了となる。なお、今後の支援の必要性については、情勢の変化等を見極めたうえで、その都度検討をしていくこととする。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	98 経営企画課						
	よこて市民応援商品券事業		0	221,752	194,409	27,343	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0078　ＩＣＴ活用サービス推進事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020107－130100　　総務費・総務管理費・企画費　ＩＣＴ活用サービス推進事業・ＩＣＴ活用サー		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民、事業者等
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
行政サービスにおける市民及び事業者等の利便性の向上と新しい生活様式への対応を図るとともに、行政事務の効率化を推進する。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
・行政手続のオンライン化やＩＣＴを活用した各種行政サービスの検討及び導入の実施 ・行政事務のデジタル化の推進による業務改善・業務の効率化の推進

④ 根拠法令		⑤ 関連計画	第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・行政手続のオンライン化ツール「LoGoフォーム」の運用　1,993千円 ・音声テキスト変換AIシステム「eRex」の運用　440千円 ・生成AIシステム「自治体AI zevo」の運用　423千円
令和 7年度（決算）	・行政手続のオンライン化ツール「LoGoフォーム」の運用　2,072千円 ・音声テキスト変換AIシステム「eRex」の運用　407千円 ・生成AIシステム「自治体AI zevo」の運用　462千円
令和 8年度（計画）	・行政手続のオンライン化ツールの運用 ・音声テキスト変換ＡＩシステムの運用 ・生成ＡＩシステムの運用
令和 9年度（計画）	・行政手続のオンライン化ツールの運用 ・音声テキスト変換ＡＩシステムの運用 ・生成ＡＩシステムの運用

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	行政手続オンライン導入件数（累計）				
		単位	件	目標値	600	1,000	1,050	1,100	1,150
				実績値	303	386	472		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	2,115	2,856	2,979	4,000	0
事業費の小計		2,115	2,856	2,979	4,000	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	2点：目標達成に向けて順調に推移しており、今後も継続した実施が必要である。
		2	行政手続きのオンライン化は行政サービスの利便性の向上に、また、行政内部事務のデジタル化は業務の効率化・省力化に結び付く取り組みであり、いずれも積極的に取り組むことが必要である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	行政サービス全体の質の向上に結び付く取り組みである。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	直接的な部分と間接的な部分の両側面があるが、すべての市民がサービスの対象となる取り組みである。
②事業の有効性	7	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	行政手続きのオンライン化については、現時点で目標には到達していないが、その推進により、手続きの簡略化のほか、時間や場所にとらわれない行政手続きが可能になるため、今後も継続して取り組むことが重要である
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	行政事務のデジタル化を目的とした事業であり、類似事業はない。
		上位施策への貢献度	2点：上位施策達成のためには実施が望ましい事業である。
		2	社会全体のデジタル化が加速していることから、実施が不可欠な事業である。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	行政手続きや自治体業務に関する取り組みであり、市が実施すべきである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	デジタル化に伴って経費がかかり増しすることもあることから、費用対効果を見極めながら取り組む必要がある。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	市として行う事業であり、受益者負担を求めるものとは考えていないため、適切なサービス水準である。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　8×4　＋　7×3　＋　10×3
総合評価点		８３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

行政手続きのデジタル化への対応は、市民サービスの向上のほか、業務の効率化や省力化にもつながる取り組みである。一方で、デジタルサービスの導入により、月々の固定費として経費がかかり増しとなる傾向があるため、費用対効果をしっかりと見極めながら業務改革に取り組む必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	13 経営企画課	2,856	2,979	0	2,979	4,000	0
	ＩＣＴ活用サービス推進事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0081 定額減税調整給付金給付事業

部・担当課	総務企画部・経営企画課	担当課長氏名	大友　孝之
予算科目事業	1 一般会計－020198－989800　　総務費・総務管理費・定額減税調整給付金給付費 定額減税調整給付金給付事		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	■

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、ＰＤＣＡサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

定額減税の対象者で、定額減税前の税額が定額減税可能額に満たない市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

エネルギー・食料品価格等物価高騰の負担緩和

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

令和６年度は、本人及び配偶者を含めた扶養親族数に基づき算定される定額減税可能額が、令和６年分推計所得税額又は令和６年度分個人住民税所得割額を上回る者に対し、当該上回る額の合計額（＝「所得税分控除不足額」＋「個人住民税分控除不足額」）を基礎として、１万円単位で切り上げて算定した額を支給する。

また、令和７年度は、令和６年分所得税及び定額減税の実績額等が確定したのち、定額減税並びに令和６年度に実施した定額減税補足給付金（以下：当初調整給付金）の額に不足があることが判明した方等へ追加で給付を行う。

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	令和6年度住民税課税情報を基に、定額減税しきれないと見込まれる方へ定額減税調整給付金を給付 ・給付総額749,620千円、対象者17,998人、支給17,822人、給付率99.02% ・事務費8,146千円（通信運搬費2,965千円、振込等手数料1,968千円、封筒及びチラシ印刷等委託料1,609千円等）
令和 7年度（決算）	令和6年度調整給付の支給額に不足額が生じる方などの対象者へ定額減税調整給付金不足額給付金を給付 ・給付総額314,630千円、対象者9,823人、支給9,681人、給付率98.55% ・事務費5,447千円（通信運搬費2,006千円、振込等手数料1,904千円、封筒及びチラシ印刷等委託料797千円等）
令和 8年度（計画）	
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	調整給付金給付対象者				
		単位	人	目標値		18,100	9,991		
				実績値		17,822	9,681		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	749,620	320,078	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	749,620	320,078	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」として実施するものである。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	国の経済対策として実施するものである。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	令和６年度調整給付の支給額に不足額が生じる方などが対象となるものである。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	宛先不明や国外転出、辞退などを除き、全ての申請者に対して給付を実施している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	国の経済対策として実施するものである。
③事業の効率性	１０	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	法律に基づき、個人住民税を課税する市が実施するものである。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	国の総合経済対策として実施するものであり、改善の余地はない。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担は生じない事業である。また、全ての自治体で同様の事業が行われており、適切である。
項目点合計		２８	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　10×3
総合評価点		９３	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

令和７年度は、令和６年分所得税及び定額減税の実績額等が確定したのち、定額減税並びに令和６年度に実施した定額減税補足給付金（以下：当初調整給付金）の額に不足があることが判明した方等へ追加で給付を行ったものであり、令和７年度をもって当該事業は終了となる。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020198	98 経営企画課						
	定額減税調整給付金給付事業		749,620	320,078	320,078	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度 （決算）	令和 7年度 （決算）			令和 8年度 （計画）	令和 9年度 （計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0001 財政管理費

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－020104－010100　　総務費・総務管理費・財政管理費 財政管理費・財政管理費		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・財政課職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・市の予算の使い道を多くの市民が知っており、その使い方が理解されている。
・財政課職員に安定的な財政基盤の確立や効率的・効果的な施策の立案や実行のための視点やスキルが備わっている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・予算書の製本費、わかりやすい予算の印刷製本費などを中心に市の予算をまとめ周知する。
・ホームページ、市報等を有効活用し、わかりやすい財政情報発信に努める。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	財政計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	財政課事務経費（報償費、旅費、需用費、使用料、負担金ほか） 令和6年度の市の実施事業の概要を市民にお知らせするため、令和6年度わかりやすい予算書を印刷製本し、全戸配布した。（作成部数33,000部）
令和 7年度（決算）	財政課事務経費（旅費、需用費、使用料、負担金ほか） 令和7年度の市の実施事業の概要を市民にお知らせするため「令和7年度わかりやすい予算書」を印刷製本し全戸に配布（作成部数33,000部）
令和 8年度（計画）	安定した財政運営を行うための職員の研鑽及び事務的な経費 議会や市民等に配布する予算書及びわかりやすい予算書を作成する経費
令和 9年度（計画）	安定した財政運営を行うための職員の研鑽及び事務的な経費 議会や市民等に配布する予算書及びわかりやすい予算書を作成する経費

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	有効な管理費の活用(費用額)				
		単位		目標値	4,500千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円
				実績値	4,442	4,135	4,300		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	4,442	4,135	4,300	4,859	4,859
事業費の小計		4,442	4,135	4,300	4,859	4,859

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020104　01	財政課						
	財政管理費		4, 135	4, 300	0	4, 300	4, 859	4, 859

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0002 財産管理費

部・担当課	財務部・財産経営課	担当課長氏名	小松　淳
予算科目事業	1 一般会計－020106－010100　　総務費・総務管理費・財産管理費 財産管理費・財産管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市が保有する土地、建物、職員駐車場など行政財産及び普通財産

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民へ行政サービスを提供するために、市有財産が常に快適に使用できる状態に管理されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【財産管理費】【財産管理費（横手、増田、平鹿、大森、十文字、山内、大雄）】 ※普通財産管理に要する経費
公用財産建物及びその敷地や土地について、除草、除雪等適正管理、公共施設用地等の地権者との信頼関係による土地の賃貸借契約、市有建物、公用車及び市道の損害、災害、賠償責任の共済保険加入
【財産管理費（建設）】公用財産の建物等にかかる改修、公共用地購入事業

④根拠法令	なし	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公用財産建物、土地の適性な維持管理 ・職員駐車場土地借上げ及び管理（除排雪委託等） ・建物総合損害共済、自動車損害共済、道路賠償責任保険の加入と支払請求処理 ・公有財産台帳ＧＩＳ保守業務委託 ・不用物品売却（官公庁オークション） ・駅西公共用地購入　34,513千円
令和 7年度（決算）	・普通財産等（建物、土地）の維持管理、修繕等 ・土地の借上げ、職員駐車場管理 ・車両、建物等保険加入及び各種手続き（全国市有物件災害共済会） ・公有財産台帳ＧＩＳ保守業務委託 ・不用物品等売却（官公庁オークション） ・駅西公共用地購入　9,904千円
令和 8年度（計画）	・普通財産等（建物、土地）の維持管理、修繕等　・土地の借上げ　・職員駐車場管理 ・車両、建物等保険加入及び各種手続き（全国市有物件災害共済会） ・公有財産台帳ＧＩＳ保守業務委託　・不用物品等売却（官公庁オークション、公売）
令和 9年度（計画）	・普通財産等（建物、土地）の維持管理、修繕等　・土地の借上げ　・職員駐車場管理 ・車両、建物等保険加入及び各種手続き（全国市有物件災害共済会） ・公有財産台帳ＧＩＳ保守業務委託　・不用物品等売却（官公庁オークション、公売）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	ネットオークション活用による不用備品等の売却額				
		単位	千円	目標値	6,900	7,100	7,300	7,500	7,700
				実績値	7,486	10,549	7,596		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	43,284	40,193	28,145	18,064	17,551
	(f) 一般財源	58,198	55,000	44,916	68,440	60,394
事業費の小計		101,482	95,193	73,061	86,504	77,945

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	01 財産経営課	53,418	53,389	27,703	25,686	71,710	67,356
	財産管理費							
2	020106	01 増田地域課	491	542	0	542	824	743
	財産管理費（増田地域）							
3	020106	01 平鹿地域課	1,362	1,336	87	1,249	1,859	1,864
	財産管理費（平鹿地域）							
4	020106	01 雄物川地域課	0	0	0	0	1,463	879
	財産管理費（雄物川地域）							
5	020106	01 大森地域課	3,031	3,019	0	3,019	3,600	3,616
	財産管理費（大森地域）							
6	020106	01 十文字地域課	536	2,200	0	2,200	1,971	1,041
	財産管理費（十文字地域）							
7	020106	01 山内地域課	338	1,412	0	1,412	825	825
	財産管理費（山内地域）							
8	020106	01 大雄地域課	1,504	1,259	355	904	1,621	1,621
	財産管理費（大雄地域）							
9	020106	01 大雄地域課	0	0	0	0	2,631	0
	財産管理費（大雄地域）（建設）							
10	020106	01 財産経営課	34,513	9,904	0	9,904	0	0
	財産管理費（建設）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 公共用地借上費

部・担当課	財務部・財産経営課	担当課長氏名	小松　淳
予算科目事業	1 一般会計－020106－130100　　総務費・総務管理費・財産管理費 公共用地借上費・公共用地借上費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
安定的な行政サービスを提供するため、駅西公共施設のための用地を借り受け、市民がサービスを受けている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【公共用地借上経費】 ・駅西公共施設敷地等の借上料の支出及び維持管理の実施。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・駅西公共用地の借上料の支出　11名　9,349千円
令和 7年度（決算）	・駅西公共用地の借受料の支出　10名　8,601千円 ・買取りに向けた地権者との意見交換会開催（10/29 市役所本庁舎 地権者3名出席）
令和 8年度（計画）	・駅西公共用地の借上料の支出
令和 9年度（計画）	・駅西公共用地の借上料の支出

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	駅西公共用地の借受料の削減				
		単位	千円	目標値	13,440	12,360	11,380	10,400	9,420
				実績値	11,259	9,349	8,601		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	11,259	9,349	8,601	8,620	8,518
事業費の小計		11,259	9,349	8,601	8,620	8,518

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	13 財産経営課	9,349	8,601	0	8,601	8,620	8,518
	公共用地借上費							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0007 会計管理費

部・担当課	会計管理者・会計課	担当課長氏名	菊池　覚也
予算科目事業	1 一般会計－020105－010100　　総務費・総務管理費・会計管理費 会計管理費・会計管理費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民及び市議会・（主に債権者や債務者としての）市民や企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・決算の内容が市民や市議会に提供されている。
・債権者や債務者としての市民や企業に対し、市が支払うべき債務が法令等に基づき円滑に支払われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【会計管理費】
・法令や例規に従い、収支命令の審査と出納・管理を厳正かつ円滑に行う。
・出納閉鎖後に決算書と説明資料を作成し、市議会の承認を得るとともにその内容を公表する。

④根拠法令	地方自治法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①例月出納計算書および決算書の作成 ②出納事務等 ③個人番号関係事務（税分野） ④ファームバンキングのＬＧＷＡＮ運用
令和 7年度（決算）	①例月出納計算書および決算書の作成 ②出納事務等 ③個人番号関係事務（税分野） ④ファームバンキングのＬＧＷＡＮ運用
令和 8年度（計画）	①例月出納計算書および決算書の作成 ②出納事務等　③個人番号関係事務（税分野） ④ファームバンキングのＬＧＷＡＮ運用
令和 9年度（計画）	①例月出納計算書および決算書の作成 ②出納事務等　③個人番号関係事務（税分野） ④ファームバンキングのＬＧＷＡＮ運用

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	誤払い（支払先の誤り）が発生した件数（年間）				
		単位	件	目標値	0件	0件	0件	0件	
				実績値	0	1	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	5,316	16,564	26,989	31,625	34,636
事業費の小計		5,316	16,564	26,989	31,625	34,636

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点		0	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020105	01	会計課						
	会計管理費			16,564	26,989	0	26,989	31,625	34,636

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0008 税務事務費

部・担当課	財務部・税務課	担当課長氏名	藤田　孝輔
予算科目事業	1 一般会計－020201－020100　　総務費・徴税費・税務総務費 税務事務費・税務事務総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民及び納税義務者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
公平公正で信頼できる税務行政が行われていると市民及び納税義務者が感じている。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【税務事務総務費】・各種実務研修会への参加による専門知識の習得 ・臨時職員の雇用による効率的な業務遂行 【市税過誤納還付金】・市税過誤納に係る適切な処理（還付金、還付加算金の支払い）

④ 根 拠 法 令	地方税法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市民税・資産税実務研修会等の受講（土地評価実務研修会、木造・非木造家屋評価実務研修会、令和６年度秋田県個人住民税研修） ・臨時職員雇用による窓口業務、賦課作業、申告期等の業務の効率化（通年雇用事務補助員３人、申告会場の受付業務補助として４人、課税資料整理業務補助として２人の事務補助員を雇用） ・当該年度以前に市税過誤納となった戻出金の適切な処理 ・専門知識を習得した職員を職員研修会への派遣、申告相談従事者向け研修会の開催
令和 7年度（決算）	・市民税・資産税実務研修会等の受講（土地評価・償却資産ワークショップ、県主催　税務研修「固定資産税」、住宅被害認定調査実務研修、個人住民税研修、地区税協主催　新任税務担当者研修、確定申告担当者研修会） ・臨時職員雇用による窓口業務、賦課作業、申告期等の業務の効率化（通年雇用事務補助員３人、申告会場の受付業務補助として４人、課税資料整理業務補助として２人の事務補助員を雇用） ・当該年度以前に市税過誤納となった戻出金の適切な処理 ・専門知識を習得した職員を職員研修会への派遣、申告相談従事者向け研修会の開催
令和 8年度（計画）	①税に係る最新動向の情報収集（実務研修会への参加） ②常勤職員の業務負荷状況を適切に判断した効率的な臨時職員雇用 ③過誤納に係る戻出金の迅速かつ適正な処理
令和 9年度（計画）	①税に係る最新動向の情報収集（実務研修会への参加） ②常勤職員の業務負荷状況を適切に判断した効率的な臨時職員雇用 ③過誤納に係る戻出金の迅速かつ適正な処理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	還付金の迅速な支払いを目指す（請求書受領後1カ月を超える支払い）				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	1	0		
	2	区分	活動	指標	職員講師による研修会の開催				
		単位	回	目標値	3	3	3	3	
				実績値	5	5	4		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	31,297	27,549	28,010	37,947	34,598
事業費の小計		31,297	27,549	28,010	37,947	34,598

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020201	02 税務課	6,125	6,080	0	6,080	6,722	6,098
	税務事務総務費							
2	020201	02 税務課	21,424	21,930	0	21,930	31,225	28,500
	市税過誤納還付金							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
					財源内訳			
			事業費	事業費	特定財源	一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0009 賦課事務費

部・担当課	財務部・税務課	担当課長氏名	藤田　孝輔
予算科目事業	1 一般会計－020202－010100　　総務費・徴税費・賦課徴収費 賦課事務費・賦課総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

納税義務者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・正確な賦課に基づき、納税義務者から納税が行われている。
・市民や納税義務者が希望する納税関係の証明書が市から交付されている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【賦課総務費】・納付書等各種印刷、封入、郵送。システム保守、システムリースを活用した賦課業務
【賦課総務費（債務負担）】賦課事務に係る経費のうち、複数年契約するシステム等の経費

④根拠法令	地方税法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・未申告者等への対応強化 ・申告相談業務の効率化、賦課業務の効率化 ・市民税、資産税の正確かつ適正な賦課 各税目の当初賦課納税通知書等封入封緘業務委託や各種データ処理委託のほか、地方税の申告・申請・届出の電子的取扱を拡充することにより賦課業務の効率化及び適正化を図った。
令和 7年度（決算）	・未申告者等への対応強化 ・申告相談業務の効率化、賦課業務の効率化 LINEアプリを用いた申告相談の事前予約を実施し、納税者の利便を図った。 ・市民税、資産税の正確かつ適正な賦課 各税目の当初賦課納税通知書等封入封緘業務委託や各種データ処理委託のほか、地方税の申告・申請・届出の電子的取扱を拡充することにより賦課業務の効率化及び適正化を図った。
令和 8年度（計画）	①未申告者等への対応強化 ②申告相談業務の効率化、賦課業務の効率化 ③市民税、資産税の正確かつ適正な賦課
令和 9年度（計画）	①未申告者等への対応強化 ②申告相談業務の効率化、賦課業務の効率化 ③市民税、資産税の正確かつ適正な賦課

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	個人住民税の当初賦課後の未申告者の解消率				
		単位	%	目標値	77	77	77	77	
				実績値	81.5	81.4	82		
	2	区分	成果	指標	資産税の相続人へのスムーズな課税のための異動率				
		単位	%	目標値	85	85	85	85	
				実績値	88.2	84	90.1		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,682	2,565	2,580	2,427	2,508
	(e) その他特定財源	157	156	35	148	148
	(f) 一般財源	80,066	58,777	92,018	121,544	71,045
事業費の小計		82,905	61,498	94,633	124,119	73,701

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020202	01 税務課	59,198	91,131	2,615	88,516	96,086	70,189
	賦課総務費							
2	020202	01 税務課	2,300	3,502	0	3,502	28,033	3,512
	賦課総務費（債務負担）							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年8月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0010 徴収事務費

部・担当課	財務部・収納課	担当課長氏名	佐藤　寛之
予算科目事業	1 一般会計－020202－020100　　総務費・徴税費・賦課徴収費 徴収事務費・徴収総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

納税者

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

納税者がその状況に応じた方法で納期限内に市税等を納付している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【徴収総務費】

収納に関わる下記事業を実施していくための経費

・市税等の口座振替の推進　・会計年度任用職員による収納　・きめ細やかな納税相談の実施

・督促状、催告書の発送　・差押え、執行停止等の滞納処分の強化　・納税手法の多様化の推進

④ 根 拠 法 令	地方税法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・市税等の口座振替の推進　・嘱託徴収員による収納 ・きめ細やかな納税相談の実施　・督促状、催告書の発送　・差押え等の滞納処分の強化 ・納付書の「二次元コード」対応　・共通納税税目拡大対応 ・一般会計収納率　95.51%（前年度　95.14%） ・口座振替利用率　41.42%（前年度　41.83%） ・コンビニ・キャッシュレス納付率　25.34%　（前年度　22.72%）
令和 7年度（決算）	・市税等の口座振替の推進　・嘱託徴収員による収納 ・きめ細やかな納税相談の実施　・督促状、催告書の発送　・差押え、執行停止等の滞納処分の強化 ・本庁前に常設している納付勧奨看板の更新（納期内納付勧奨→多様な納付方法周知） ・一般会計収納率　96.03%（前年度　95.51%） ・口座振替利用率　41.08%（前年度　41.42%） ・コンビニ・キャッシュレス納付率　27.66%　（前年度　25.34%）
令和 8年度（計画）	・市税等の口座振替の推進（Web口座振替受付サービスの開始）　・嘱託徴収員による収納 ・きめ細やかな納税相談の実施　・督促状、催告書の発送　・財産調査に基づく滞納処分の強化及び執行停止 ・納税手法の多様化の推進
令和 9年度（計画）	・市税等の口座振替の推進　・嘱託徴収員による収納 ・きめ細やかな納税相談の実施　・督促状、催告書の発送　・財産調査に基づく滞納処分の強化及び執行停止 ・納税手法の多様化の推進

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	市税の収納率（一般会計：現年分＋滞納繰越分）				
		単位	%	目標値	95.03	95.03	95.2	95.4	95.6
				実績値	95.14	95.51	96.03		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	425	374	256	168	100
	(e) その他特定財源	5,652	8,457	8,346	6,697	6,336
	(f) 一般財源	11,127	10,598	10,469	23,567	18,452
事業費の小計		17,204	19,429	19,071	30,432	24,888

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020202 02	収納課	徴収総務費	19,429	19,071	8,602	10,469	29,132	24,888
2	020202 02	収納課	徴収総務費（債務負担）	0	0	0	0	1,300	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0011 地籍調査事業

部・担当課	財務部・財産経営課	担当課長氏名	小松　淳
予算科目事業	1 一般会計－020203－010100　　総務費・徴税費・地籍調査費 地籍調査事業・地籍調査事業		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民等の所有・管理する一筆ごとの土地。

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

土地取引の円滑化（不動産登記への利活用）、防災・災害復旧、まちづくり、土地にかかるトラブルの未然防止、土地に関する施策の基礎資料、公平公正な課税等、市民等が幅広く利活用ができる状態。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・一筆ごとの土地について所有者、地番、地目、境界、地積（面積）の調査・測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、法務局へ送付する。
・地籍調査事業を円滑に実施するため、また地籍調査事業で得られた成果を市民等に提供するために事務支援システムを借上げる。

④ 根 拠 法 令	国土調査法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・補助事業分：0.46ｋ㎡（増田地区0.13k㎡、平鹿地区0.11k㎡、十文字地区0.08k㎡、山内地区0.14k㎡） ・単独事業分：0.04ｋ㎡（大森地区0.04k㎡） 合　　計：0.50ｋ㎡
令和 7年度（決算）	・補助事業分：0.37ｋ㎡（増田地区0.09k㎡、平鹿地区0.07k㎡、十文字地区0.09k㎡、山内地区0.12k㎡） ・単独事業分：0.05ｋ㎡（大森地区0.05k㎡） 合　　計：0.42ｋ㎡
令和 8年度（計画）	・補助事業分：0.40ｋ㎡（増田地区0.08k㎡、平鹿地区0.06k㎡、十文字地区0.13k㎡、山内地区0.13k㎡） ・単独事業分：0.05ｋ㎡（大森地区0.05k㎡） 合　　計：0.45ｋ㎡（※各面積は、当該年度に着手する面積）
令和 9年度（計画）	・補助事業分：0.40ｋ㎡（増田地区0.08k㎡、平鹿地区0.07k㎡、十文字地区0.12k㎡、山内地区0.13k㎡） ・単独事業分：0.05ｋ㎡（大森地区0.05k㎡） 合　　計：0.45ｋ㎡　（※各面積は、当該年度に着手する面積）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	進捗率の向上（調査対象面積に対する調査実施済面積）				
		単位	%	目標値	42.1	42.2	42.4	42.5	42.6
				実績値	42.19	42.26	42.31		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	16,247	21,555	23,430	17,385	46,398
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	36	30	27	44	70
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	11,203	18,550	19,391	22,458	22,212
事業費の小計		27,486	40,135	42,848	39,887	68,680

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	１０	事業の必要性	4点：法令等で実施が義務付けられている事業である。
		4	国土調査法に基づく事業である
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	個人資産を明確化することで公平公正な課税が行われ、市全体に公益をもたらす事業である
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	全ての市民が享受できるサービスである
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	目標達成に向けて着実に進んでいる
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業はない
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	個人の資産を守るとともに、公平公正な課税のために必要な事業である
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	4点：法令等により市以外が実施することができない事業である。
		4	国土調査法に基づき、市が行う事業である
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	最善の手法で実施している
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	受益者負担はない
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　10×4　＋　8×3　＋　9×3　　総合評価点　９１

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

第７次国土調査事業１０箇年計画に基づき、継続的に補助事業を実施している

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	020203	01	財産経営課						
	地籍調査事業			37,561	40,089	22,603	17,486	37,404	65,921
2	020203	01	財産経営課						
	地籍調査事業（債務負担）			2,574	2,759	854	1,905	2,483	2,759

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0012 公債償還元金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－120101－010100　　公債費・公債費・元金 公債償還元金・公債償還元金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
金融機関
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
償還計画表に従い償還元金の約定返済を厳守する。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
計画的に元金を償還していく

④ 根拠法令	地方財政法、地方財政計画	⑤ 関連計画	財政計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	償還元金　6,857,874千円 ※特定財源　その他特定財源　地域総合整備資金貸付金元金　83,832千円 社会福祉施設貸付金元金収入　13,856千円 災害援護資金　35千円
令和 7年度（決算）	償還元金　7,055,938千円 ※特定財源　その他特定財源　地域総合整備資金貸付金元金収入　97,892千円 社会福祉施設貸付金元金収入　12,524千円 災害援護資金　429千円
令和 8年度（計画）	償還元金　7,301,607千円 特定財源　福祉資金貸付金元金収入10,544千円、災害援護貸付金元金収入777千円、地域総合整備資金貸付金元金収入78,848千円
令和 9年度（計画）	償還元金　7,301,607千円 特定財源　福祉資金貸付金元金収入10,544千円、災害援護貸付金元金収入777千円、地域総合整備資金貸付金元金収入78,848千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	実質公債費比率				
		単位	%	目標値	8.5	9.4	9.7	10.2	10.7
				実績値	8.1	8.6			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	97,832	97,723	110,845	90,169	90,169
	(f) 一般財源	6,647,864	6,760,151	6,945,093	7,211,438	7,211,438
事業費の小計		6,745,696	6,857,874	7,055,938	7,301,607	7,301,607

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	120101	01	財政課	6,857,874	7,055,938	110,845	6,945,093	7,301,607	7,301,607
	公債償還元金								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0013 公債償還利子

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－120102－010100　公債費・公債費・利子 公債償還利子・公債償還利子		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

金融機関

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市が償還すべき公債費元金が償還計画表に従い、その支払期限に市から支払われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【公債償還利子】
公債費元金の償還について、その償還期限に間に合うよう支払処理を行う。

④ 根拠法令	なし	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	償還利子　226,483千円
令和 7年度（決算）	償還利子　316,212千円
令和 8年度（計画）	償還利子　571,320千円
令和 9年度（計画）	償還利子　571,320千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	実質公債費比率				
		単位	%	目標値	8.5	9.4	9.7	10.2	10.7
				実績値	8.1	8.6			
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	218,133	226,483	316,212	571,320	571,320
事業費の小計		218,133	226,483	316,212	571,320	571,320

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	120102 01 公債償還利子	財政課	226,483	316,212	0	316,212	571,320	571,320

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0014 一時借入金利子

部・担当課	会計管理者・会計課	担当課長氏名	菊池　覚也
予算科目事業	1 一般会計－120102－020100　公債費・公債費・利子 一時借入金利子・一時借入金利子		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

（特に債権者や債務者としての）市民や企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・債権者や債務者としての市民や企業に対し、市が支払うべき債務が法令等に基づき円滑に支払われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【一時借入金利子】

・日々の公金出納を資金計画に基づいて適正に執行するとともに、年度末や出納整理期間など一時的に支払資金が不足する時期については、効率的な資金調達を行う。

・資金調達にあたっては、借入期間や一時借入金または基金繰替運用時等の借入方法を充分に検討し、支払利息の軽減に努める。

④ 根 拠 法 令	地方自治法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①一時借入金利子 ②基金繰替運用利子
令和 7年度（決算）	①一時借入金利子 ②基金繰替運用利子
令和 8年度（計画）	①一時借入金利子 ②基金繰替運用利子
令和 9年度（計画）	①一時借入金利子 ②基金繰替運用利子

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	活動	指標	支払準備金の平均残高				
		単位	円	目標値	40億	40億	40億	40億	
				実績値	53億	57億	51億		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	371	561	3,605	5,000
事業費の小計		0	371	561	3,605	5,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	120102	02	会計課 一時借入金利子	371	561	0	561	3,605	5,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0015 公債諸費

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－120103－010100　　公債費・公債費・公債諸費 公債諸費・公債諸費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

登録債（県市町村職員共済）の借り入れ先

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

登録債（県市町村職員共済）の償還手数料が、借入先に市から支払われている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【登録償還手数料】
・登録債（県市町村職員共済）の償還手数料の支払処理を行う。
※今後手数料が発生する場合を考慮して廃目にせず、存置科目として1千円を計上

④根拠法令	地方財政法	⑤関連計画	なし
⑥継続区分	継続	⑦事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	実績なし
令和 7年度（決算）	実績なし
令和 8年度（計画）	・登録債（県市町村職員共済）の償還手数料の支払処理を行う。 ※今後手数料が発生する場合を考慮して廃目にせず、存置科目として1千円を計上
令和 9年度（計画）	・登録債（県市町村職員共済）の償還手数料の支払処理を行う。 ※今後手数料が発生する場合を考慮して廃目にせず、存置科目として1千円を計上

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	1	1
事業費の小計		0	0	0	1	1

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
				事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	120103	01	財政課						
	公債諸費			0	0	0	0	1	1

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0016 財政調整基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130101－010100　　諸支出金・基金費・財政調整基金費 財政調整基金積立金・財政調整基金積立		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・事業者等（直接的には市財政）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市の財政基盤が安定することにより、市民が行政サービスを継続的に受け、または活用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【財政調整基金積立金】

・財源不足等に備え、財政調整基金を積立てる

④ 根拠法令	地方財政法 地方自治法	⑤ 関連計画	財政計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	積立金利子積立金　12,396千円 国民健康保険特別会計繰入活用事業残高分積立　436,266千円 地方財政法第7条に基づく積立　1,223,260千円 取崩　2,351,742千円 ※年度末基金残高　8,766,779千円
令和 7年度（決算）	積立金利子積立金　20,705千円 地方財政法第7条に基づく積立　1,103,390千円 取崩　2,122,204千円 ※年度末基金残高　7,768,670千円
令和 8年度（計画）	積立金利子積立及び地方財政法第7条、横手市財政調整基金条例（平成17年条例第69号）に基づく前年度剰余金の2分の1を下らない額の積立を実施
令和 9年度（計画）	積立金利子積立及び地方財政法第7条、横手市財政調整基金条例（平成17年条例第69号）に基づく前年度剰余金の2分の1を下らない額の積立を実施

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	財政調整基金と減債基金の合算残高の下限維持目標額（標準財政規模の20%）				
		単位	千円	目標値	13,025,000	11,030,000	10,895,000	8,562,000	7,374,000
				実績値	14,858,656	13,650,054	11,968,912		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	3,279	12,396	20,705	16,607	16,350
	(f) 一般財源	1,494,980	1,659,526	1,103,390	0	0
事業費の小計		1,498,259	1,671,922	1,124,095	16,607	16,350

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	130101	01 財政課						
	財政調整基金積立金		1,671,922	1,124,095	20,705	1,103,390	16,607	16,350

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0017 減債基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130102－010100　　諸支出金・基金費・減債基金費 減債基金積立金・減債基金積立金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・事業者等
（直接的には市財政）

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市の財政基盤が硬直化することなく安定し、市民が行政サービスを継続的に受け、または活用している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【減債基金積立金】
・公債費の償還を計画的に行うため、減債基金を積立てる。

④ 根拠法令	地方財政法 地方自治法	⑤ 関連計画	財政計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	利子積立金　4,903千円 臨時財政対策債償還基金費　166,236千円 取崩　700,000千円 ※年度末基金残高　4,883,195千円
令和 7年度（決算）	利子積立金　10,263千円 臨時財政対策債償還基金費　89,902千円 取崩　783,118千円 ※年度末基金残高　4,200,242千円
令和 8年度（計画）	基金利子の積立　9,239千円
令和 9年度（計画）	基金利子の積立　9,239千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	財政調整基金と減債基金の合算残高の下限維持目標額（標準財政規模の20%）				
		単位	千円	目標値	13,025,000	11,030,000	10,895,000	8,562,000	7,374,000
				実績値	14,858,656	13,650,054	11,968,912		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	838	4,903	10,263	9,239	8,232
	(f) 一般財源	0	166,236	89,902	0	0
事業費の小計		838	171,139	100,165	9,239	8,232

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	130102	01 財政課	171,139	100,165	10,263	89,902	9,239	8,232
	減債基金積立金							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0019 ふるさと水と土保全基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130103－010100　　諸支出金・基金費・目的基金費 ふるさと水と土保全基金積立金・ふるさと水		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・市の財政

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・農山村の自然、文化および歴史に係る地域資源が保全され、農山村の振興および活性化が促進されている。
（そのための施策を実施できる財政的な基盤が整っている）

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ふるさと水と土保全基金積立金】
・集落共同活動に関する財源に充てる。
・土地改良施設の軽微な整備および保全に関する財源に充てる。
・河川環境の保全活動等に関する財源に充てる。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし （充当した事業の関連計画による）
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	利子積立金　65千円 ※年度末基金残高　65,823千円
令和 7年度（決算）	利子積立金　146千円 ※年度末基金残高　65,969千円
令和 8年度（計画）	基金利子の積立　136千円
令和 9年度（計画）	基金利子の積立　132千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1	65	146	136	132
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		1	65	146	136	132

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	130103 01	財政課	ふるさと水と土保全基金積立金	65	146	146	0	136	132

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0020 子牛導入貸付事業基金積立金

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－130103－020100　　諸支出金・基金費・目的基金費 子牛導入貸付事業基金積立金・子牛導入貸付		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内肉用牛生産農家・市の財政

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内肉用牛生産農家が、安定的な畜産経営をしながら、繁殖用雌牛の導入による初期投資を行っている。
（そのための施策を実施できる財政的な基盤が整っている）

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【子牛導入貸付事業基金積立金】
・子牛導入貸付事業基金の運用益を同基金に積み立て、子牛導入貸付事業の安定運用を図る。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	畜産振興計画 横手市酪農・肉用牛生産近代化計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	子牛導入貸付事業基金の運用収益（預金利子）を同基金へ積立　8,691円 ・基金現在高　16,196千円（うち現金　16,196千円、うち貸付金　0千円）
令和 7年度（決算）	子牛導入貸付事業基金の運用収益（預金利子）を同基金へ積立 ・積立額32千円 ・基金現在高16,228千円（うち現金16,228千円、うち貸付金0千円）
令和 8年度（計画）	子牛導入貸付事業基金の運用収益（預金利子）を同基金へ積立
令和 9年度（計画）	子牛導入貸付事業基金の運用収益（預金利子）を同基金へ積立

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	活動	指標	子牛導入貸付基金事業積立金残高				
		単位	千円	目標値	16,187	16,187	16,187	16,187	16,188
				実績値	16,187	16,196	16,228		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	9	32	33	15
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	9	32	33	15

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
						特定財源	一般財源		
1	130103	02	農業振興課						
	子牛導入貸付事業基金積立金			9	32	32	0	33	15

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0023 ふるさと振興基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130103－030100　　諸支出金・基金費・目的基金費 ふるさと振興基金積立金・ふるさと振興基金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・市の財政

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民の連携の強化や地域振興が促進している。
（そのための施策を実施できる財政的な基盤が整っている）

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【ふるさと振興基金積立金】
・市民の連携の強化及び地域振興のための事業に充てるため、横手市ふるさと振興基金を設置し、10億円を積み立てる。
　また、市長が必要があると認めるときは、一般会計歳入歳出予算の定めるところにより基金に追加して積立てを行う。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし （充当する事業の関連計画による。）
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	利子積立金　99千円 ※年度末基金残高　100,151千円
令和 7年度（決算）	利子積立金　221千円 ※年度末基金残高　100,372千円
令和 8年度（計画）	基金利子の積立　206千円
令和 9年度（計画）	基金利子の積立　206千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2	99	221	206	201
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		2	99	221	206	201

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	130103	03	財政課						
	ふるさと振興基金積立金			99	221	221	0	206	201

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0024 振興基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130103－040100　　諸支出金・基金費・目的基金費 振興基金積立金・振興基金積立金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民・市の財政

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市民の連帯の強化が推進され、地域が均衡しながら振興している。
（そのための施策を実施できる財政的な基盤が整っている）

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【振興基金積立金】
・市民の連帯の強化を推進し、地域の振興及び均衡ある発展に資する事業や地域振興のため、特に必要と認められる経費の財源充てるため、横手市振興基金を設置し、積み立てる。

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし （充当する事業の関連計画による。）
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	利子積立金　2,712千円　取崩　200,000千円 ※年度末基金残高　2,705,368千円
令和 7年度（決算）	利子積立金　5,949千円　取崩　200,000千円 ※年度末基金残高　2,511,317千円
令和 8年度（計画）	基金利子の積立　5,645千円 ※合併特例債の活用による基金
令和 9年度（計画）	基金利子の積立　5,645千円 ※合併特例債の活用による基金

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	637	2,712	5,949	5,645	5,022
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		637	2,712	5,949	5,645	5,022

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	130103	04 財政課	2,712	5,949	5,949	0	5,645	5,022
	振興基金積立金							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0025 ふるさと応援基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130103－050100　　諸支出金・基金費・目的基金費 ふるさと応援基金積立金・ふるさと応援基金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

ふるさとを応援するために、横手市に寄附された寄附金を適正に管理し、運用するため、横手市ふるさと応援基金を設置する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

納税者の意向を大切にし、必要に応じ、寄附金を財源に事業を行う。

④ 根 拠 法 令	地方財政法	⑤ 関 連 計 画	財政計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	基金利子積立　471千円 ふるさと納税寄附金積立金過年度精算分　19,117千円　取崩　231,923千円 ※年度末基金残高　266,709千円
令和 7年度（決算）	基金利子積立　584千円 ふるさと納税寄附金積立金(R6寄附分)　294,477千円　取崩　264,447千円 ※年度末基金残高　297,323千円
令和 8年度（計画）	基金利子の積立　610千円
令和 9年度（計画）	基金利子の積立　610千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	ふるさと応援基金を積立てる				
		単位	千円	目標値	244,702	277,170	277,170	277,170	277,170
				実績値	242,608	19,588	295,061		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	8	471	584	610	596
	(f) 一般財源	242,600	19,117	294,477	0	0
事業費の小計		242,608	19,588	295,061	610	596

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	130103	05 財政課						
	ふるさと応援基金積立金		19,588	295,061	584	294,477	610	596

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0027 農業災害復旧事業基金積立金

部・担当課	農林部・農業振興課	担当課長氏名	鈴木　洋
予算科目事業	1 一般会計－130103－060100　　諸支出金・基金費・目的基金費 農業災害復旧事業基金積立金・農業災害復旧		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

異常気象等による被災農業者・市の財政

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

異常気象等による被災農業者が、その被害を復旧し、事業を継続している。
（そのための施策を実施できる財政的な基盤が整っている）

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【農業災害復旧事業基金積立金】
　下記の事業に充てるため、農業災害復旧事業基金積立金を設置し、積み立てる
・異常気象等により発生した農業被害の復旧支援事業
・異常気象等による農業被害の発生予防のための取り組みを支援する事業

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	なし （充当する事業の関連計画による。）
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	基金運用益（預金利子）の同基金への積立　2,243円 ※年度末基金残高　2,281千円
令和 7年度（決算）	基金運用益（預金利子）の同基金への積立 ・積立額　5千円 ・基金残高　2,287千円
令和 8年度（計画）	基金運用益（預金利子）の同基金への積立
令和 9年度（計画）	基金運用益（預金利子）の同基金への積立

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	2	5	5	3
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		0	2	5	5	3

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 事業費	令和 7年度（決算） 財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算） 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画） 事業費	令和 9年度（計画） 事業費
1	130103 06	農業振興課	農業災害復旧事業基金積立金	2	5	5	0	5	3

（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 実施計画中事業名称	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
			事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0028 予備費

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－140101－010100　　予備費・予備費・予備費 予備費・予備費		
令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□
評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

一般会計において、各課が予算措置できないなど早急に支出が必要になった場合に対応するため、地方自治法第217条で規定する予備費を設ける

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

予備費を用いた事業の執行が、市民サービスの維持につながる

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

一般会計において、各課が予算措置できないなど早急に支出が必要になった場合に対応するため、予備費を設け、緊急時に対応する

④ 根拠法令	地方自治法	⑤ 関連計画	財政計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	予備費充用額　11,311千円
令和 7年度（決算）	予備費充用額　25,010千円
令和 8年度（計画）	50,000千円
令和 9年度（計画）	50,000千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	予備費の予算措置				
		単位	千円	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	50,000	50,000
事業費の小計		0	0	0	50,000	50,000

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	140101 01	財政課	予備費	0	0	0	0	50,000	50,000

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0029 財産経営推進計画実施事業

部・担当課	財務部・財産経営課	担当課長氏名	小松　淳
予算科目事業	1 一般会計－020106－150100　　総務費・総務管理費・財産管理費 財産経営推進計画実施事業・ファシリティ		

令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■	評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

公共施設

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

中長期の視点から計画的な維持保全と再配置が推進され、充実した品質、適正な規模（数量）、適正なコストが実現できている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

横手市財産経営推進計画を実施し、公共サービス機能を維持しつつ保有総量の圧縮、施設の質的向上を図る。
【ファシリティマネジメント推進事業】財産経営推進計画事業経費、公有財産の利活用に係る経費
【公共施設解体・改修事業】廃止公共施設の計画的な解体事業：解体工事に係る各種調査、設計及び設計監理委託、工事請負費

④ 根 拠 法 令	なし	⑤ 関 連 計 画	横手市財産経営推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・旧十文字第二小学校多目的施設化改修工事（R5～継続） ・解体工事：旧昭和通町内会館、旧十文字文化センター（R5～継続） ・アスベスト調査：旧金沢中学校、旧つきの木館、旧農村婦人の家、旧十文字卓球場、旧三重地区交流センター、旧山内公民館吉谷地分館、旧山内公民館三又分館 ・解体実施設計：旧山内公民館吉谷地分館、旧山内公民館三又分館 ・公共施設マネジメント研修会（10/18条里北庁舎、講師：宮城大学准教授　上森貞行氏、職員26名参加）
令和 7年度（決算）	・旧雄物川北小学校解体工事（～R8までの繰越事業） ・その他の解体工事：旧雄南のびる館、旧山内公民館吉谷地分館、旧山内公民館三又分館 ・解体実施設計：旧養護老人ホームひらか荘、旧つきの木館、旧農村婦人の家、旧十文字卓球場、旧三重地区交流センター ・アスベスト調査：旧十文字農家高齢者創作館、工作物アスベスト調査複数施設分 ・ＦＭ研修会開催（11/14宮城大学准教授 上森貞行氏 講師（39名参加）、1/28職員講師（21名参加））
令和 8年度（計画）	・用途廃止した公共施設等の計画的な解体事業 ・横手市財産経営推進計画及び公有財産のファシリティマネジメントの推進にかかる職員研修等
令和 9年度（計画）	・用途廃止した公共施設等の計画的な解体事業 ・横手市財産経営推進計画及び公有財産のファシリティマネジメントの推進にかかる職員研修等

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手市財産経営推進計画（実施計画）の年度ごとの達成率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	87	72.7	80		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	275,900	202,700	123,800
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	220,751	15,200
	(f) 一般財源	4,912	9,923	28,362	5,043	420
事業費の小計		4,912	9,923	304,262	428,494	139,420

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	横手市財産経営推進計画（ＦＭ計画）に基づく市の重点事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	公共施設の適正な再配置の推進等により市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての公共施設が対象であり、すべての市民がサービスの対象である。
②事業の有効性	8	目標の達成度	2点：目標達成に向けて着実に進捗しているが、目標値の修正が必要である。
		2	ＦＭ計画の目標達成に向けて施設の再配置等を推進しているところだが、今後もより一層、再配置方針に基づく取り組みを促進する必要がある。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	他の部局において、類似事業は存在しない。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	健全な財政運営に必要であり、上位施策達成のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	8	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	公共施設にはPPP/PFI導入の考え方もあるが、ＦＭ計画に基づく施設の再配置、保有総量の圧縮については市が主体的に取り組むべきである。
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	毎年度ローリング方式による計画の見直しを行っており、今後も施設所管課等との協議を行いながら事業を進めていく。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	年次的な経費の平準化も図りながら事業を推進している。
項目点合計		２５	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　8×3　＋　8×3　　総合評価点　８４

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	■ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

市の財政状況においては、ＦＭ計画に基づく公共施設の適正な再配置と総量の圧縮は急務であり、計画的な解体事業の実施などにより計画の目標達成に向けさらに取組を加速させる必要がある。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020106	15 財産経営課 ファシリティマネジメント推進事業	55	0	0	0	420	420
2	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧障害者支援施設ひまわり社）（建設）	0	0	0	0	4,846	2,555
3	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧養護老人ホームひらか荘）（建設）	0	528	400	128	104,818	0
4	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧浅舞スポーツセンター）（建設）	0	0	0	0	3,578	2,899
5	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧平鹿農家高齢者創作館）（建設）	0	0	0	0	6,459	15,730
6	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧つきの木館）（建設）	2,255	1,617	1,400	217	77,642	113,795
7	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧雄物川温泉えがおの丘）（建設）	0	0	0	0	19,835	0
8	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧農村婦人の家）（建設）	937	594	0	594	17,635	0
9	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧十文字卓球場）（建設）	1,943	1,373	0	1,373	160,024	0
10	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧三重地区交流センター）（建設）	551	770	0	770	22,532	0
11	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧三重保育所）（建設）	0	0	0	0	6,967	4,021
12	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧大雄農業者トレーニングセンター）（建設）	0	0	0	0	3,738	0
13	020106	15 財産経営課 公共施設等解体・改修事業（旧雄物川北小学校）（建設）	0	136,412	128,700	7,712	0	0
14	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧雄南のびる館）（建設）	0	124,278	111,800	12,478	0	0
15	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧十文字農家高齢者創作館）（建設）	0	1,091	0	1,091	0	0
16	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧山内公民館吉谷地分館）（建設）	1,043	13,552	12,100	1,452	0	0
17	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧山内公民館三又分館）（建設）	985	24,047	21,500	2,547	0	0
18	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧横手西中学校）（建設）	0	0	0	0	0	0
19	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧十文字第一小学校）（建設）	0	0	0	0	0	0
20	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧十文字西原職員住宅）（建設）	0	0	0	0	0	0
21	020106	15 財産経営課 公共施設等解体事業（旧金沢中学校）（建設）	2,154	0	0	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0031 公共施設等総合管理推進基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130103－070100　　諸支出金・基金費・目的基金費 公共施設等総合管理推進基金積立金・公共施		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）
市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）
横手市財産経営推進計画を着実に実施し、公共施設および公共的施設の適正な配置を行う。
③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）
【公共施設等総合管理推進基金積立金】 横手市財産経営推進計画に掲げる公共施設等の計画的な改築、改修、除却等に要する安定的な財源を確保するための基金を設置する。

④ 根 拠 法 令	地方財政法	⑤ 関 連 計 画	財政計画、横手市財産経営推進計画
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	令和 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	利子積立金　2,322千円 公共施設等総合管理推進基金積立金　244,651千円　　取崩312,846千円 ※年度末基金残高　2,290,952千円
令和 7年度（決算）	利子積立金　5,087千円 公共施設等総合管理推進基金積立金　220,677千円　　取崩416,582千円 ※年度末基金残高　2,100,134千円
令和 8年度（計画）	横手市公共施設等総合管理推進基金条例による積立 基金利子積立金　4,130千円
令和 9年度（計画）	横手市公共施設等総合管理推進基金条例による積立 基金利子積立金　4,038千円

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	横手市財産経営推進計画の計画期間内の達成（一般財源相当額）				
		単位	千円	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
				実績値	371,608	246,973	225,764		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	70,000	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	43	2,322	5,087	4,130	4,038
	(f) 一般財源	301,565	244,651	220,677	0	0
事業費の小計		371,608	246,973	225,764	4,130	4,038

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	130103	07	財政課 公共施設等総合管理推進基金積立金	246,973	225,764	5,087	220,677	4,130	4,038

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0033 森林環境基金積立金

部・担当課	農林部・農林整備課	担当課長氏名	高橋　亨子
予算科目事業	1 一般会計－130103－080100　　諸支出金・基金費・目的基金費 森林環境基金積立金・森林環境基金積立金		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

適切な経営や管理が行われていない森林

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

適切な経営や管理を市が行うための財源となる森林環境譲与税を後年も有効活用するために積み立てを行う

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用を確保するため、基金に積み立てを行う。

④ 根拠法令	森林経営管理法 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律	⑤ 関連計画	
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	交付される森林環境譲与税を後年に有効活用するため積立を行う（素材売り払い収入、基金利息）
令和 7年度（決算）	基金積立　執行残額　3,432,583円 基金利息　　52,203円
令和 8年度（計画）	交付される森林環境譲与税を後年に有効活用するため積立を行う
令和 9年度（計画）	交付される森林環境譲与税を後年に有効活用するため積立を行う

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	－	指標	@				
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1	0	52	32	0
	(f) 一般財源	0	6,115	3,433	0	10,694
事業費の小計		1	6,115	3,485	32	10,694

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度 財源内訳 特定財源	令和 7年度 財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	130103	08	農林整備課	森林環境基金積立金	6,115	3,485	52	3,433	32	10,694
		08								

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0034 大型公共施設整備事業

部・担当課	総務企画部・地域創造戦略室	担当課長氏名	宮本　敦
予算科目事業	1 一般会計－020107－120100　　総務費・総務管理費・企画費 大型公共施設整備事業・大型公共施設整備事業		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	―	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

公共施設の再編に関し、市民の「利便性」や「満足度」の向上、また「健康増進」や「豊かな教養と文化の向上」、「地域経済の活性化」を図る。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【大型公共施設整備準備事業】・・横手体育館の建て替え整備にかかる事業管理
【大型公共施設整備事業（横手体育館）（建設）】・・横手体育館整備工事に伴う各種業務委託・関連工事等

④ 根 拠 法 令		⑤ 関 連 計 画	横手市財産経営推進計画（ＦＭ会議）
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 4年度　～　R 8年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・横手体育館…建設工事、設計監理、工事監理、地質調査、地中熱設備工事 ・横手市民会館…実施設計、横手体育館解体設計
令和 7年度（決算）	・横手体育館…建設工事、設計監理、工事監理、地中熱設備工事、園路整備工事、AIカメラ設置業務委託
令和 8年度（計画）	・横手体育館建設工事にかかる令和８年度工事分及び検査手数料等の実施
令和 9年度（計画）	

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	【大型公共施設】横手体育館・横手市民会館整備に関する年度ごとの進捗率				
		単位	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	294,732	455,268	3,355,460	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	582,800	674,800	4,042,800	25,000	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	4,840	5,071	54,178	0	0
	(f) 一般財源	49,949	42,289	213,741	953	0
事業費の小計		932,321	1,177,428	7,666,179	25,953	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	9	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	上位計画及び個別計画に位置づけられた市の重点事業である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	すべての市民のスポーツ振興、文化芸術振興のみならず、観光振興や経済活動等も含めた公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	3点：すべての市民がサービスの対象である。
		3	すべての市民がサービス対象であり、より多くの市民が気軽に利用できるよう事業を進めている。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	横手体育館は令和８年度の完成、横手市民会館は事業再開にむけて着実に進捗している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	類似事業は存在しない。市の重点事業として、部局間の横断的な連携のもとで事業を実施している。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	上位計画で目標とする、市民スポーツ振興、文化芸術振興のために不可欠な事業である。
③事業の効率性	9	事業実施主体の適正性	3点：民間等の同種サービス提供の事例がなく、市が主体的に取り組む必要性が高い。
		3	市民スポーツ振興、文化芸術振興の拠点として、市が主体的に取り組むべき事業である。
		事業内容の効率性	3点：事業内容を毎年度見直し・改善しており、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
		3	基本構想、基本計画、実施設計、建設工事施工時において事業の必要性や内容について精査を重ねている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	他自治体と比較しても、基本計画で定めたサービス水準は適切である。
項目点合計		２７	総合評価点の算出方法　：　9×4　＋　9×3　＋　9×3　　総合評価点　９０

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	■ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

横手体育館は令和８年度に完工予定である。横手市民会館は文化芸術の拠点としてだけでなく多世代にわたって多くの市民が集い、まちの賑わいを創出し地域経済の活性化を図る重要な施設であるため、事業再開に向けた継続的な取り組みが必要である。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020107	12 地域創造戦略室	1,176,016	7,665,711	7,452,438	213,273	25,953	0
	大型公共施設整備事業（横手体育館）（建設）							
2	020107	12 地域創造戦略室	1,412	468	0	468	0	0
	大型公共施設整備準備事業							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度 (決算)	令和 7年度 (決算)			令和 8年度 (計画)	令和 9年度 (計画)
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0035 中小企業経営安定基金積立金

部・担当課	商工観光部・商工労働課	担当課長氏名	阿部　秀和
予算科目事業	1 一般会計－130103－989800　諸支出金・基金費・目的基金費 中小企業経営安定基金積立金・中小企業経営		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市内中小企業

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

市内中小企業の経営が安定している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

市内中小企業の経営安定を目的とした利子補給事業及び保証料補給事業の後年度の財源に充てるため、「横手市中小企業経営安基金」に積立てを行う。

④ 根 拠 法 令	地方財政法	⑤ 関 連 計 画	
⑥ 継 続 区 分	新規	⑦ 事 業 期 間	R 3年度　～　R 7年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	横手市中小企業経営安基金 積立 290千円（利子分）
令和 7年度（決算）	横手市中小企業経営安基金 積立 205千円（利子分）
令和 8年度（計画）	基金残高なし
令和 9年度（計画）	基金残高なし

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	中小企業経営安定基金を積立てる				
		単位	千円	目標値	10	5	3		
				実績値		290	205		
	2	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	7	290	205	0	0
	(f) 一般財源	0	0	0	0	0
事業費の小計		7	290	205	0	0

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業		担当課名	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)			令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	実施計画中事業名称			事業費	事業費	財源内訳 特定財源	財源内訳 一般財源	事業費	事業費
1	130103	98	商工労働課						
	中小企業経営安定基金積立金			290	205	205	0	0	0

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0038 横手市民会館施設整備基金積立金

部・担当課	財務部・財政課	担当課長氏名	稲川　顕
予算科目事業	1 一般会計－130103－090100　　諸支出金・基金費・目的基金費 横手市民会館施設整備基金積立金・横手市民		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	－	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市民

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

横手市民会館の整備を確実に実施する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【横手市民会館施設整備基金積立金】
横手市民会館の整備（建設、改修及び除却等）を確実に実施するための安定的な財源を確保するための基金を設置し積み立てを行う。

④ 根拠法令	地方自治法	⑤ 関連計画	横手市財政計画
⑥ 継続区分	新規	⑦ 事業期間	R 7年度　～　R7981年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	
令和 7年度（決算）	横手市民会館施設整備基金積立金　220,677千円 ※年度末基金残高　220,677千円
令和 8年度（計画）	基金利子の積立　497千円 ルール分積立金　200,000千円（9月補正で予算化）
令和 9年度（計画）	基金利子の積立　497千円 ルール分積立金　200,000千円（9月補正で予算化）

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標	1	区分	成果	指標	横手市民会館の確実な整備に向けた積立				
		単位	千円	目標値			220,677	160,288	160,480
				実績値			220,677		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	3	区分	－	指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	497	497
	(f) 一般財源	0	0	220,677	0	0
事業費の小計		0	0	220,677	497	497

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3
総合評価点			0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	130103	09 財政課						
	横手市民会館施設整備基金積立金		0	220,677	0	220,677	497	497

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和 ８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年6月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0003 職員研修及び厚生費

部・担当課	総務企画部・人事課	担当課長氏名	山本　剛
予算科目事業	1 一般会計－020101－070100　総務費・総務管理費・一般管理費 職員研修及び厚生費・職員研修事業		
令和 8年度評価対象事業	■	令和 7年度当初主要事業	■
評価入力対象外事業	□	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	―	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	―	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0703	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実
	⑤目指す将来の姿	―	職員一人ひとりが、市民（お客様）の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

職員及び非常勤職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

・職員、非常勤職員が、高い資質とスキルにより市民満足度の高い行政サービスを提供している。
・職員、非常勤職員が、心身ともに健康を保持して職務に精励し、家庭生活との両立を実現している。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

・外部研修への派遣、内部講師の育成、庁内研修の企画実施
・職員及び非常勤職員の定期健康診断及びストレスチェックの実施
・育成型人事評価の実施

④ 根拠法令	地方公務員法	⑤ 関連計画	横手市人材育成基本方針、横手市職員研修計画
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 5年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	①内部研修の企画運営（新規採用職員研修、採用２年目研修、職階別研修） ②外部研修（研修先：東北自治研修所、秋田県自治研修所、県市長会） ③職員・会計年度任用職員健康診断実施(1,438人（会計年度含む））、夜間勤務従事者42人 ④ストレスチェック実施（777人）、高ストレス者医師面接指導の実施 ⑤長時間労働者医師面接指導の実施
令和 7年度（決算）	①内部研修の企画運営（新規採用職員研修、採用２年目研修、職階別研修） ②外部研修（研修先：東北自治研修所、秋田県自治研修所、県市長会） ③職員・会計年度任用職員健康診断実施(1,481人（会計年度含む））、夜間勤務従事者40人 ④ストレスチェック実施（666人）、高ストレス者医師面接指導の実施 ⑤長時間労働者医師面接指導の実施
令和 8年度（計画）	・職員及び会計年度任用職員の資質や能力向上を目的として、内部研修の企画運営（新規採用職員研修、階層別研修など）や外部研修（研修先：秋田県自治研修所、市長会など）の受講を促進し支援する。
令和 9年度（計画）	・職員及び会計年度任用職員の資質や能力向上を目的として、内部研修の企画運営（新規採用職員研修、階層別研修など）や外部研修（研修先：秋田県自治研修所、市長会など）の受講を促進し支援する。

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

事業目標	No	指標内容				令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
	1	区分	成果	指標	職員研修実施のための内部講師数の増加					
		単位	人	目標値		54	56	58	60	60
				実績値		55	57	59		
	2	区分	成果	指標	女性の課長級昇任昇格試験受験率の上昇					
		単位	%	目標値		40	40	40	40	40
				実績値		27.3	27.3	38.5		
	3	区分	成果	指標	年次休暇の平均取得日数の増加					
		単位	%	目標値		13	13.5	14	14	14
				実績値		11.8	14	13.7		

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	令和 7年度(決算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	154	0	225
	(f) 一般財源	28,171	29,745	30,385	29,208	30,479
事業費の小計		28,171	29,745	30,539	29,208	30,704

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	8	事業の必要性	3点：市の重点事業であり、他の事業より優先的に実施すべきである。
		3	市職員の人材育成と能力開発、健康増進のための事業であり、この向上は市民満足度の向上にもつながる市の重要・優先課題である。
		目的の妥当性	3点：市全体に公益をもたらす事業である。
		3	市職員の公務に対する成長を促し、市民満足度の高い行政サービスを提供できる職員となるための事業であり、ひいては市全体に公益をもたらす事業である。
		対象の妥当性	2点：一定要件に基づく不特定多数の市民又は団体がサービスの対象である。
		2	市職員を対象とする事業であるが、職員の人材育成・能力開発は市民満足度の向上に寄与している。
②事業の有効性	9	目標の達成度	3点：目標達成に向けて着実に進捗しており、目標達成が可能である。
		3	研修事業を中心に改善を図りながら事業を実施している。
		類似事業の存在	3点：他の部局において、類似事業は存在しない。
		3	人事課の所管事業である。
		上位施策への貢献度	3点：上位施策達成のために不可欠な事業である。
		3	職員の資質向上や健康増進は、市の上位施策達成のためには重要であり、不可欠なものである。
③事業の効率性	7	事業実施主体の適正性	2点：民間等の同種サービス提供の事例があり、業務の全部又は一部のアウトソーシングが可能である。
		2	健康増進や福利厚生は市が取り組むべき事業である。研修については民間事業者等によるサービス提供も可能であるが、内部研修の講師を市職員が務めることで、アウトプットによる能力向上の他、経費削減にも効果が期待できることから、全てアウトソーシングする
		事業内容の効率性	2点：過去に事業内容を見直し・改善したが、まだ改善の余地がある。
		2	公務をとりまく情勢は日々変化しており、毎年修正を行いながら事業を行っている。
		受益者負担の適切さ	3点：適切な受益者負担となっており、他自治体と比較してもサービス水準は適切である。
		3	自己啓発のための資格取得は一部費用助成制度を設けるなど、受益者負担も担保されており、福利厚生も含め、他の自治体を比較して適切に事業が実施されている。
項目点合計		２４	総合評価点の算出方法　：8×4　＋　9×3　＋　7×3
総合評価点		８０	

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	■ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

本施策の「戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実」を実現するための核となる事業である。改定を予定している人材育成基本方針を適用し、職員の資質や能力の向上、市が抱える課題解決につなげるため、オンライン研修やeラーニング等の受講スタイルも積極的に活用しながら、コストを意識した研修を実施していく。また、職員数の減少や業務の複雑化・多様化による業務負荷の増大も懸念されることから、健診やストレスチェック等、心身の健康保持のための事業も継続して行っていく。

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業 / 担当課名 / 実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
				特定財源	一般財源		
1	020101 07 人事課 職員研修事業	2,101	2,074	154	1,920	2,884	3,704
2	020101 07 人事課 厚生費	27,644	28,465	0	28,465	26,324	27,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

施策	
実施計画	★
中事業	

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

実施計画事業名（大事業名称）	0004 公平委員会総務費

部・担当課	監査委員事務局・監査委員事務局	担当課長氏名	石川　知博
予算科目事業	1 一般会計－020112－020100　　総務費・総務管理費・公平委員会費 公平委員会総務費・公平委員会総務費		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0703	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実
	⑤目指す将来の姿	－	職員一人ひとりが、市民（お客様）の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

市職員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成する。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【公平委員会総務費】

職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、必要な措置を講ずることや、職員の不利益処分についての審査請求に対する裁決を行うこと、職員からの苦情相談の処理。その他、法律に基づきその権限に属せしめられた事務を処理する。

④ 根拠法令	地方自治法・地方公務員法 公立学校の学校医等の公務災害補償法	⑤ 関連計画	なし
⑥ 継続区分	継続	⑦ 事業期間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公平委員3名 ・職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分についての審査請求はなし ・職員の苦情相談はなし ・秋田県公平委員会連合会総会・研修会を横手市で開催（5月31日）
令和 7年度（決算）	・勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分についての審査請求はなし ・職員の苦情相談は4件 ・秋田県公平委員会連合会総会研修会を開催（6月3日・横手市） ・全国公平委員会連合会東北支部総会研修会に出席（7月10～11日・石巻市） ・全国公平委員会連合会本部研究会に出席（7月24～25日東京都千代田区） ・全国公平委員会連合会通常総会に出席（10月31日東京都千代田区）大嶋委員16年特別表彰受賞
令和 8年度（計画）	・公平委員3名。 ・職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、必要な措置を講ずることや、職員の不利益処分についての審査請求に対する裁決を行うこと、職員からの苦情相談の処理
令和 9年度（計画）	・公平委員3名。 ・職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、必要な措置を講ずることや、職員の不利益処分についての審査請求に対する裁決を行うこと、職員からの苦情相談の処理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	不利益処分審理対象件数（令和3年度から）				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移

（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	248	298	490	566	535
事業費の小計		248	298	490	566	535

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	実施計画中事業名称	令和 6年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）事業費	令和 7年度（決算）財源内訳 特定財源	令和 7年度（決算）財源内訳 一般財源	令和 8年度（計画）事業費	令和 9年度（計画）事業費
1	020112 02	監査委員事務局	公平委員会総務費	298	490	0	490	566	535

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示

令和　８年度 実施計画事業評価シート

令和 8年7月作成（評価対象：令和 7年度）

施策	
実施計画	★
中事業	

実施計画事業名（大事業名称）	0005 非常勤特別職報酬（公平委員）

部・担当課	監査委員事務局・監査委員事務局	担当課長氏名	石川　知博
予算科目事業	1 一般会計－020112－010100　　総務費・総務管理費・公平委員会費 非常勤特別職報酬（公平委員）・非常勤		

令和 8年度評価対象事業	□	令和 7年度当初主要事業	□	評価入力対象外事業	■	令和 7年度で終了する事業	□

１．ＰＬＡＮ

（１）総合計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で　未来を拓く　人と地域が燦くまち　よこて
	②基本目標	－	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0703	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実
	⑤目指す将来の姿	－	職員一人ひとりが、市民（お客様）の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応しています。

（２）事業の目的と手段

① 対象（誰、何に対して事業を実施するのか）

公平委員

② 意図（対象をどのような状態にしたいのか）

公平委員がその職責を果たしている。

③ 手段（目的達成のために何を実施するのか）

【非常勤特別職報酬（公平委員）】

・公平委員に対し、報酬を支払う。

（業務）職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、必要な措置を講ずることや、職員の不利益処分の審査請求に対する裁決、職員からの苦情相談の処理。その他、法律に基づきその権限に属せしめられた事務を処理する。

④ 根 拠 法 令	地方自治法・地方公務員法	⑤ 関 連 計 画	なし
⑥ 継 続 区 分	継続	⑦ 事 業 期 間	R 6年度　～　R 9年度

（３）実施計画期間内の取組

令和 6年度（決算）	・公平委員3名 ・公平委員会は年2回開催し、令和6年4月に令和6年度事業について、令和7年1月に令和7年度秋田県公平員会連合会総会・研修課の内容について審議
令和 7年度（決算）	・公平委員3名 ・公平委員会は年2回開催し、令和7年4月に令和7年度事業について、令和8年1月に職員からの苦情相談について報告 ・任期満了を迎えた近江直人委員が12月に再任された
令和 8年度（計画）	・公平委員3名 ・職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、必要な措置を講ずることや、職員の不利益処分についての審査請求に対する裁決を行うこと、職員からの苦情相談の処理
令和 9年度（計画）	・公平委員3名 ・職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、必要な措置を講ずることや、職員の不利益処分についての審査請求に対する裁決を行うこと、職員からの苦情相談の処理

２．ＤＯ

（１）事業目標と指標の推移

	No	指標内容			令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業目標		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					
	2	区分	活動	指標	不利益処分審理対象件数（令和3年度から）				
		単位	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0		
		区分		指標					
		単位		目標値					
				実績値					

（２）事業費の推移　　（単位：千円）

		令和 5年度(決算)	令和 6年度(決算)	**令和 7年度(決算)**	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	230	230	230	230	230
事業費の小計		230	230	230	230	230

※決算額は予算執行事業単位での千円未満四捨五入のため決算書と一致しない場合があります

３．ＣＨＥＣＫ

視点	評価	評価項目	評価理由及び課題等
①事業の妥当性	0	事業の必要性	－
		0	
		目的の妥当性	－
		0	
		対象の妥当性	－
		0	
②事業の有効性	0	目標の達成度	－
		0	
		類似事業の存在	－
		0	
		上位施策への貢献度	－
		0	
③事業の効率性	0	事業実施主体の適正性	－
		0	
		事業内容の効率性	－
		0	
		受益者負担の適切さ	－
		0	
項目点合計		0	総合評価点の算出方法　：　0×4　＋　0×3　＋　0×3

総合評価点	0

４．ＡＣＴＩＯＮ

令和 9年度事業の方向性				
コスト投入の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ ゼロコスト
活動の方向性	□ 拡大	□ 維持	□ 縮小	□ 休廃止

その理由及び事業の改善方法

５．実施計画事業内中事業一覧

※表中「予算科目・大事業」は令和 8年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります　　（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		
1	020112	01 監査委員事務局						
	非常勤特別職報酬（公平委員）		230	230	0	230	230	230

（単位：千円）

No	予算科目・大事業	担当課名	令和 6年度（決算）	令和 7年度（決算）			令和 8年度（計画）	令和 9年度（計画）
	実施計画中事業名称		事業費	事業費	財源内訳		事業費	事業費
					特定財源	一般財源		

※事業は最大52件まで表示